

十日町市総合計画に関するアンケート調査

結果報告書

平成28年11月

新潟県十日町市

十日町市総合計画に関するアンケート調査 結果報告書

目 次

調査概要	1
調査結果	3
I. あなたご自身のことについて	3
II. 十日町市での暮らしについて（満足度について）	7
全体の傾向	8
年齢別集計	10
地域別集計	26
<過去6年間の比較>	56
全体の傾向	58
年齢別集計	66
地域別集計	114
III. 十日町市のまちづくりについて（重要度について）	203
全体の傾向	204
年齢別集計	206
地域別集計	218
<過去6年間の比較>	244
全体の傾向	246
年齢別集計	254
地域別集計	302
IV. 満足度と重要度のクロス集計	390
全体の傾向	392
年齢別集計	393
地域別集計	396
V. 自由意見のまとめ	403

■調査概要

1. 目的

本アンケート調査の分析は、総合計画後期基本計画の実施事業の検証に役立てるためのものであり、市政の現状及び後期基本計画に対する市民目線での評価を解析したうえで、その解析結果は計画の進捗管理及び事務事業評価のための内容検討に資するデータとする。

なお、このアンケート調査は、十日町市総合計画について、本市の現状や課題、市が実施している施策やサービスに対する市民の評価等を把握するために実施したものである。

2. 既済アンケート調査の概要

- 1) 調査対象者 十日町市に在住する満20歳以上（平成27年2月1日現在）の男女
- 2) 調査実施期間 平成28年3月17日（木）～平成28年3月31日（木）
- 3) 調査方法 郵送・無記名による配布・回収
- 4) 調査票配布数 3,000通（住民基本台帳データをもとに無作為抽出）
- 5) 回答数 1,195通（回収率 39.8%）※~~〆~~切遅延分も含む
- 6) 設問項目
 - I. あなたご自身のことについて
 - ・問1 性別 年齢 居住地域 定住意向
 - II. 十日町市での暮らしについて
 - ・問2 暮らしについて分野別の満足度
 - 1 教育について
 - 2 文化・スポーツについて
 - 3 農林業について
 - 4 商工業について
 - 5 都市基盤の整備について
 - 6 生活環境の整備について
 - 7 保健・医療・社会福祉について
 - 8 安全・防犯・防災対策について
 - 9 観光・交流について
 - 10 市民の参画、行政運営について
 - III. 十日町市のまちづくりについて
 - ・問3 十日町市のまちづくりにとっての重要施策
 - ・その他、意見・要望事項（FA欄）

3. アンケート集計・分析・評価の方法

- (1) 回収したアンケート回答結果を入力・集計する。
- (2) (1) の集計をもとに以下の集計結果を表・グラフ化し、その特徴を分析・評価する。

①集計（満足度・重要度について）

- ・トータル集計として、質問項目ごとに単純集計。
(対象者の回答データ数と比率も表示する。年代別・地域別含む。)
- ・過去6年間と対比して表示。
但し、西部、高山、中条・飛渡、大井田の4地域は、平成23年度での地域を細分化していることから、以下のとおり値を合算して対比させる。

○西部、高山 …………… 十日町西として合算

○中条・飛渡、大井田 … 中条として合算

②クロス集計（満足度・重要度について）

属性（年代別、居住地別の2分類）を加えたクロス集計を、質問項目ごとに行う。

③満足度（設問全65問）と重要度（選択肢全65項目）についての「満足度×重要度」の分布図作成。（回答者ごとでなく、全体としての分布）

(3) 標本誤差について

本調査では、調査対象を無作為に抽出しているため、結果は必ずしも真の値(全数調査を行った場合の結果)とは一致せず、なんらかの差(「標本誤差」)が発生する。標本誤差は下記の式によって求められる。

$$\text{標本比率の標準誤差} = k \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \frac{P(1-P)}{n}}$$

k : 信頼度係数 1.96

※信頼度95% (100回推定したら95回は「許容できる誤差の範囲」(許容誤差)の範囲内に収まる、という意味。)の場合

N : 母集団の数 47,287

※H28.1時点住基台帳の十日町市の20歳以上の人口

十日町市における各回答の比率における誤差は下表のとおり。

n (サンプル数)	P (各回答の比率)	10% (又は90%)	20% (又は80%)	30% (又は70%)	40% (又は60%)	50%
1500		±1.5%	±2.0%	±2.3%	±2.4%	±2.5%
1200		±1.7%	±2.2%	±2.6%	±2.7%	±2.8%
1000		±1.8%	±2.5%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
500		±2.6%	±3.5%	±4.0%	±4.3%	±4.4%
100		±5.9%	±7.8%	±9.0%	±9.6%	±9.8%

※例えば、ある設問の回答者数が1,200人であり、その設問中のある選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも±2.8%以内(47.2~52.8%)である、と見ることができる。

■調査結果

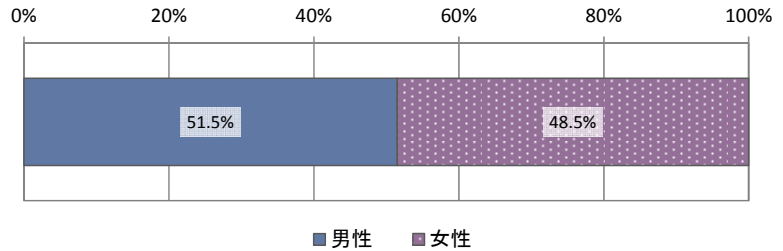
I. あなたご自身のことについて

問1 それぞれの項目ごとに当てはまる番号を選んで、1つに○をつけてください。

・性別

回答数のうち、男性が600（51.5%）、女性が565（48.5%）であった。住民基本台帳（H28年1月）による十日町市人口の男女比（男性48.7%、女性51.3%）と比較すると、男性の比率が高くなっている。

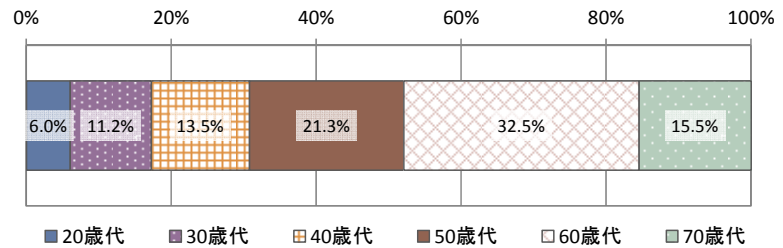
分類	件数	構成比
男性	600	51.5%
女性	565	48.5%
合計	1,165	100.0%



・年齢

60歳代が382（32.2%）と最も多く、次いで50歳代が251（21.3%）、70歳代が182（15.5%）である。住民基本台帳（H28年1月）による年齢構成比と比較すると、相対的に50歳代、60歳代からの回答が高く、20歳代、30歳代、40歳代、70歳代からの回答が低くなっている。

年代	件数	割合
20歳代	71	6.0%
30歳代	132	11.2%
40歳代	159	13.5%
50歳代	251	21.3%
60歳代	382	32.5%
70歳代	182	15.5%
合計	1,177	100.0%



（参考）

H28.1 住民基本台帳による性別・年齢構成比

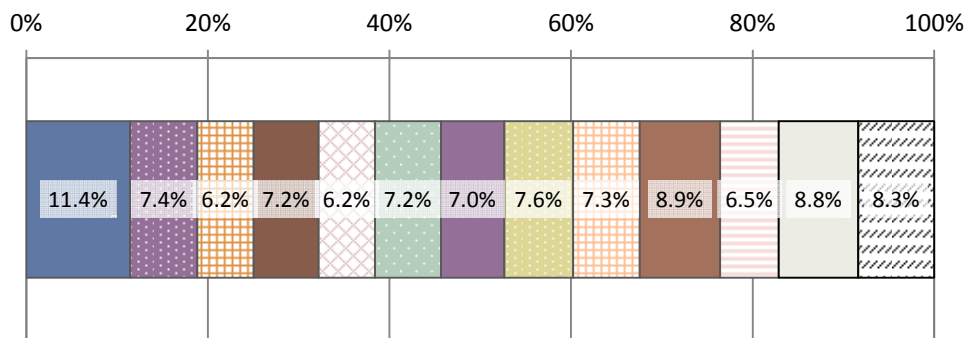
分類		構成比
性別	男性	48.7%
	女性	51.3%
	合計	100.0%
年齢※	20歳代	10.4%
	30歳代	13.4%
	40歳代	16.3%
	50歳代	17.2%
	60歳代	24.2%
	70歳代	18.5%
	合計	100.0%

※20歳未満、80歳代以上を除く

・居住地域

十日町地域が 134 (11.4%) と最も多く、次いで川西地域 104 (8.9%)、松代地域 103 (8.8%)、松之山地域 98 (8.3%) となっている。一方、西部地域、中条・飛渡地域が 73 (6.2%) と最も少ない。

分類	票数	割合
1. 十日町 (十日町中学校区)	134	11.4%
2. 高山 (西小学校区の南部)	87	7.4%
3. 西部 (西小学校区の北部)	73	6.2%
4. 川治・六箇	84	7.2%
5. 中条・飛渡	73	6.2%
6. 大井田	85	7.2%
7. 下条	82	7.0%
8. 吉田	89	7.6%
9. 水沢	86	7.3%
10. 川西	104	8.9%
11. 中里	76	6.5%
12. 松代	103	8.8%
13. 松之山	98	8.3%
合計	1,174	100.0%

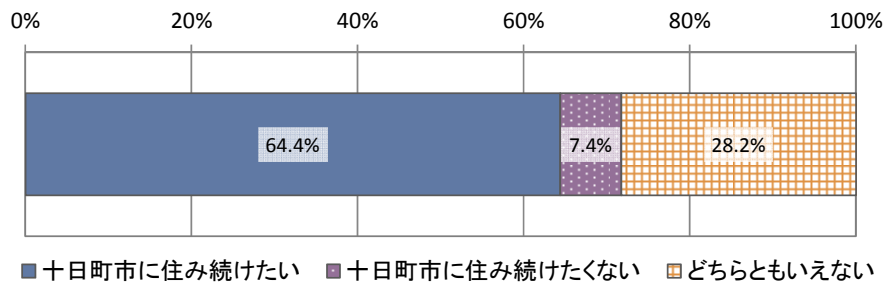


- 十日町(十日町中学校区) ■ 高山(西小学校区の南部) ■ 西部(西小学校区の北部)
- 川治・六箇 ■ 中条・飛渡 ■ 大井田
- 下条 ■ 吉田 ■ 水沢
- 川西 ■ 中里 ■ 松代
- 松之山

・居留意向

十日町市に住み続けたいが 757 (64.4%)、十日町市に住み続けたくない 87 (7.4%)、
どちらともいえない 332 (28.2%) となっている。

分類	票数	割合
1. 十日町市に住み続けたい	757	64.4%
2. 十日町市に住み続けたくない	87	7.4%
3. どちらともいえない	332	28.2%
合計	1,176	100.0%



Ⅱ. 十日町市での暮らしについて（満足度について）

問2 現在、あなたがお住まいの地域での暮らしについて、下記の項目の満足度をお答えください。（それぞれの設問項目ごとに、市が行う事業や取組について満足度を1つ選んで○をつけてください。）

（注）下記に示す集計結果の傾向では、“満足”及び“やや満足”を合計した比率を満足度、“不満”及び“やや不満”を合計した比率を不満度として取りまとめている。

【全体の傾向】

満足度が高い項目は、順に「5④上下水道の整備」（73.5%）、「7①健康づくりの推進」（65.0%）、「8④消防防災体制の充実、救急救命体制の充実」（62.6%）である。

逆に不満度が高い項目は、順に「4⑥雇用を生み出す産業の創出」（73.3%）、「4③商店街の活性化」（68.8%）、「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」（65.5%）である。

全般的に「2. 文化・スポーツ」、「8. 安全・防犯・防災対策」に対する満足度が高く、「3. 農林業」、「4. 商工業」に対する満足度が低い傾向にある。

【年齢別集計】

全体の傾向で満足度及び不満度が高かった項目以外では、年代によって満足度が高い項目は、順に『70歳代』の「1①小中学校教育の充実」（69.7%）、「8①交通安全対策の推進」（66.7%）、『60歳代』の「8①交通安全対策の推進」（64.4%）であり、逆に不満度が高い項目は、順に『60歳代』の「4④十日町特有の資源を活用した産業の創出」（64.2%）、『50歳代』の「4②工業の技術力の向上、新分野への進出」（63.1%）、『60歳代』の「4②工業の技術力の向上、新分野への進出」（60.8%）である。

満足度または不満度について、年代によって20ポイント以上の差が見られた項目をP22～24に示す。満足度に最も大きく差が見られた項目は「4④十日町特有の資源を活用した産業の創出」で、最も満足度が高い20歳代と最も満足度が低い70歳代との差は28.3ポイントである。不満度に最も大きく差が見られた項目も「4④十日町特有の資源を活用した産業の創出」で、最も不満度が高い70歳代と最も不満度が低い20歳代の差は27.6ポイントである。

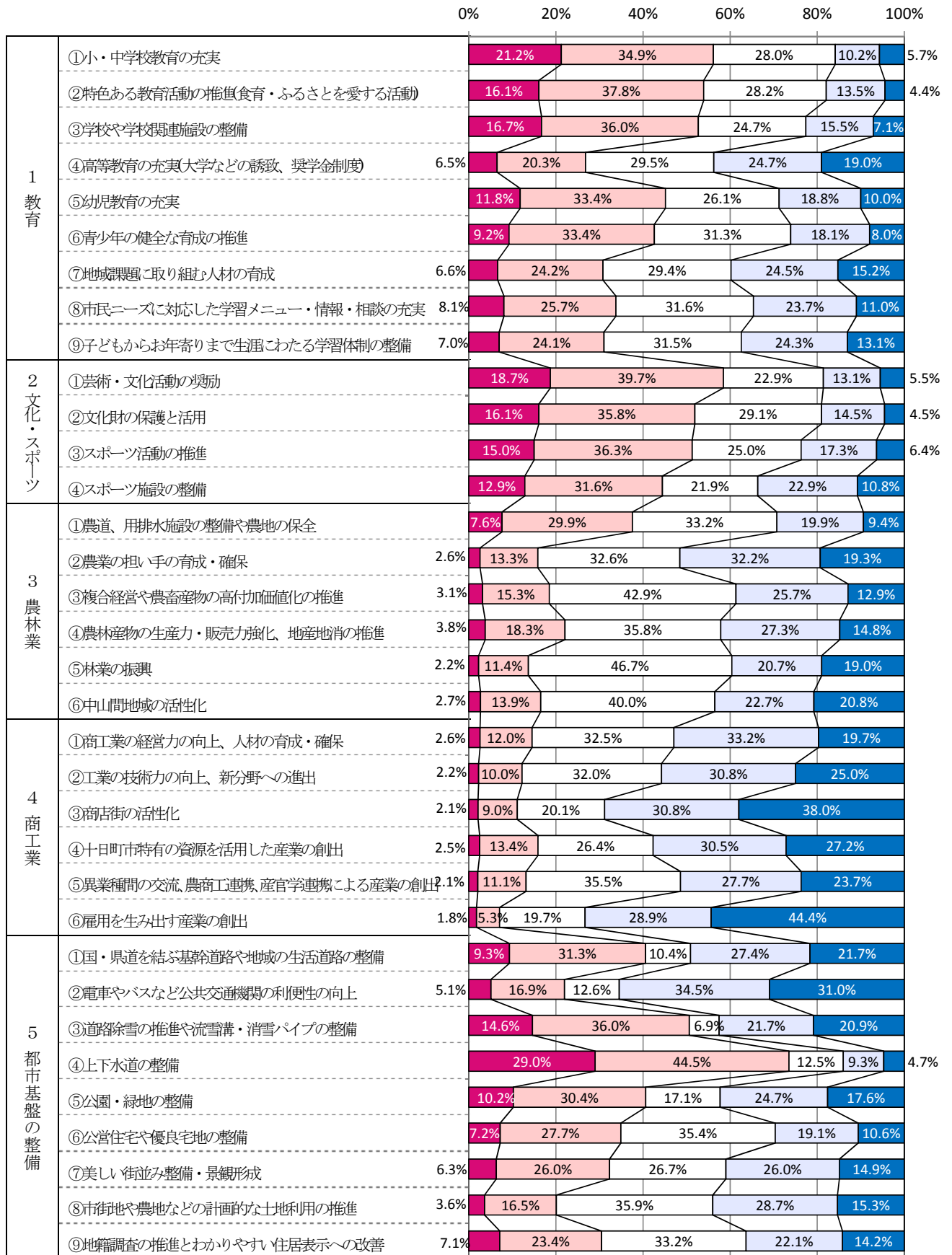
【地域別集計】

全体の傾向で満足度及び不満度が高かった項目以外では、地域によって満足度が高い項目は、順に『下条』の「1③学校や学校関連施設の整備」（77.0%）、「1①小・中学校教育の充実」（72.7%）、『松代』の「9①イベントや田舎体験による観光交流・地域間交流の推進」（69.4%）であり、逆に不満度が高い項目は、順に『松之山』の「7②地域医療の充実」（74.7%）、『高山』の「4④十日町特有の資源を活用した産業の創出」（65.4%）、『大井田』の「4②工業の技術力の向上、新分野への進出」（64.9%）である。

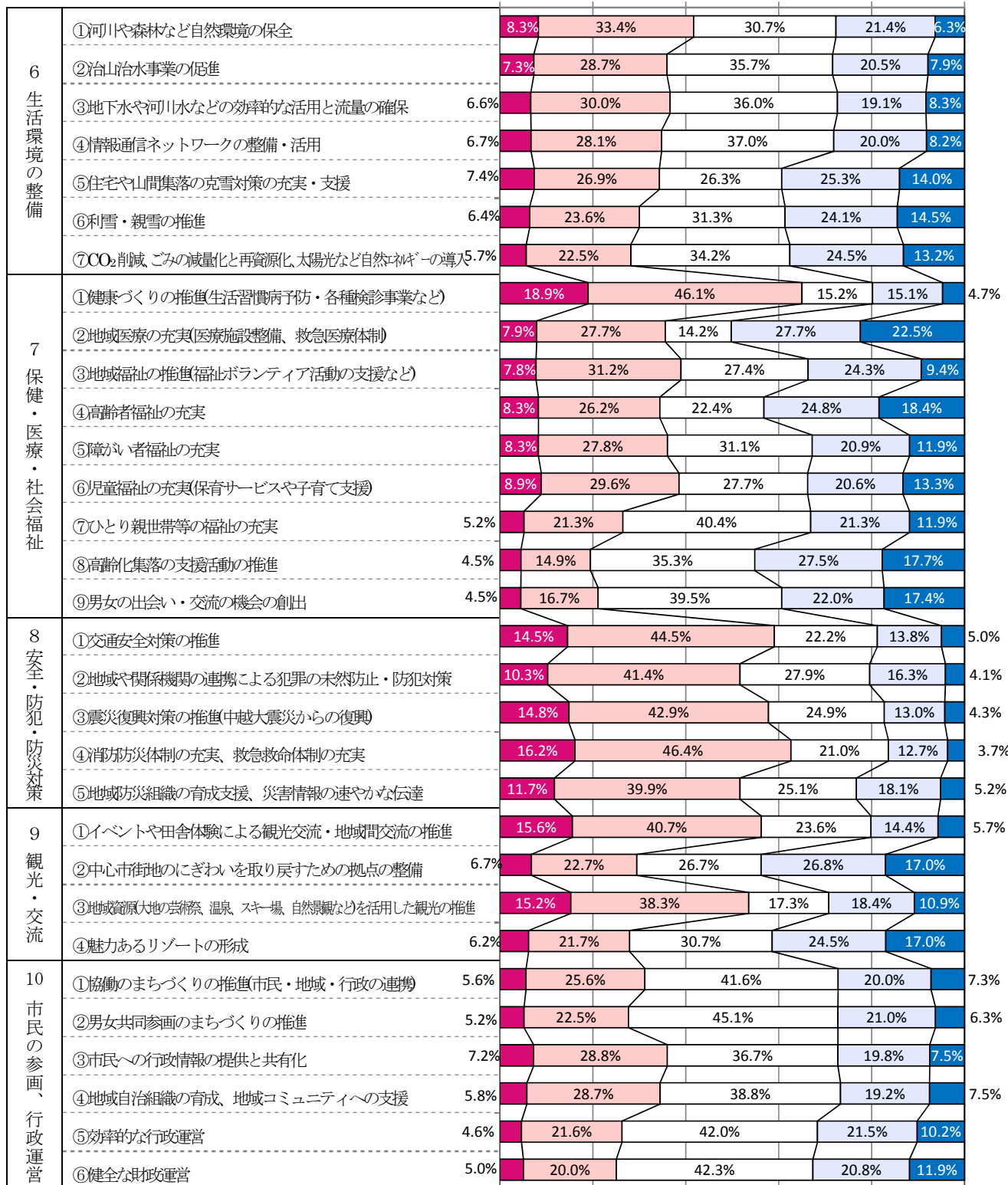
満足度または不満度について、地域によって30ポイント以上の差が見られた項目をP52～54に示す。満足度に最も大きく差が見られた項目は「1⑤幼児教育の充実」で、最も満足度が高い『下条』と最も満足度が低い『吉田』との差は38.8ポイントである。一方、不満度に最も大きく差が見られた項目は「7②地域医療の充実」で、最も不満度が高い『松之山』と最も不満度が低い『松代』の差は40.4ポイントである。

【全体の傾向】

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



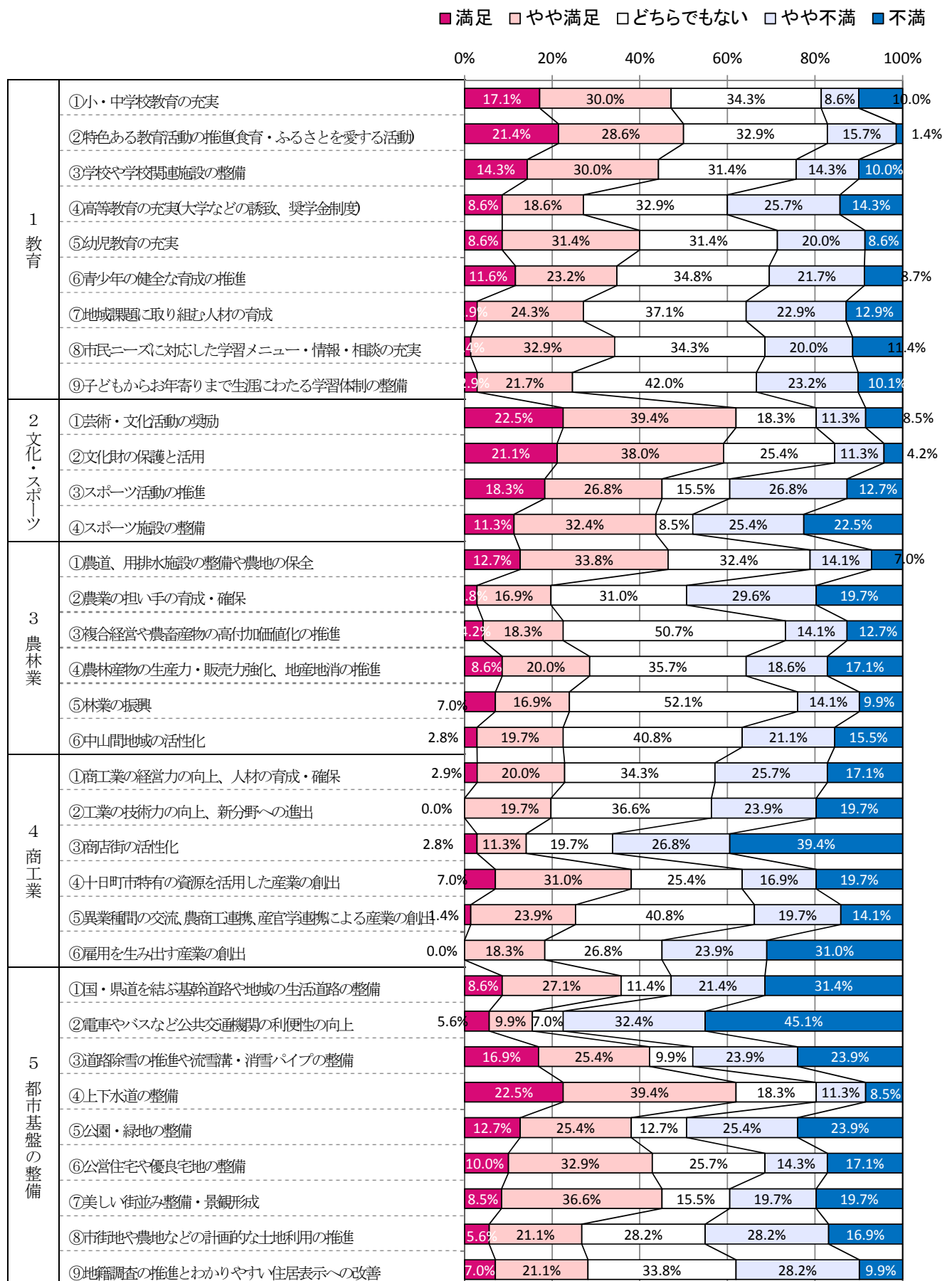
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満
0% 20% 40% 60% 80% 100%



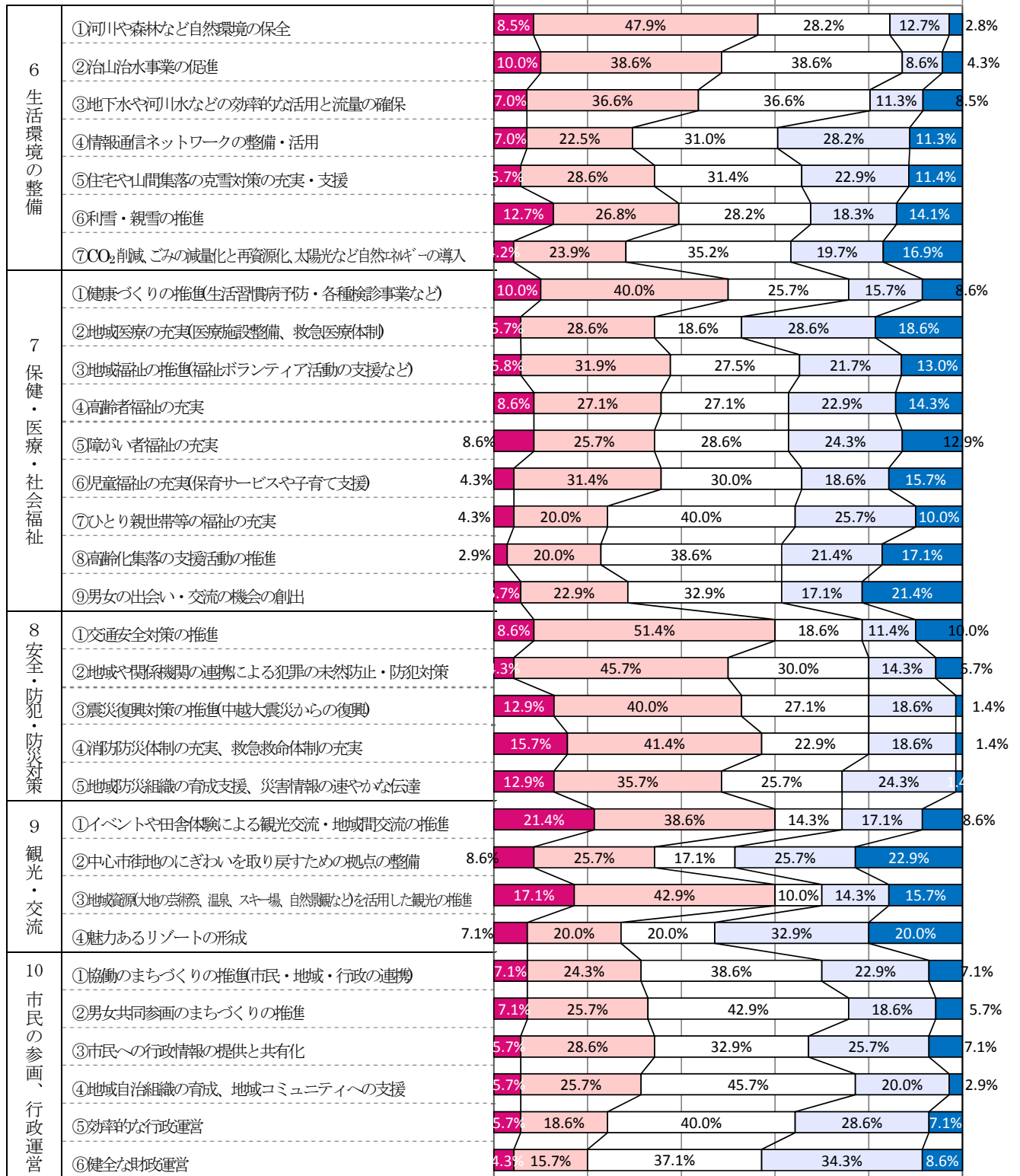
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

【年齢別集計】

1. 20歳代



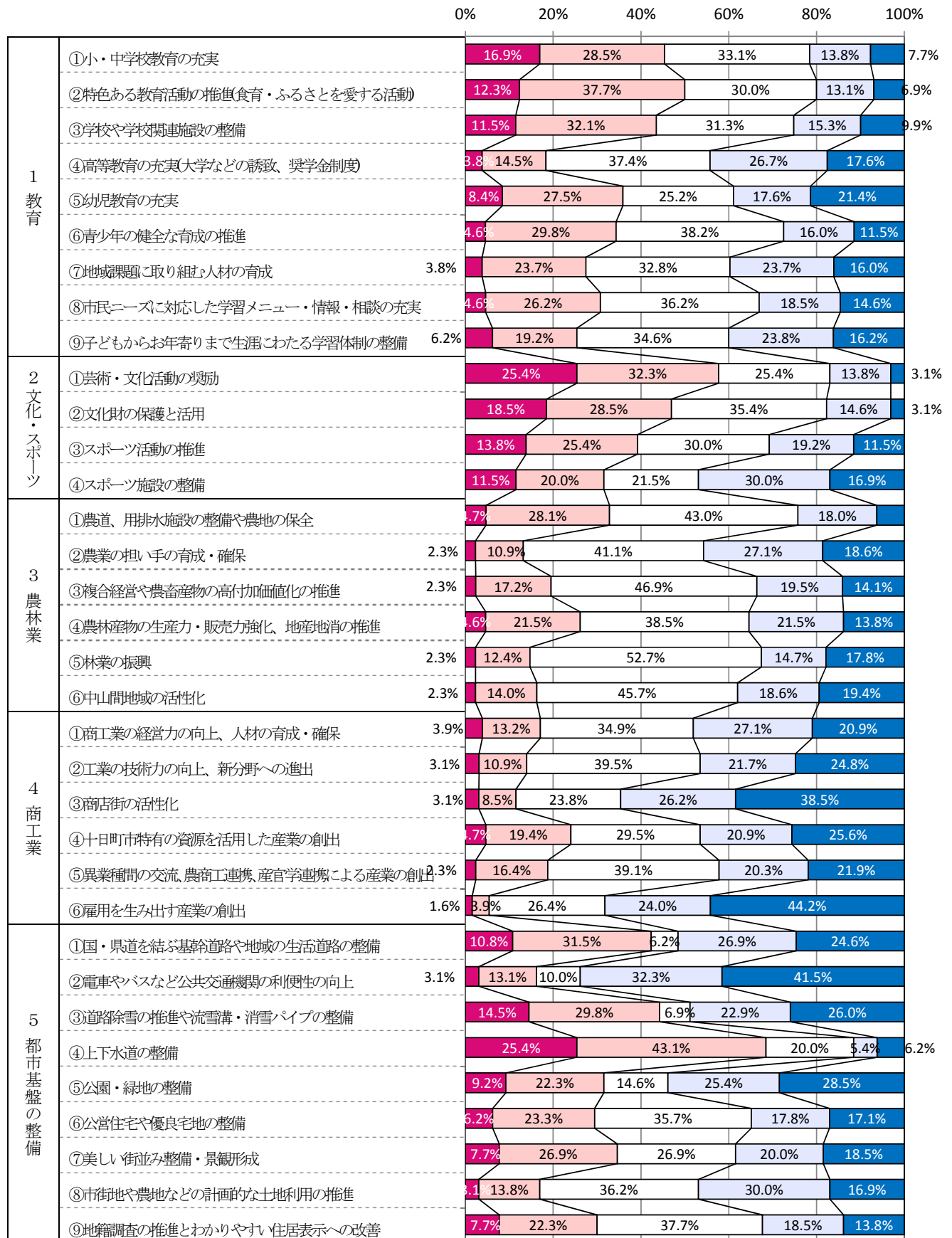
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満
0% 20% 40% 60% 80% 100%



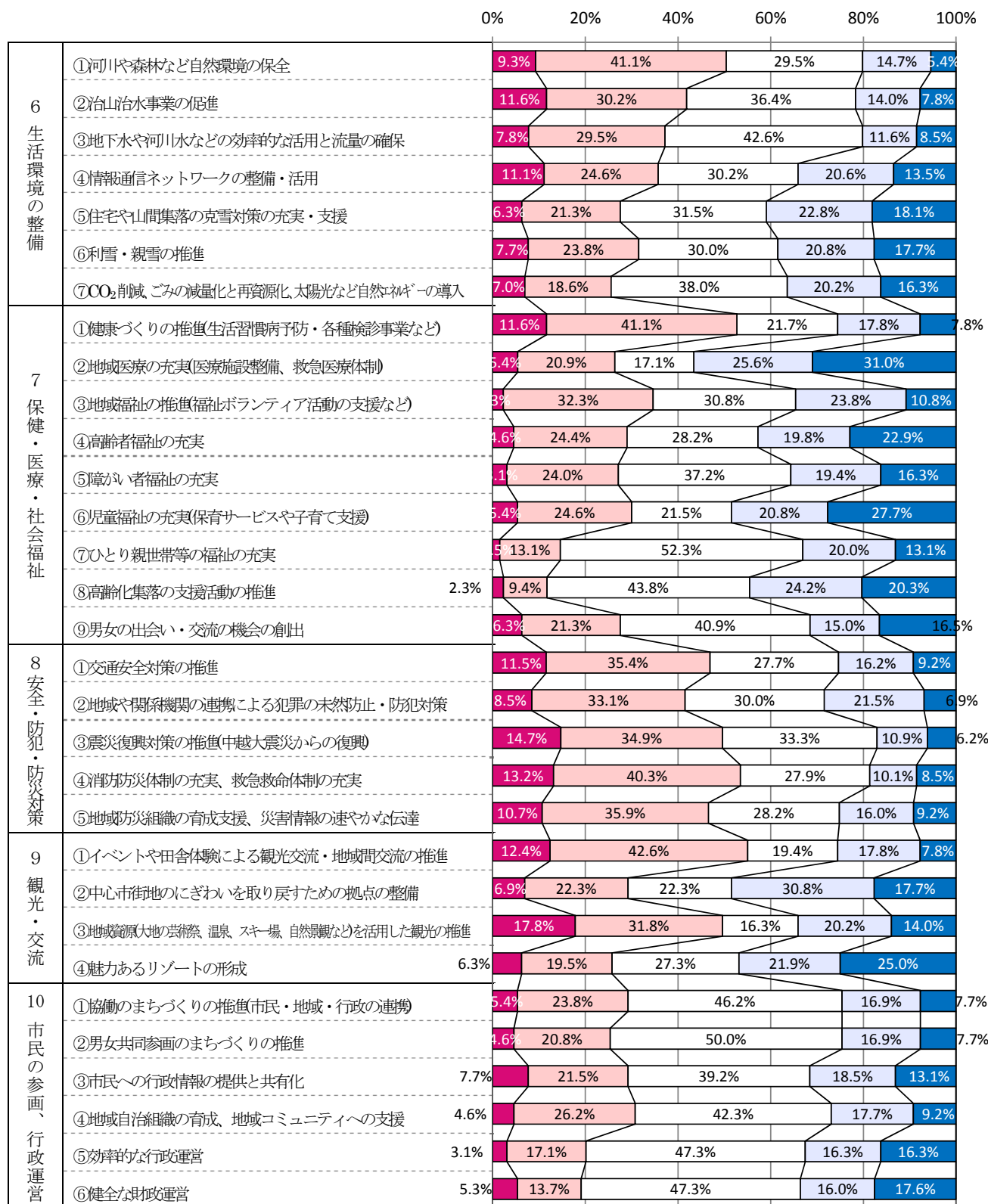
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

2. 30 歳代

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満

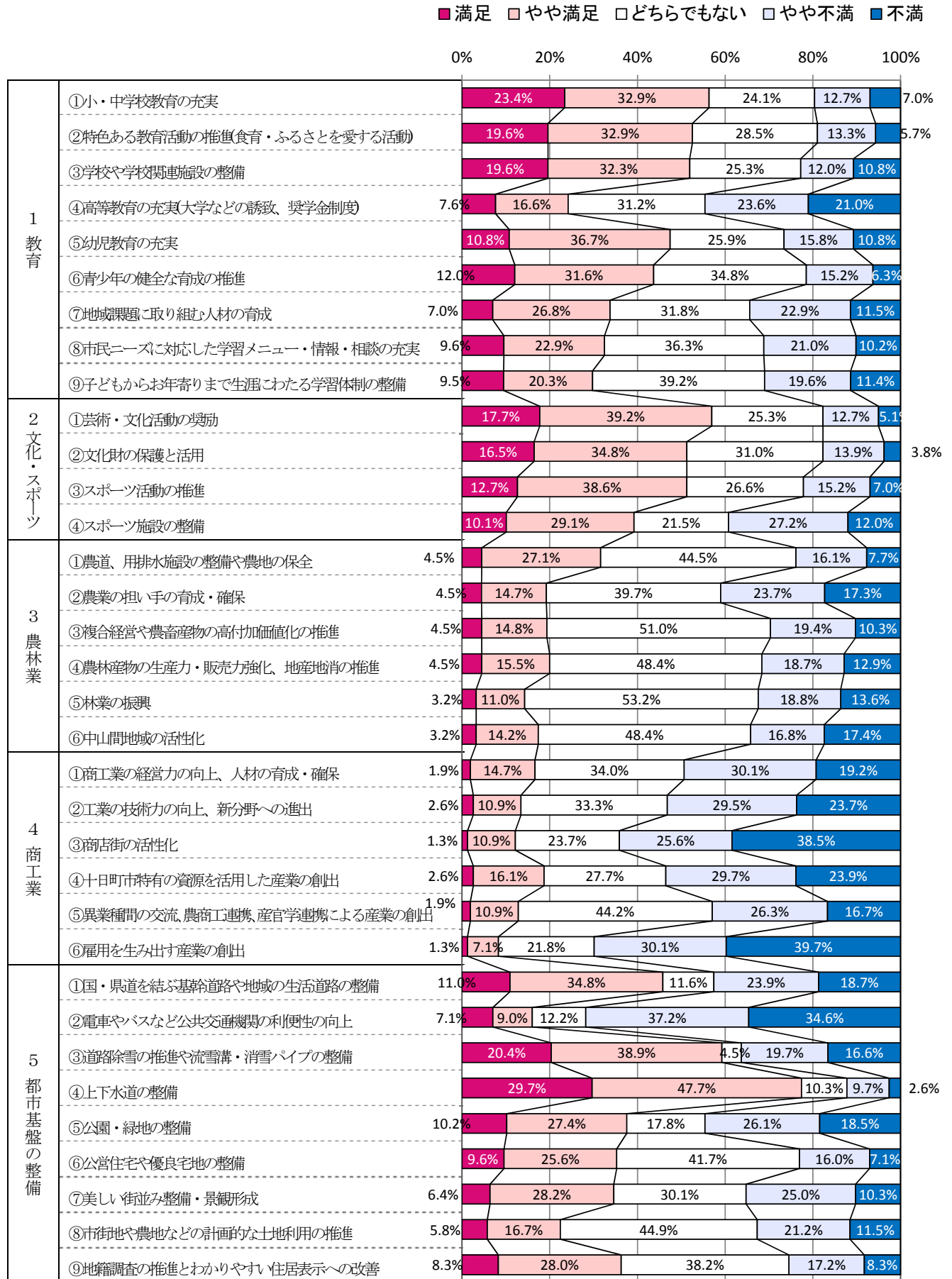


■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満

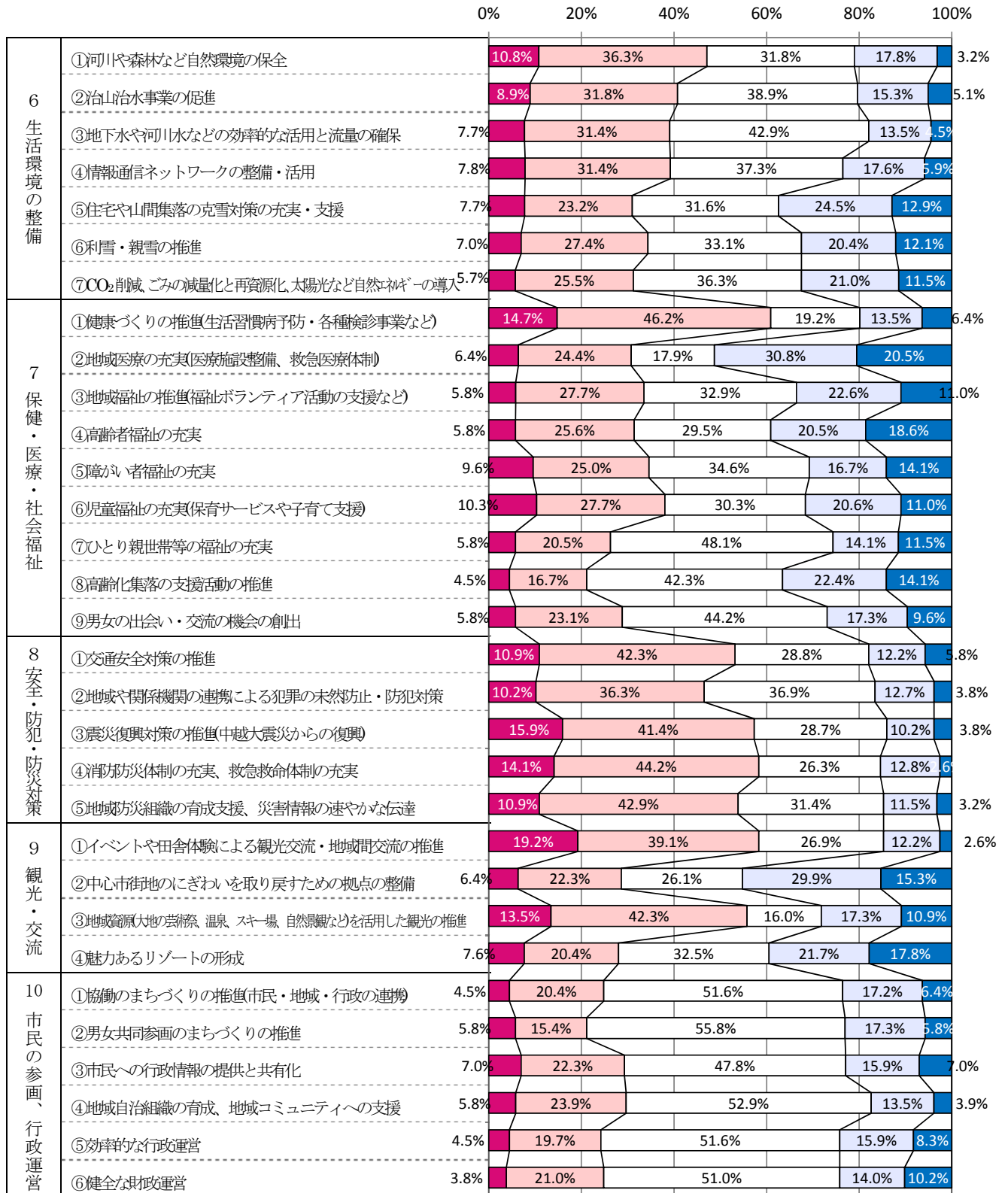


※ 上記の割合は、無効回答を含まない

3. 40 歳代



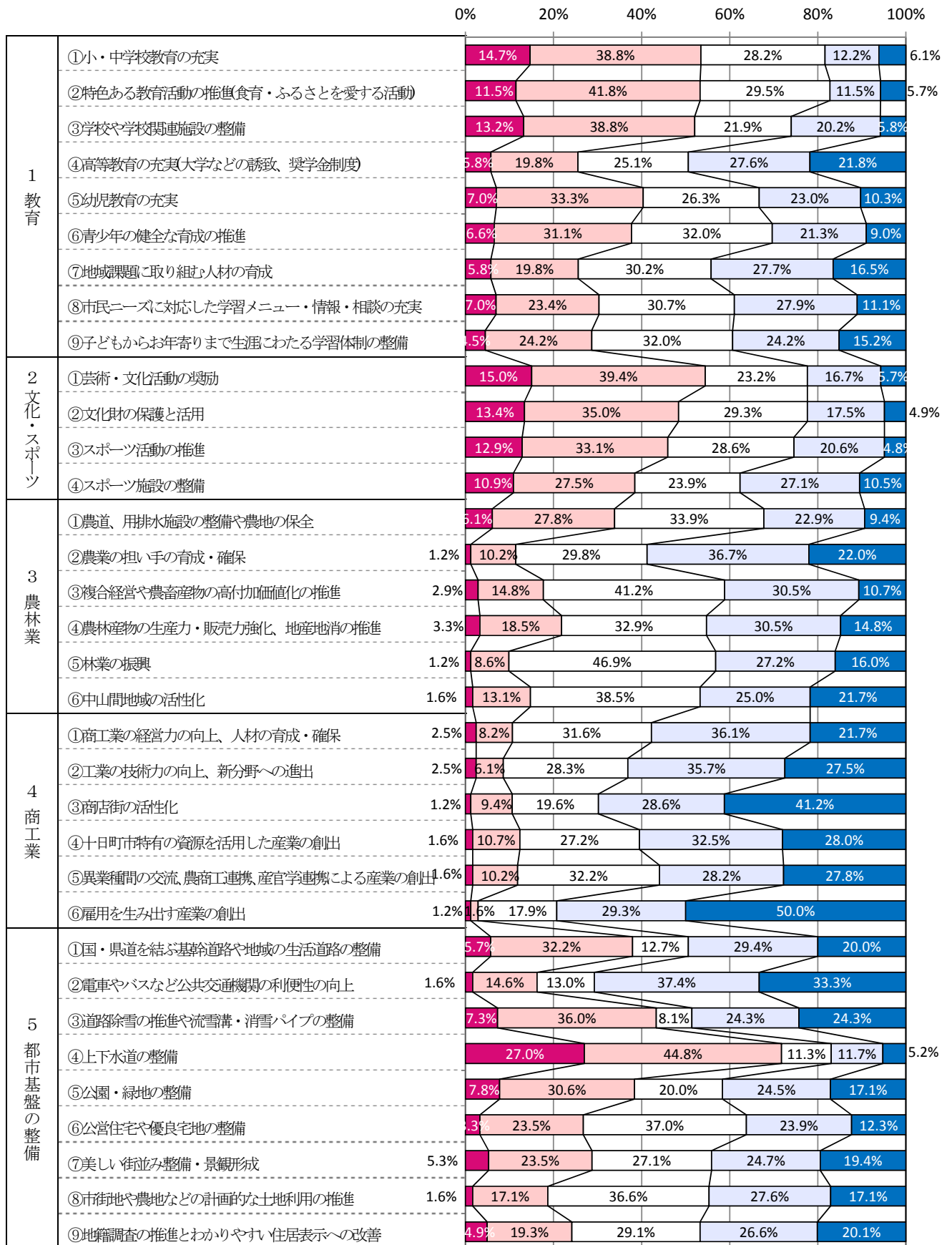
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



※ 上記の割合は、無効回答を含まない

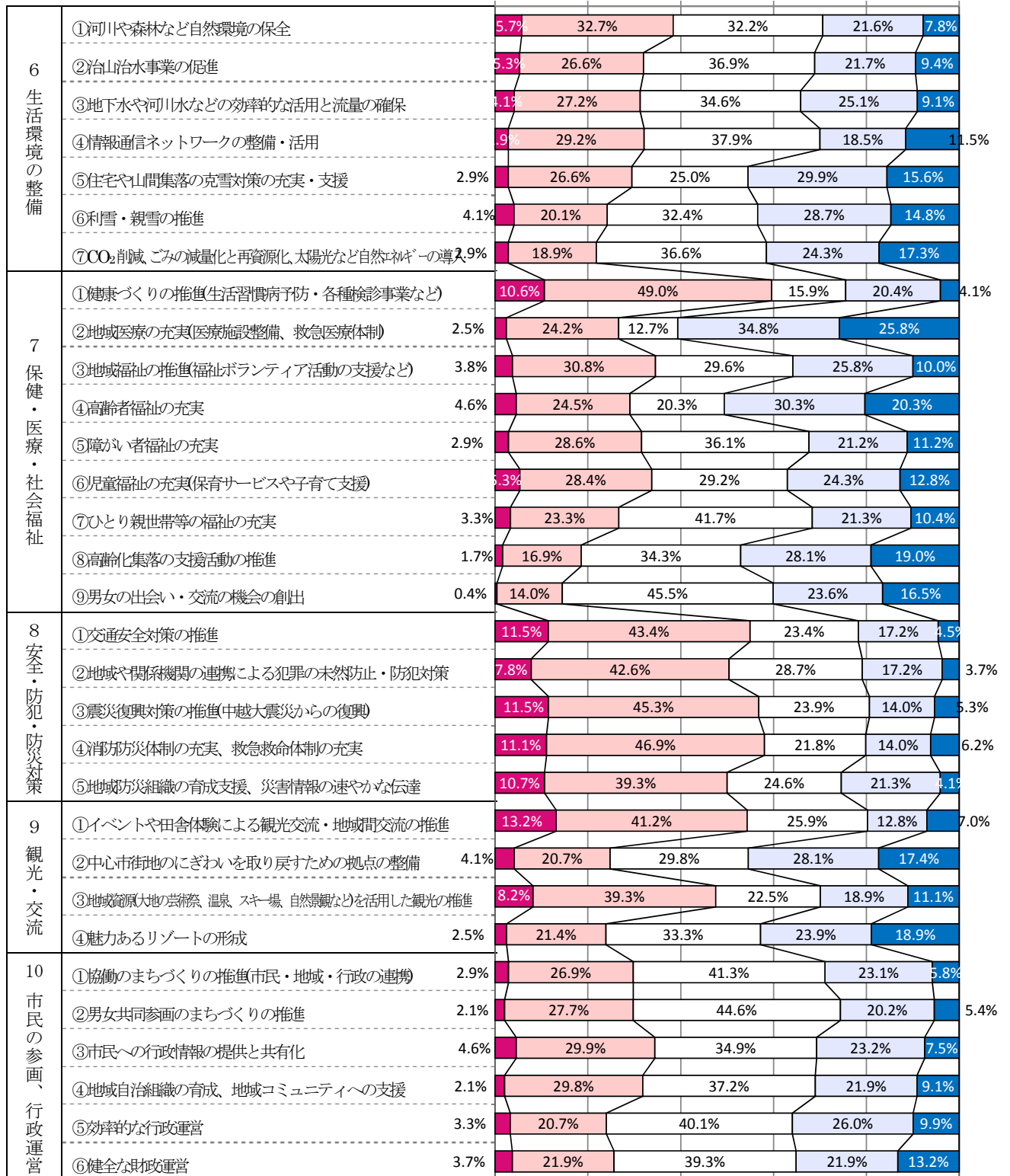
4. 50 歳代

■ 満足 □ やや満足 □ どちらでもない □ やや不満 ■ 不満



■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満

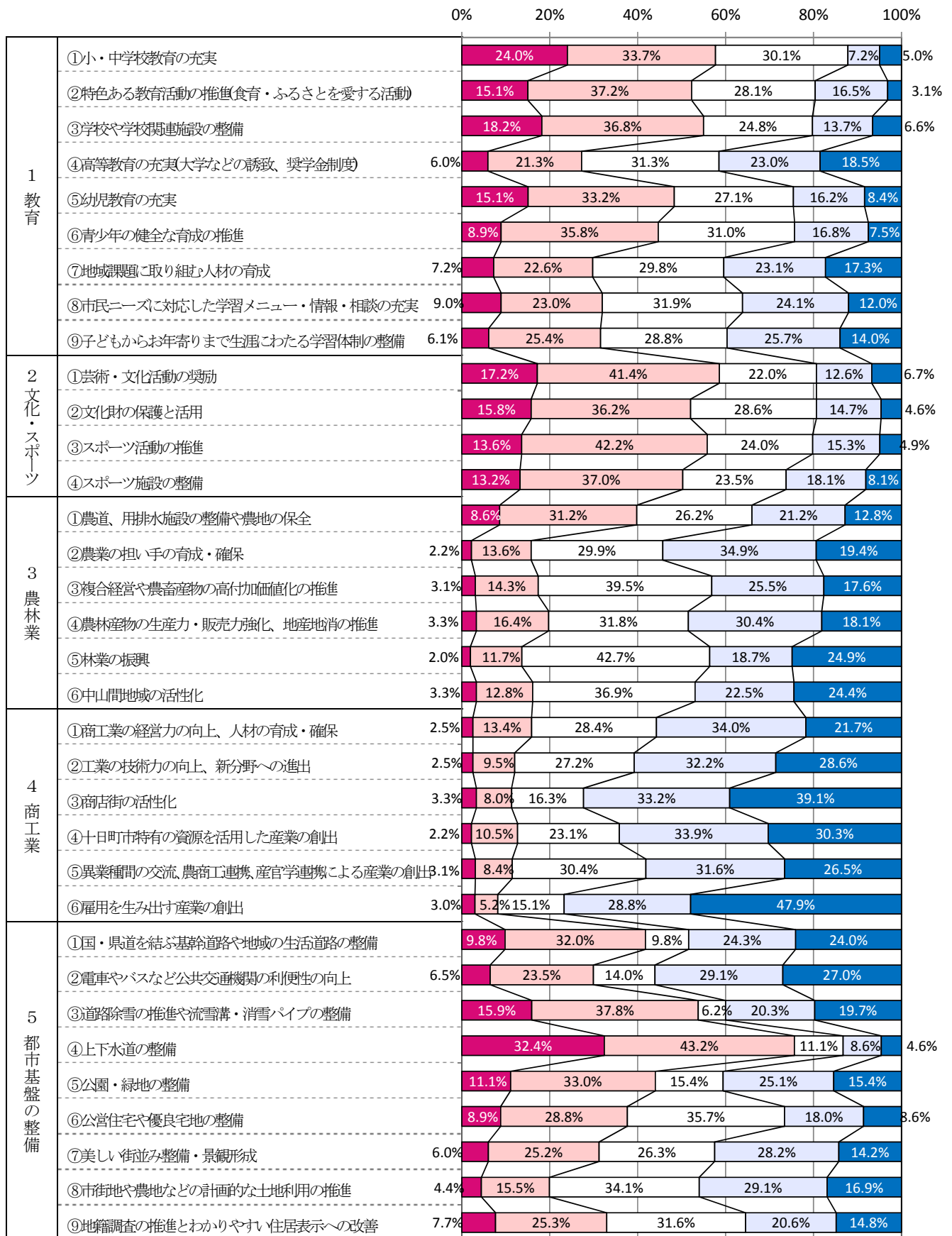
0% 20% 40% 60% 80% 100%



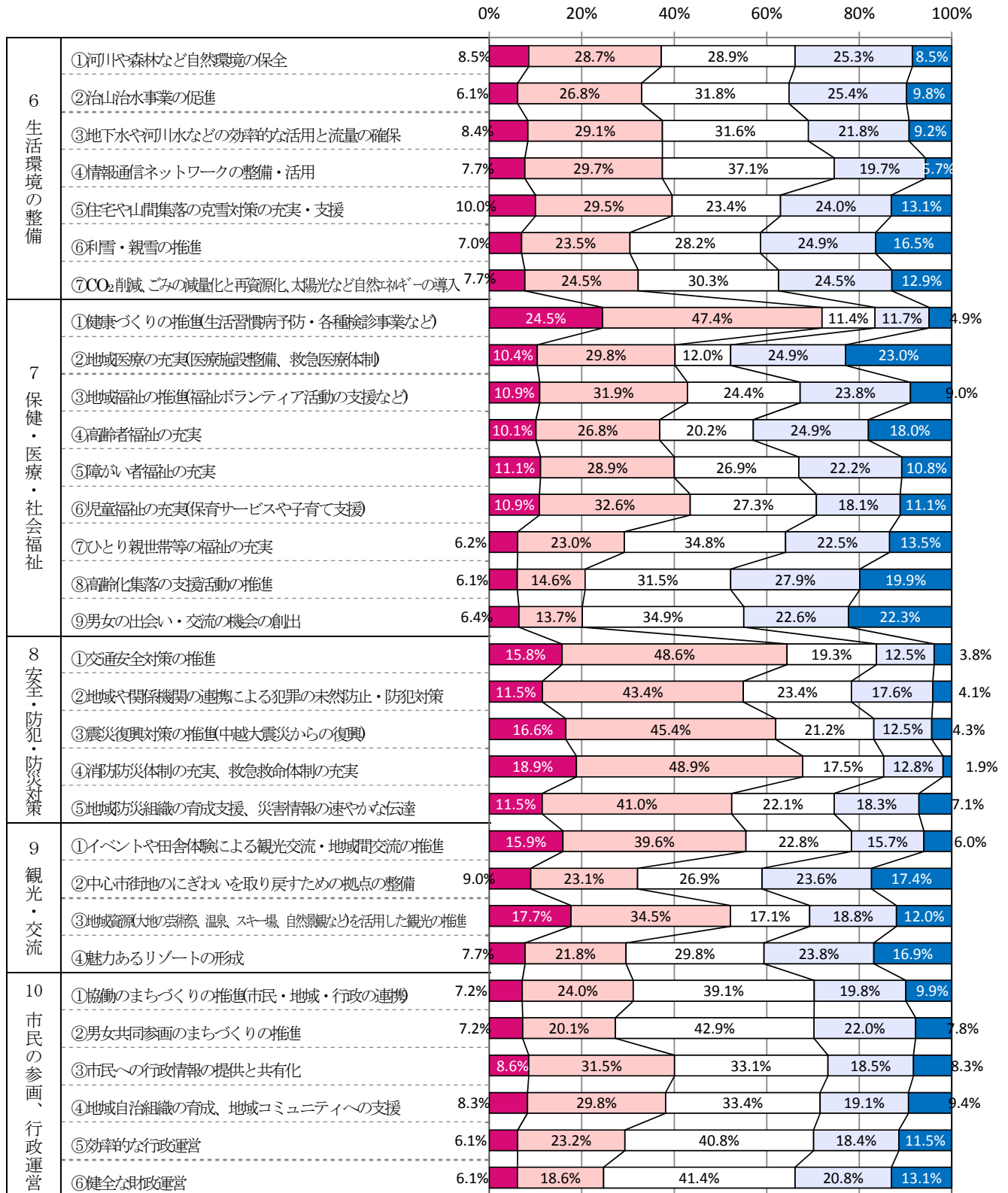
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

5. 60 歳代

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



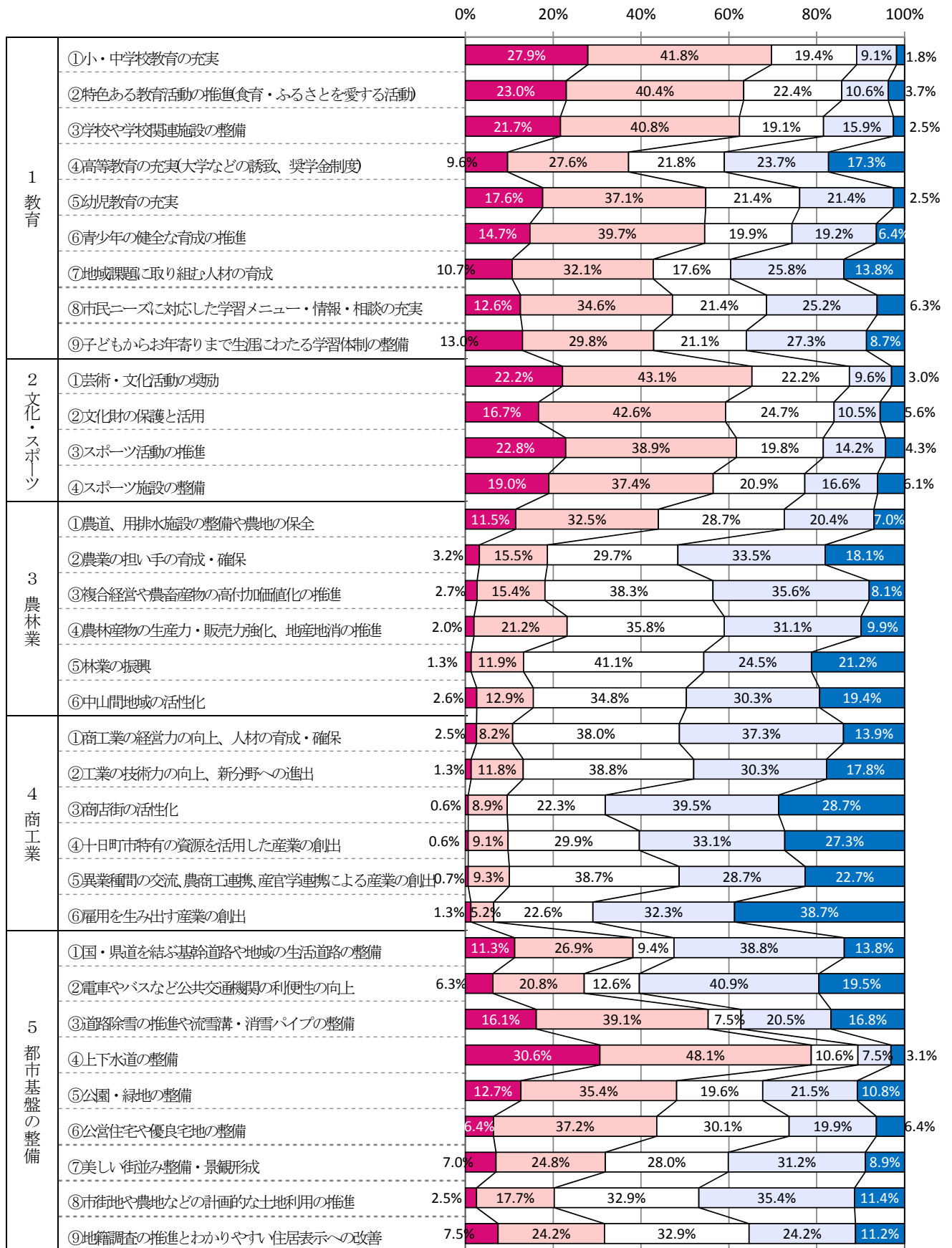
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



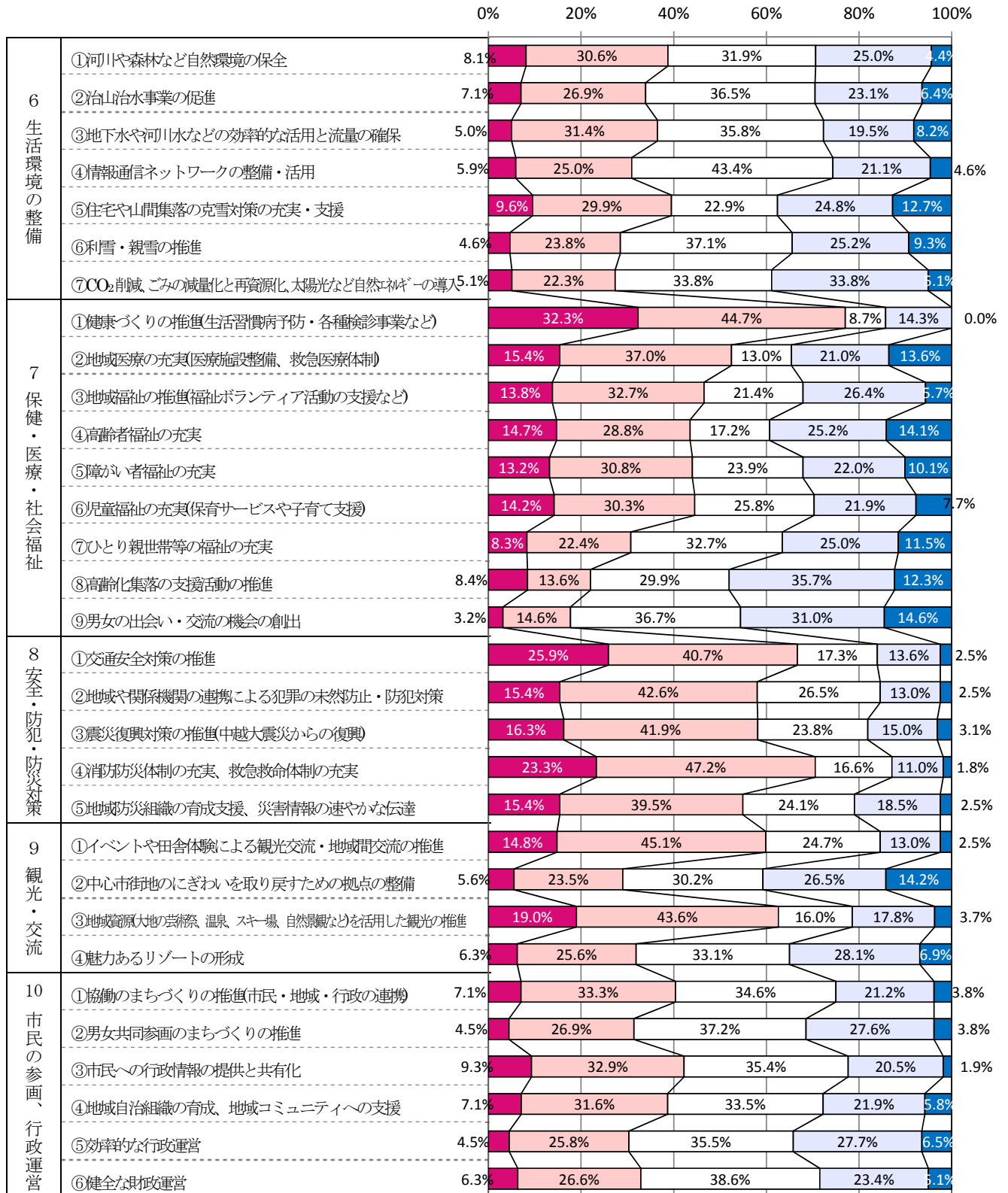
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

6. 70 歳代

■ 満足 □ やや満足 □ どちらでもない □ やや不満 ■ 不満



■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



※ 上記の割合は、無効回答を含まない

【年齢別集計】

特に年齢により満足度に違いが見られた項目（その1）

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



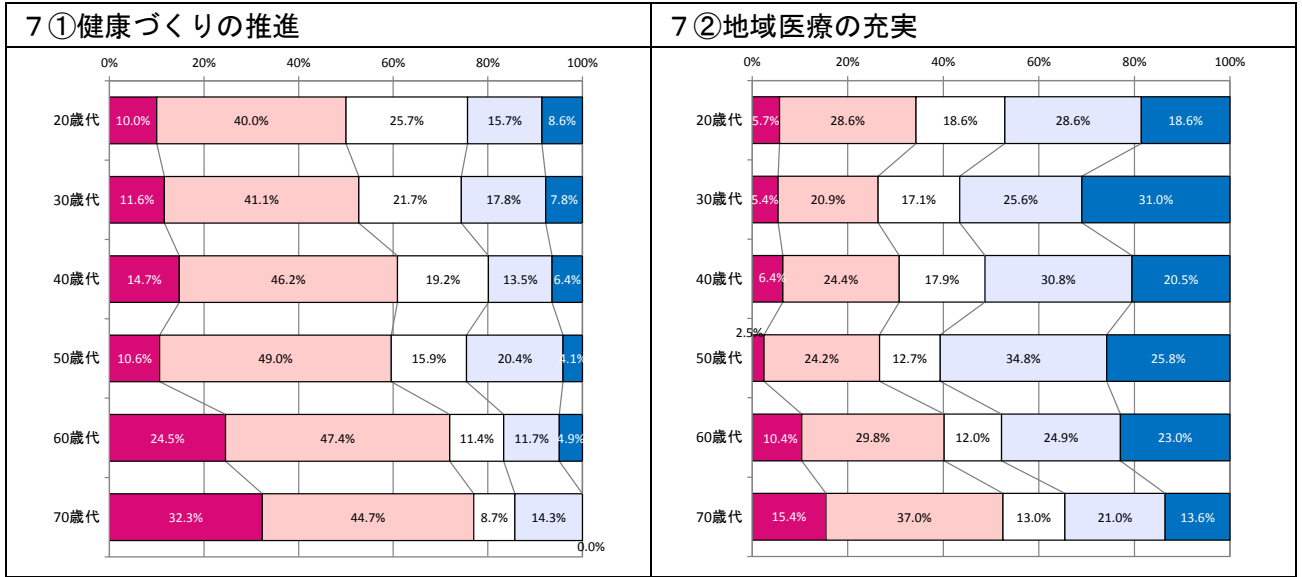
特に年齢により満足度に違いが見られた項目（その2）

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



特に年齢により満足度に違いが見られた項目（その3）

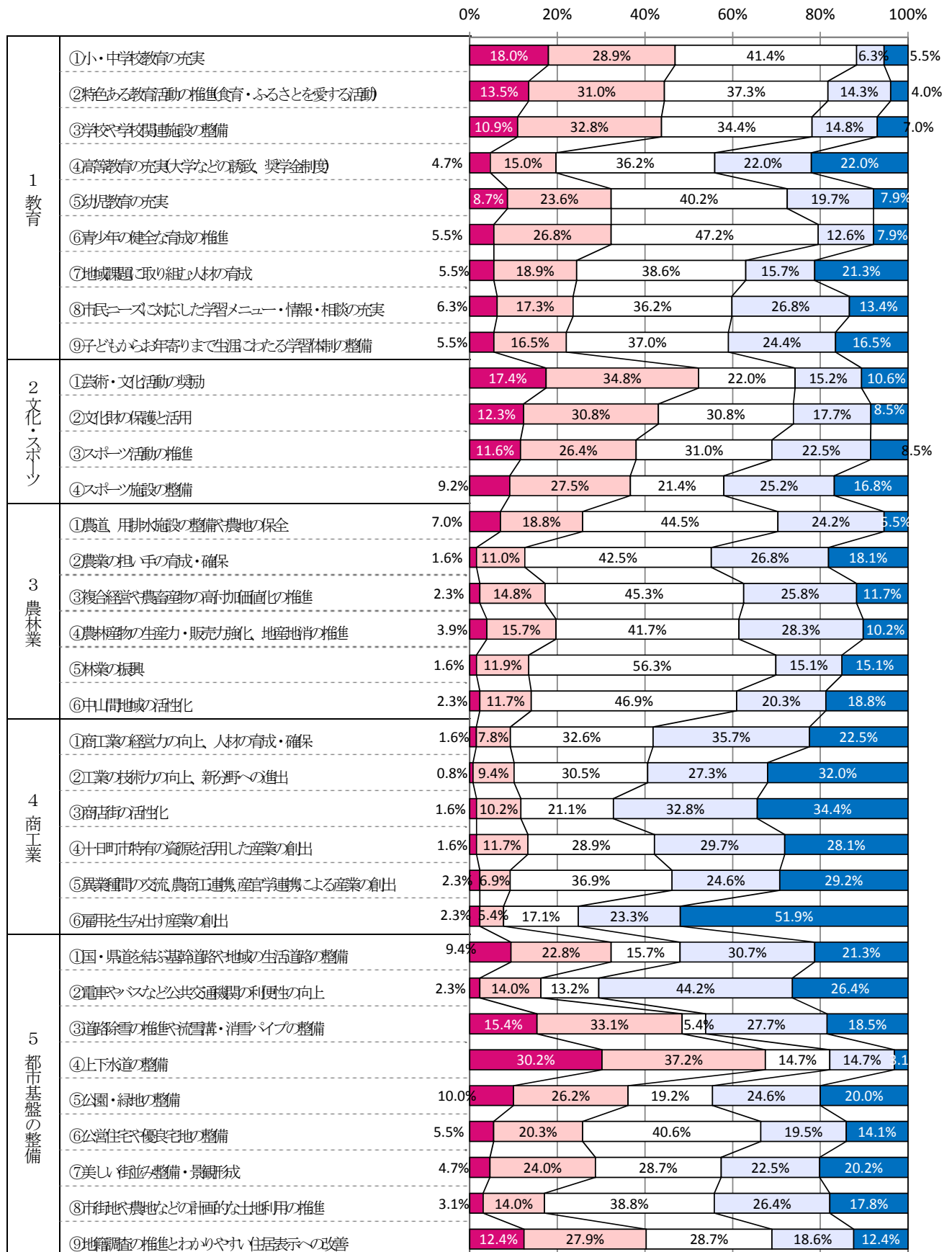
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



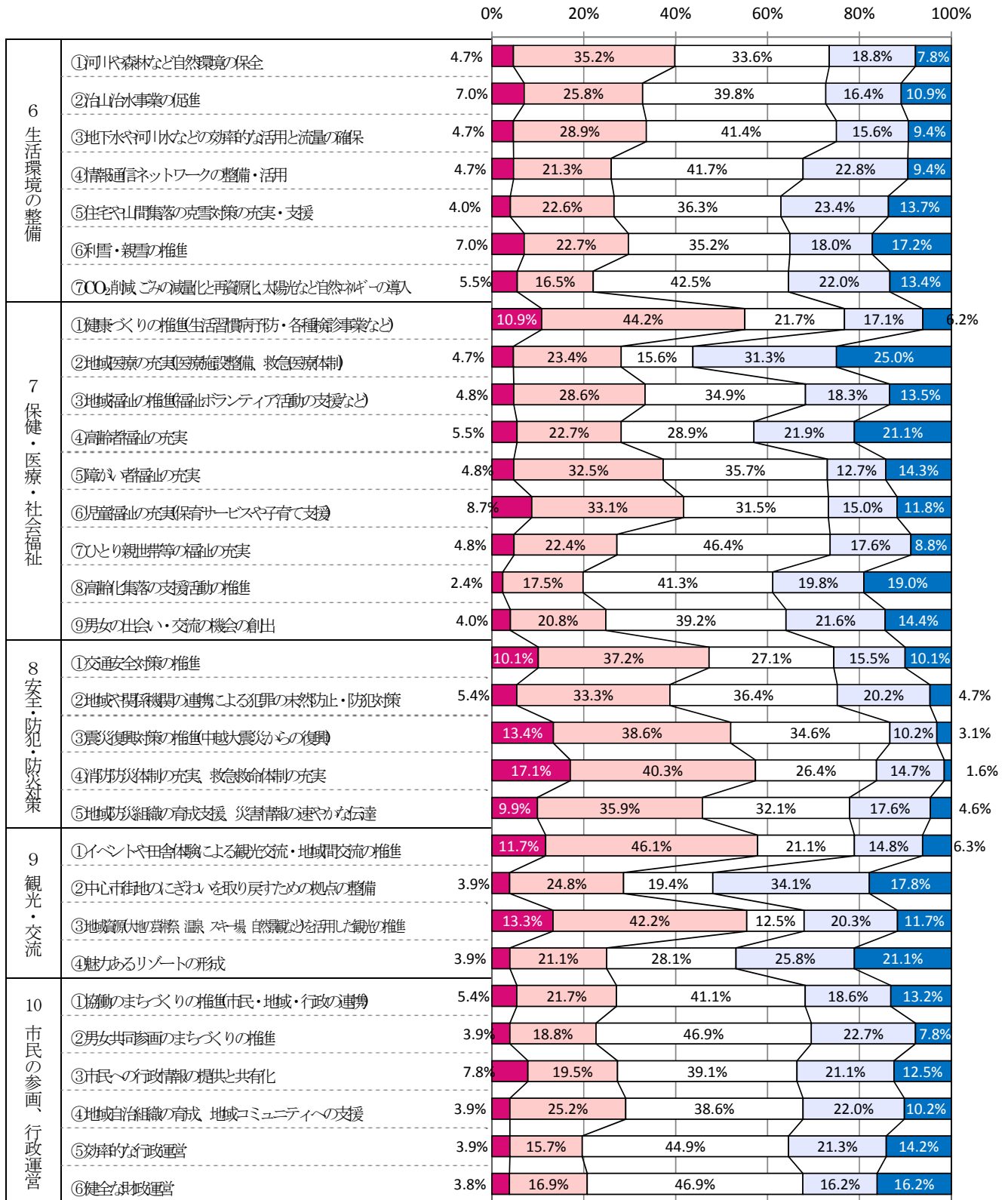
【地域別集計】

1. 十日町（十日町中学校区）

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



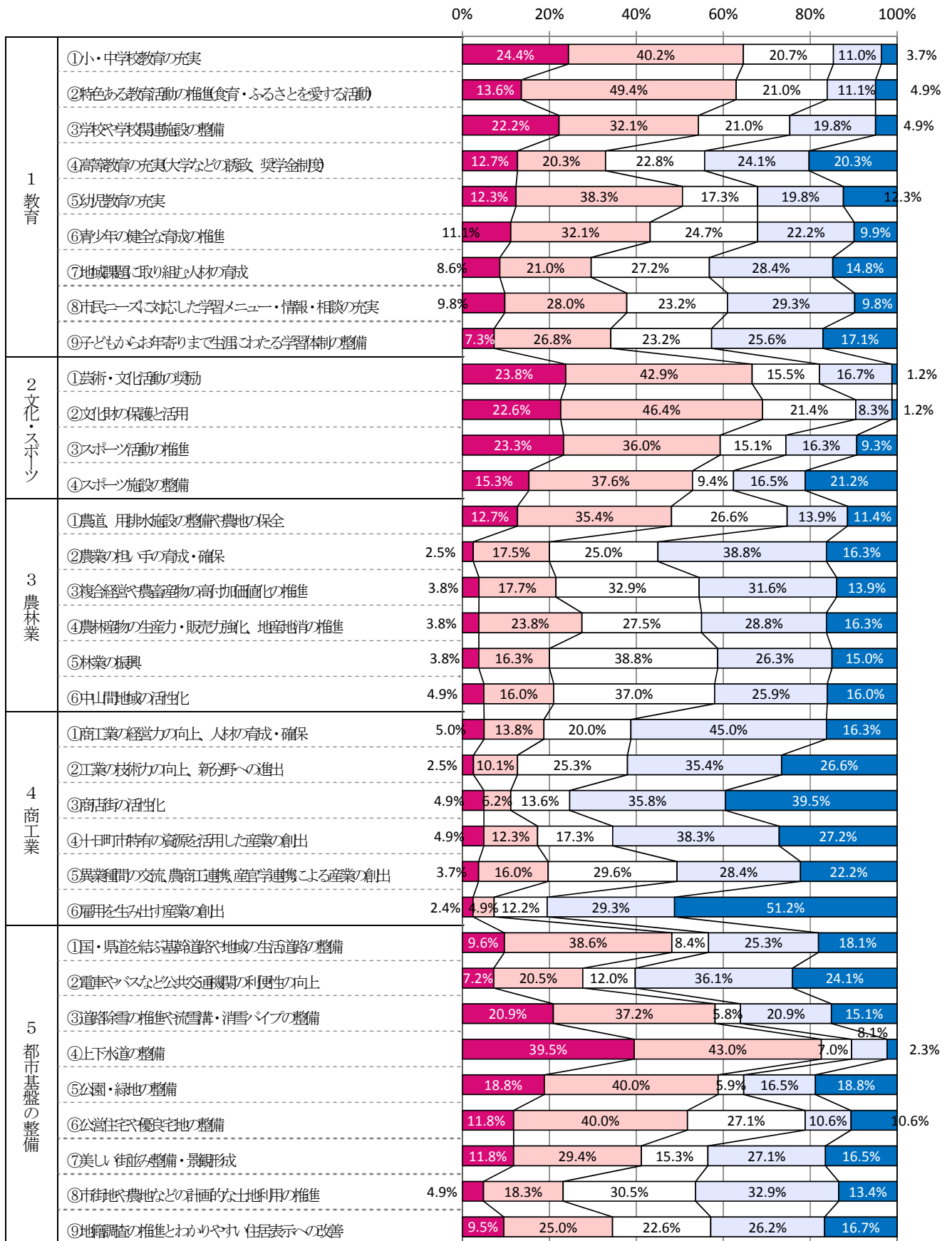
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



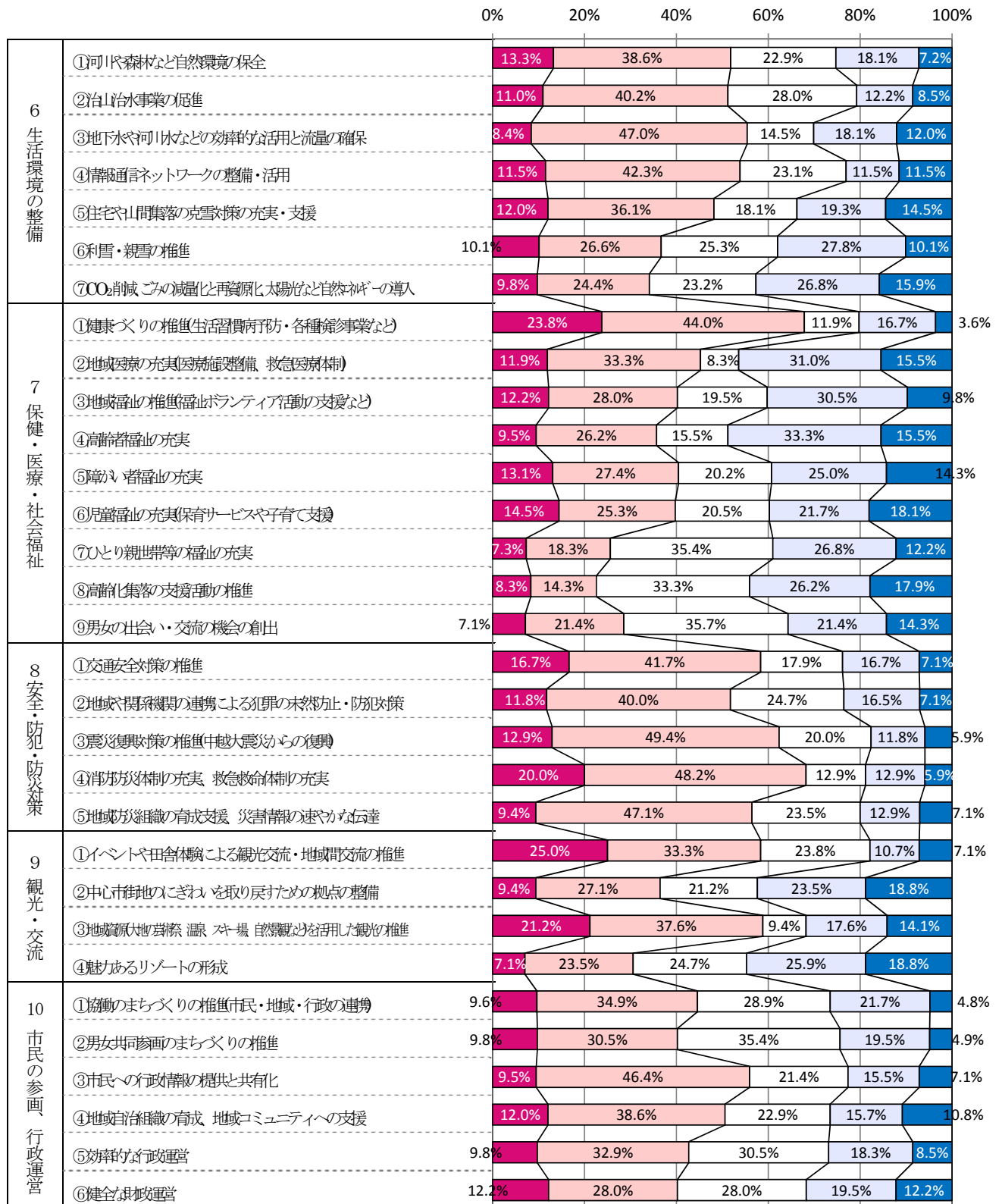
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

2. 高山（西小学校区の南部）

■ 満足 □ やや満足 □ どちらでもない □ やや不満 ■ 不満



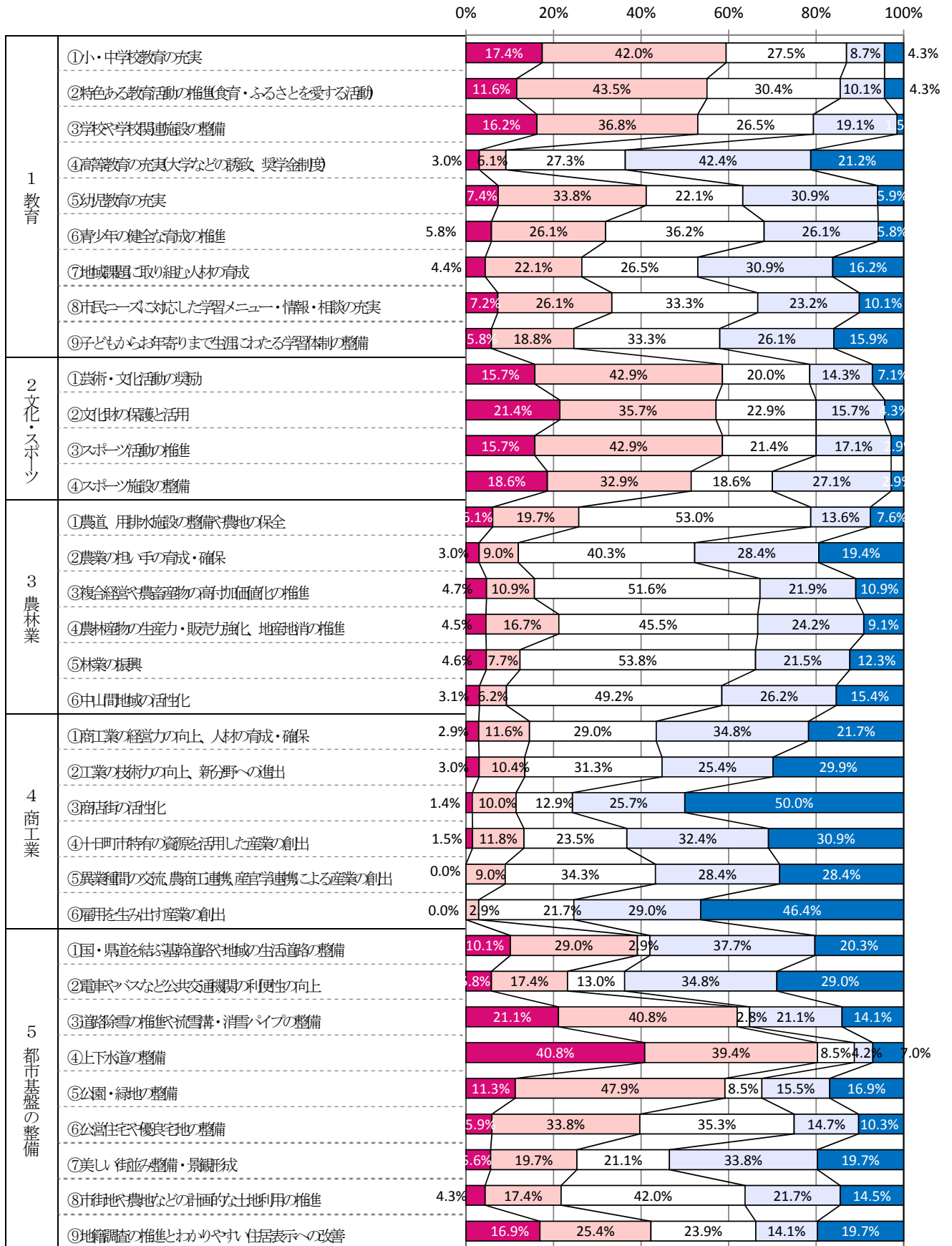
■ 満足 □ やや満足 □ どちらでもない □ やや不満 ■ 不満



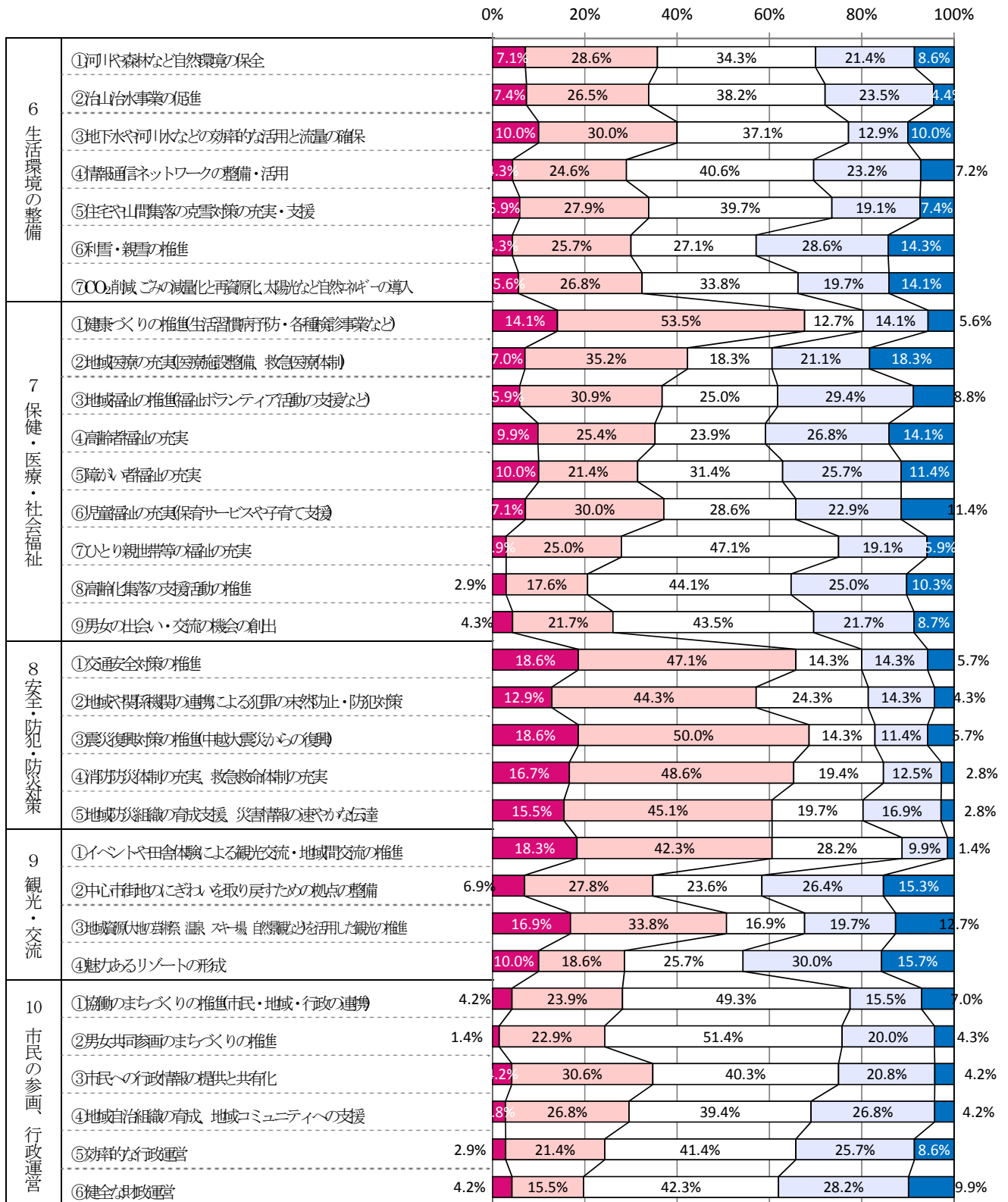
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

3. 西部（西小学校区の北部）

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



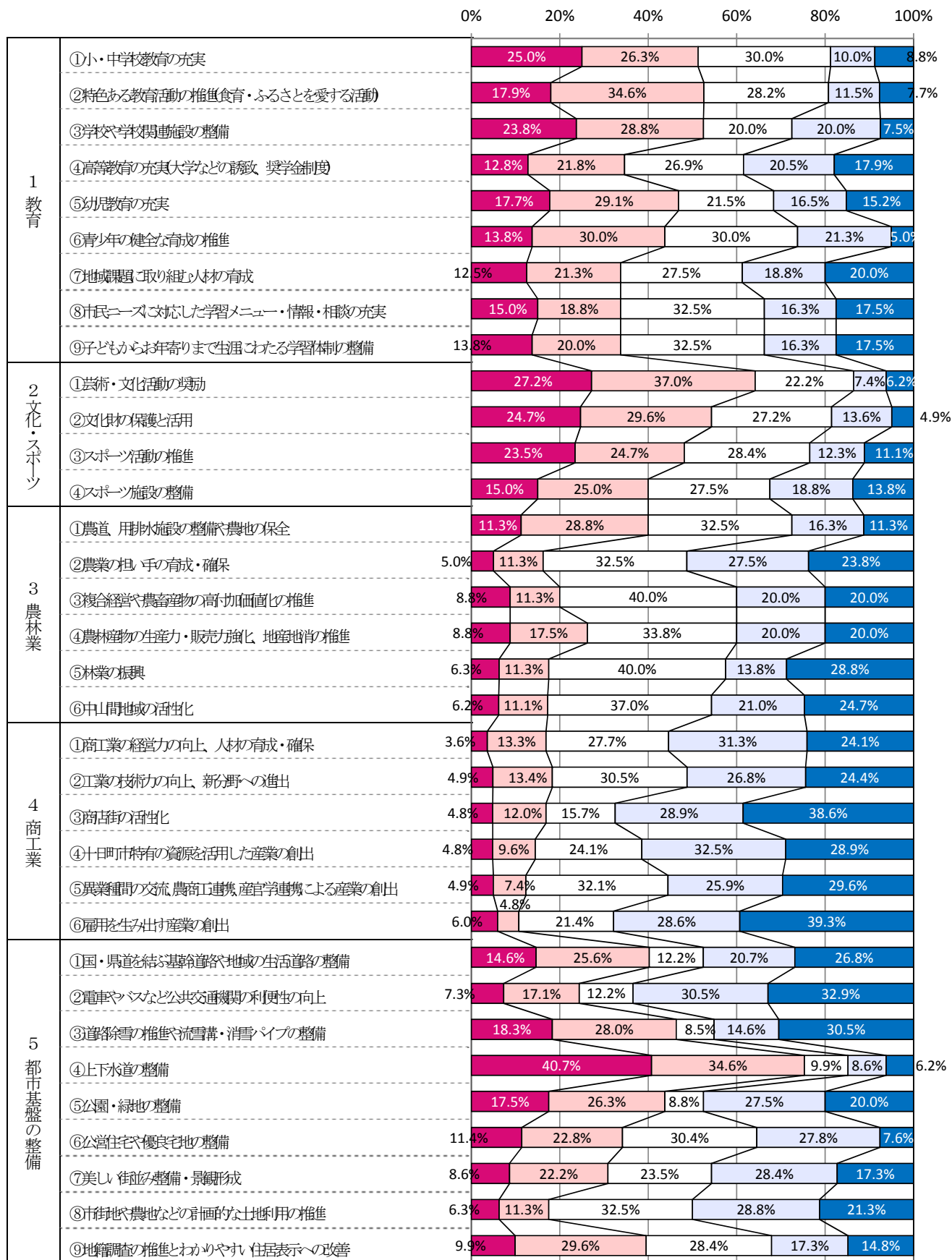
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



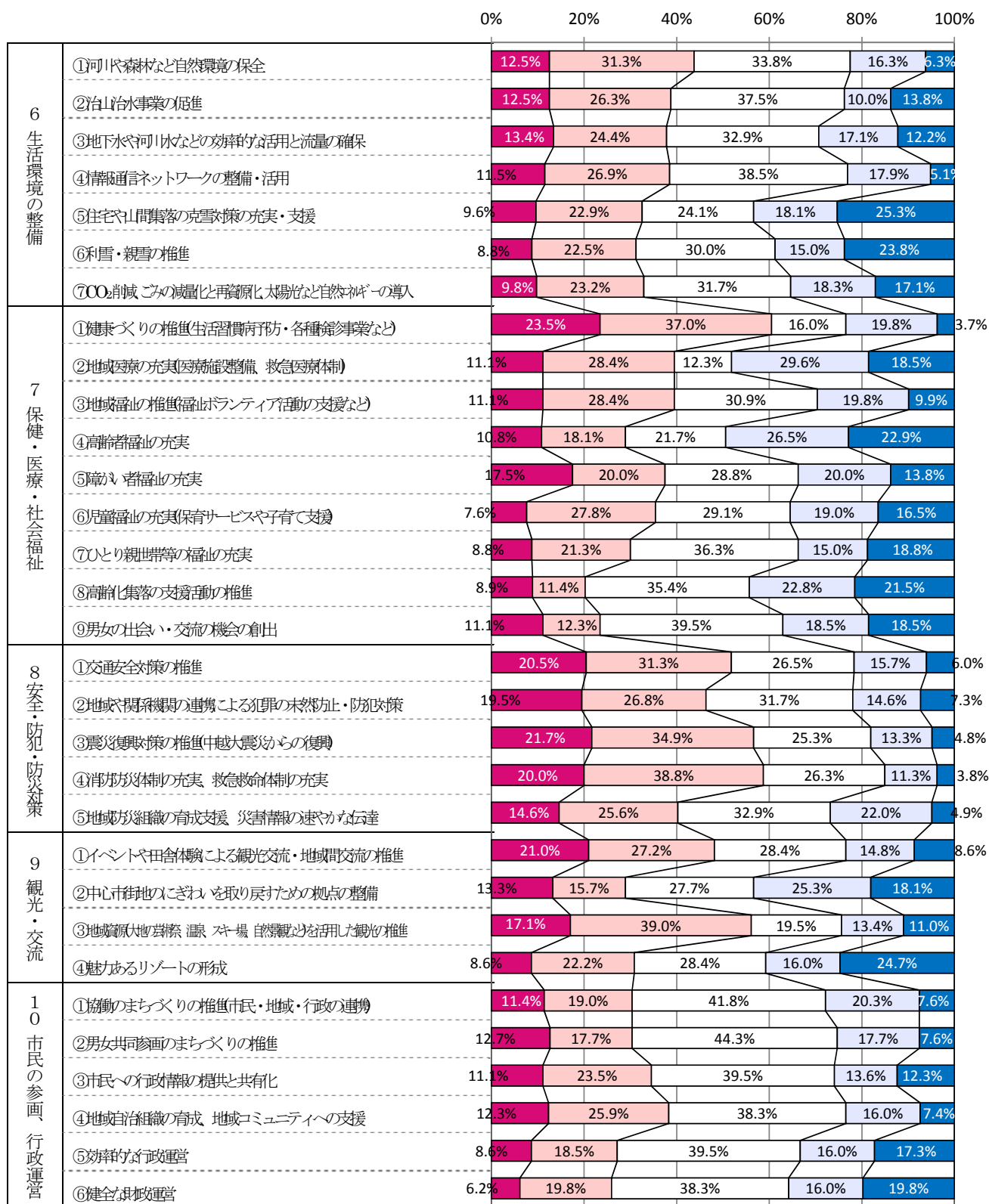
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

4. 川治・六箇

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



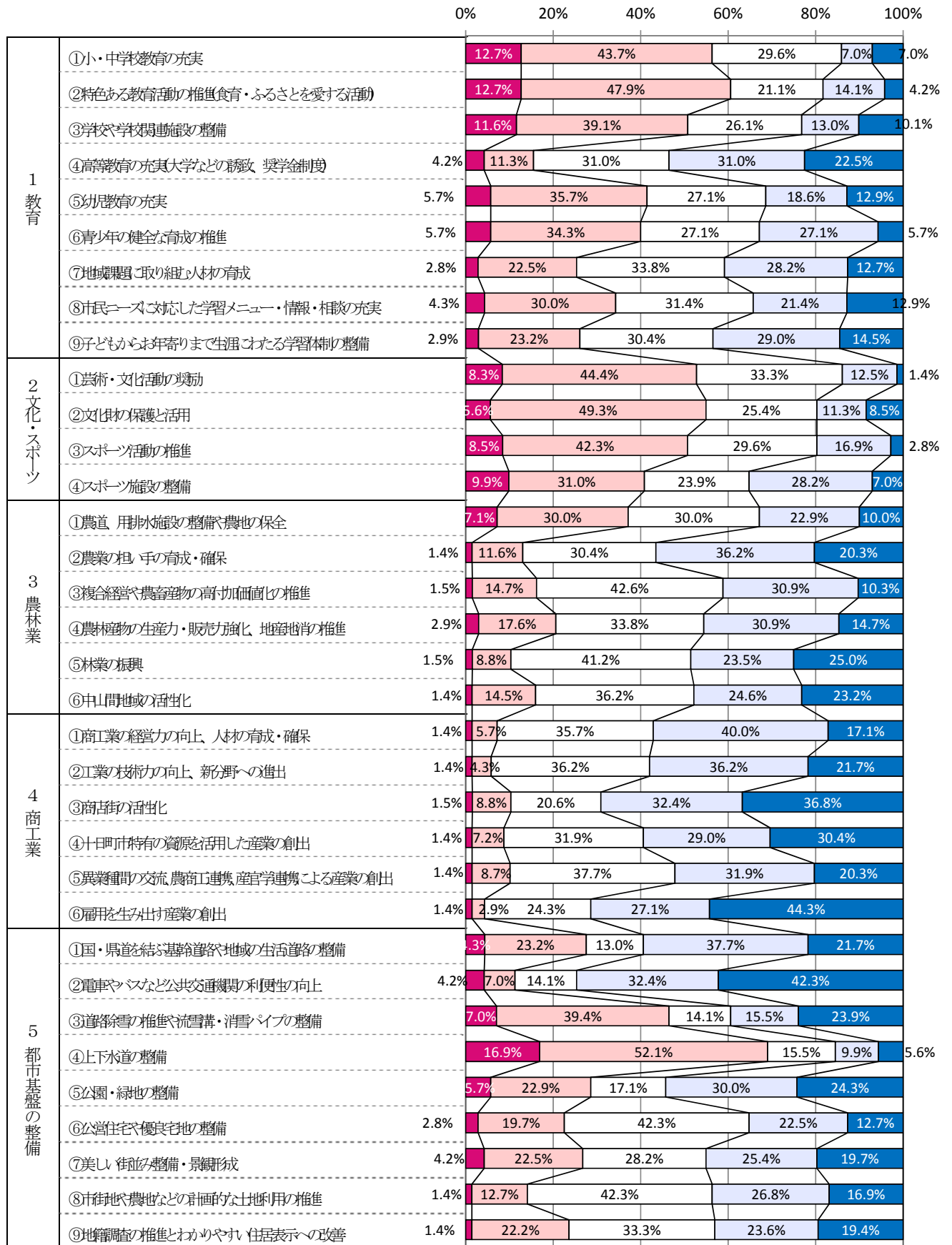
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



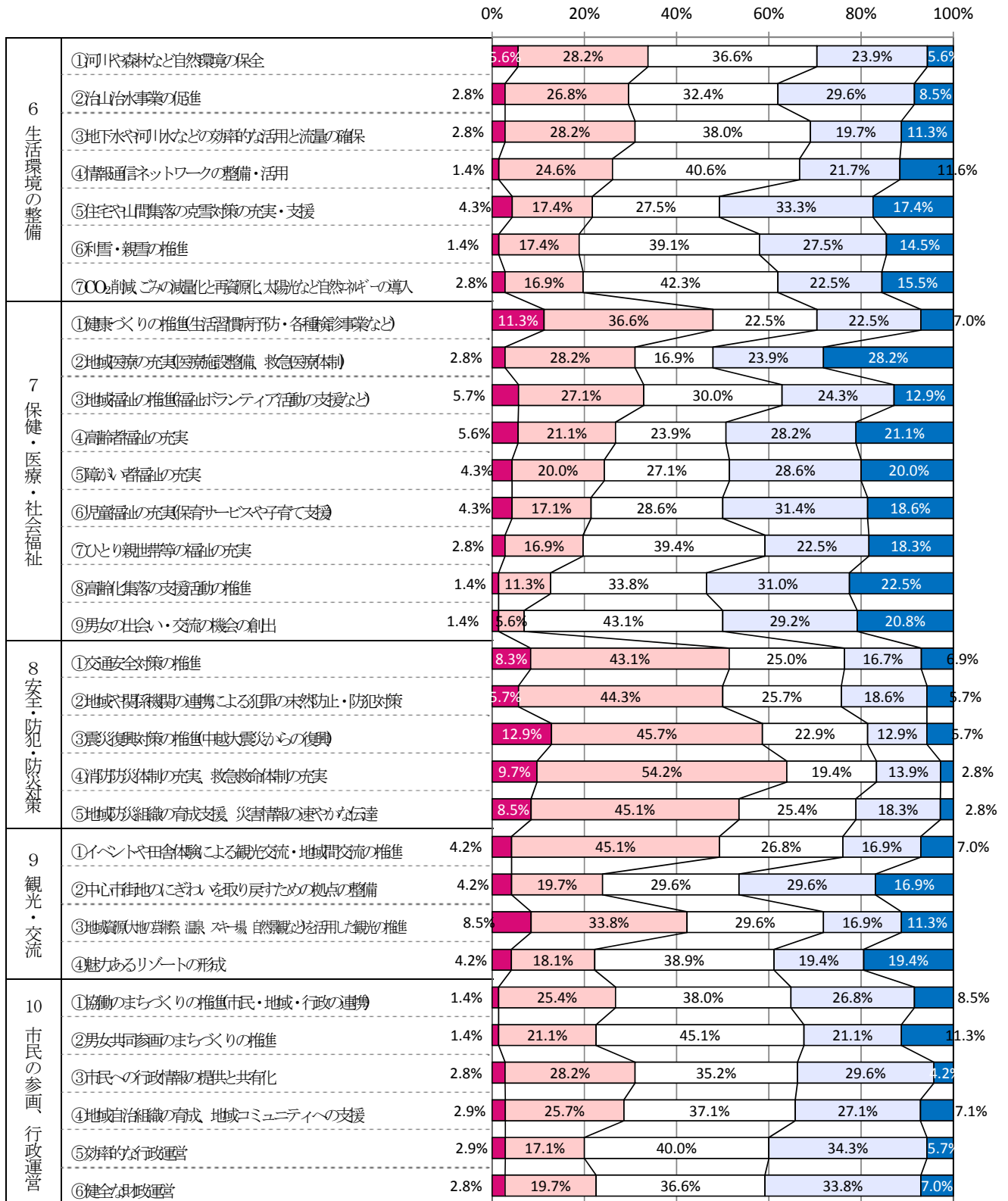
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

5. 中条・飛渡

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



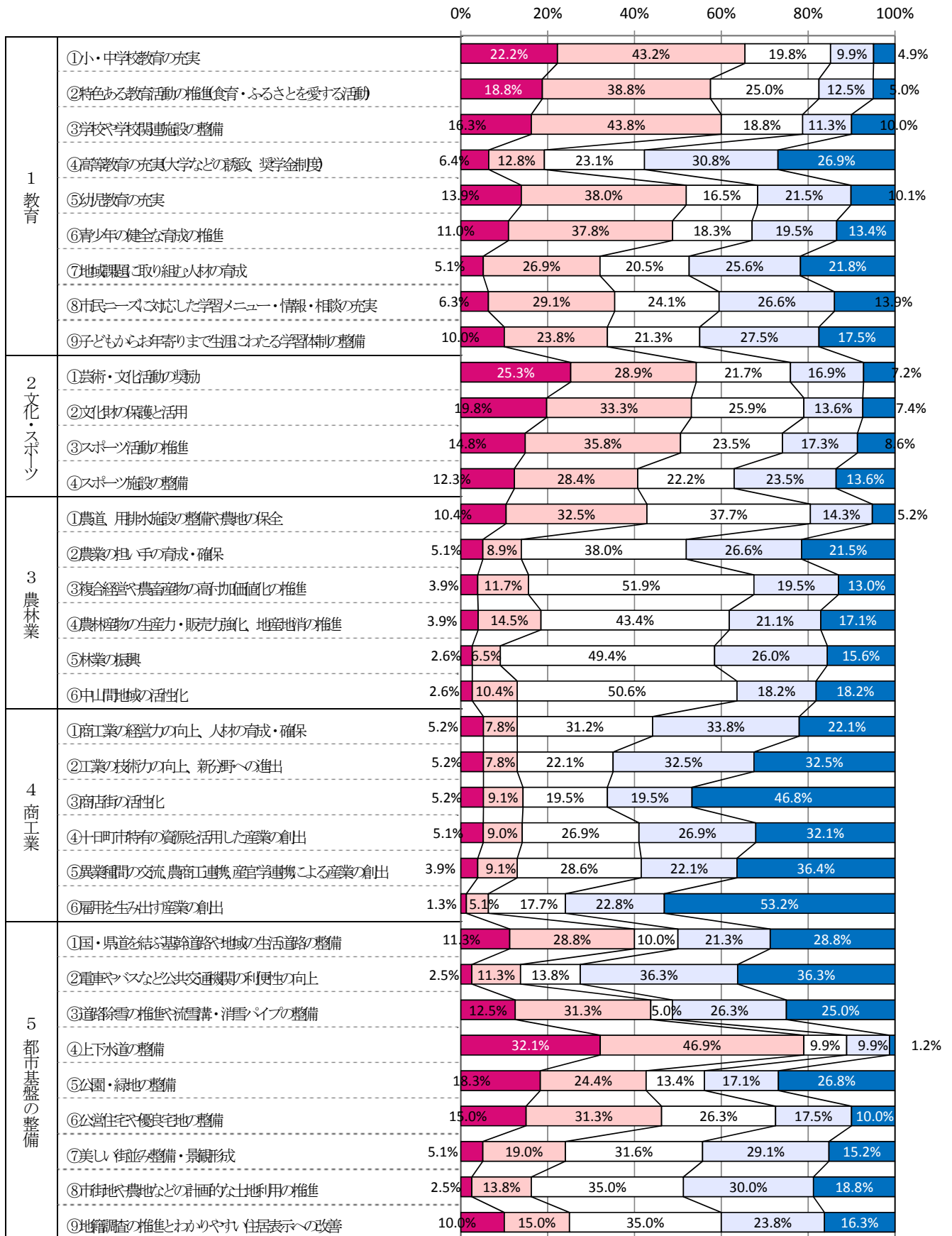
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



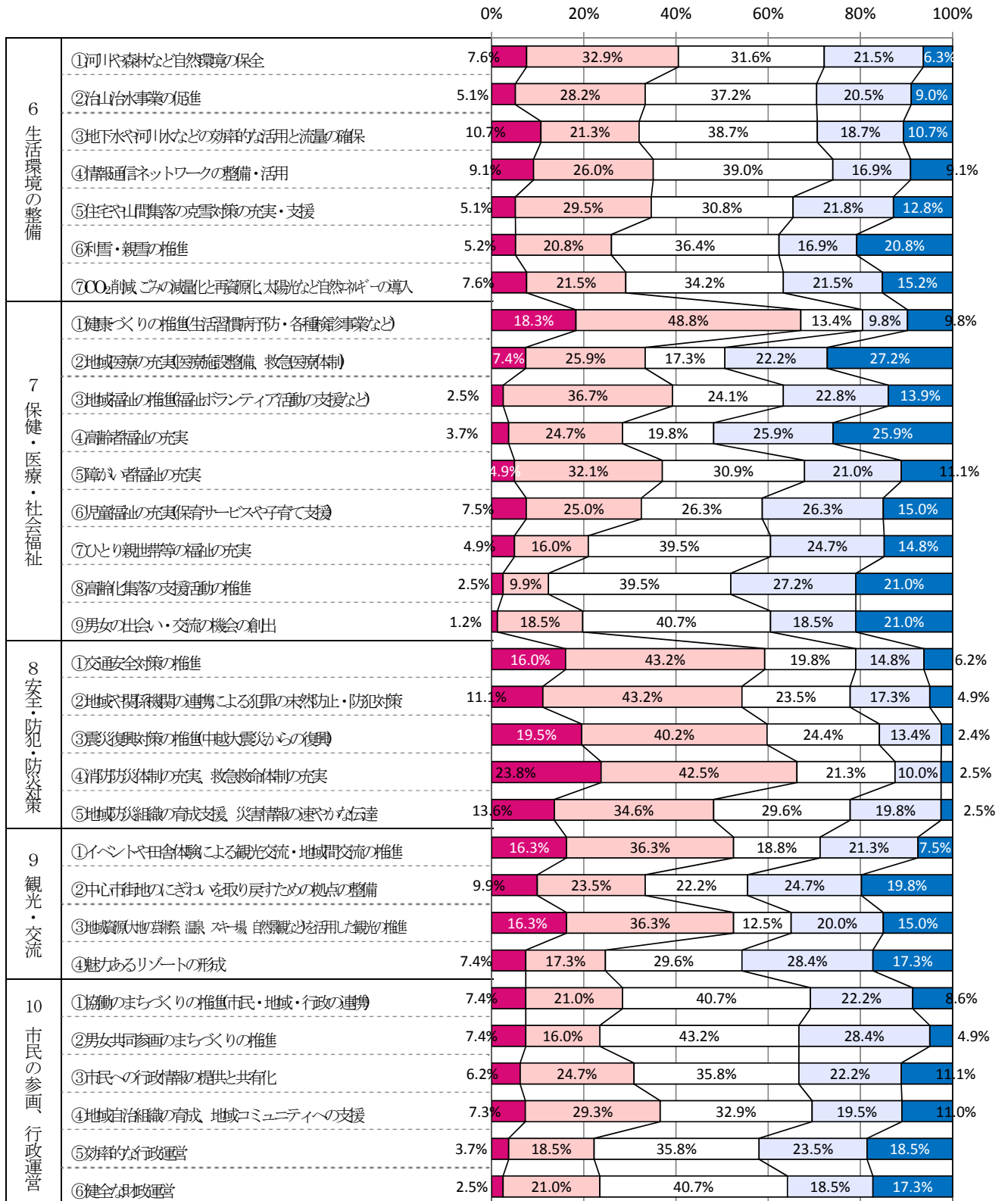
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

6. 大井田

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



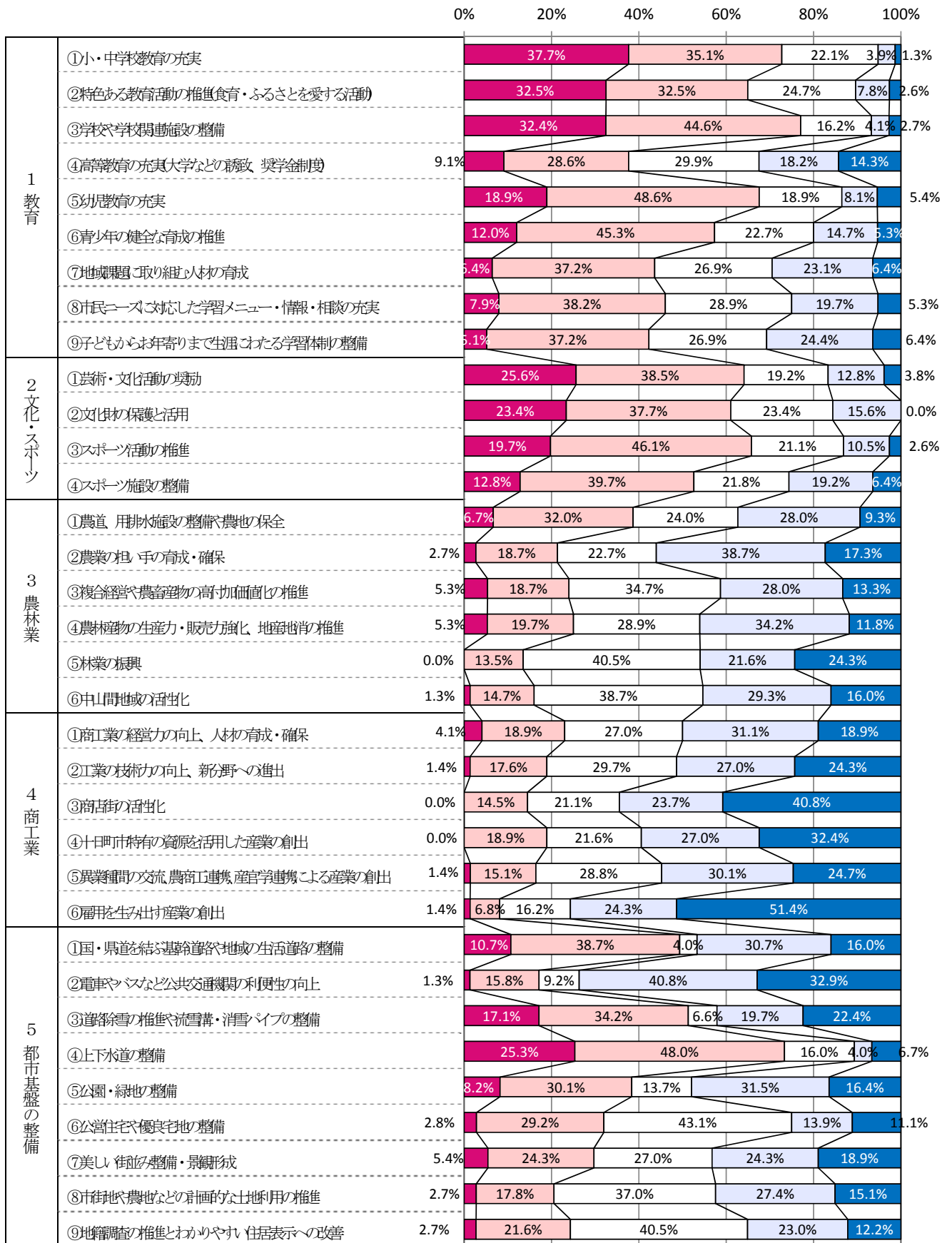
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



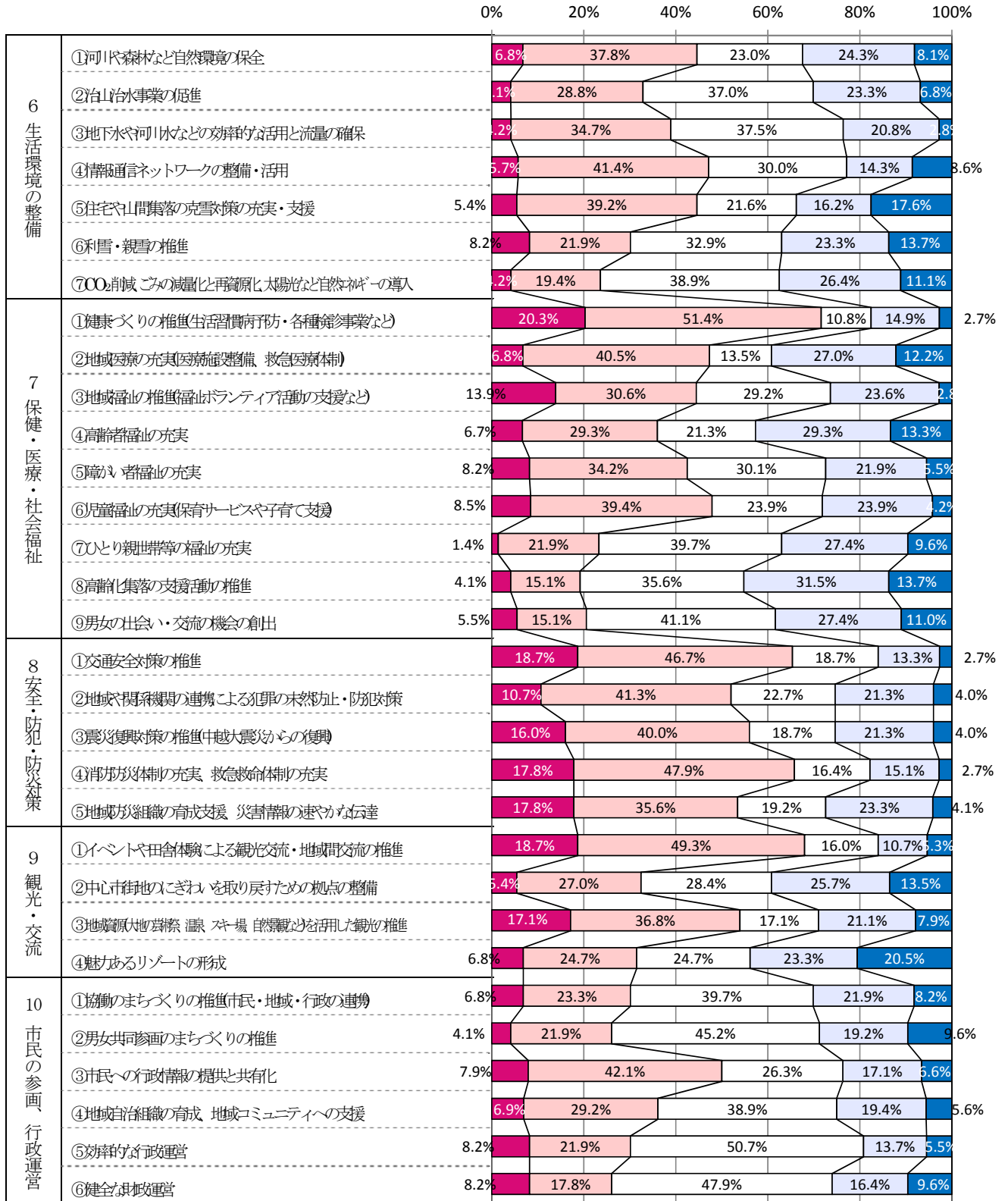
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

7. 下条

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



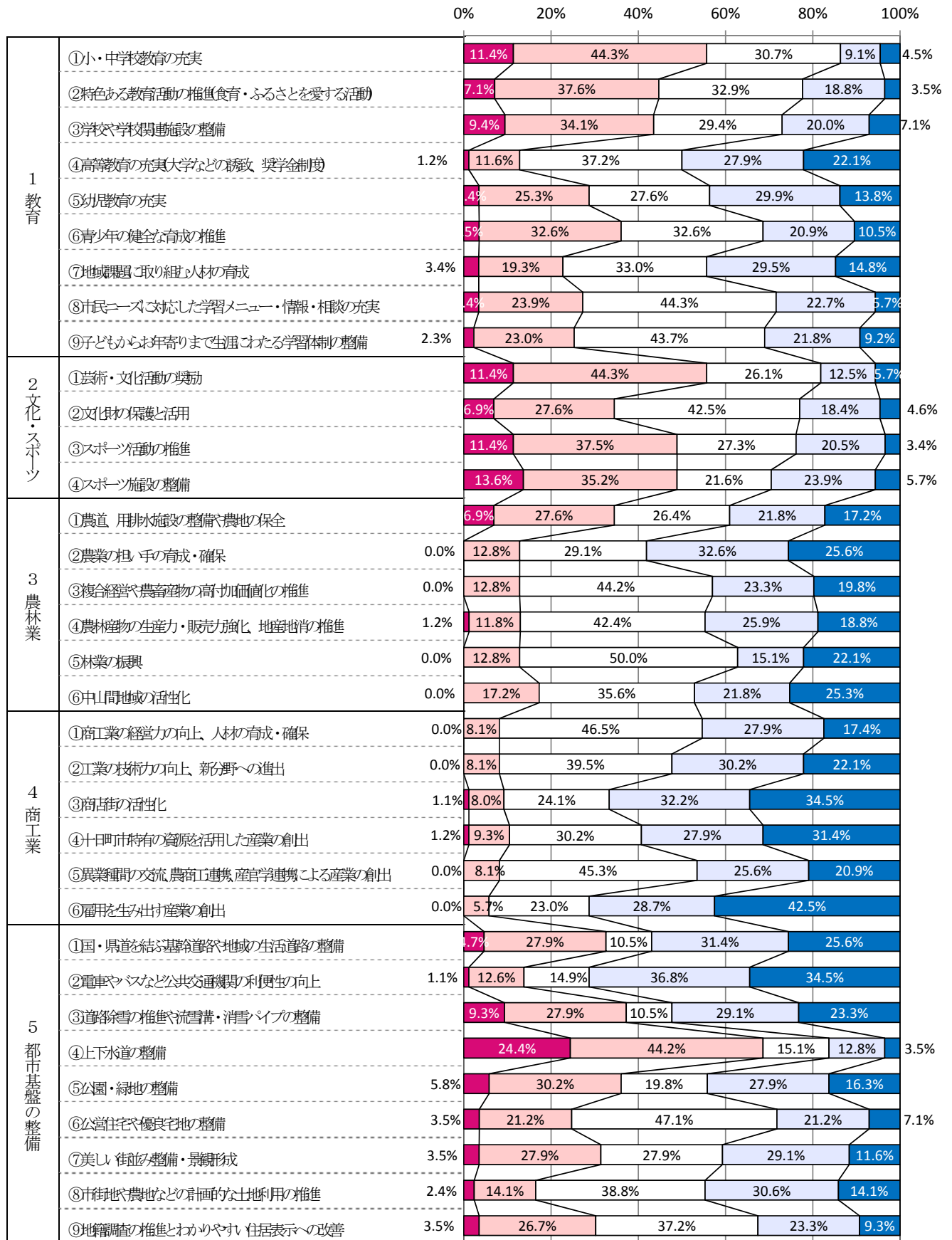
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



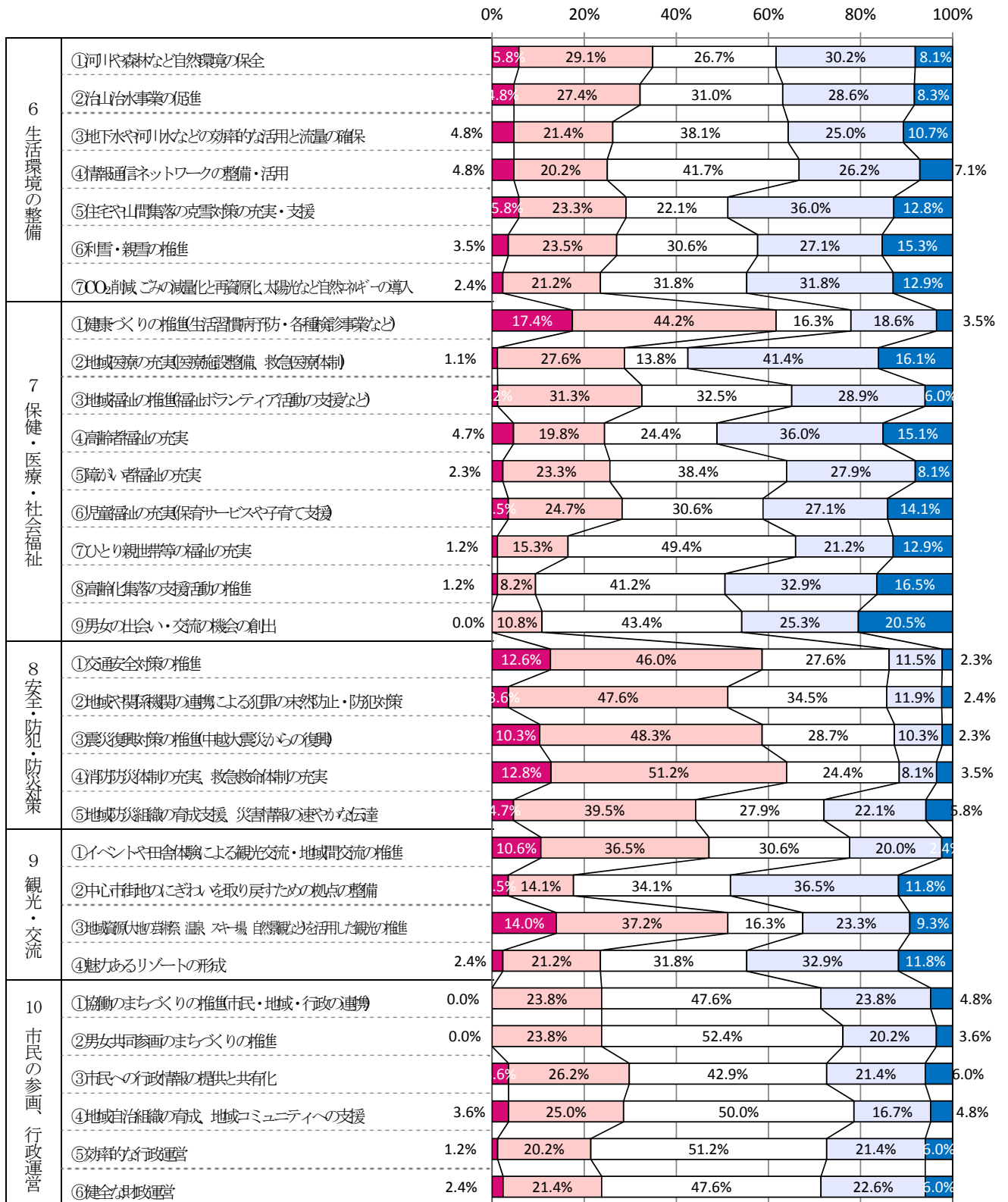
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

8. 吉田

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



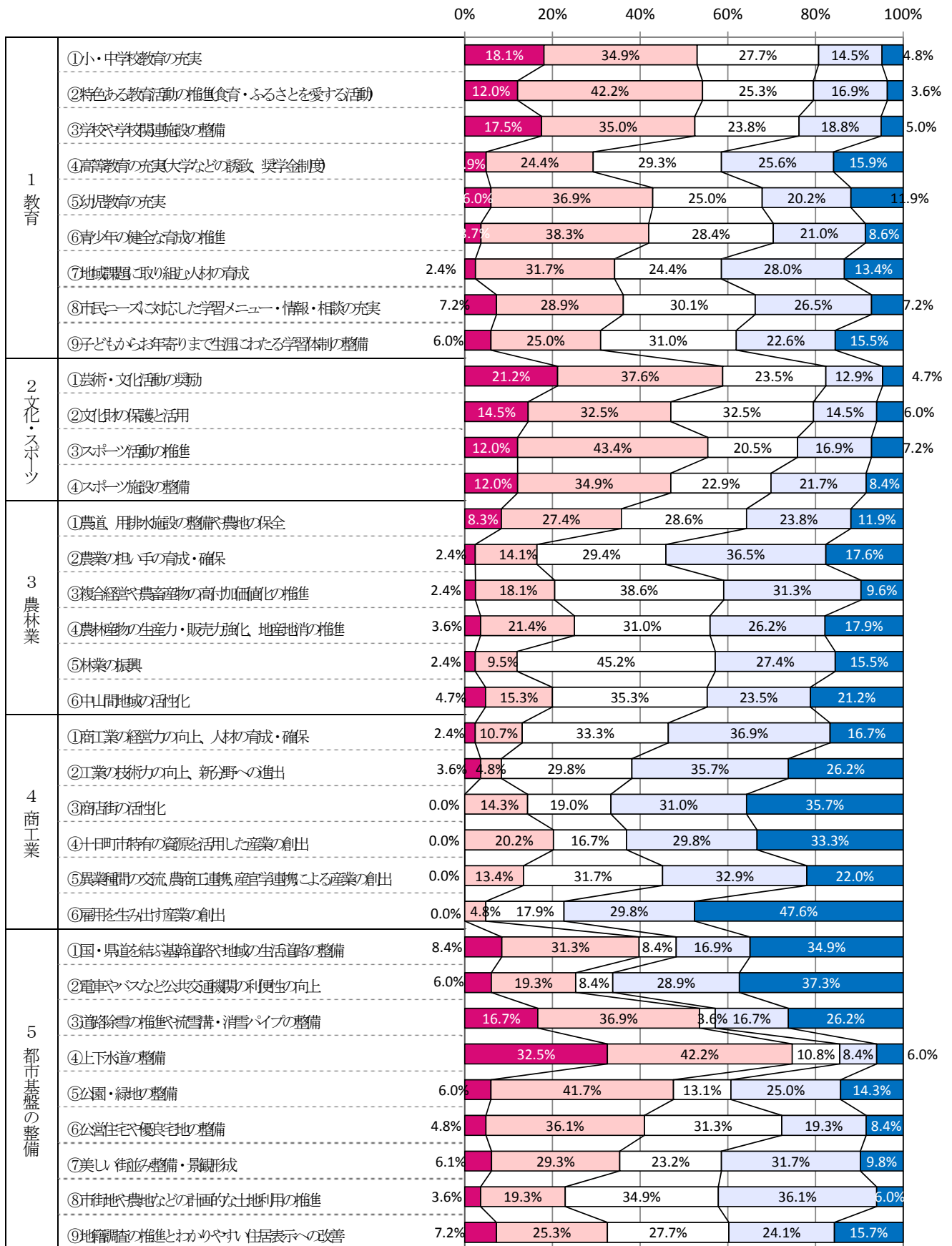
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



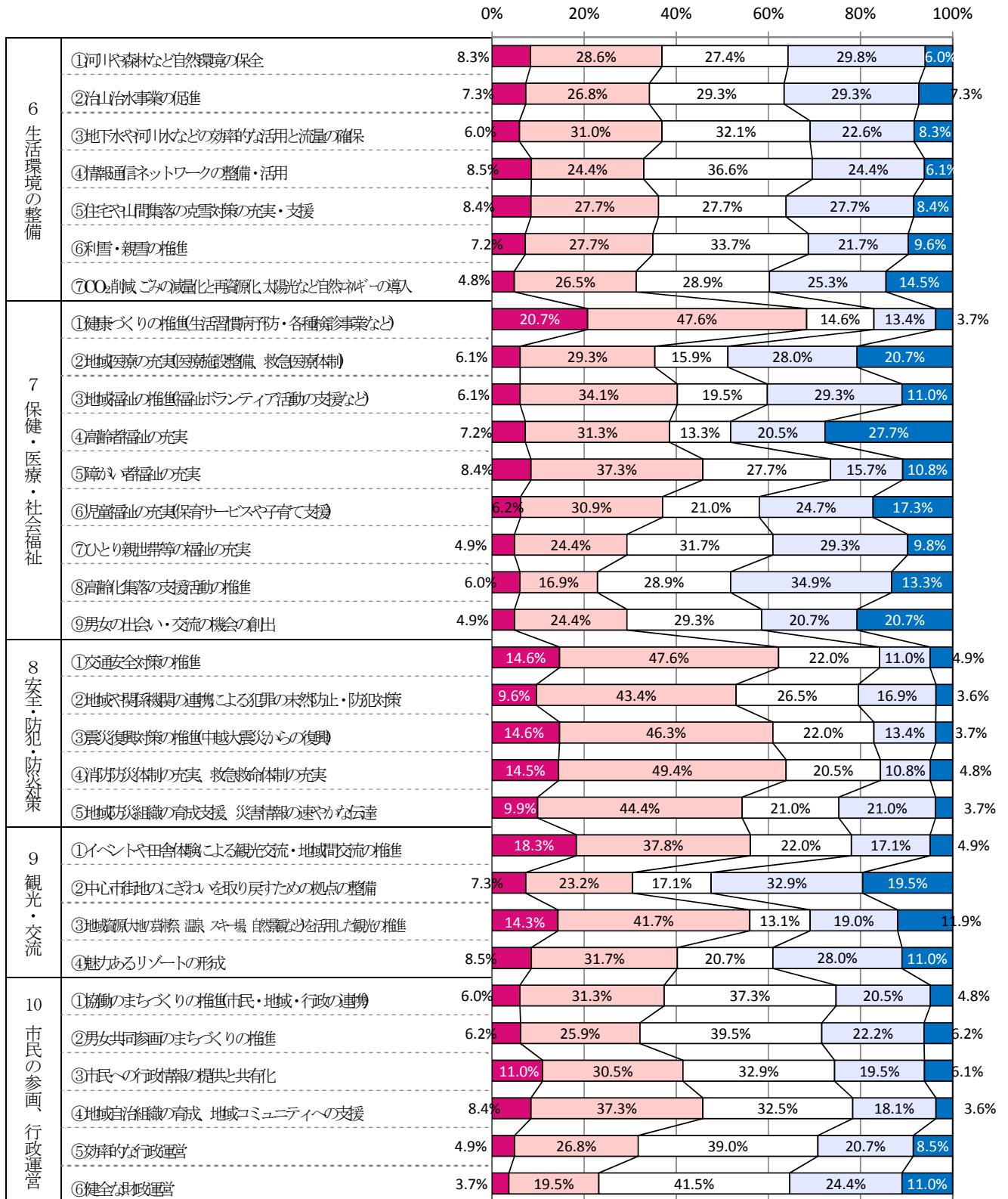
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

9. 水況

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



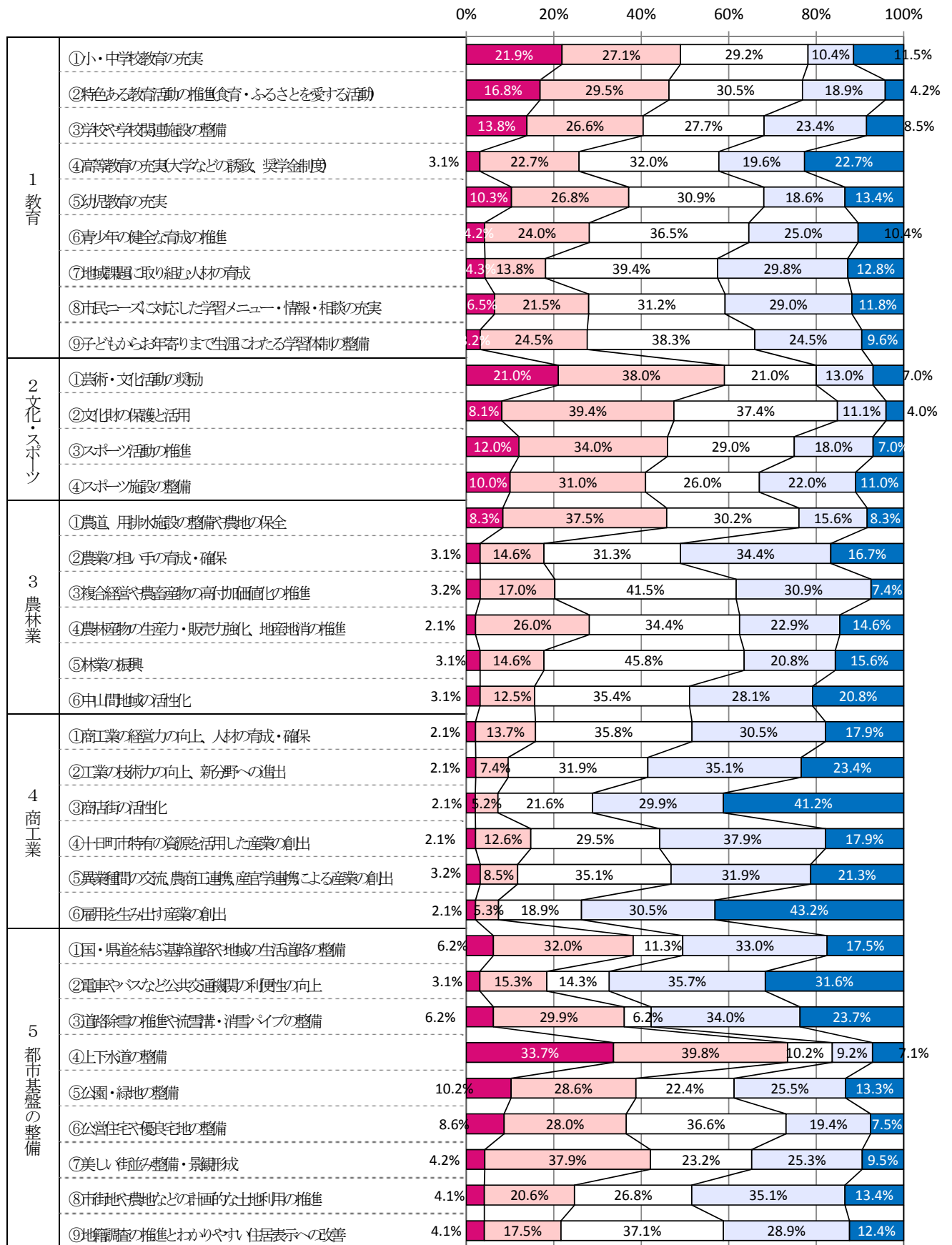
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



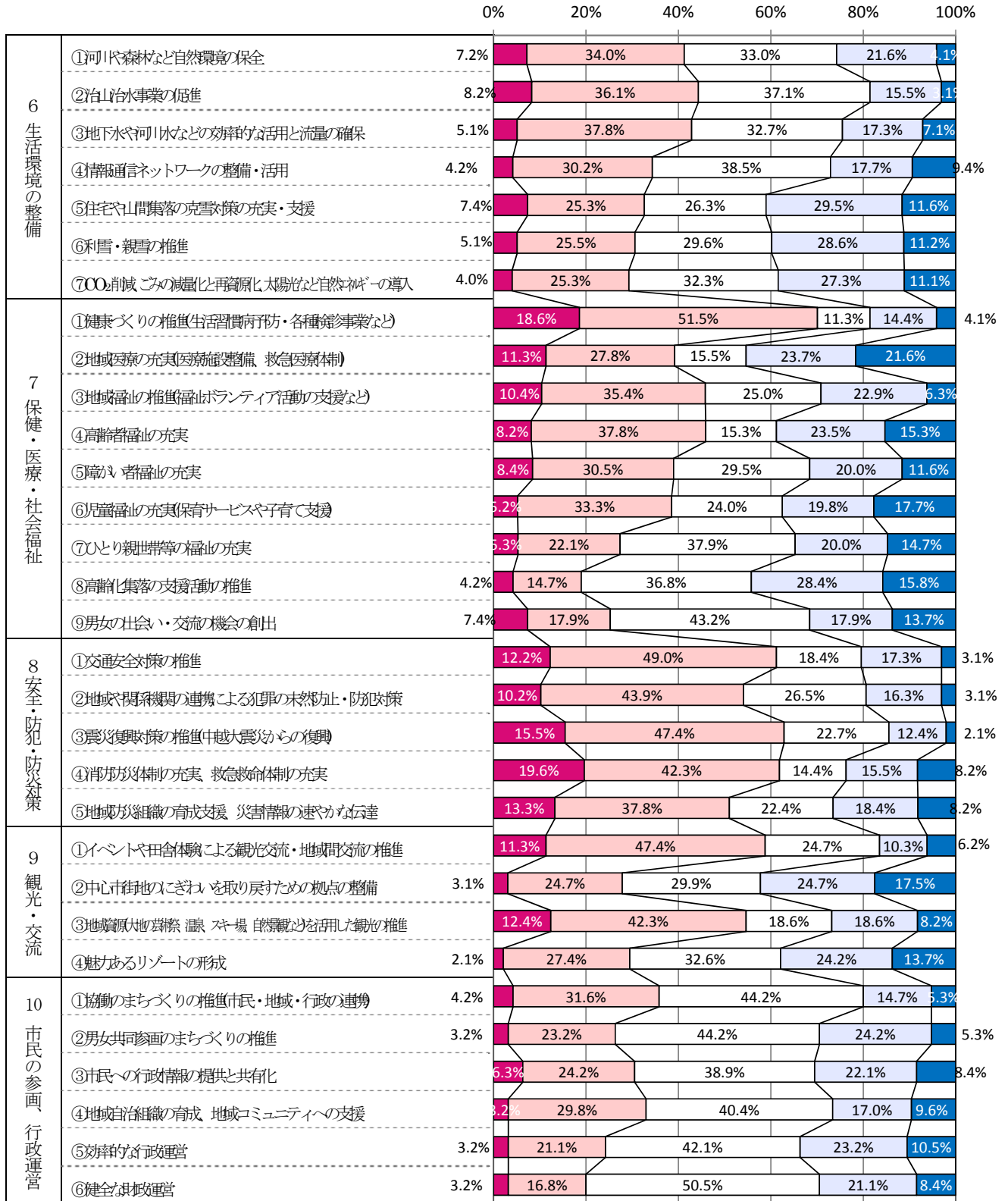
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

10. 川西

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



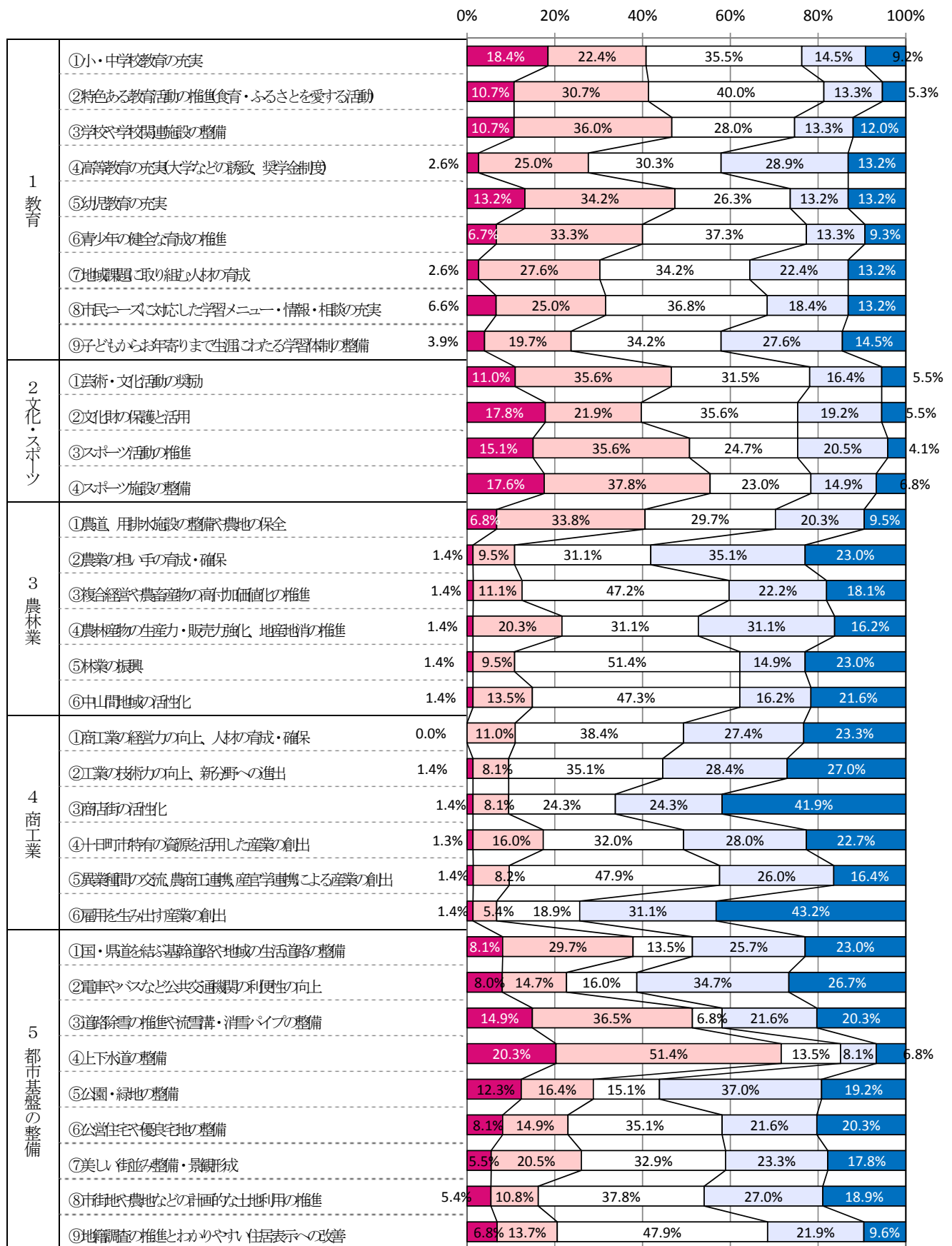
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



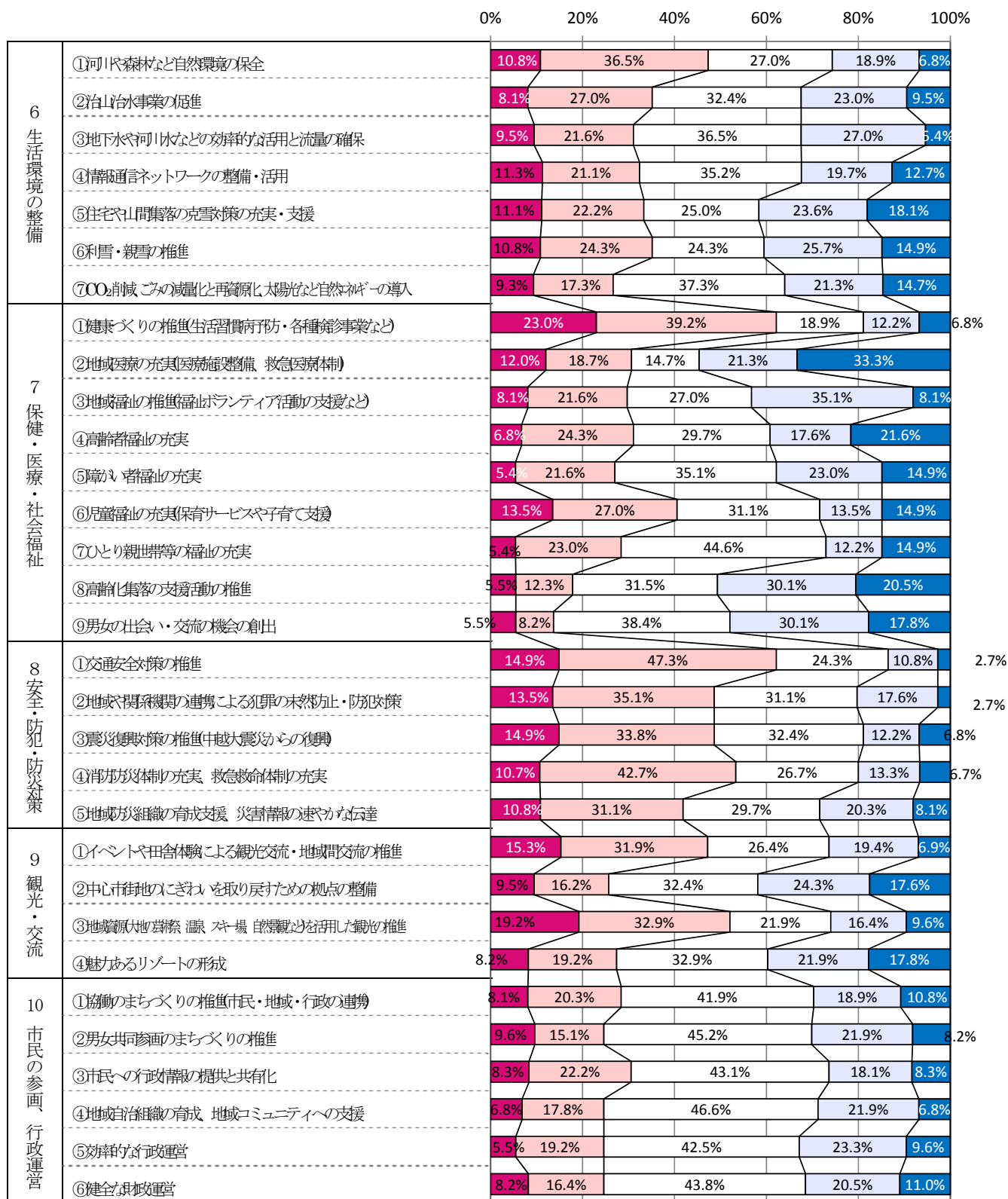
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

11. 中里

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



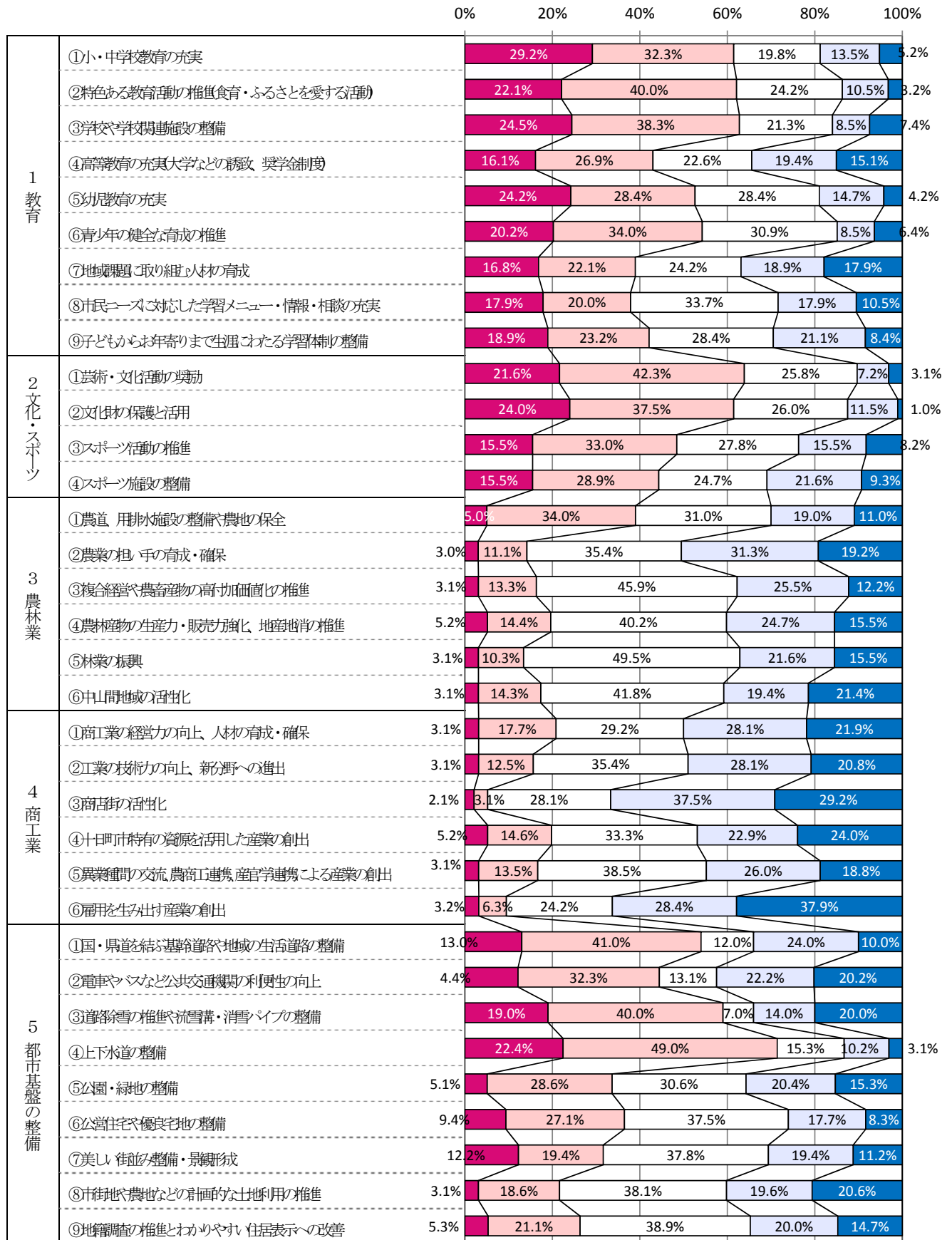
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



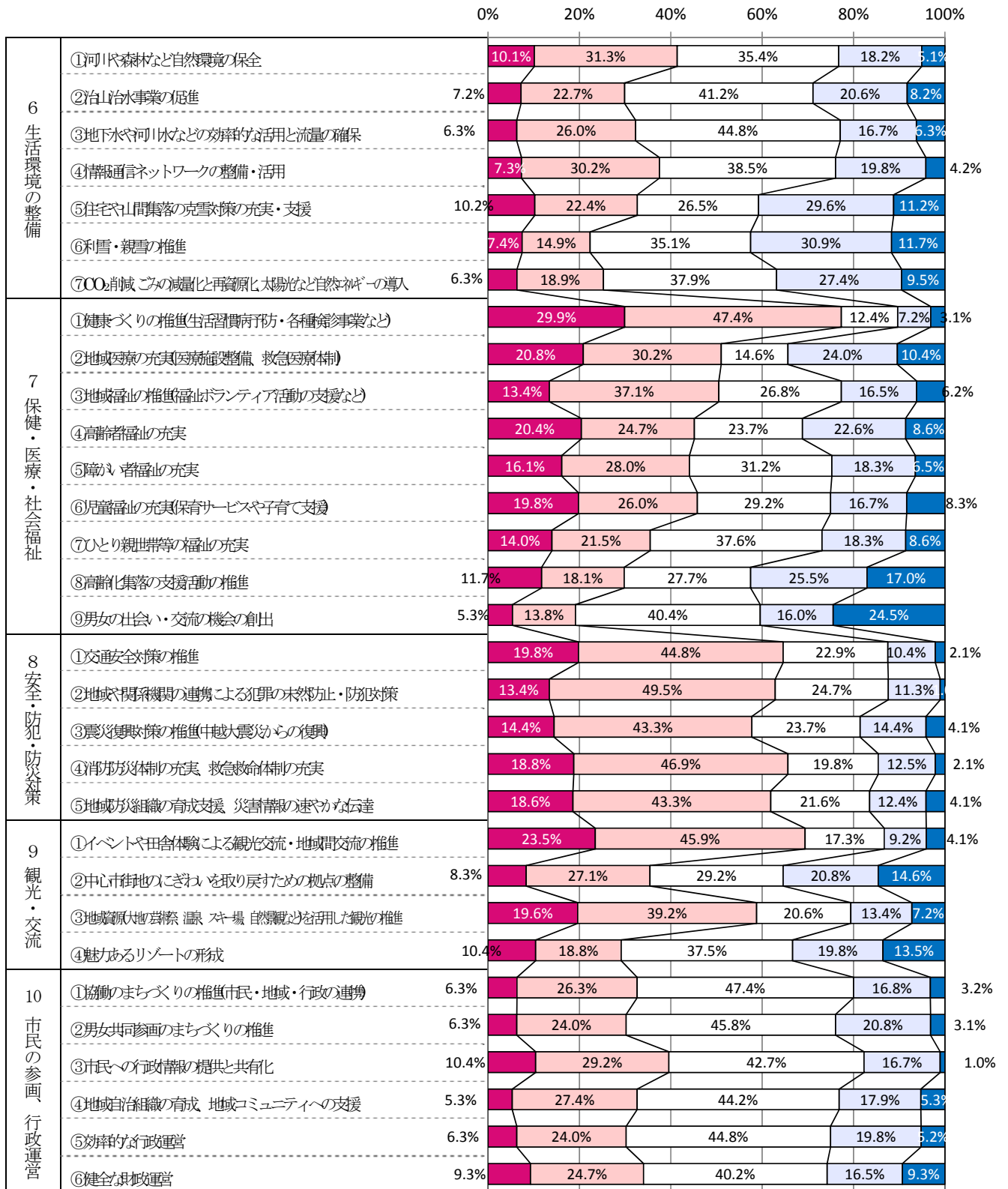
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

12. 松代

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



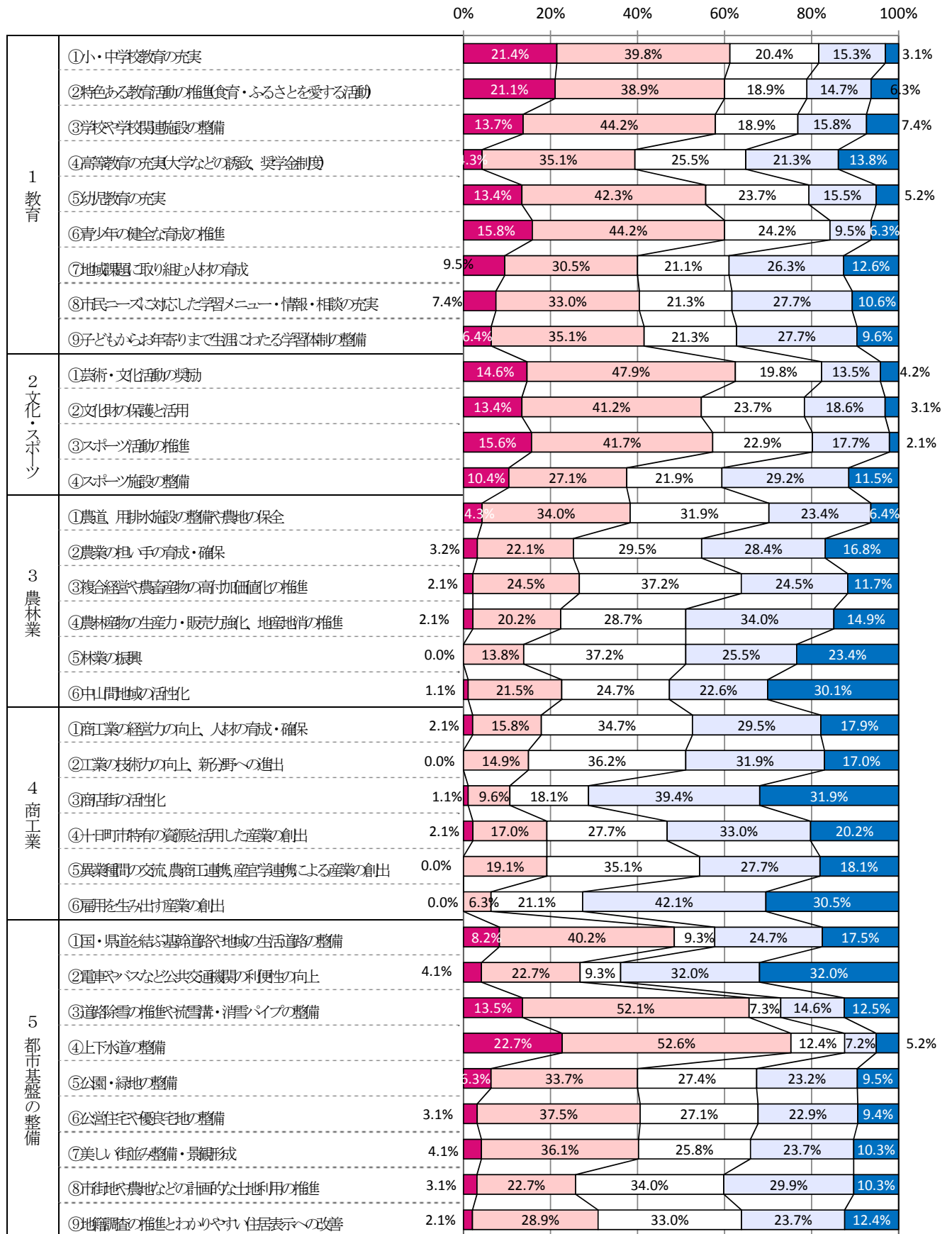
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



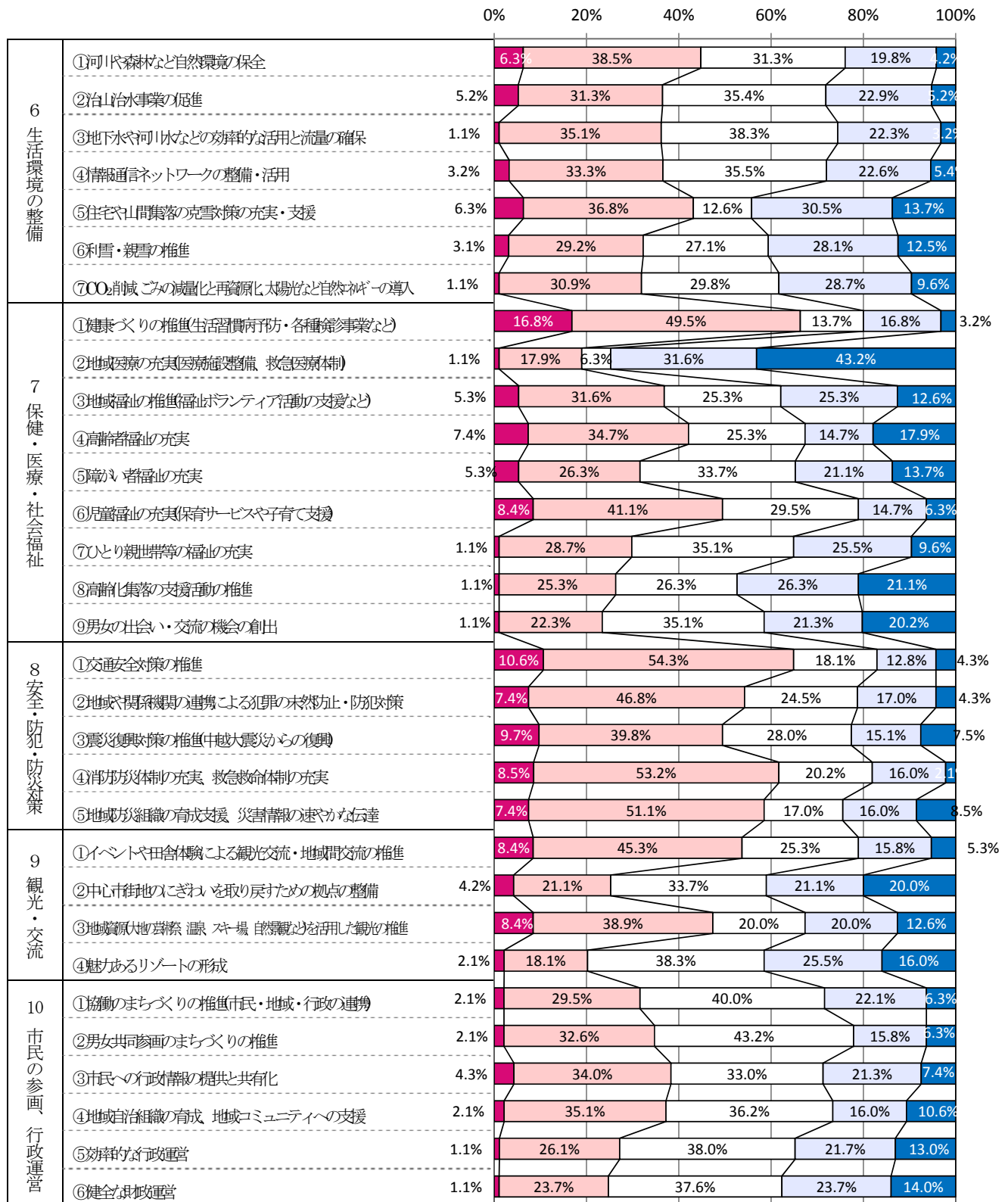
※ 上記の割合は、無効回答を含まない

13. 松之山

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満

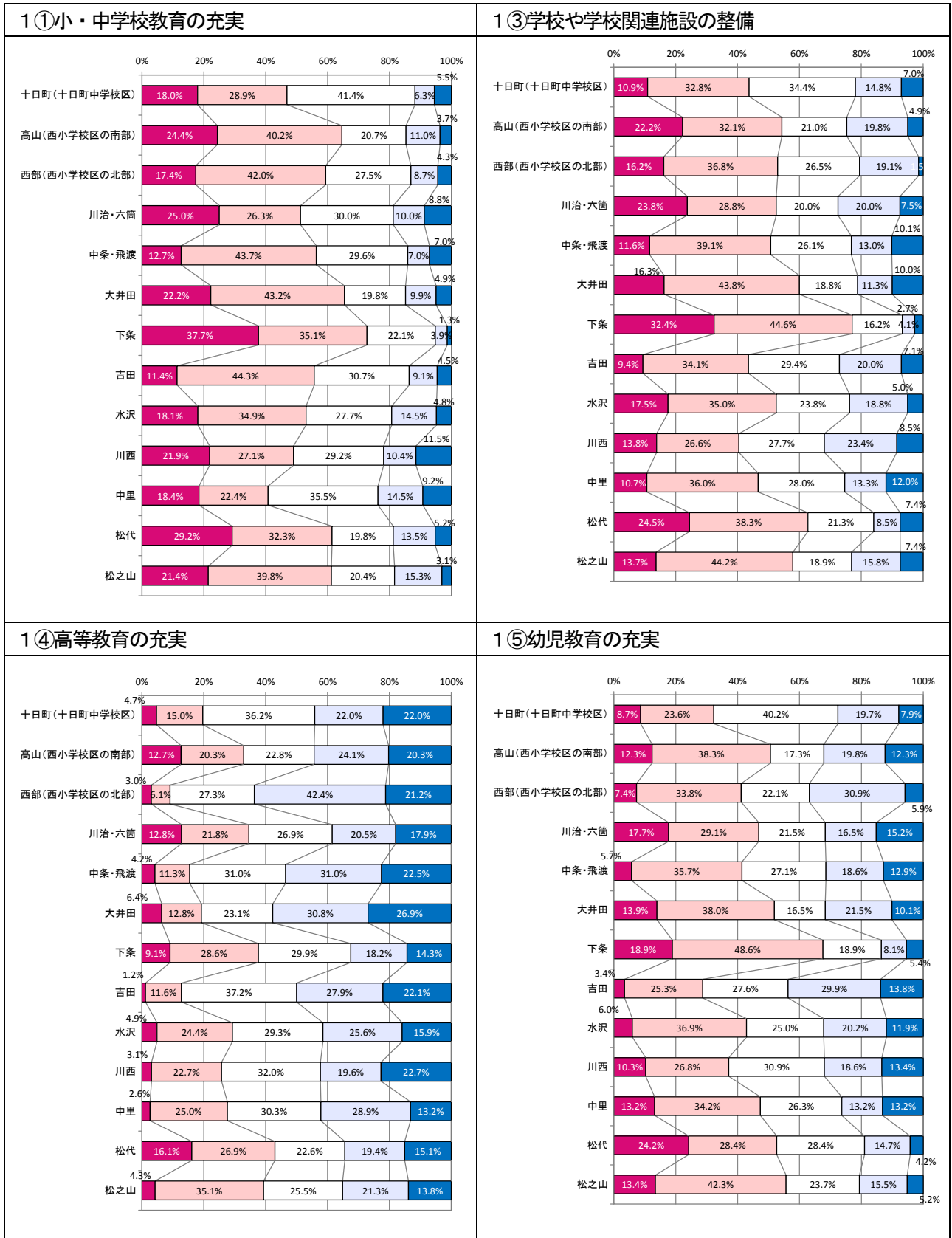


※ 上記の割合は、無効回答を含まない

【地域別集計】

特に居住地により満足度に違いが見られた項目（その1）

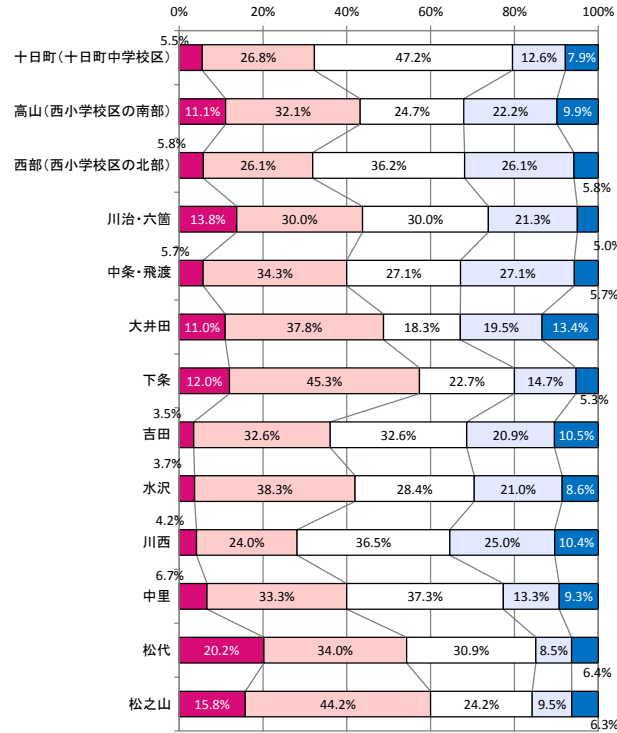
■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満



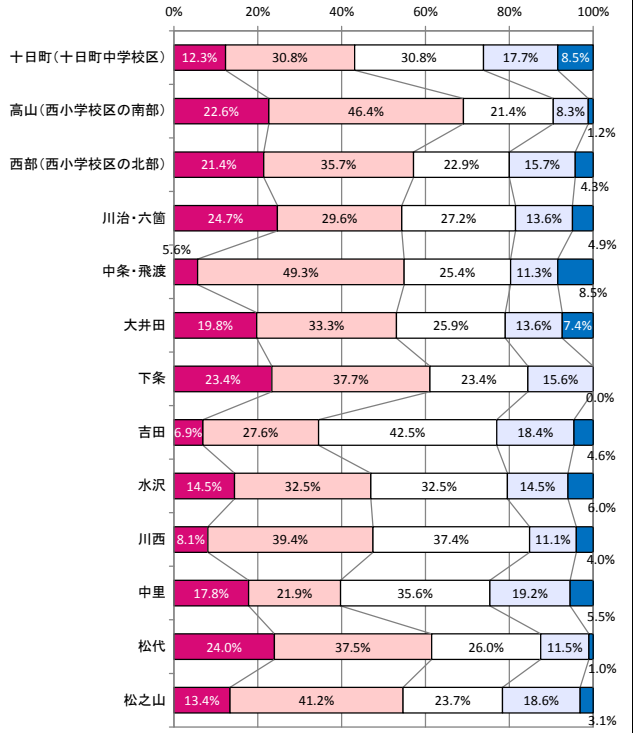
特に居住地により満足度に違いが見られた項目（その2）

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満

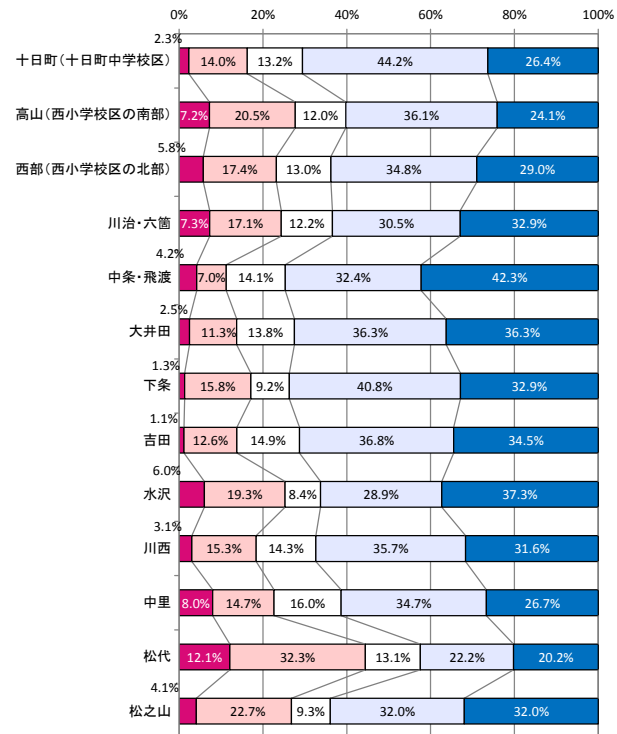
1⑥青少年の健全な育成



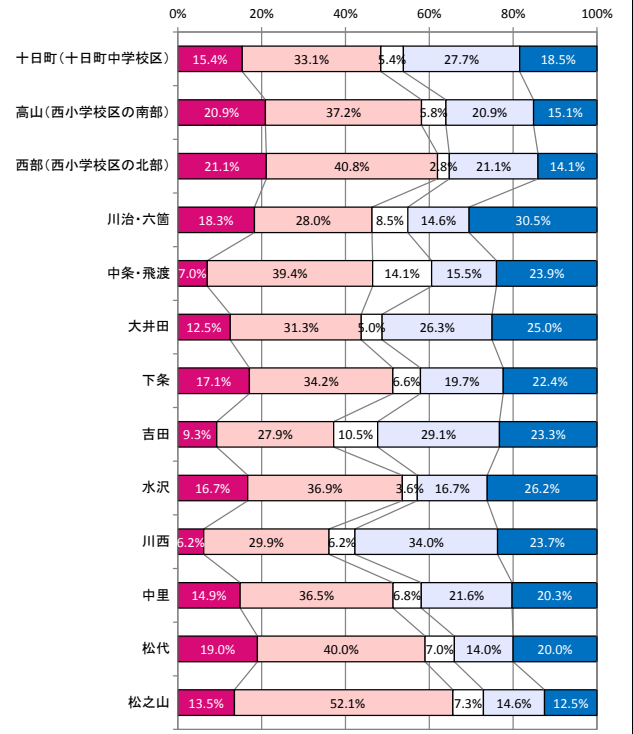
2②文化財の保護と活用



5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上



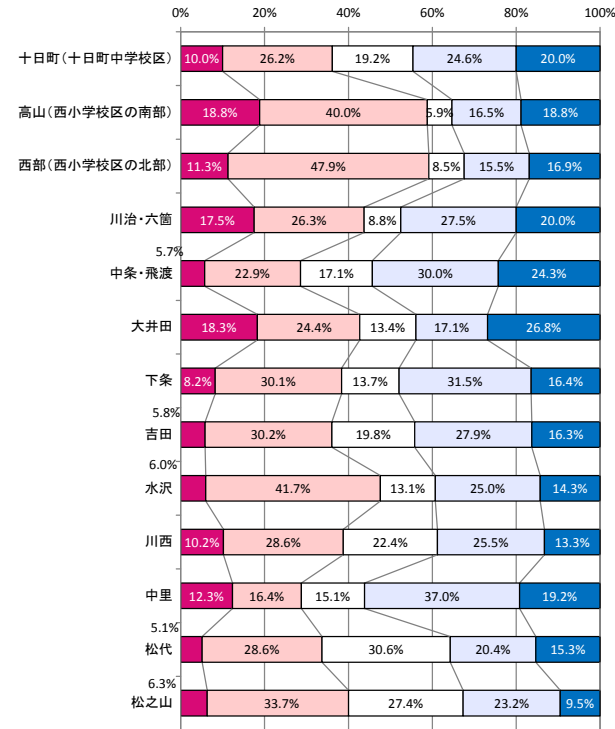
5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備



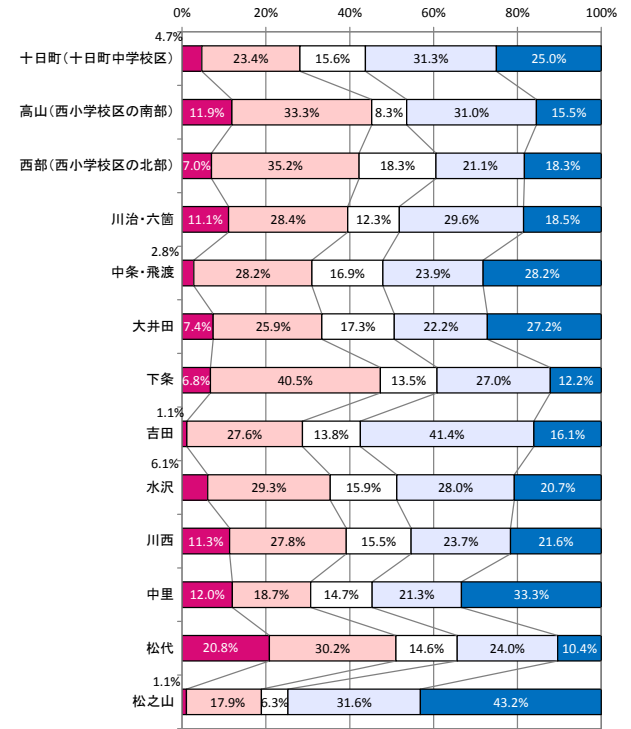
特に居住地により満足度に違いが見られた項目（その3）

■満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 ■不満

5⑤公園・緑地の整備



7②地域医療の充実



<過去6年間の比較>

(注) 下記に示す集計結果の傾向では、“満足” および“やや満足”を合計した比率を満足度、“不満” および“やや不満”を合計した比率を不満度として取りまとめている。

【全体の傾向】

今年度の満足度が過去6年間で最高となった項目は、全65項目中32項目であった。このうち、満足度が最も低い年との差(上昇値)が大きい3項目は以下のとおりである。

「8③震災復興対策の推進」(17.1ポイント)

「9③地域資源を活用した観光の推進」(16.5ポイント)

「5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備」(12.6ポイント)

一方、不満度が過去6年間で最高となった項目は65項目中2項目あり、不満度が最も低い年との差(上昇値)が大きい順に以下のとおりである。

「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」(6.4ポイント)

「1④高等教育の充実」(2.4ポイント)

【年齢別集計】

今年度の満足度が過去6年間で最高となった項目数は、40歳代が35項目、60歳代が28項目と多い一方、20歳代が3項目、30歳代が5項目と少なくなっている。

このうち、各年齢で満足度の上昇値が最も大きかった項目は以下のとおりである。

20歳代：「9③地域資源を活用した観光の推進」(27.1ポイント)

30歳代：「5⑨地籍調査の推進とわかりやすい住居表示への改善」(13.9ポイント)

40歳代：「5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備」(26.3ポイント)

50歳代：「1③学校や学校関連施設の整備」(10.2ポイント)

60歳代：「8③震災復興対策の推進」(18.9ポイント)

70歳代：「1⑦地域課題に取り組む人材の教育」(18.2ポイント)

一方、不満度が最高となった項目数は30歳代が10項目、70歳代が9項目、20歳代が8項目と多くなっており、40歳代では不満度が最高となった項目はなかった。

各年齢で不満度の上昇値が最も大きかった項目は以下のとおりである。

20歳代：「2③スポーツ活動の推進」(23.6ポイント)

30歳代：「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」(12.5ポイント)

40歳代：不満度が最高となった項目なし

50歳代：「7④高齢者福祉の充実」(11.1ポイント)

60歳代：「7⑤障害者福祉の充実」(5.6ポイント)

70歳代：「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」(12.9ポイント)

【地域別集計】

今年度の満足度が過去6年間で最高となった項目数は、十日町西が36項目、水沢が33項目、松之山が30項目と多い一方、吉田が1項目、十日町が2項目と少なくなっている。

各地域で満足度の上昇値が最も大きかった項目は以下のとおりである。

十日町：「9③地域資源を活用した観光の推進」(21.2ポイント)

十日町西：「8③震災復興対策の推進」(22.6ポイント)

川治・六箇：「9③地域資源を活用した観光の推進」(22.1ポイント)

中条：「1③学校や学校関連施設の整備」(19.0ポイント)

下条：「9③地域資源を活用した観光の推進」(23.2ポイント)

吉田：「8④消防防災体制の充実、救急救命体制の充実」(9.5ポイント)

水沢：「8③震災復興対策の推進」(25.1ポイント)

川西：「9①イベントや田舎体験による観光交流・地域間交流の推進」(20.3ポイント)

中里：「6⑥利雪・親雪の推進」(28.2ポイント)

松代：「1③学校や学校関連施設の整備」(21.3ポイント)

松之山：「5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備」(26.3ポイント)

一方、不満度が最高となった項目数は中条が16項目、下条が8項目、川西、松之山が7項目と多くなっており、川治・六箇では不満度が最高となった項目はなかった。

各地域で不満度の上昇値が最も大きかった項目は以下のとおりである。

十日町：「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」(13.4ポイント)

十日町西：「1④高等教育の充実」(13.4ポイント)

川治・六箇：不満度が最高となった項目なし

中条：「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」(18.8ポイント)

下条：「7④高齢者福祉の充実」(20.4ポイント)

吉田：「1⑤幼児教育の充実」(13.9ポイント)

水沢：「7⑥児童福祉の充実」(12.7ポイント)

川西：「7⑥児童福祉の充実」(17.1ポイント)

中里：「7③地域福祉の推進」(18.5ポイント)

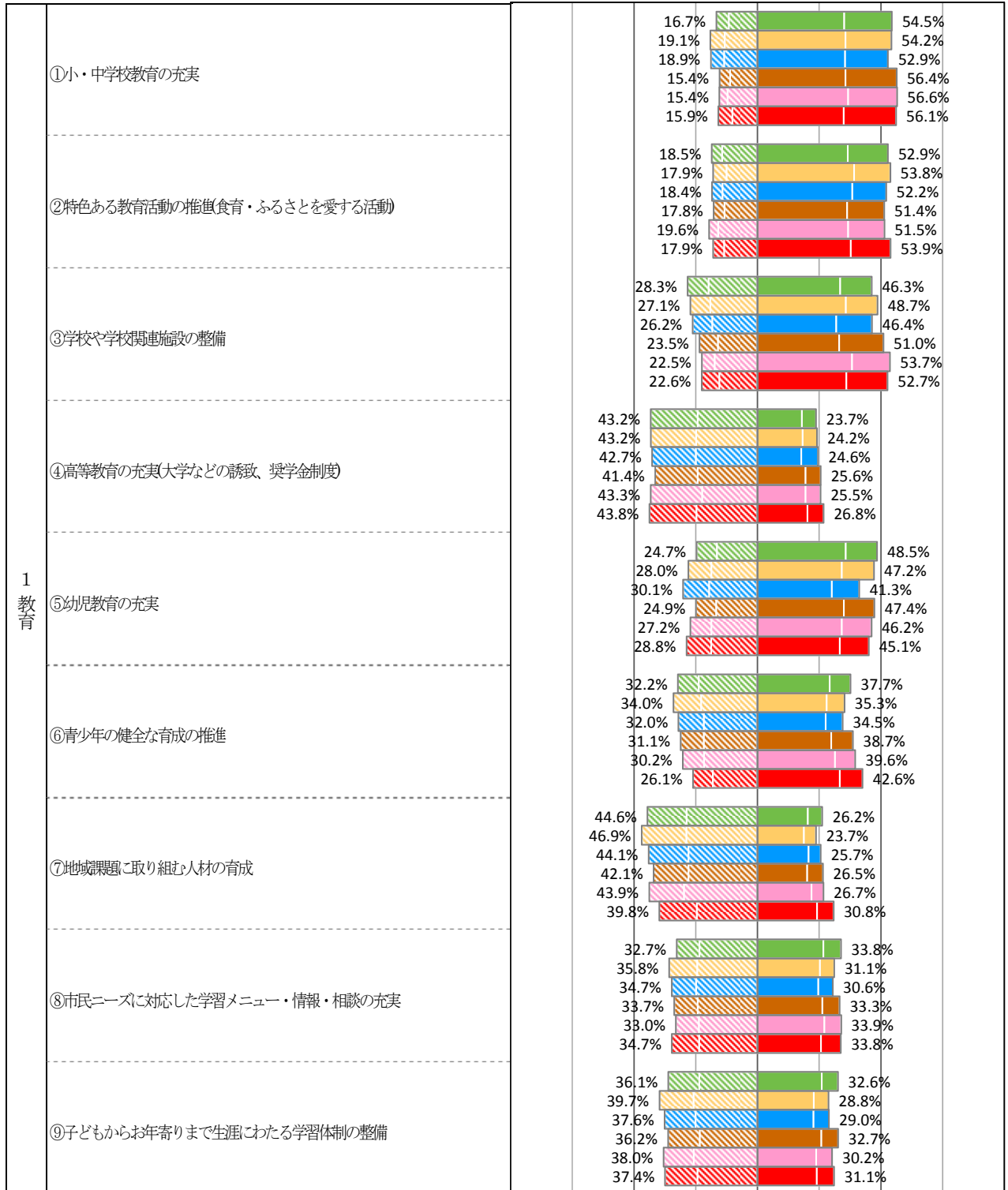
松代：「1④高等教育の充実」(13.5ポイント)

松之山：「7②地域医療の充実」(23.6ポイント)

【全体の傾向】

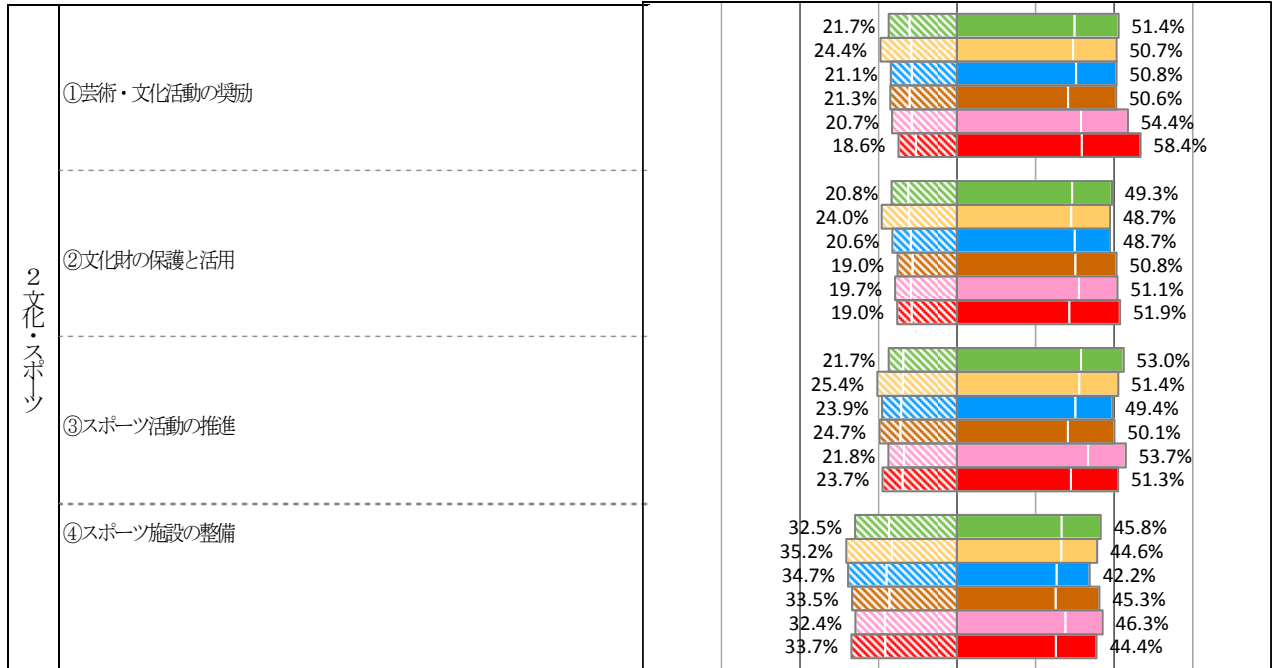
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

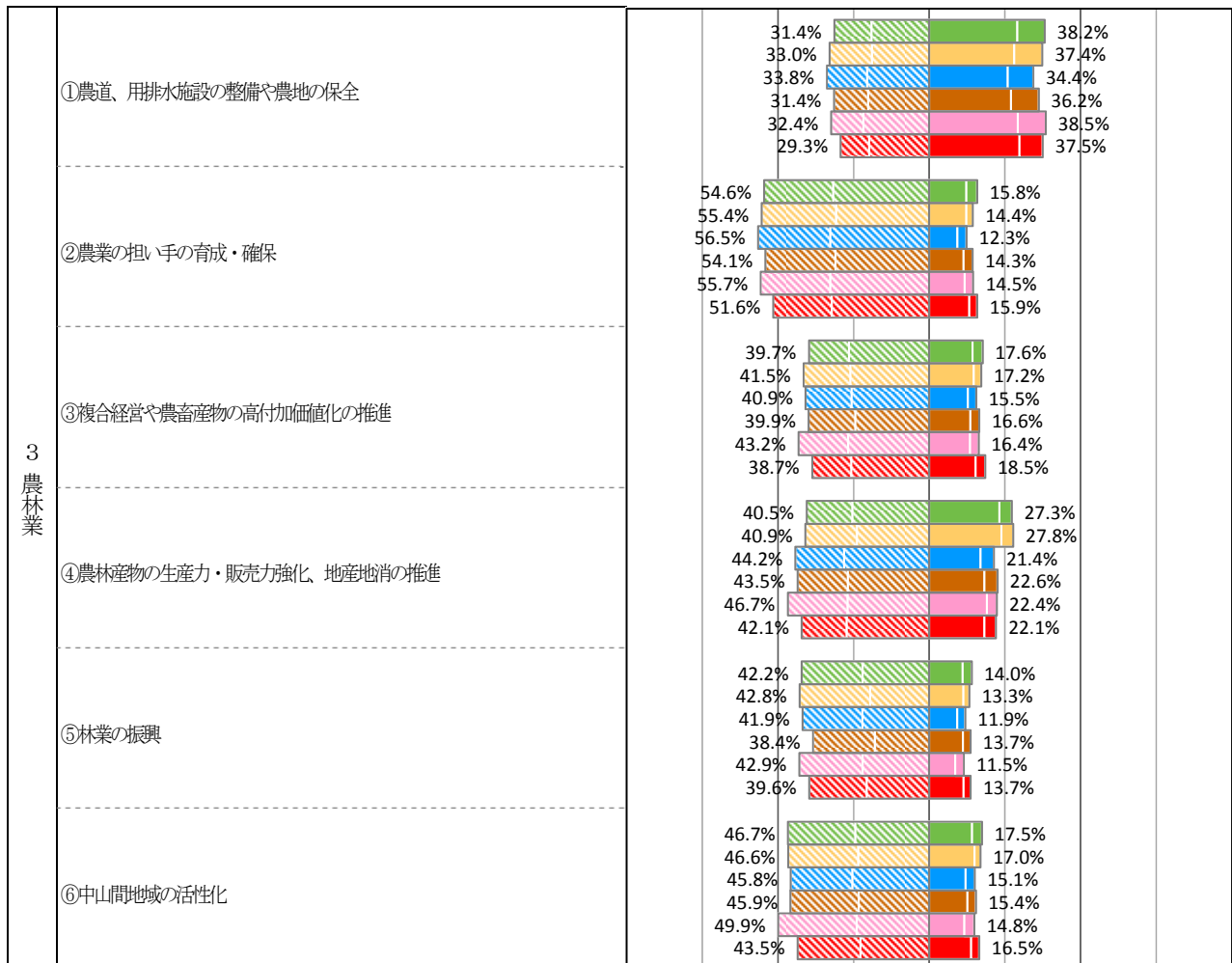


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



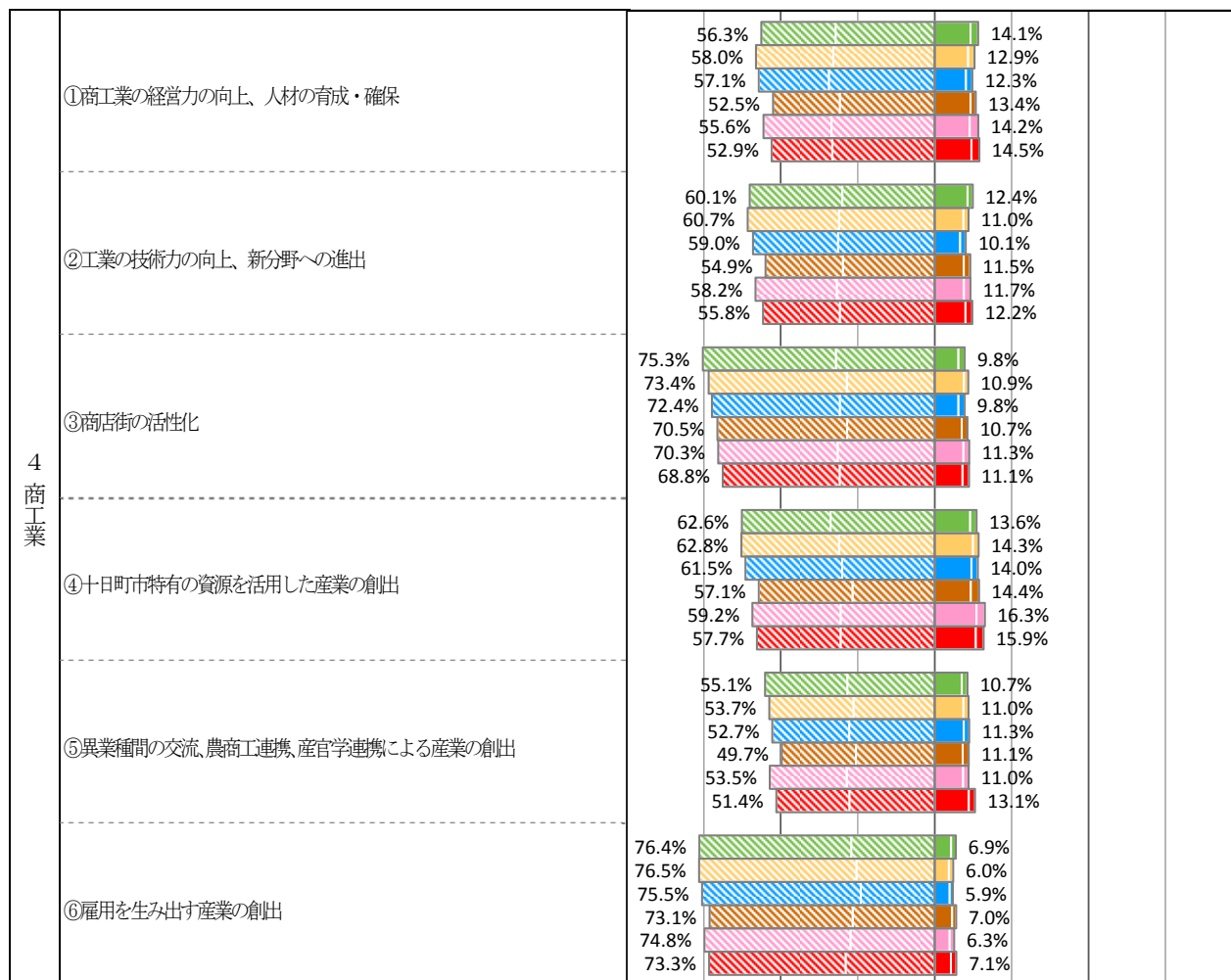
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



【全体の傾向】

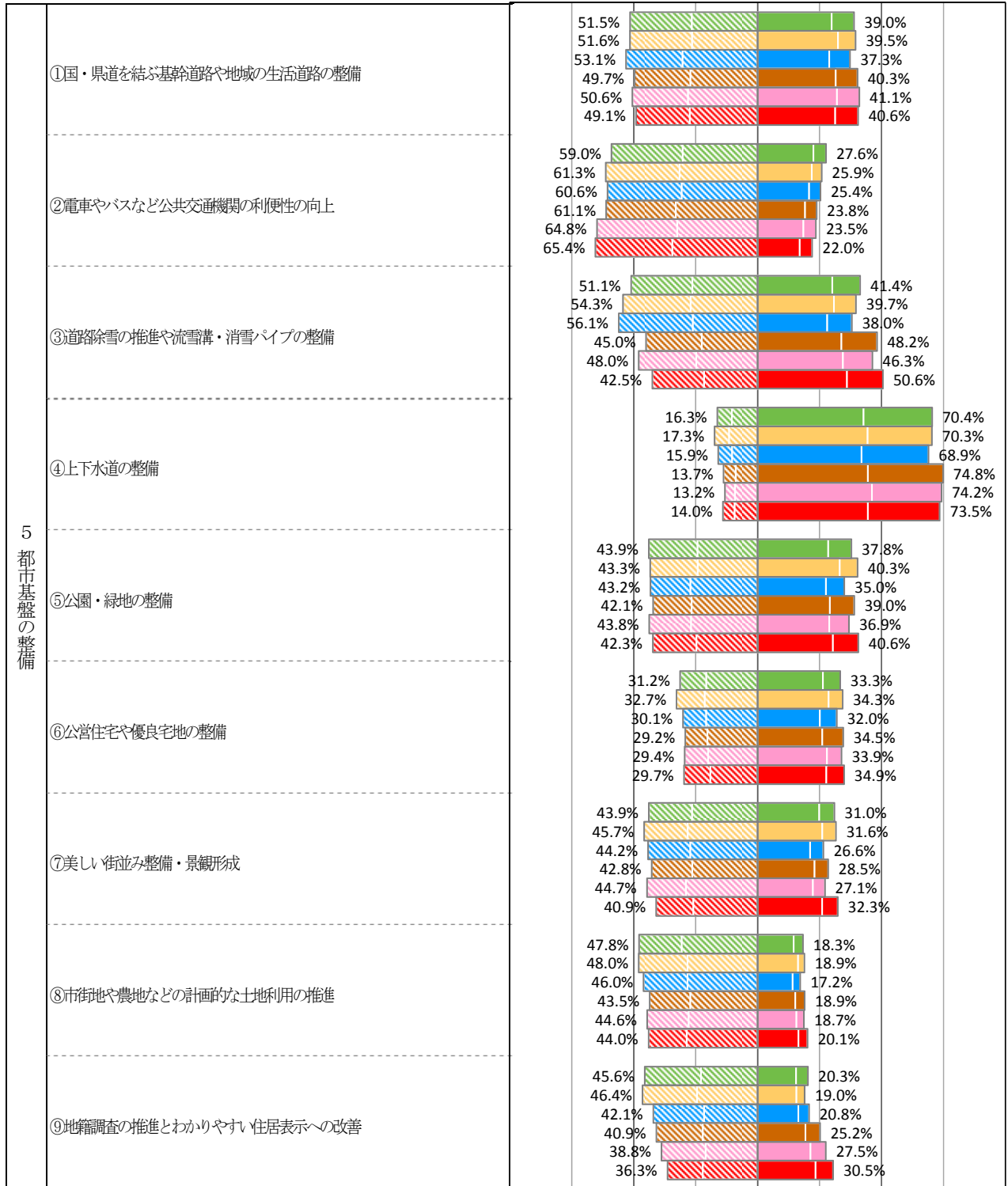
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

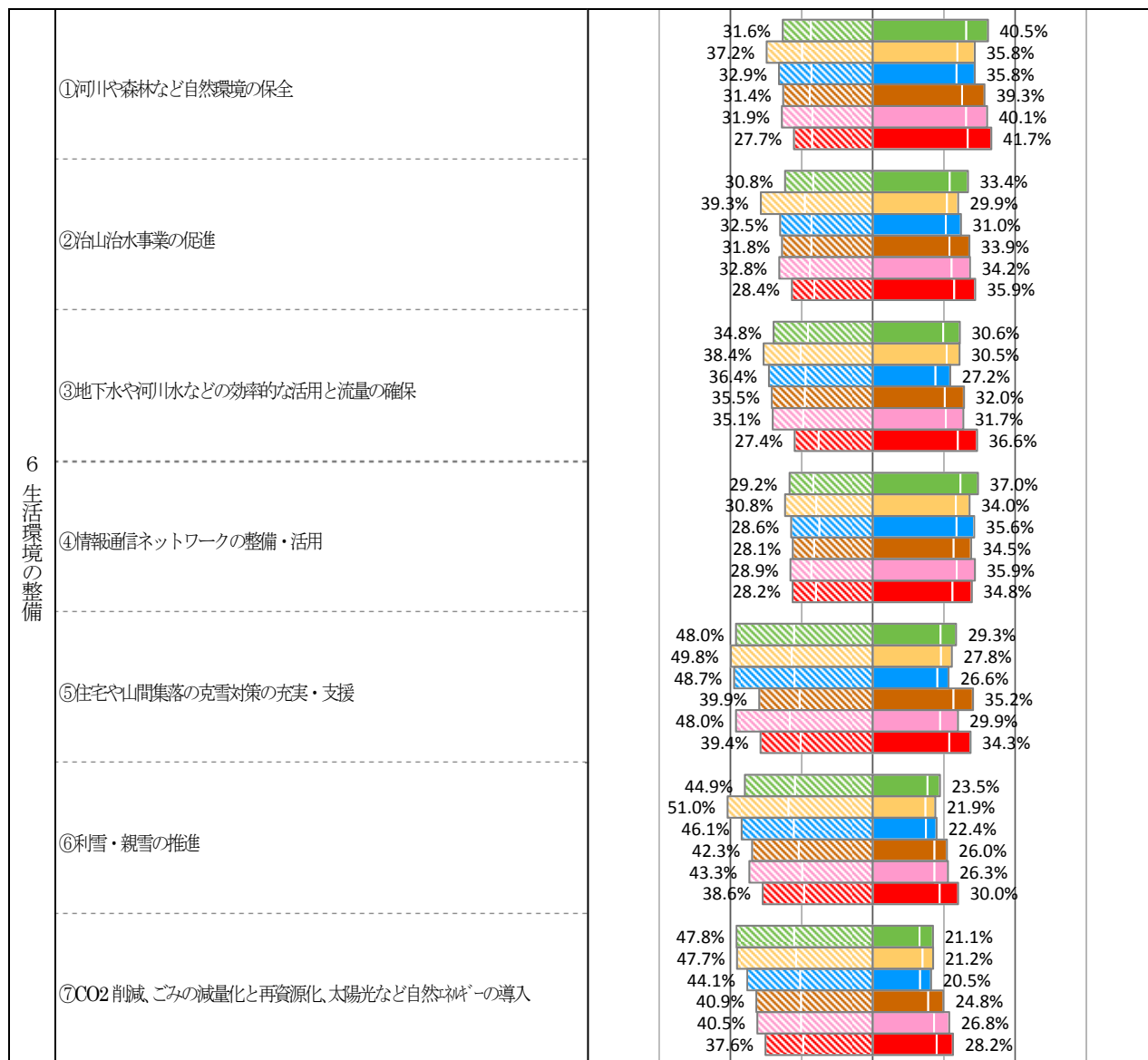
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



【全体の傾向】

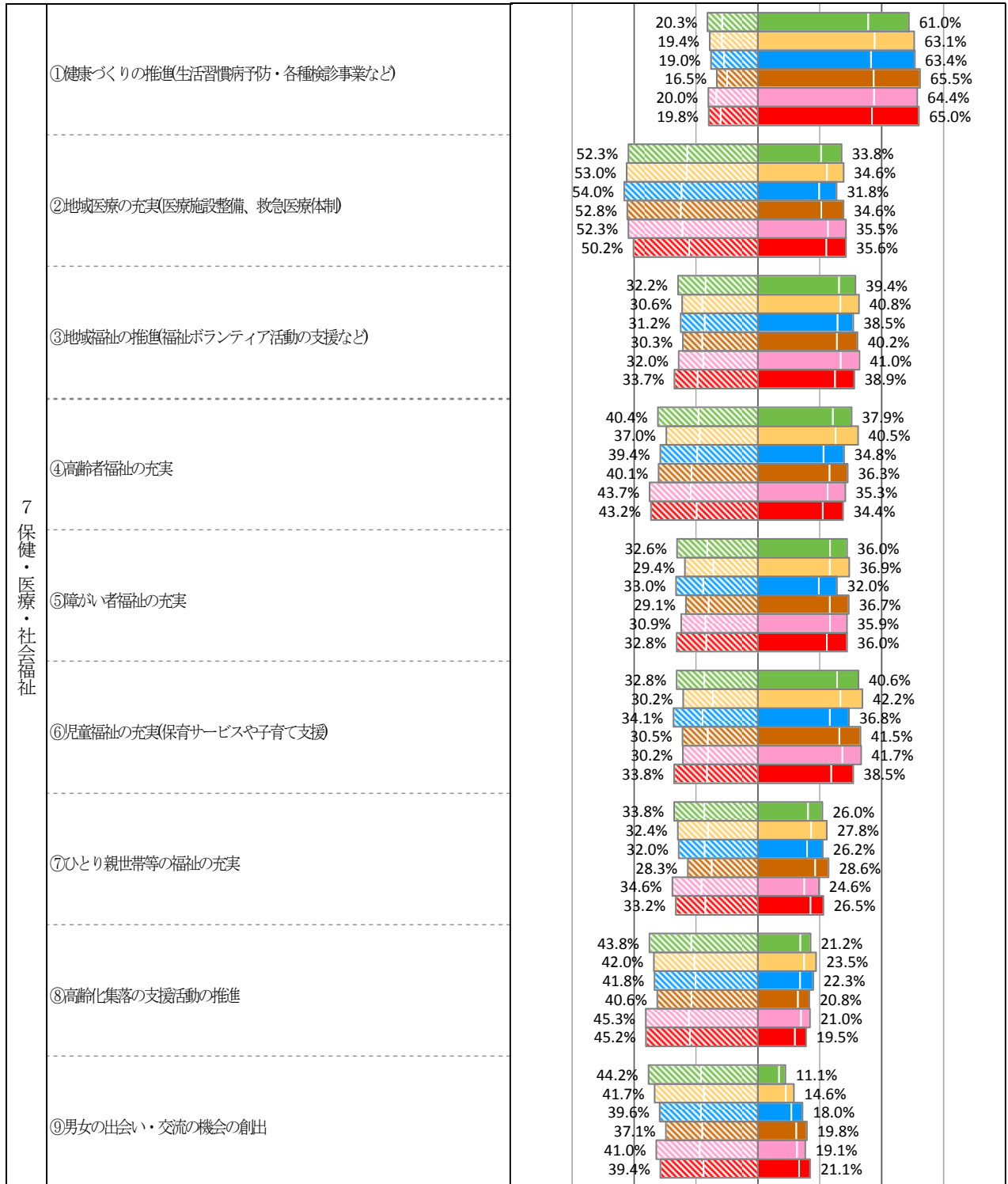
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

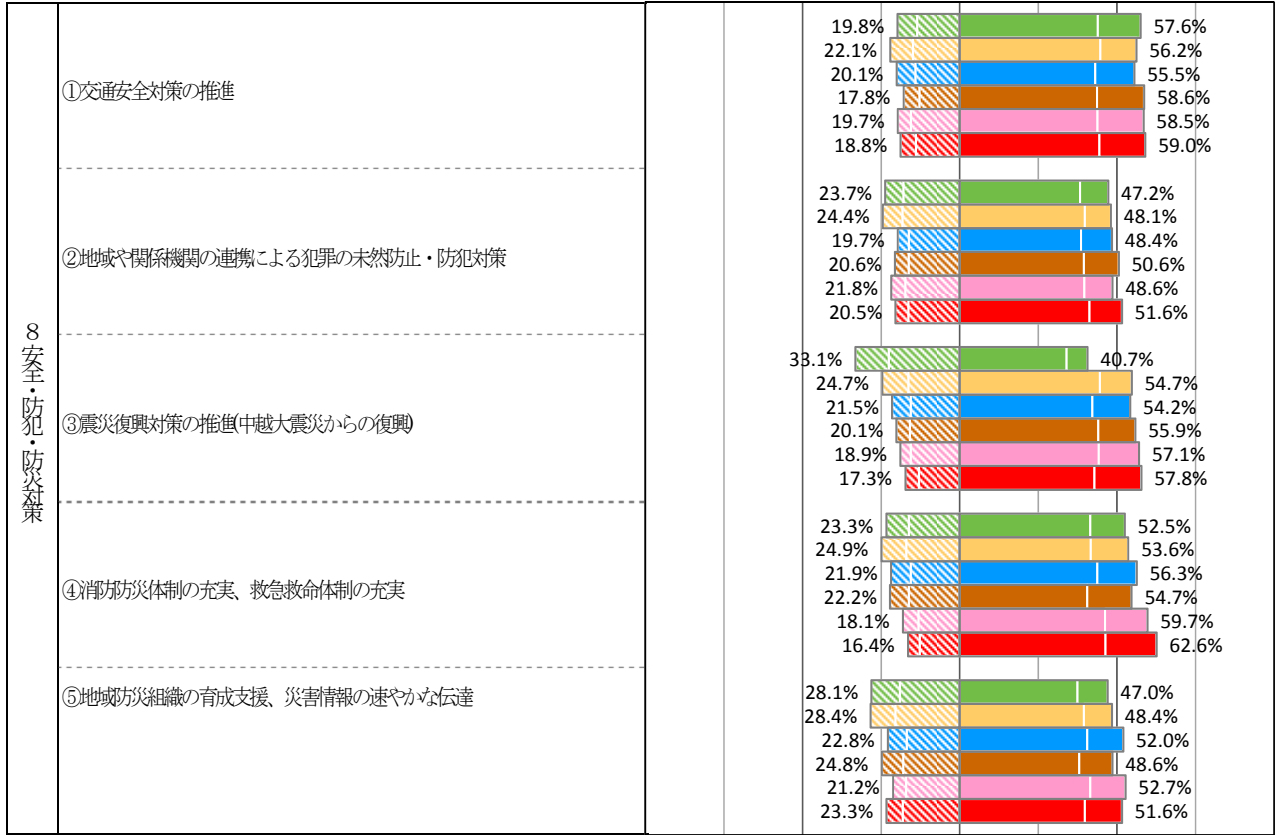
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



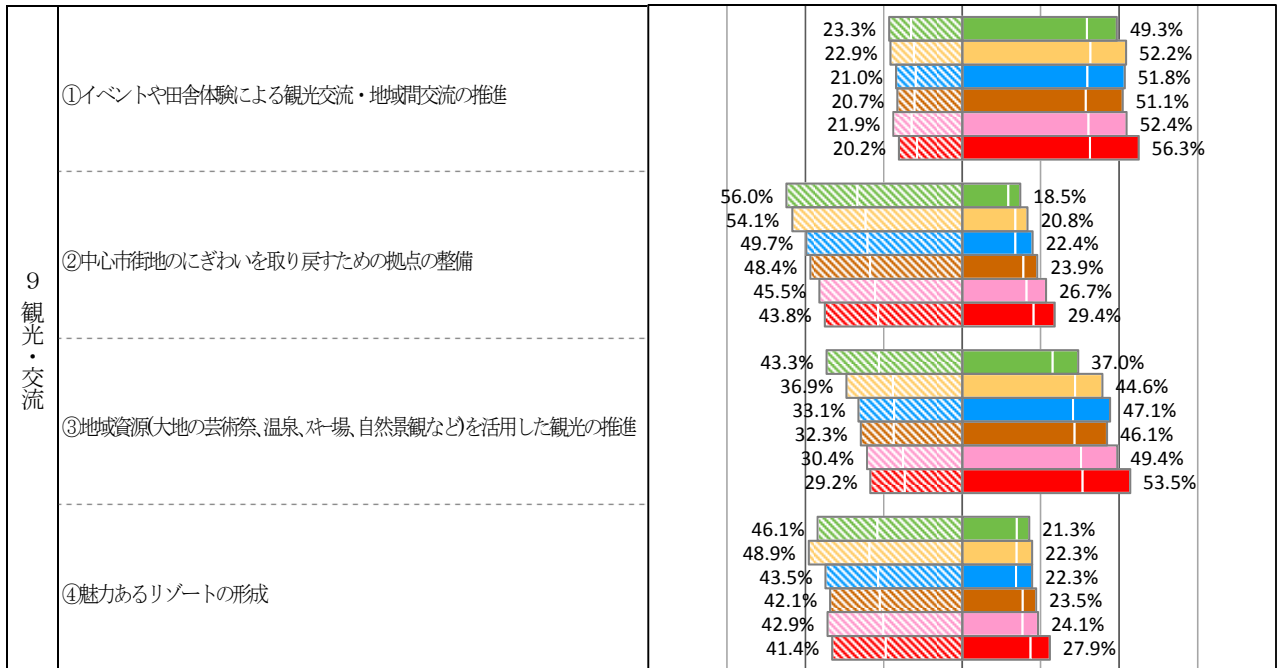
【全体の傾向】

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

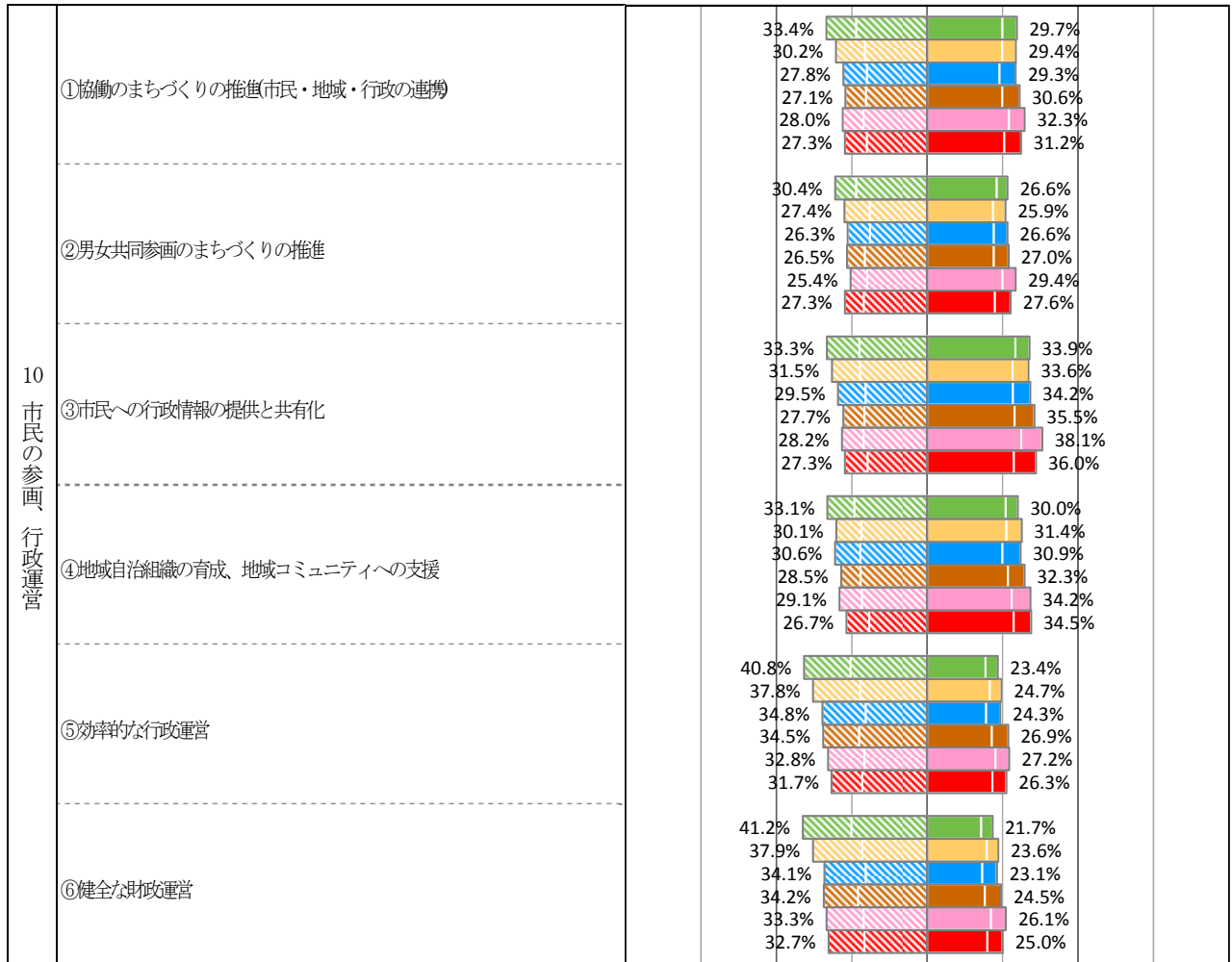


← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

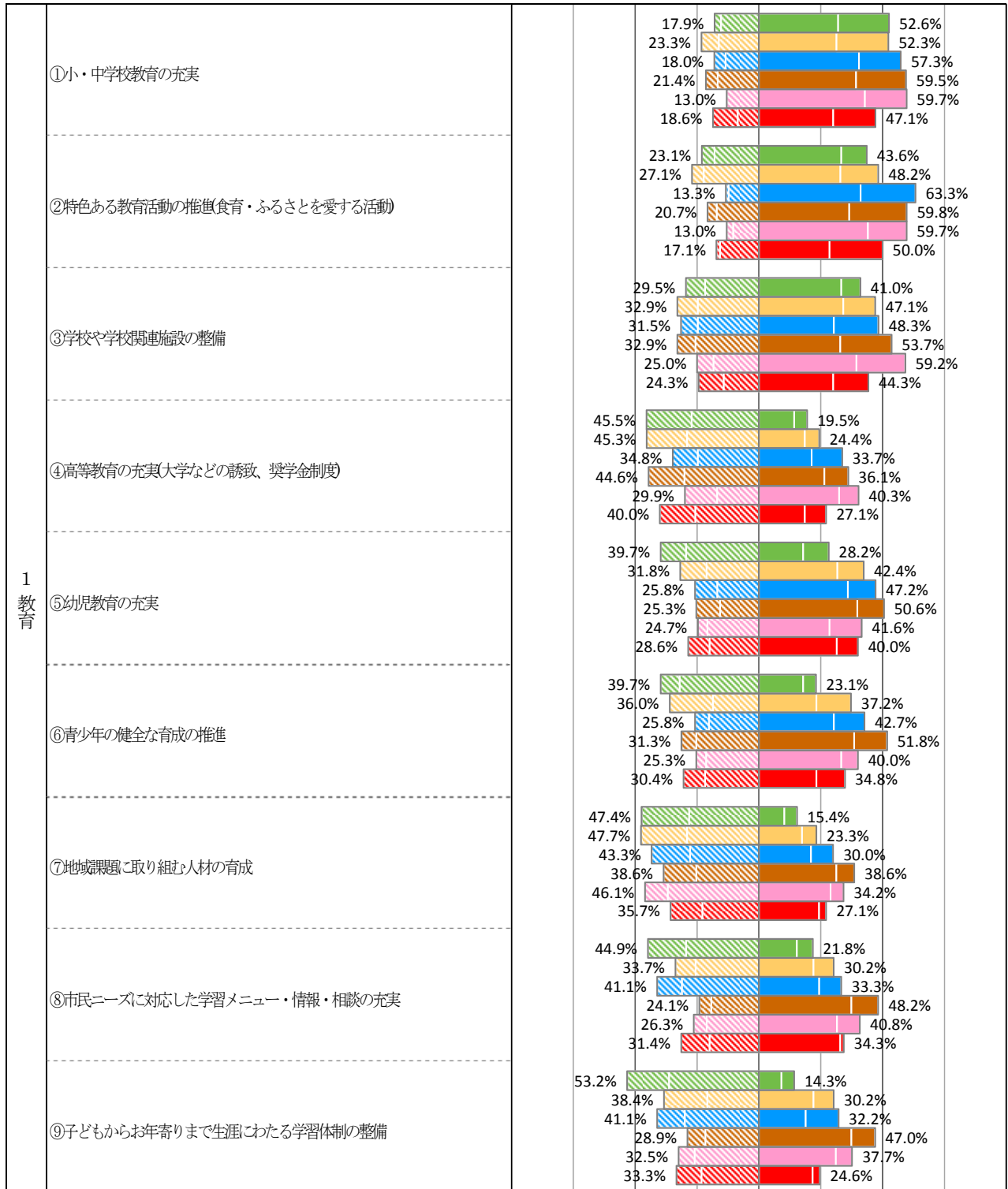


【年齢別集計】

1. 20 歳代

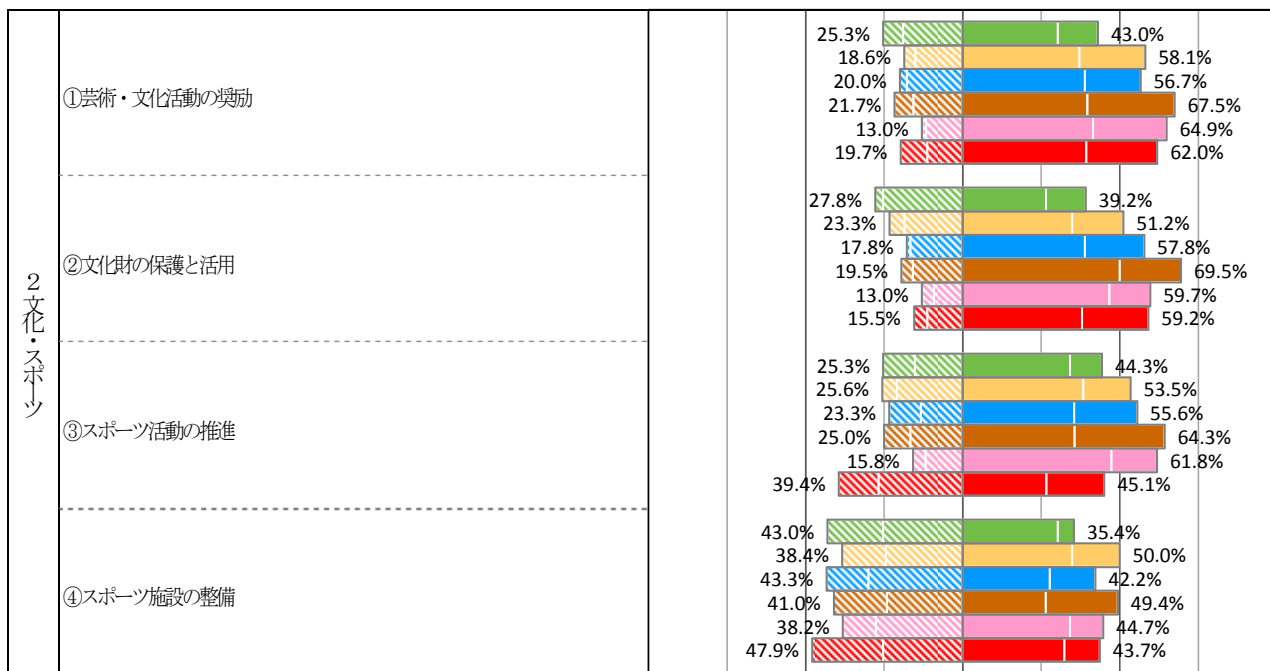
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

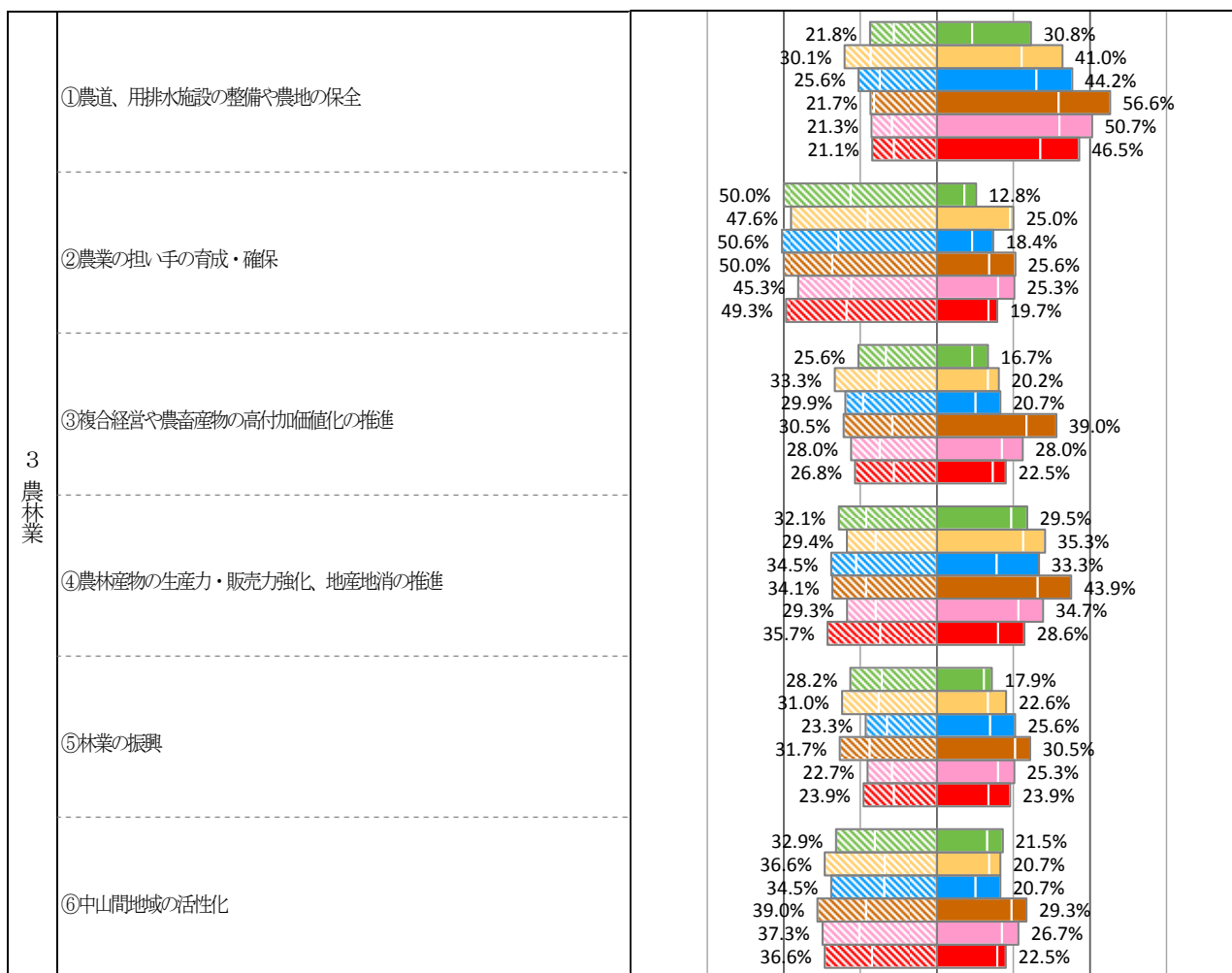


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



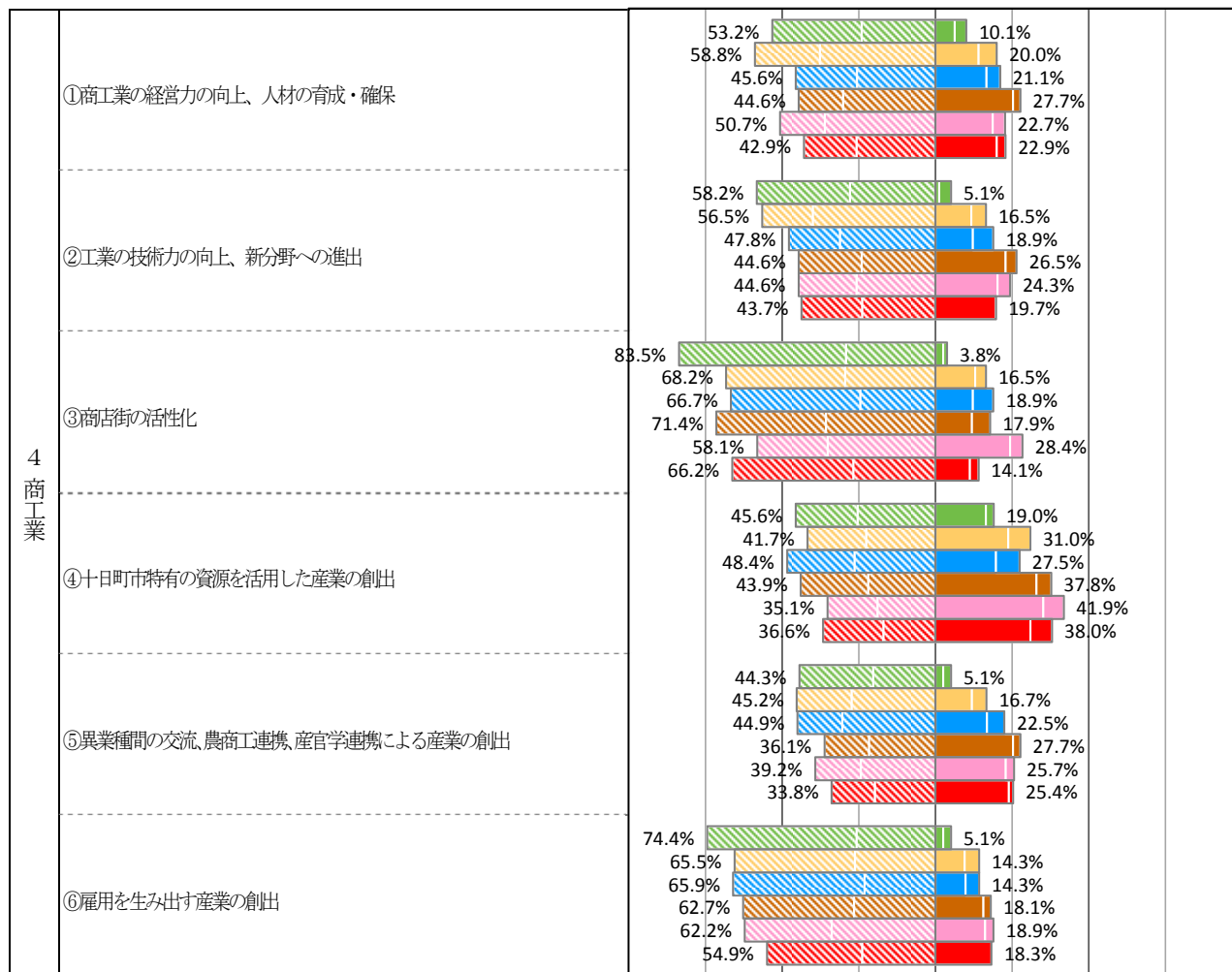
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



1. 20 歳代

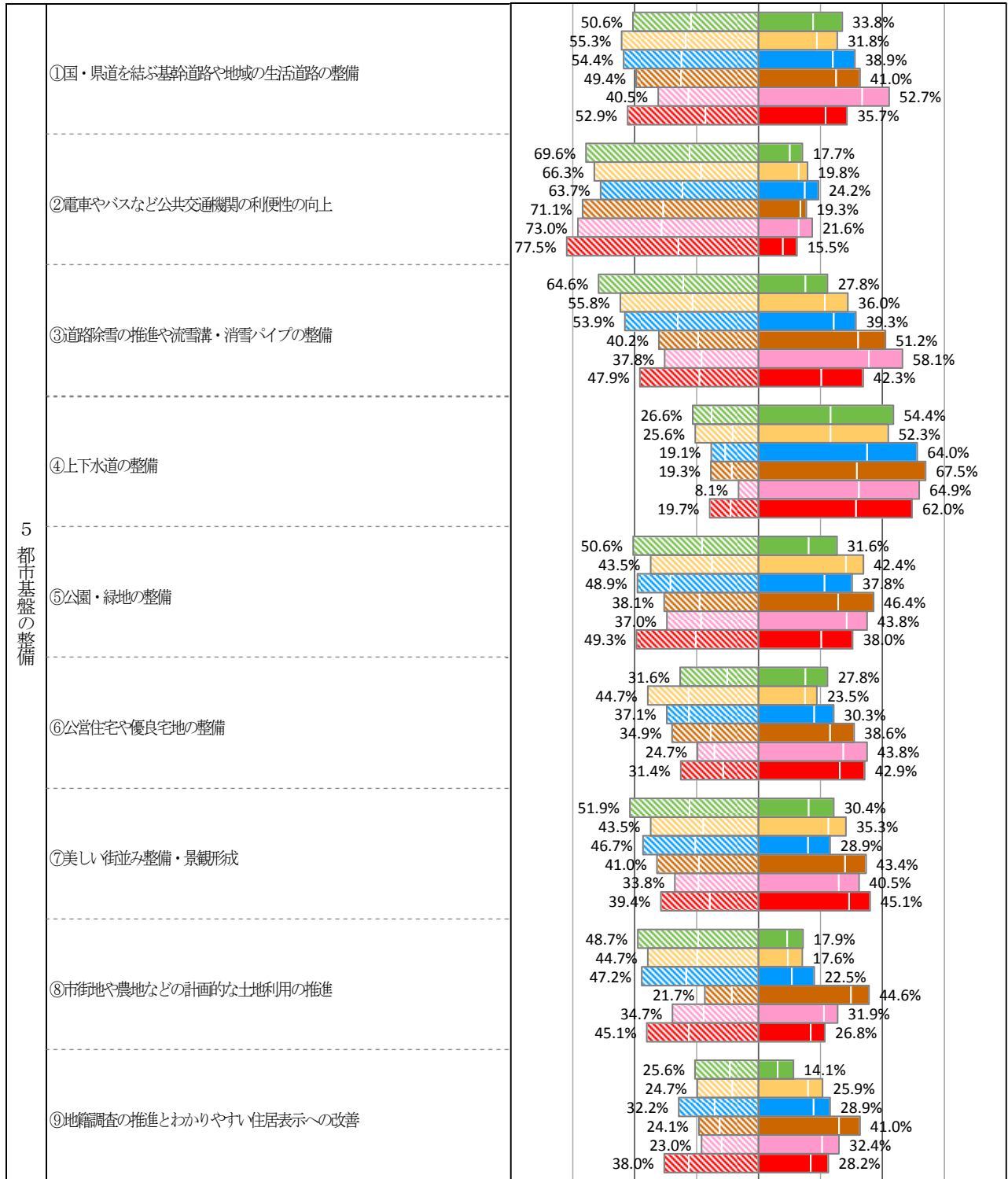
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

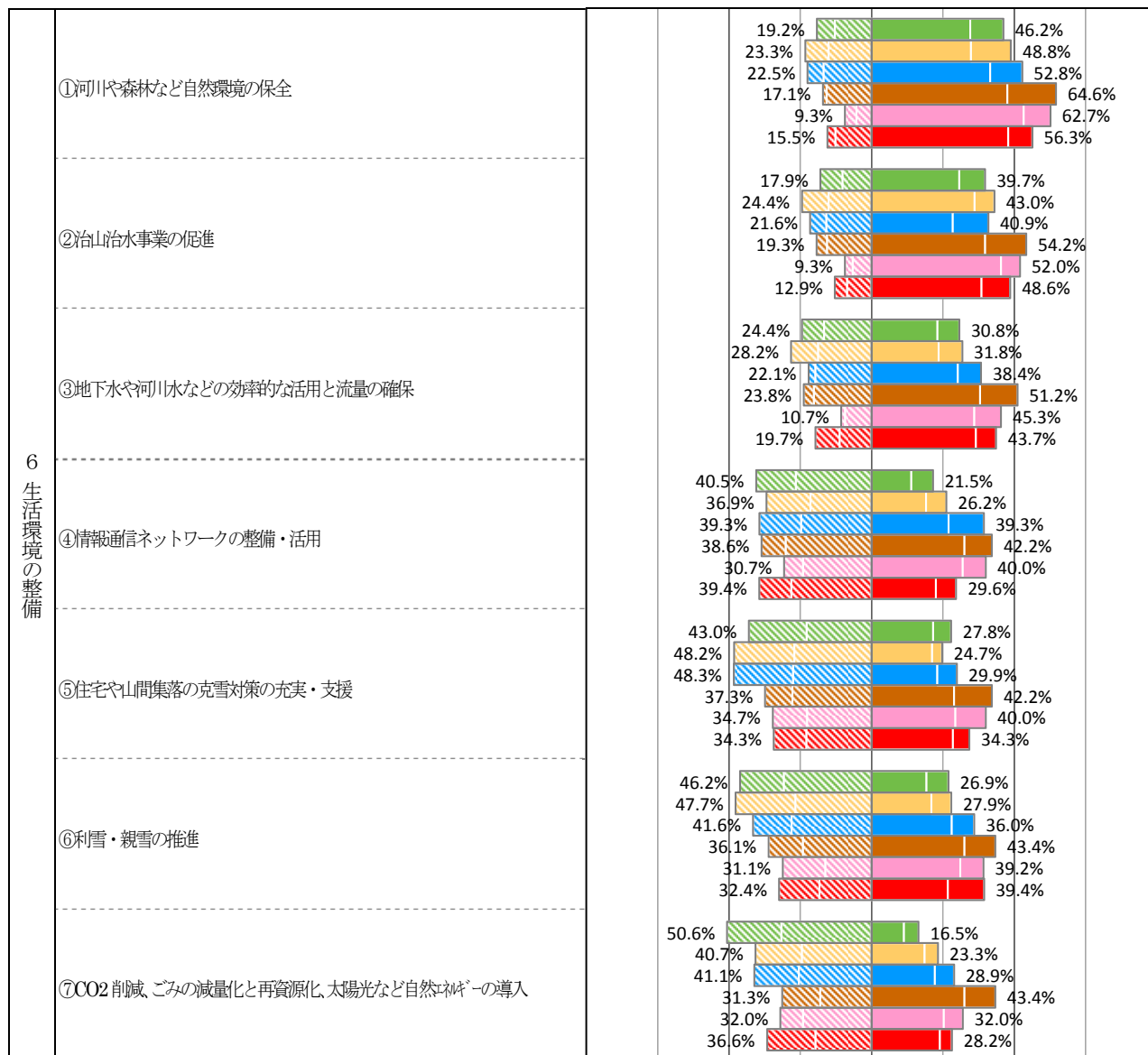
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



1. 20 歳代

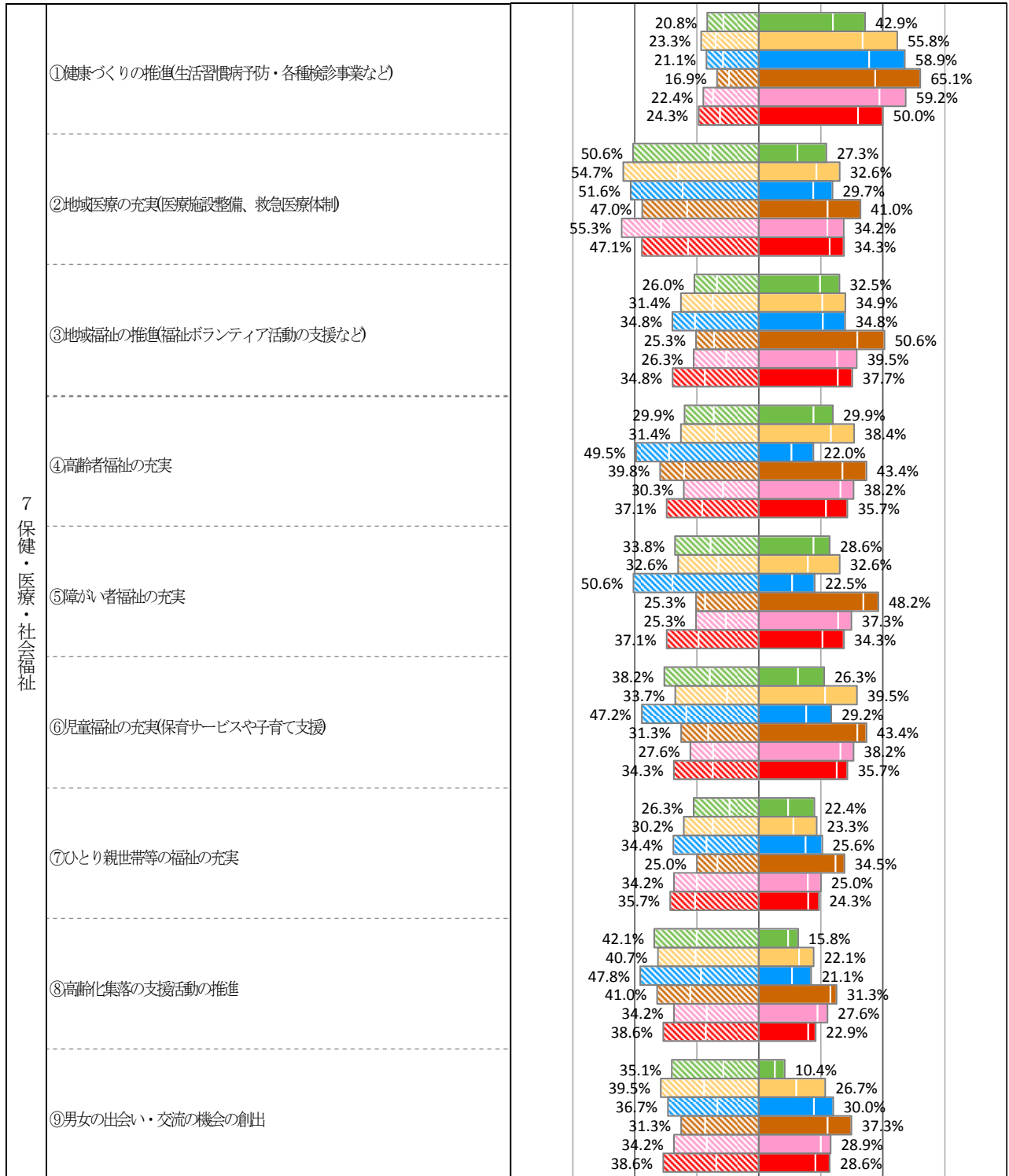
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

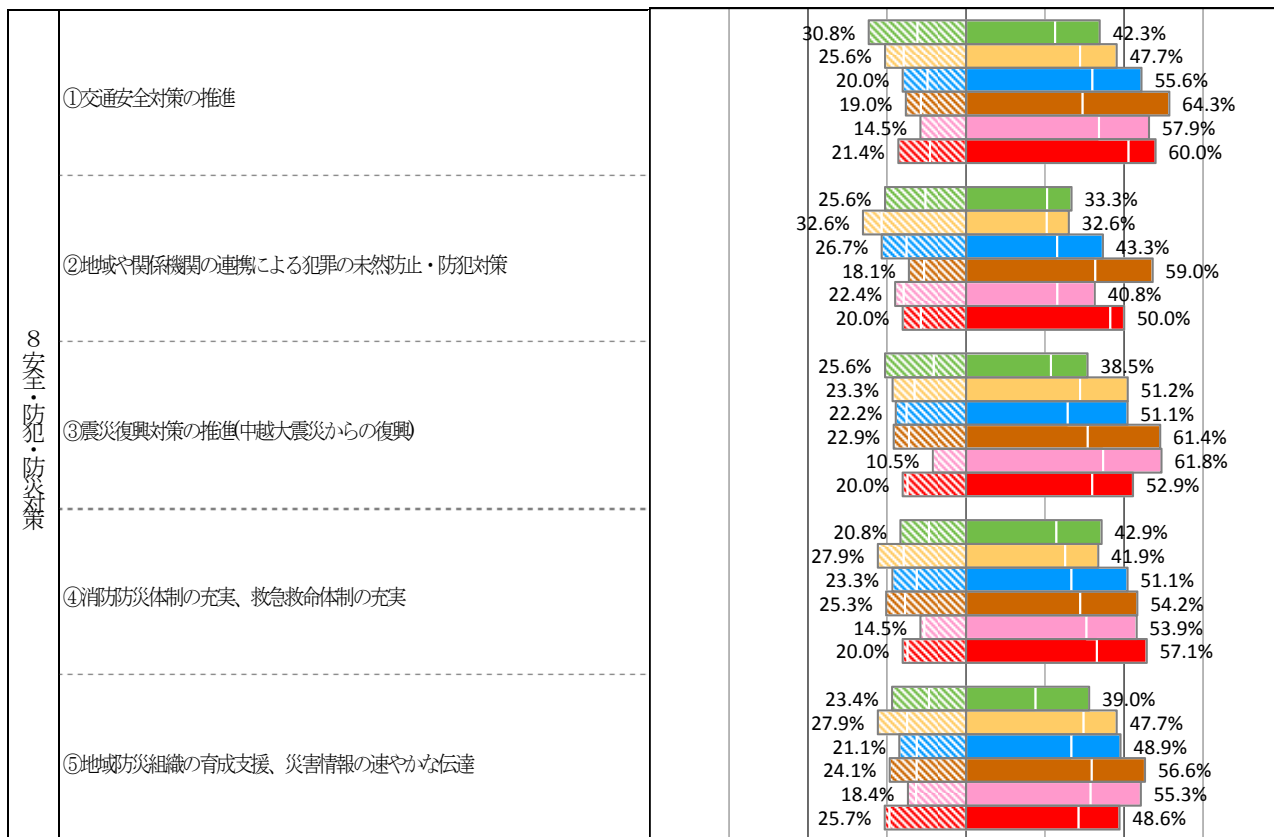
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



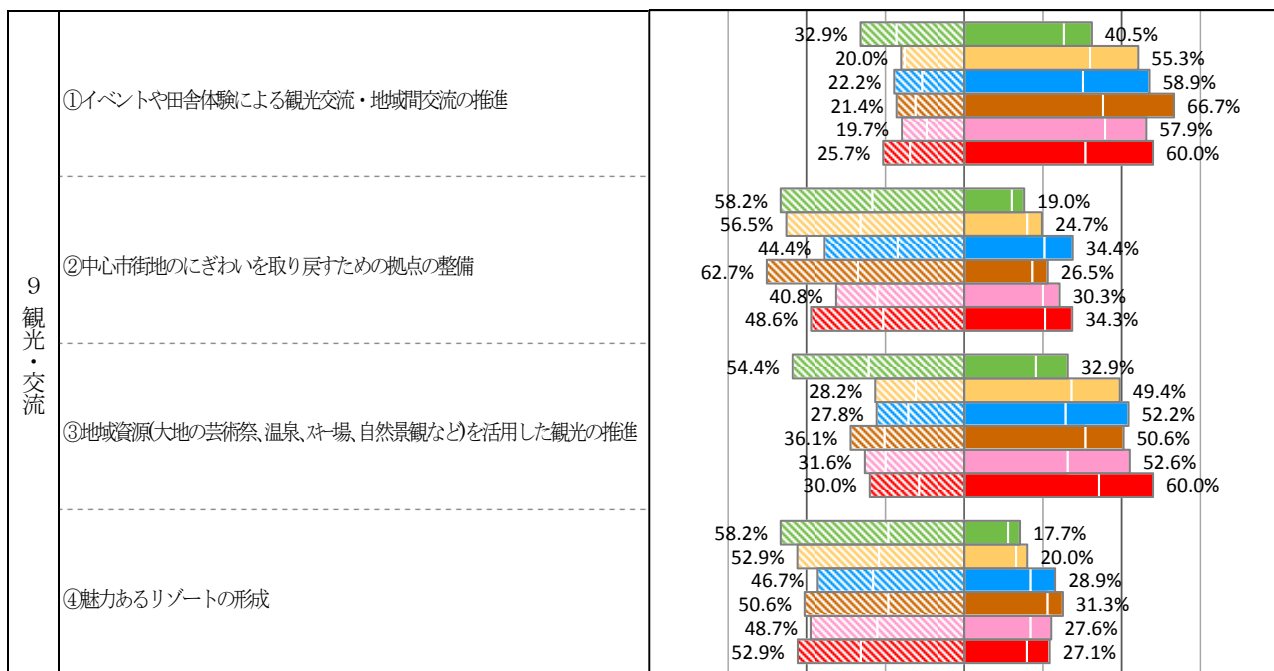
1. 20 歳代

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

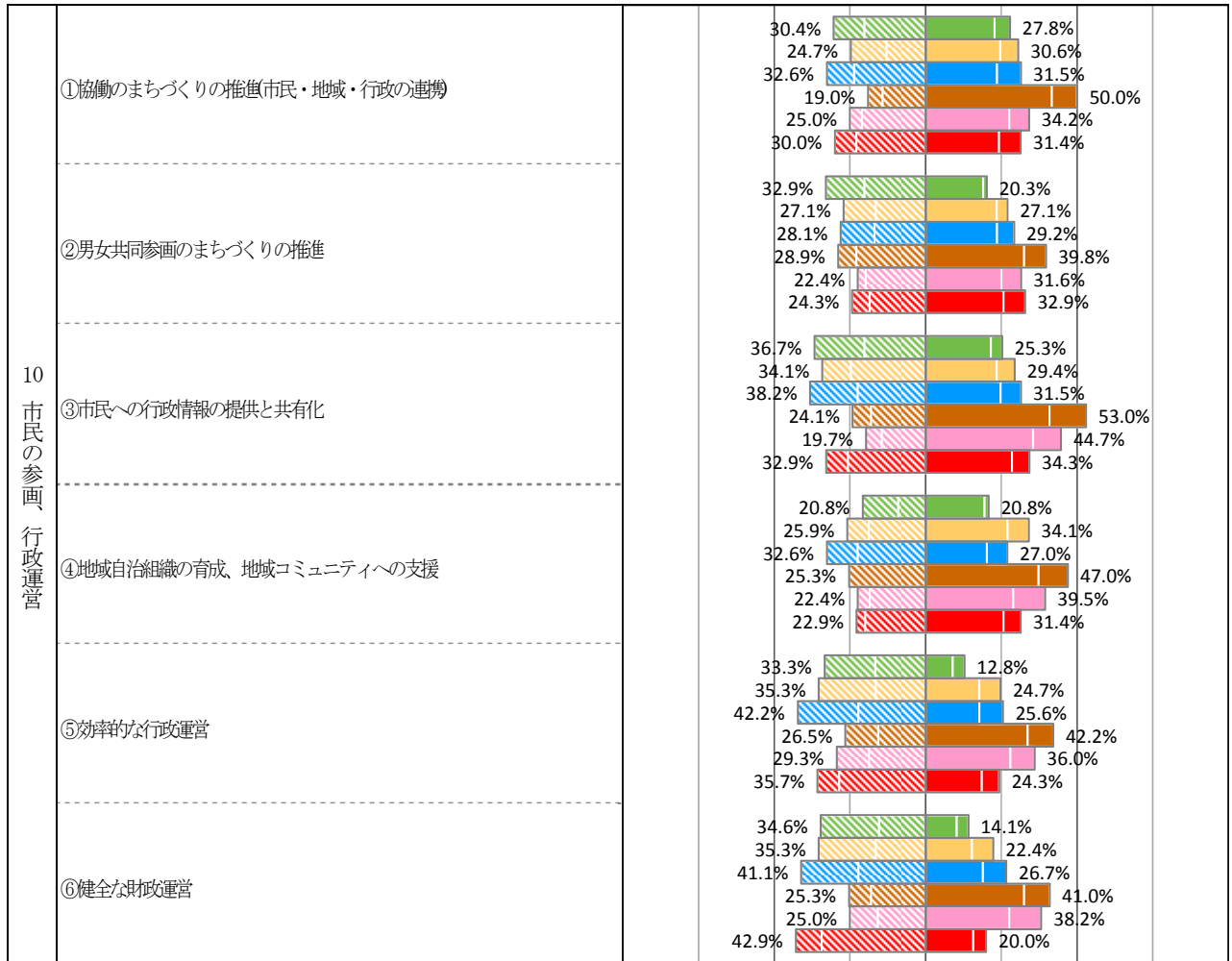


← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

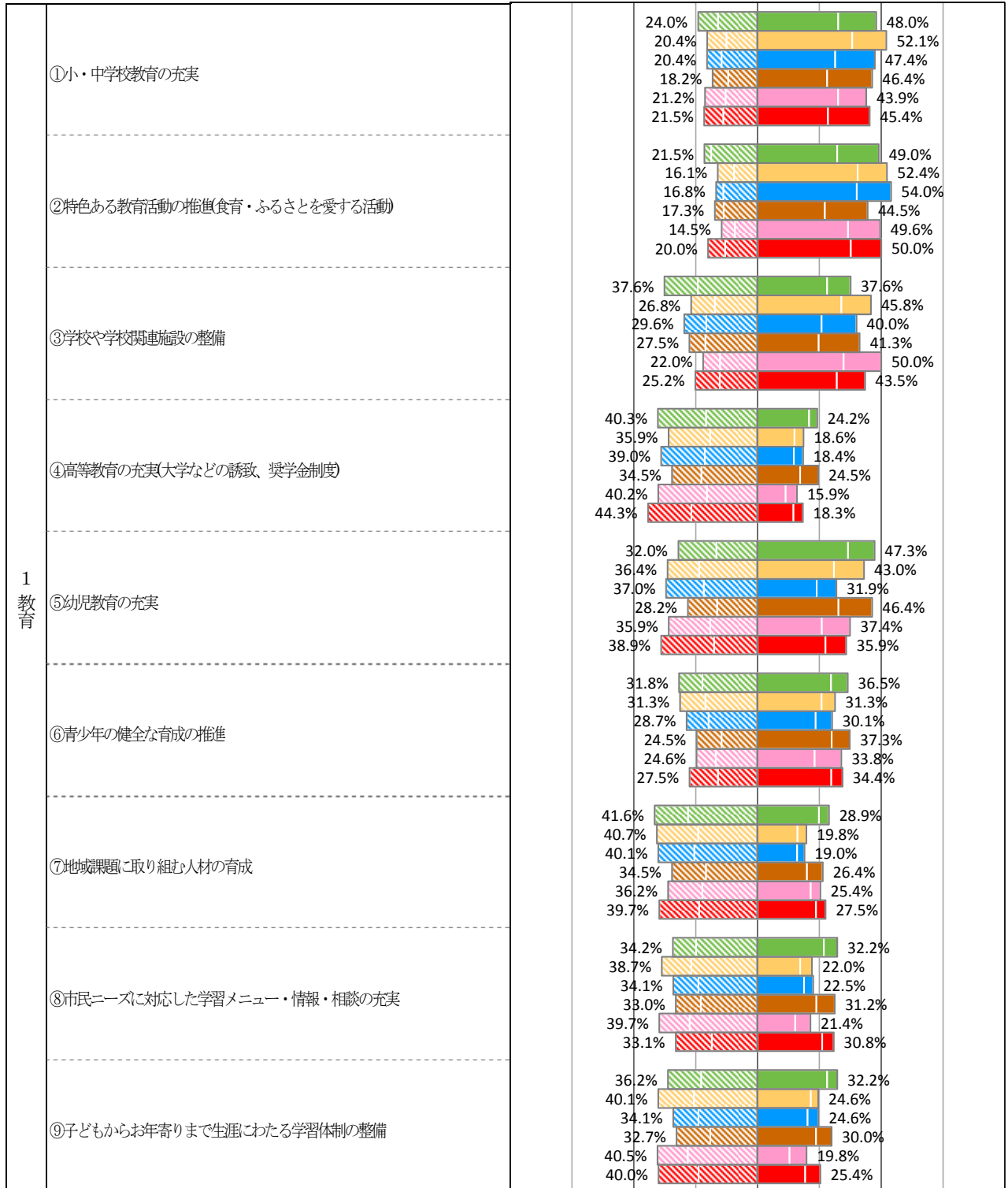
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



2. 30 歳代

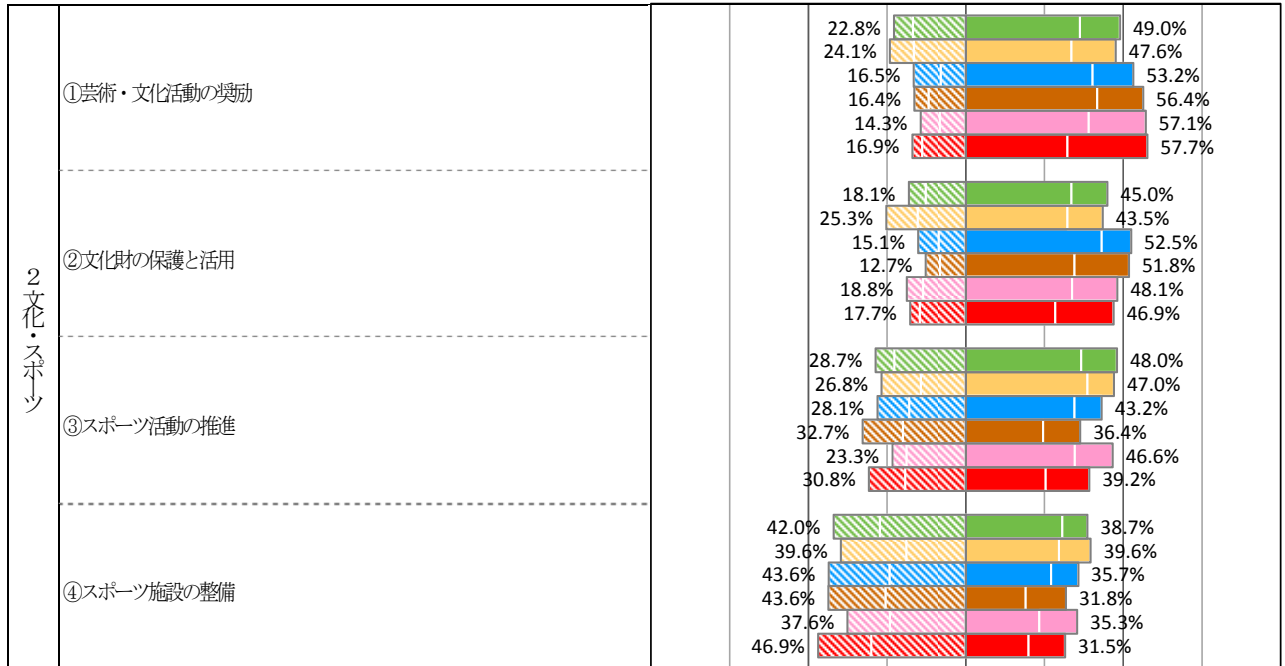
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

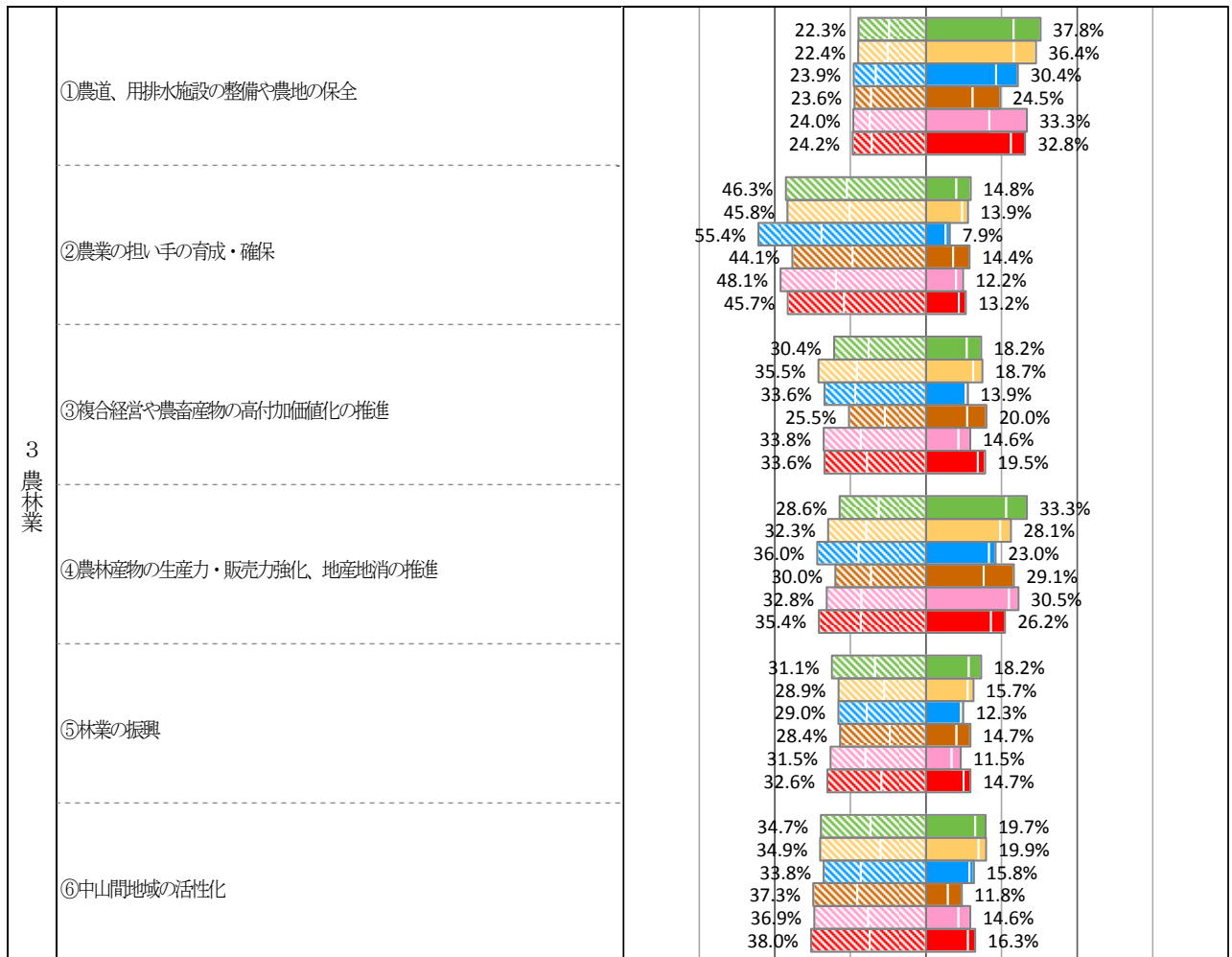


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



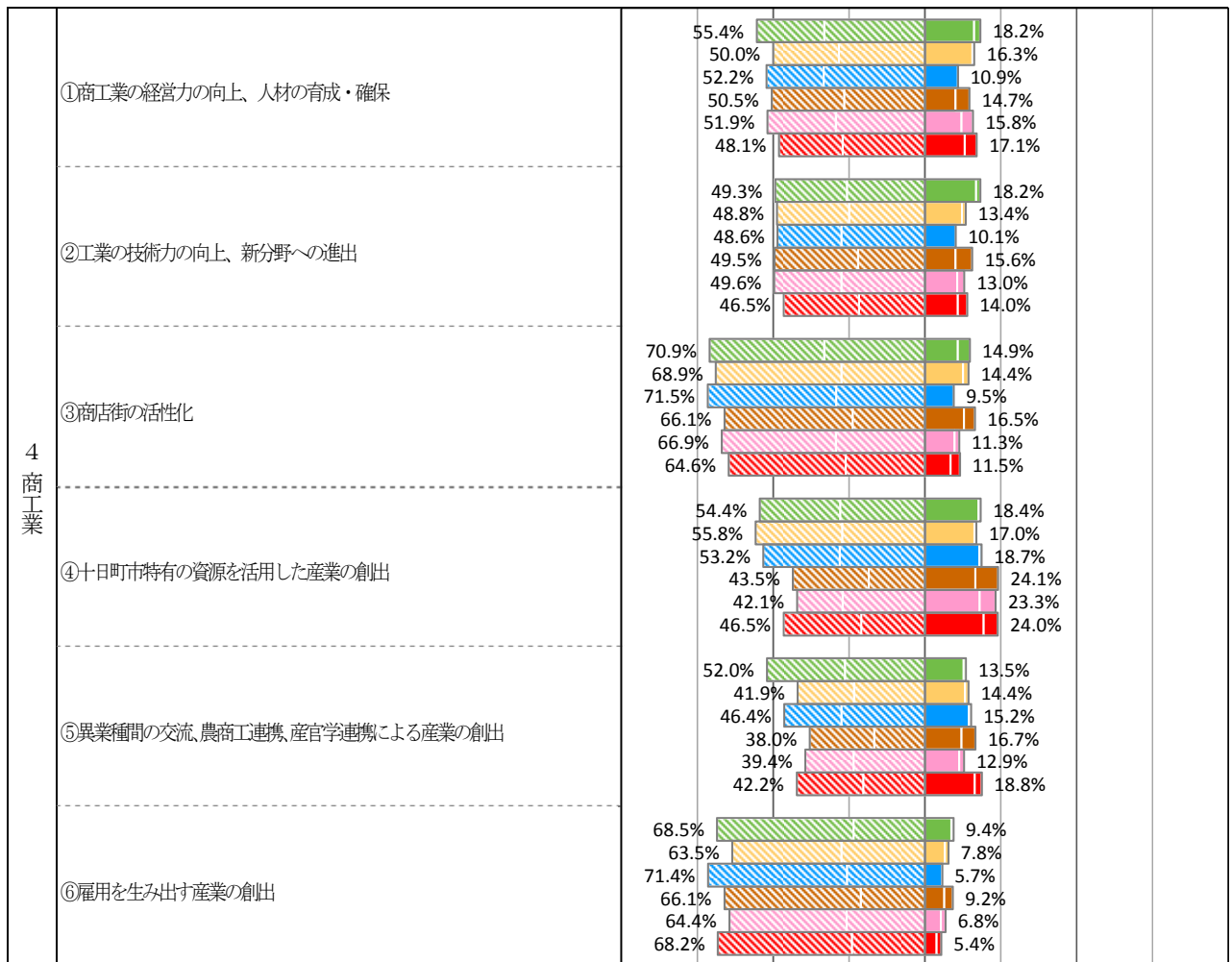
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



2. 30 歳代

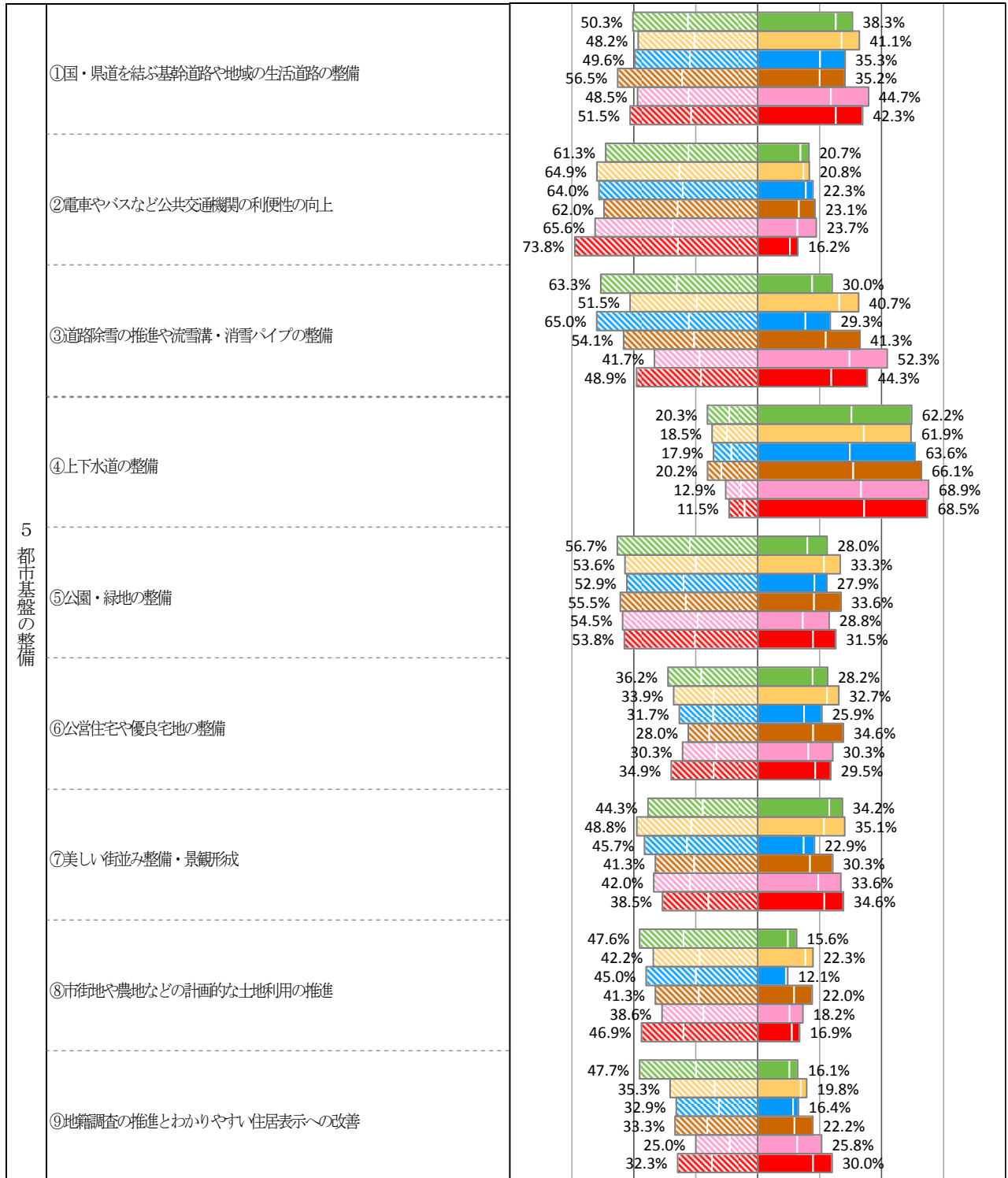
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

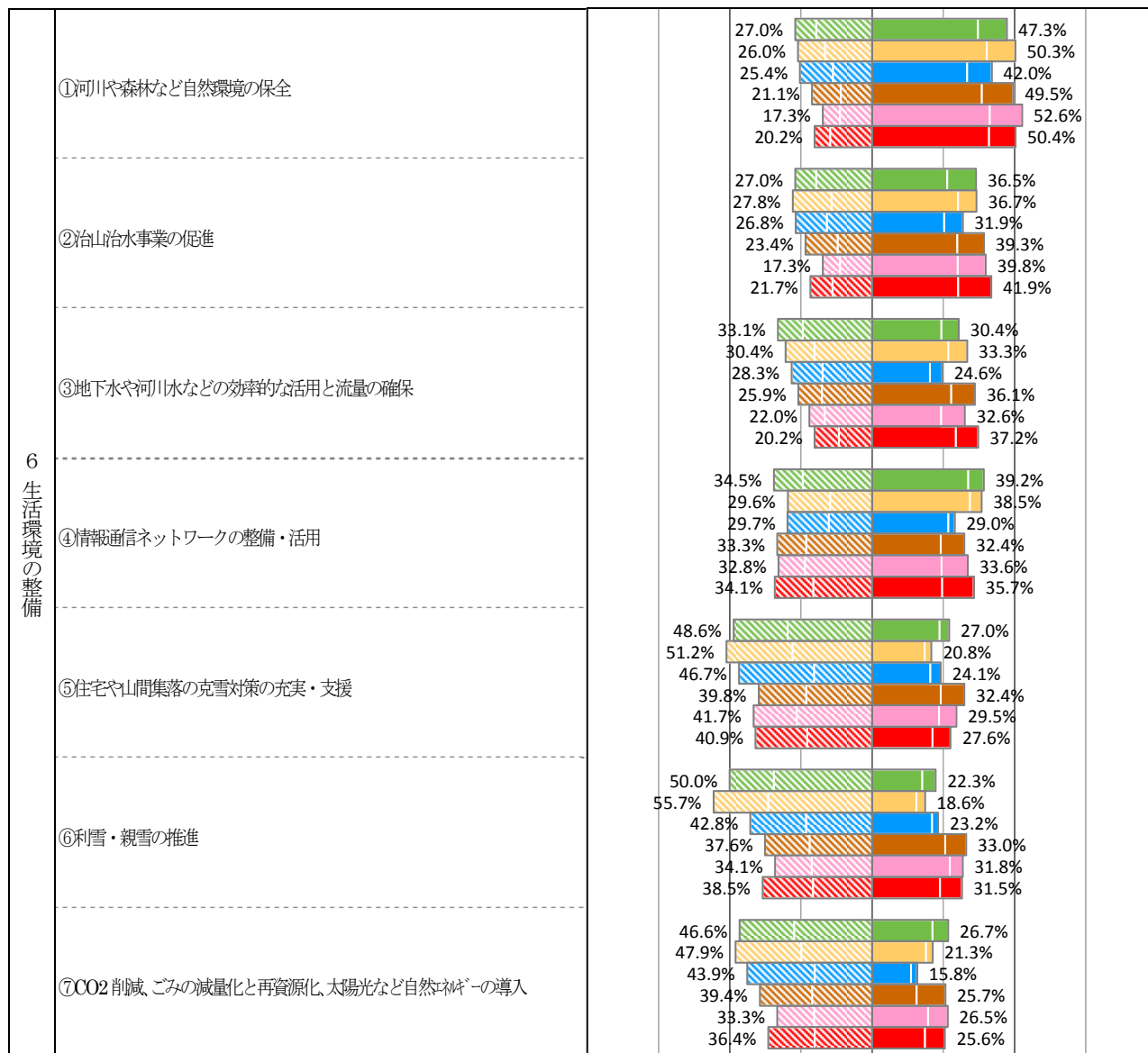
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



2. 30 歳代

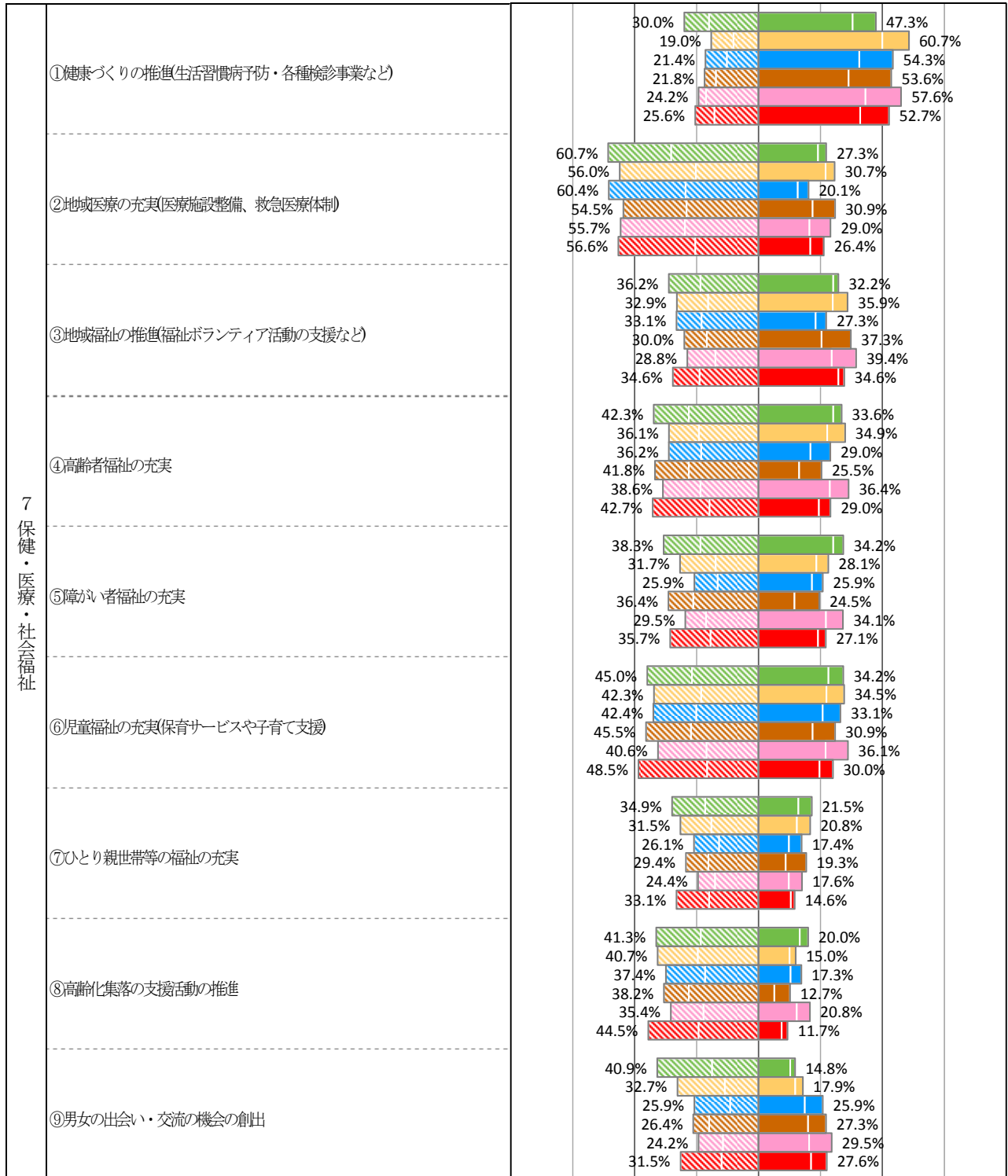
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

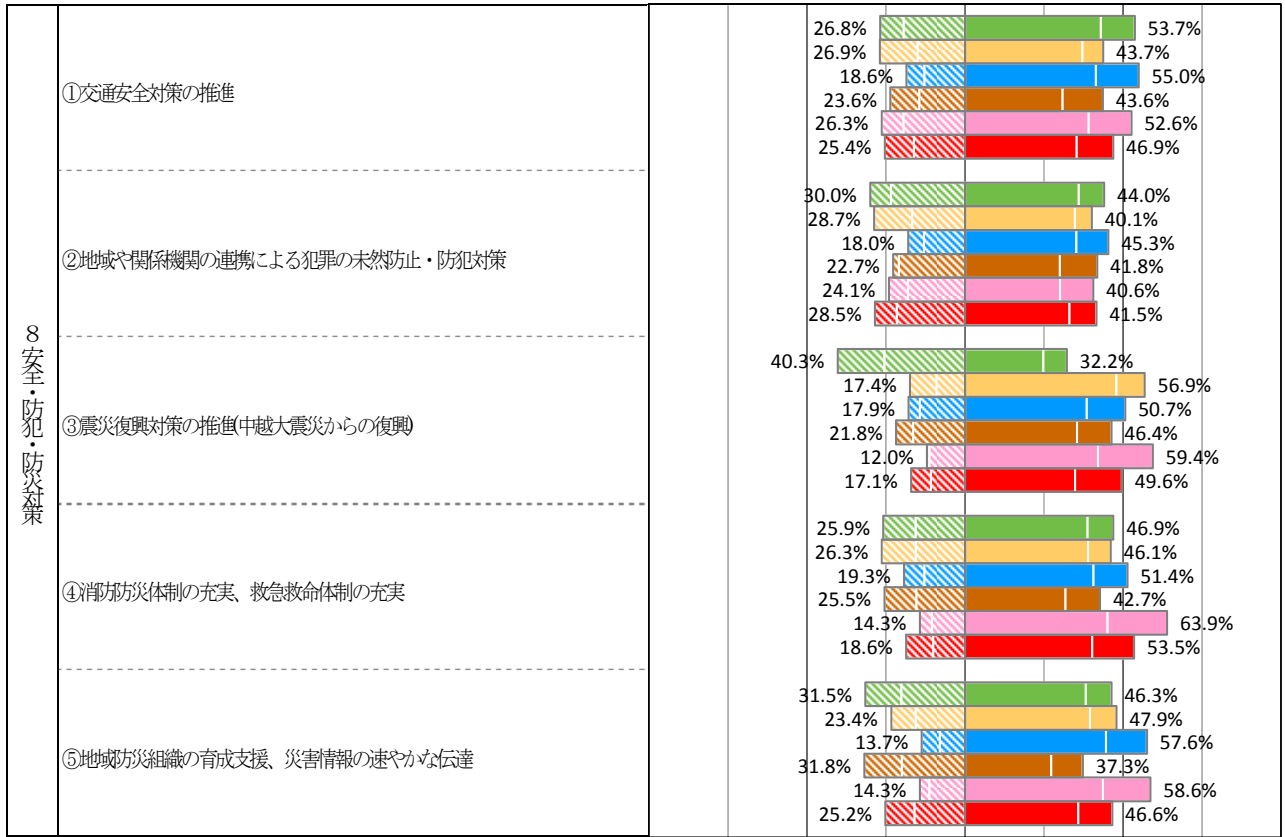
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



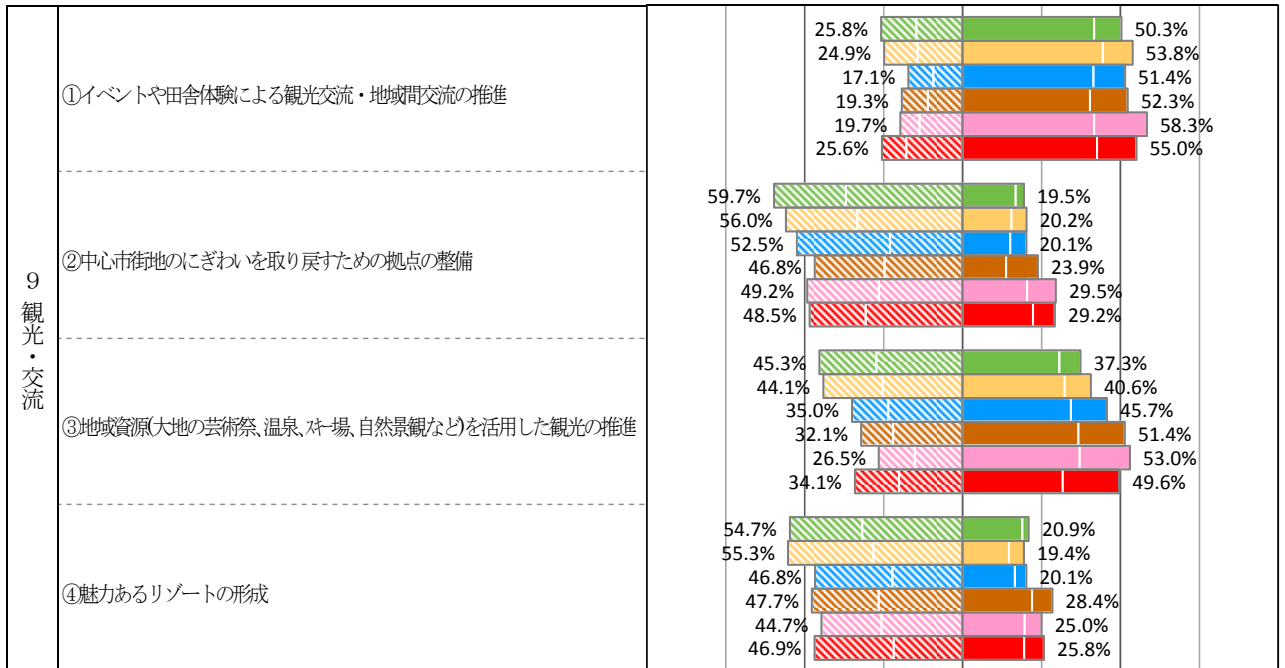
2. 30 歳代

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

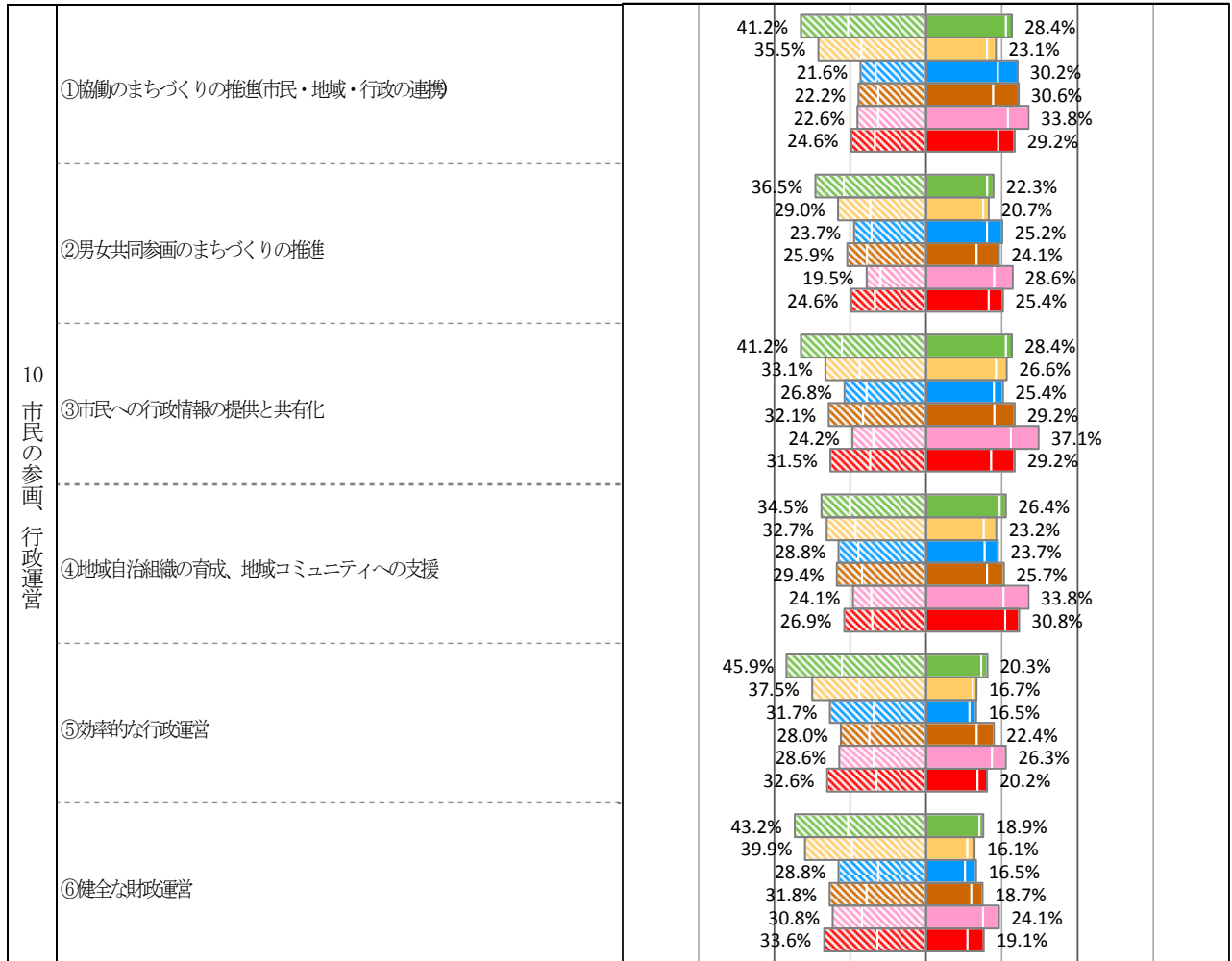


← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

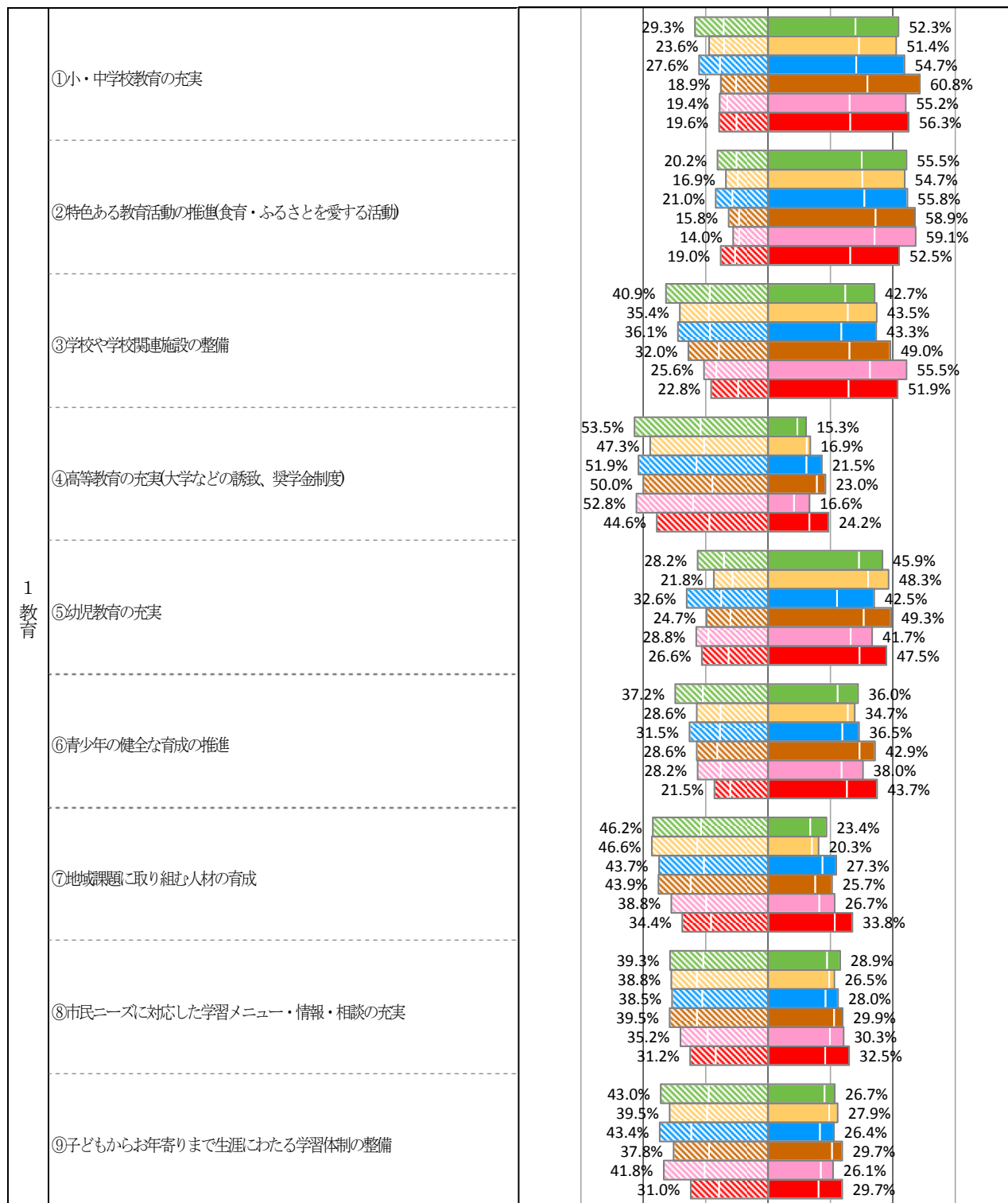
← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



3.40 歳代

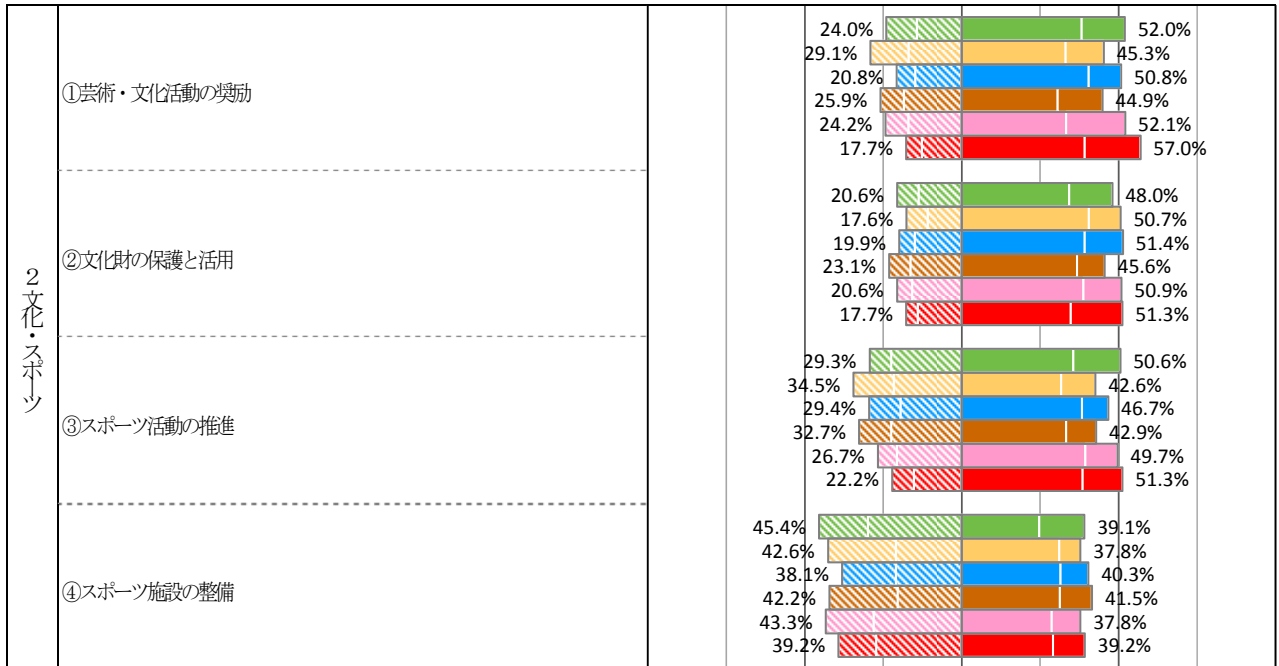
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

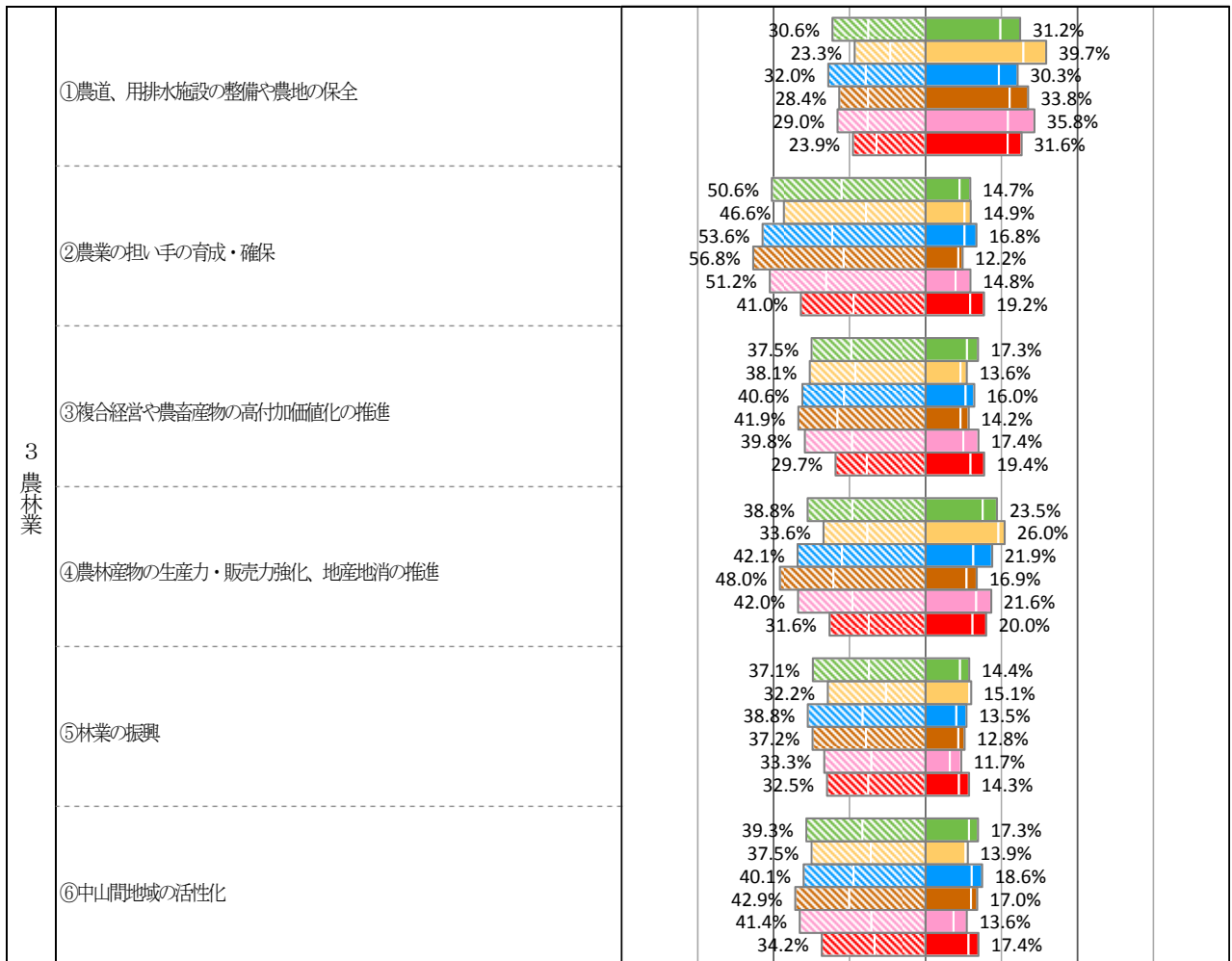


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



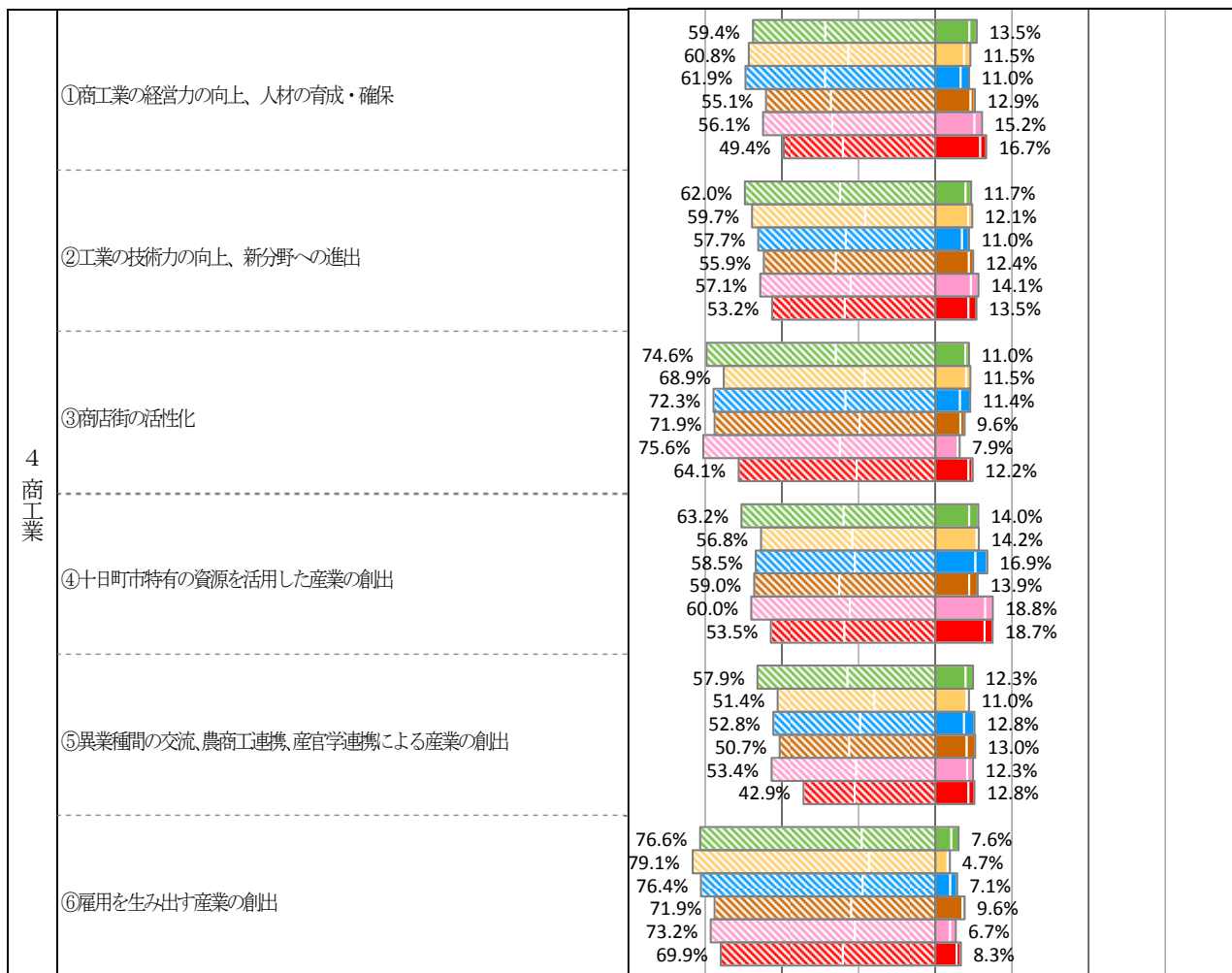
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



3.40 歳代

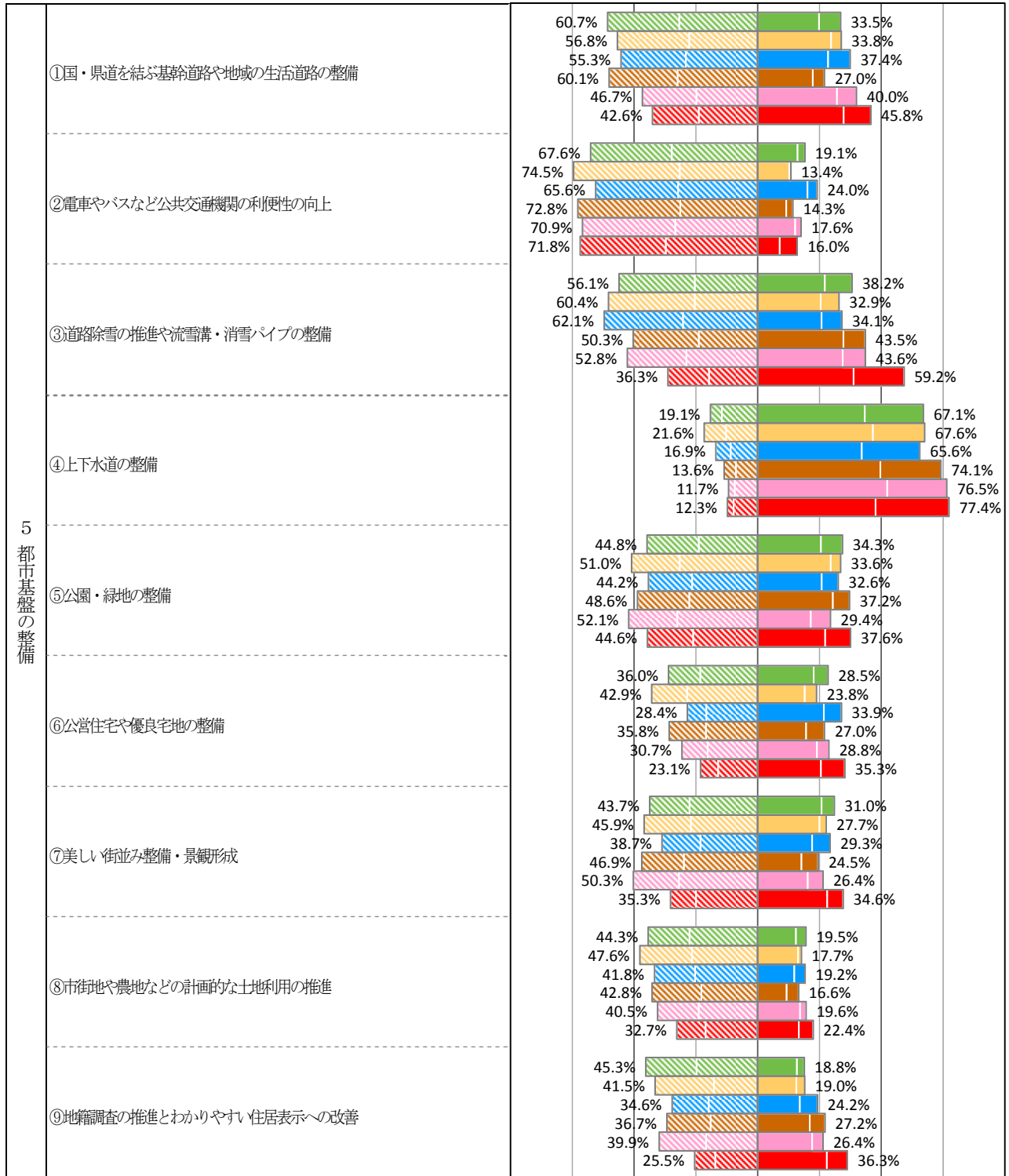
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

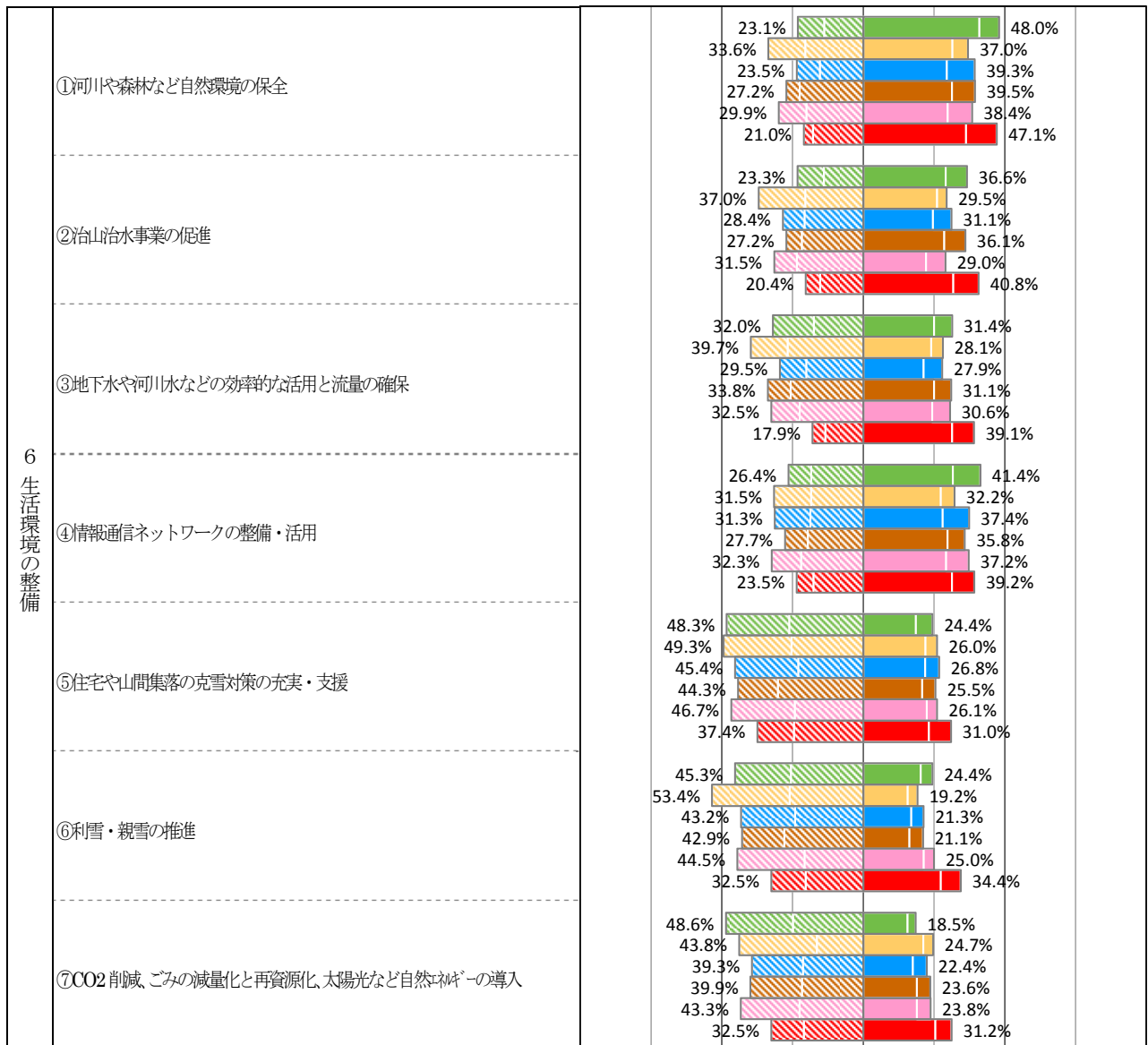
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



3.40 歳代

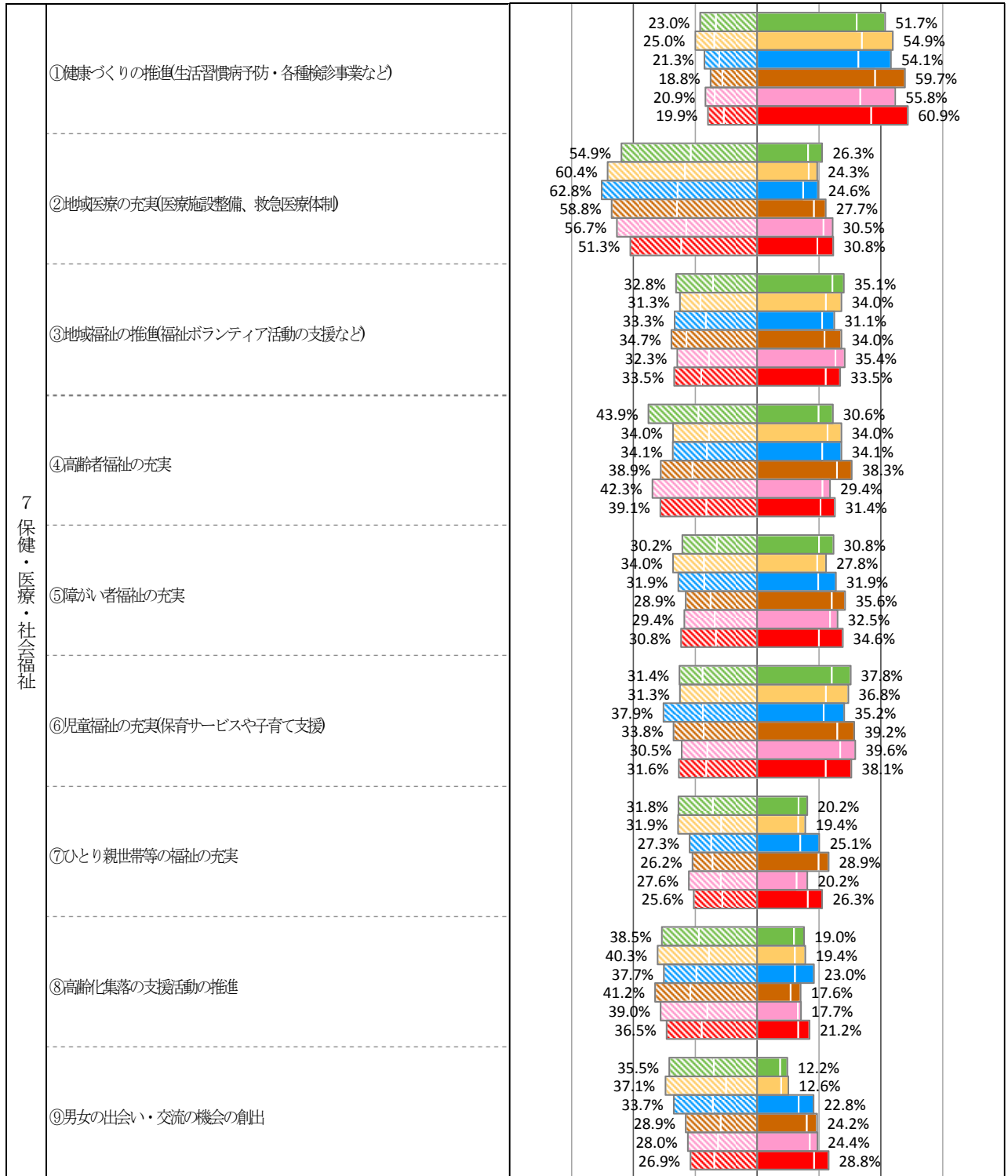
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



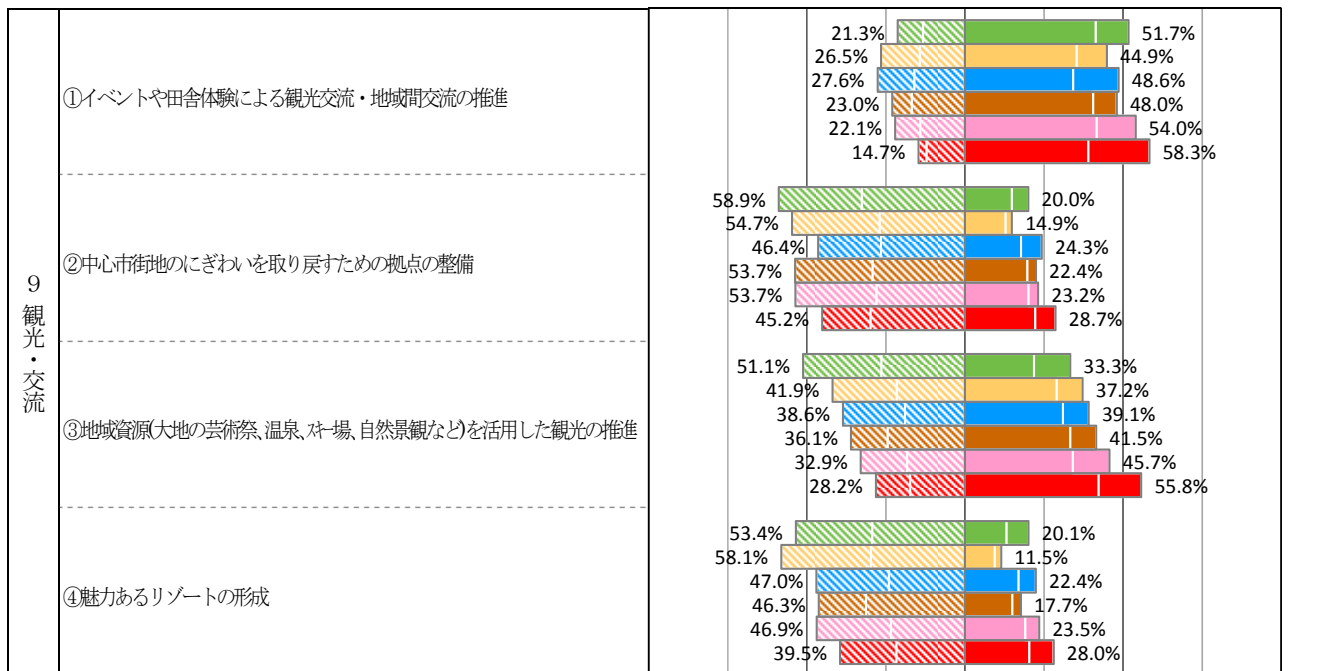
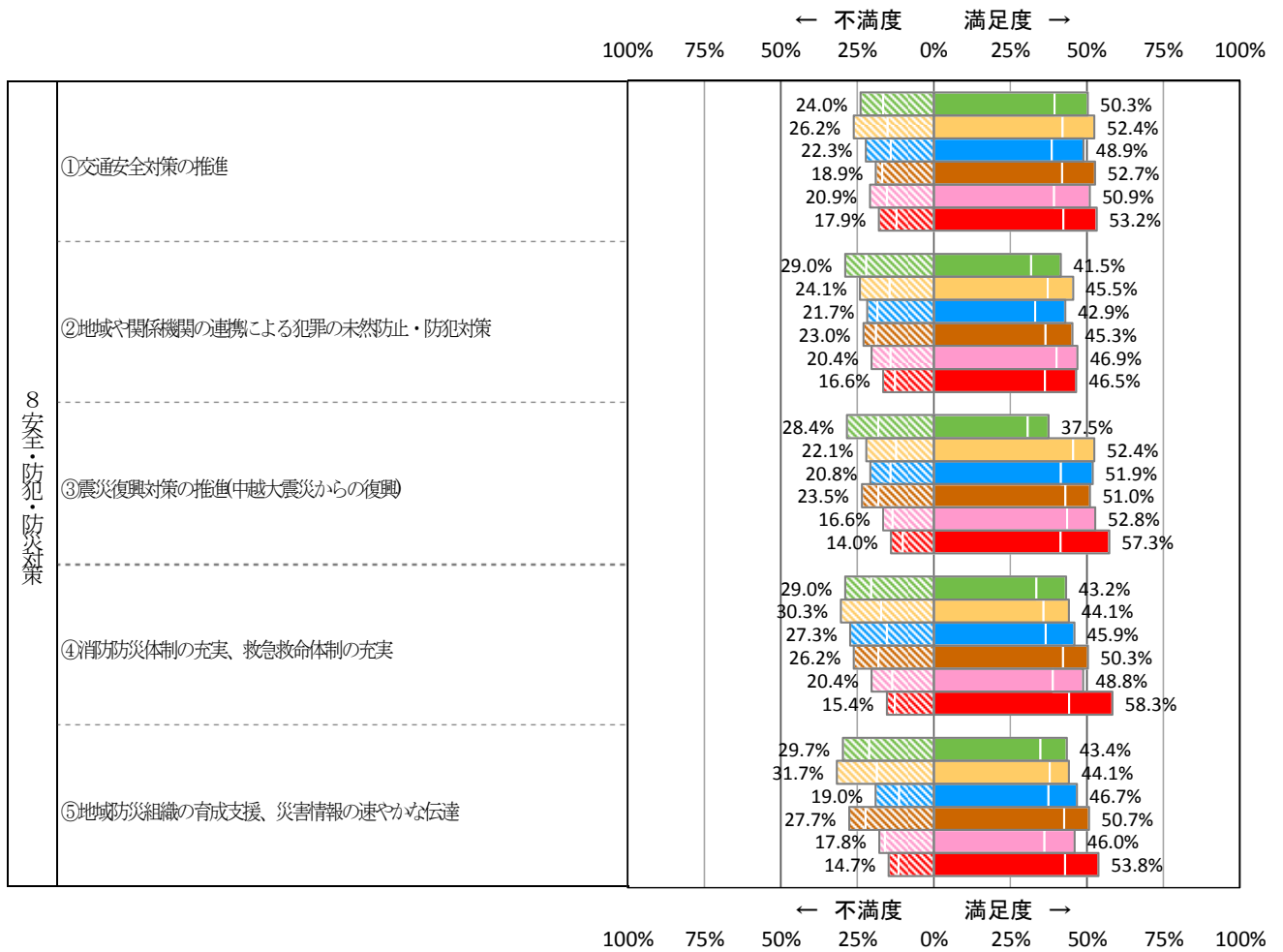
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



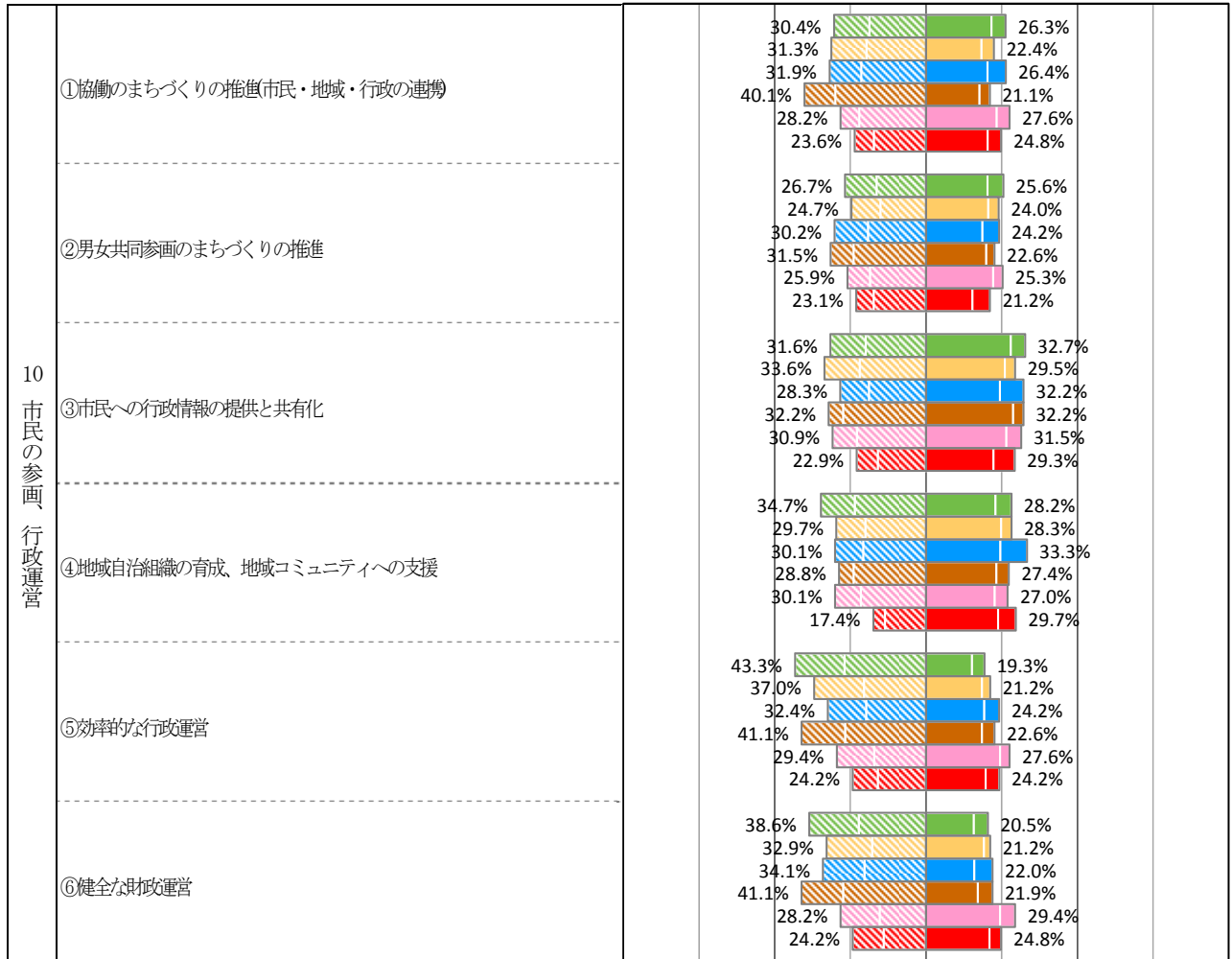
3. 40 歳代

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

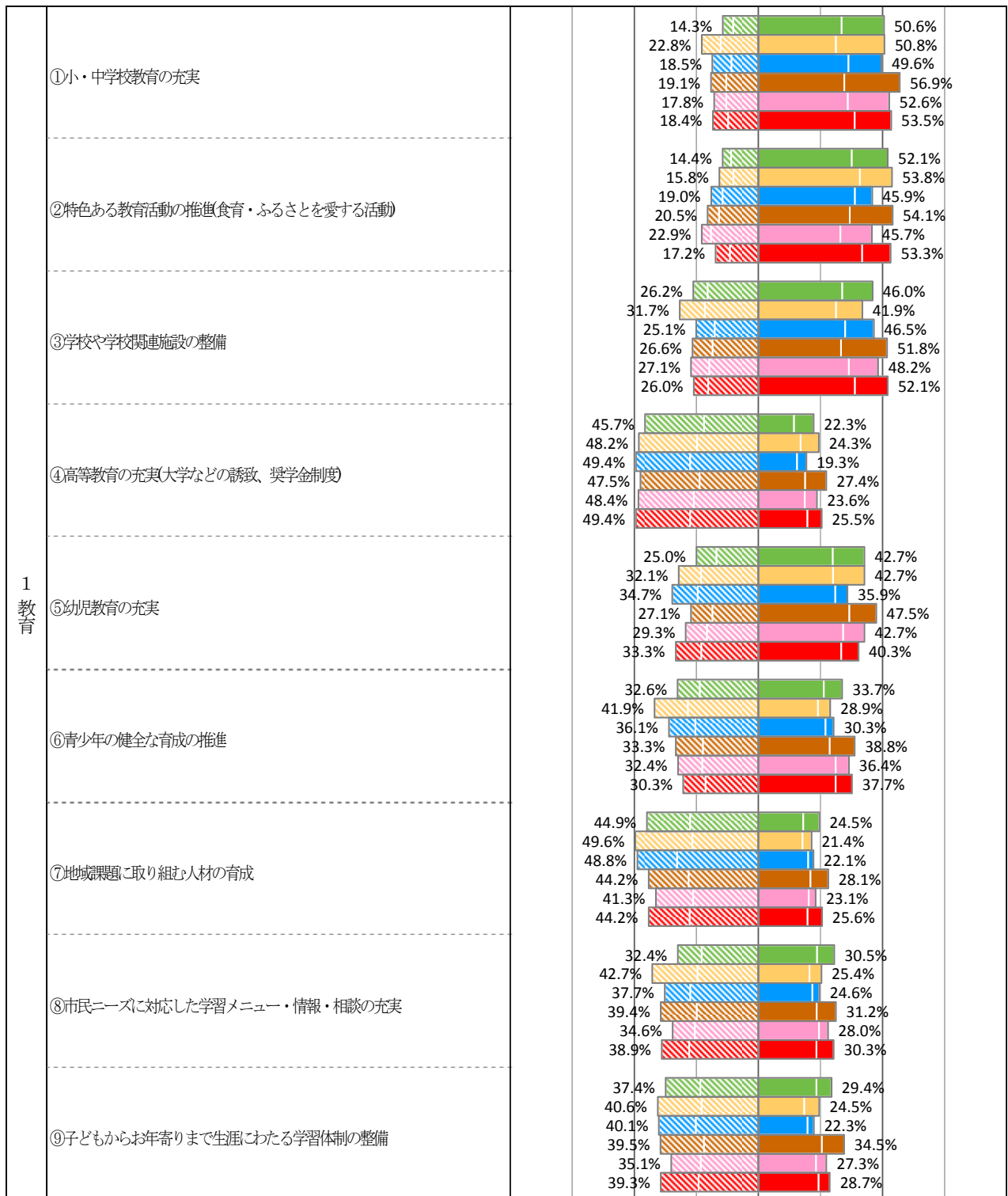
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



4. 50 歳代

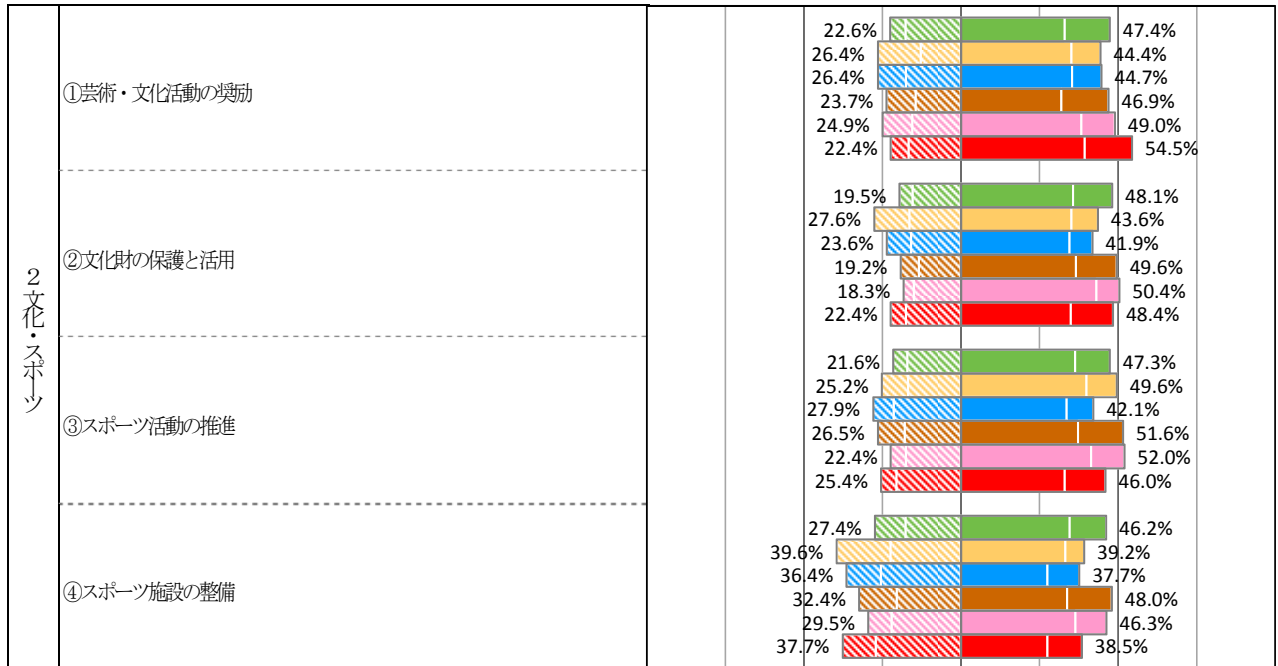
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

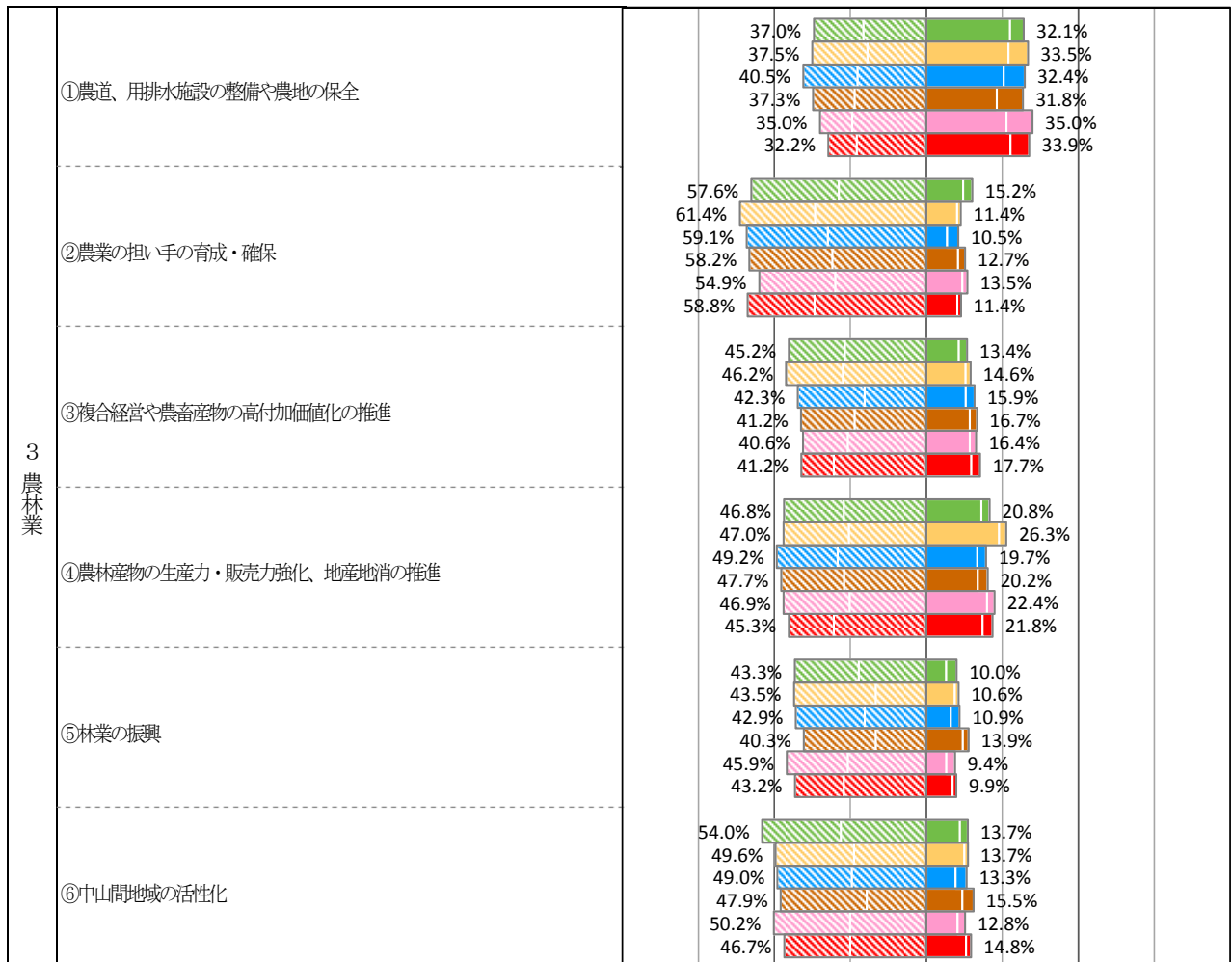


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



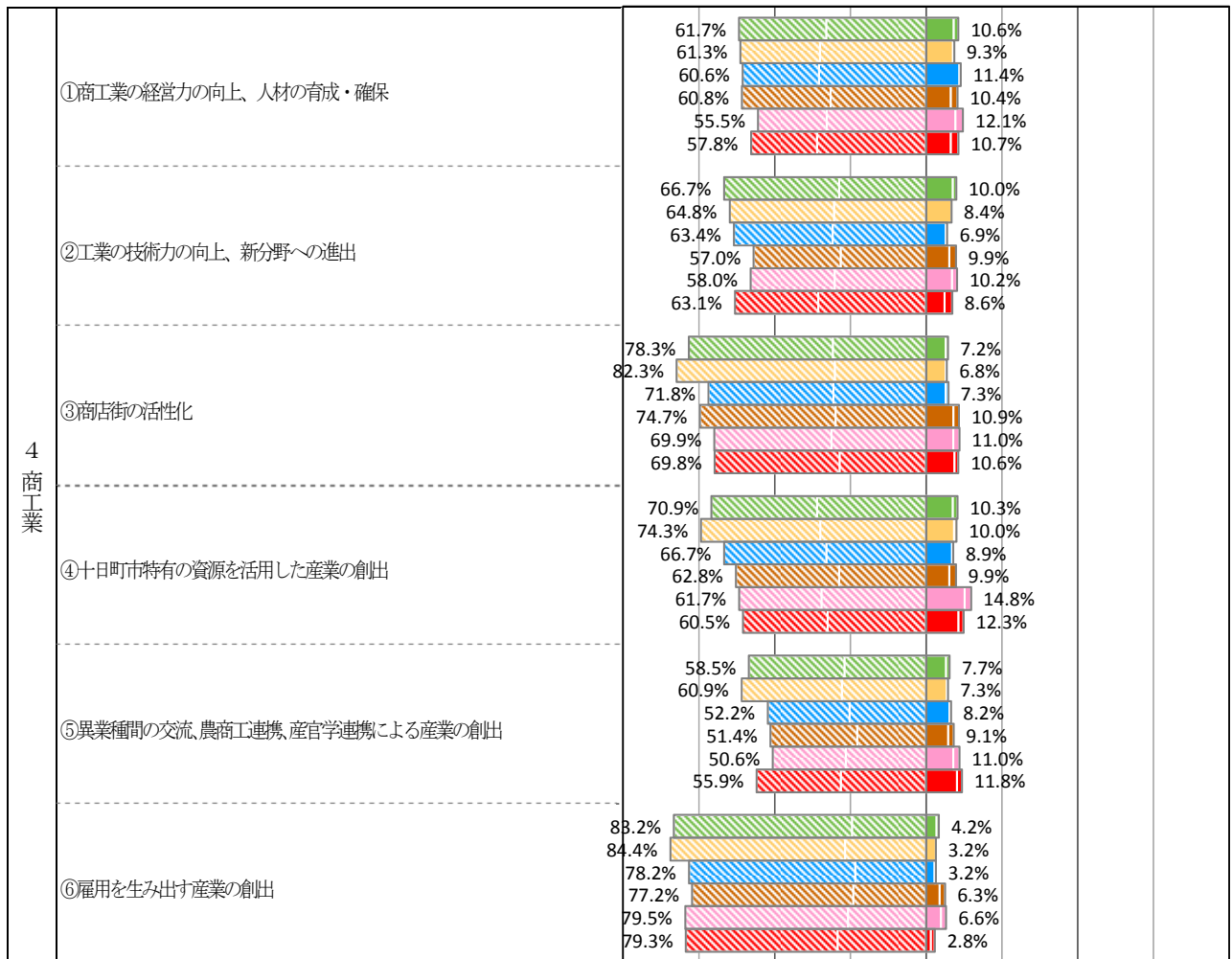
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



4. 50 歳代

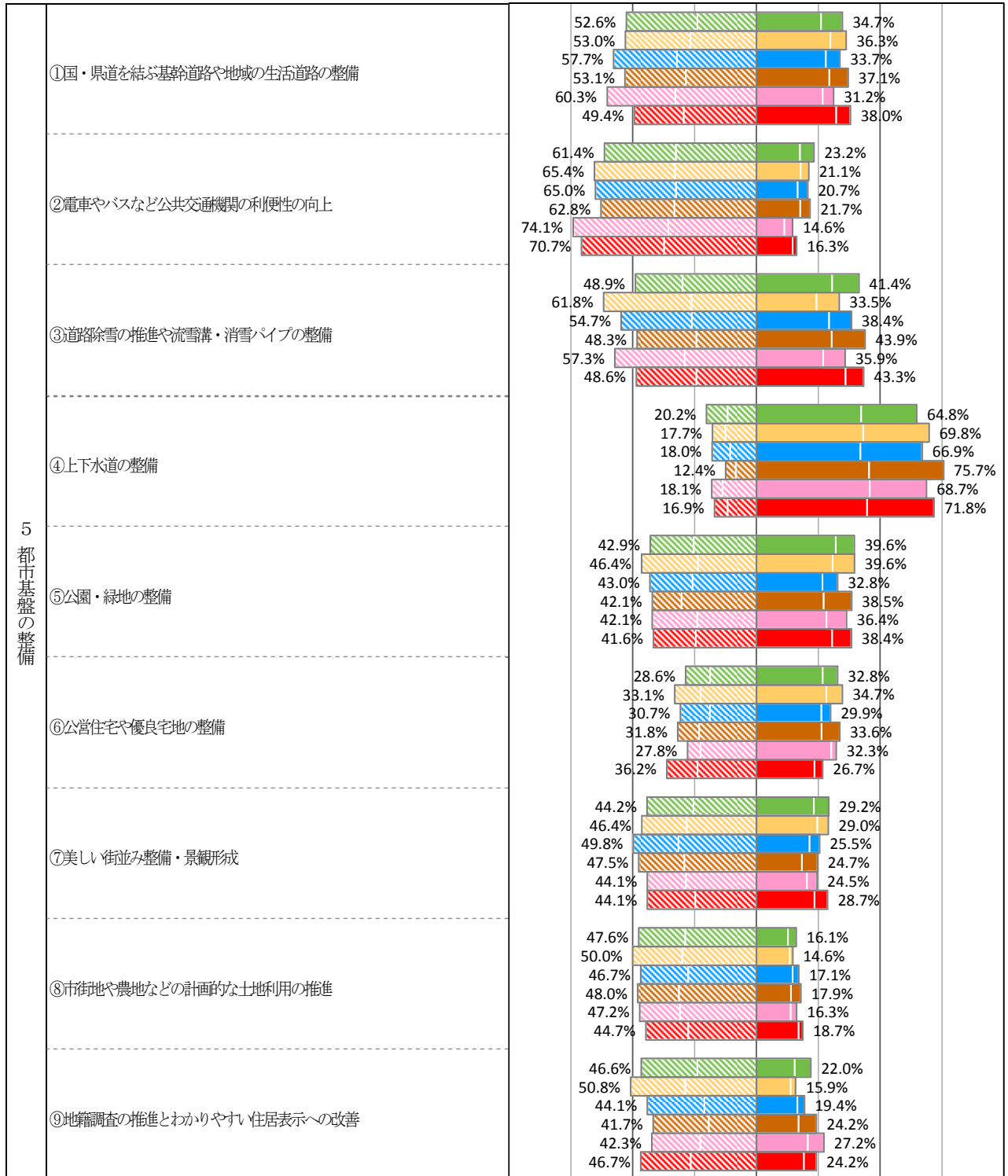
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

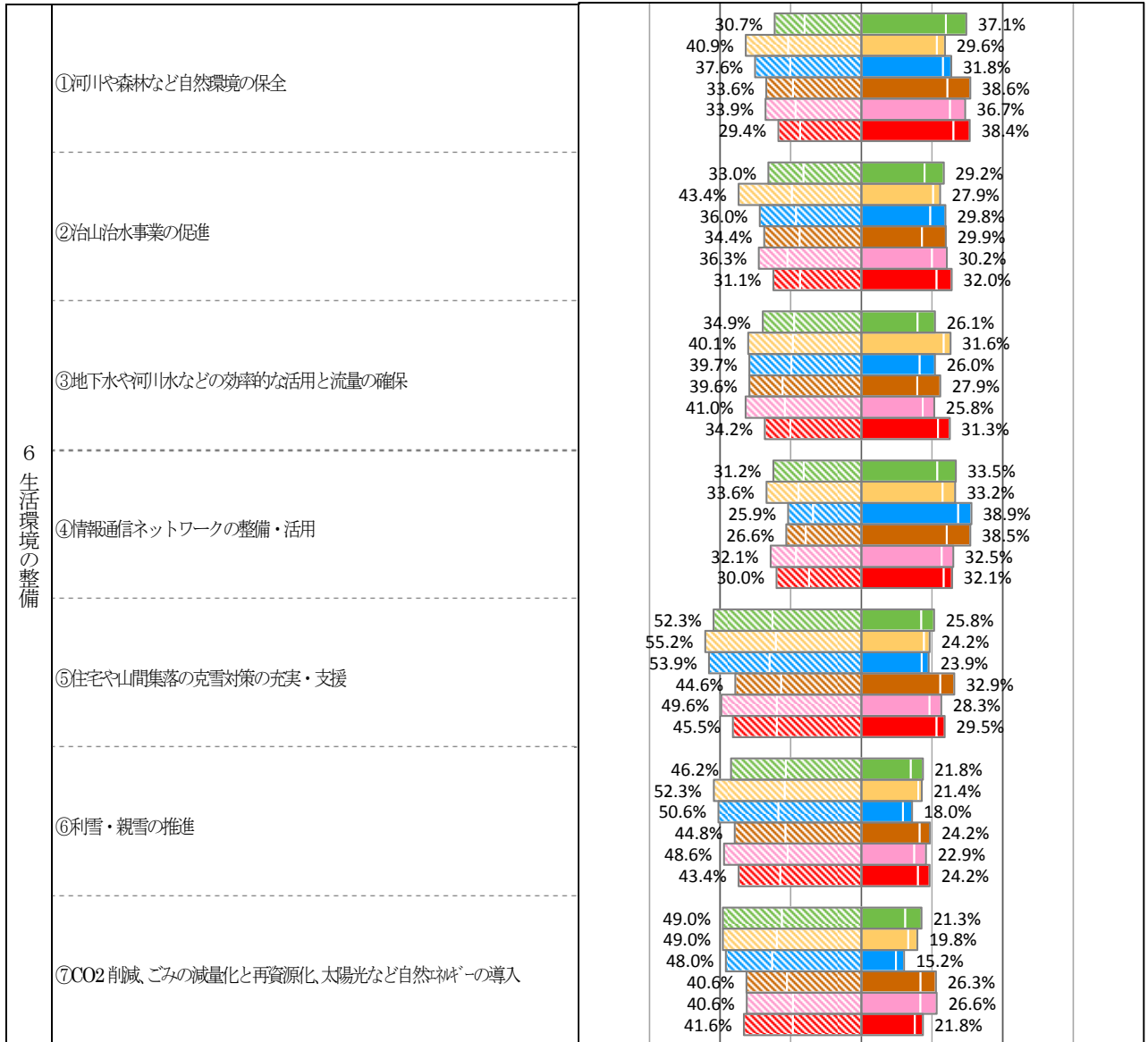
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



4. 50 歳代

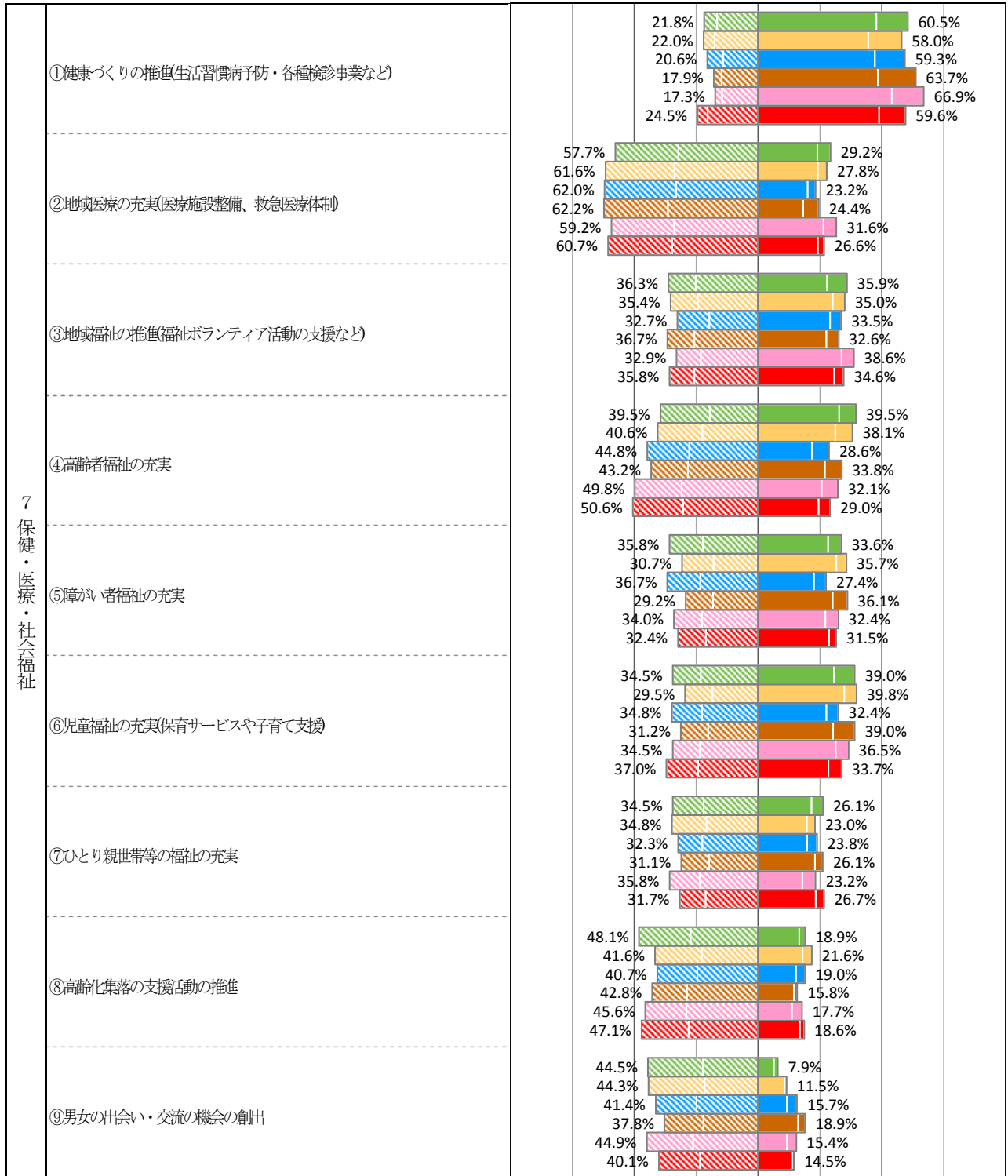
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

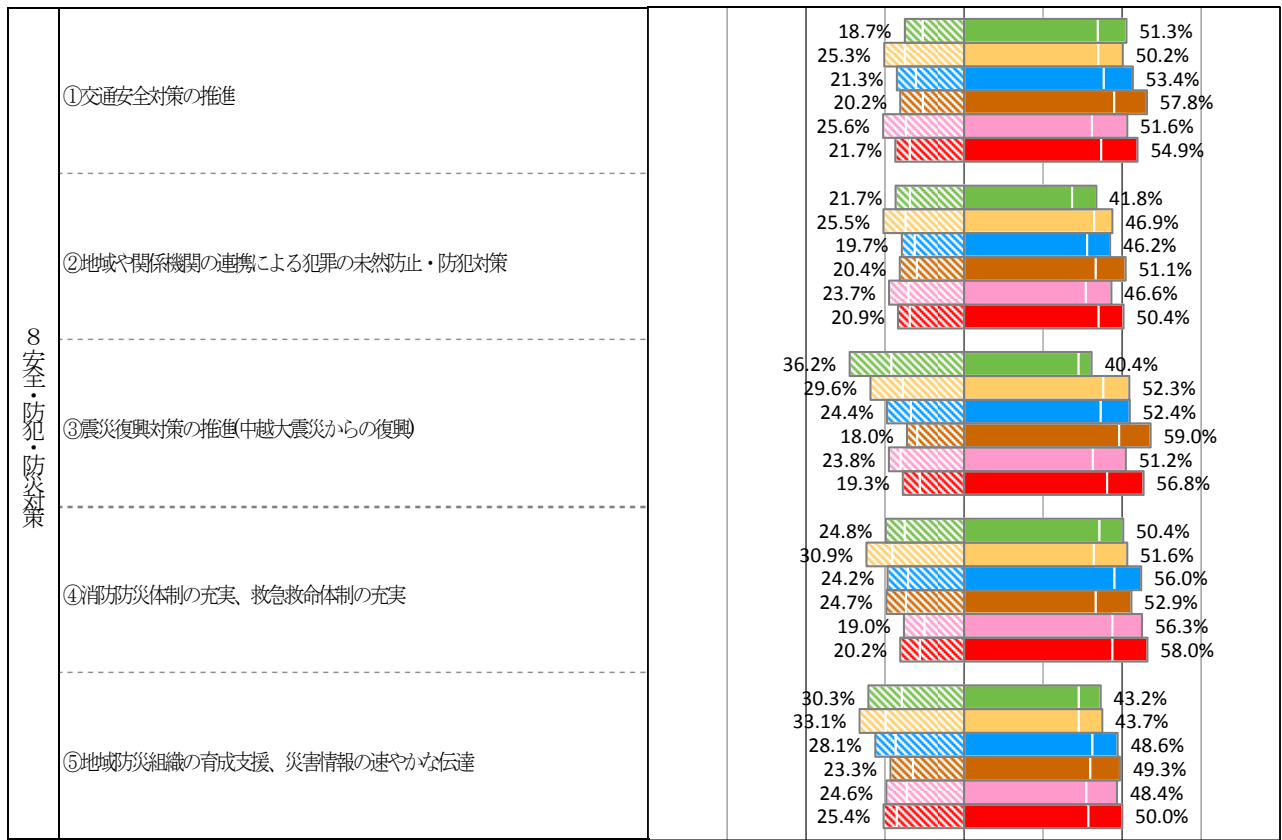
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



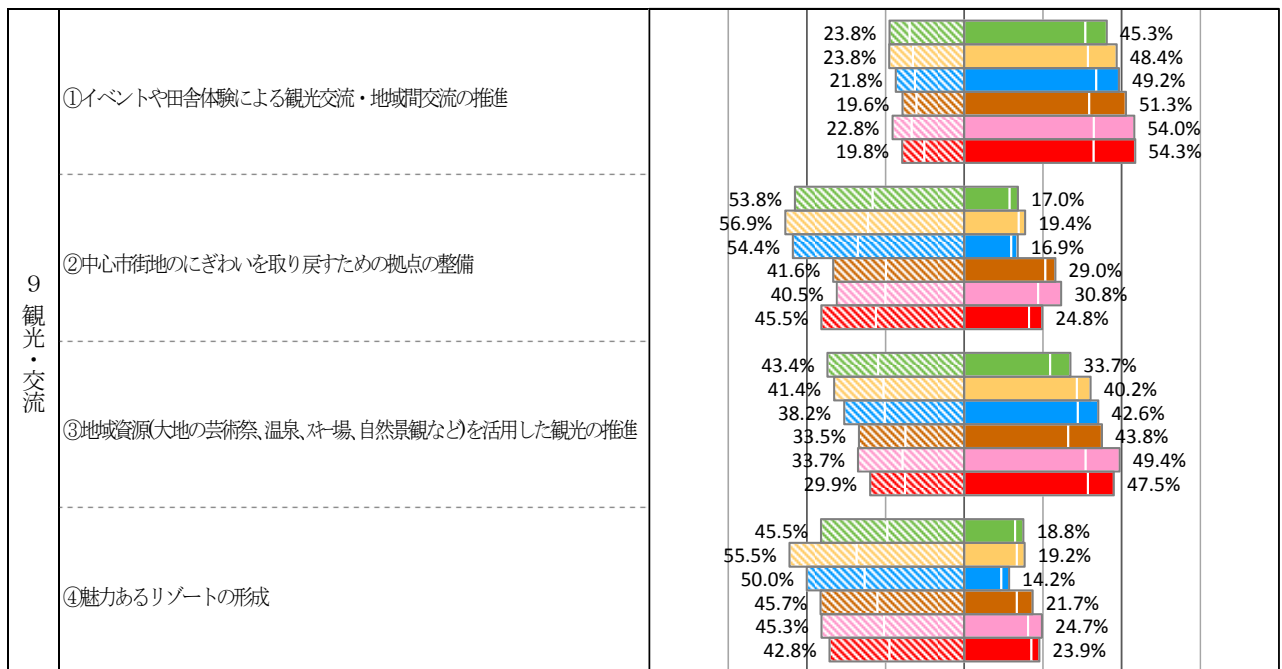
4. 50 歳代

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

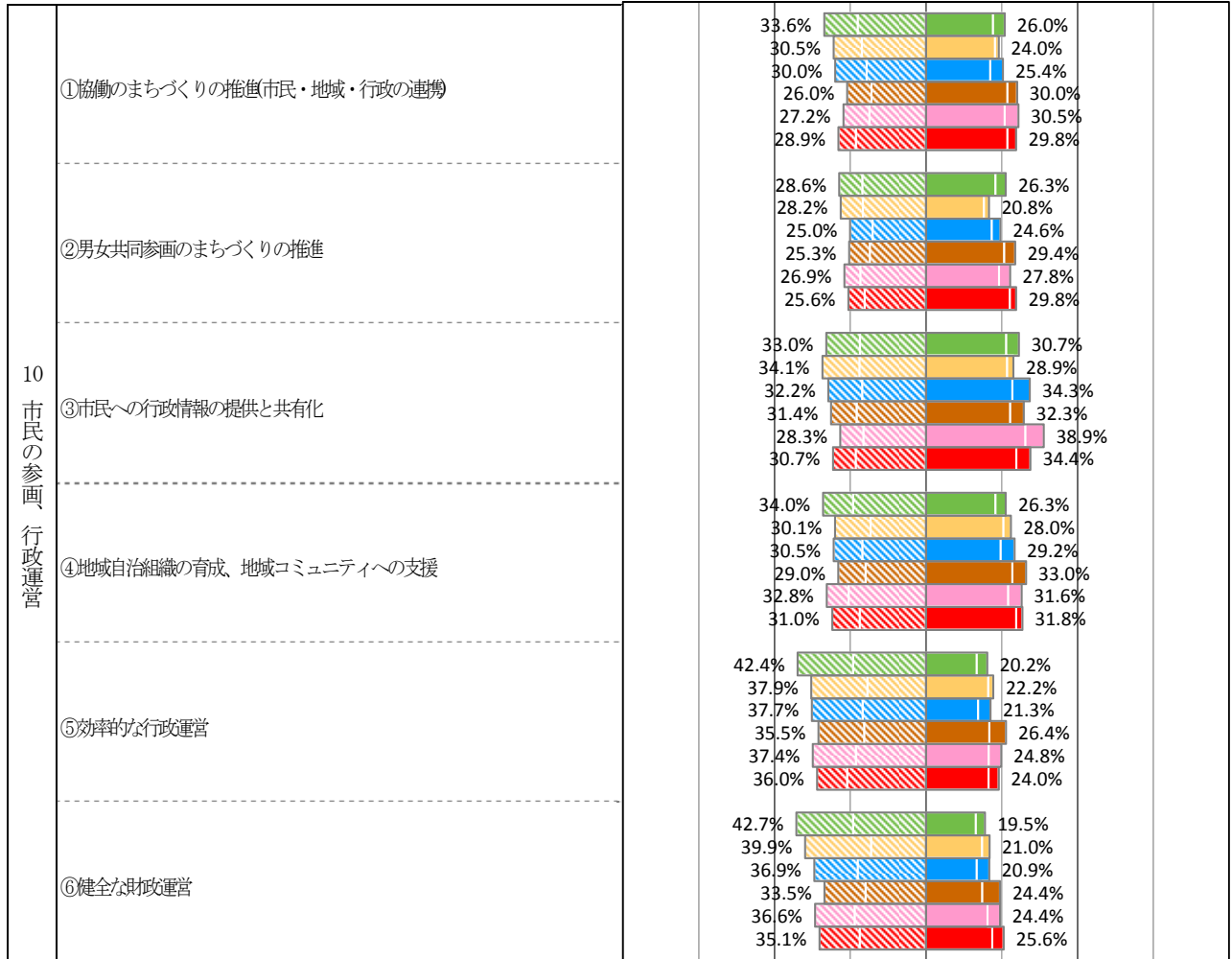


← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

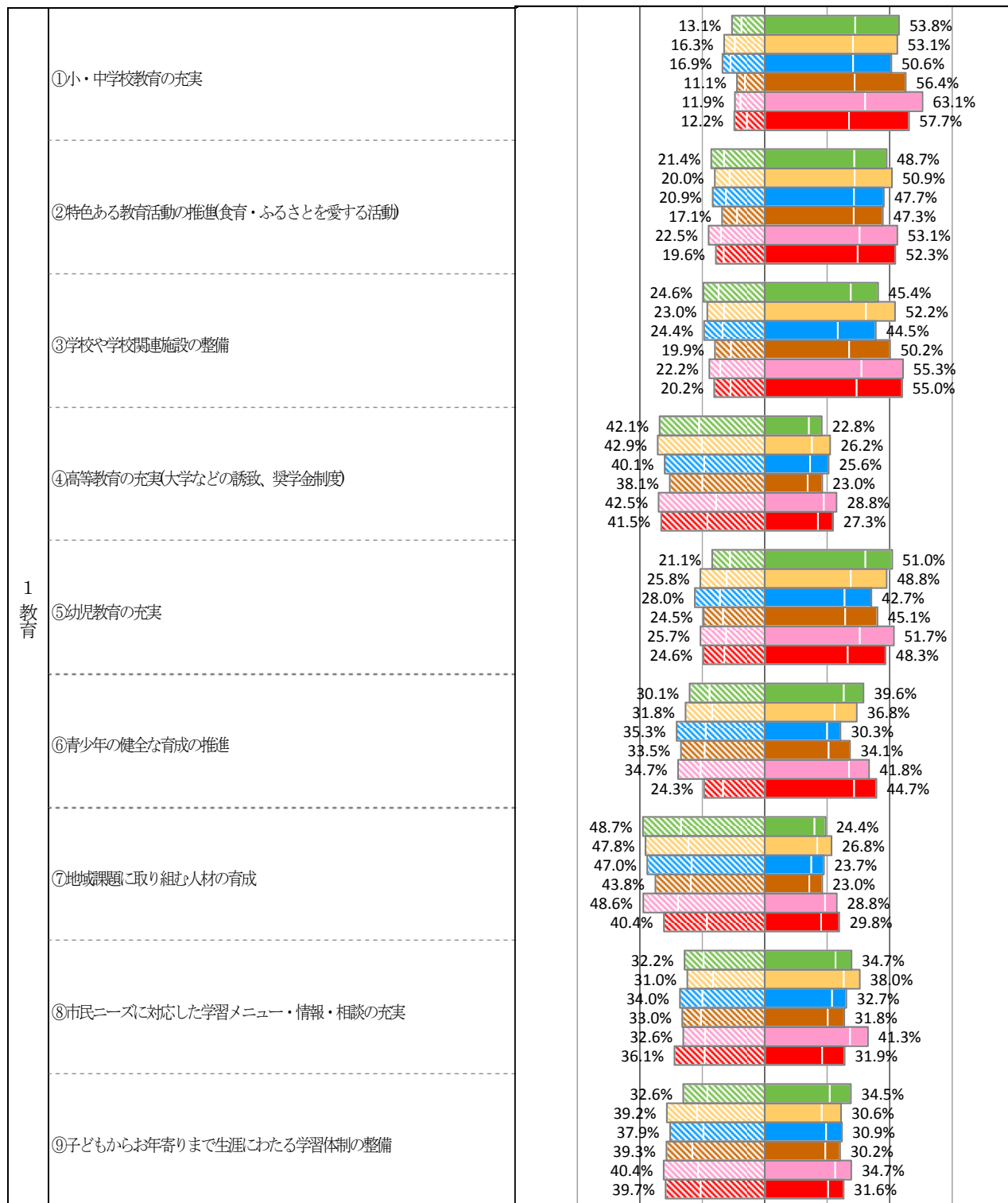
← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



5. 60歳代

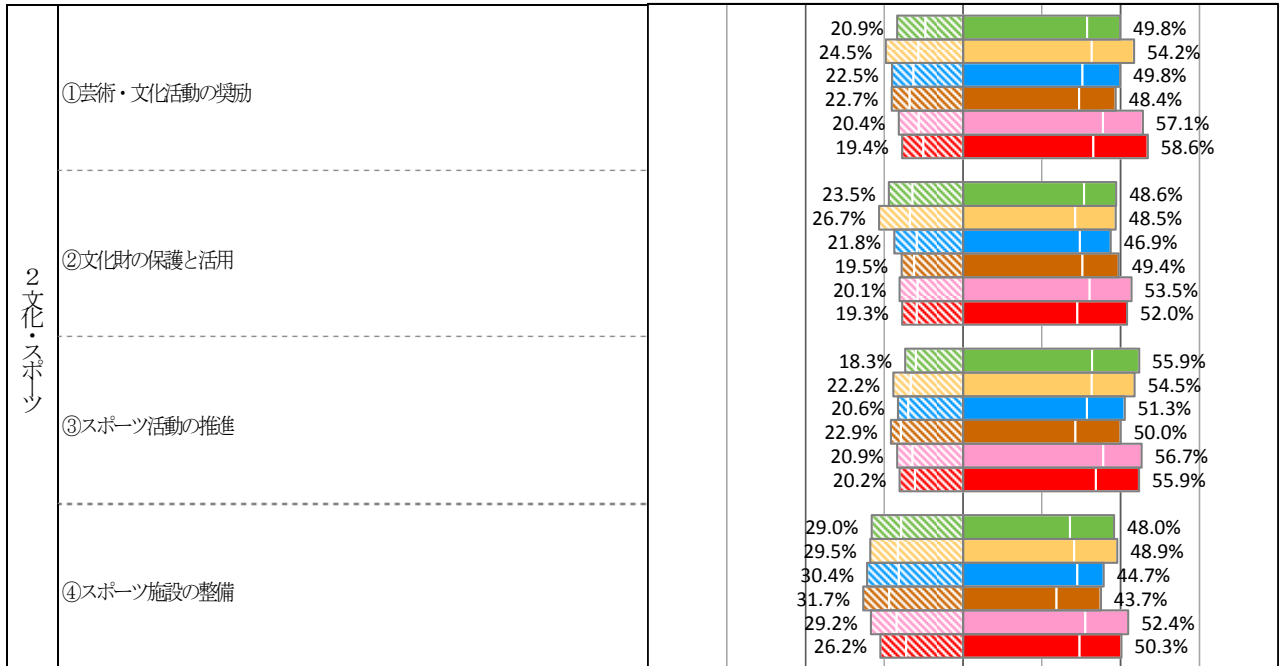
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

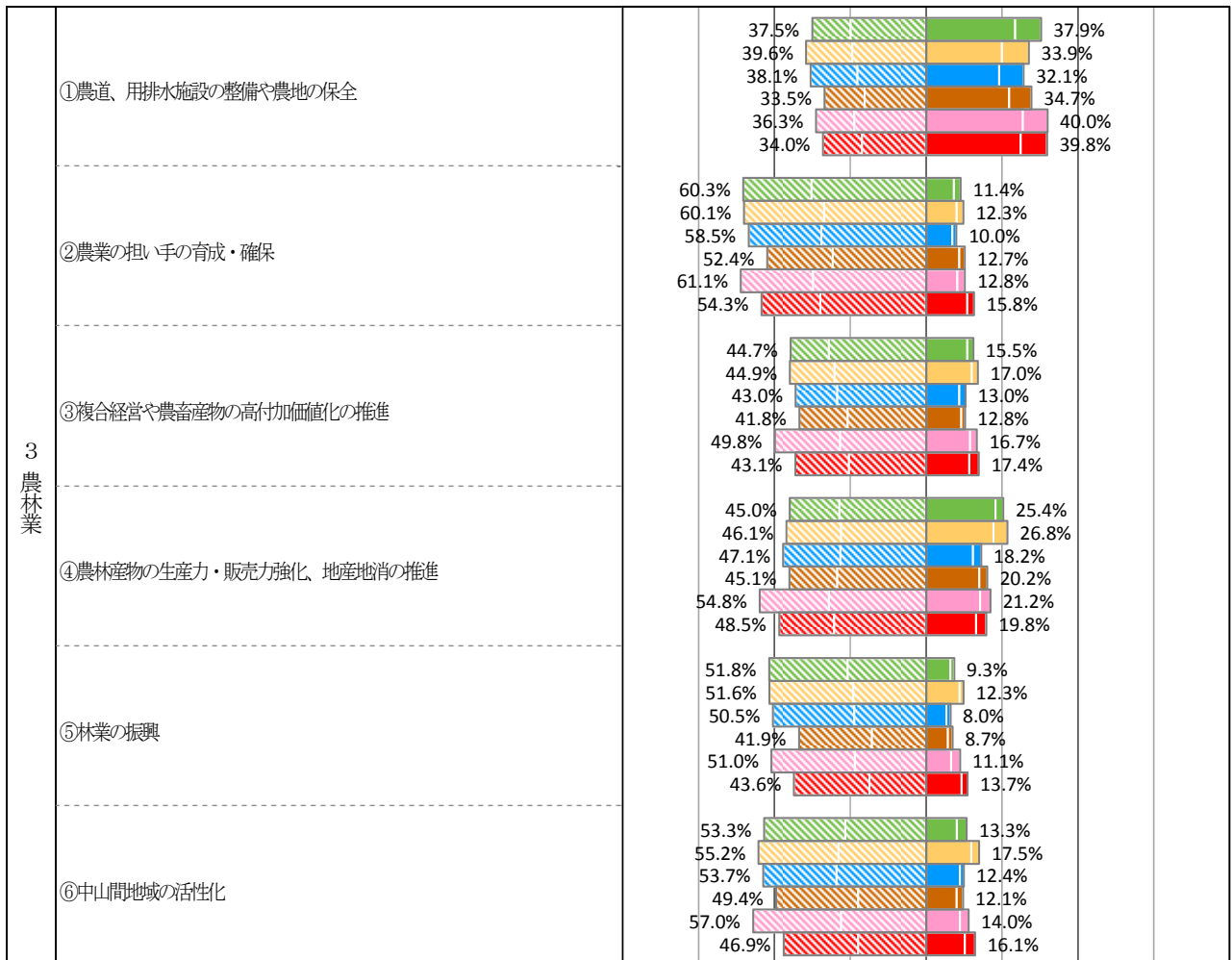


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



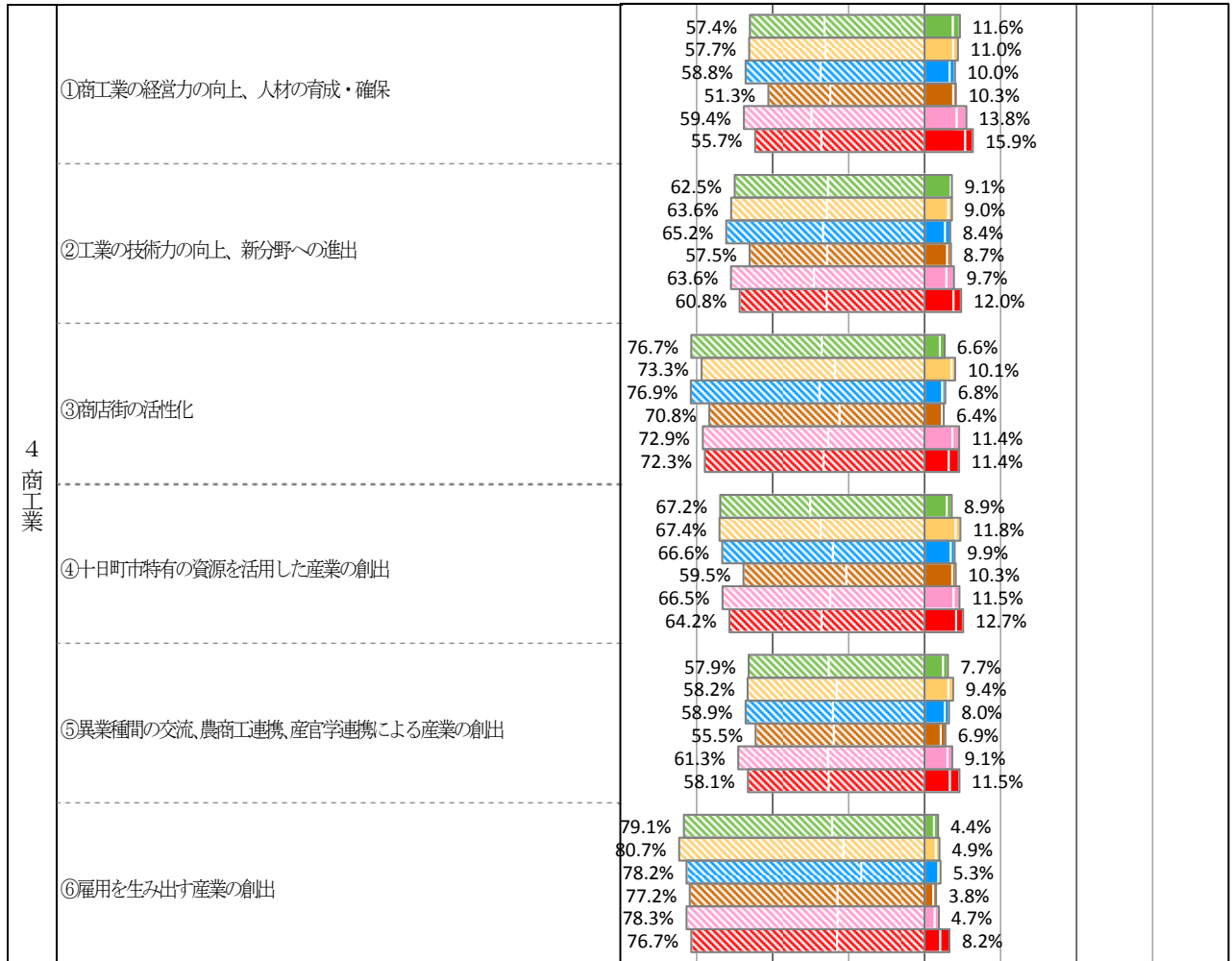
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



5. 60 歳代

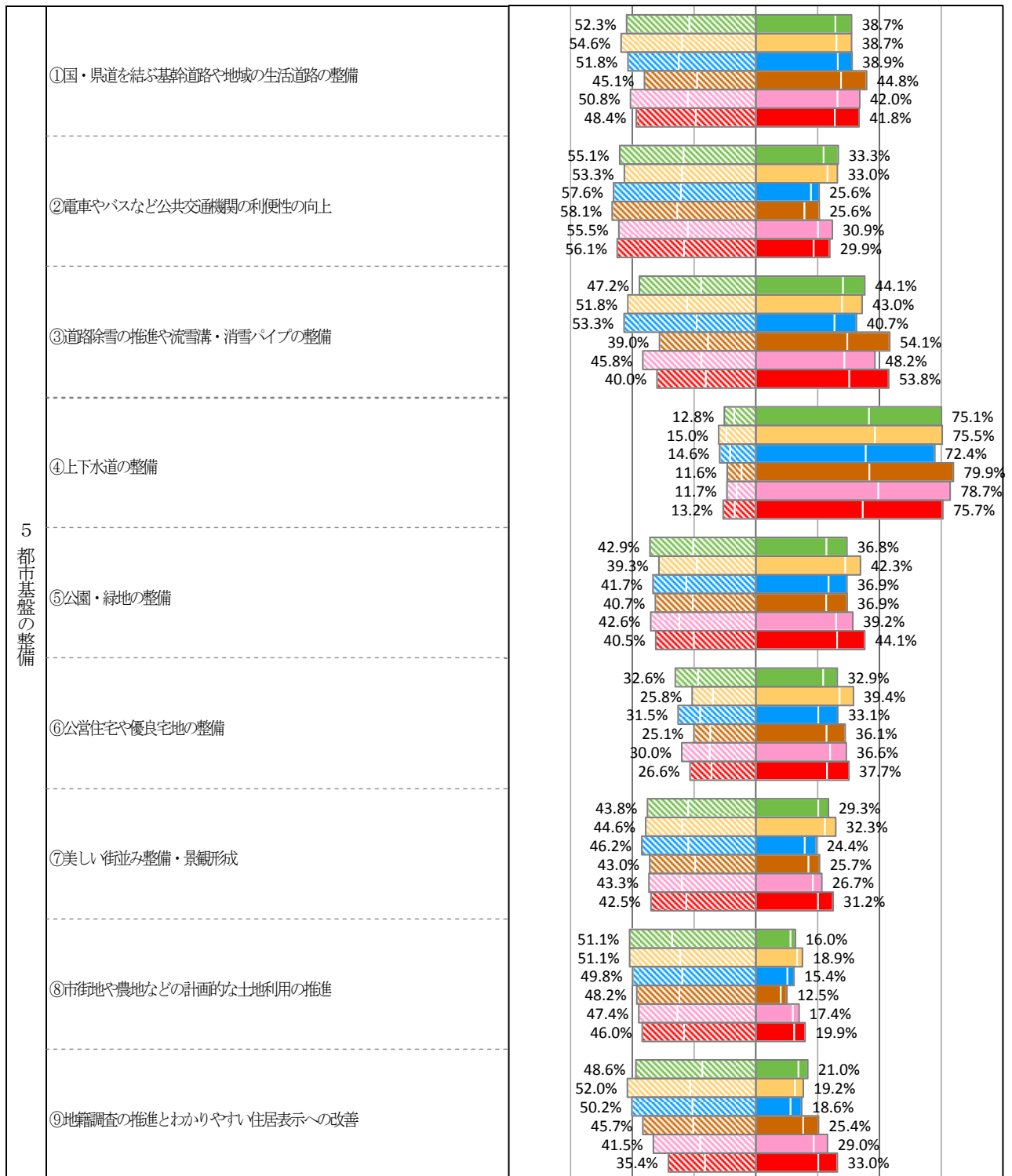
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

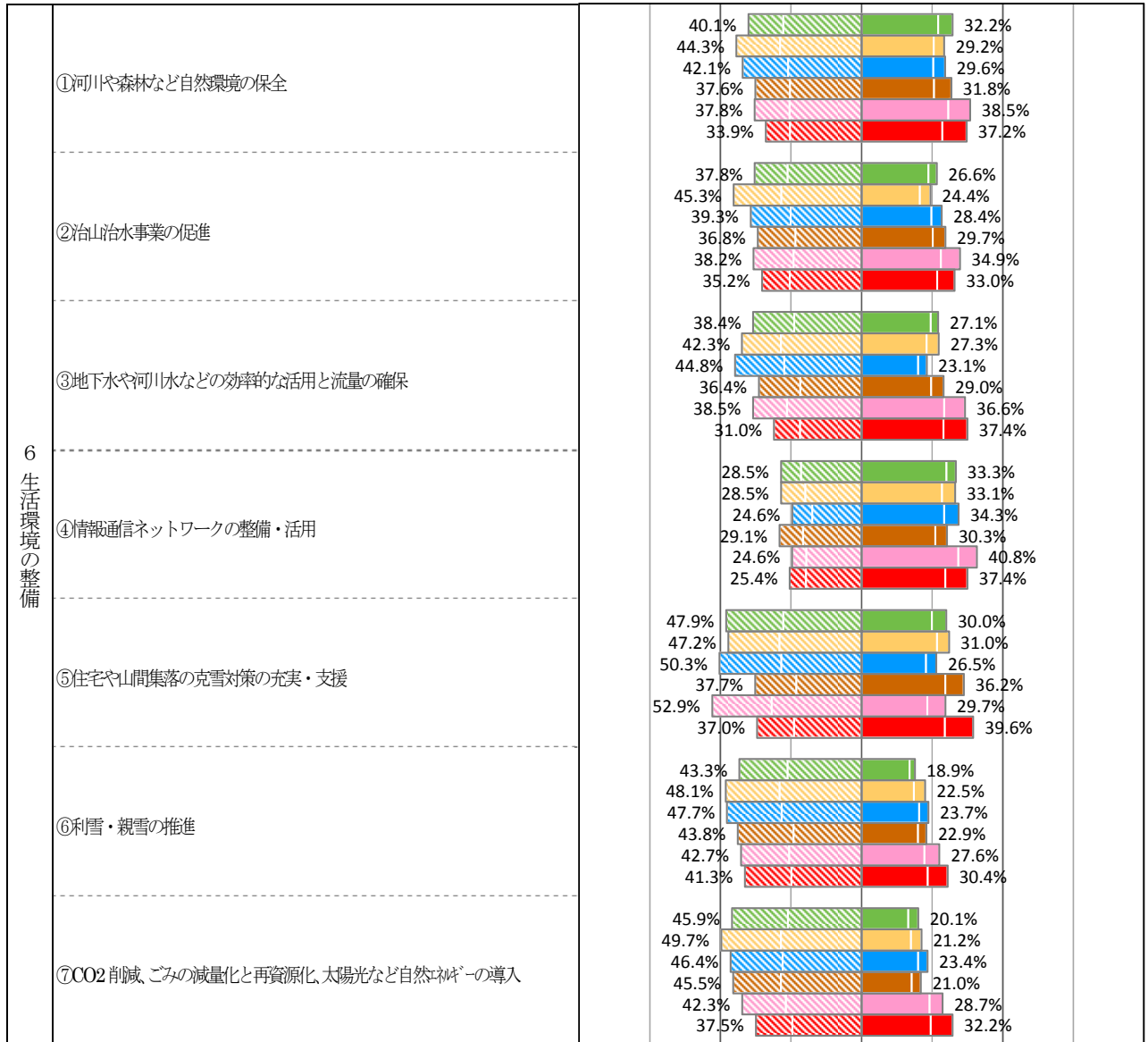
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



5. 60 歳代

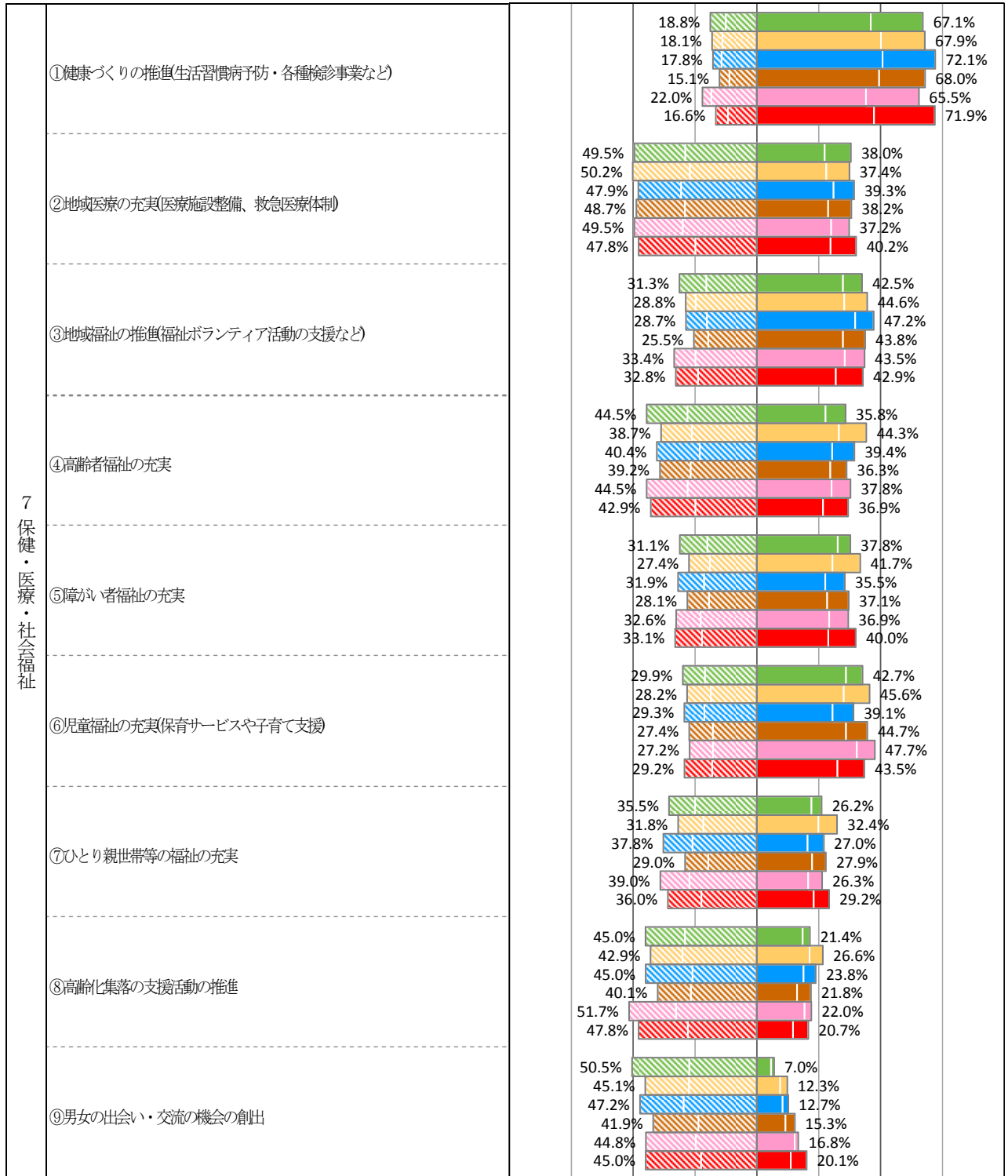
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



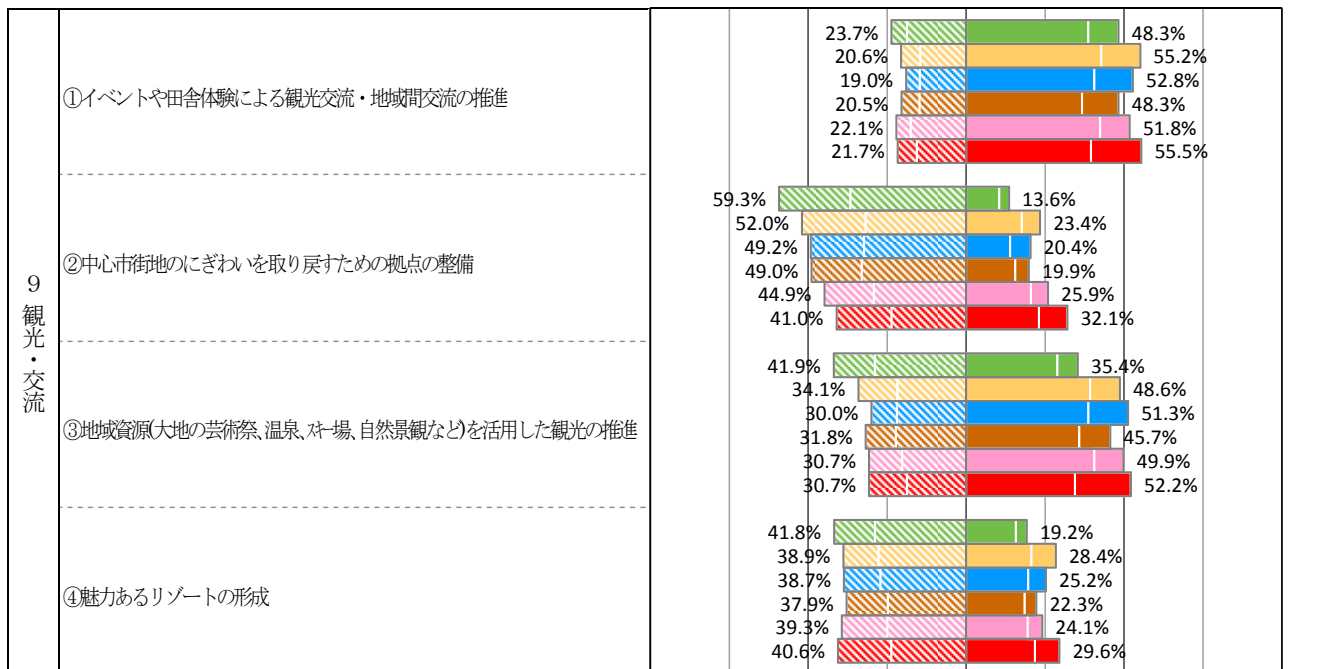
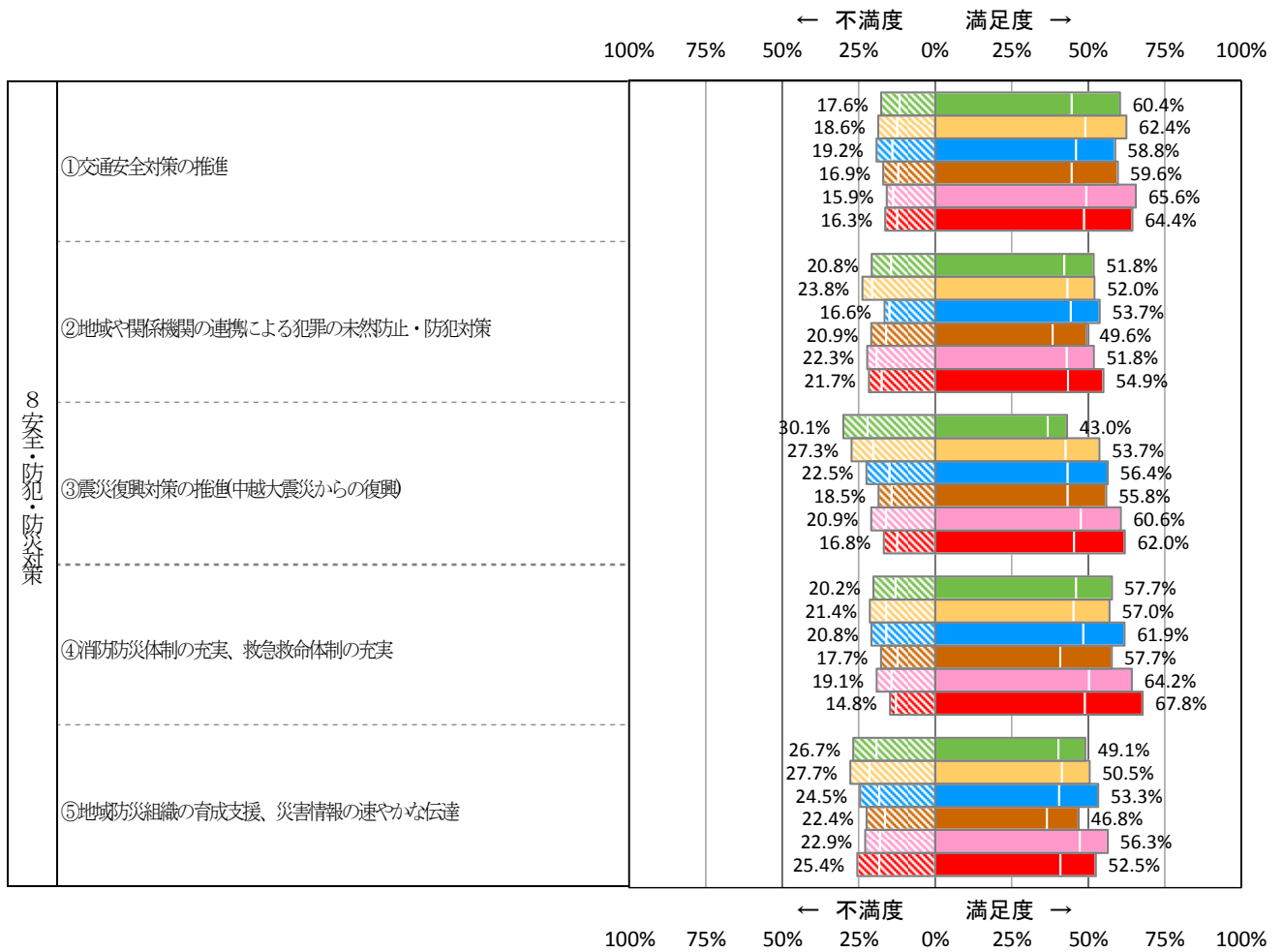
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



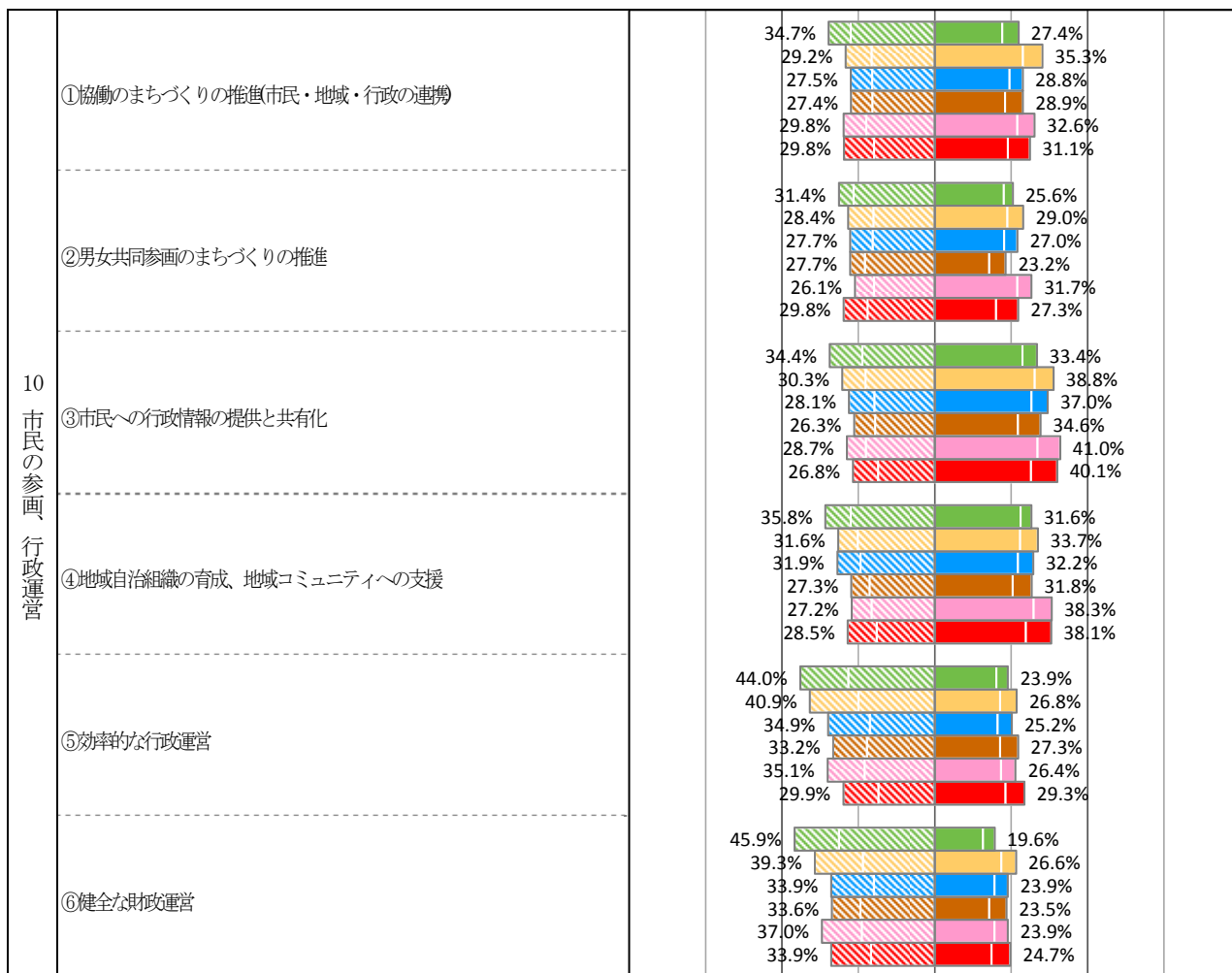
5. 60 歳代

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

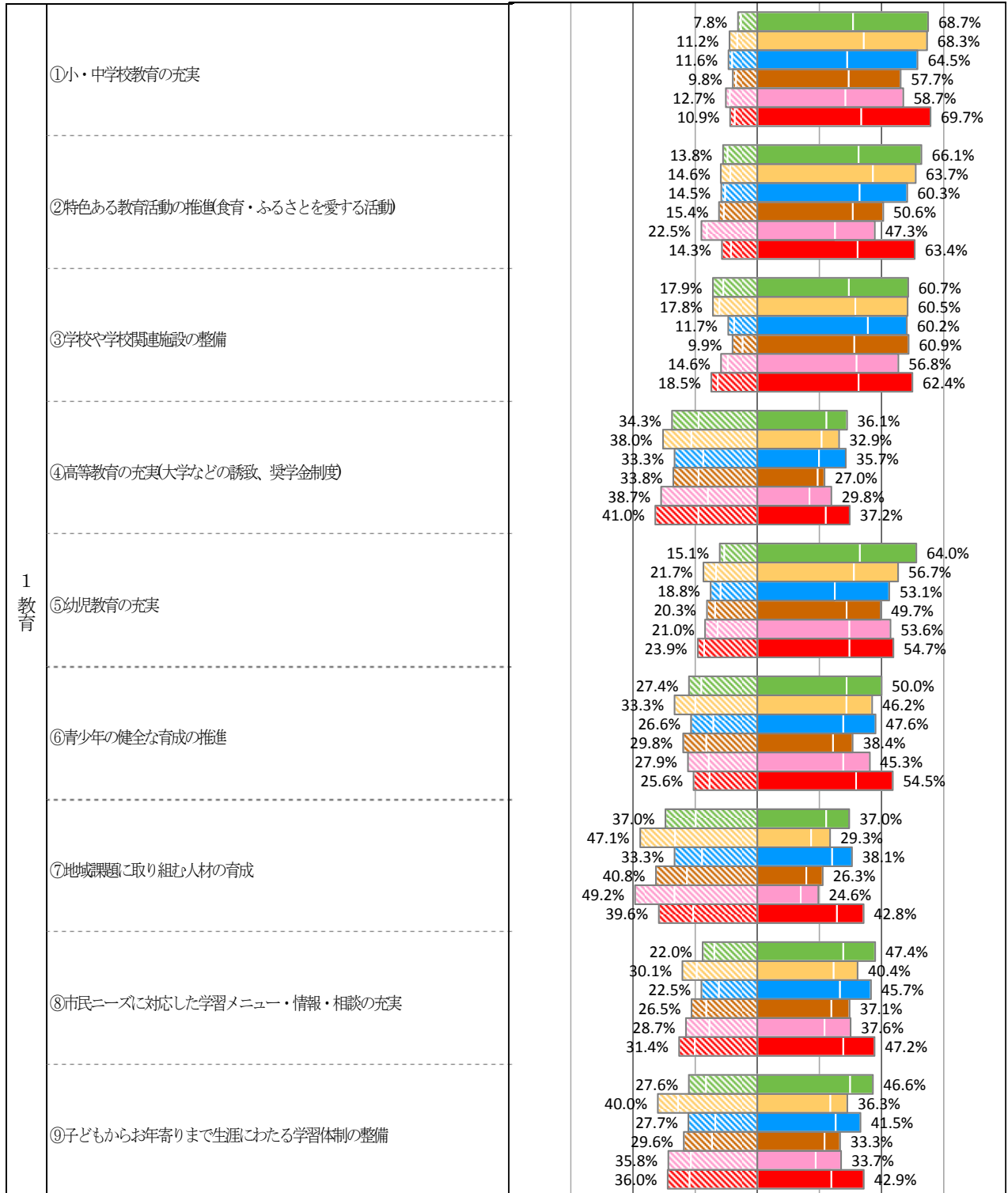
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



6. 70 歳代

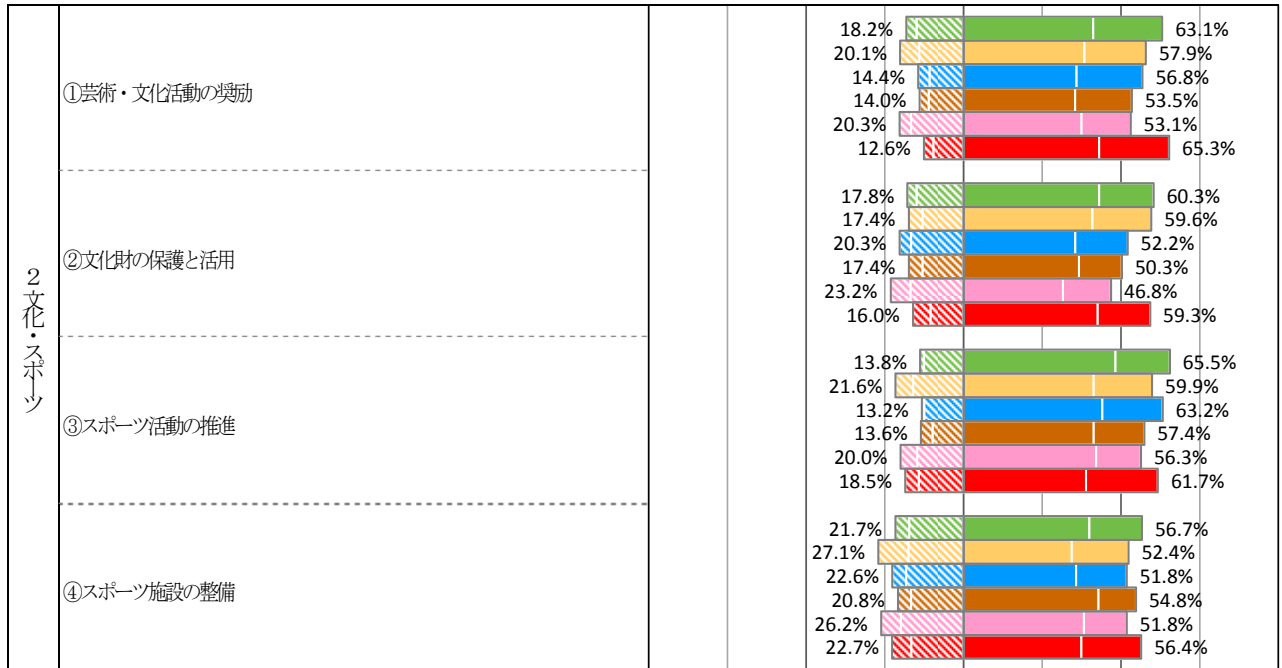
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

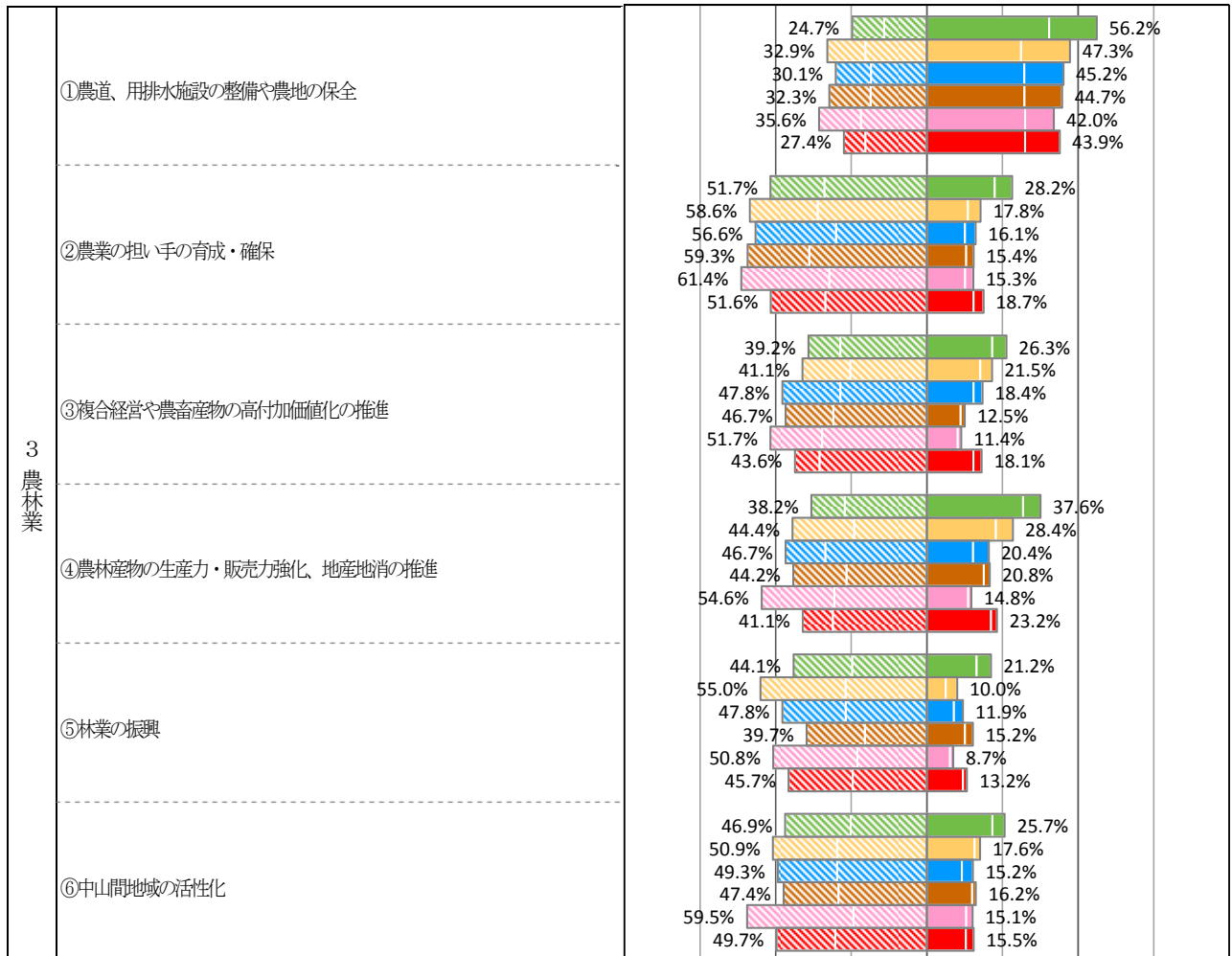


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



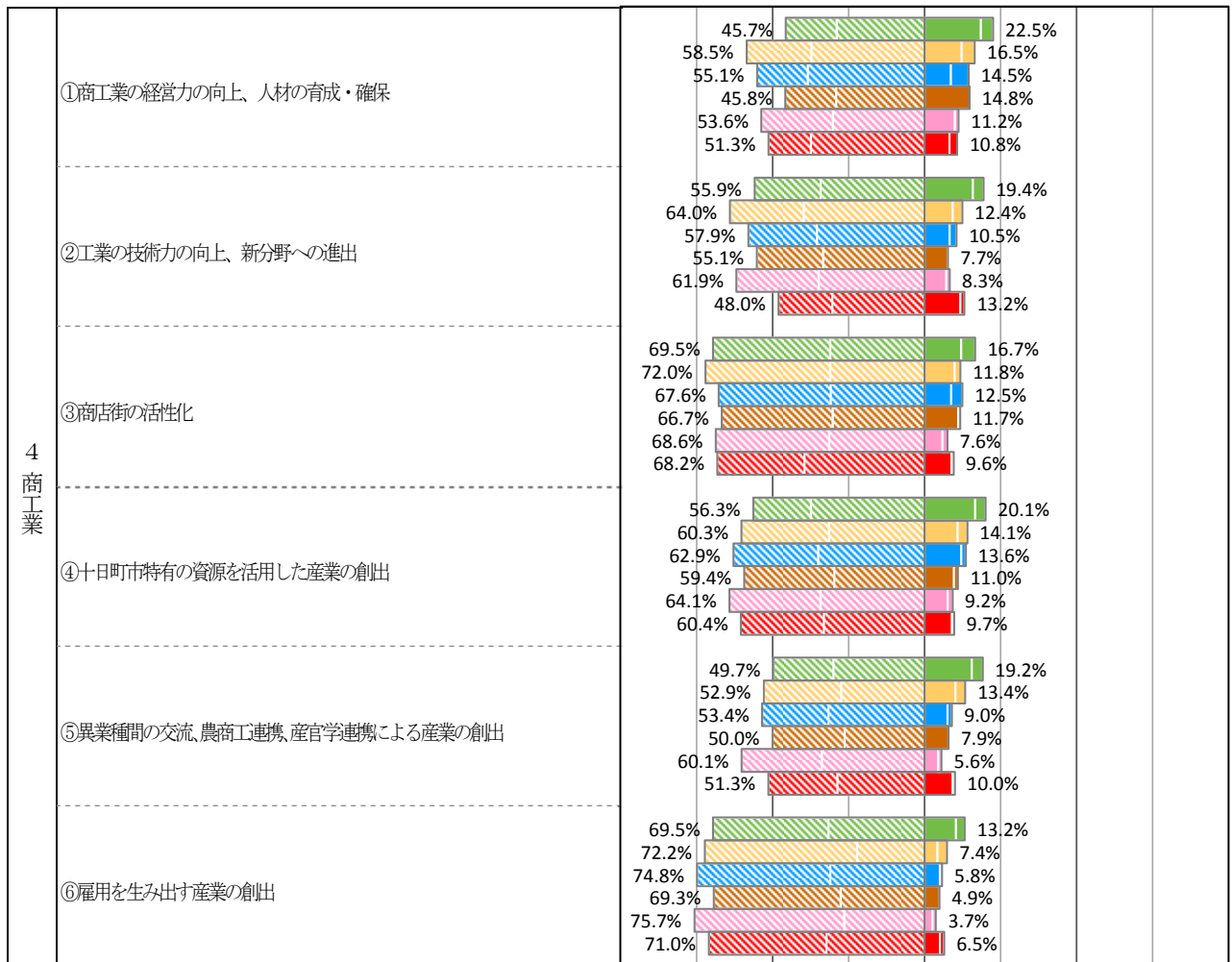
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



6. 70 歳代

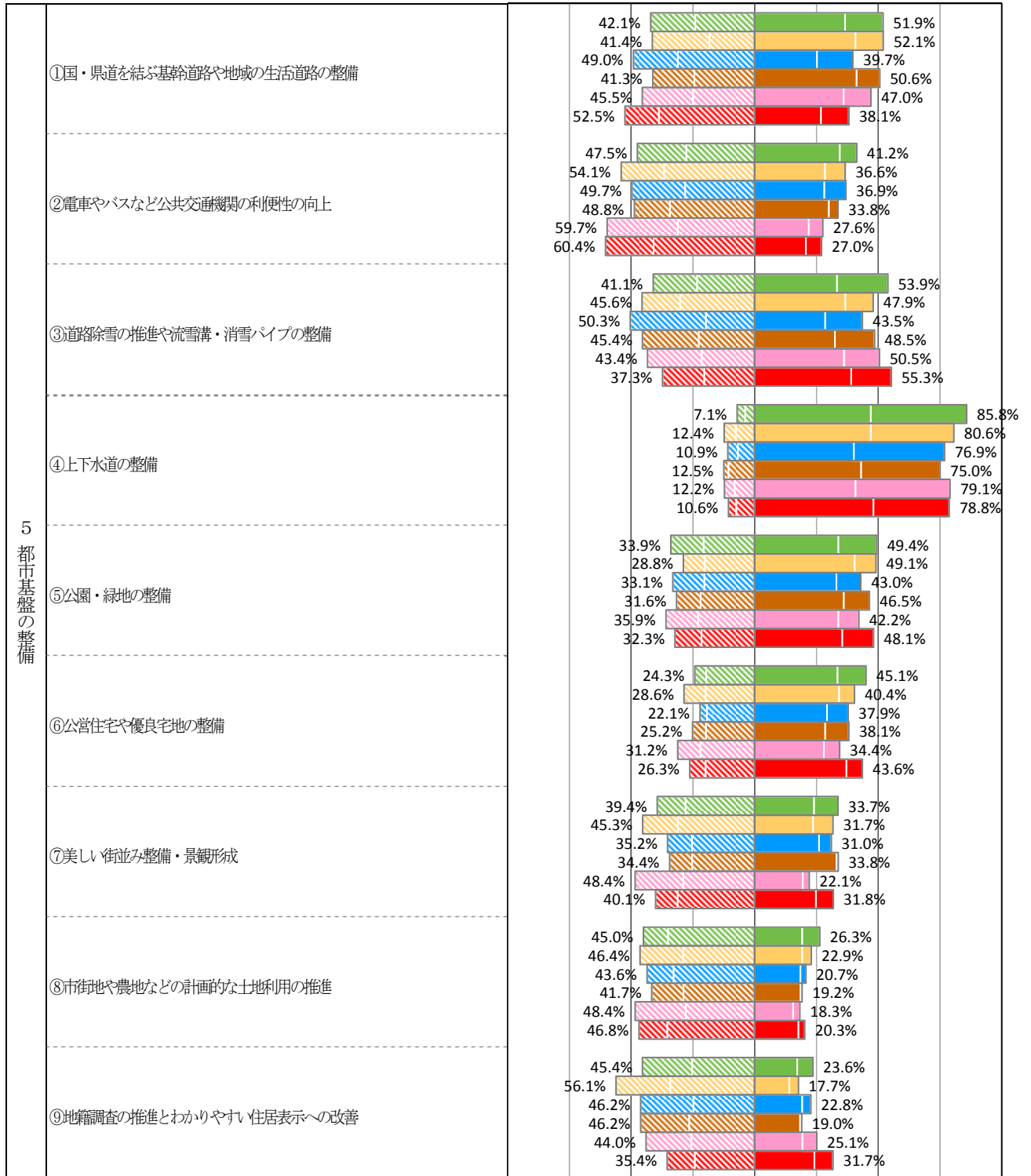
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

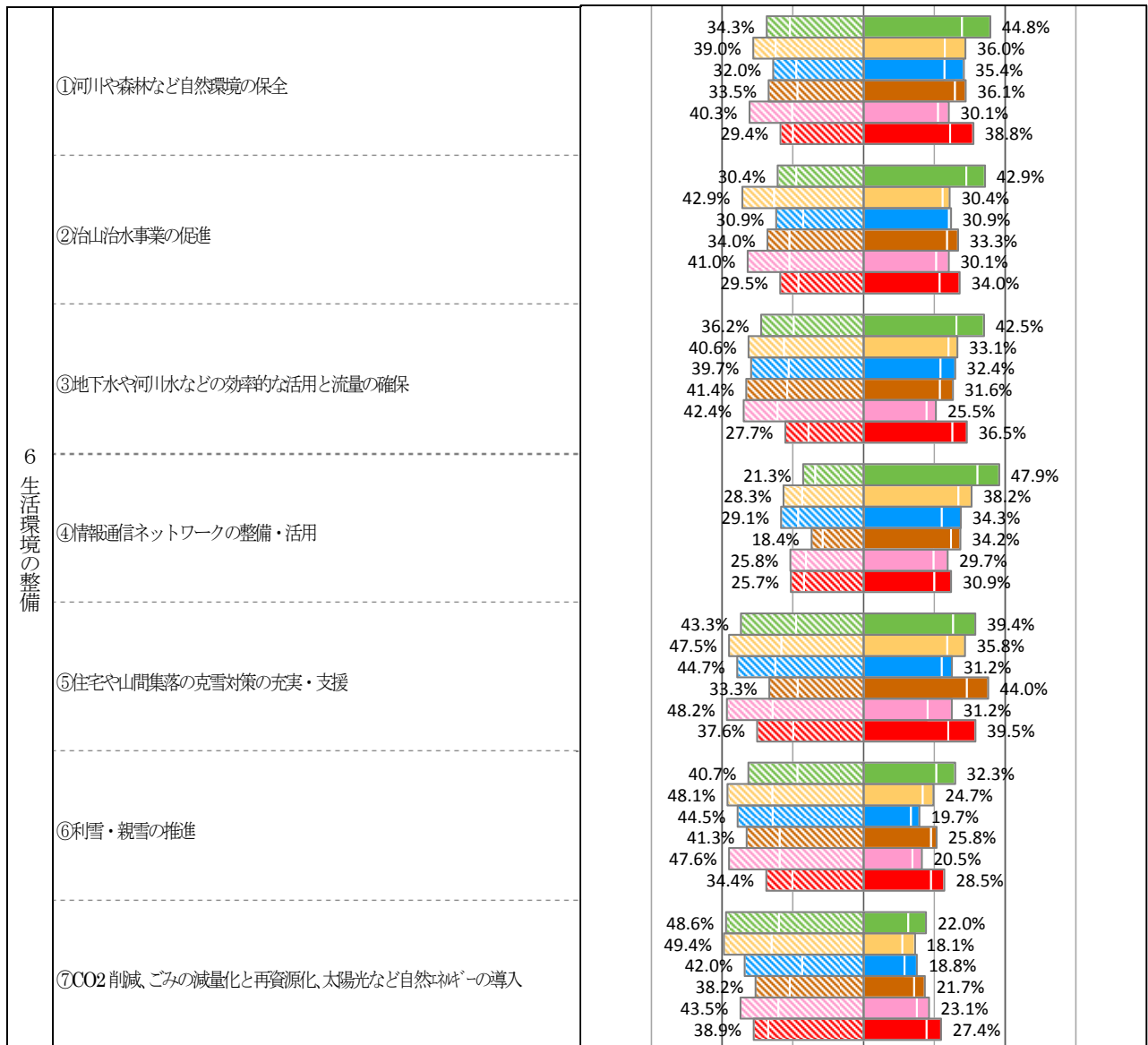
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



6. 70 歳代

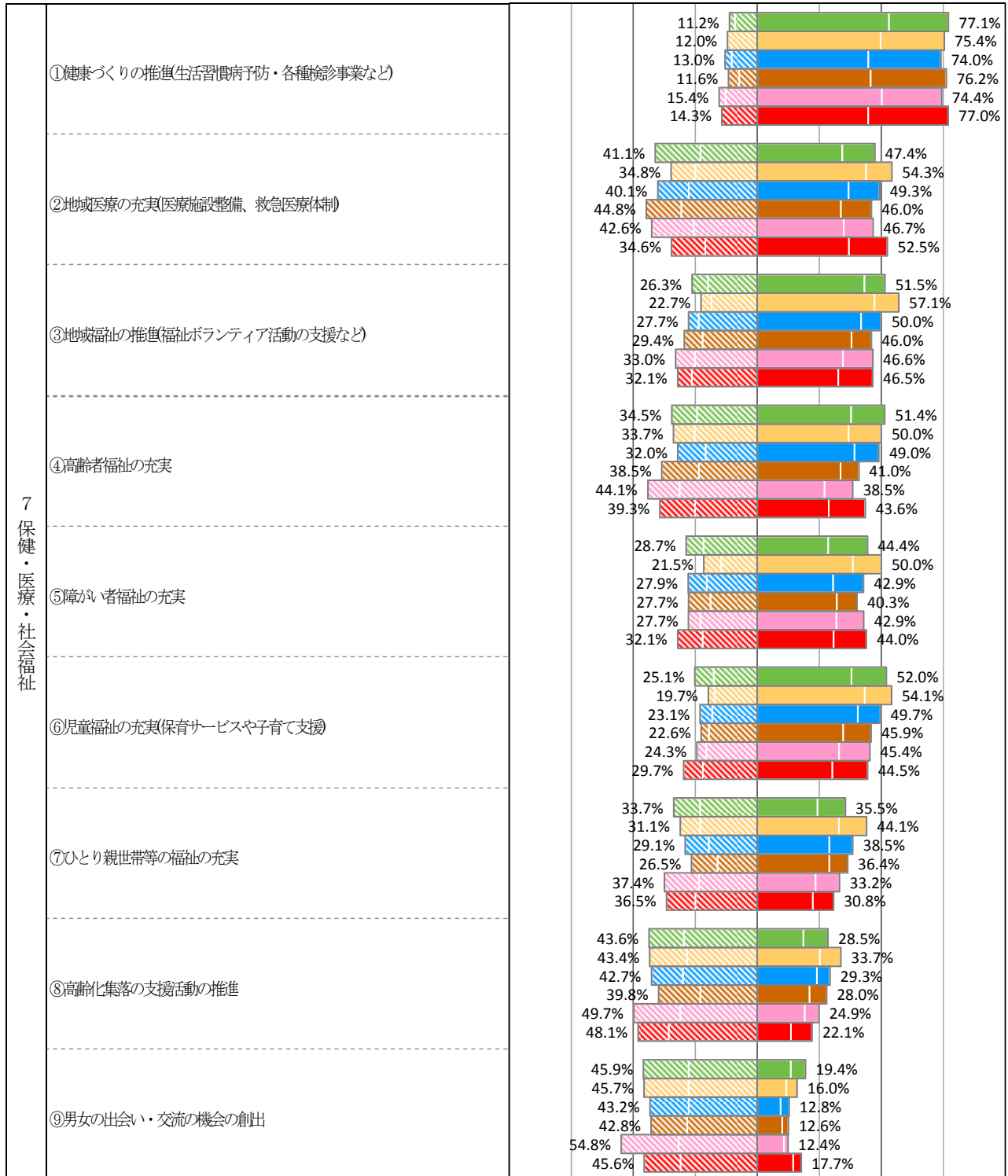
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



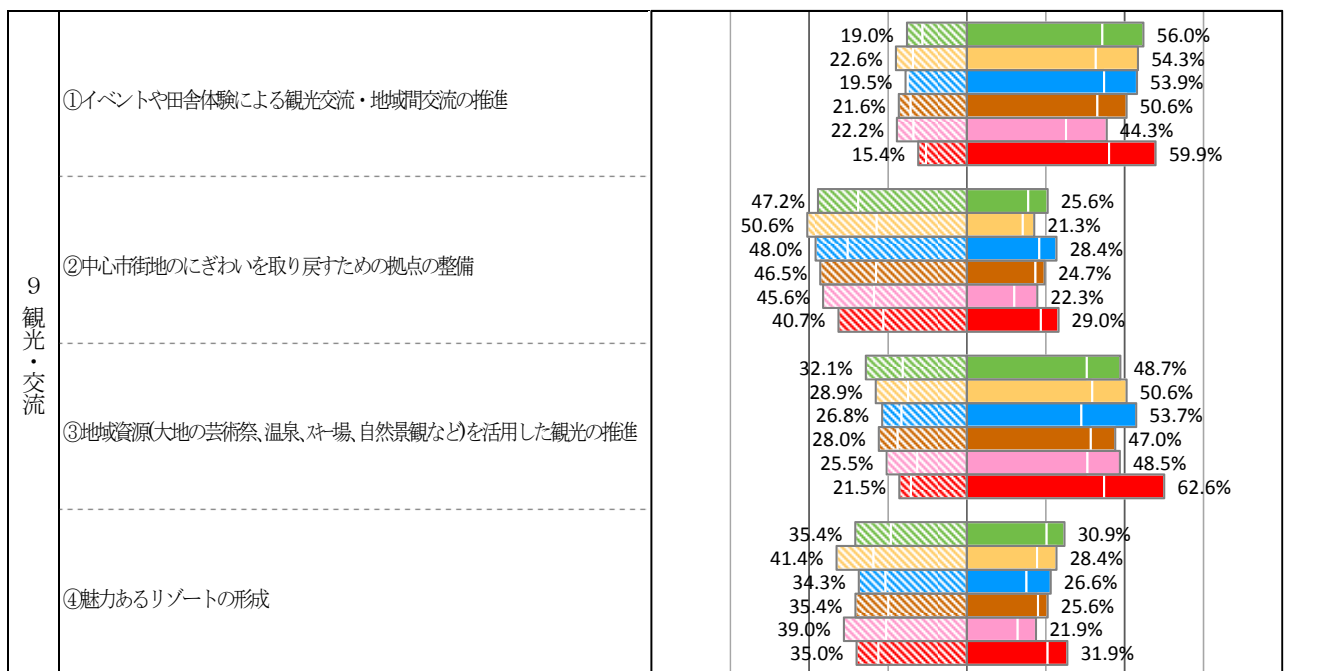
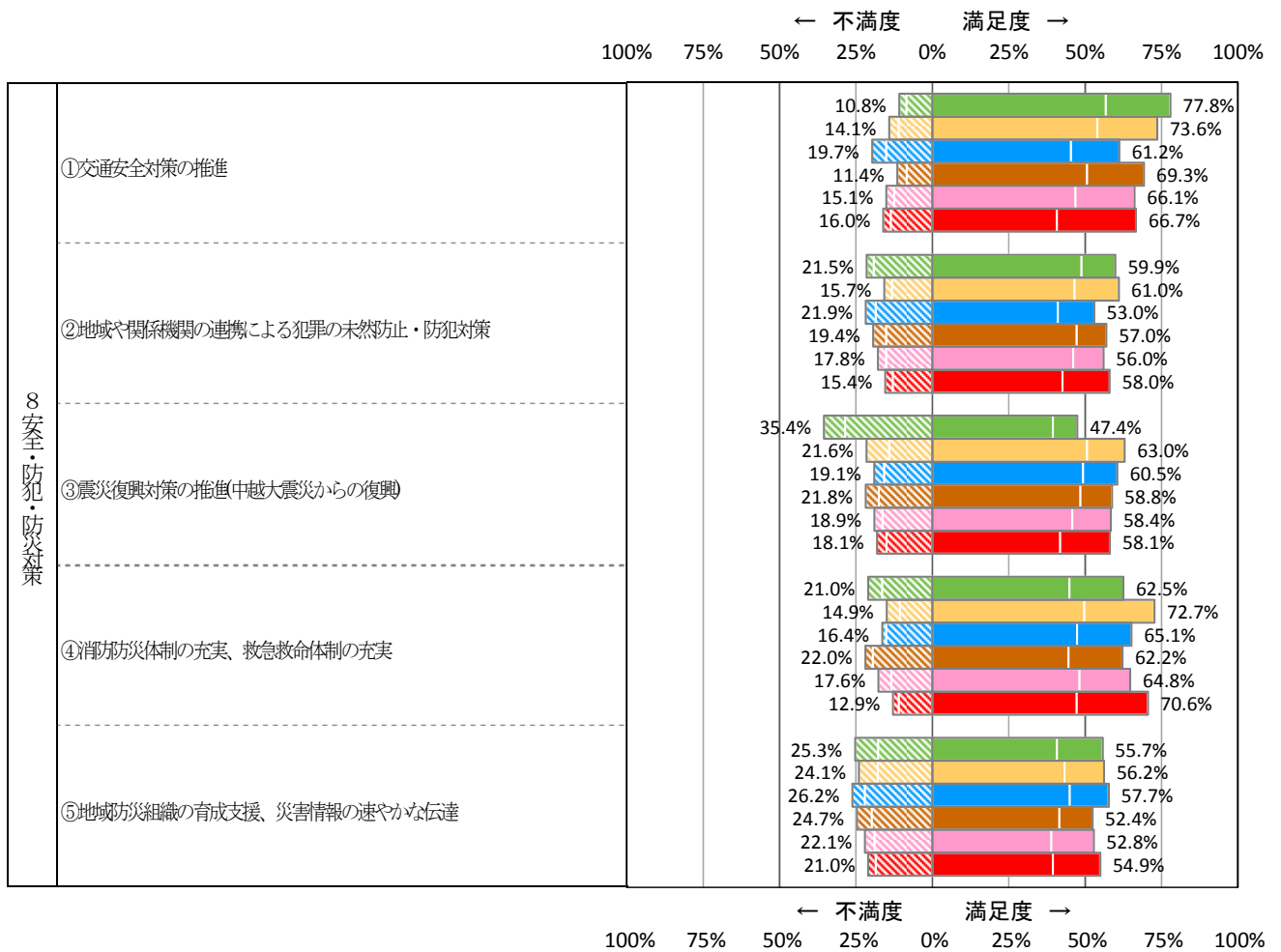
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



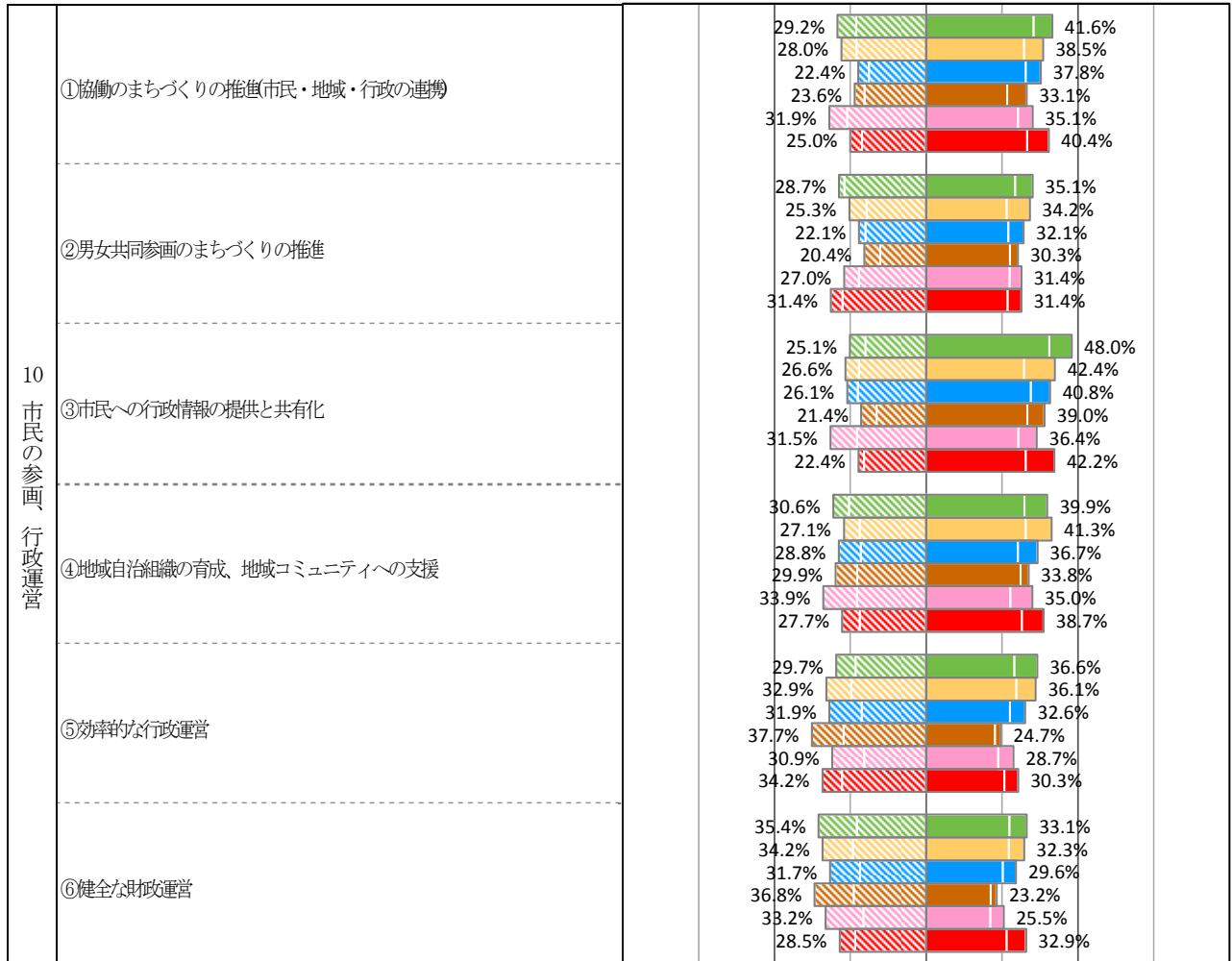
6. 70 歳代

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

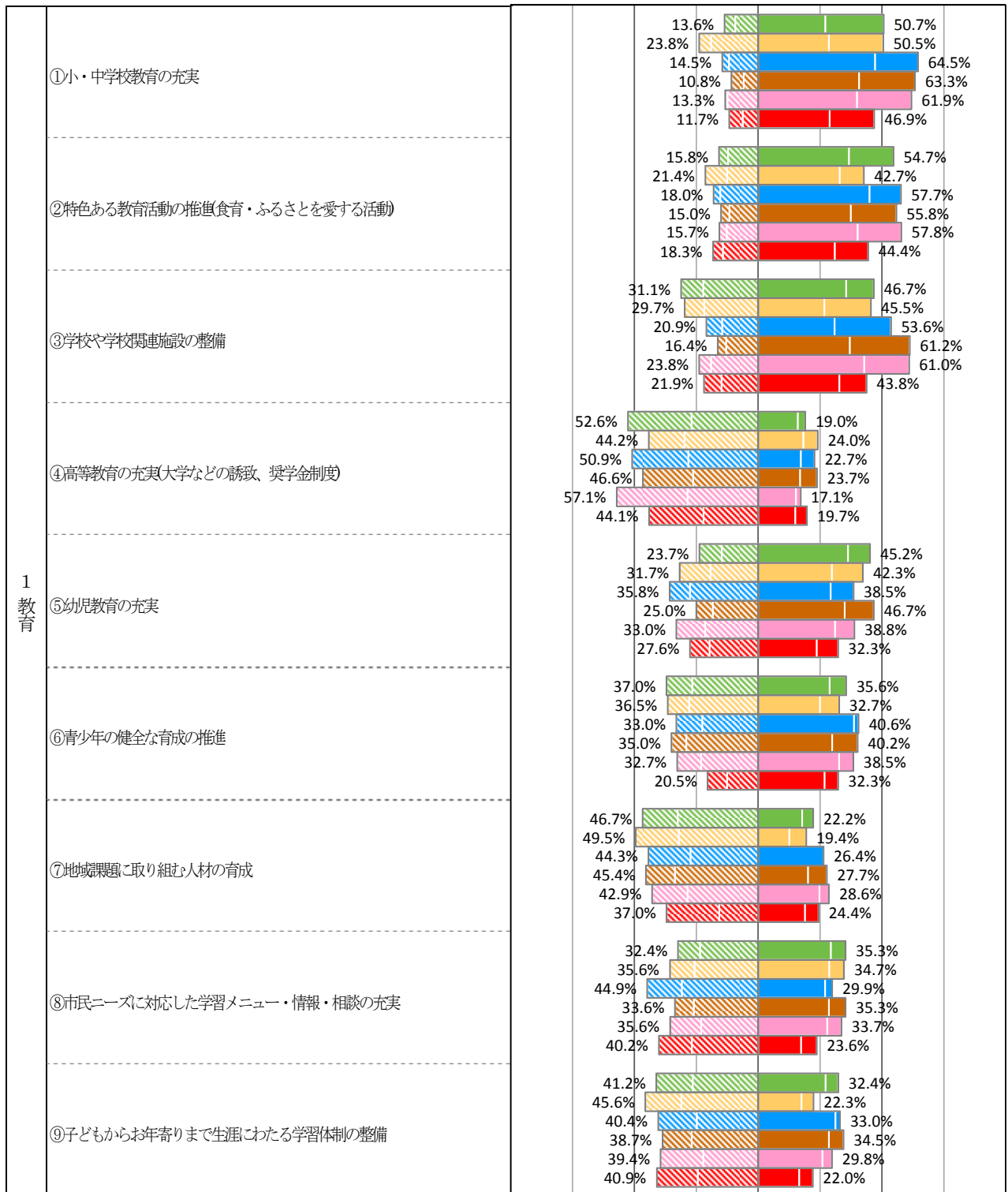


【地域別集計】

1. 十日町

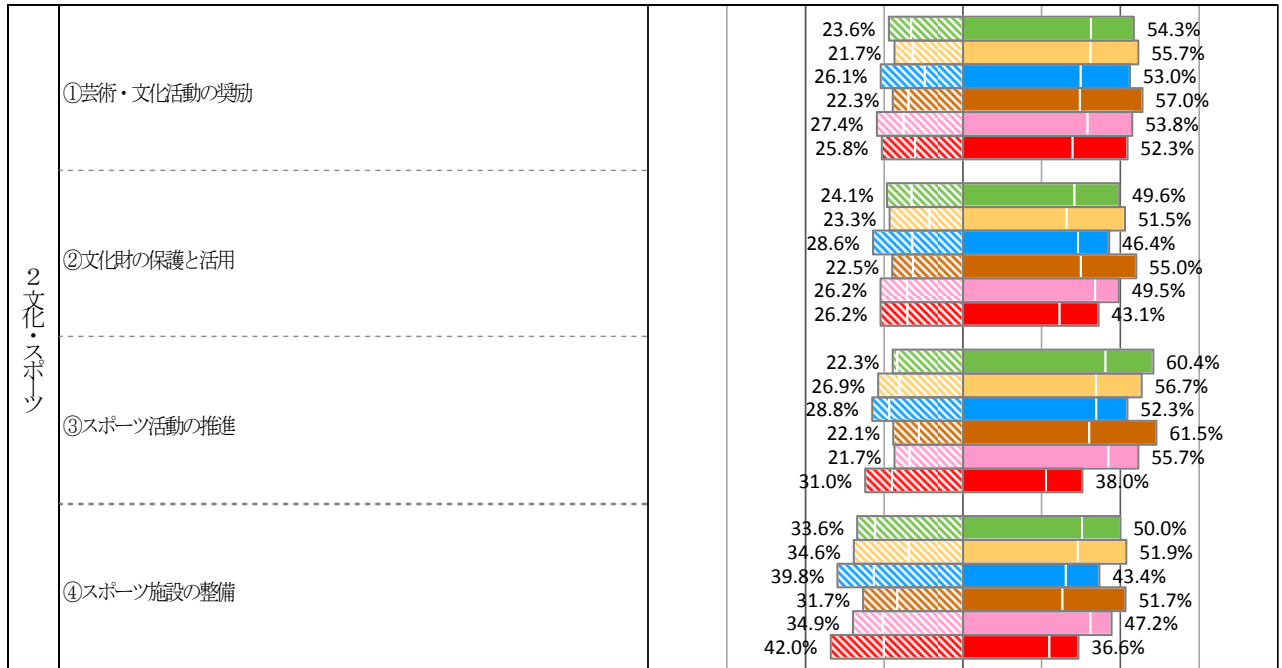
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

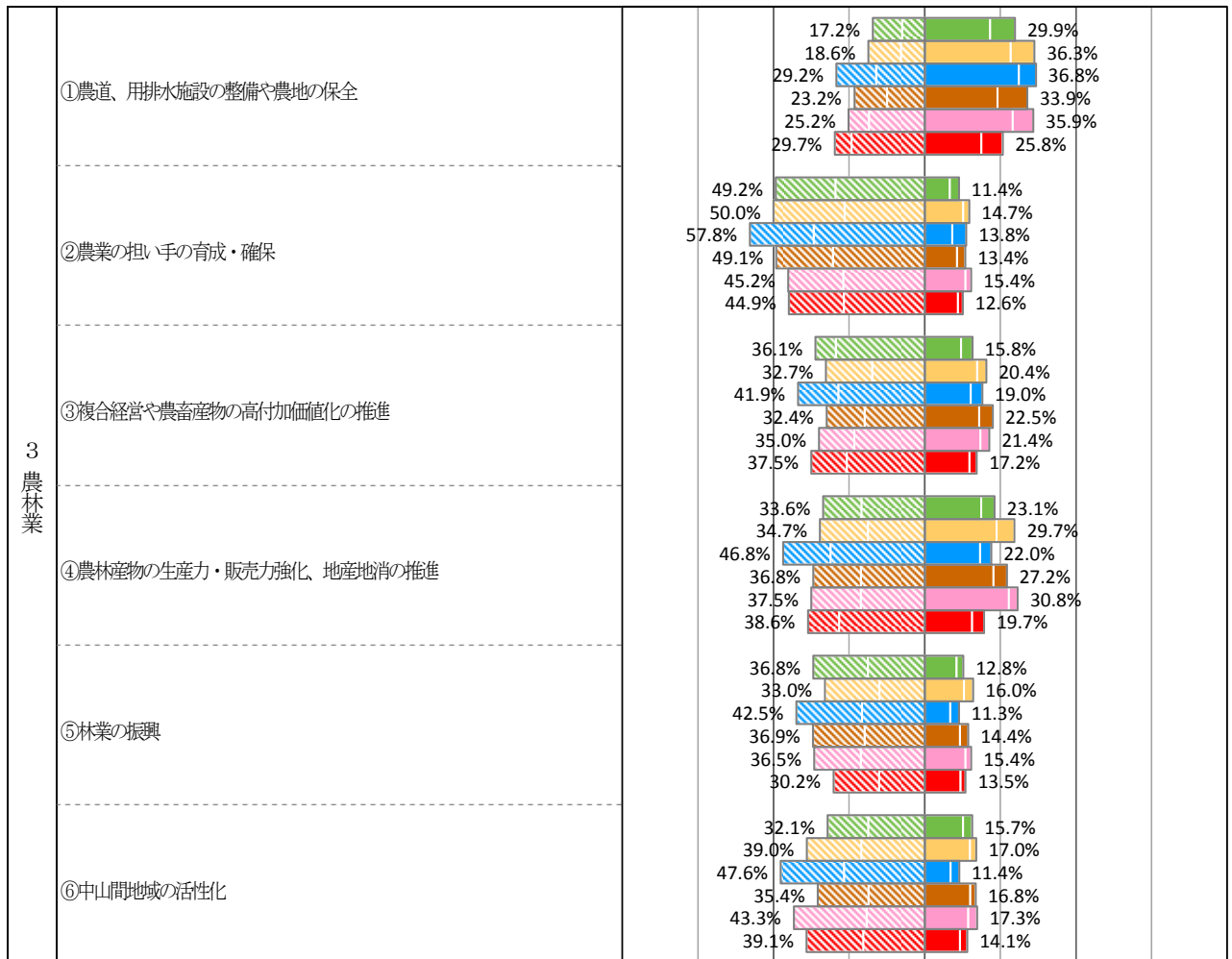


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



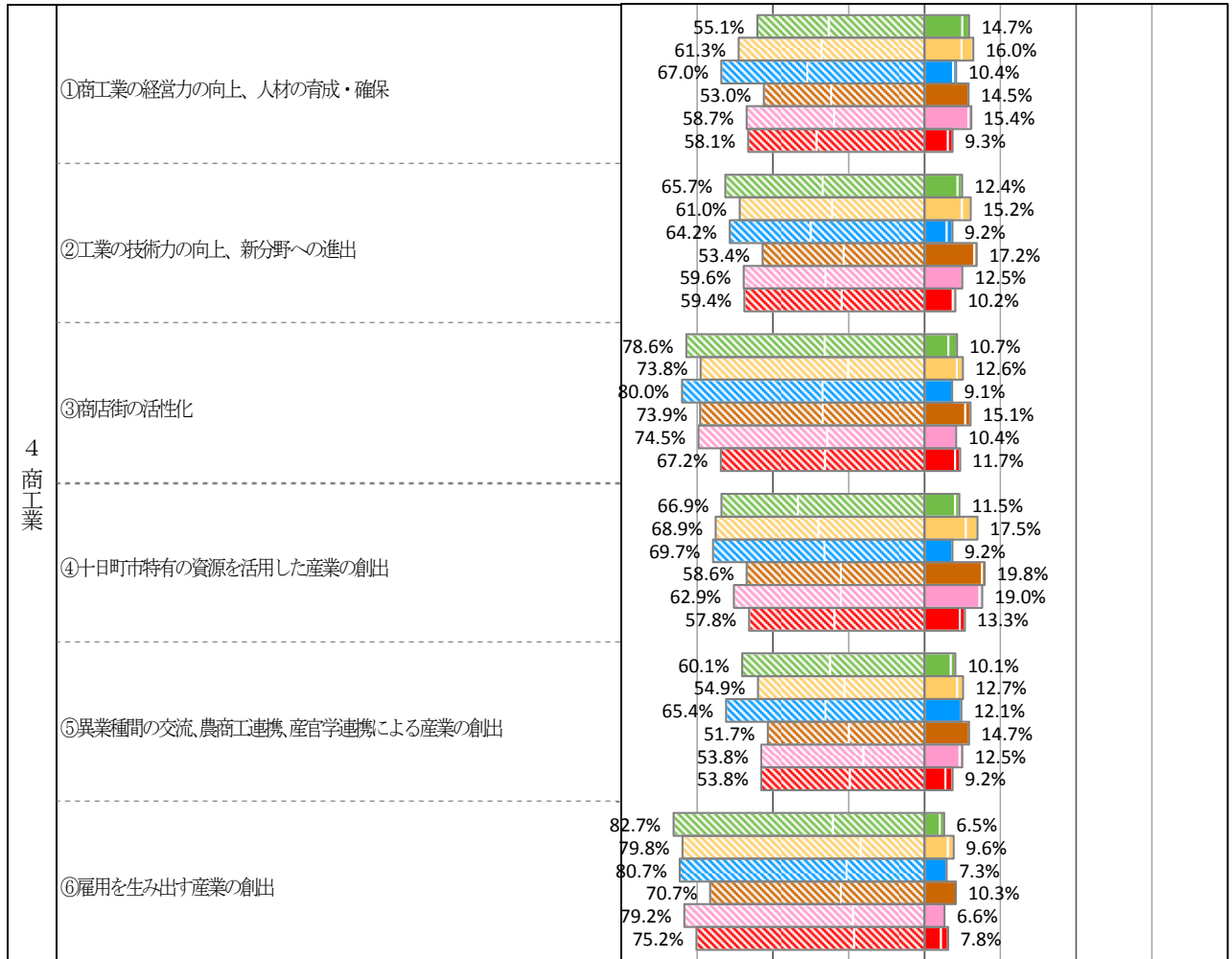
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



1. 十日町

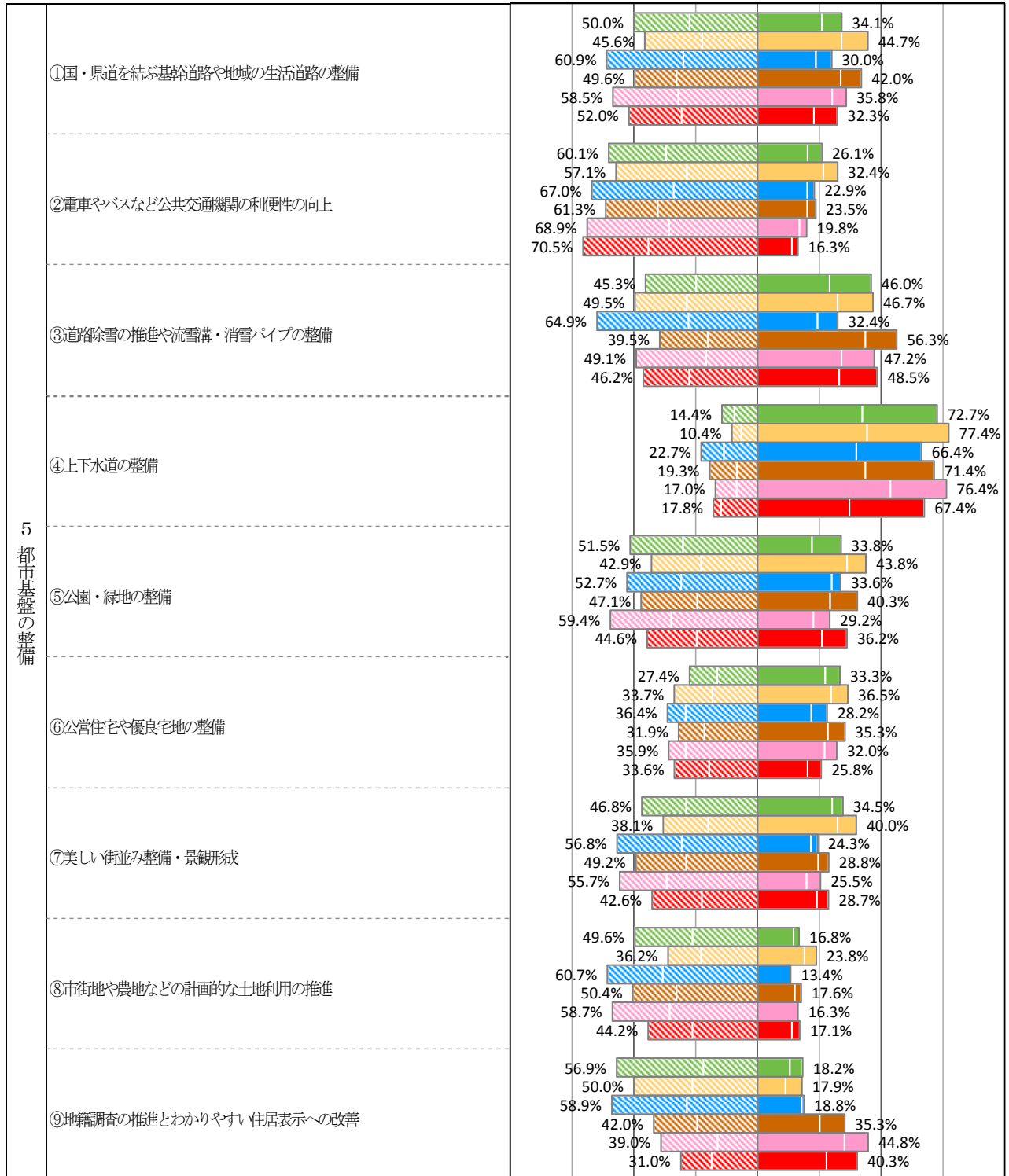
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

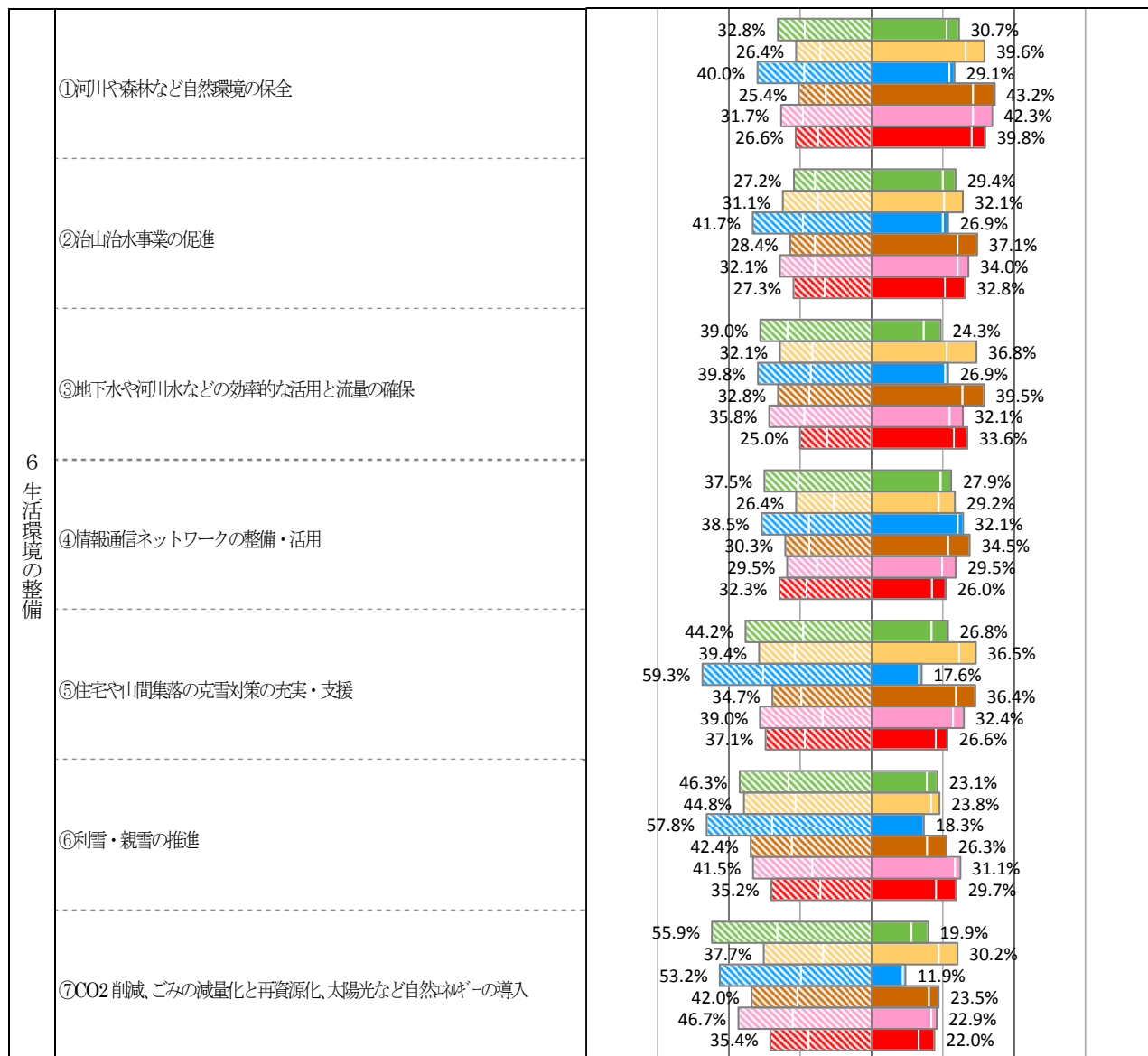
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



1. 十日町

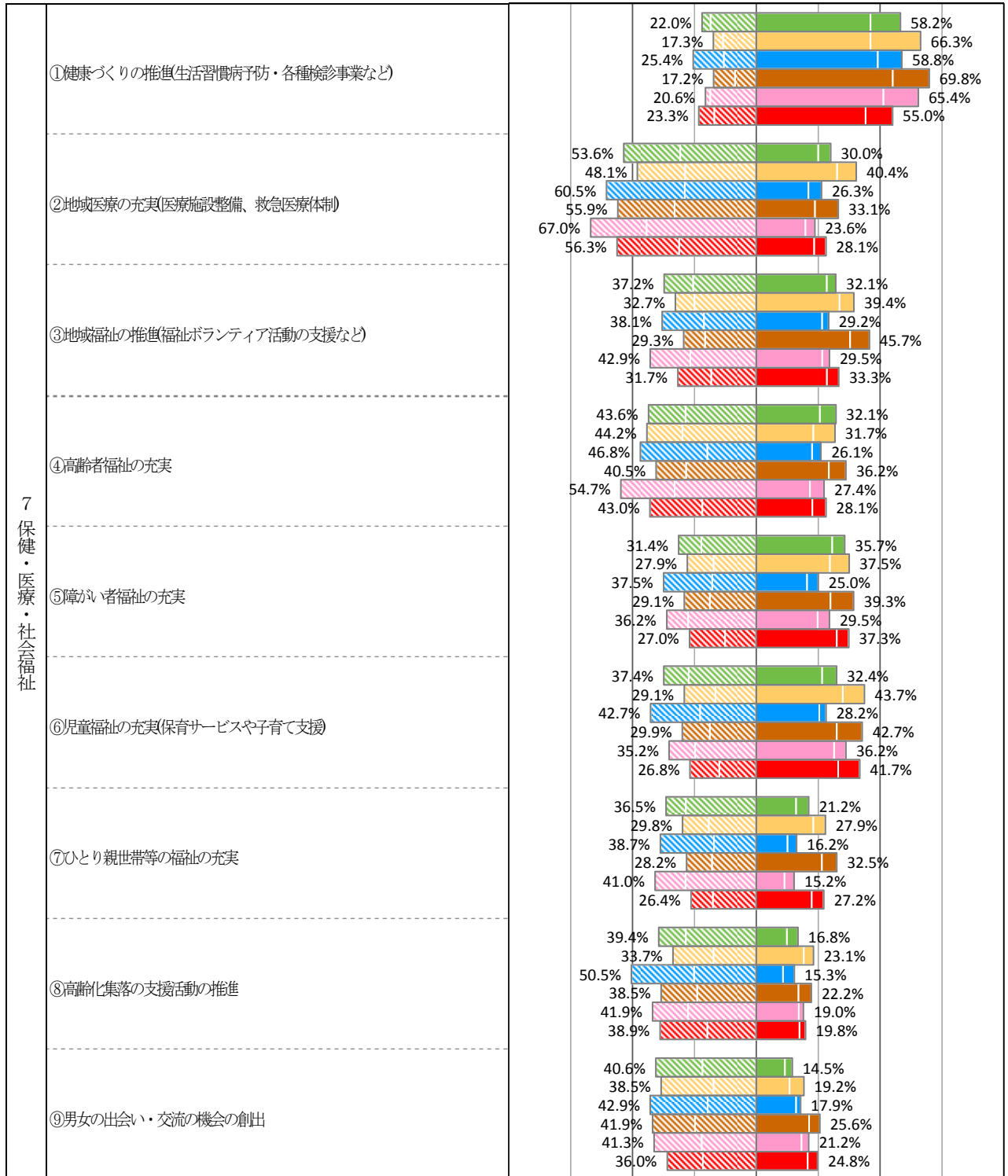
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

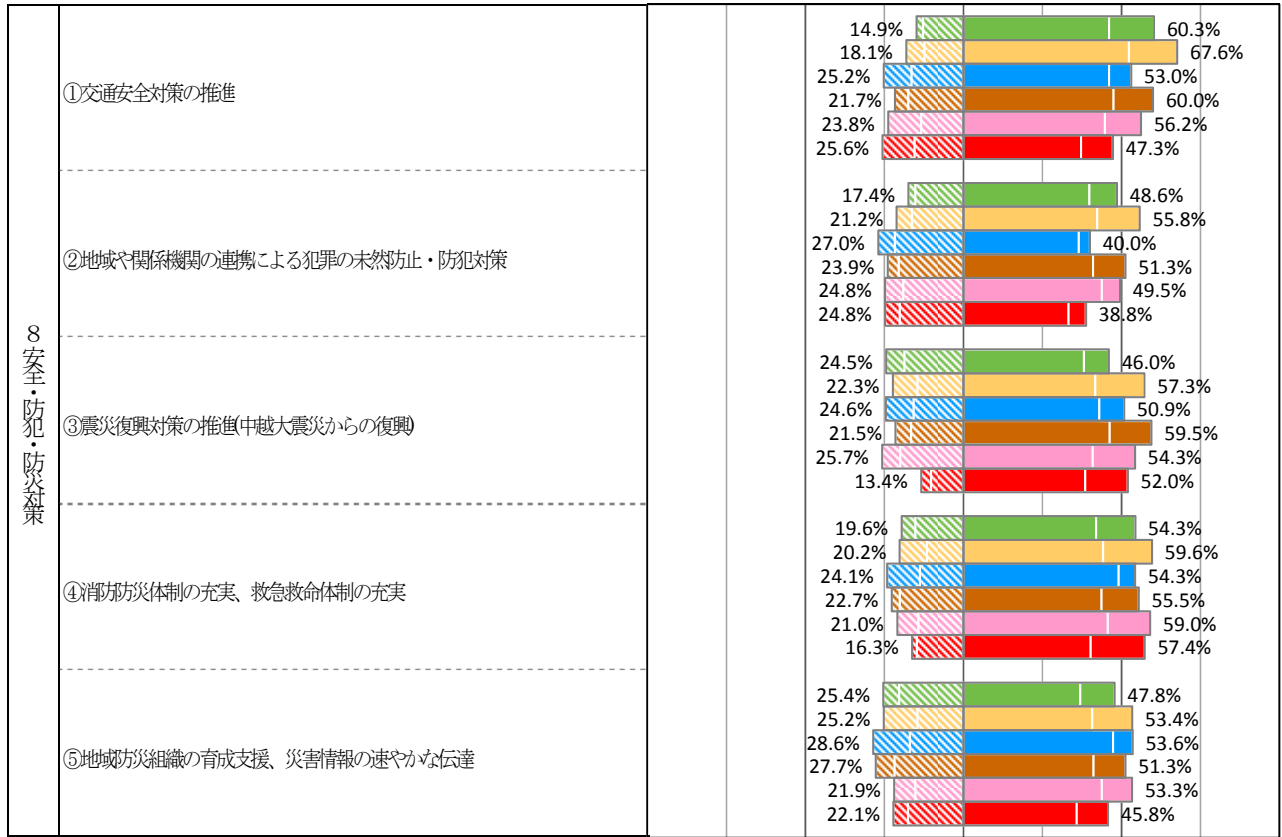
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



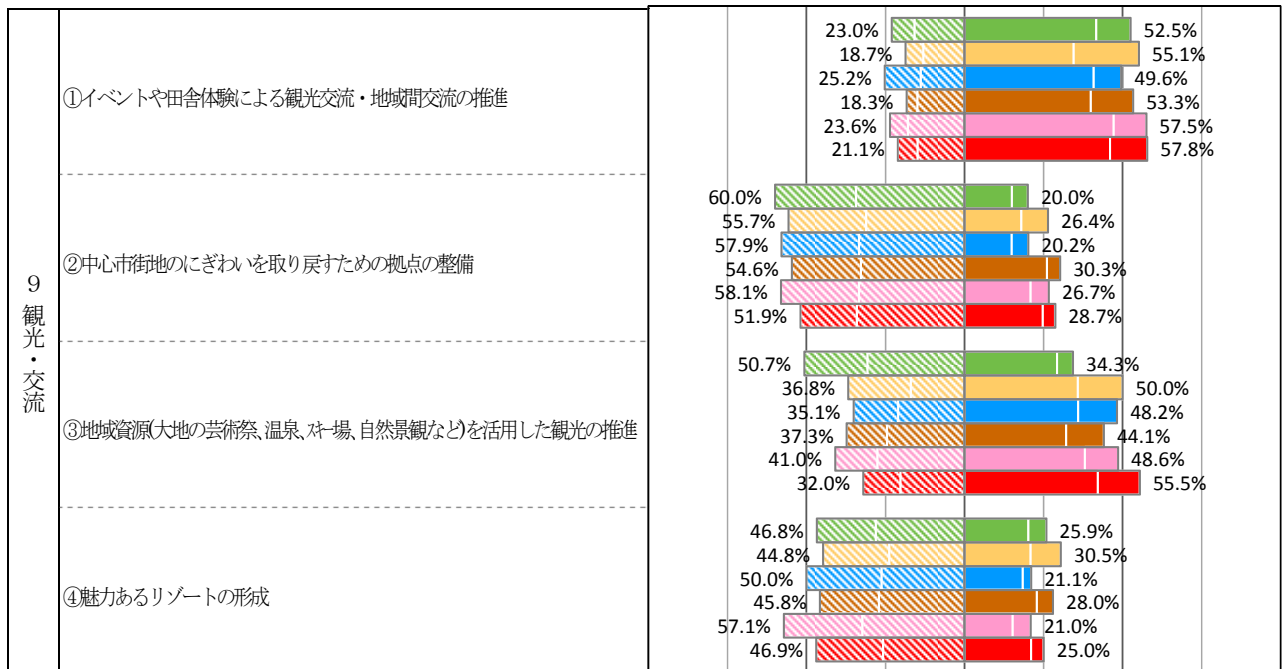
1. 十日町

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

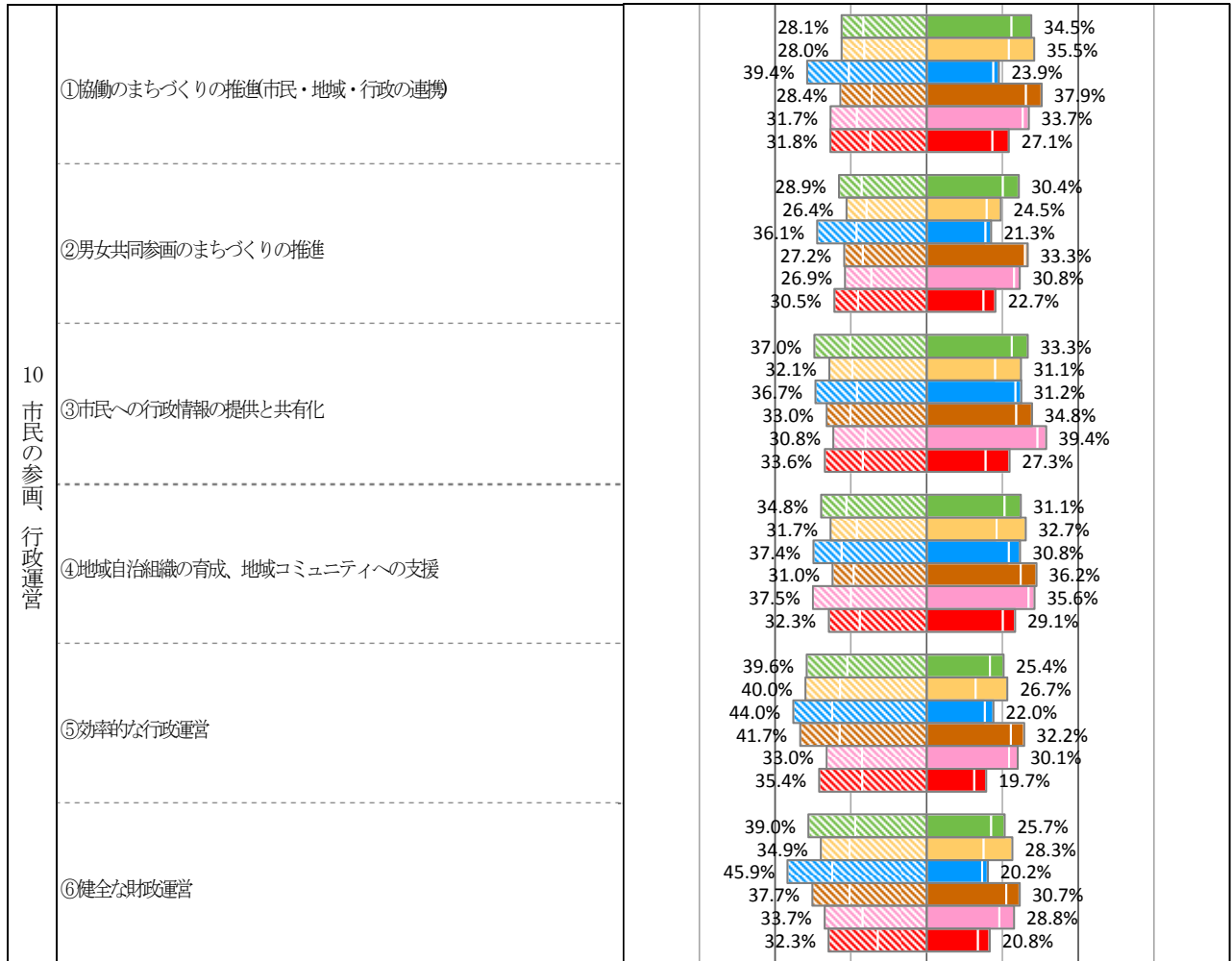


← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

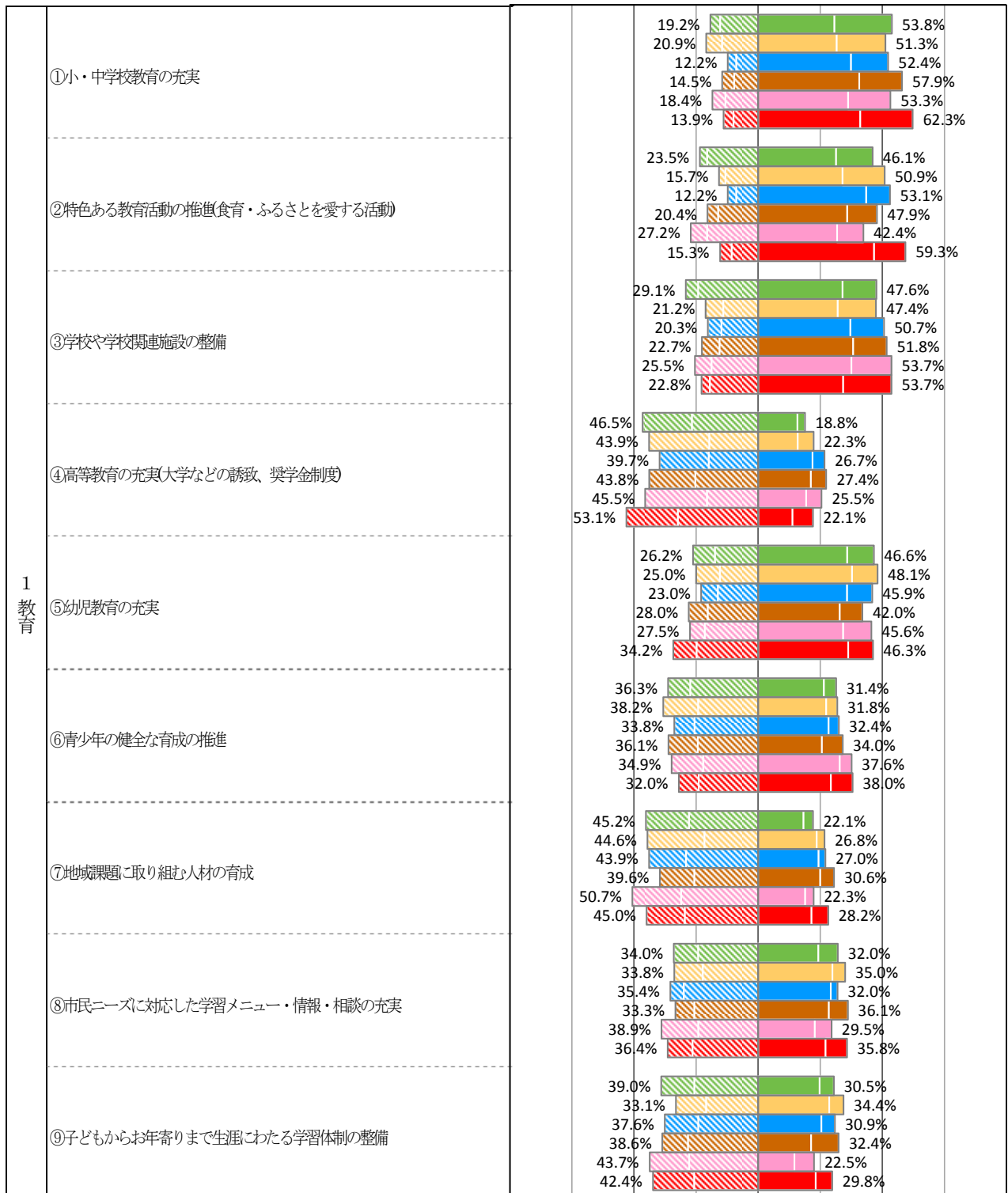
← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



2. 高山 3. 西部 (十日町西)

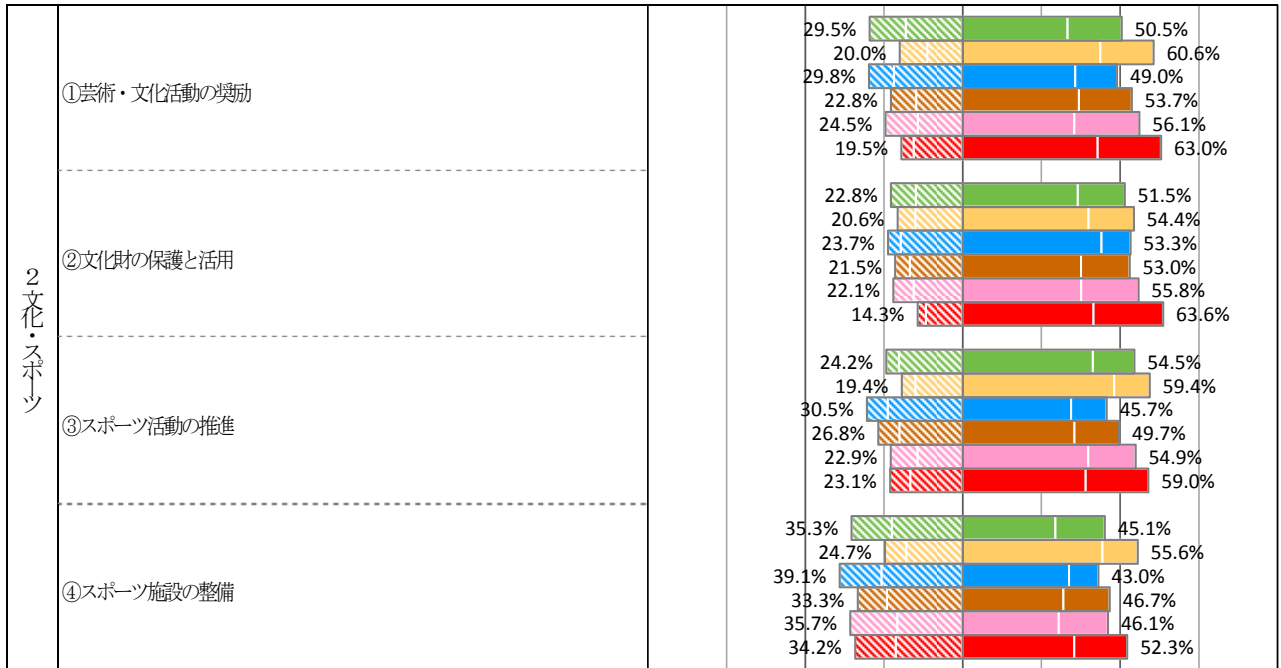
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

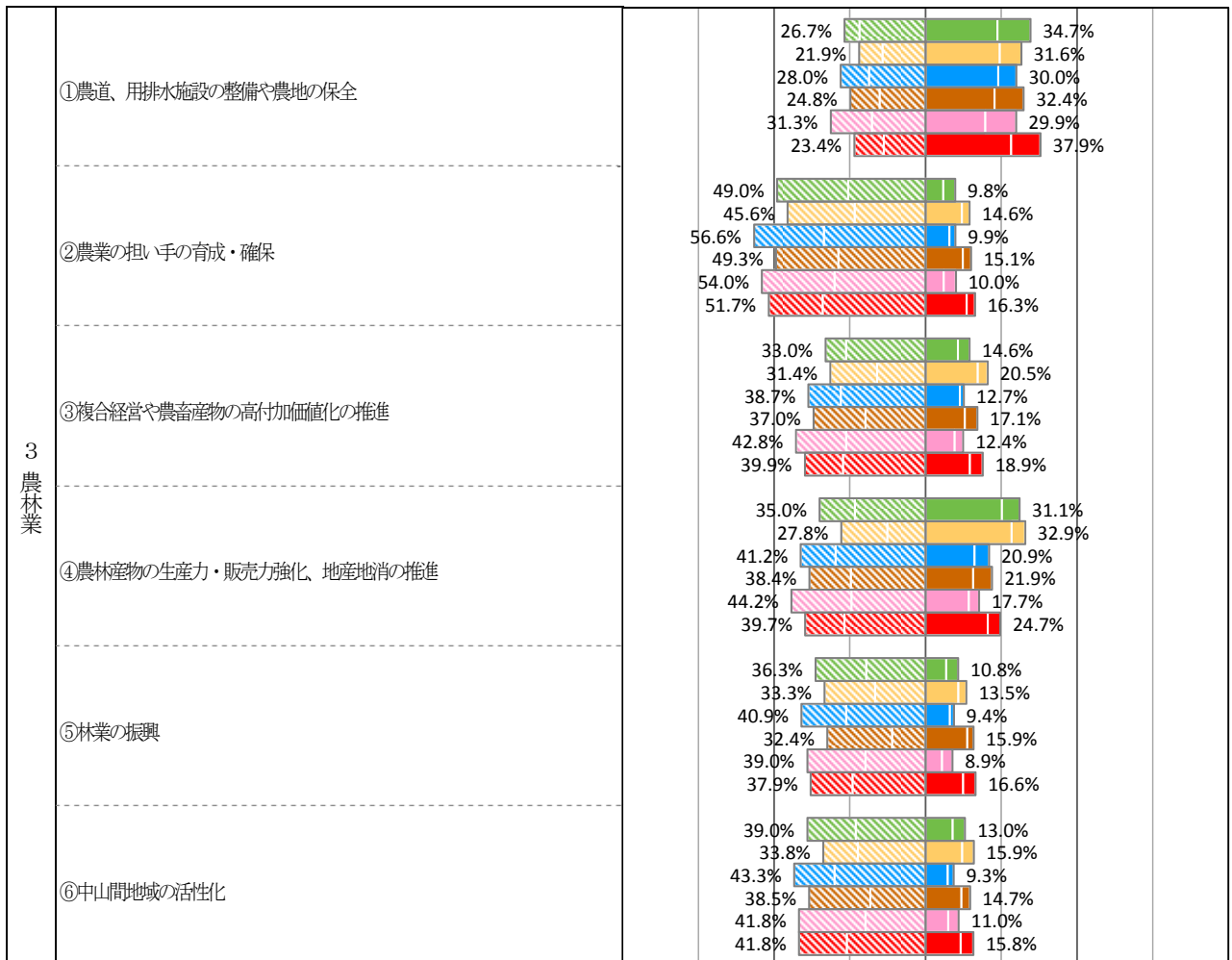


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



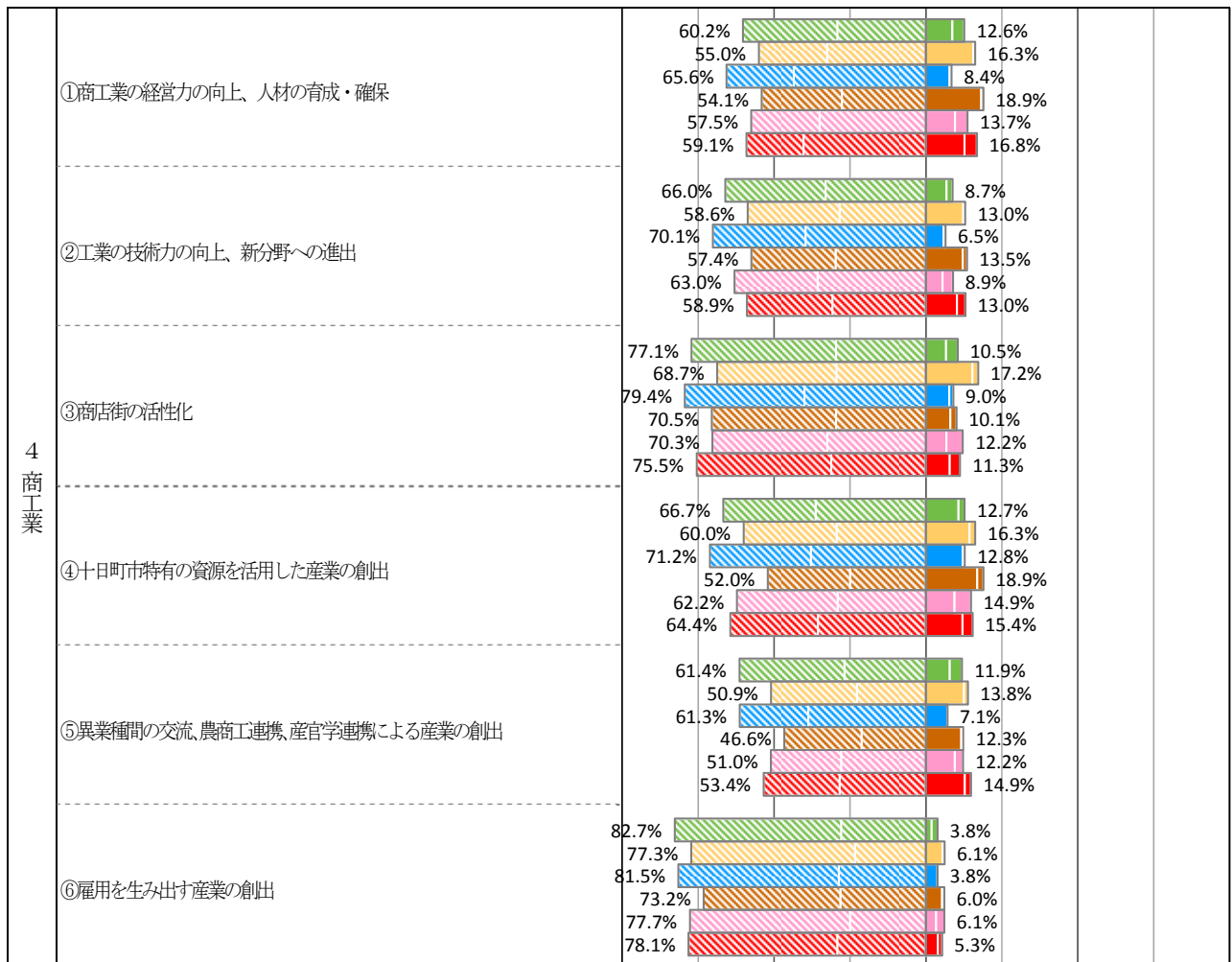
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



2. 高山 3. 西部 (十日町西)

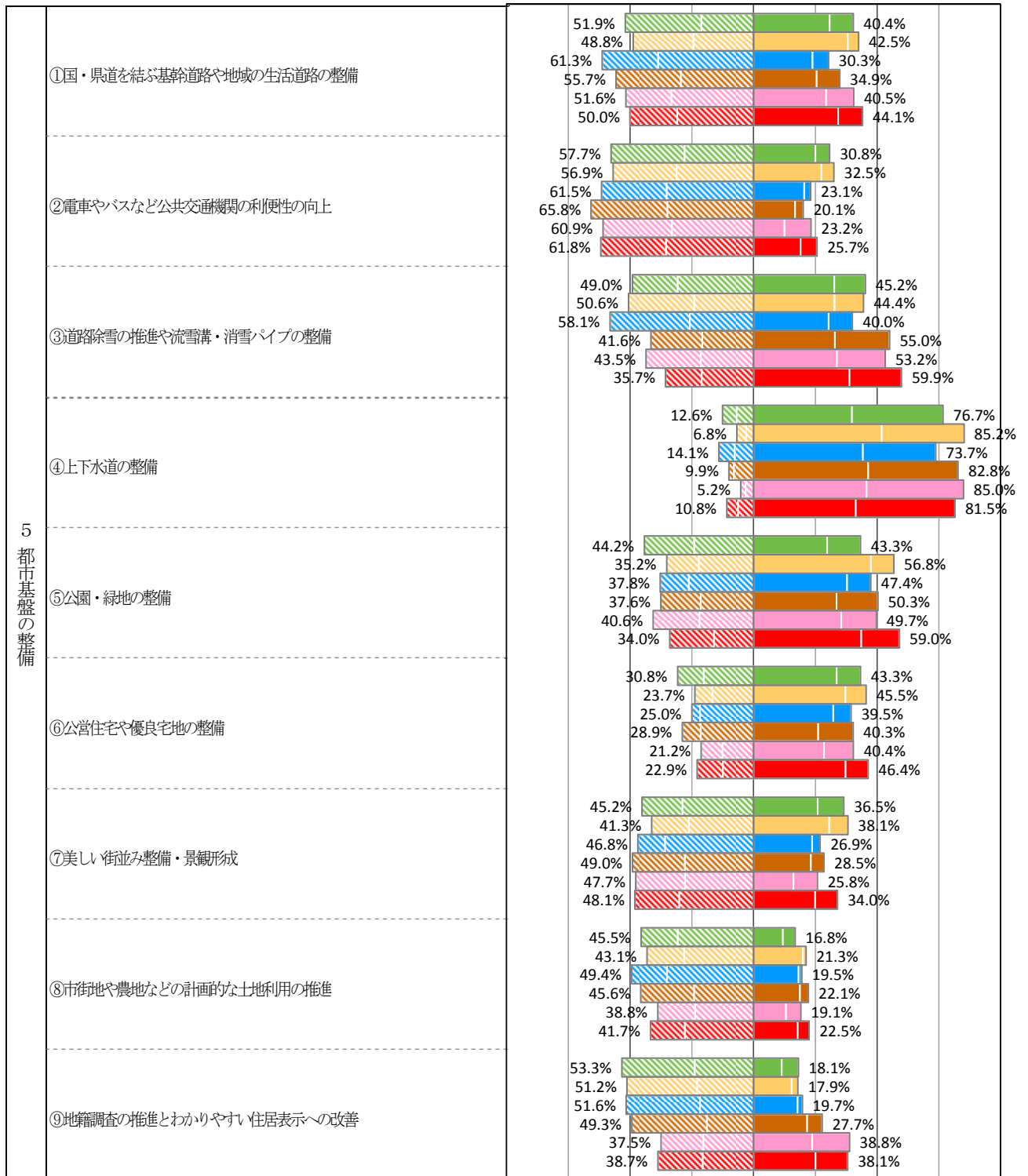
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

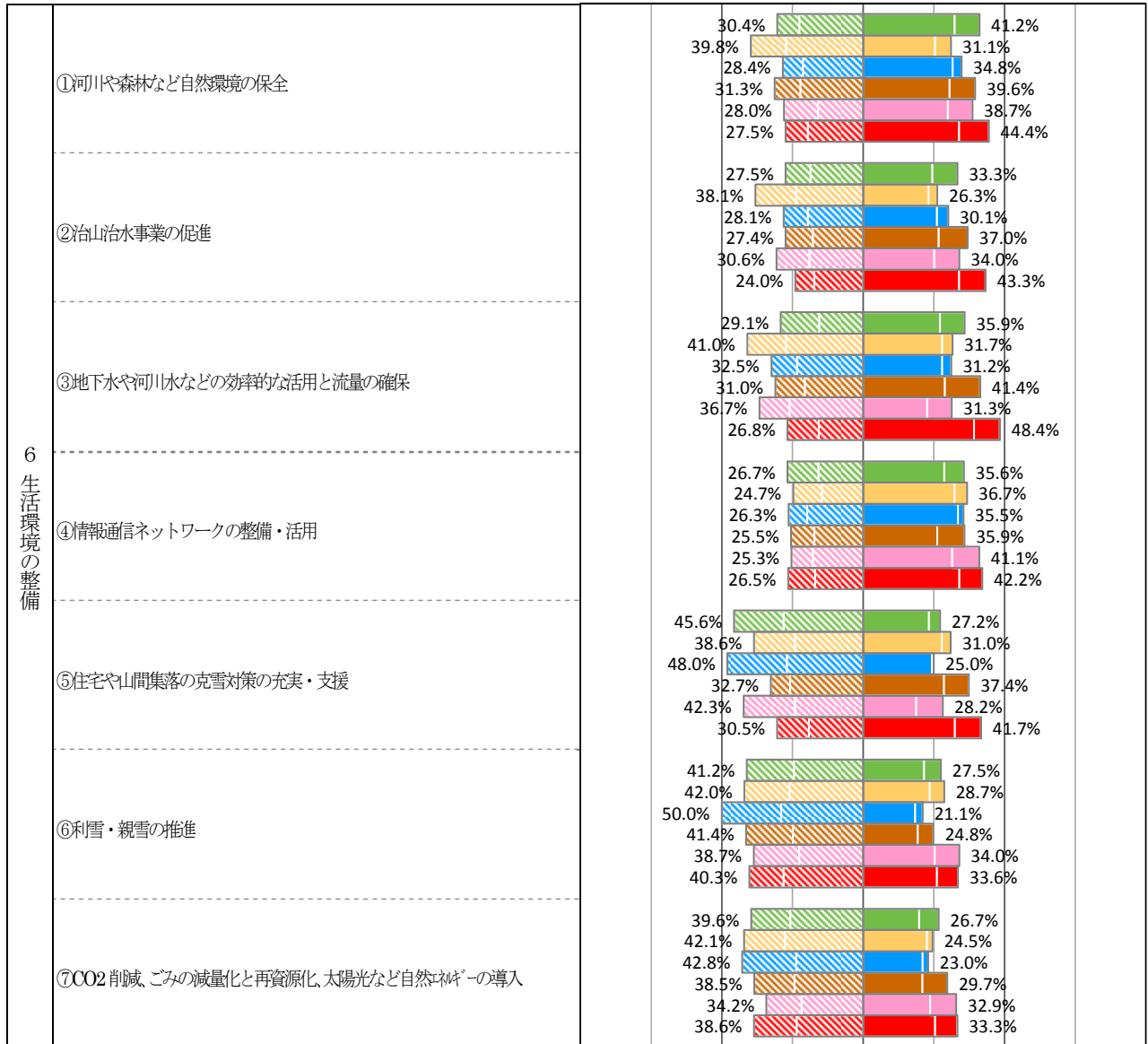
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



2. 高山 3. 西部 (十日町西)

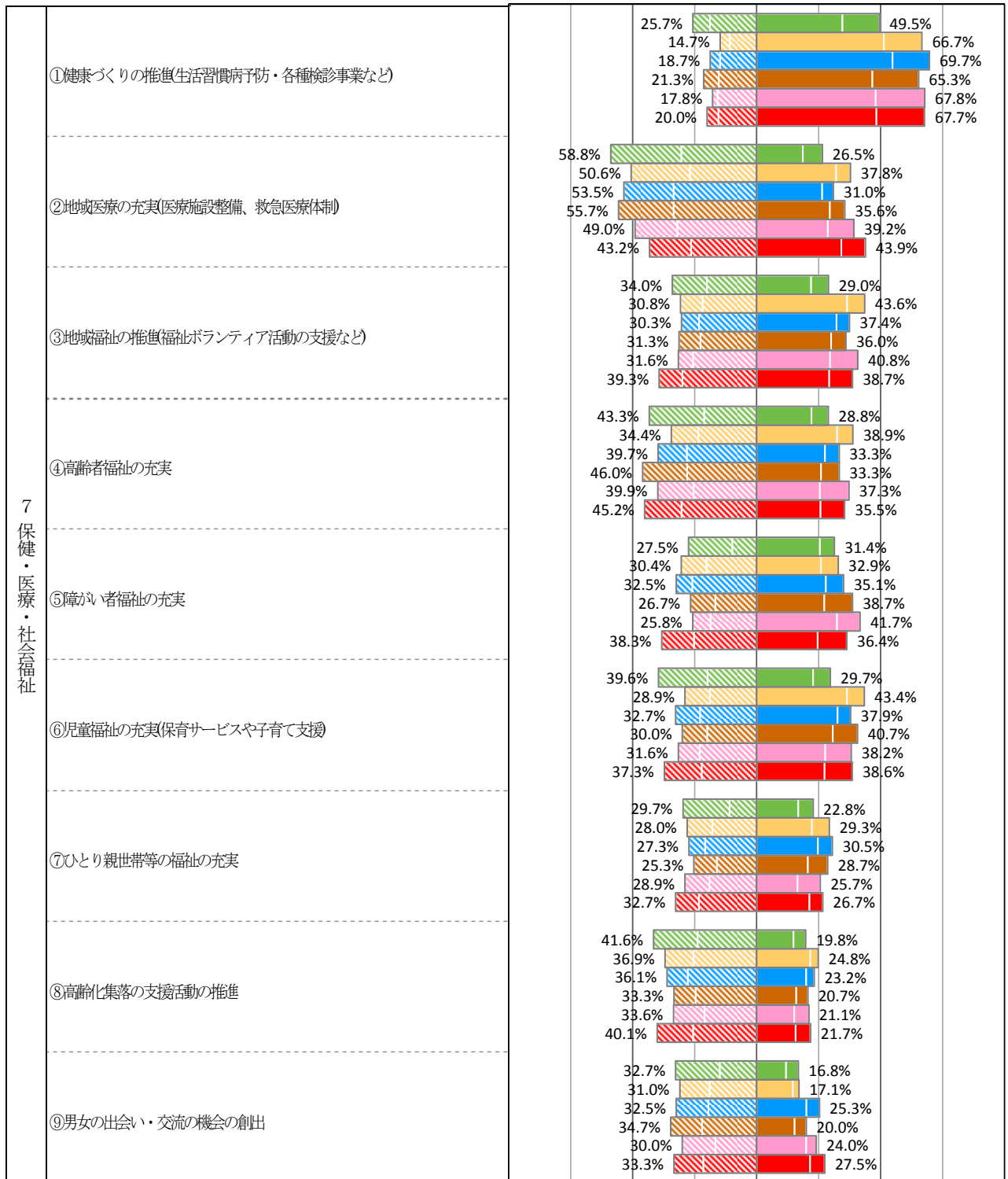
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

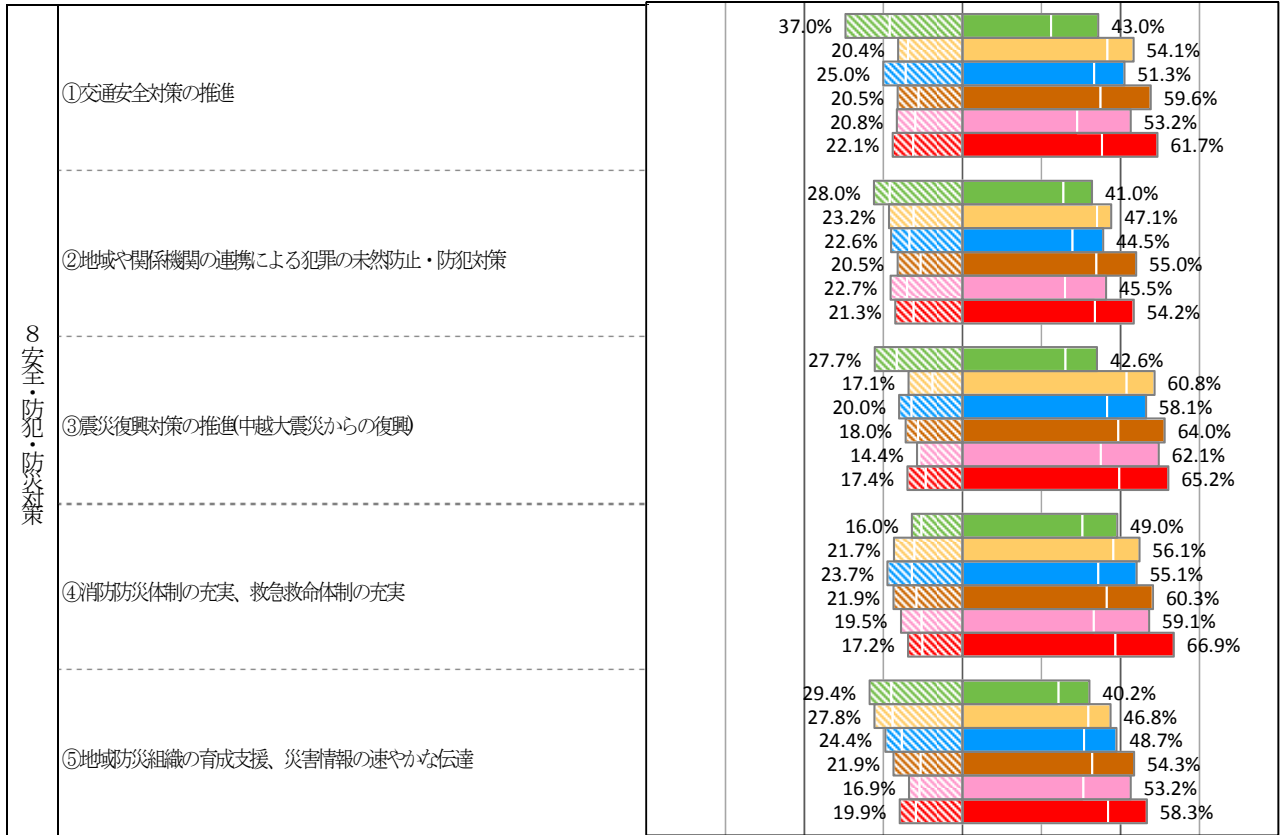
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



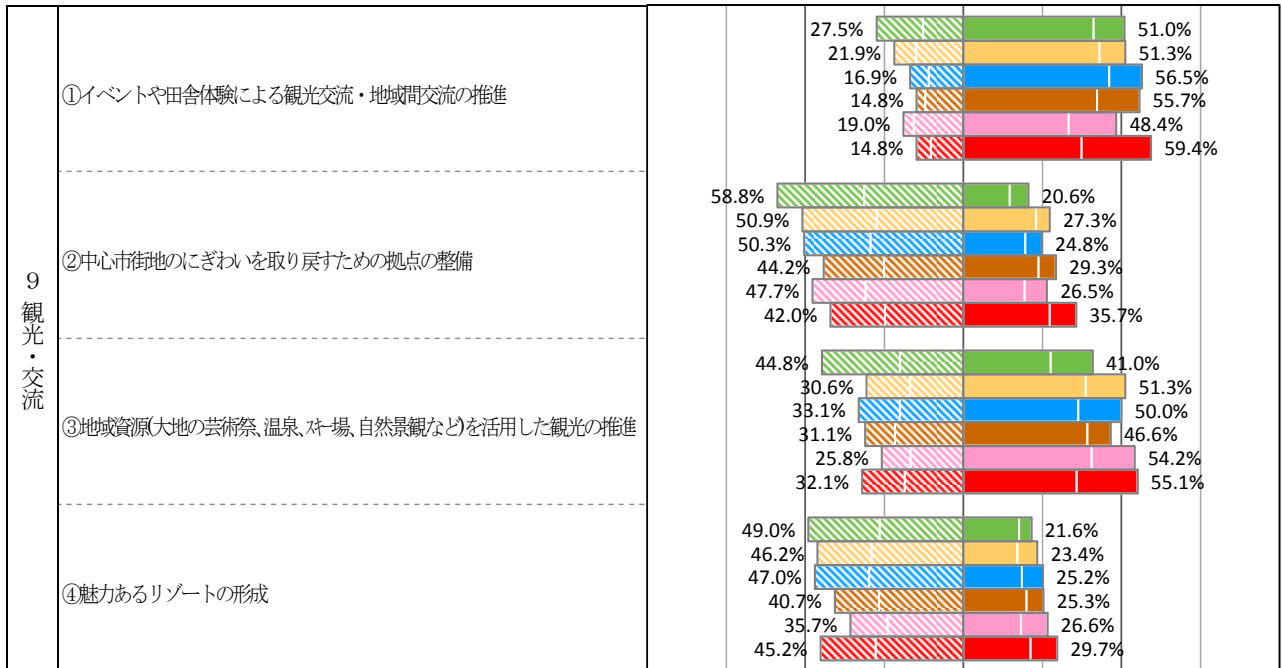
2. 高山 3. 西部 (十日町西)

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

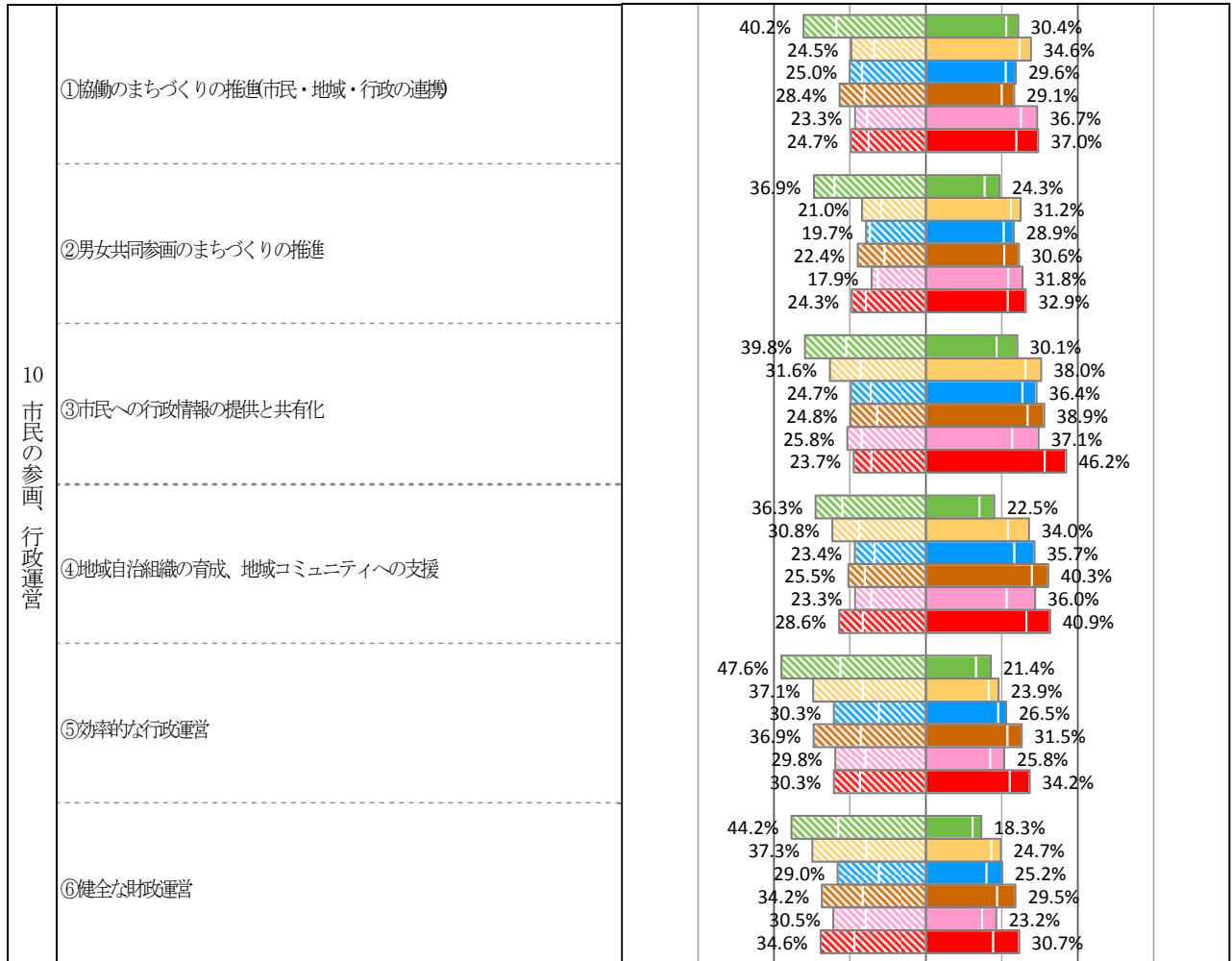


← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

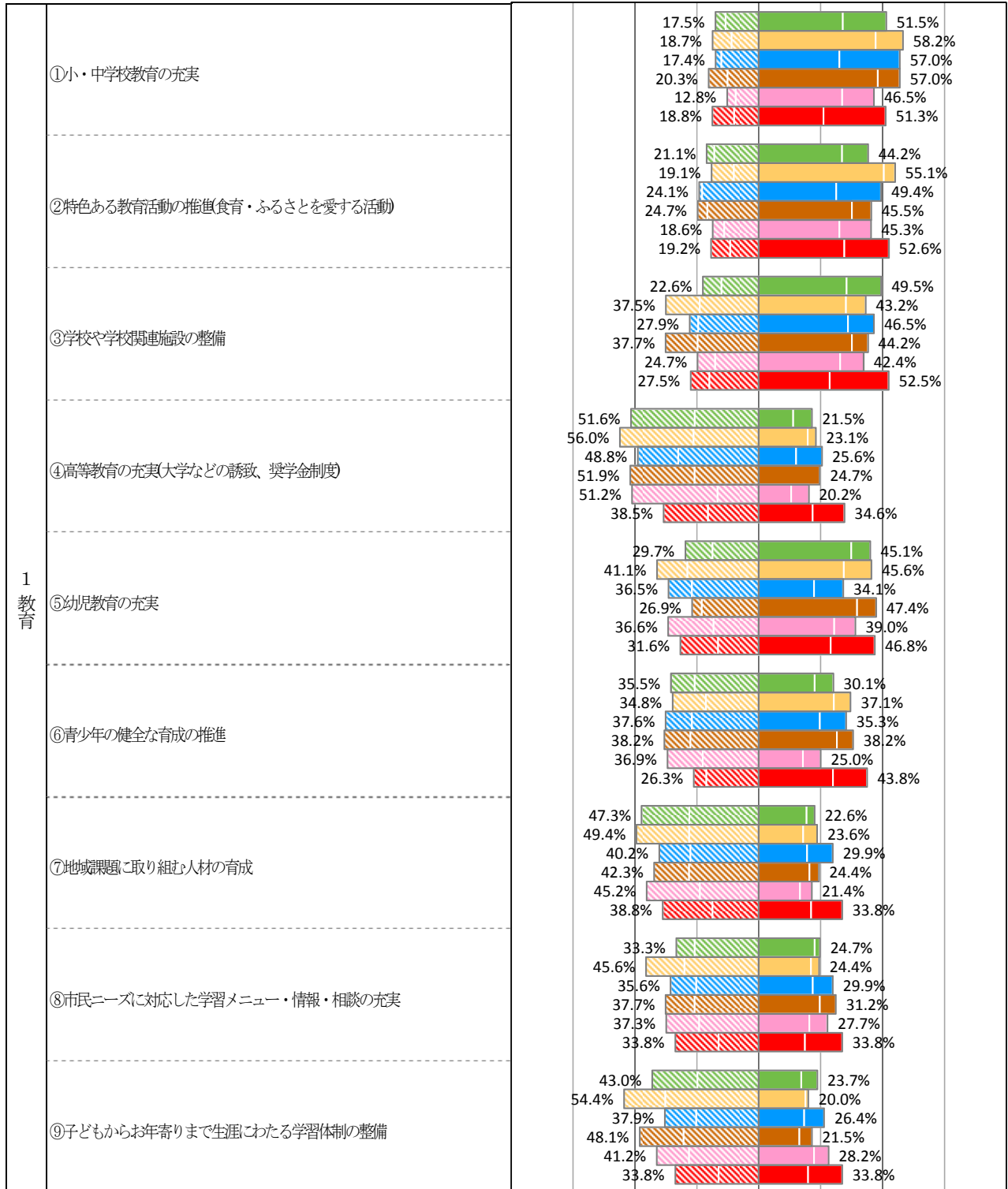
← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



4. 川治・六箇

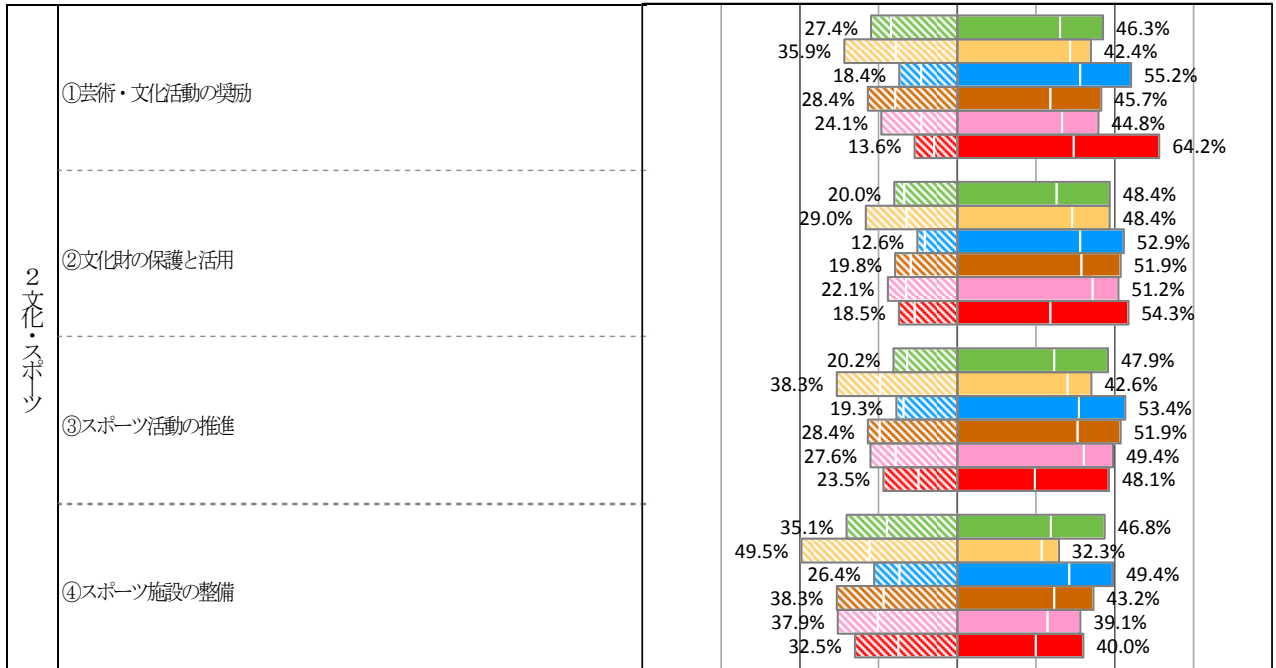
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

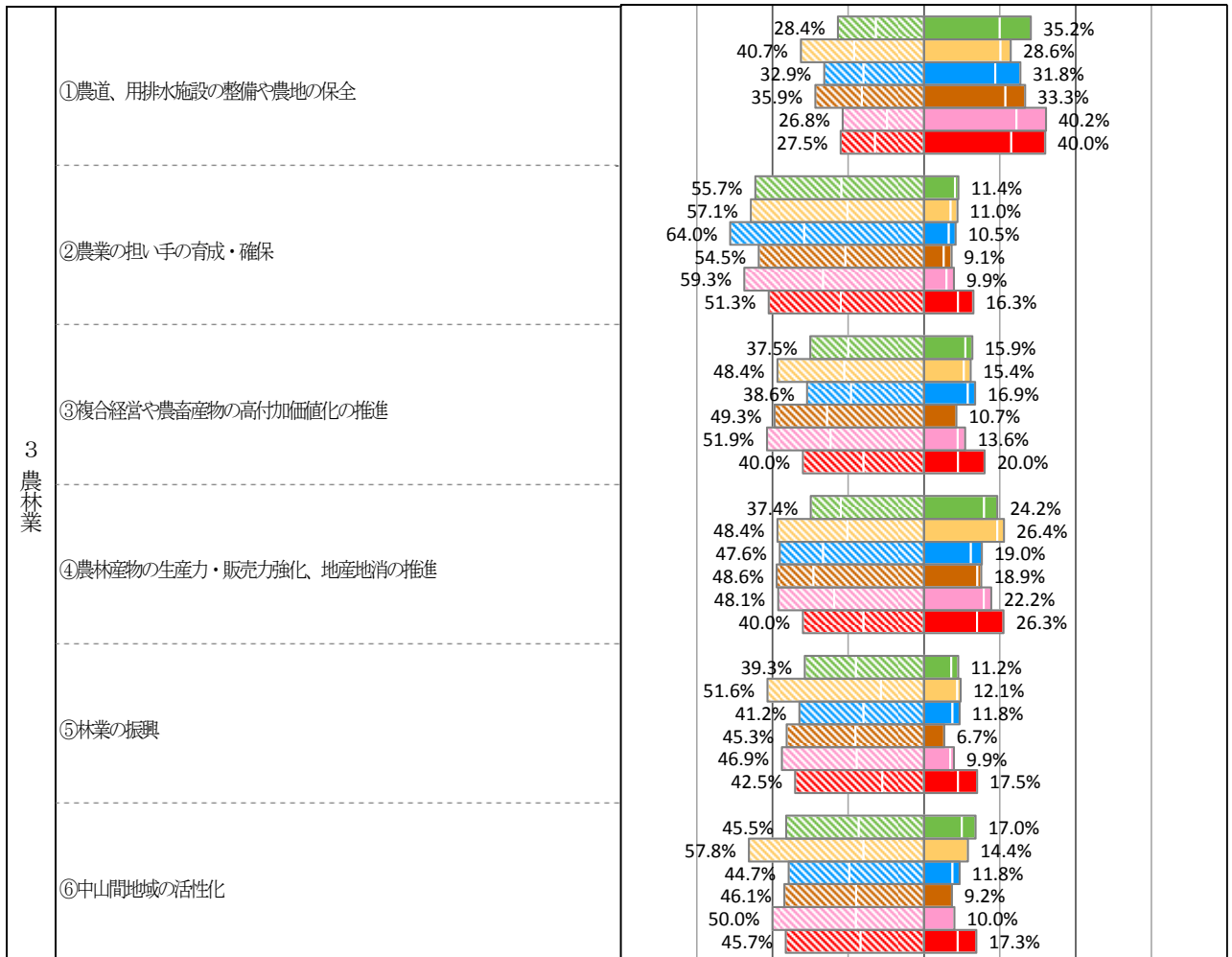


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



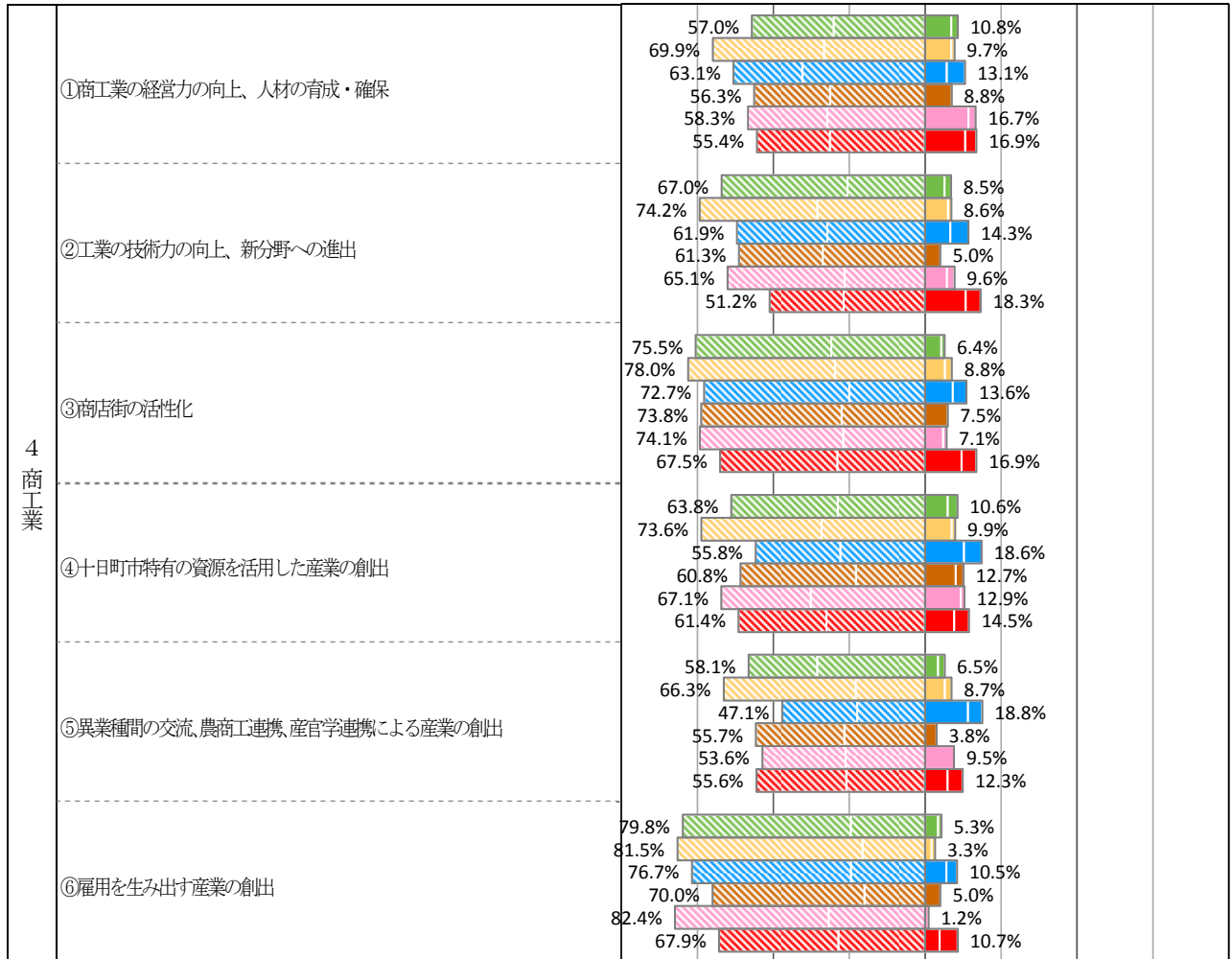
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



4. 川治・六箇

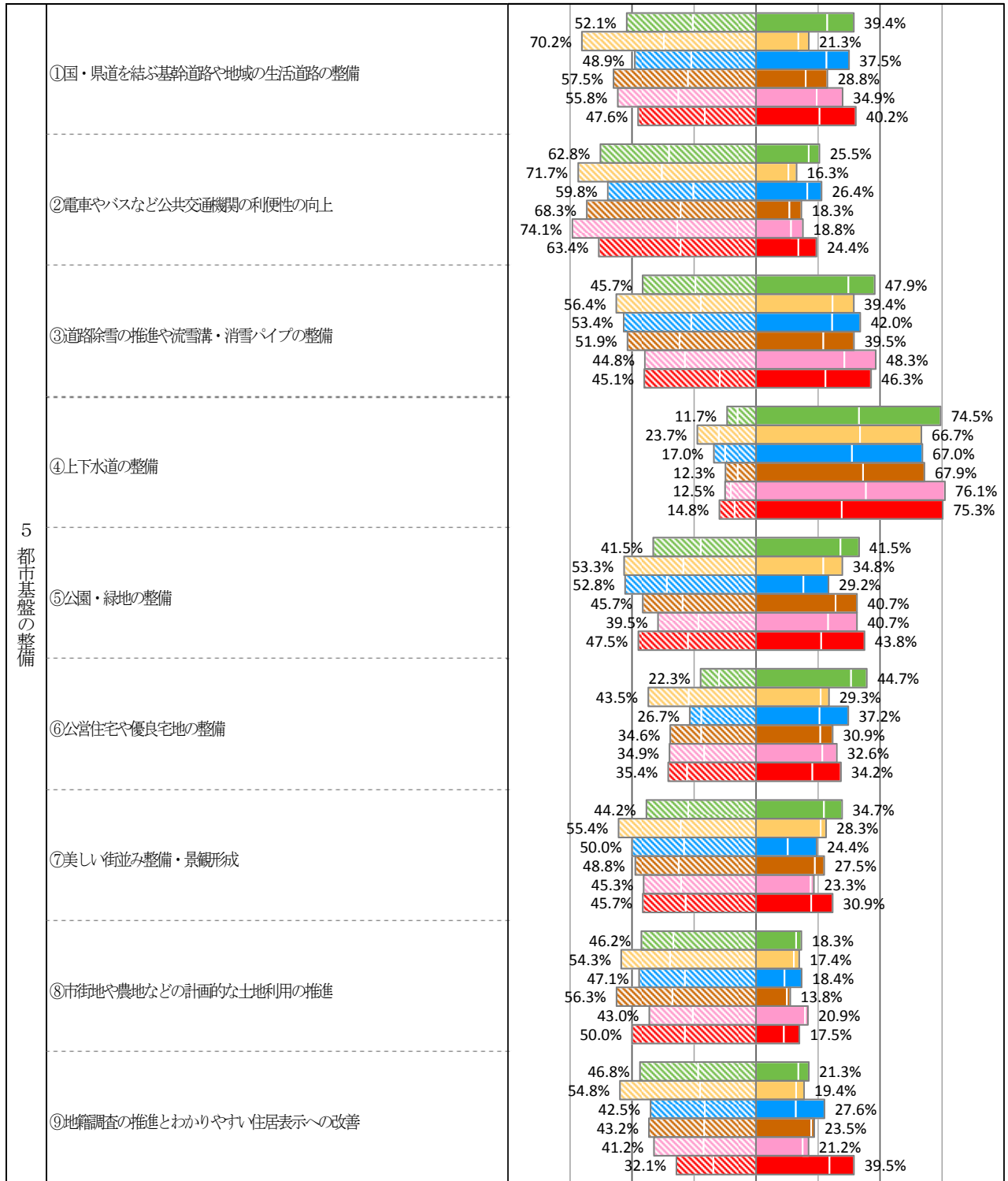
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

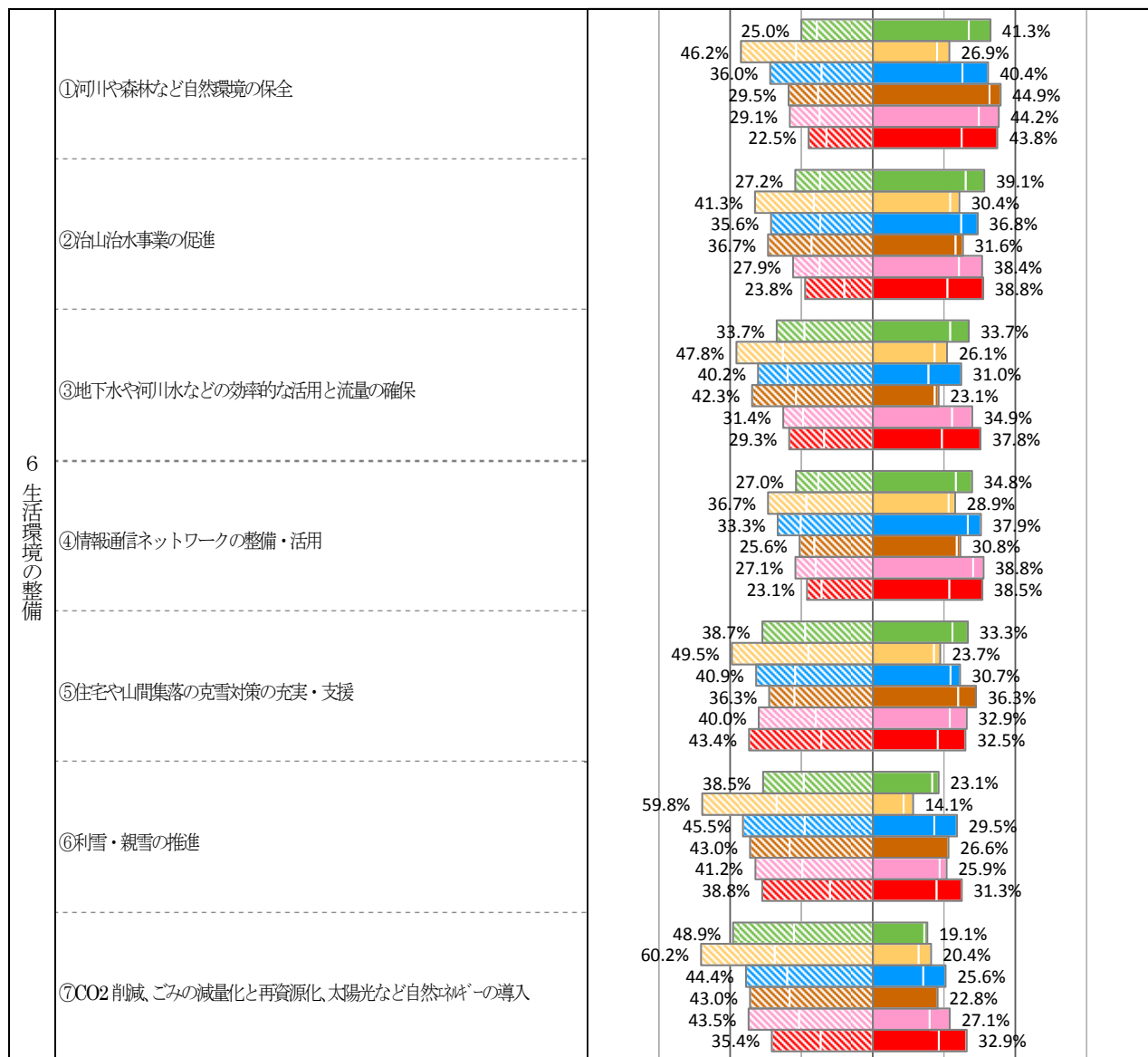
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



4. 川治・六箇

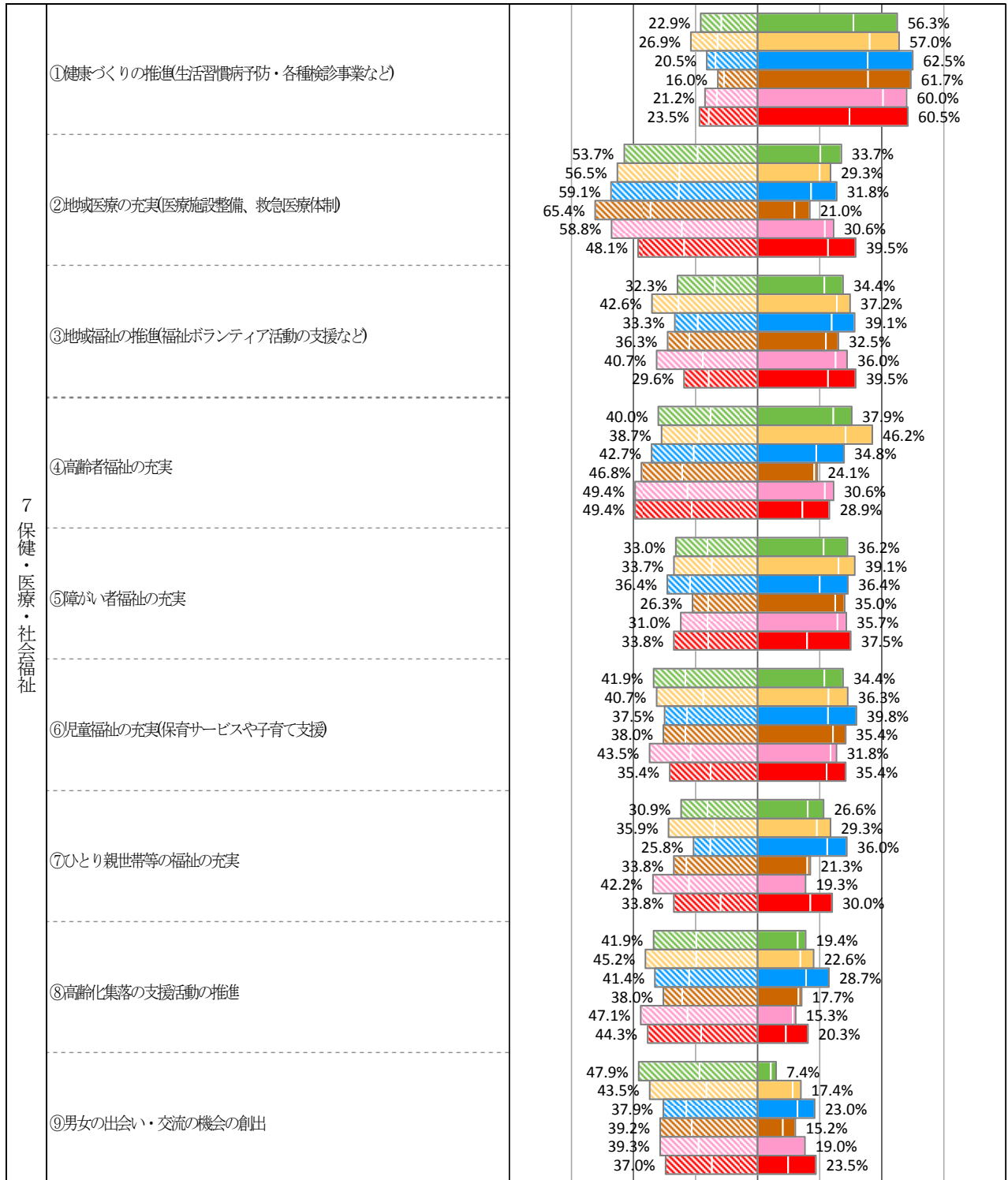
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



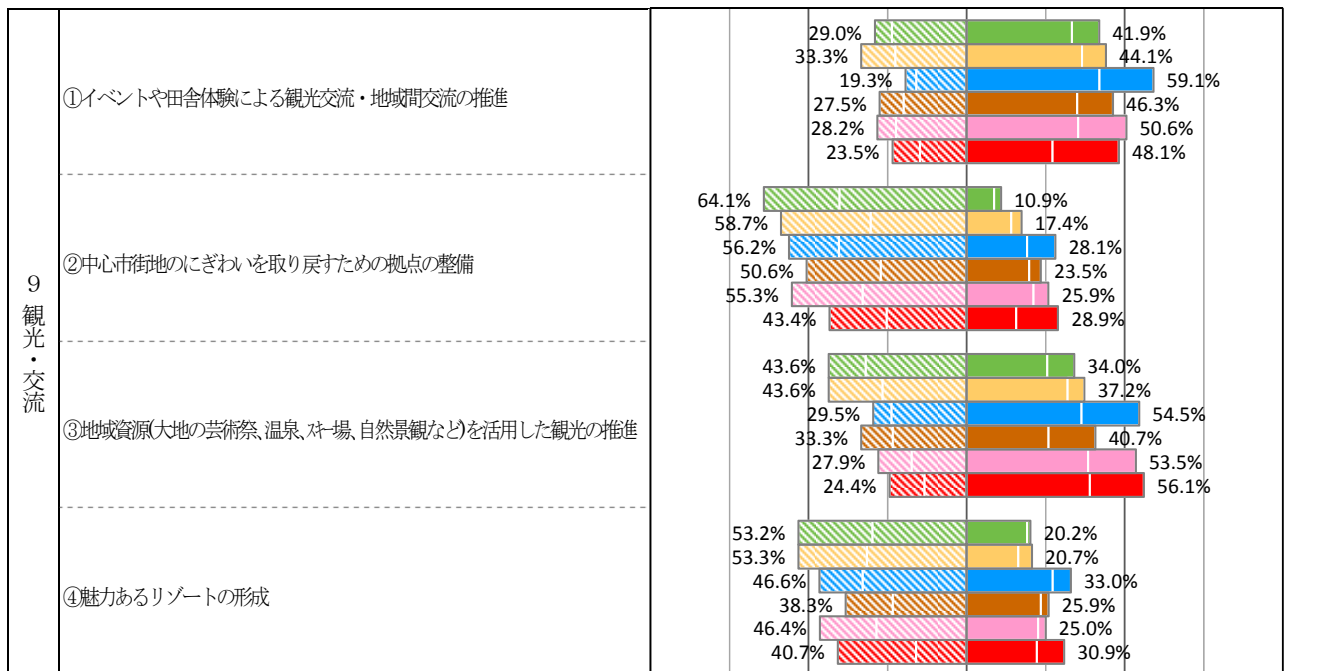
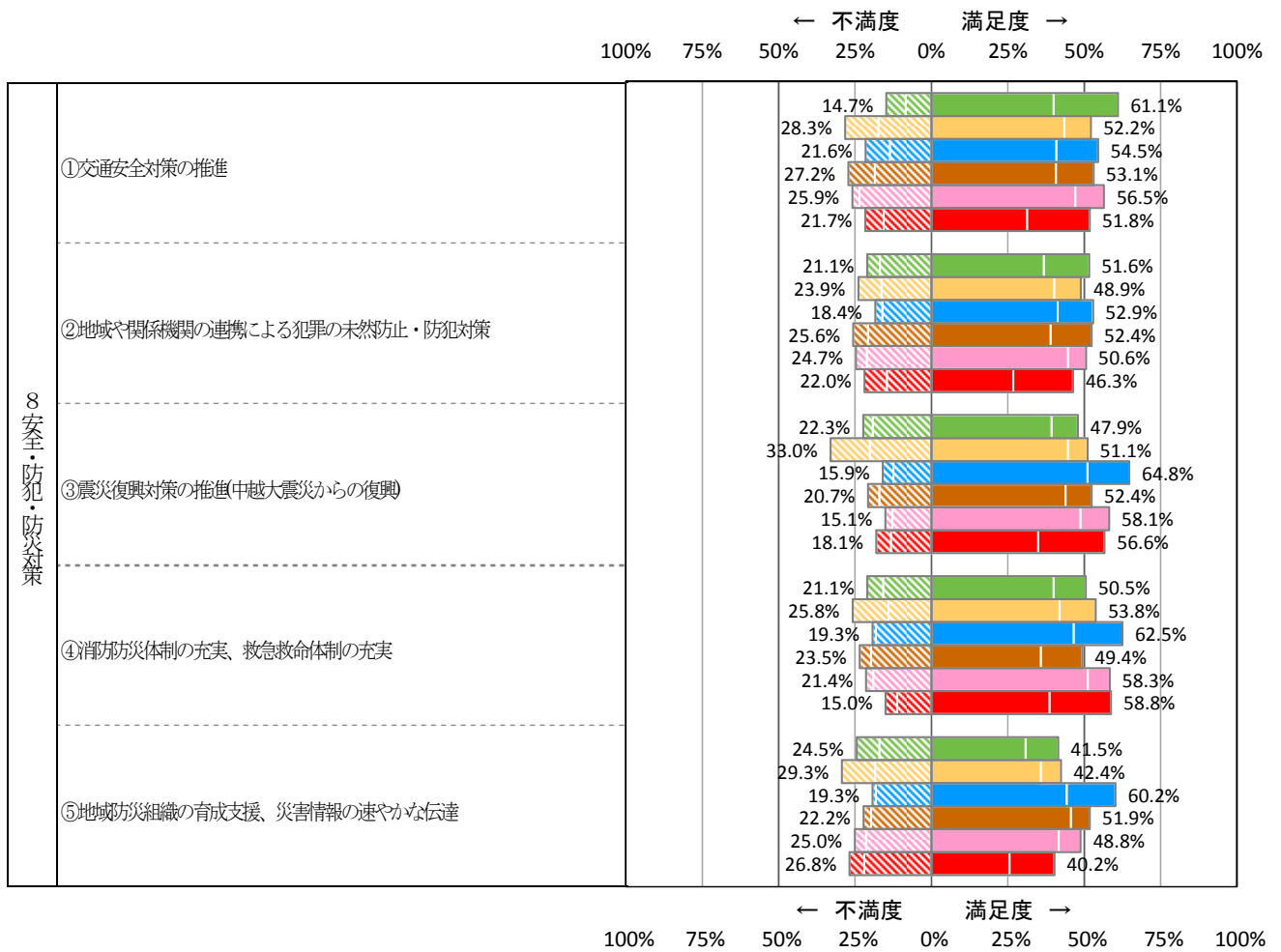
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



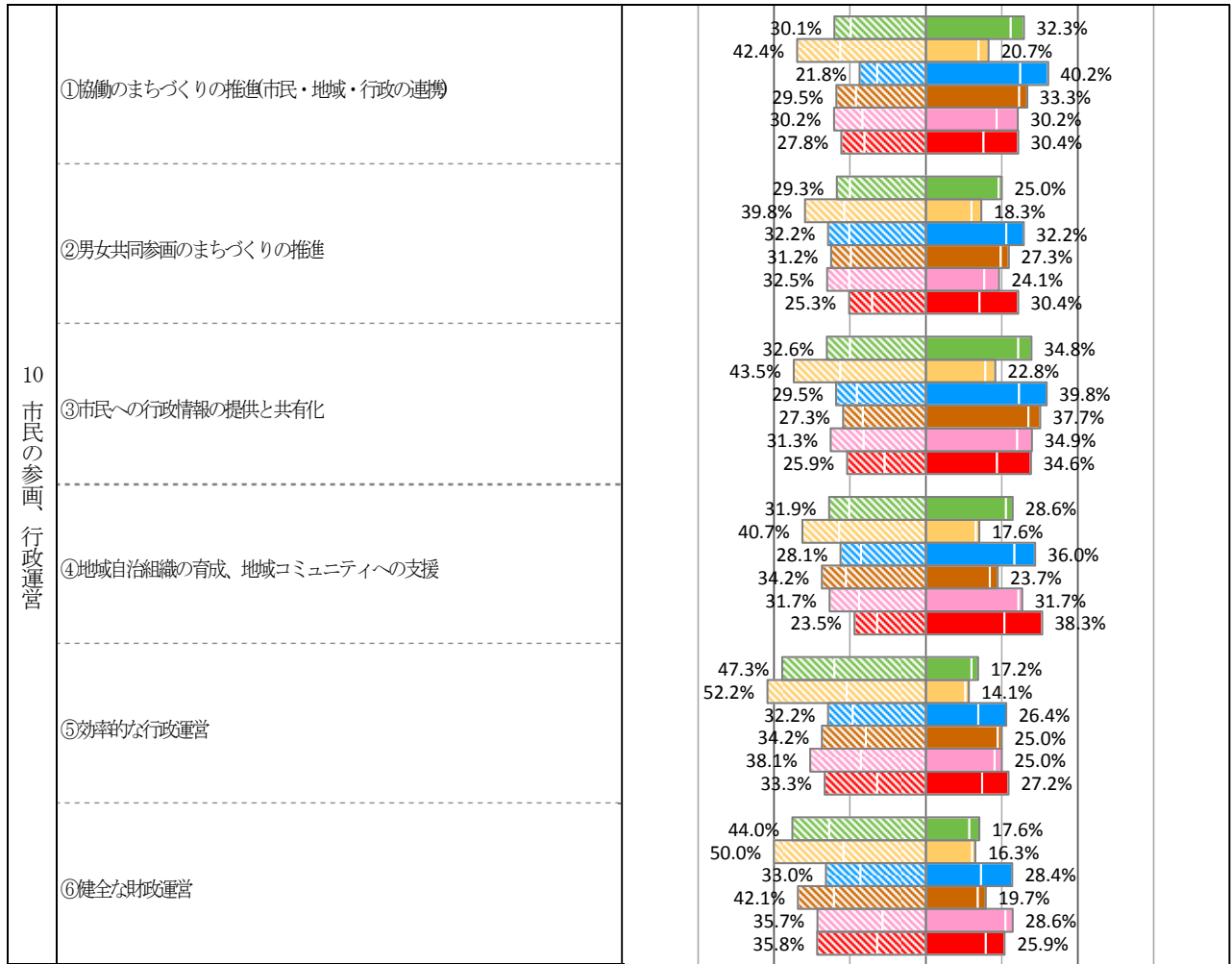
4. 川治・六箇

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

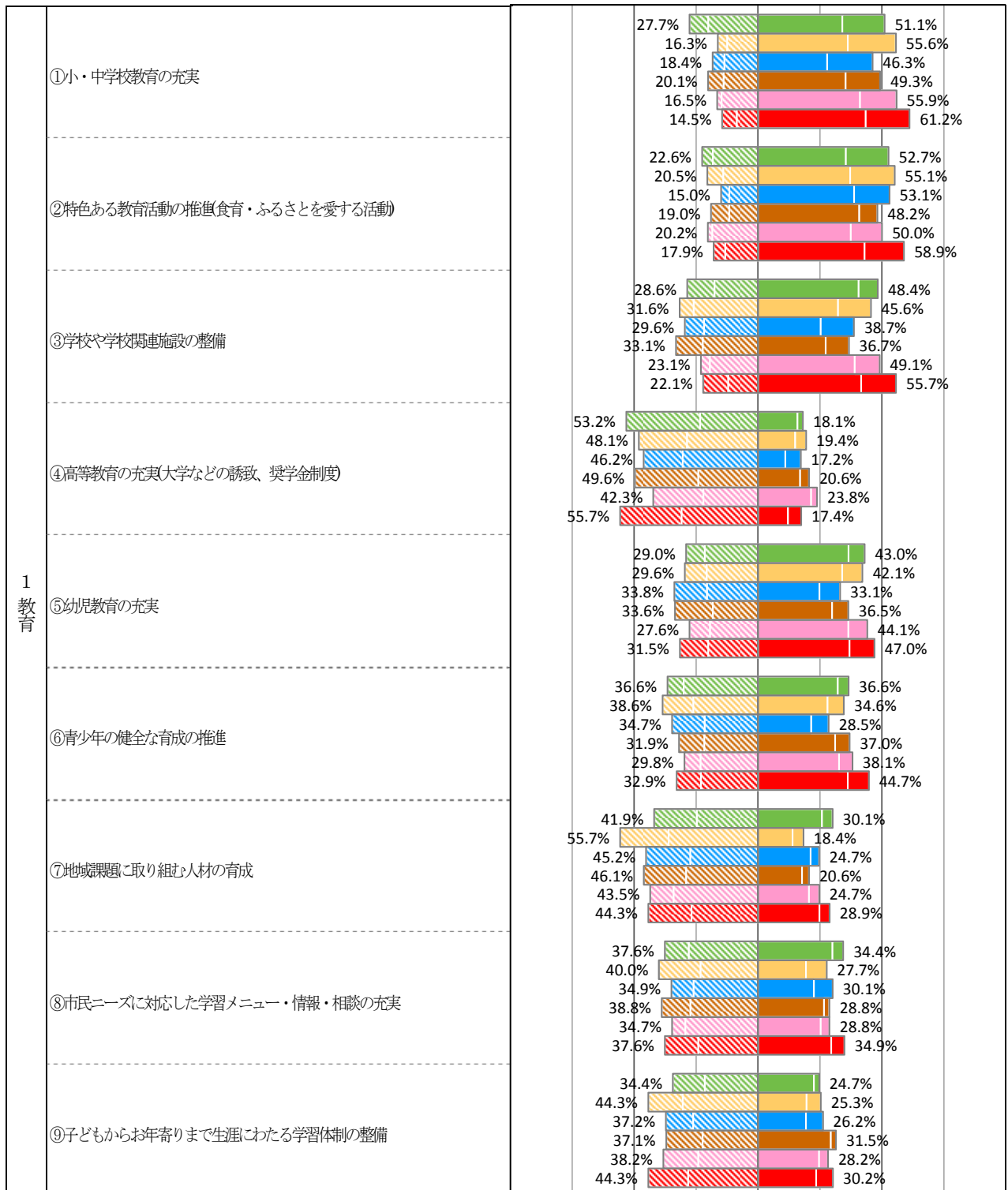
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



5. 中条・飛渡 6. 大井田 (中条)

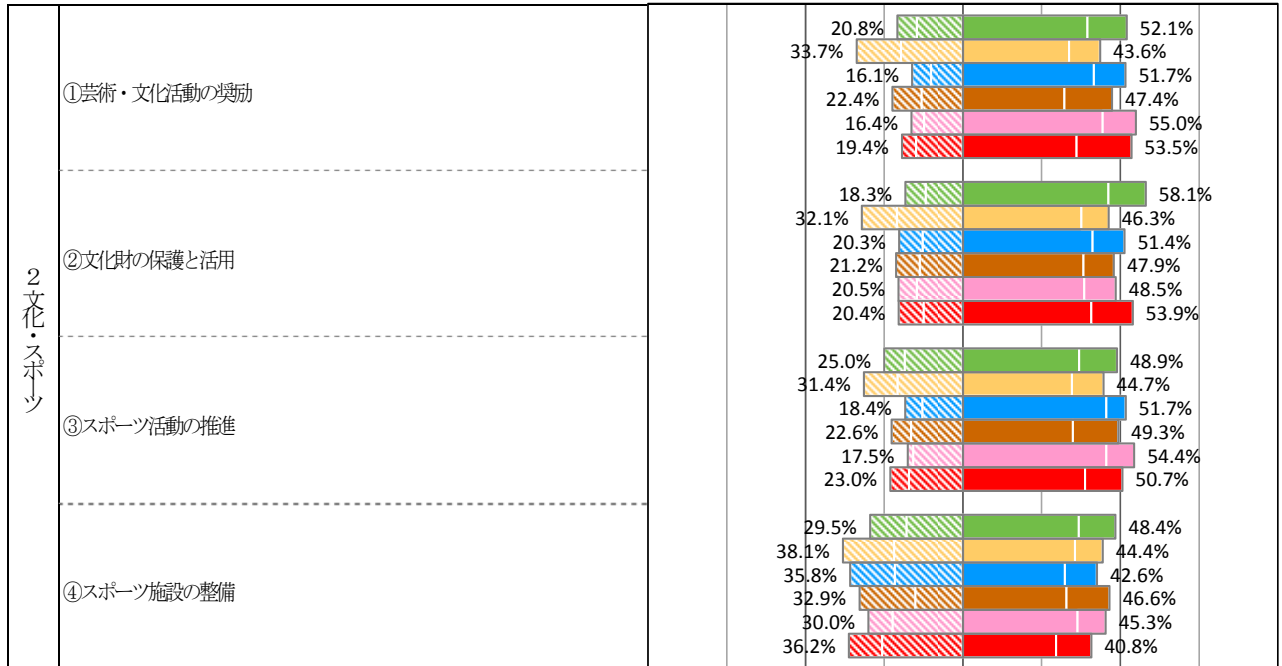
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

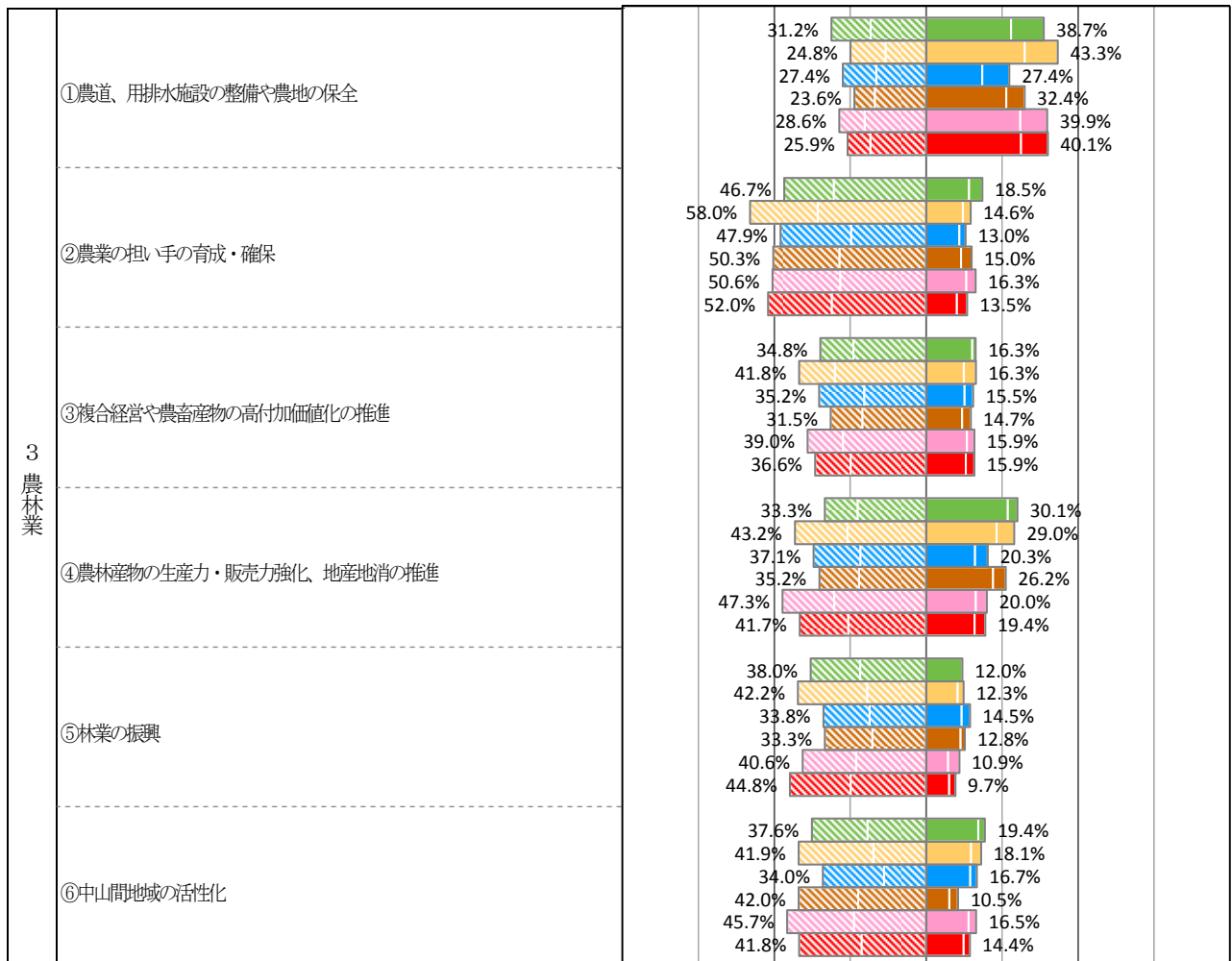


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



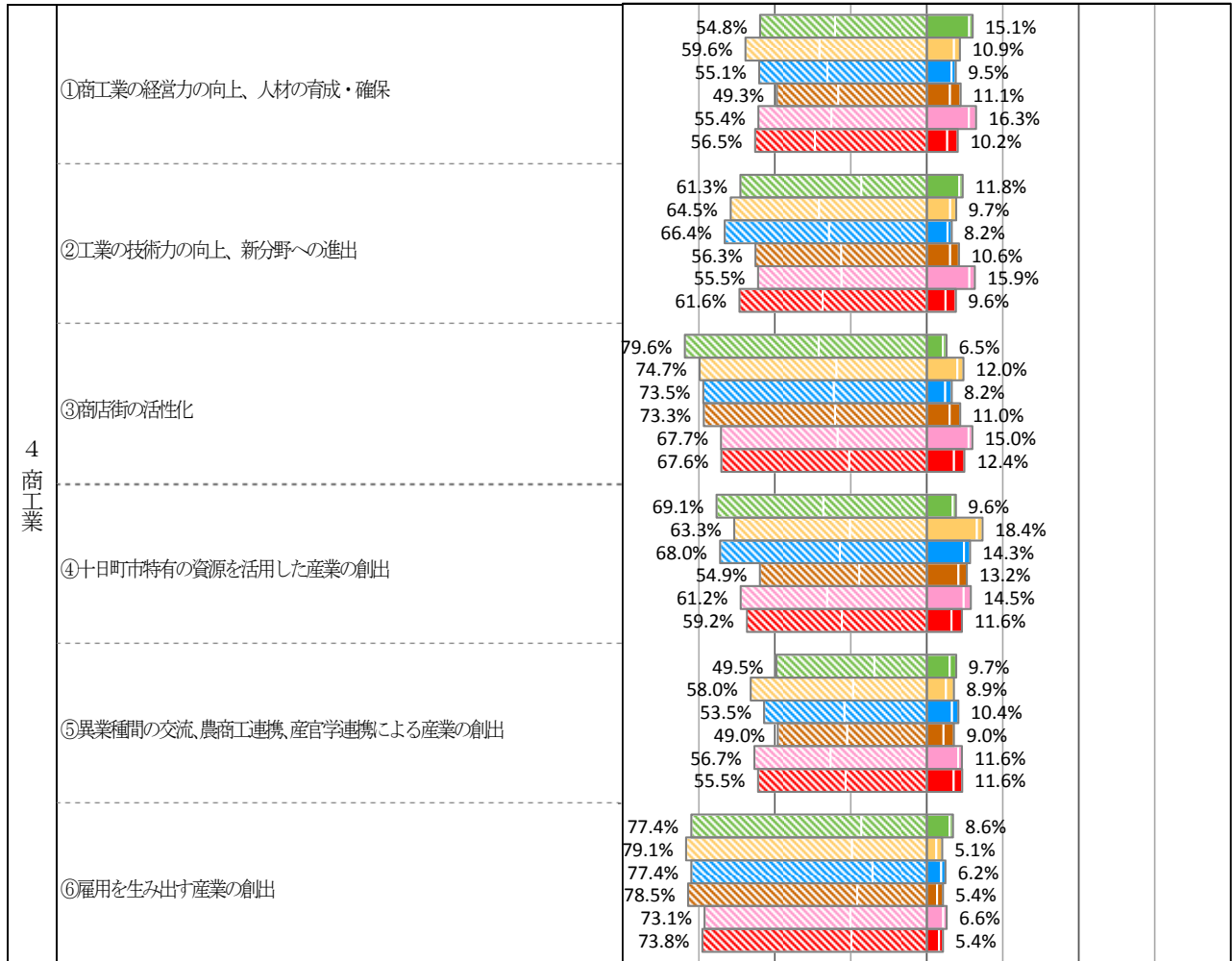
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



5. 中条・飛渡 6. 大井田 (中条)

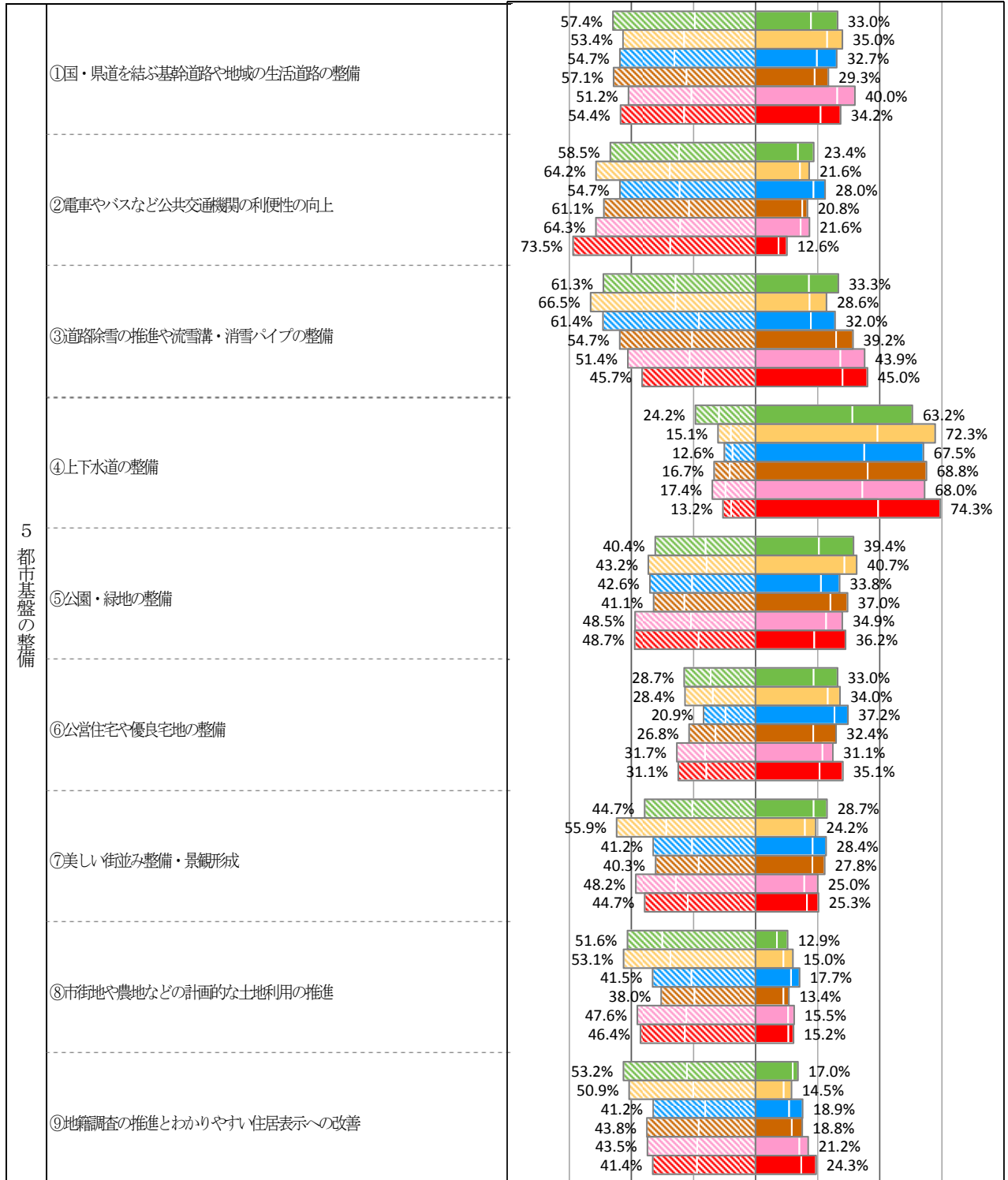
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

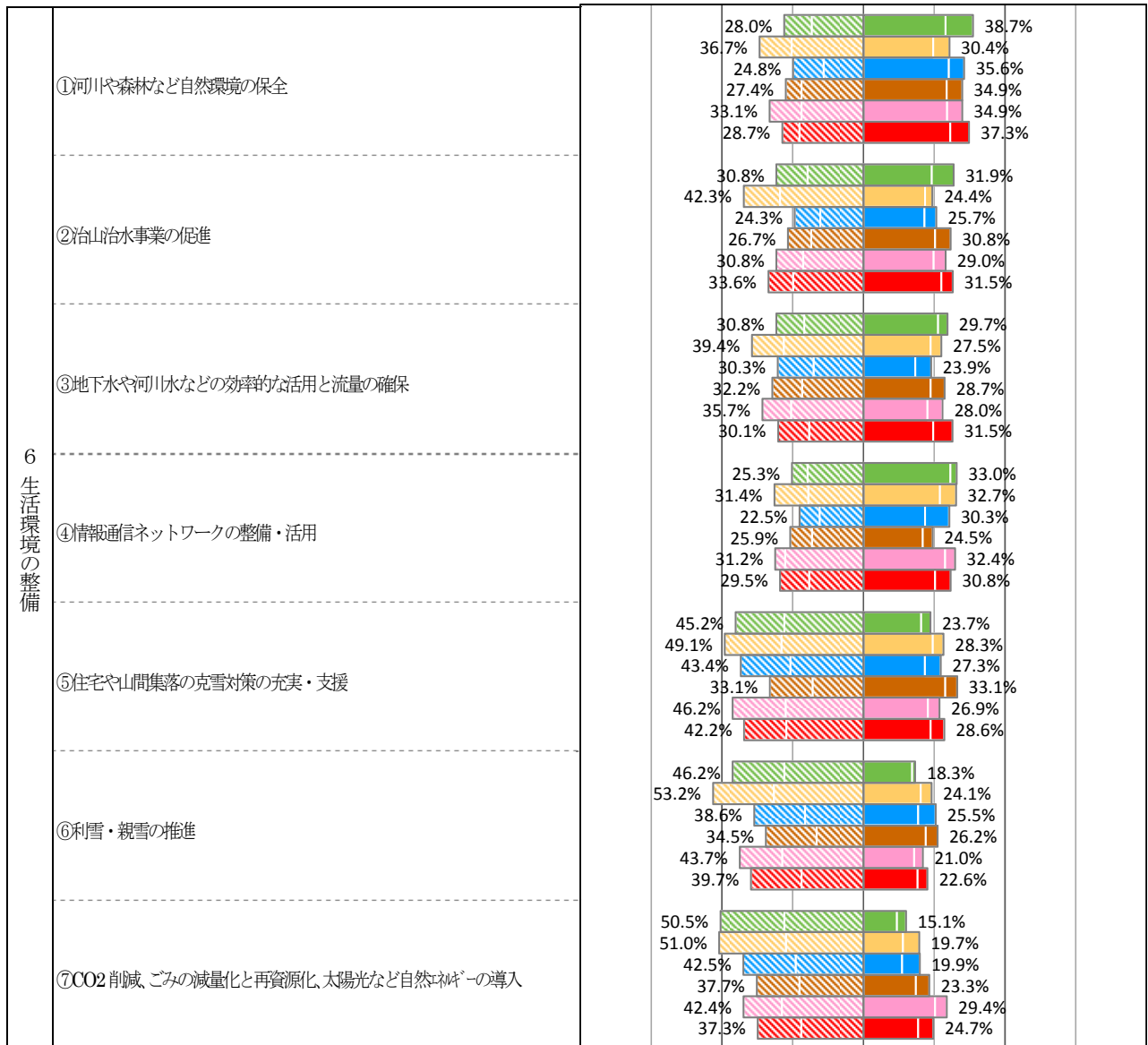
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



5. 中条・飛渡 6. 大井田 (中条)

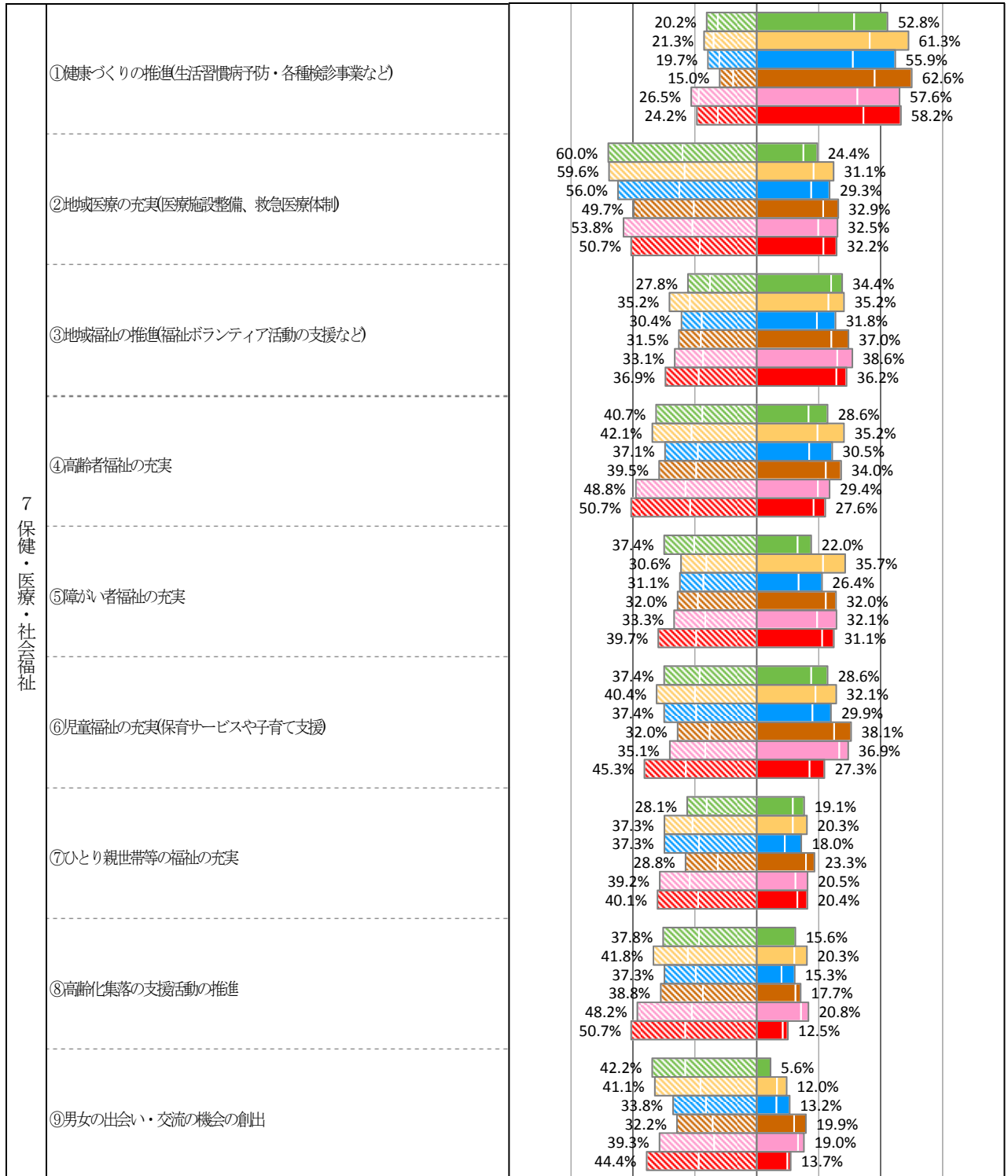
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



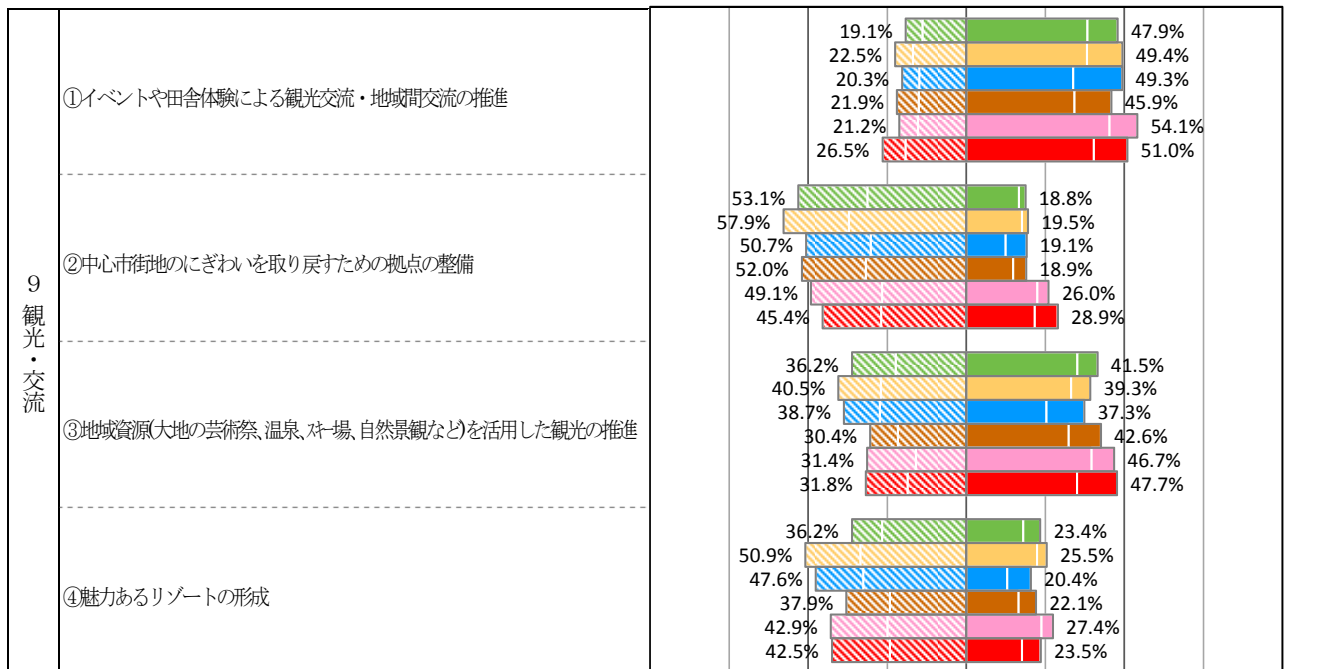
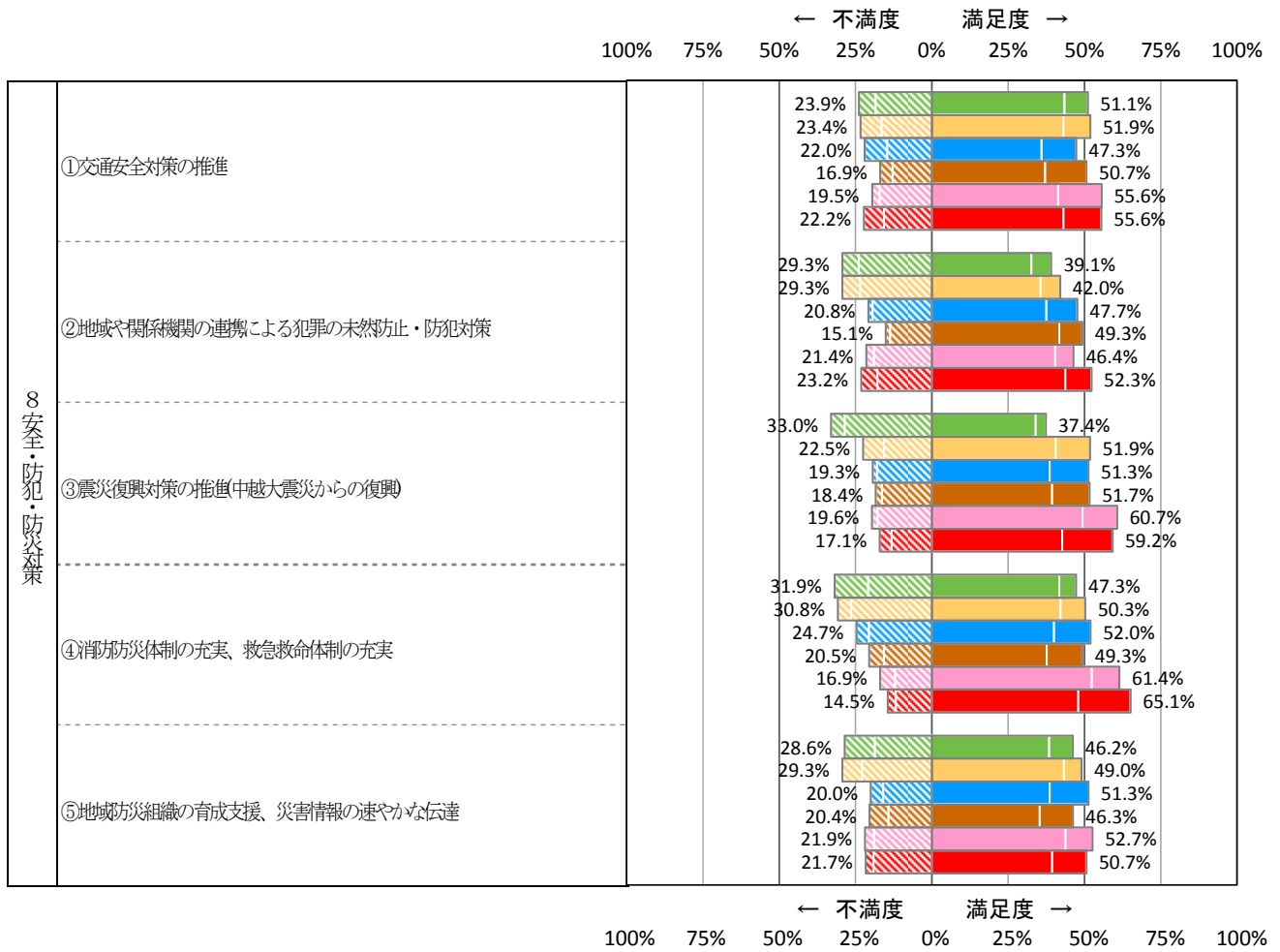
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



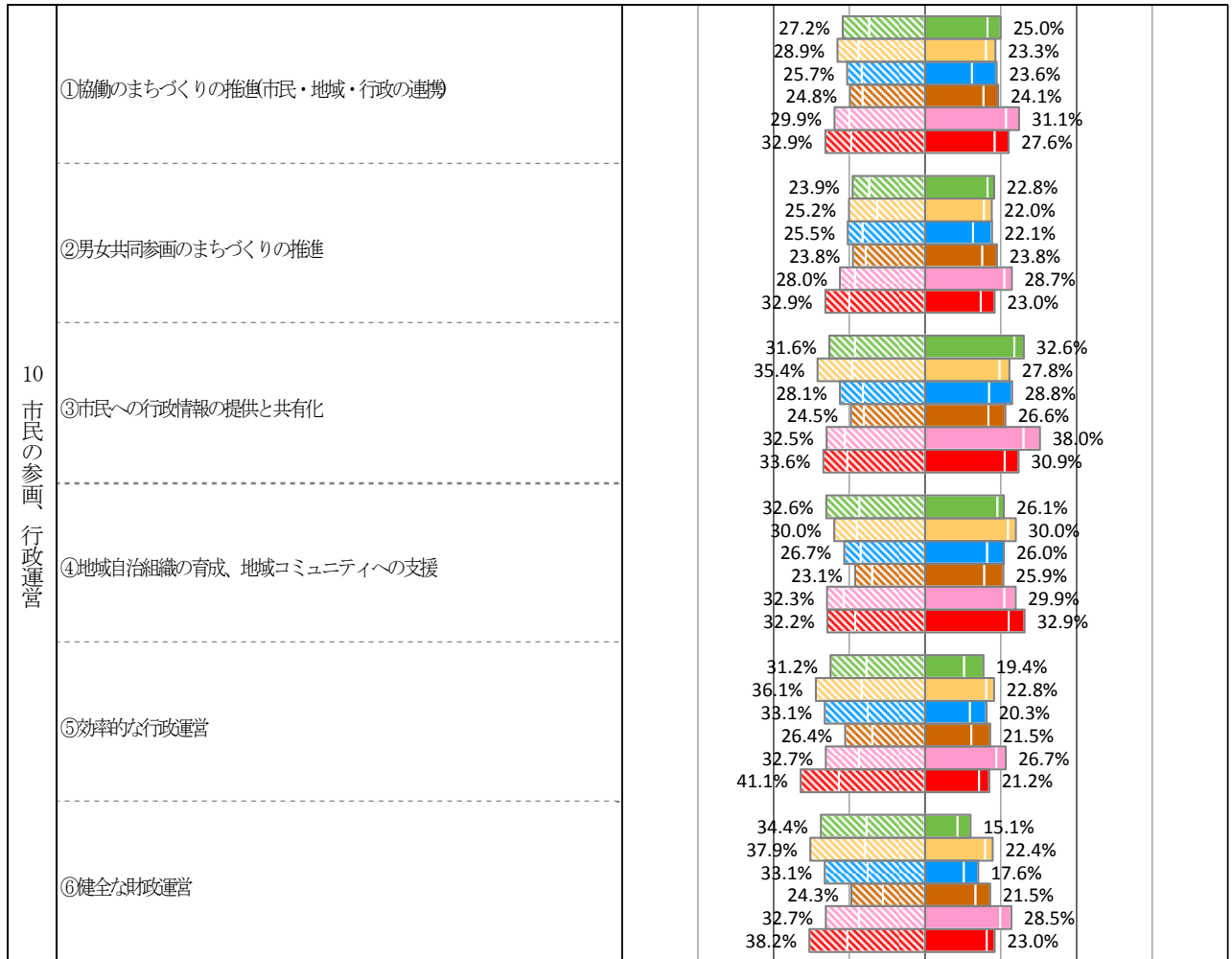
5. 中条・飛渡 6. 大井田 (中条)

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

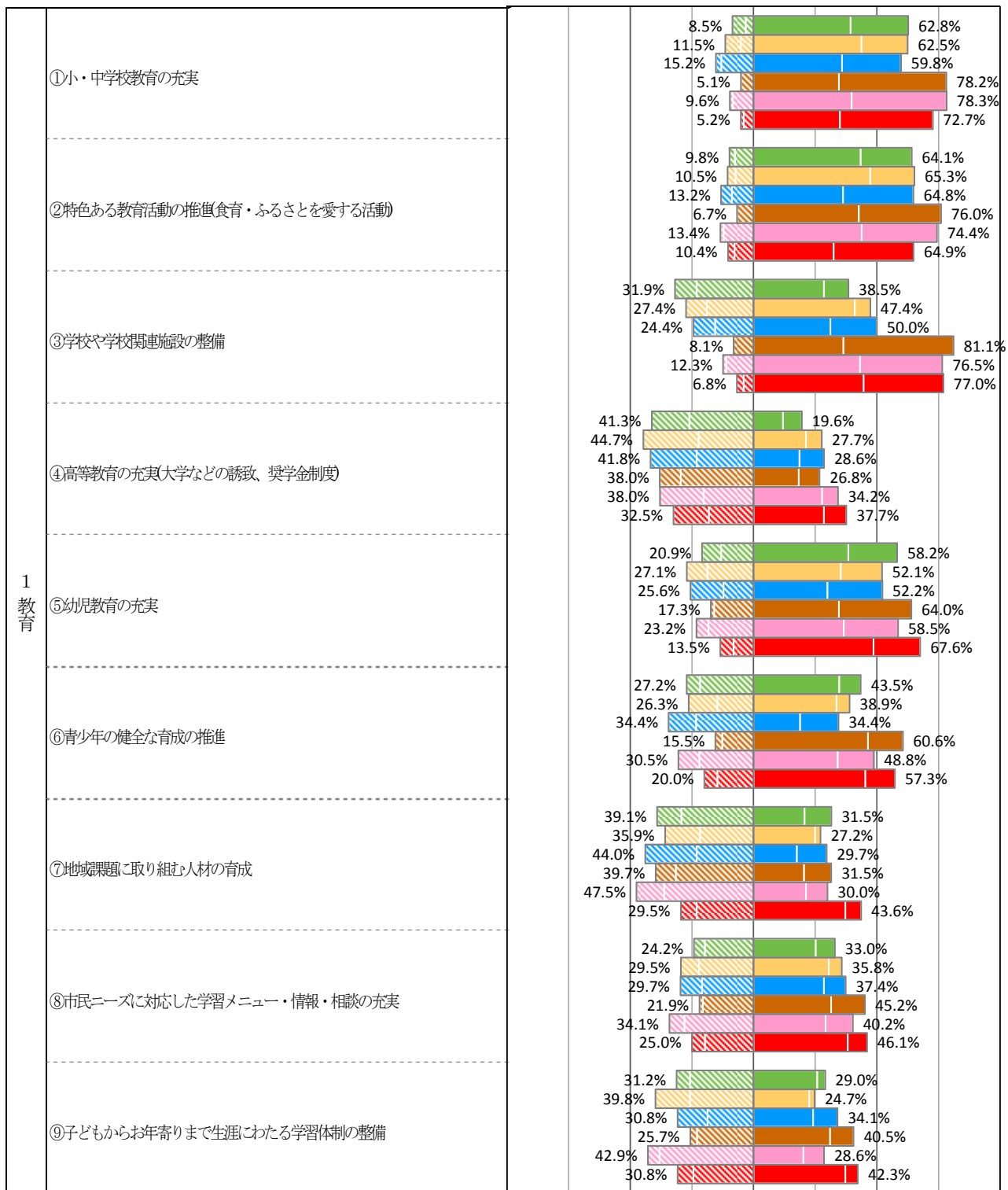
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



7. 下条

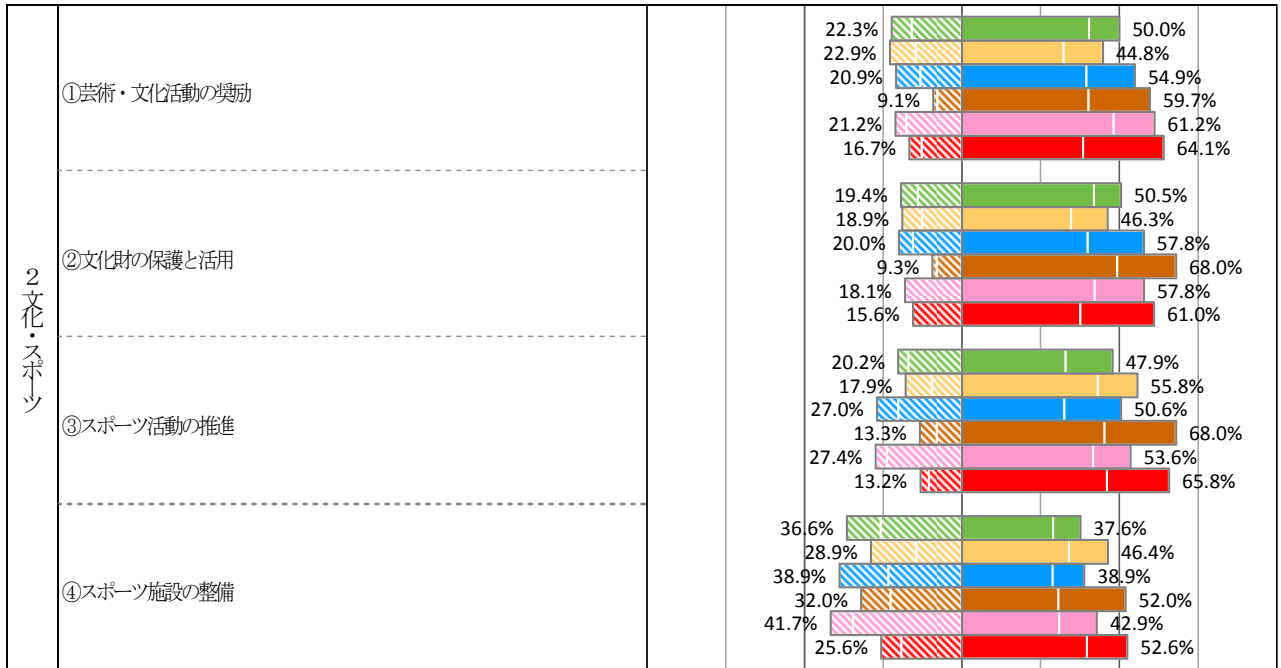
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

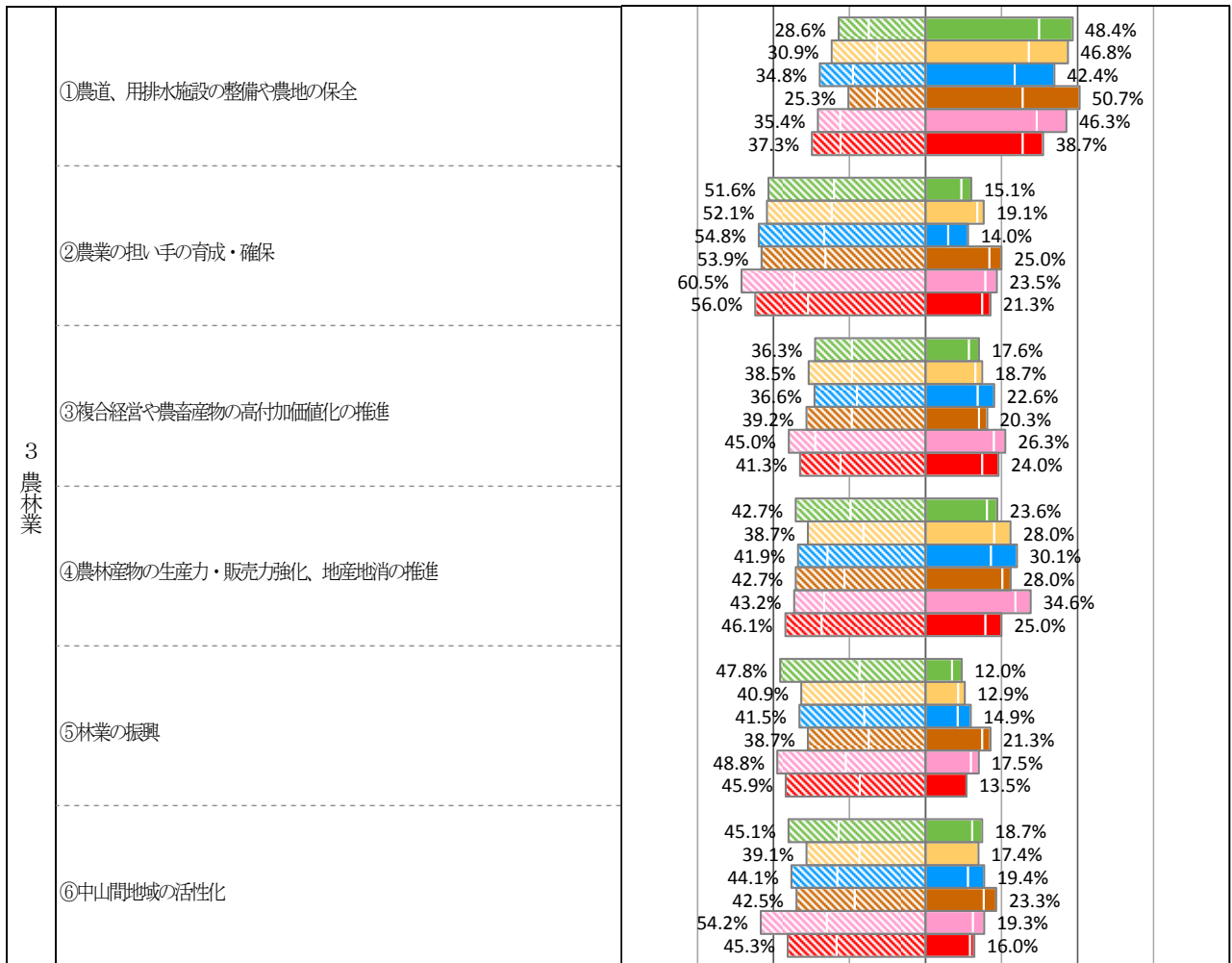


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



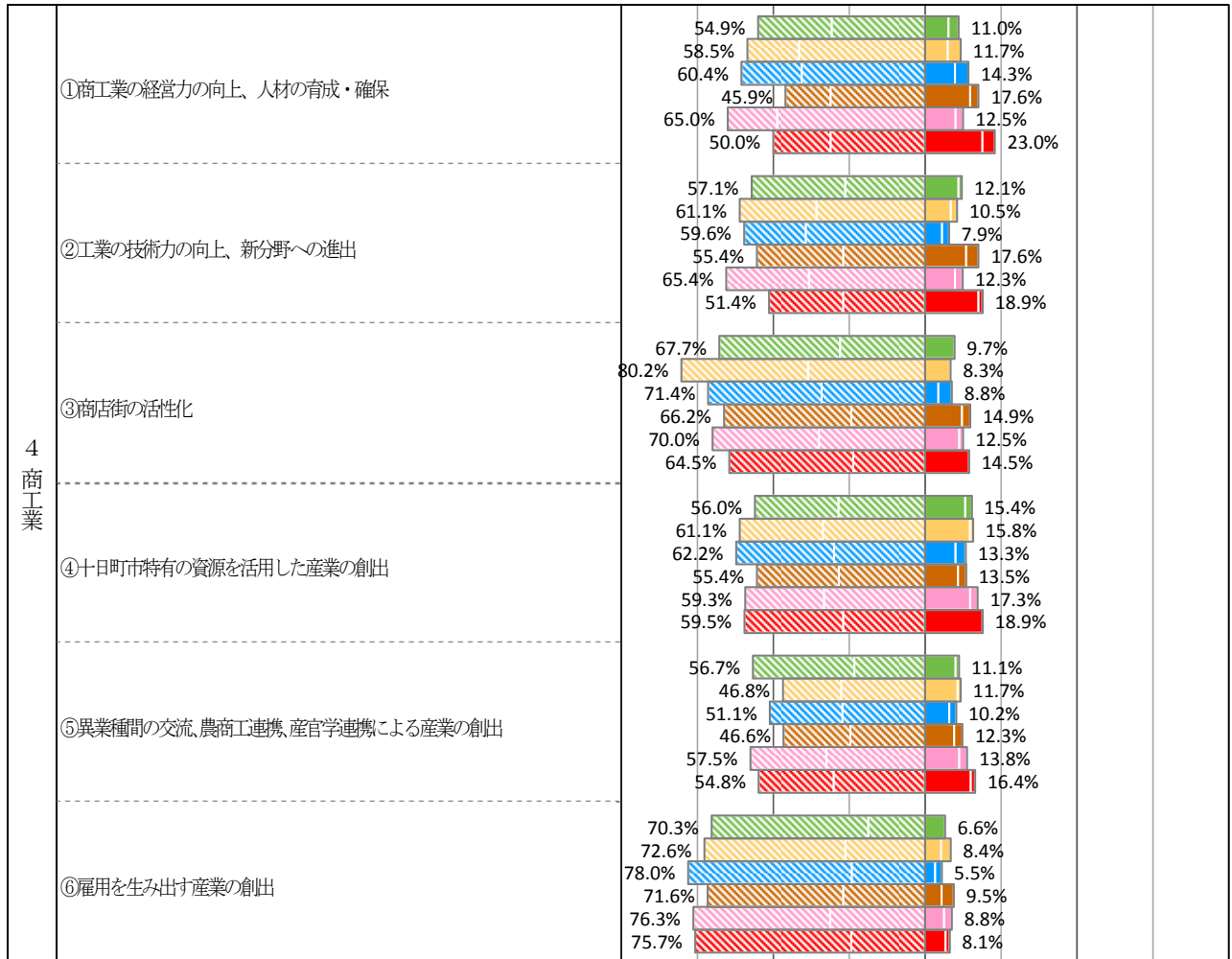
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



7. 下条

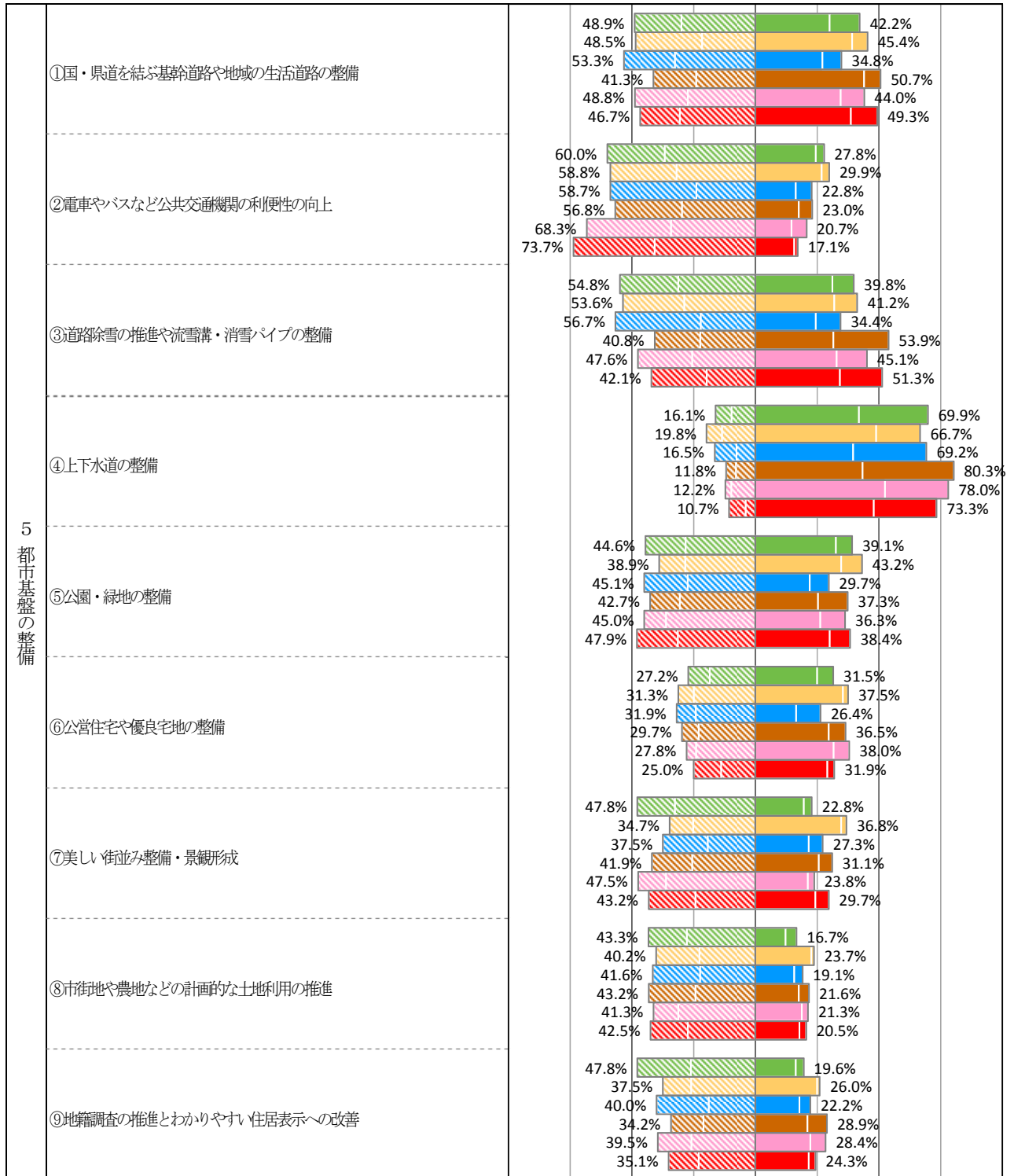
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

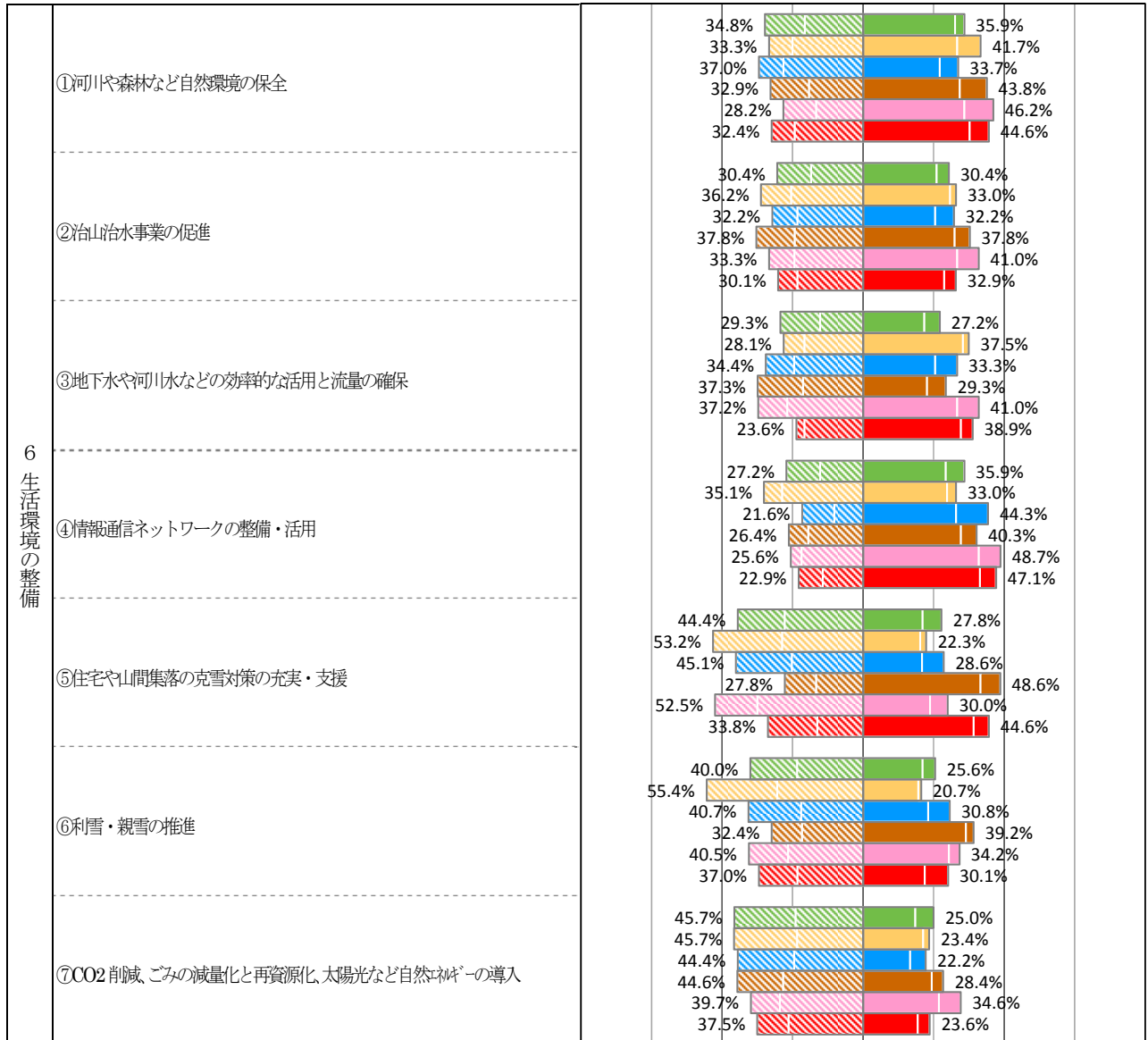
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



7. 下条

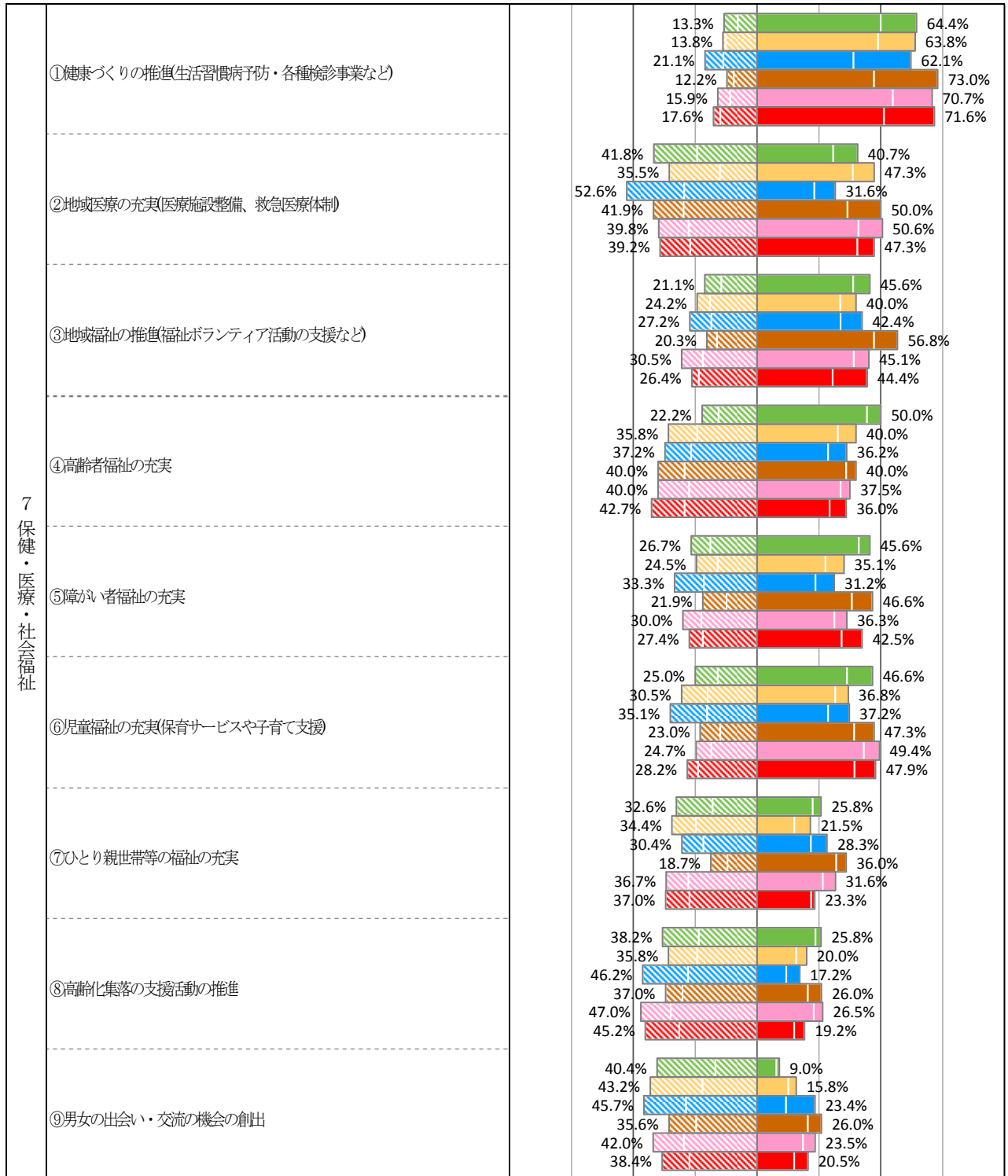
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

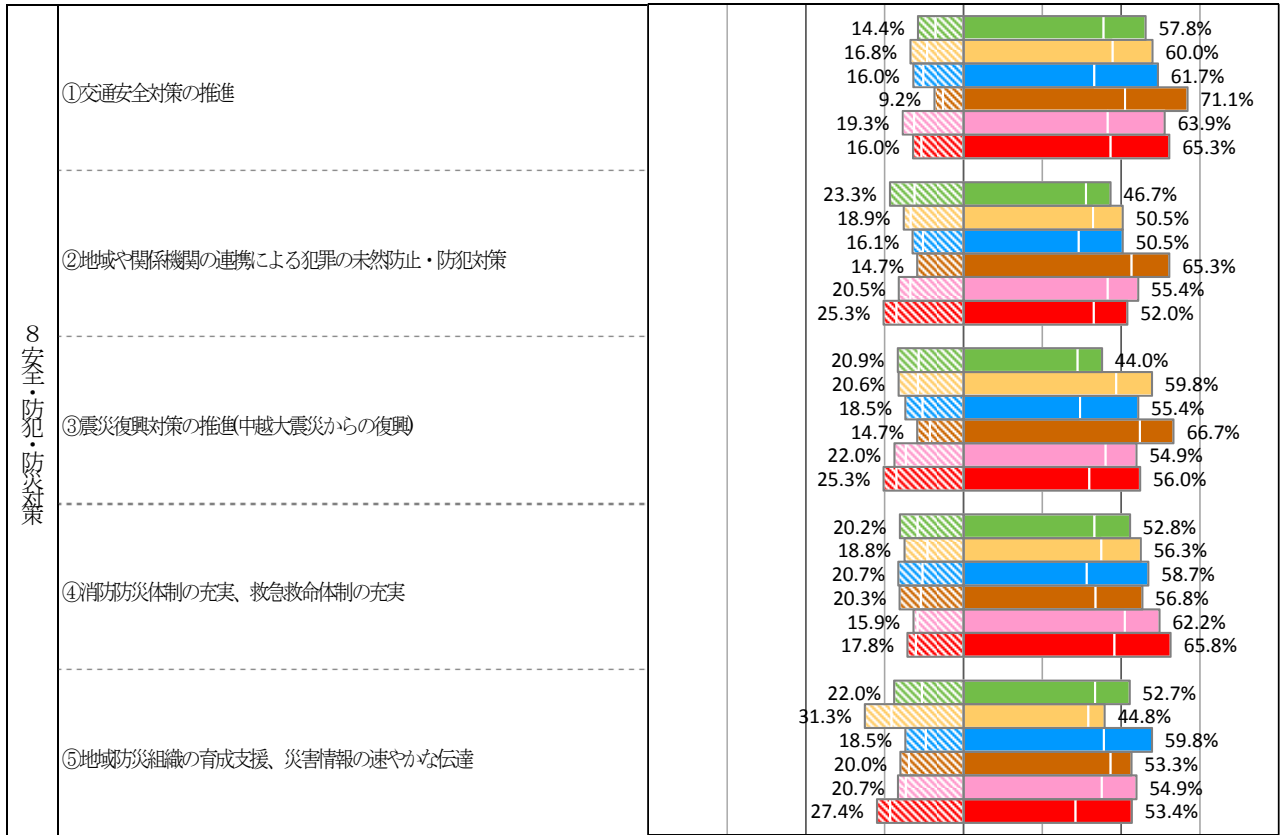
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



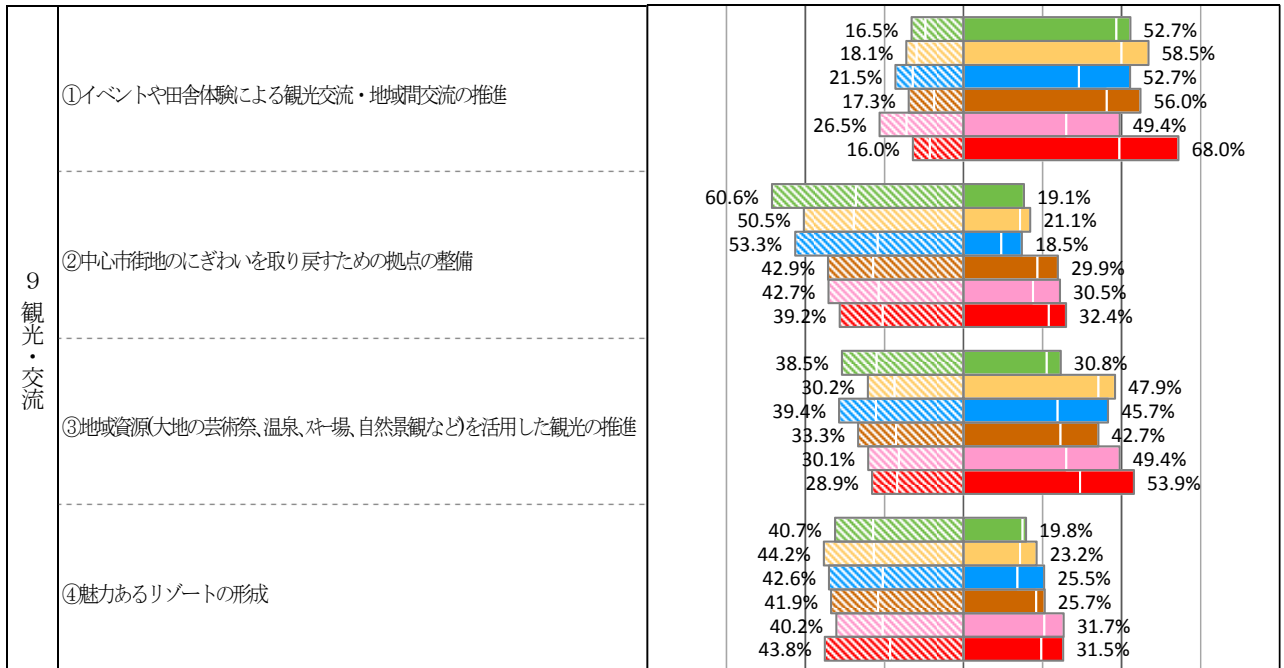
7. 下条

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

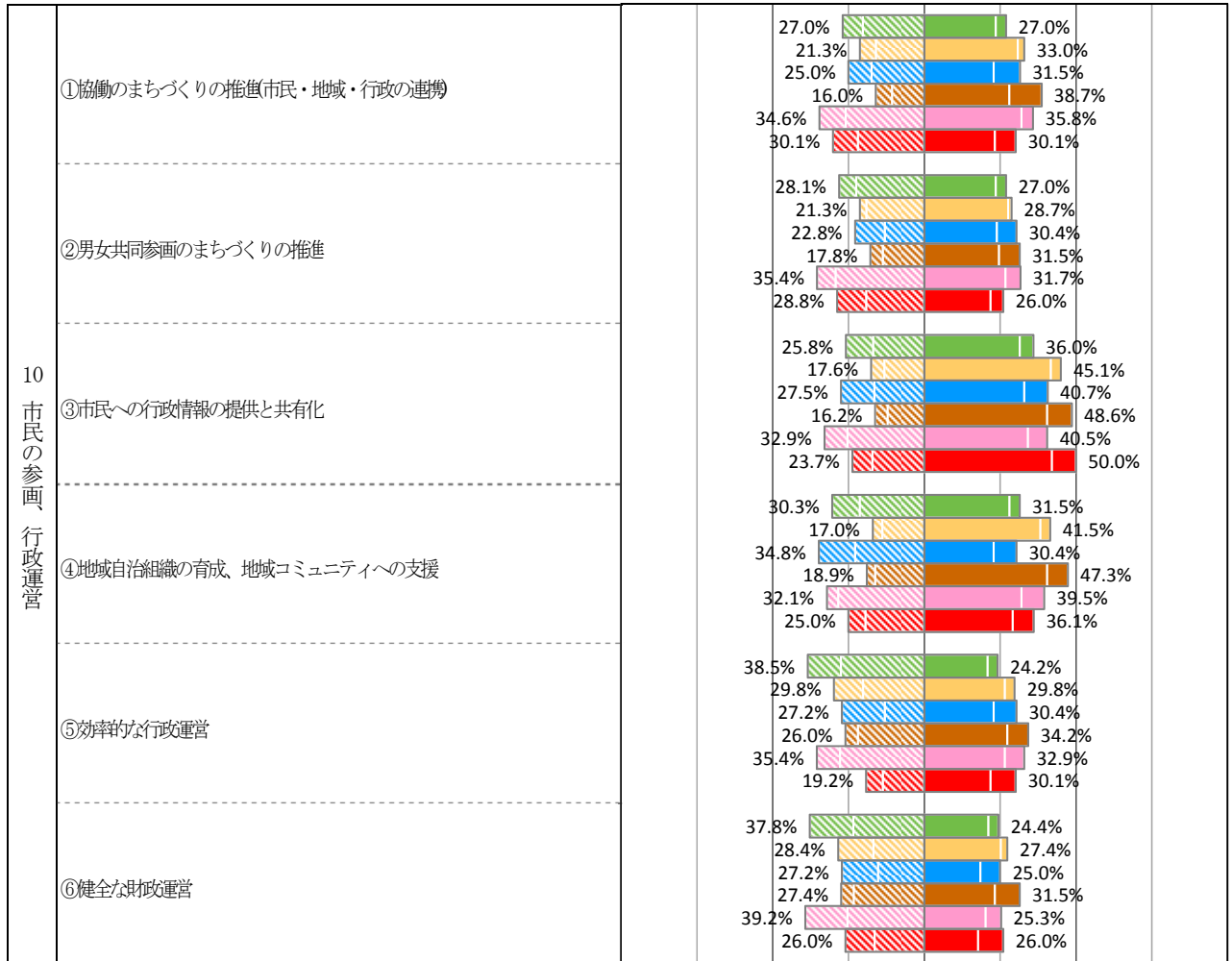


← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

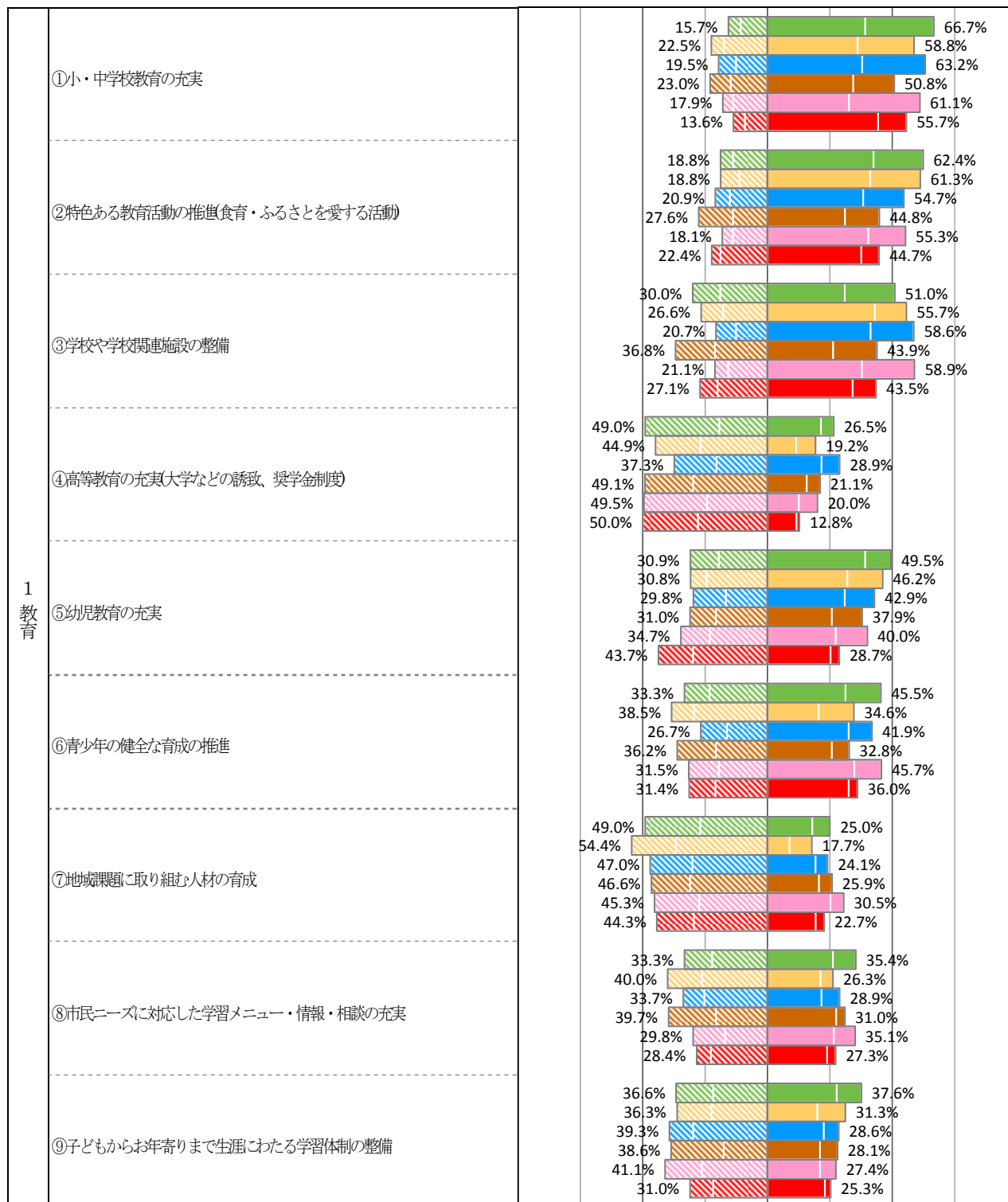
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



8. 吉田

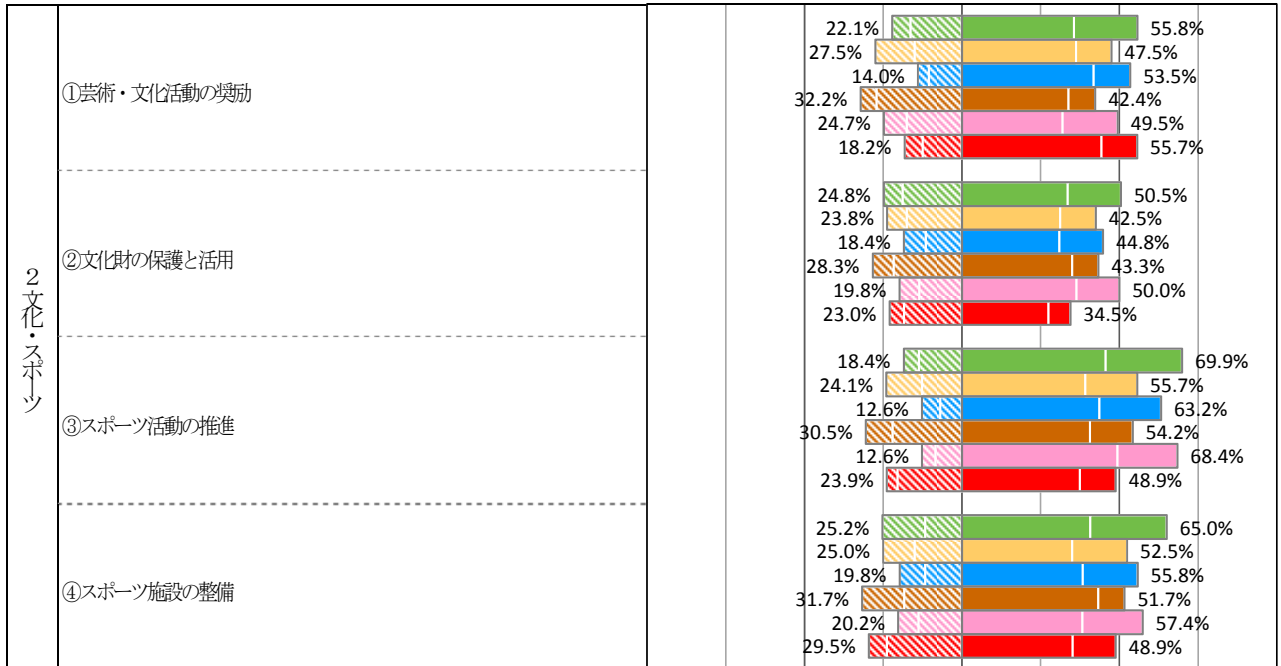
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

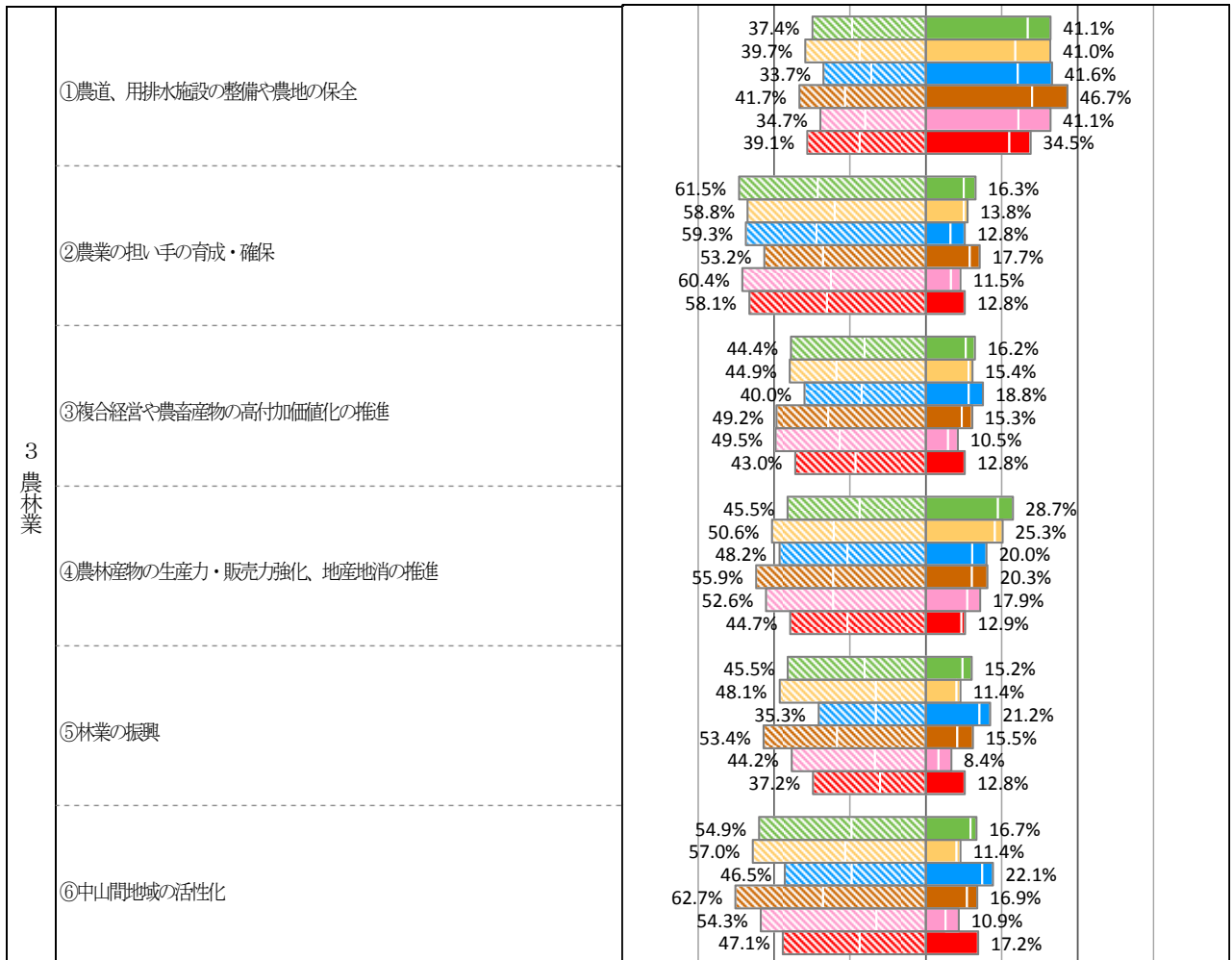


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



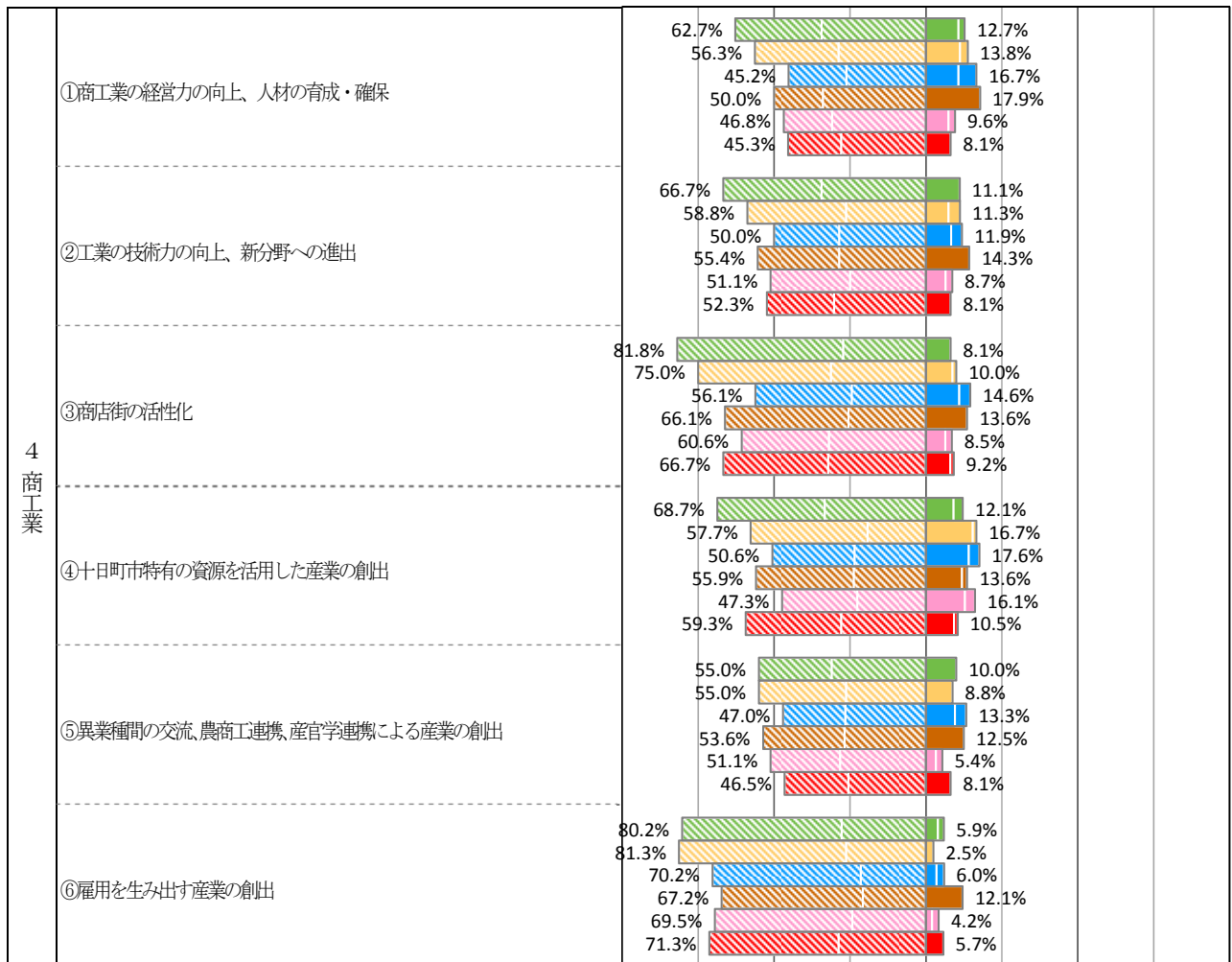
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



8. 吉田

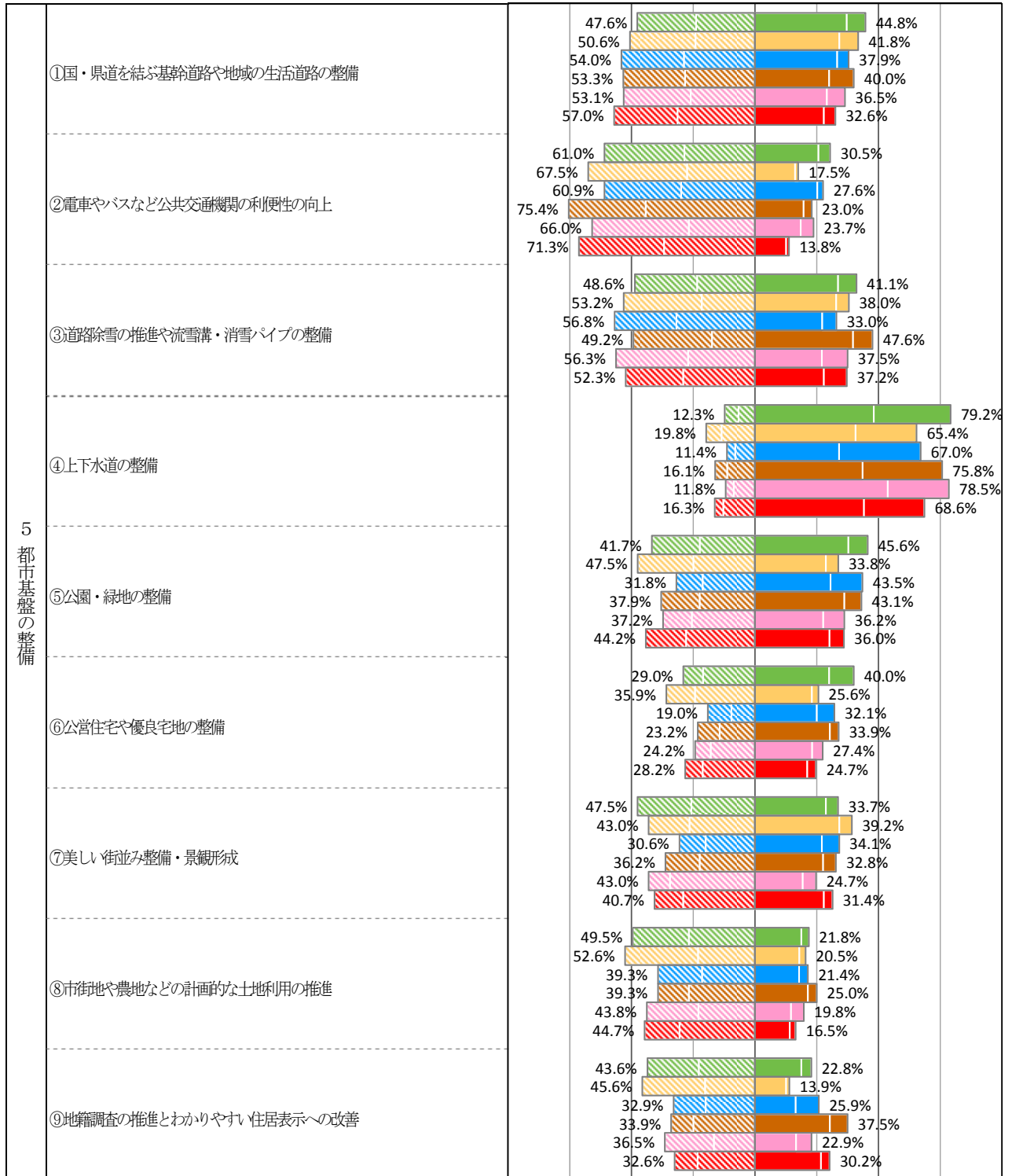
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

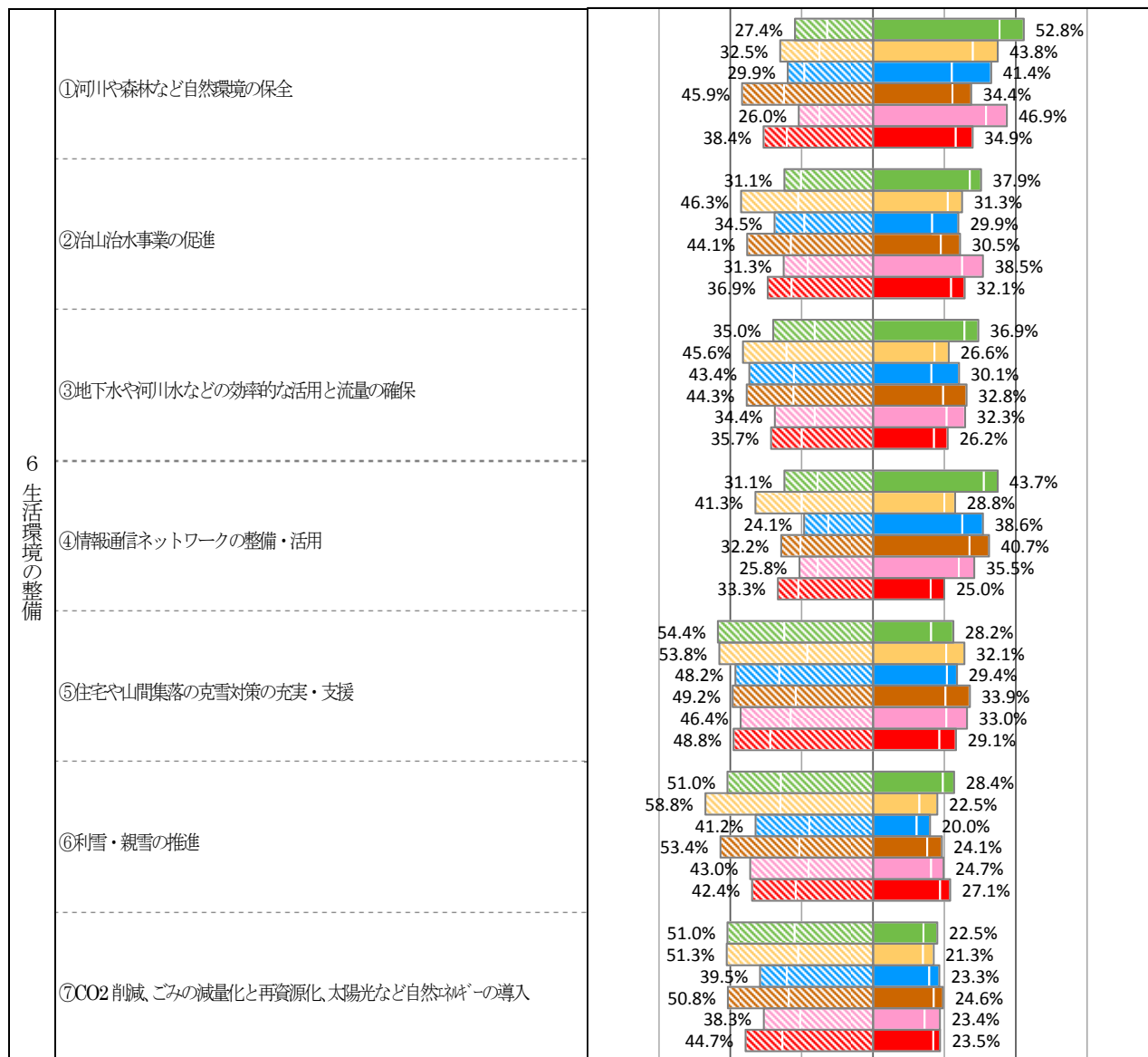
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



8. 吉田

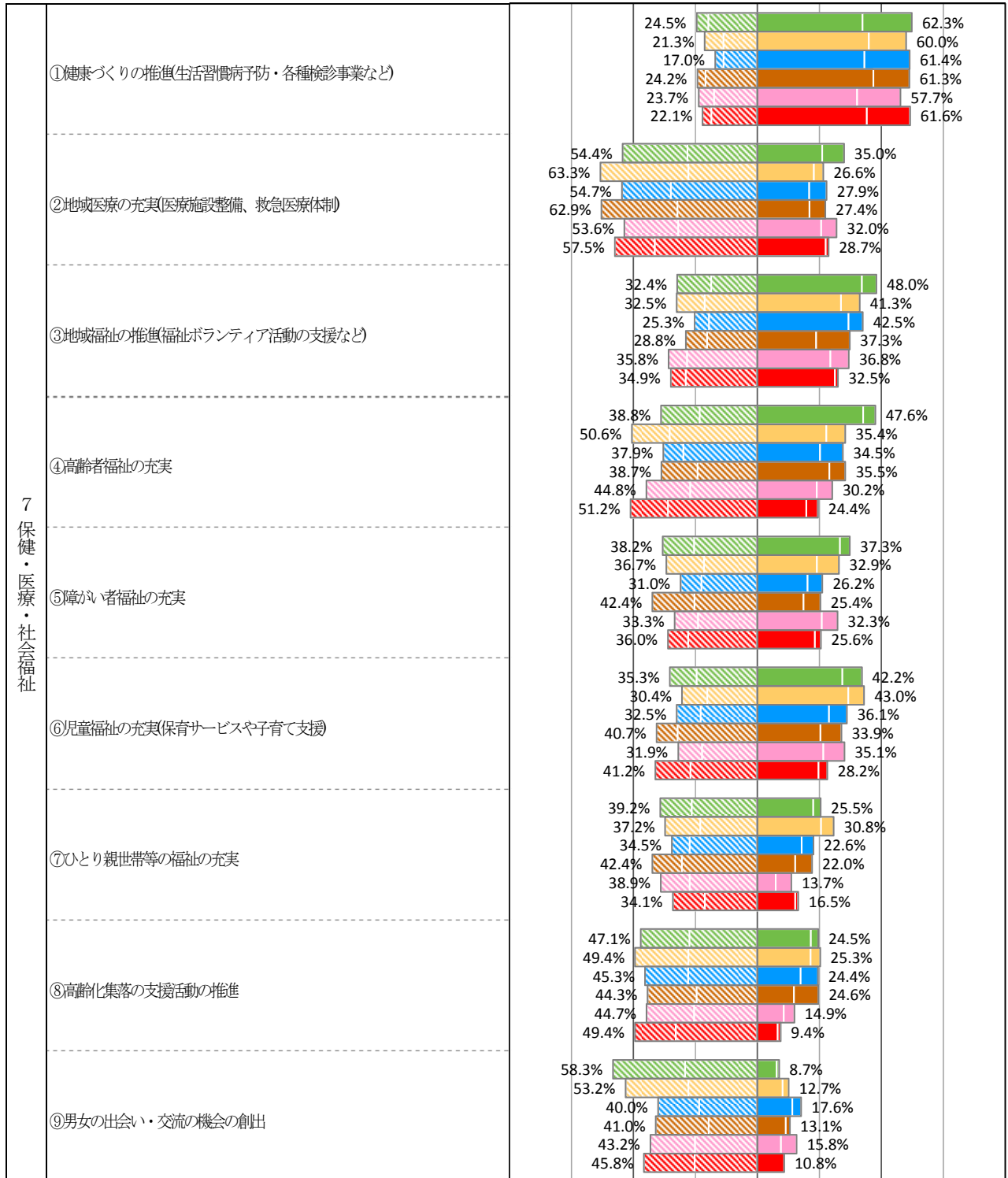
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



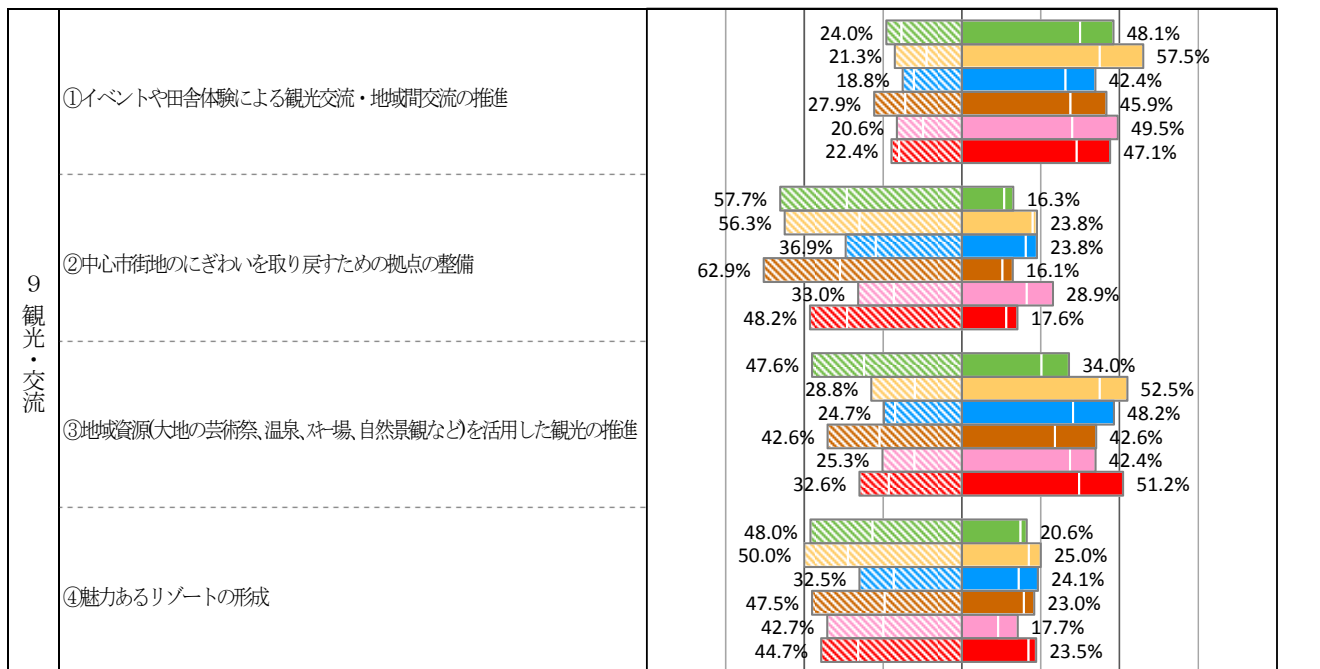
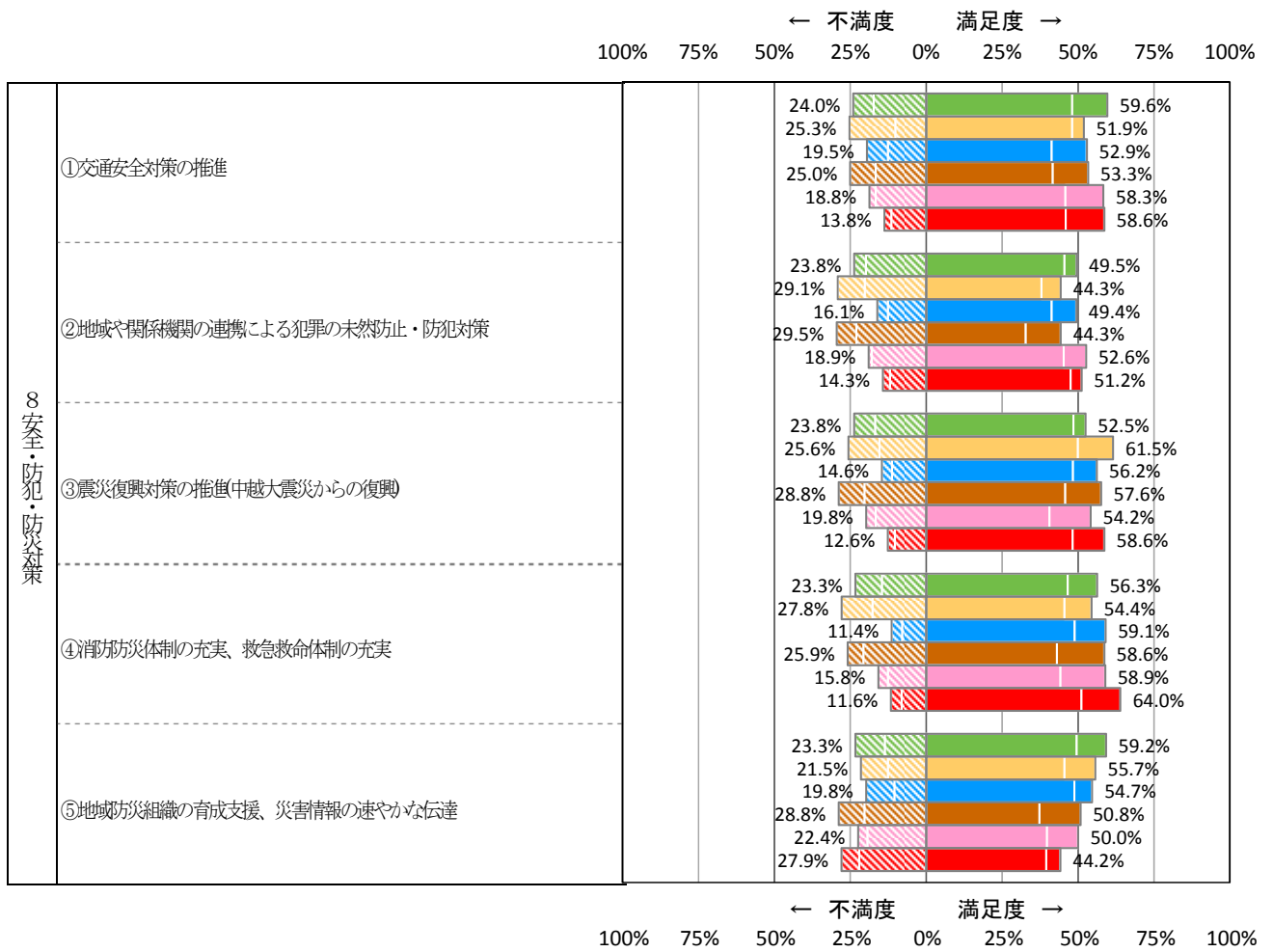
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



8. 吉田

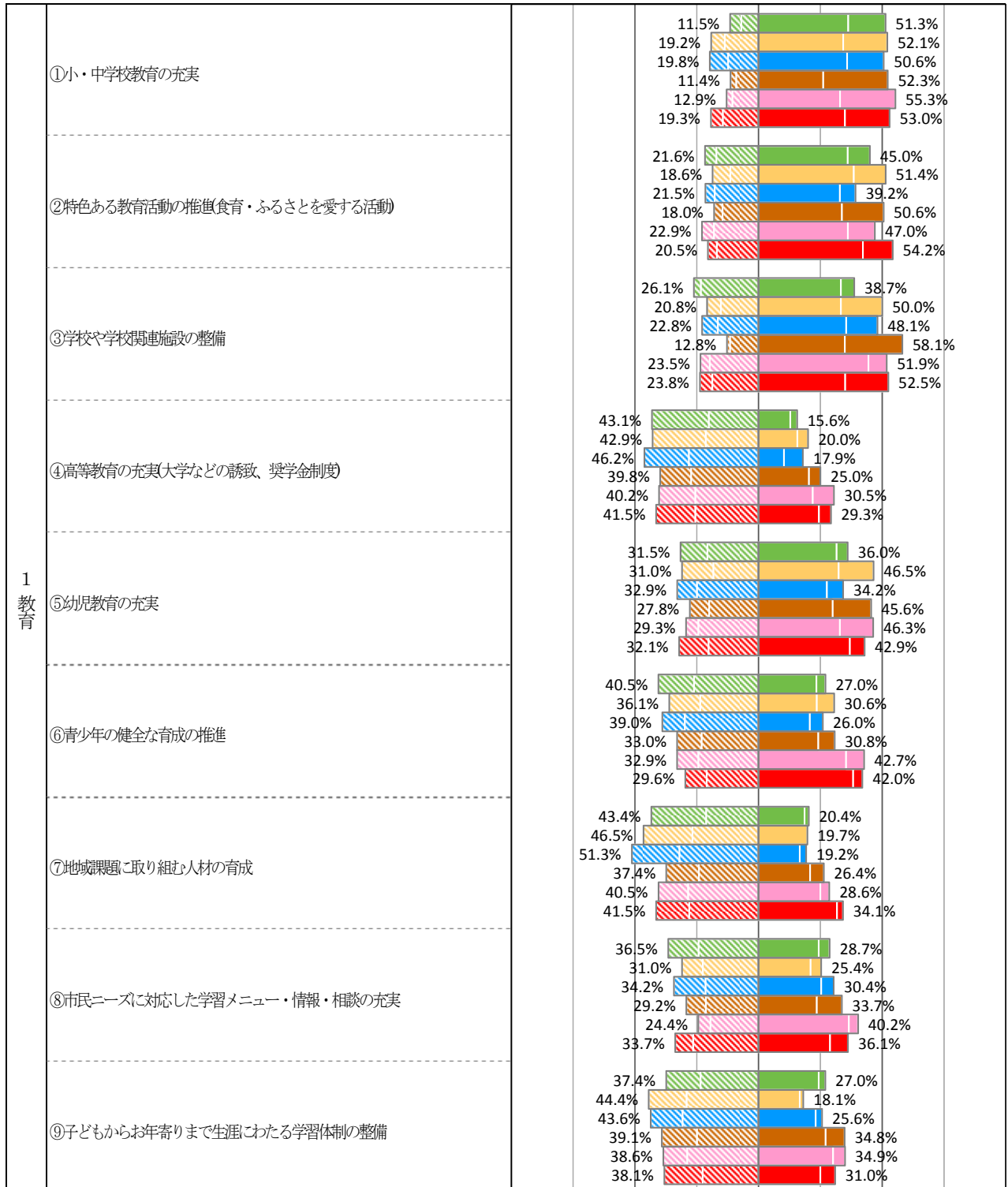
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



9. 水沢

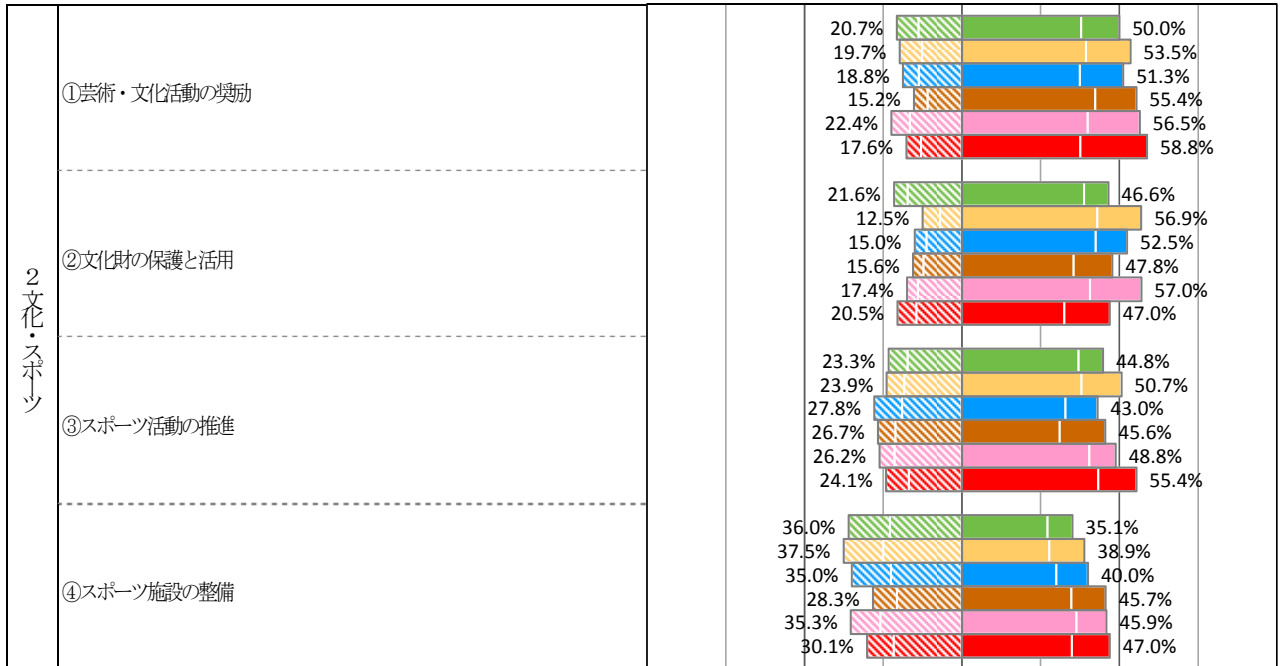
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

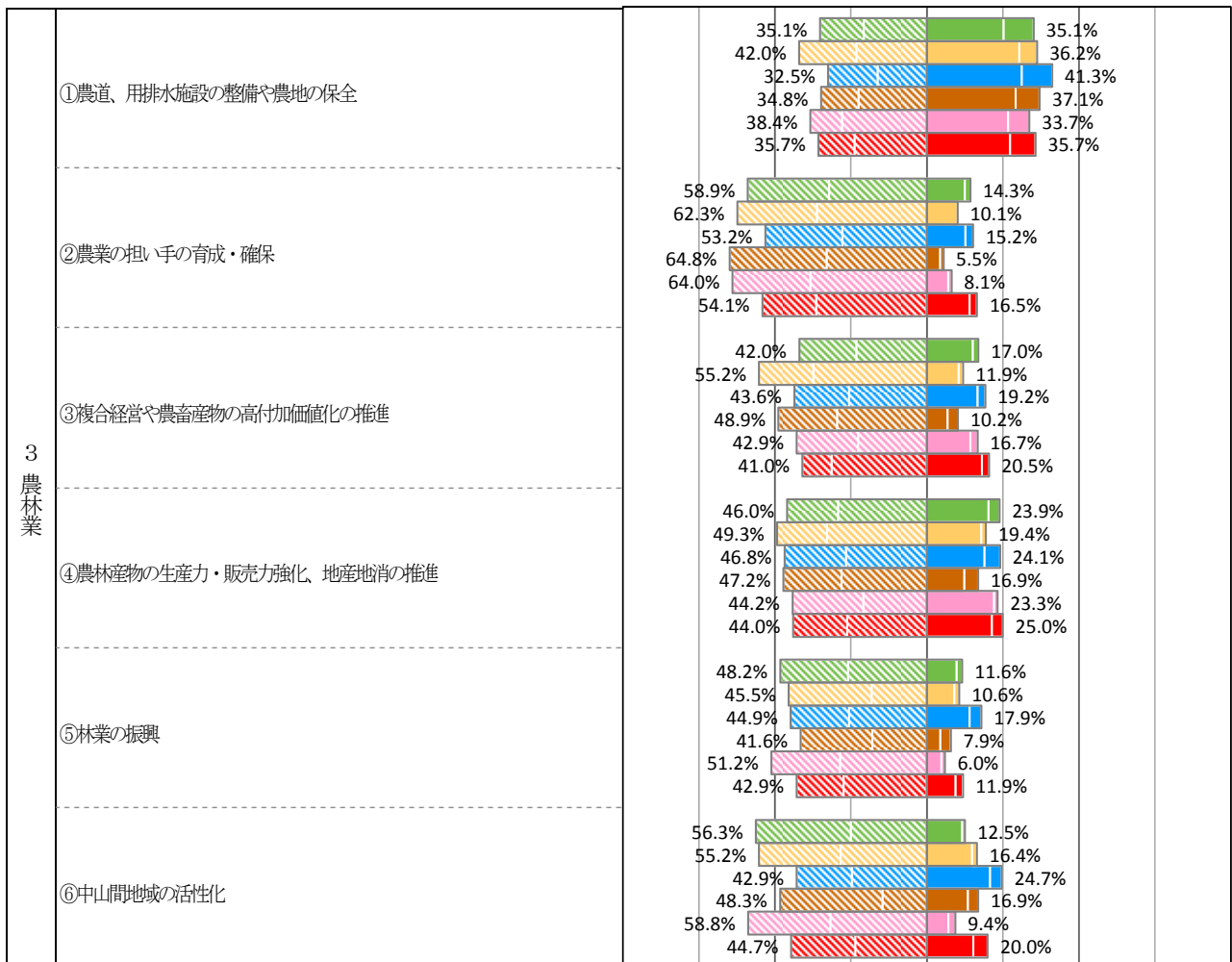


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



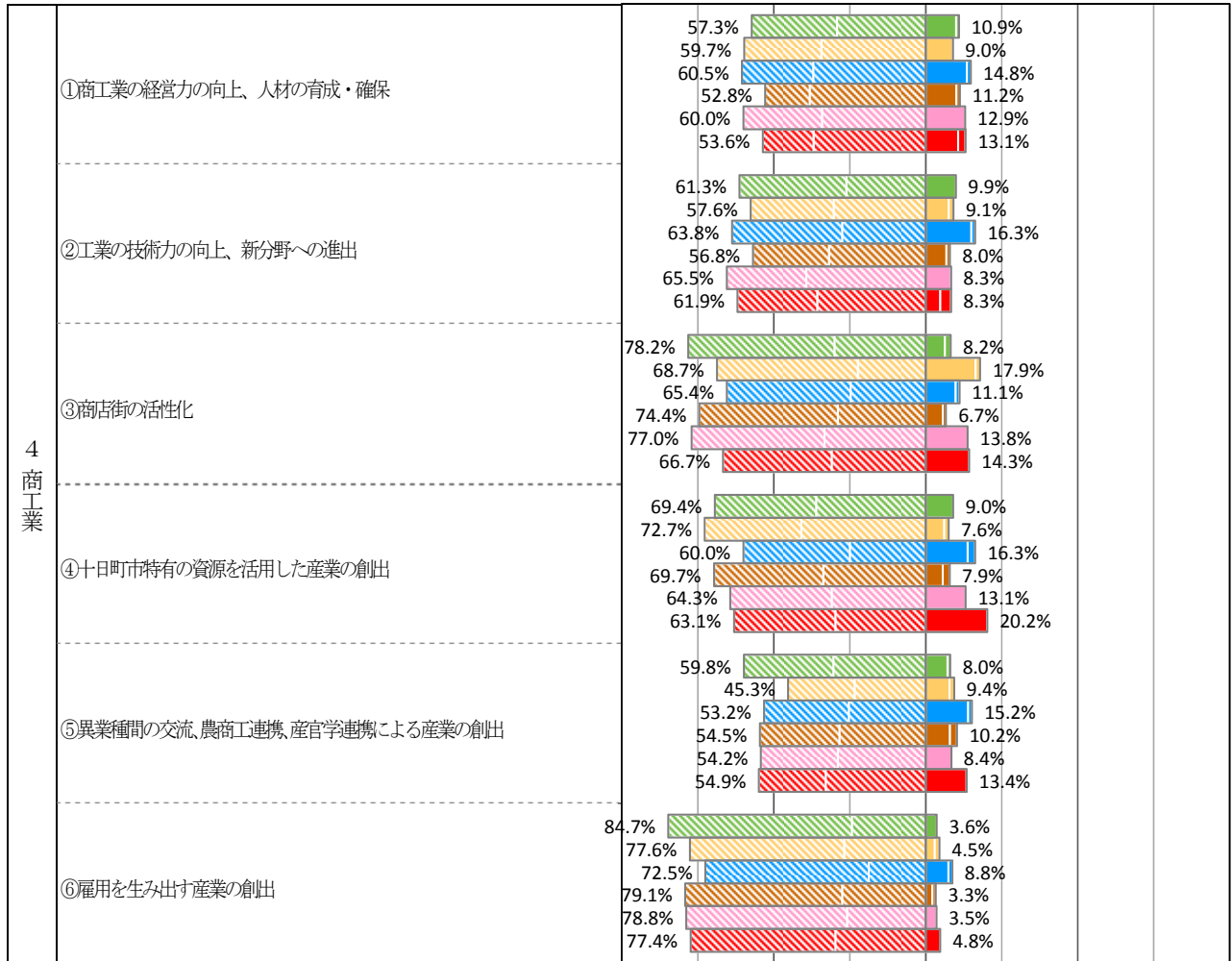
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



9. 水沢

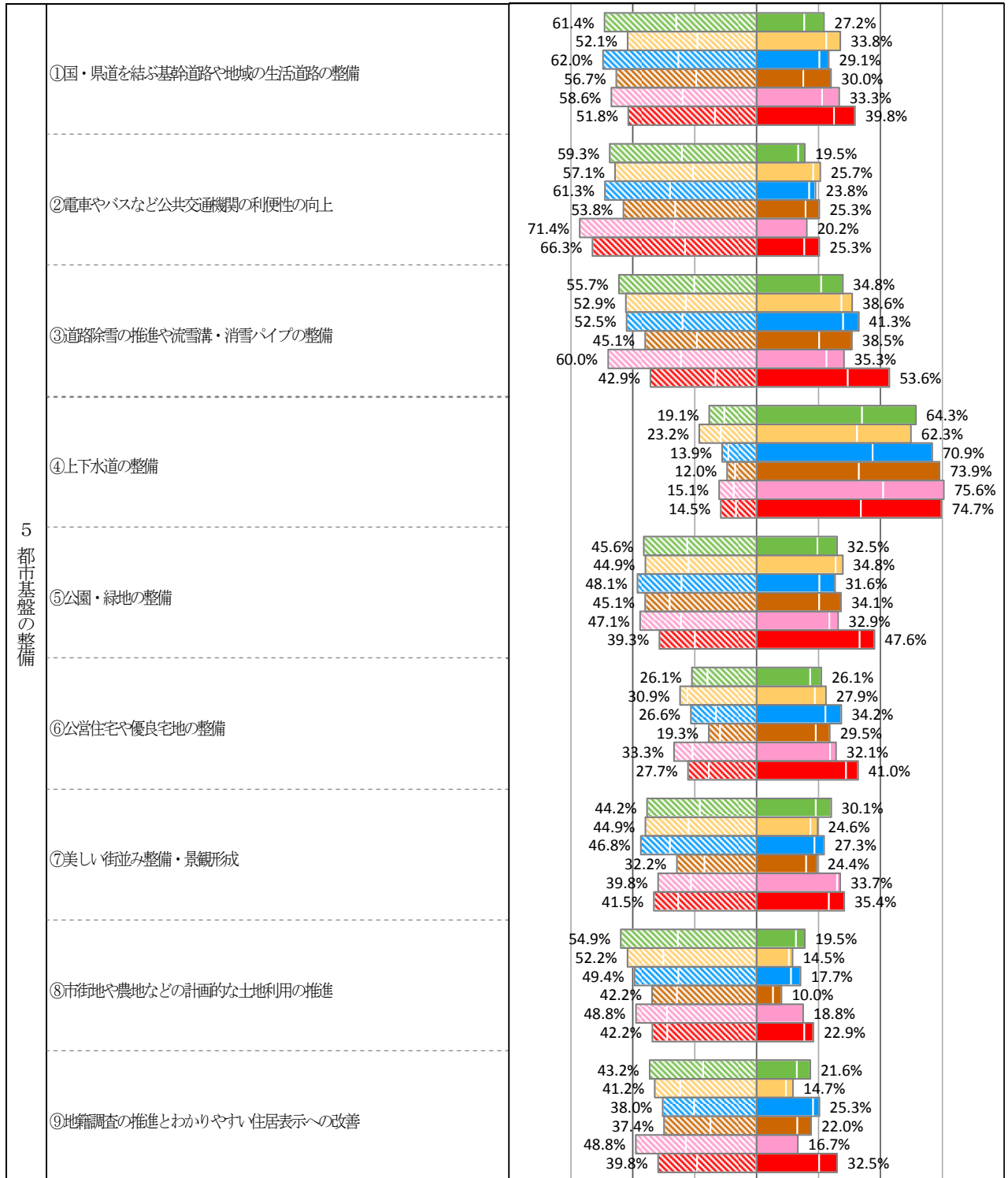
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

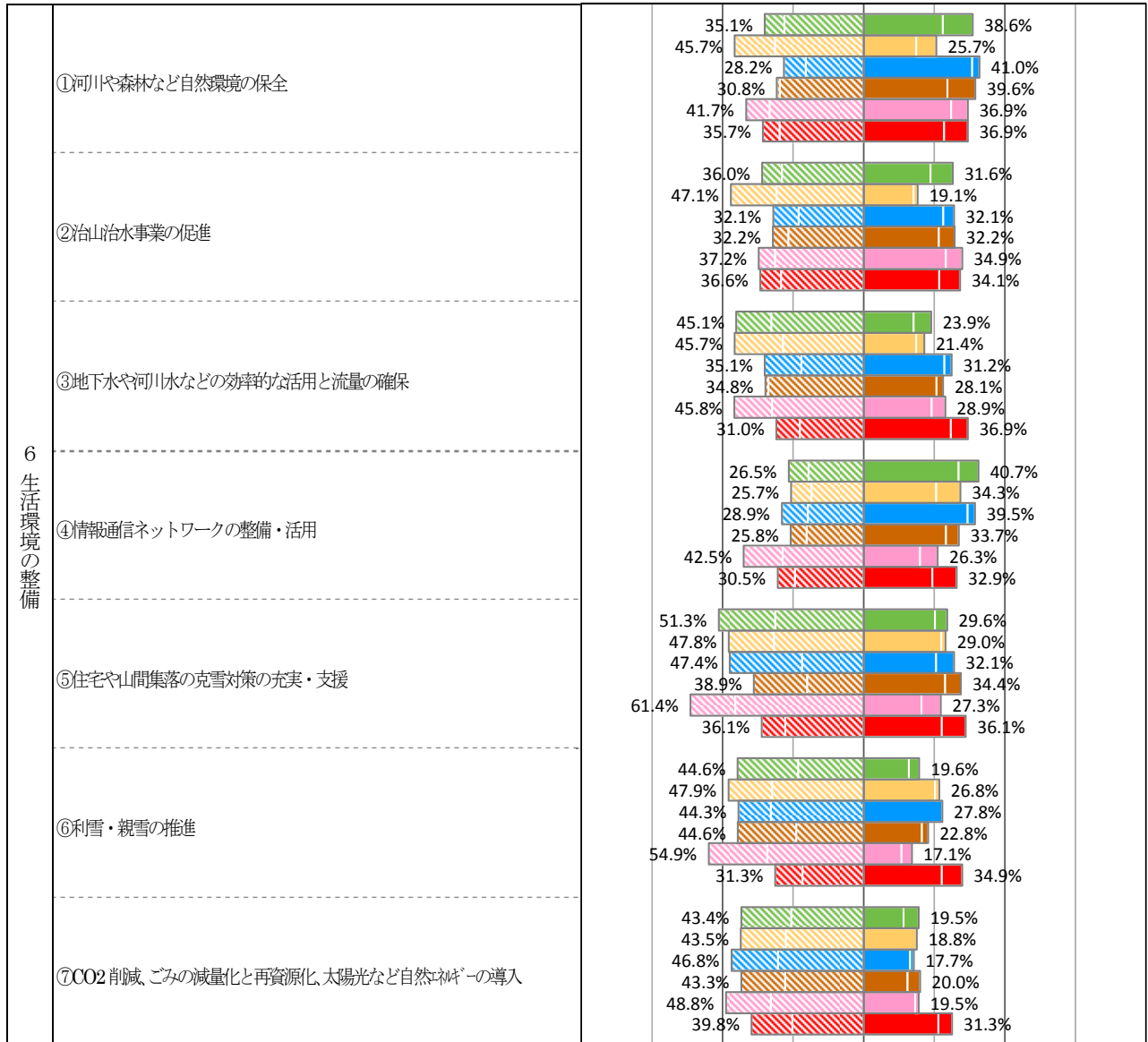
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



9. 水沢

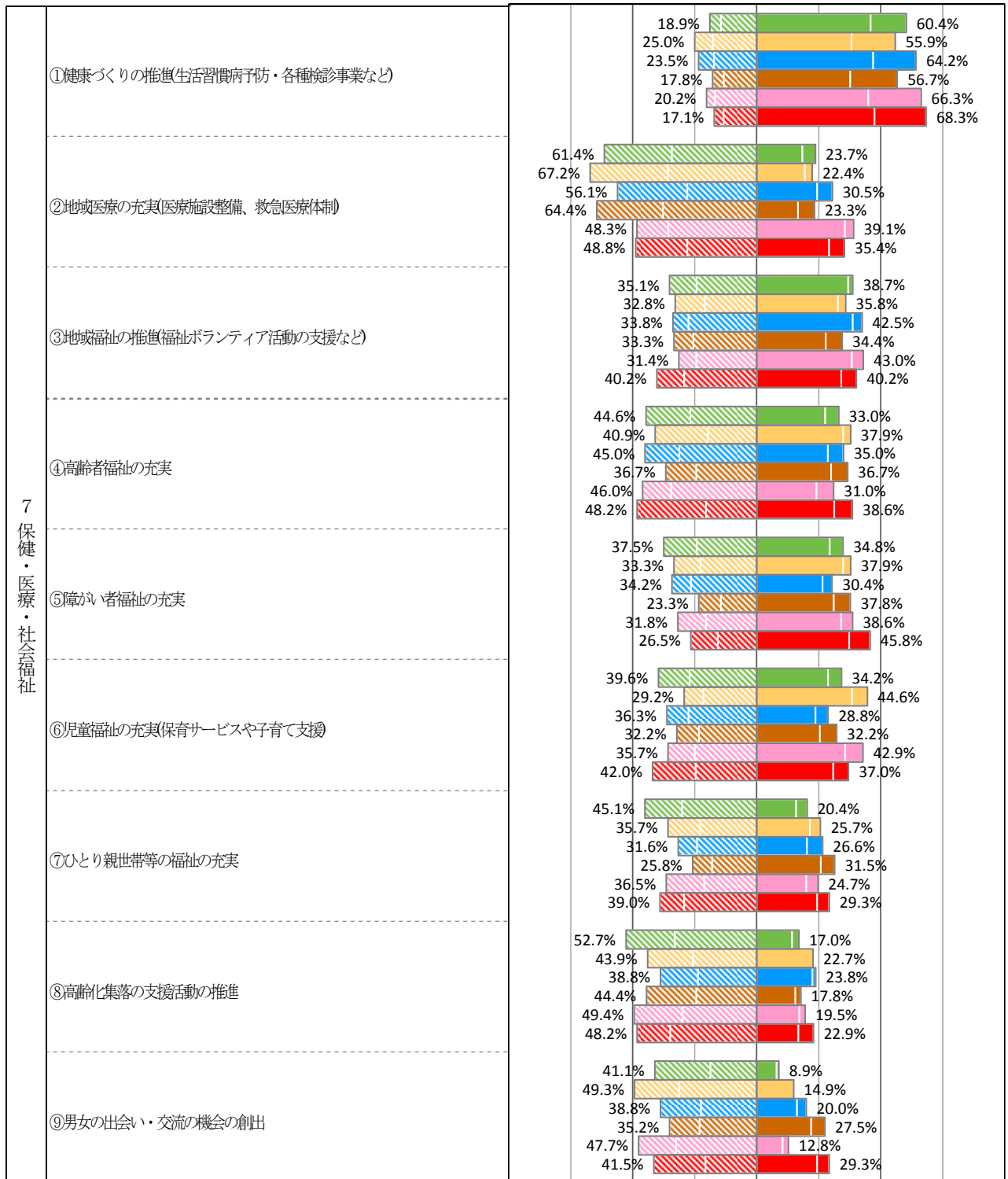
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

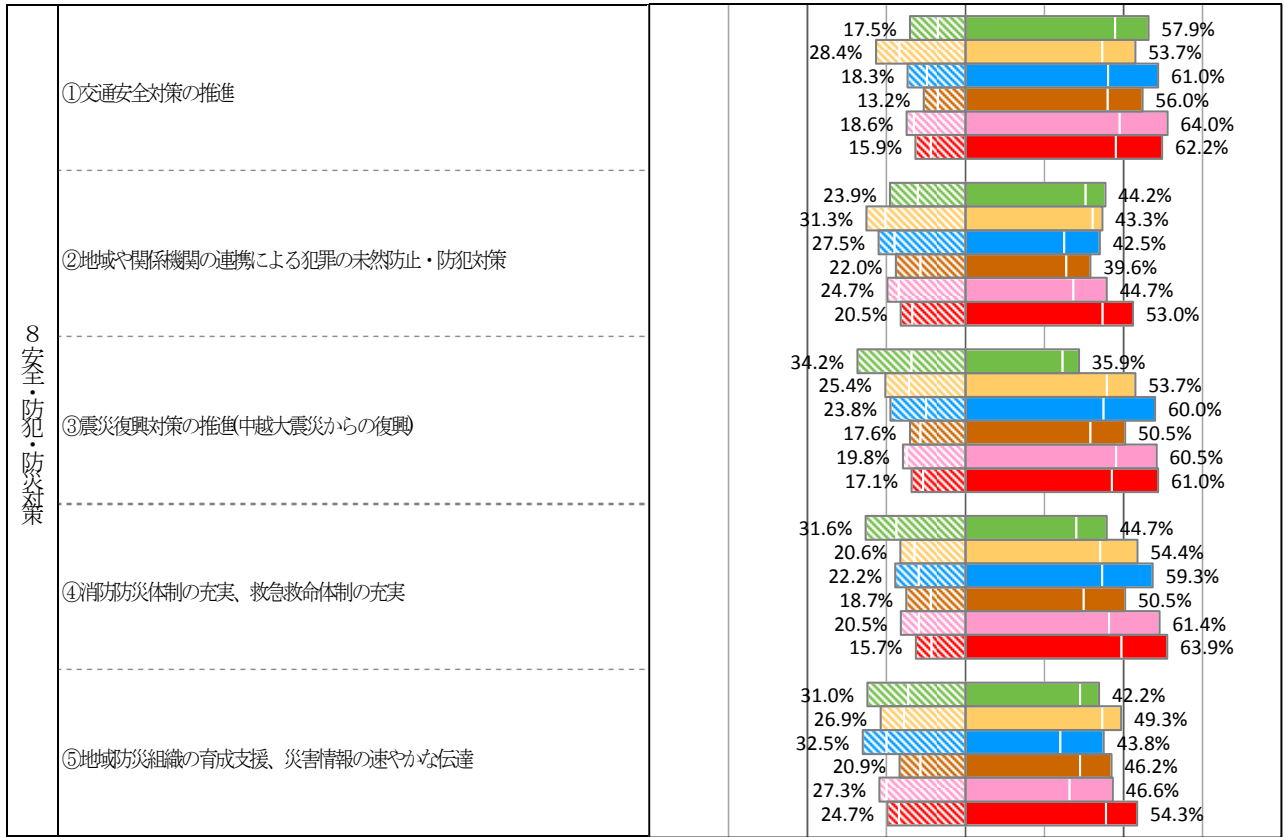
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



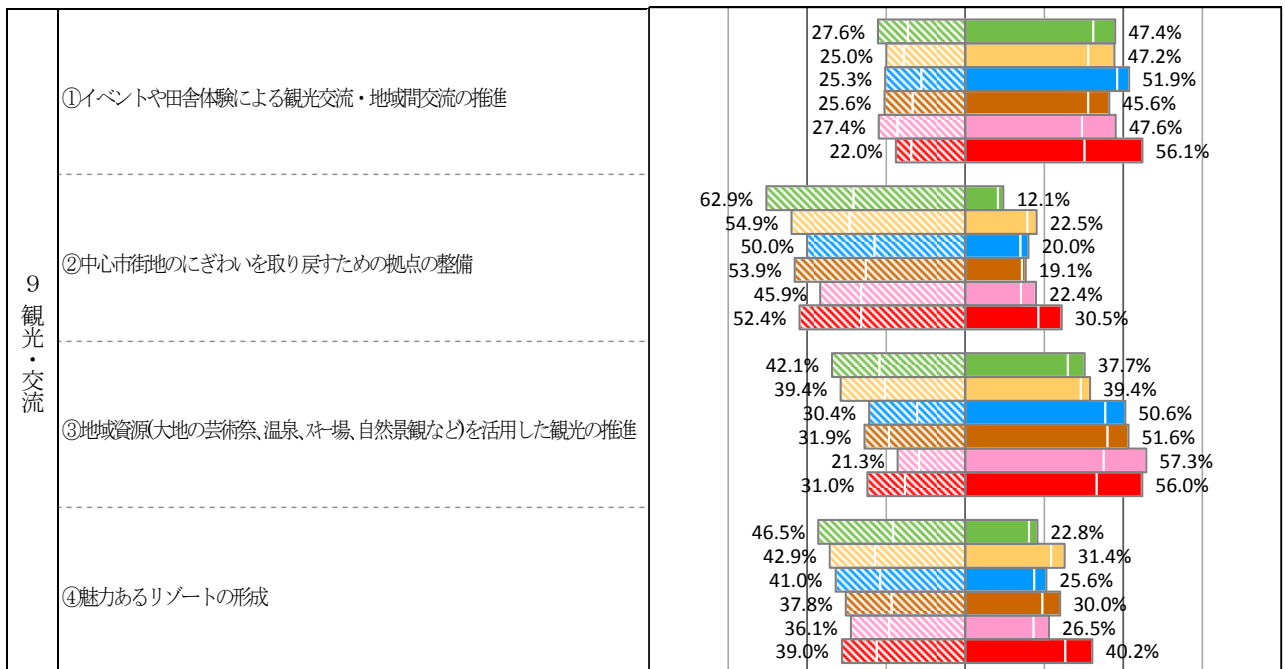
9. 水沢

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

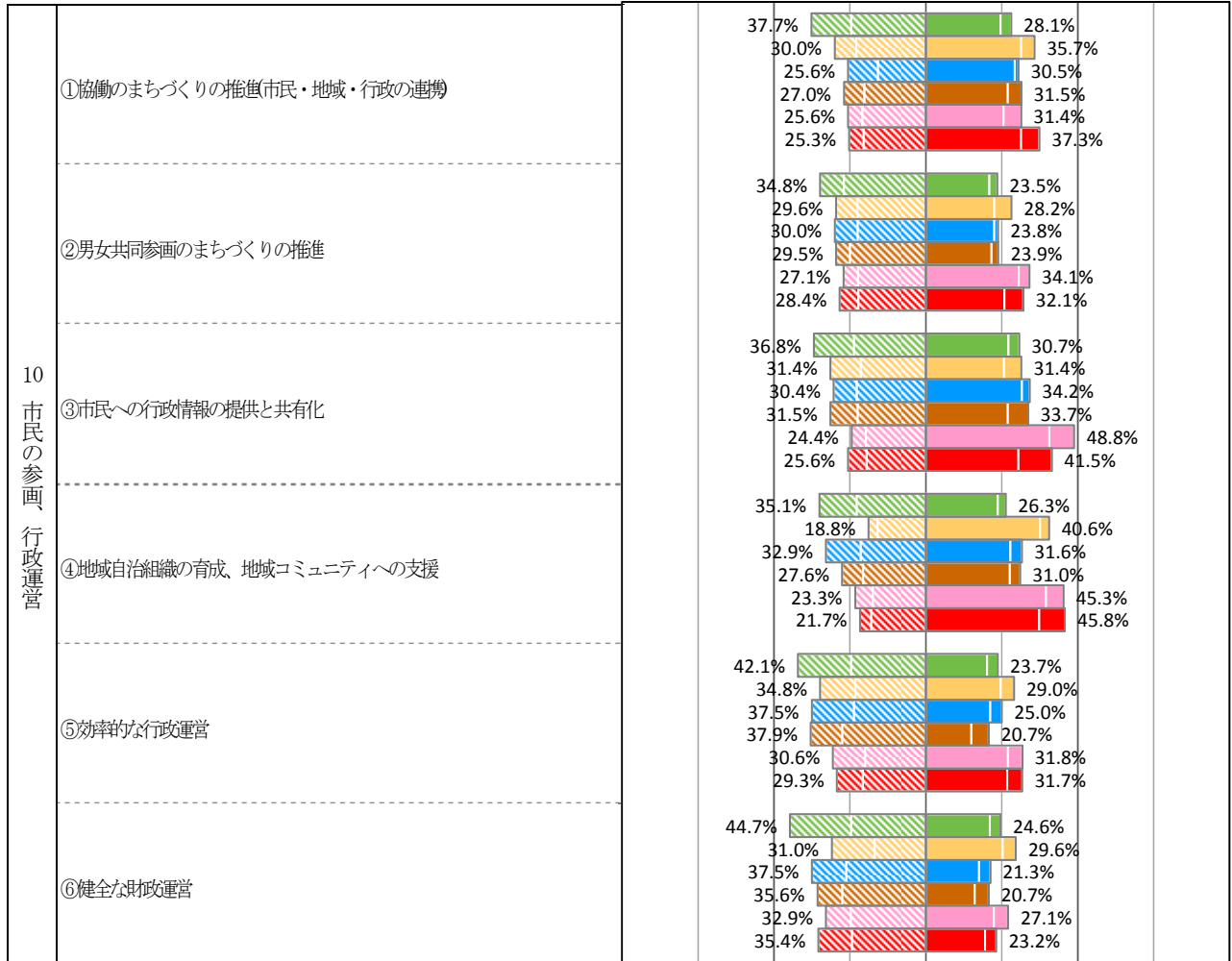


← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

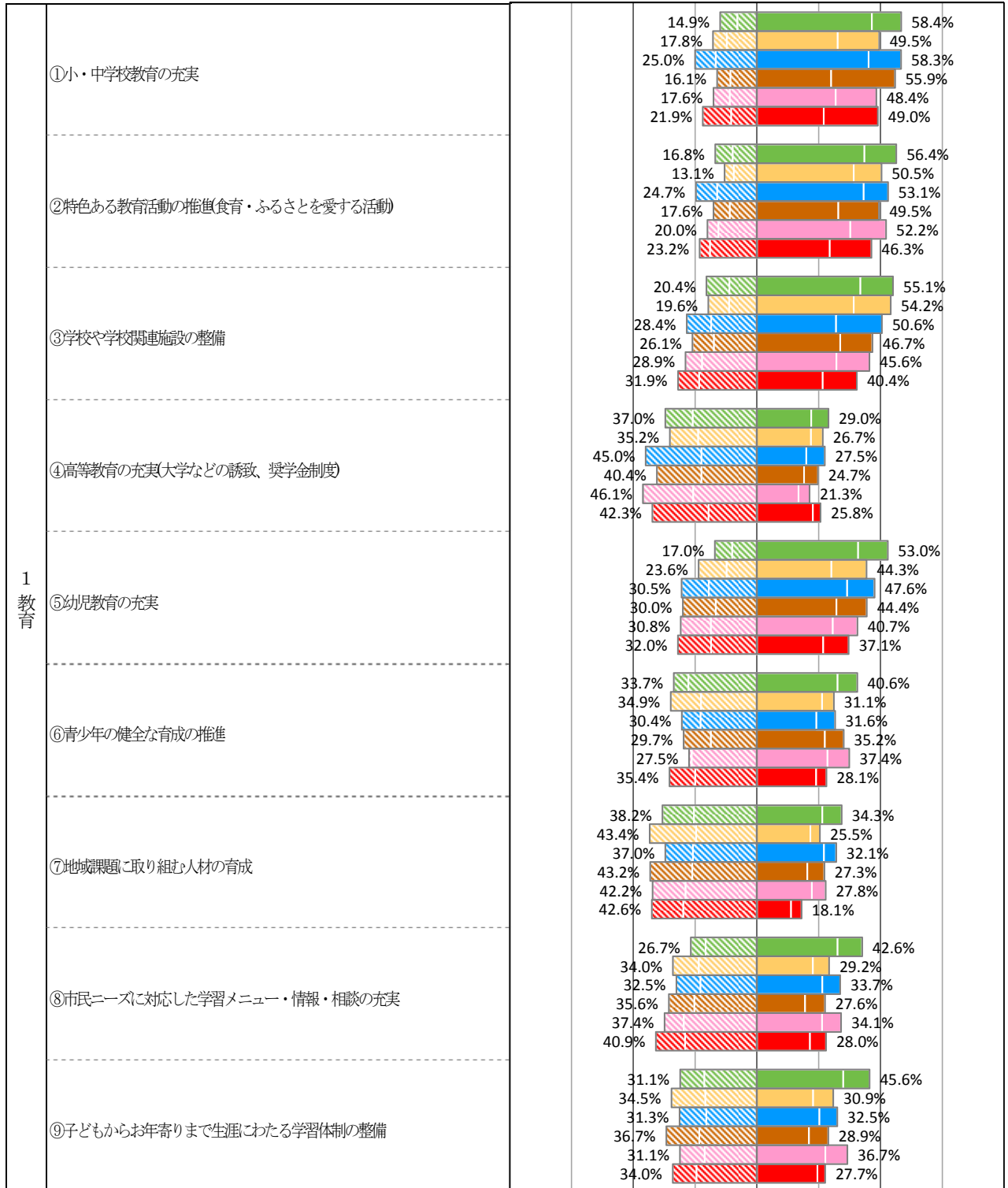
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



10. 川西

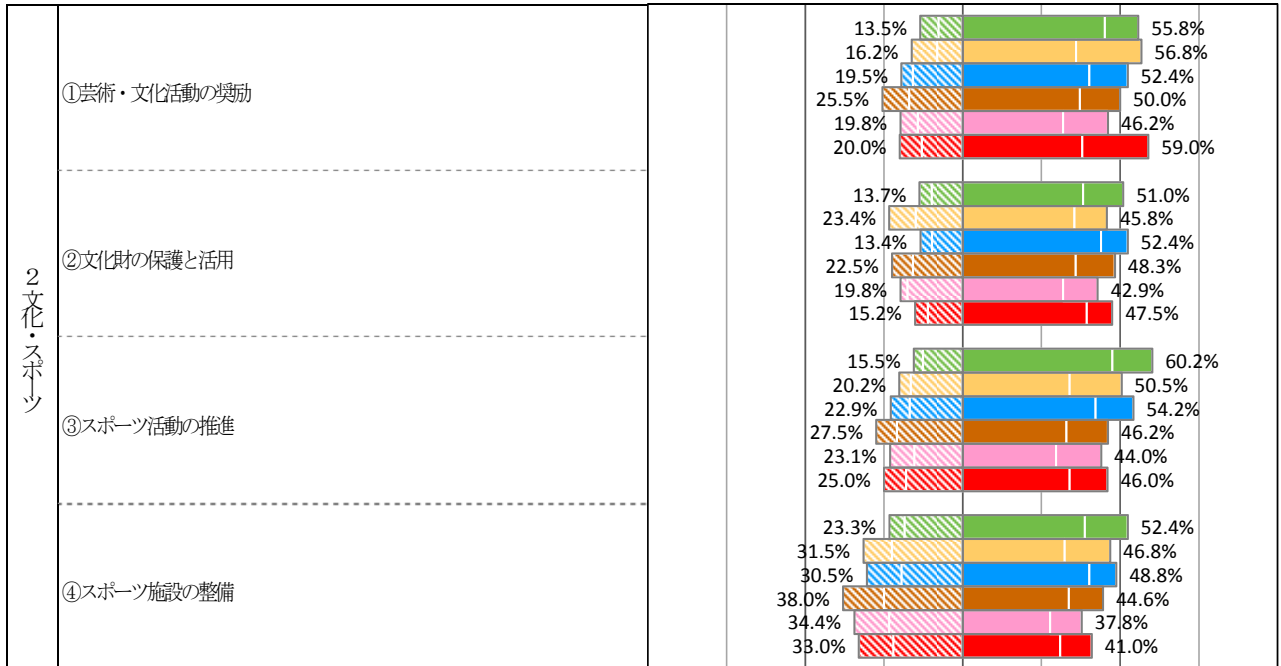
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

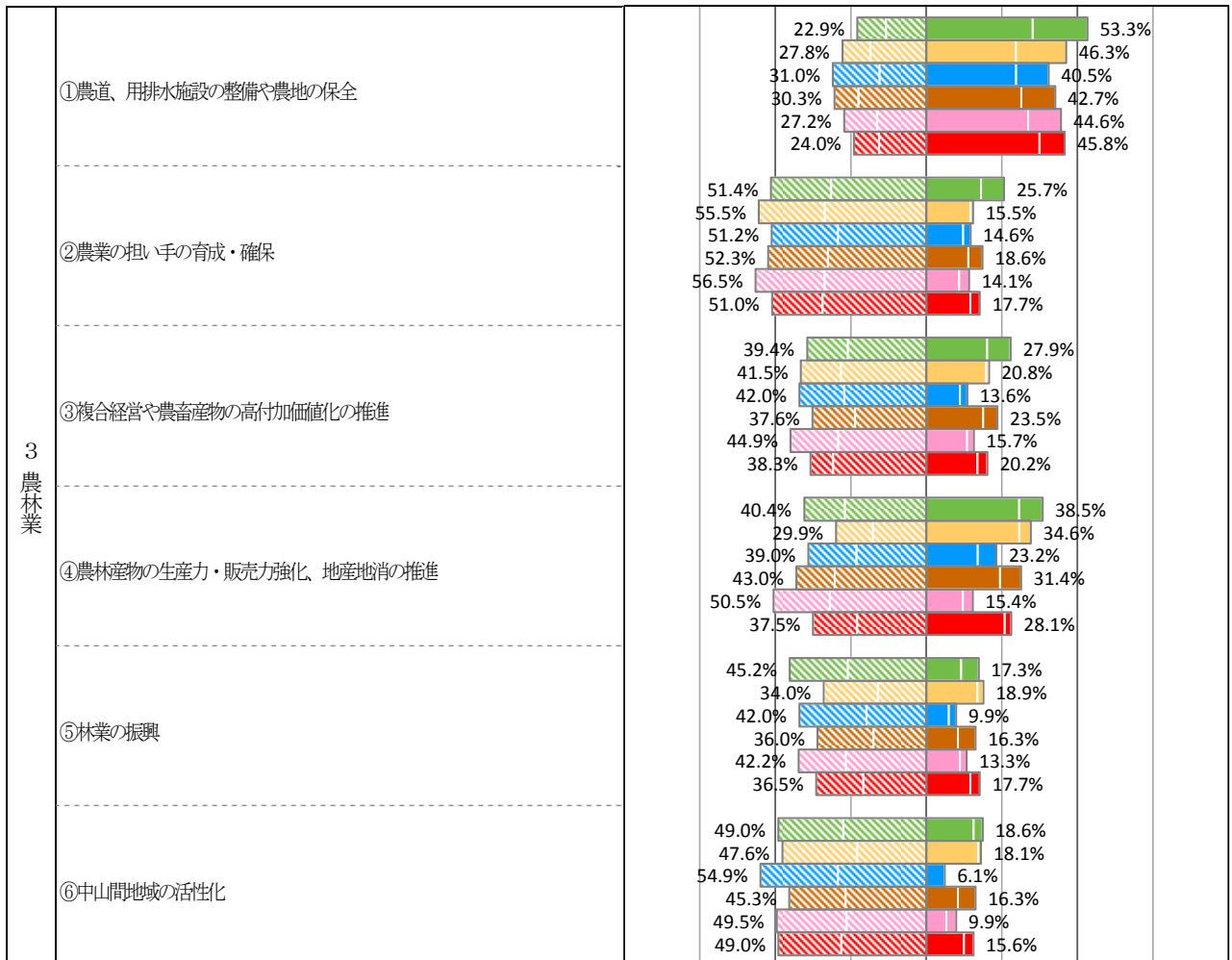


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



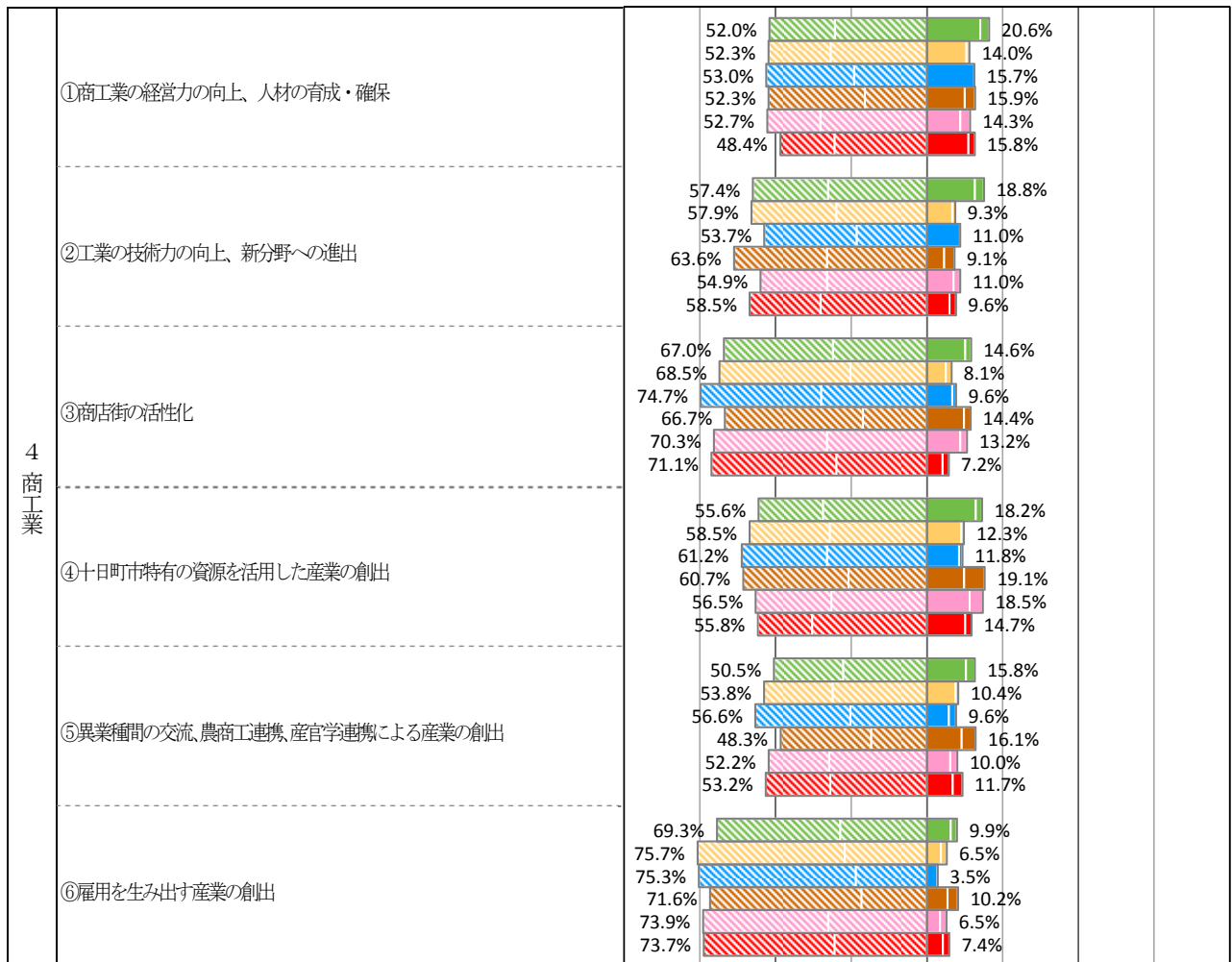
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



10. 川西

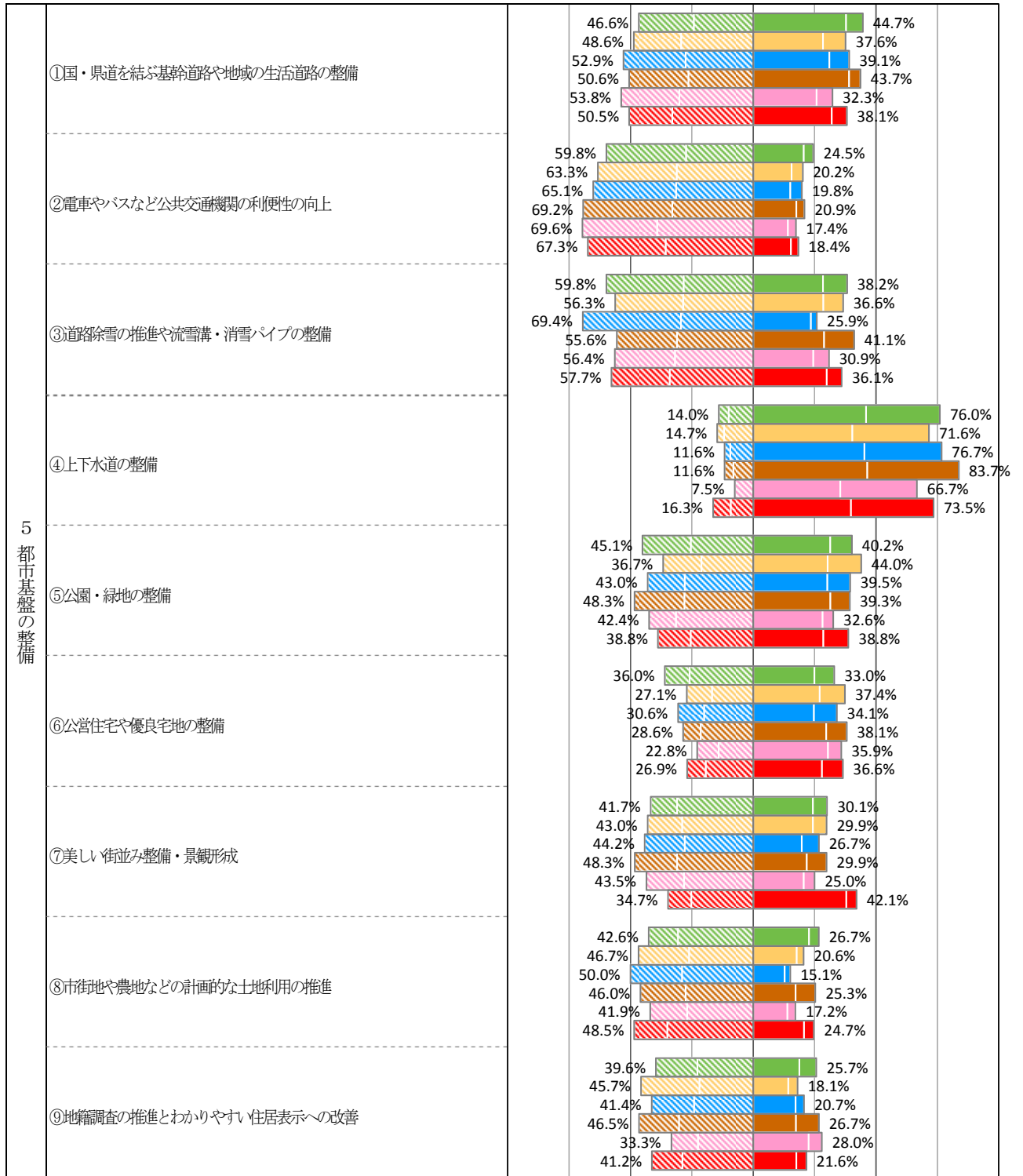
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

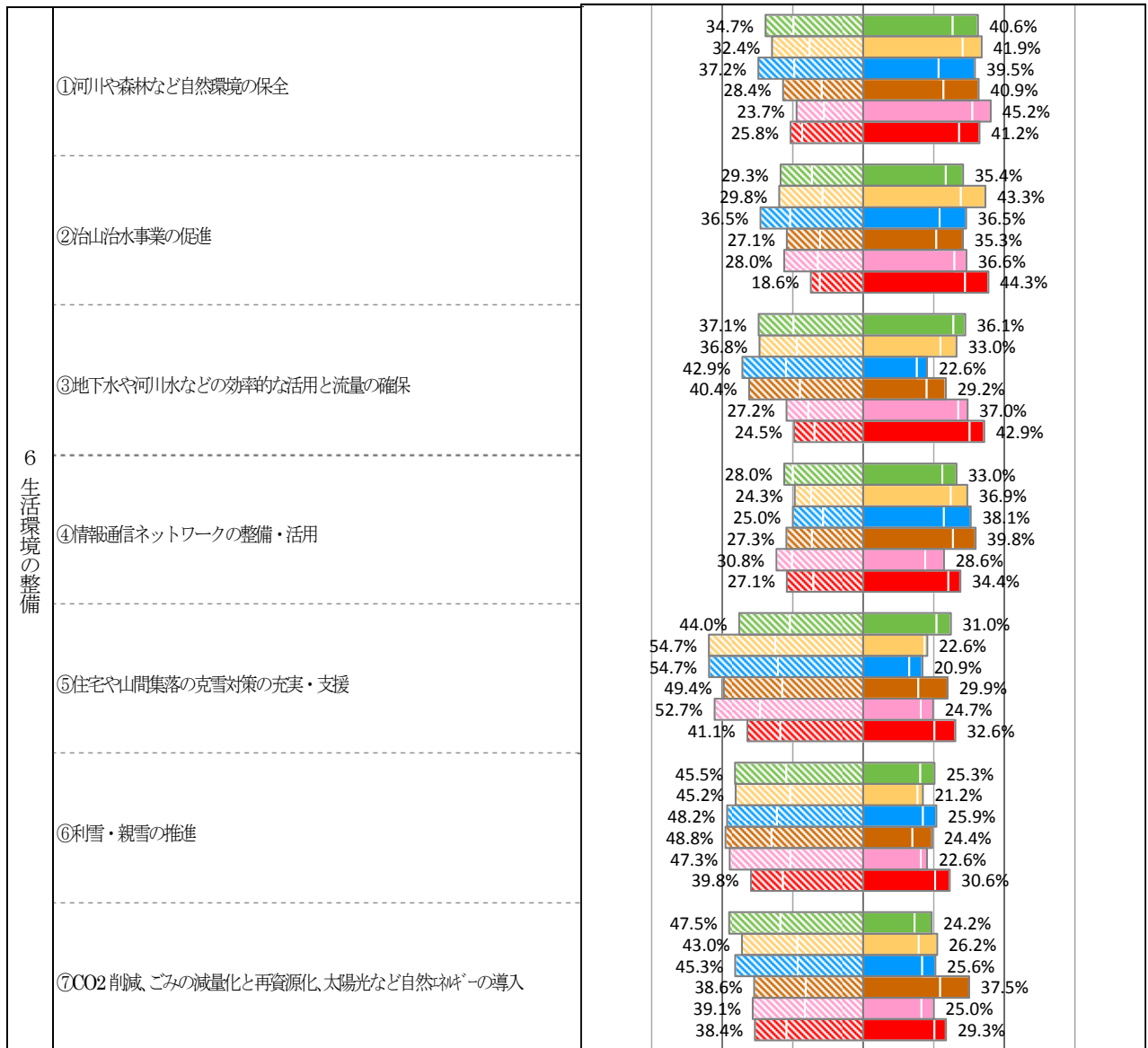
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



10. 川西

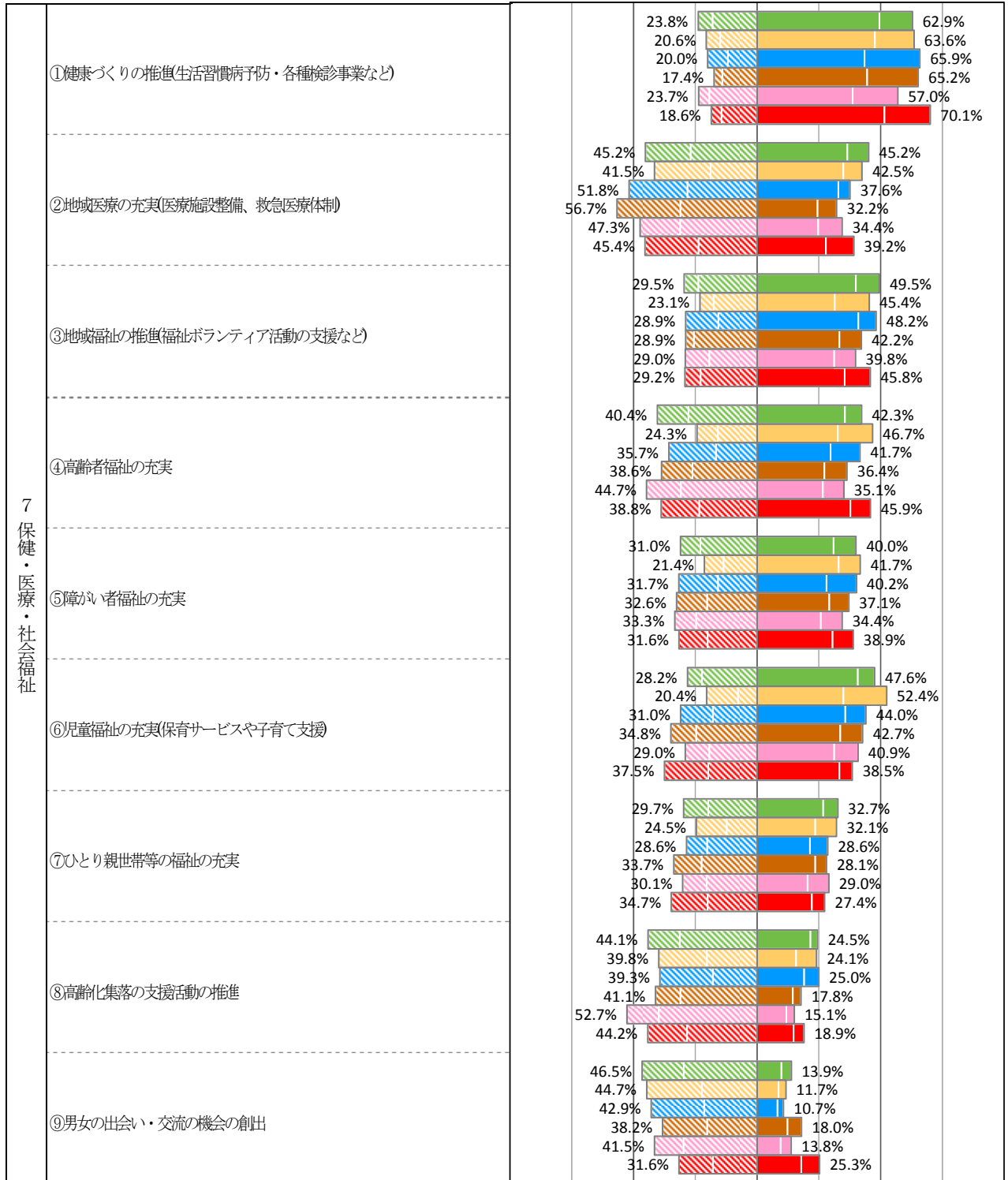
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

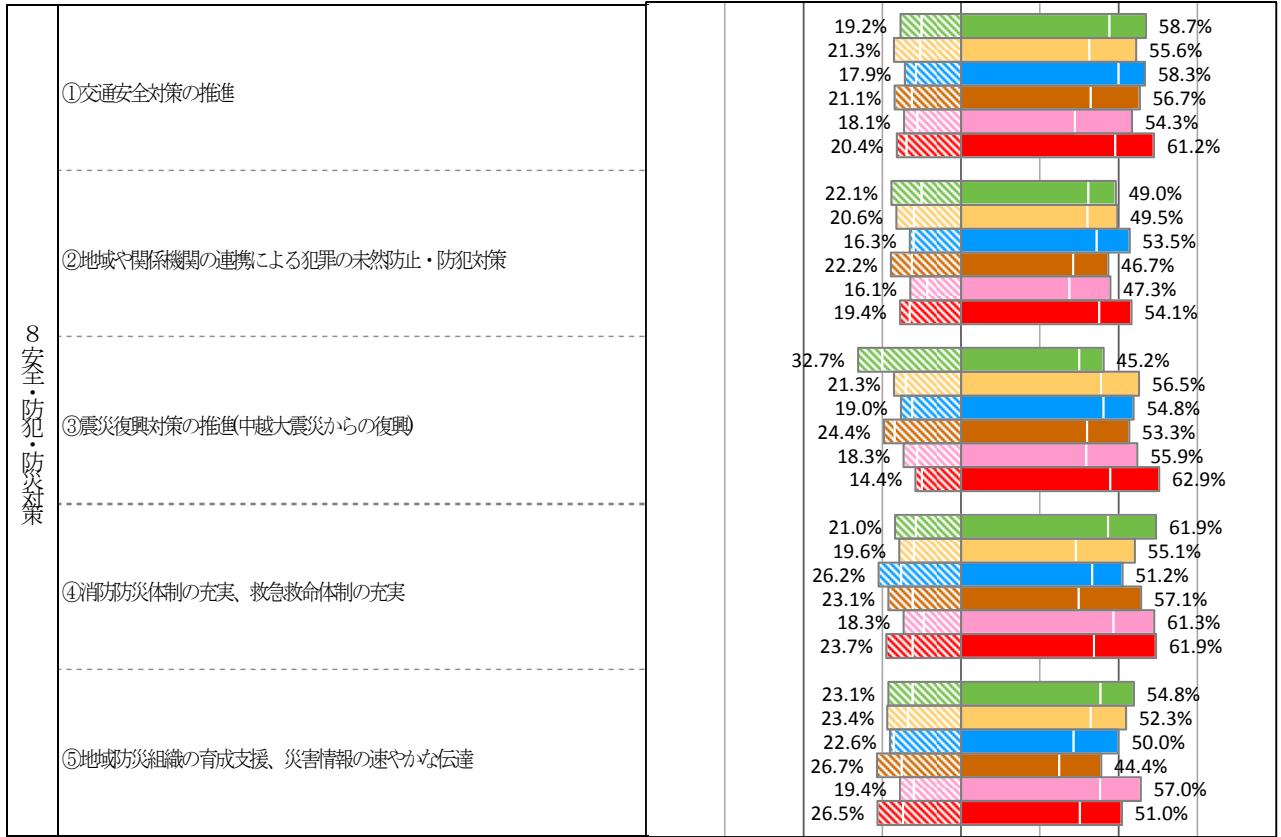
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



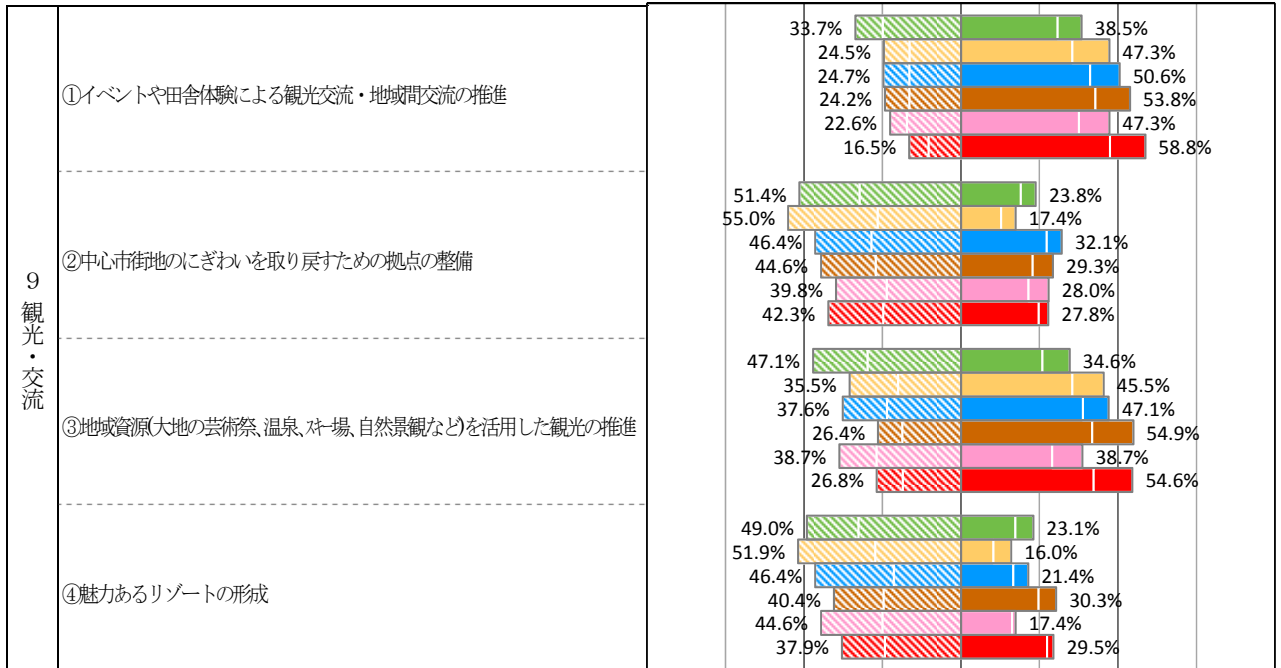
10. 川西

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

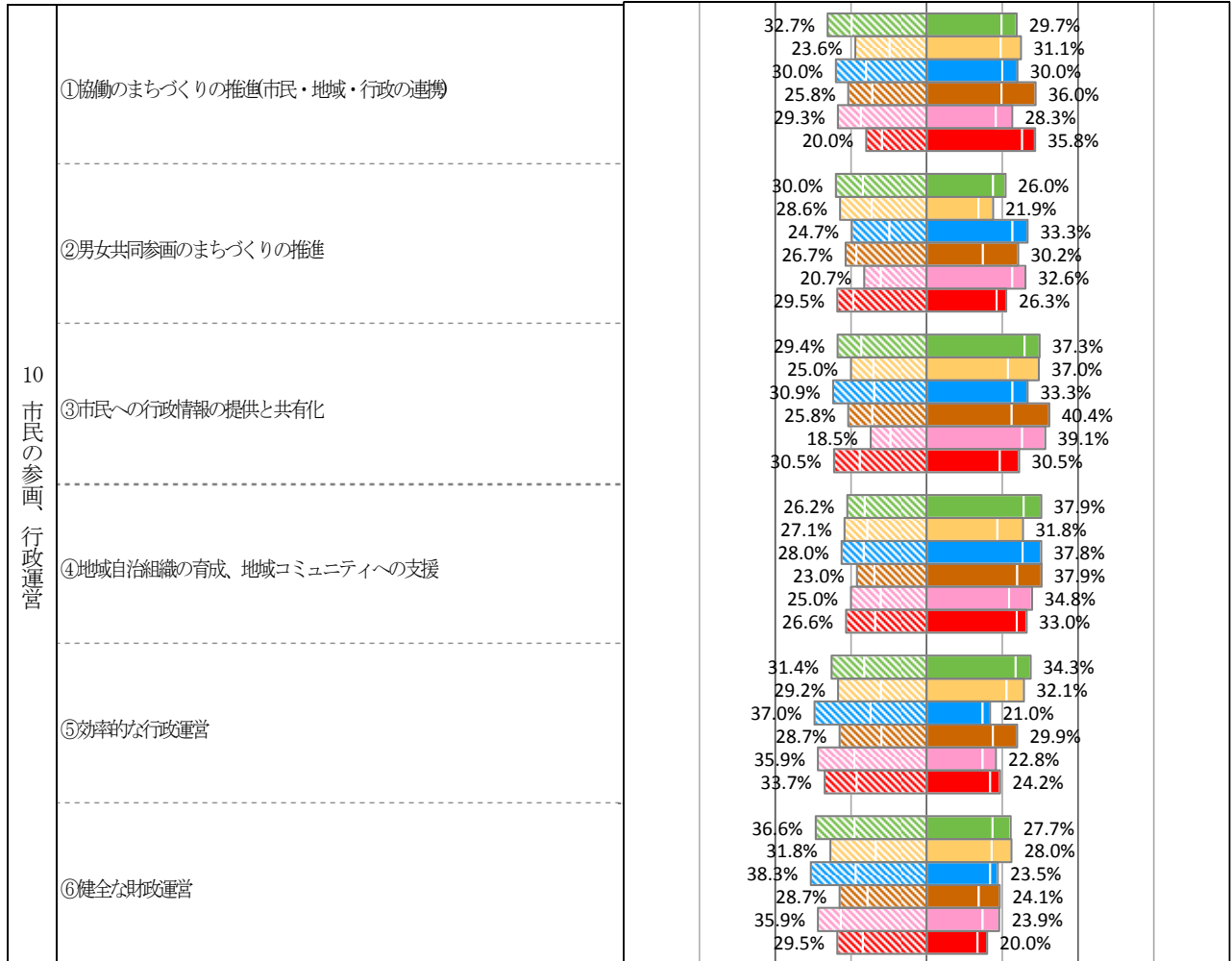


← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

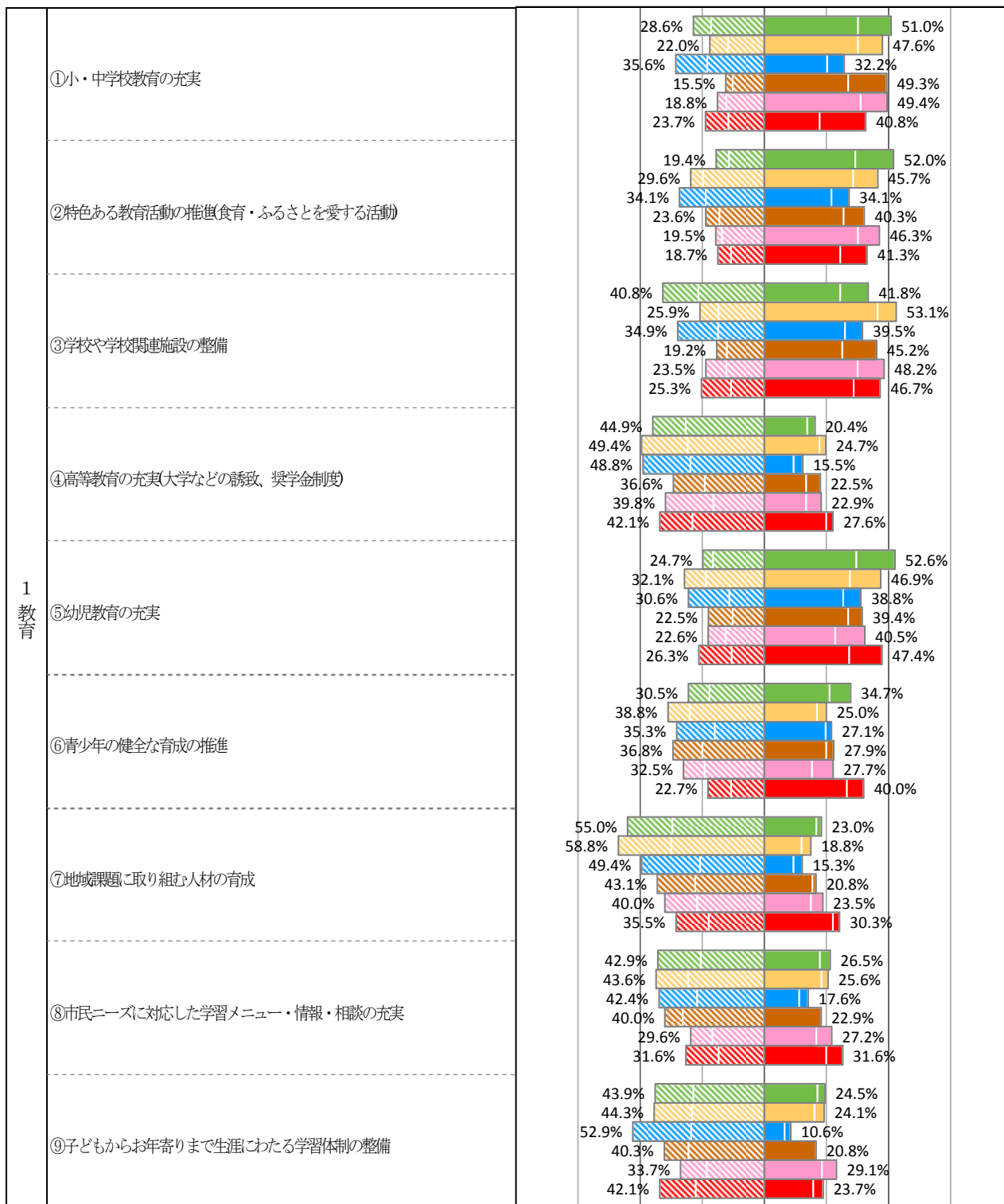
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



11. 中里

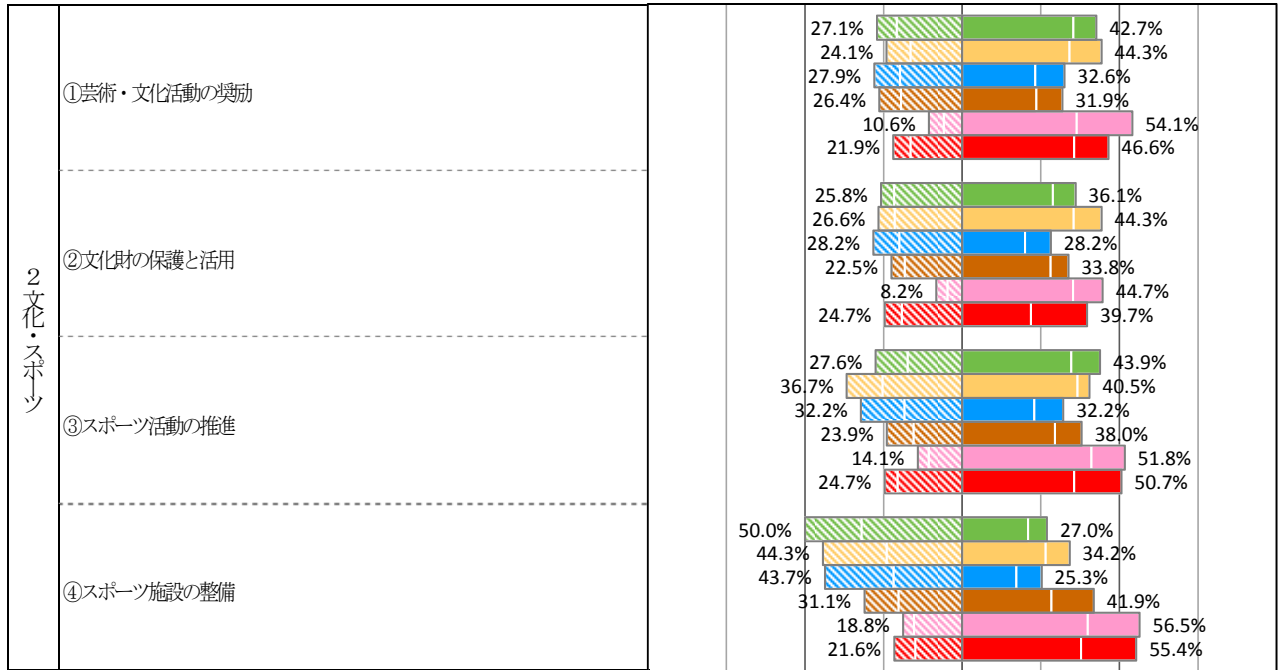
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

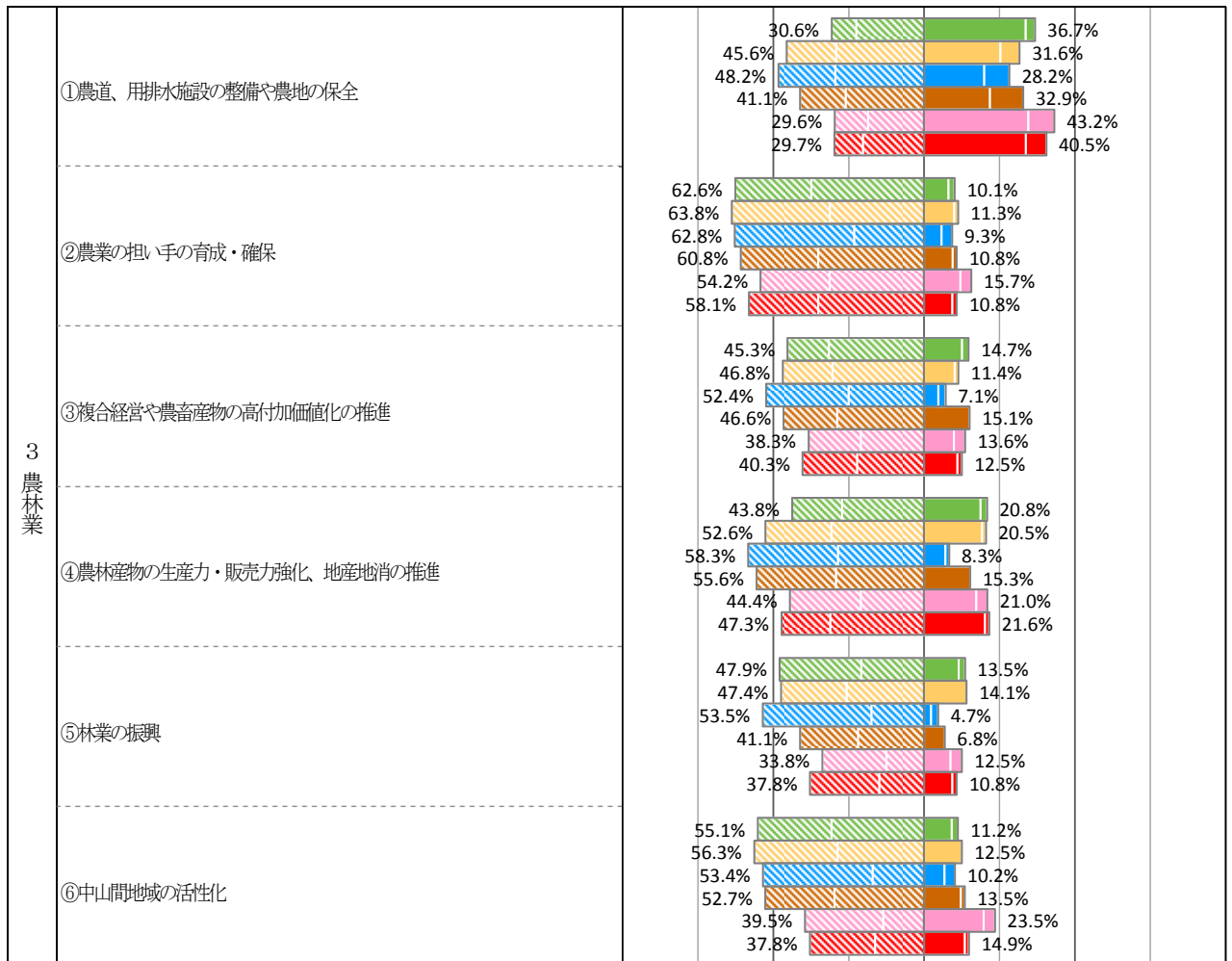


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



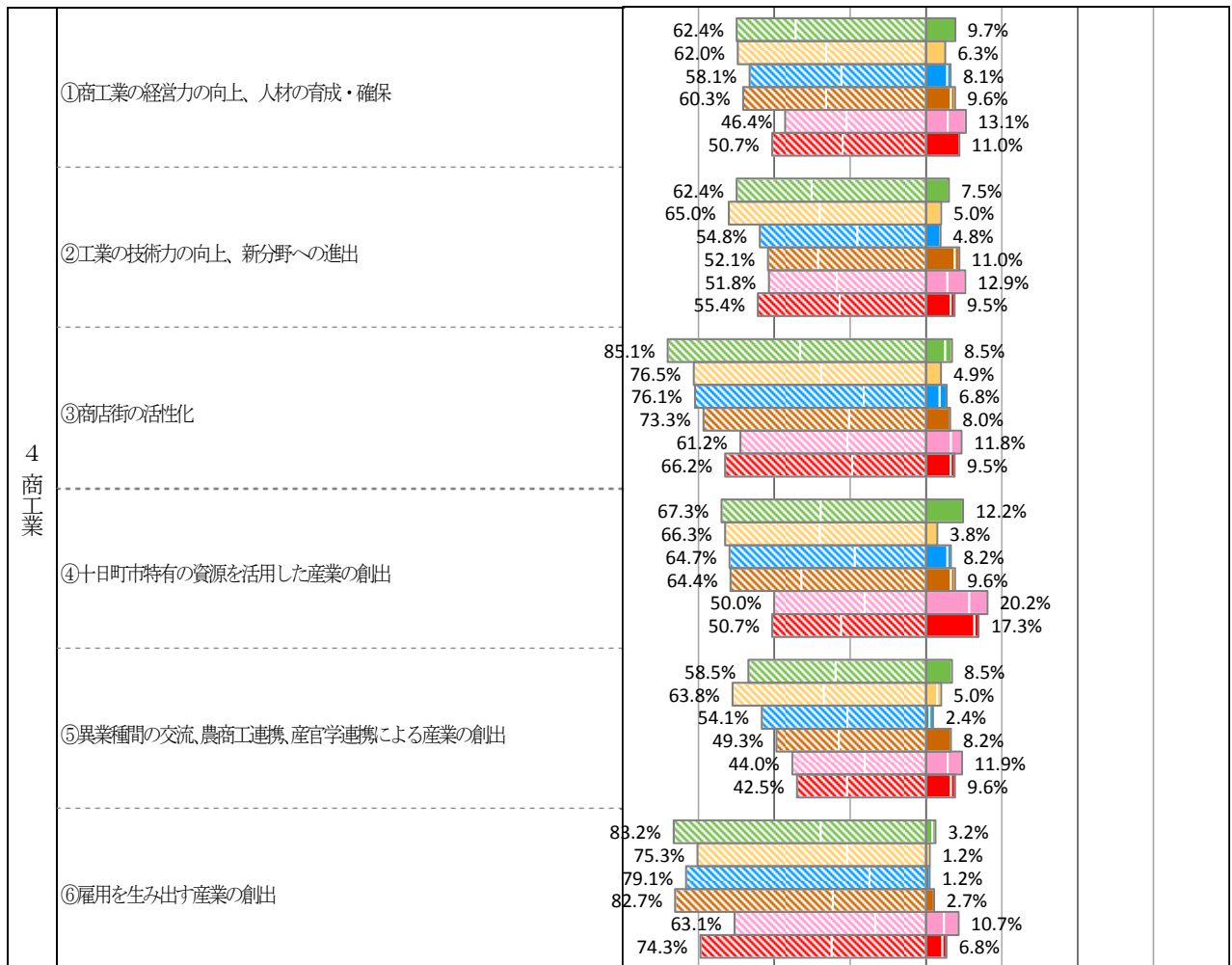
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



11. 中里

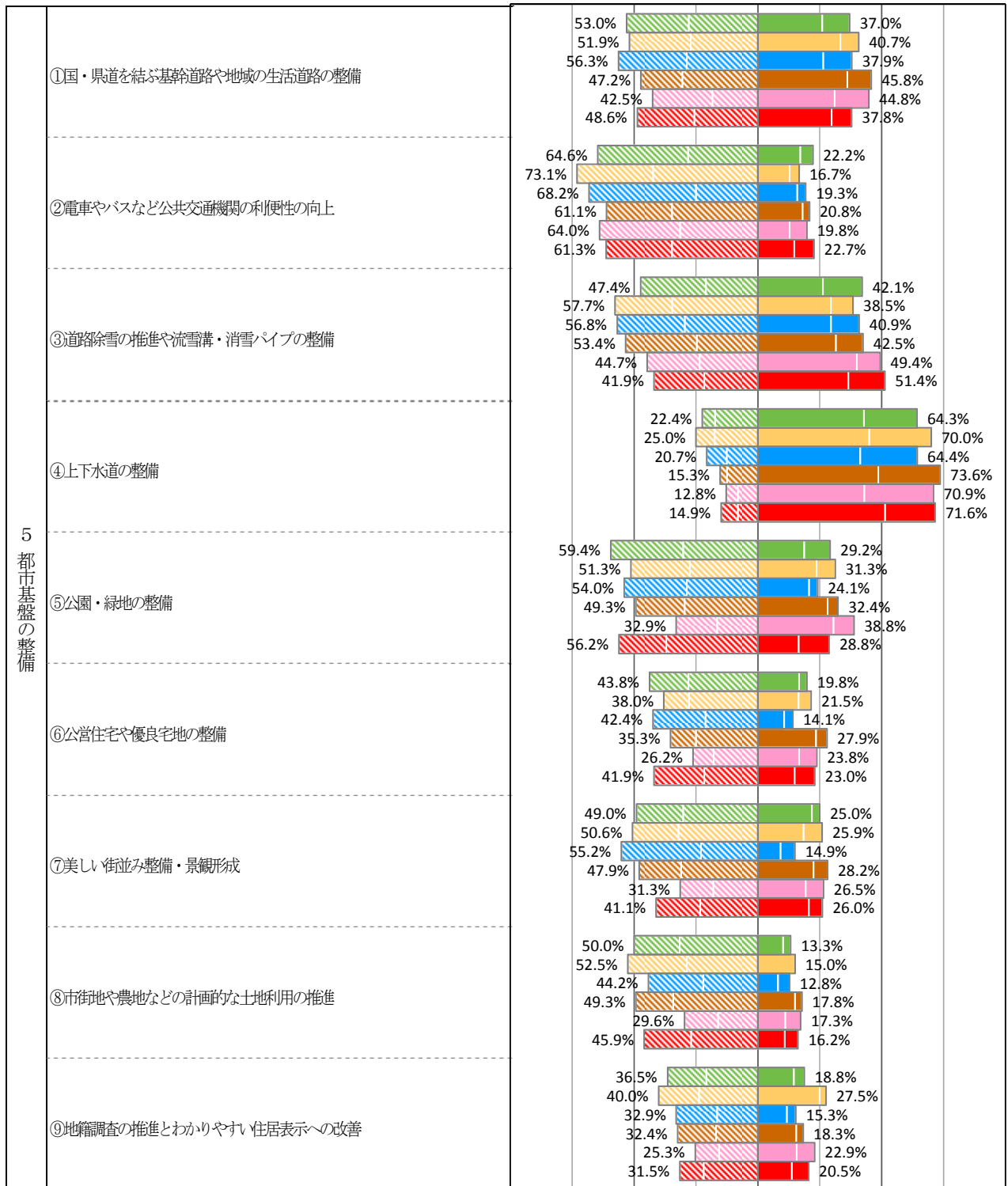
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

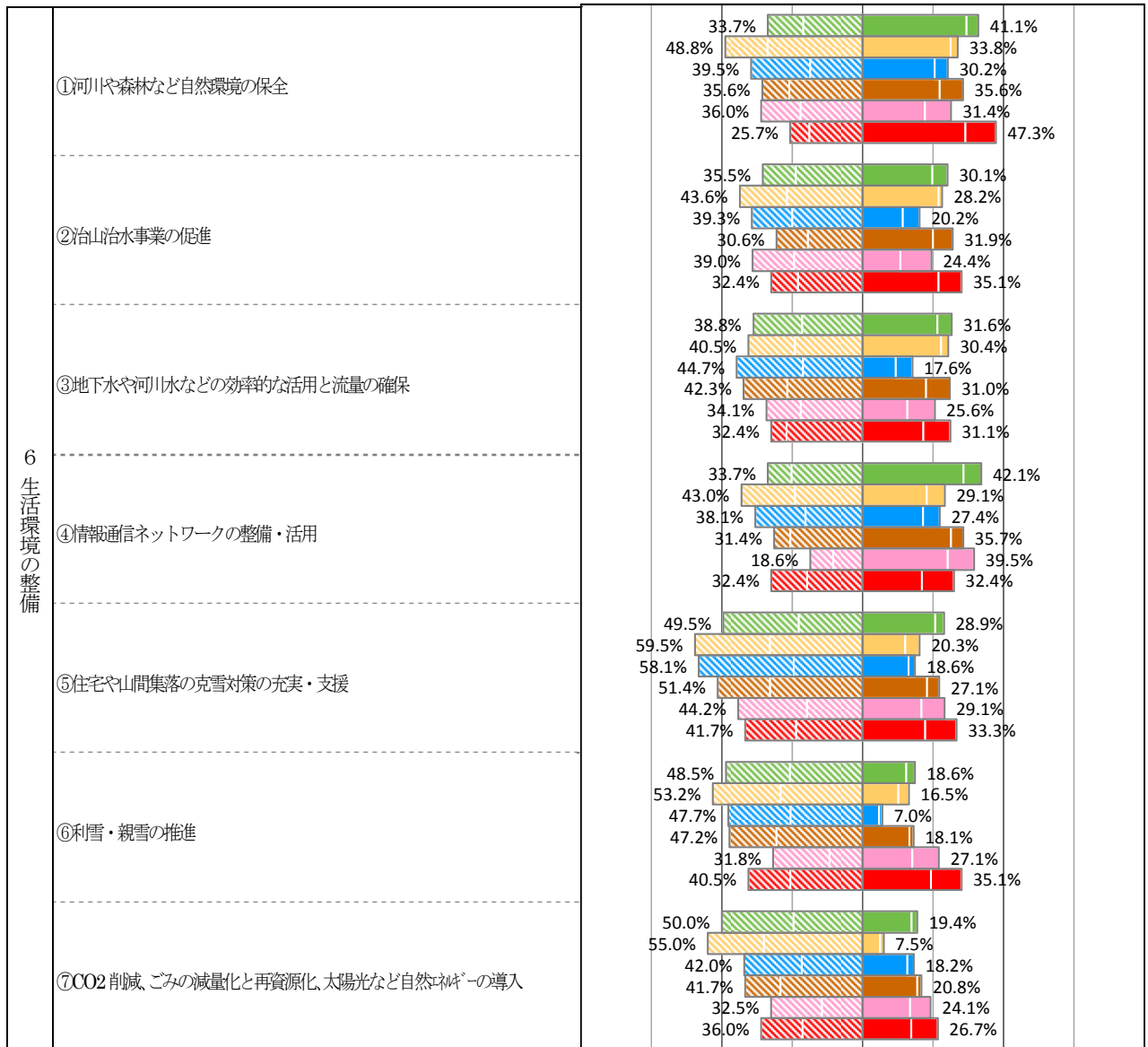
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



11. 中里

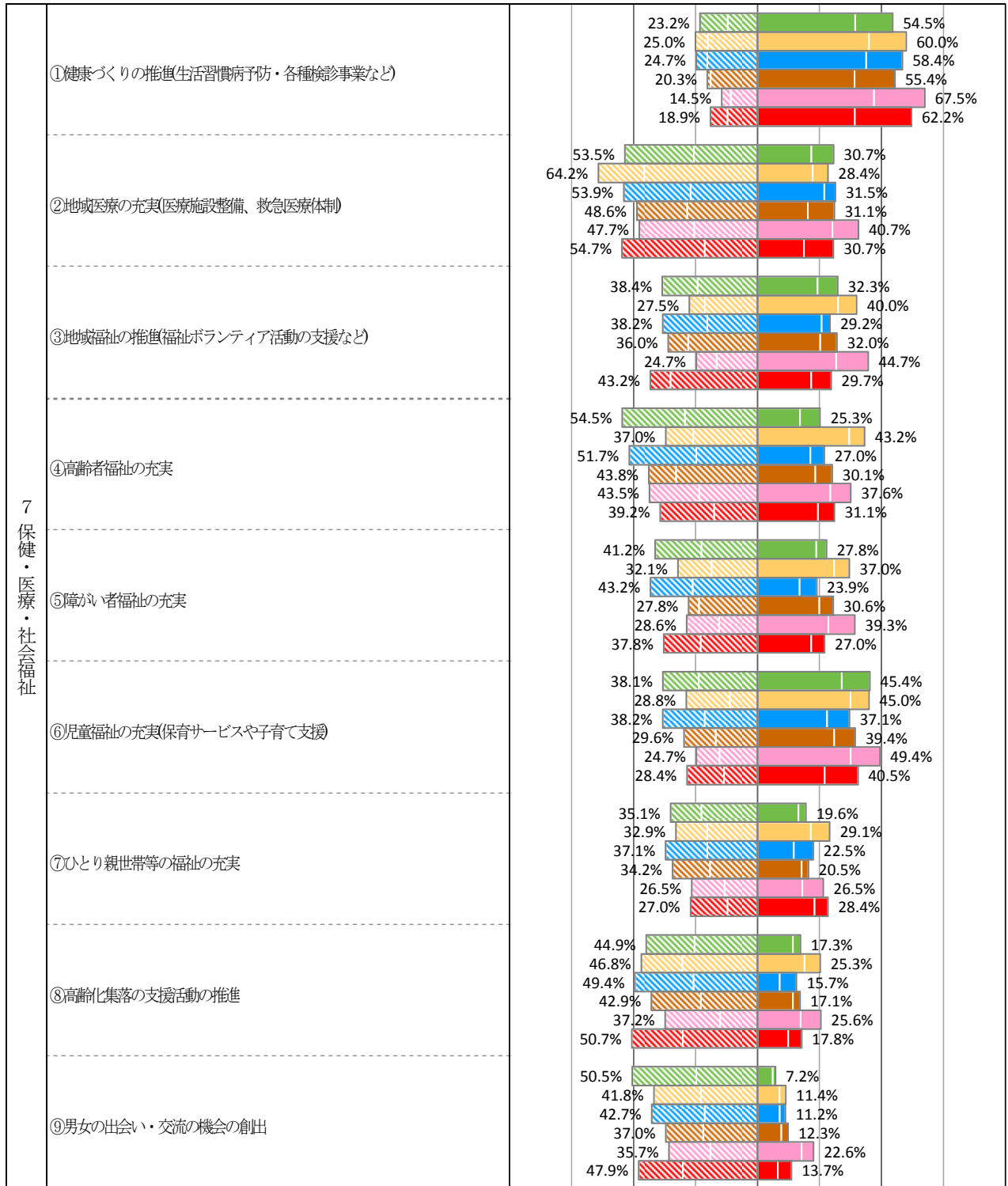
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



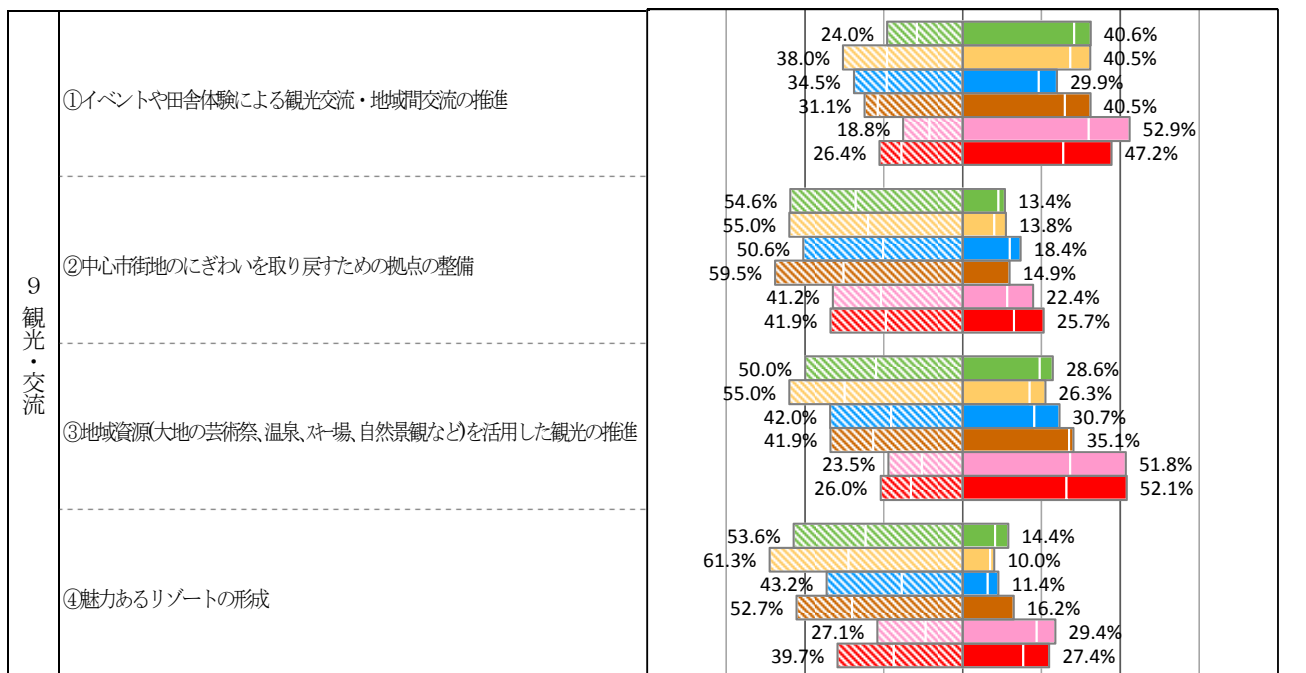
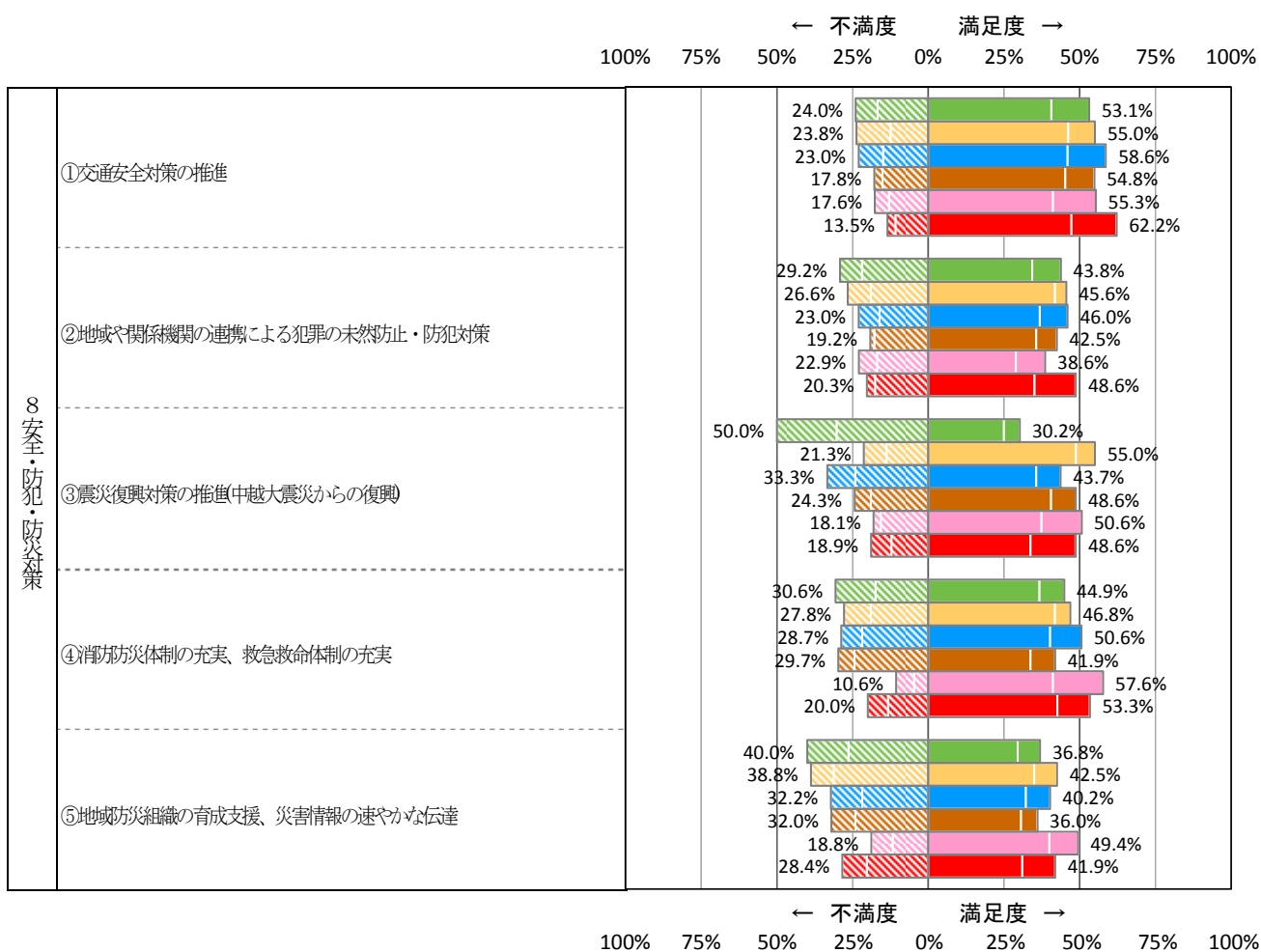
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



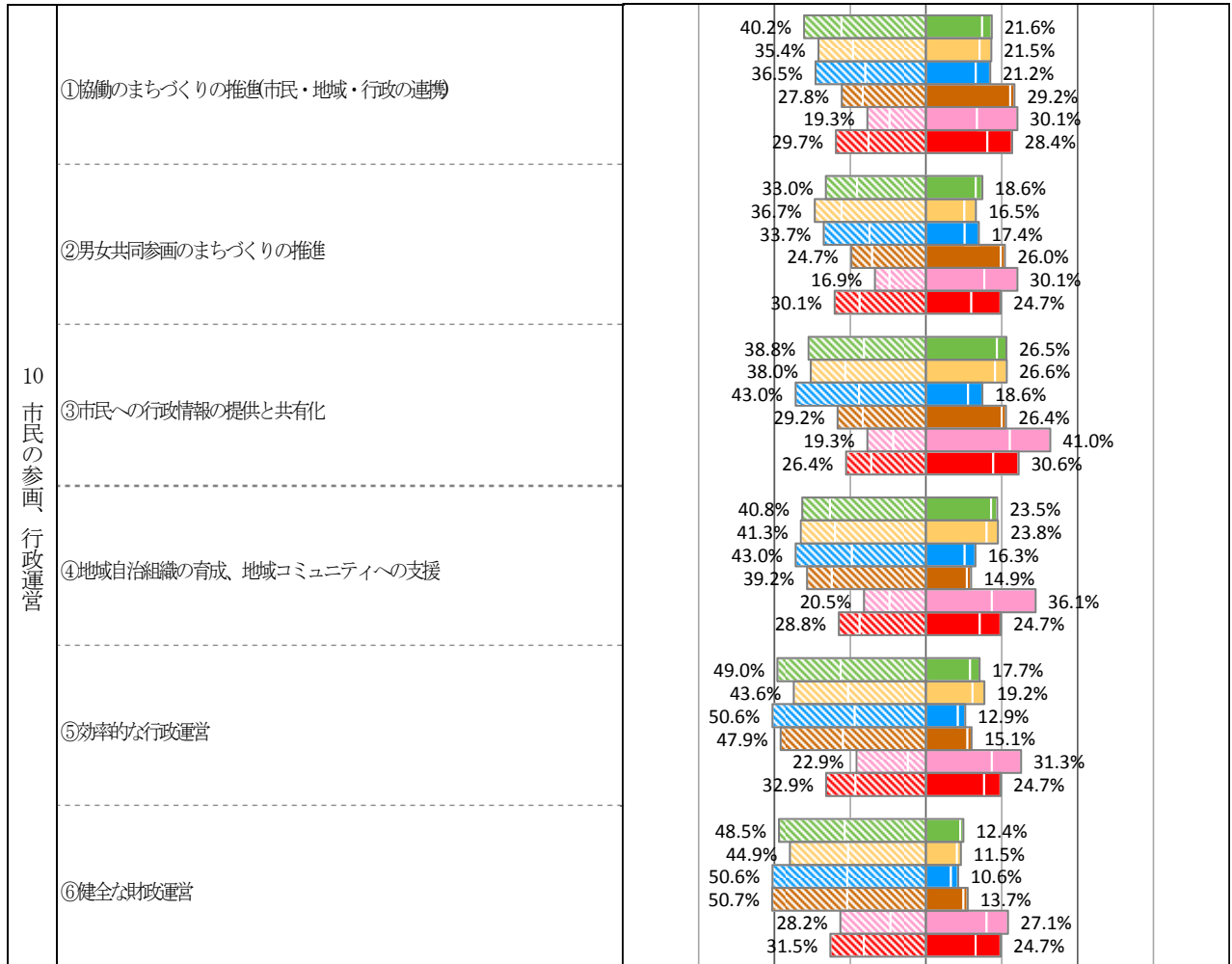
11. 中里

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

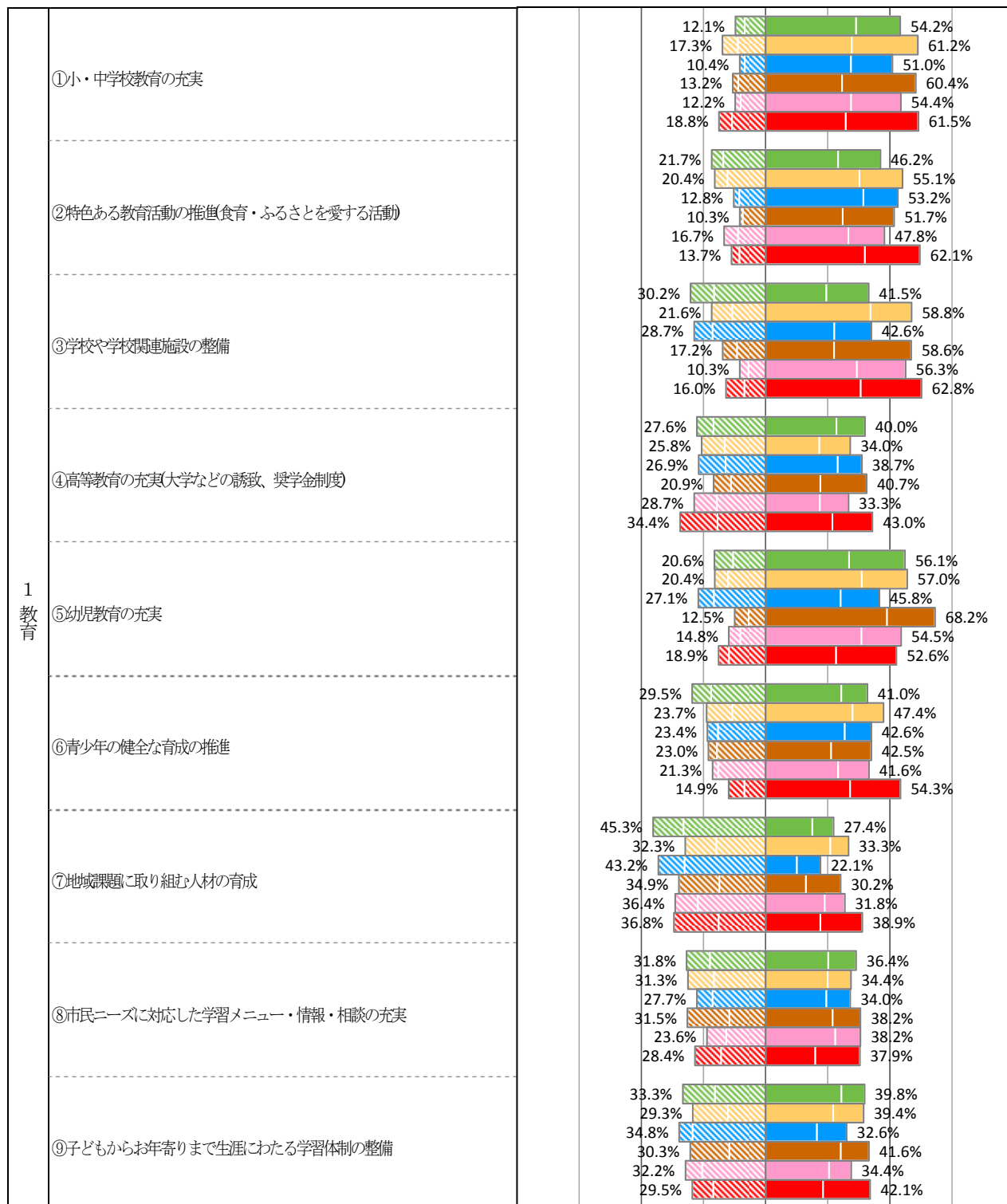
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



12. 松代

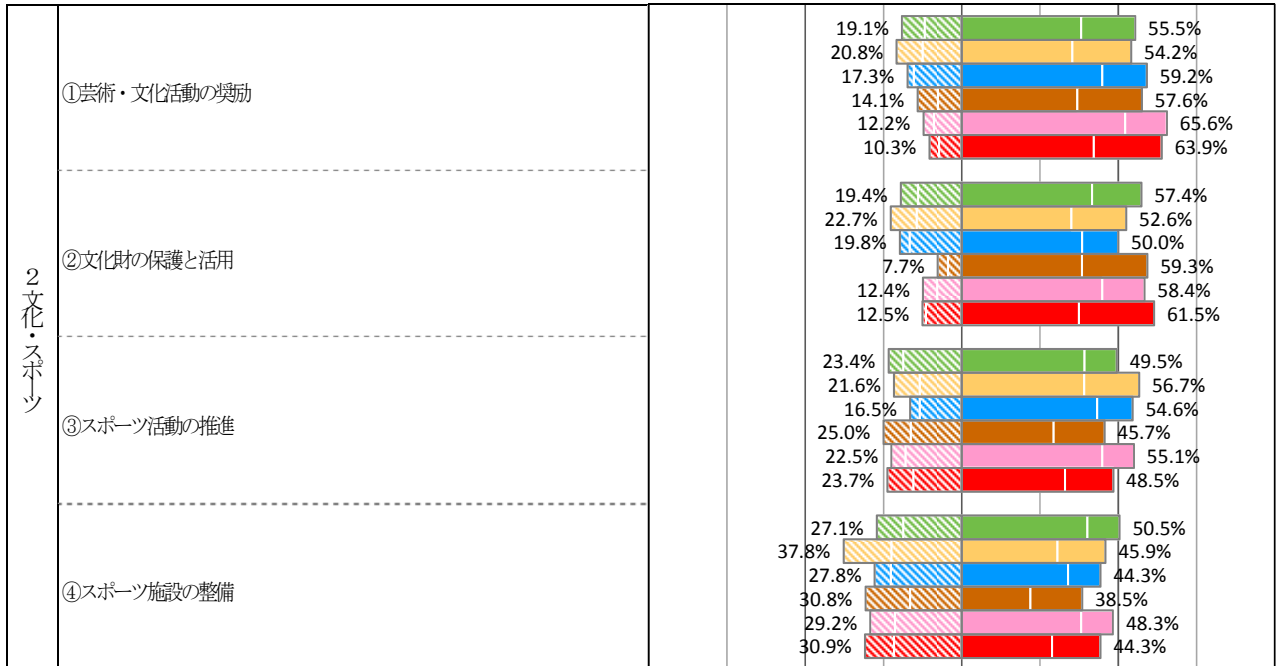
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

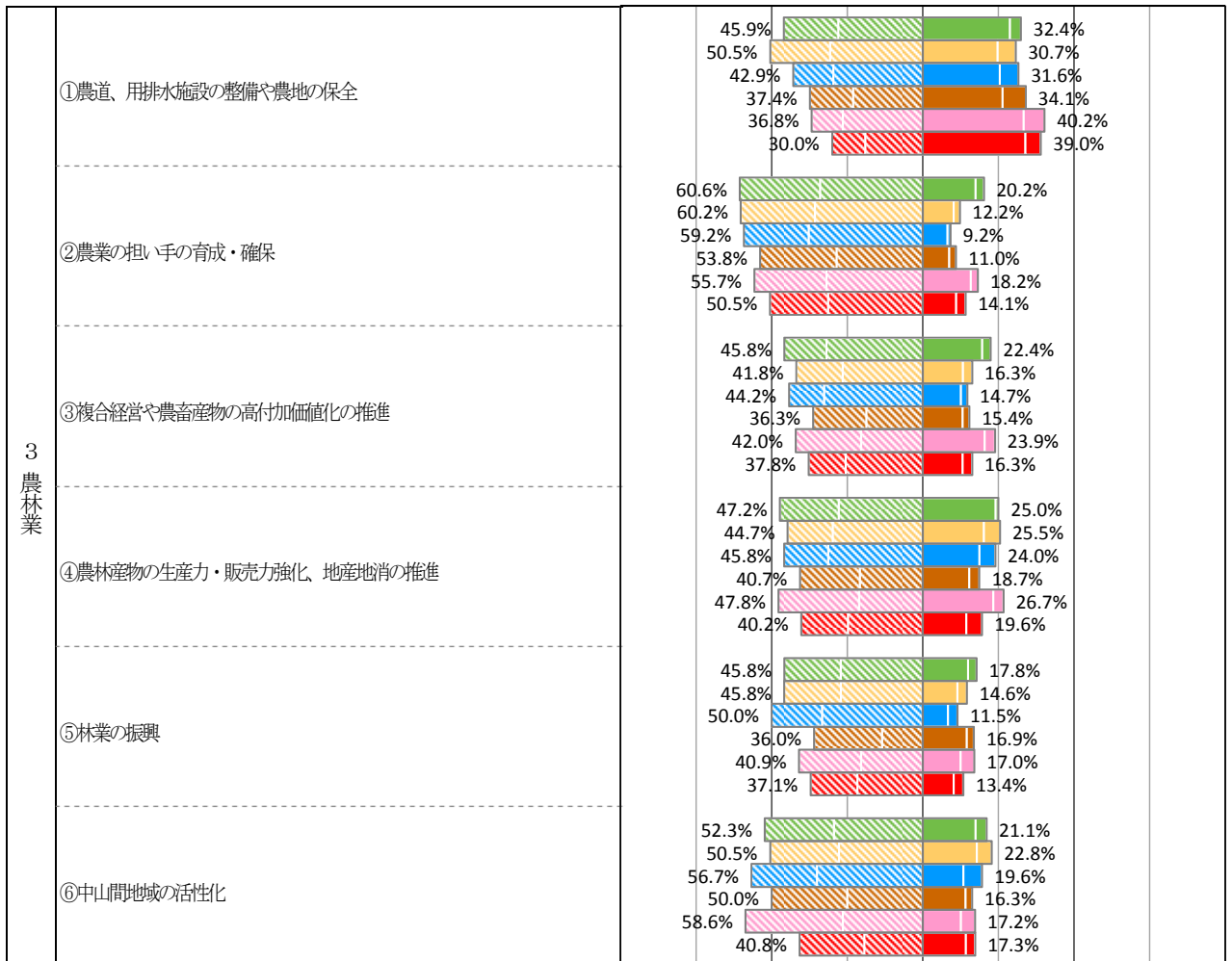


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



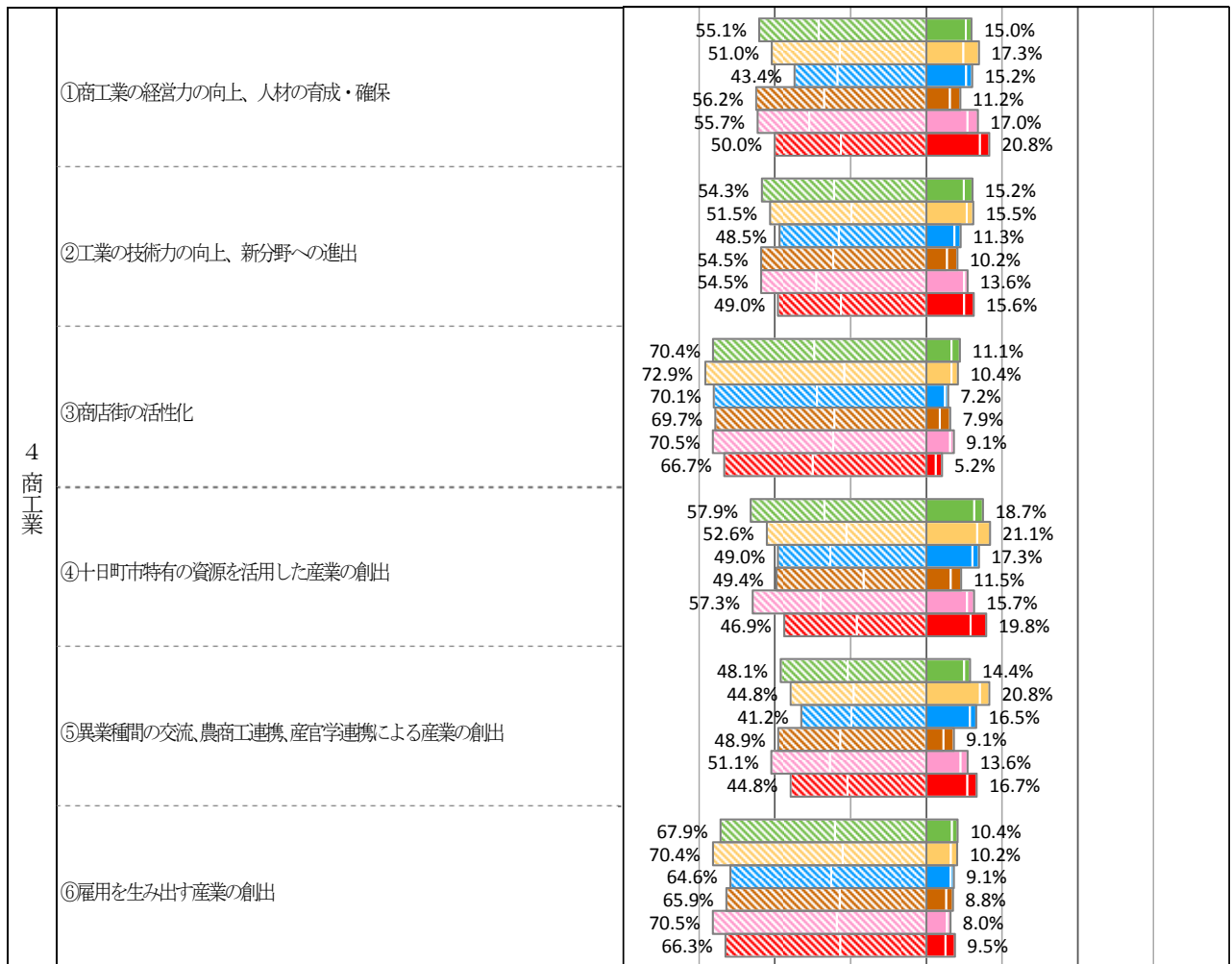
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



12. 松代

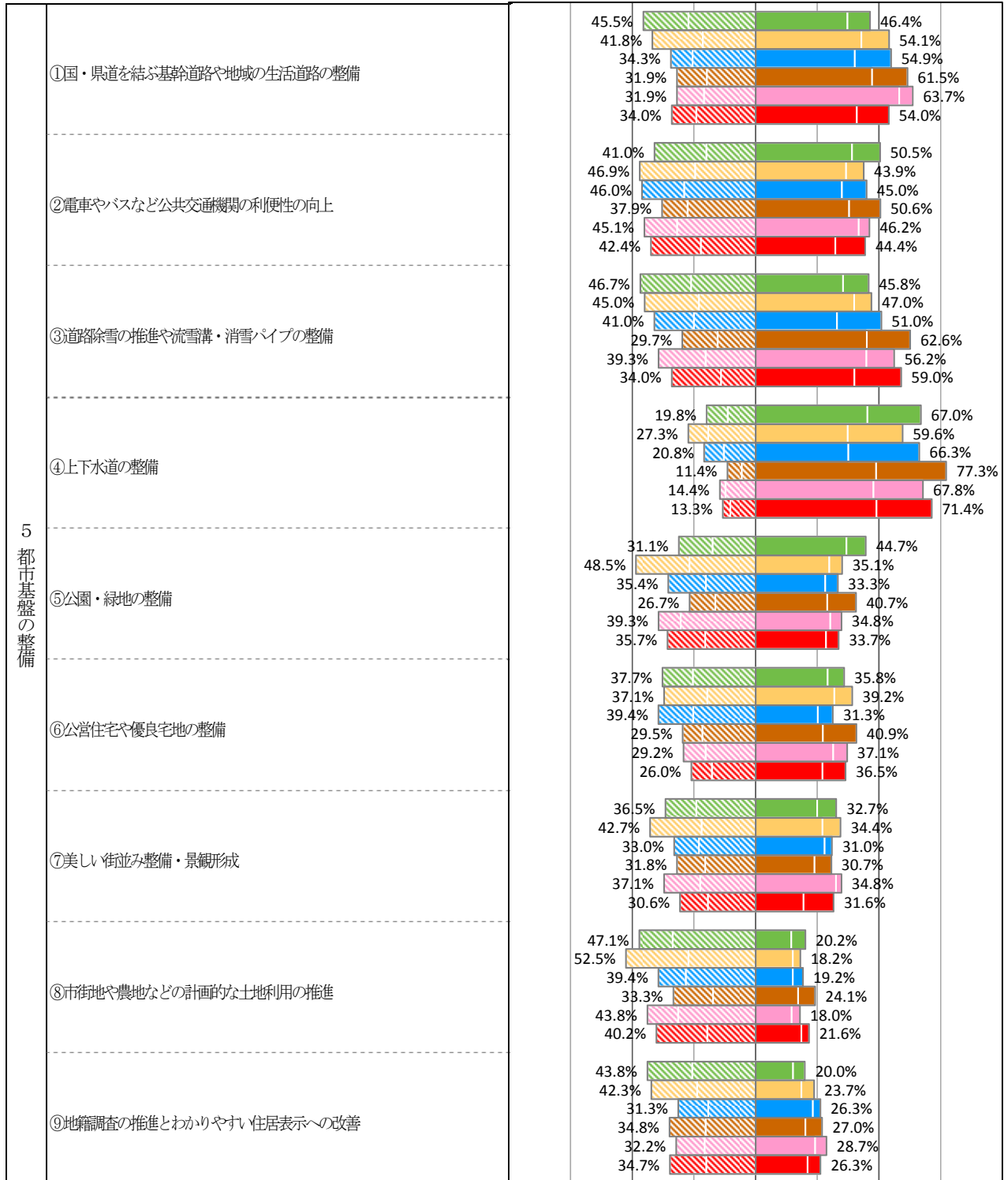
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

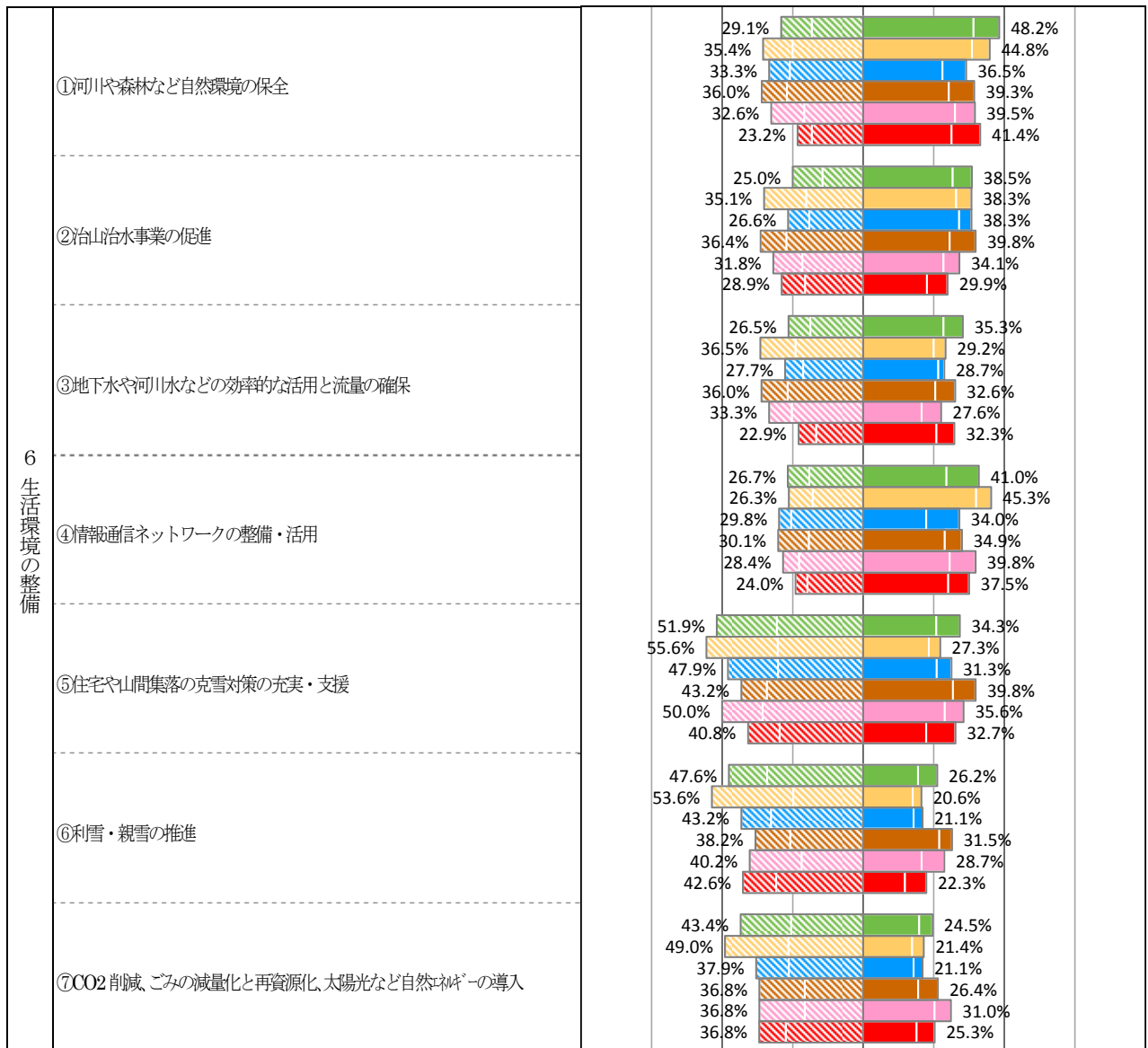
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



12. 松代

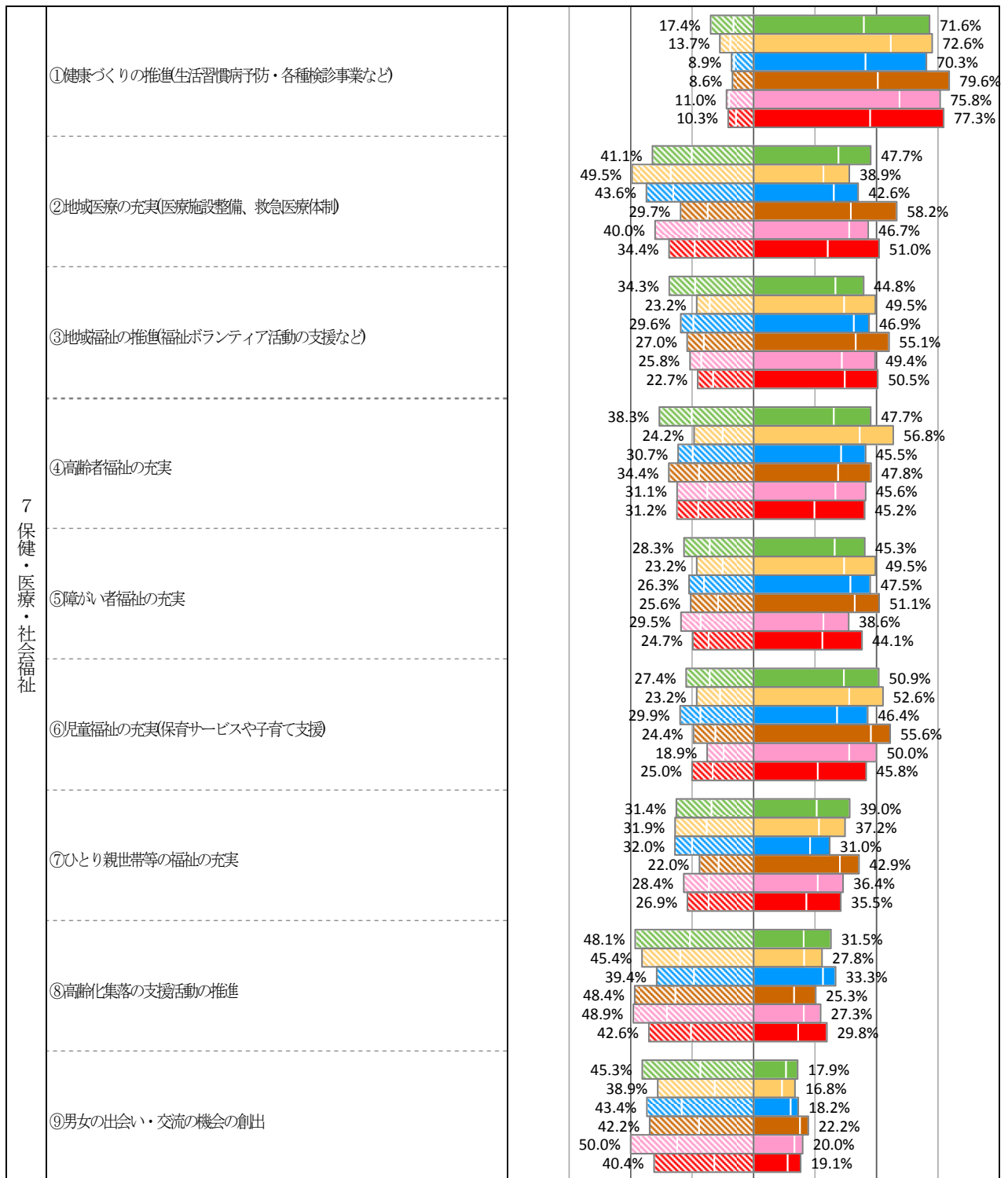
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



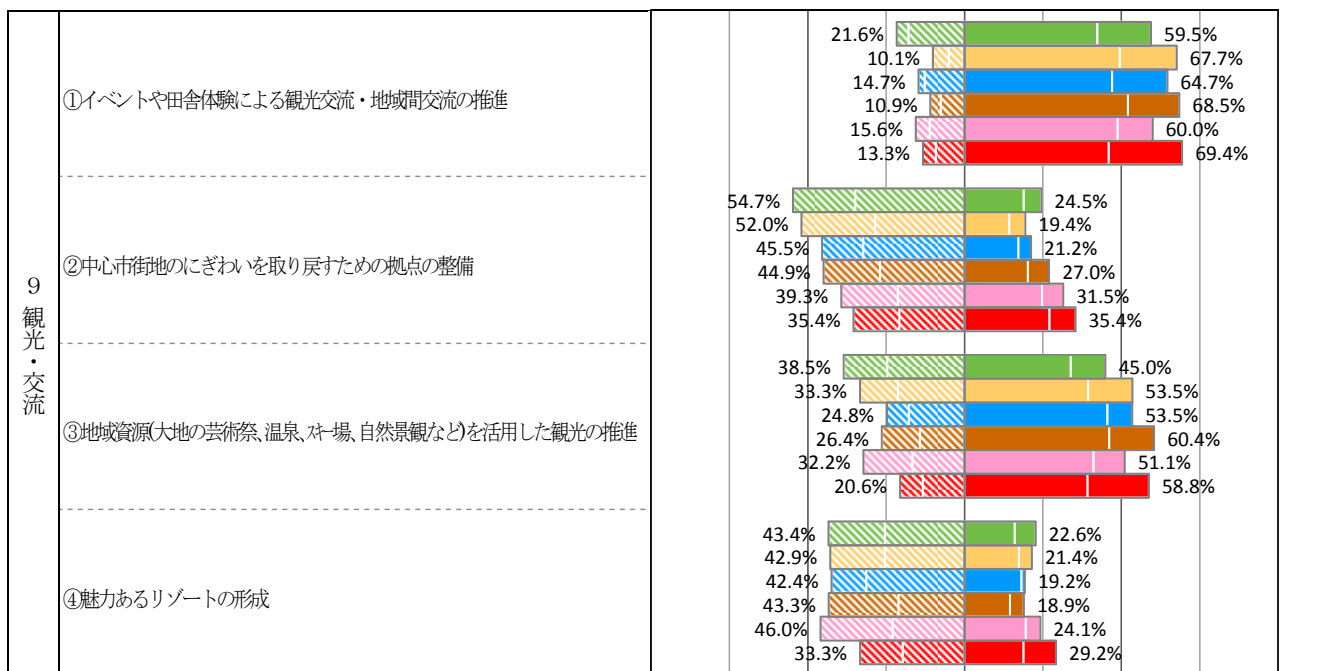
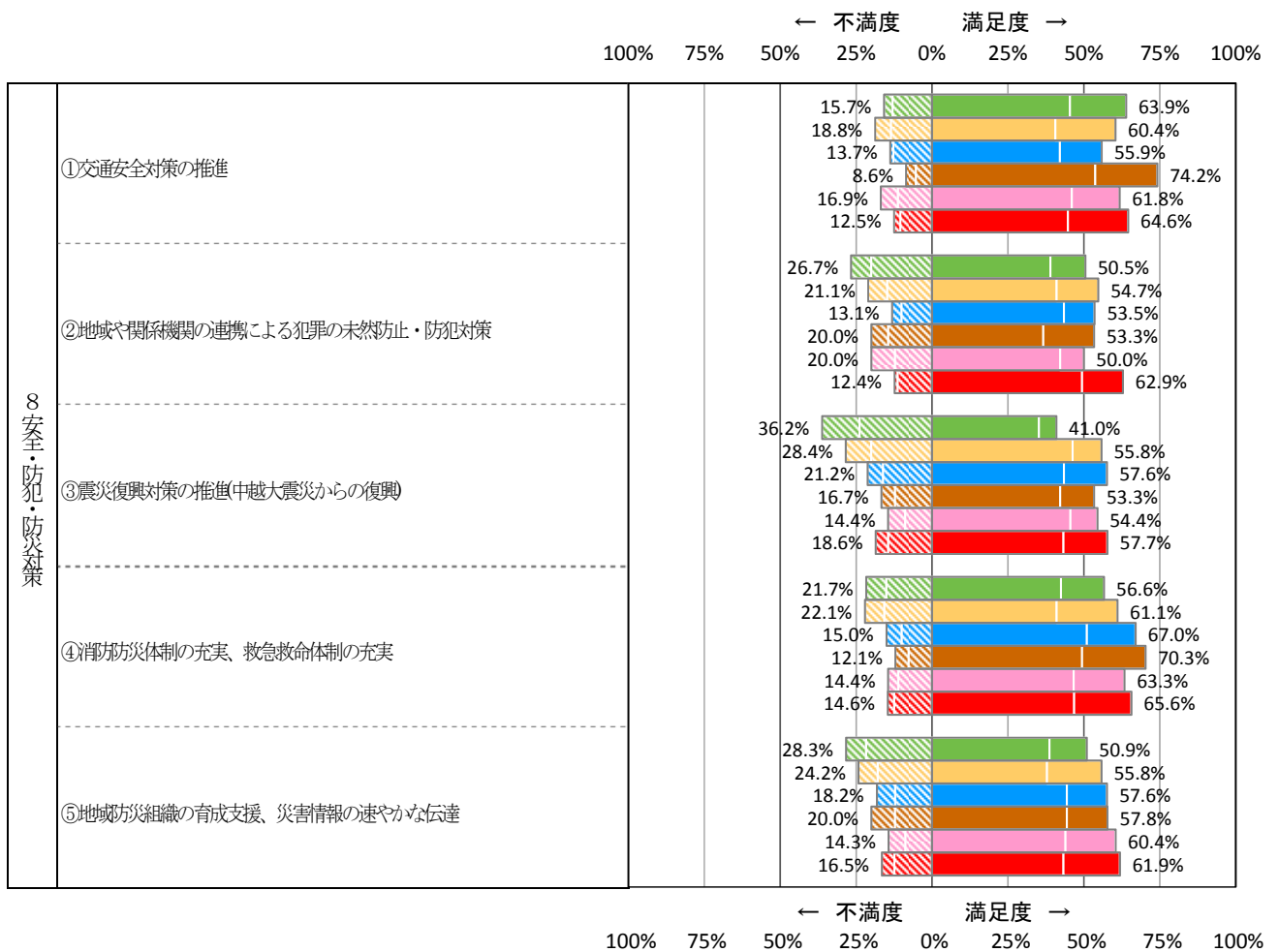
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



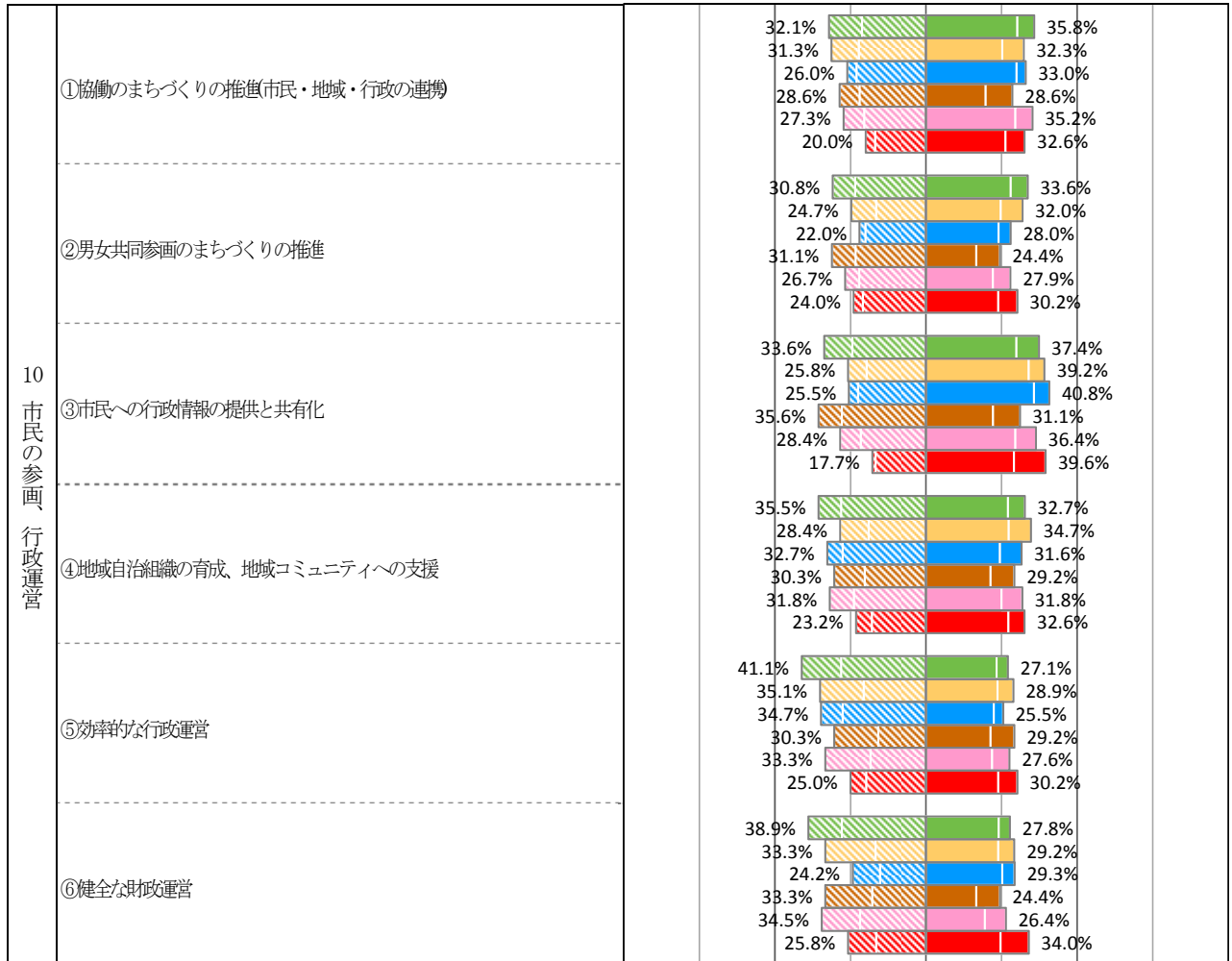
12. 松代

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

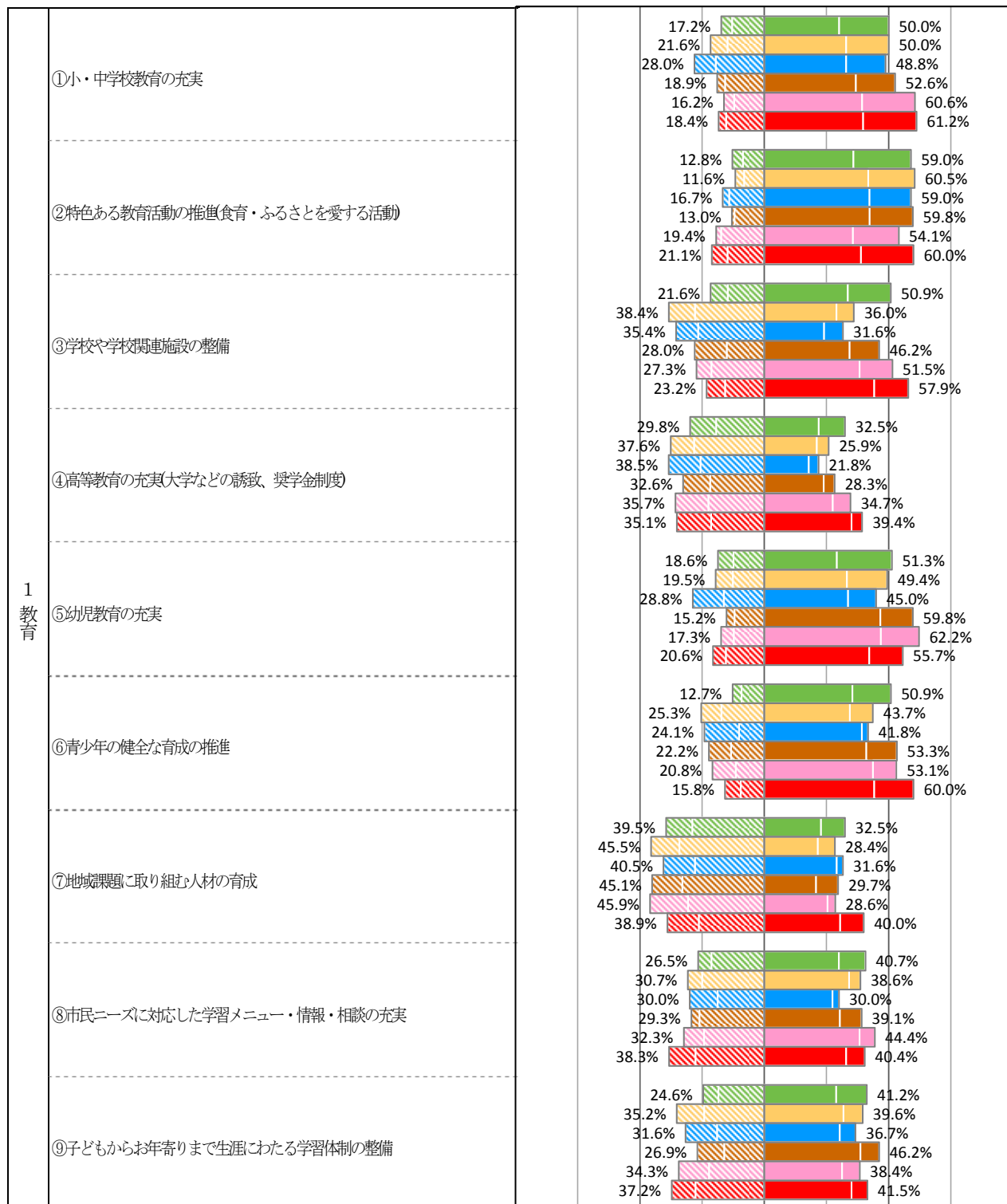
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



13. 松之山

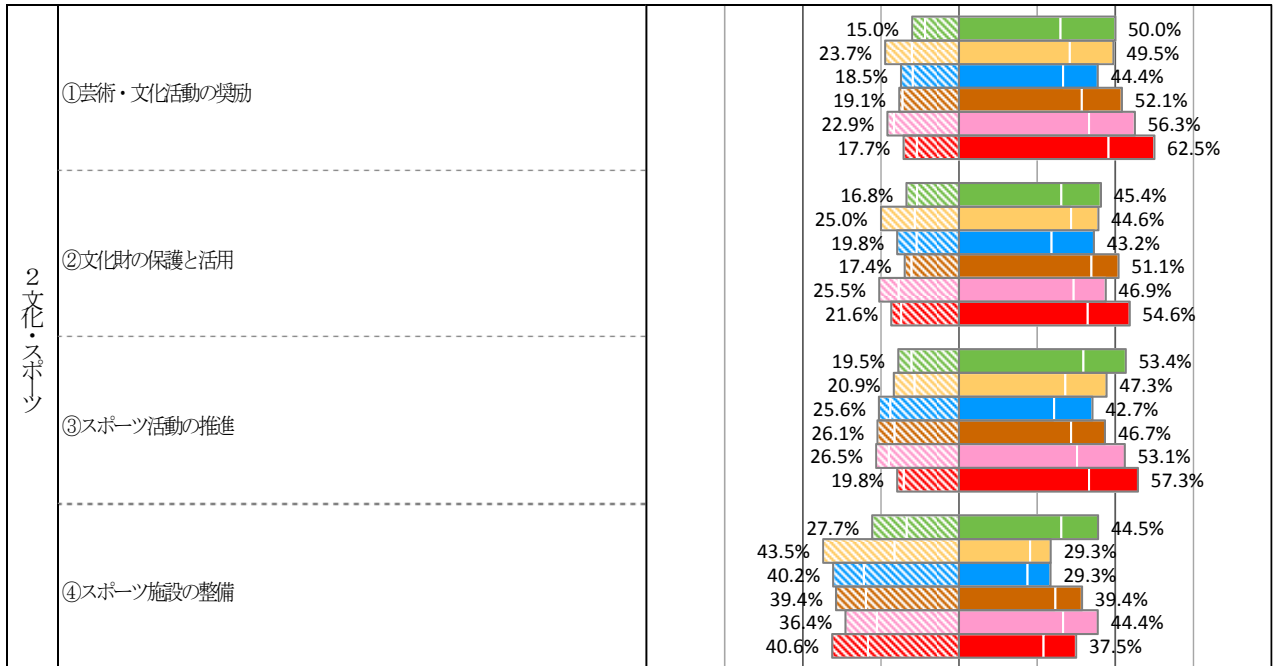
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%

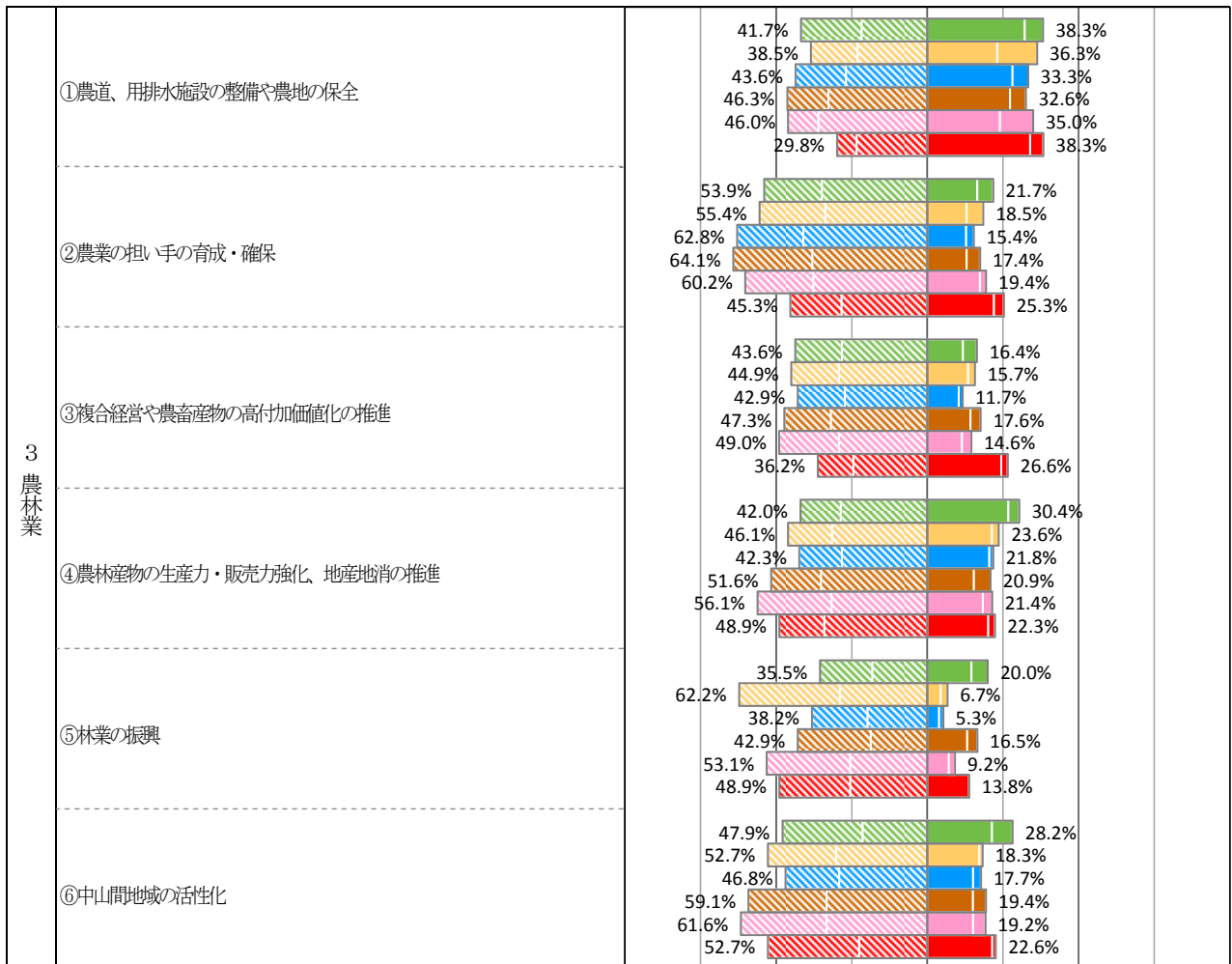


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



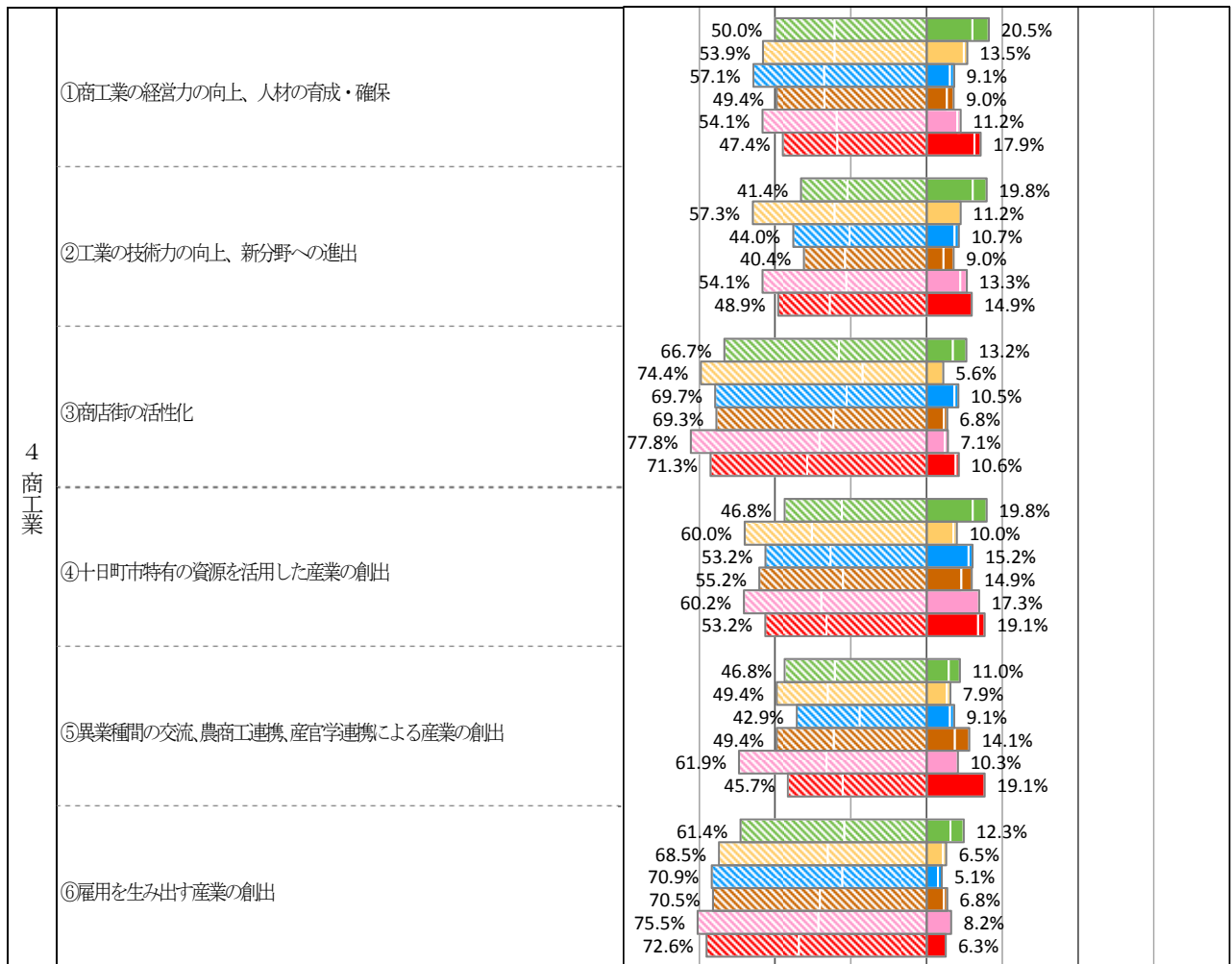
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



13. 松之山

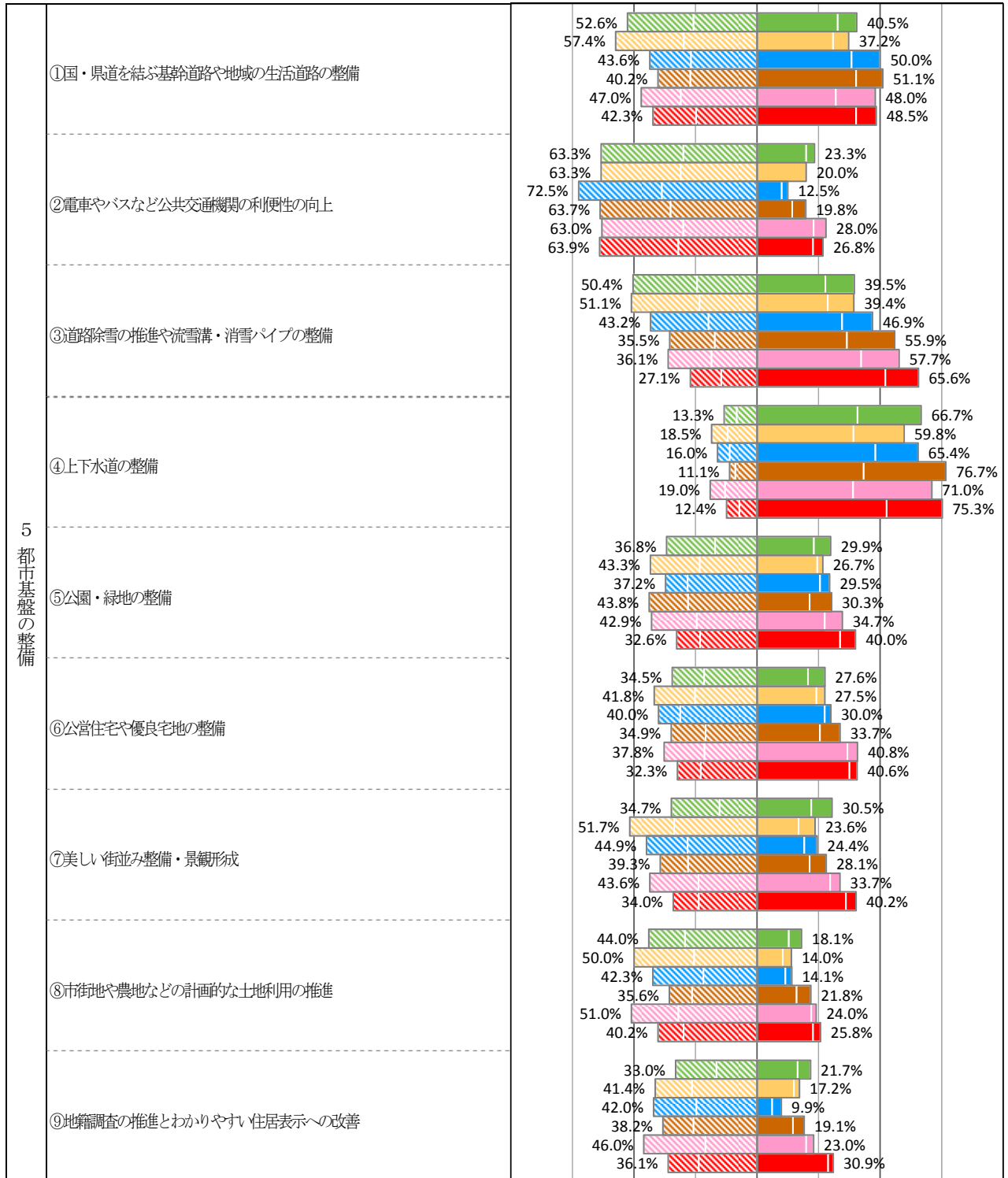
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満足 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

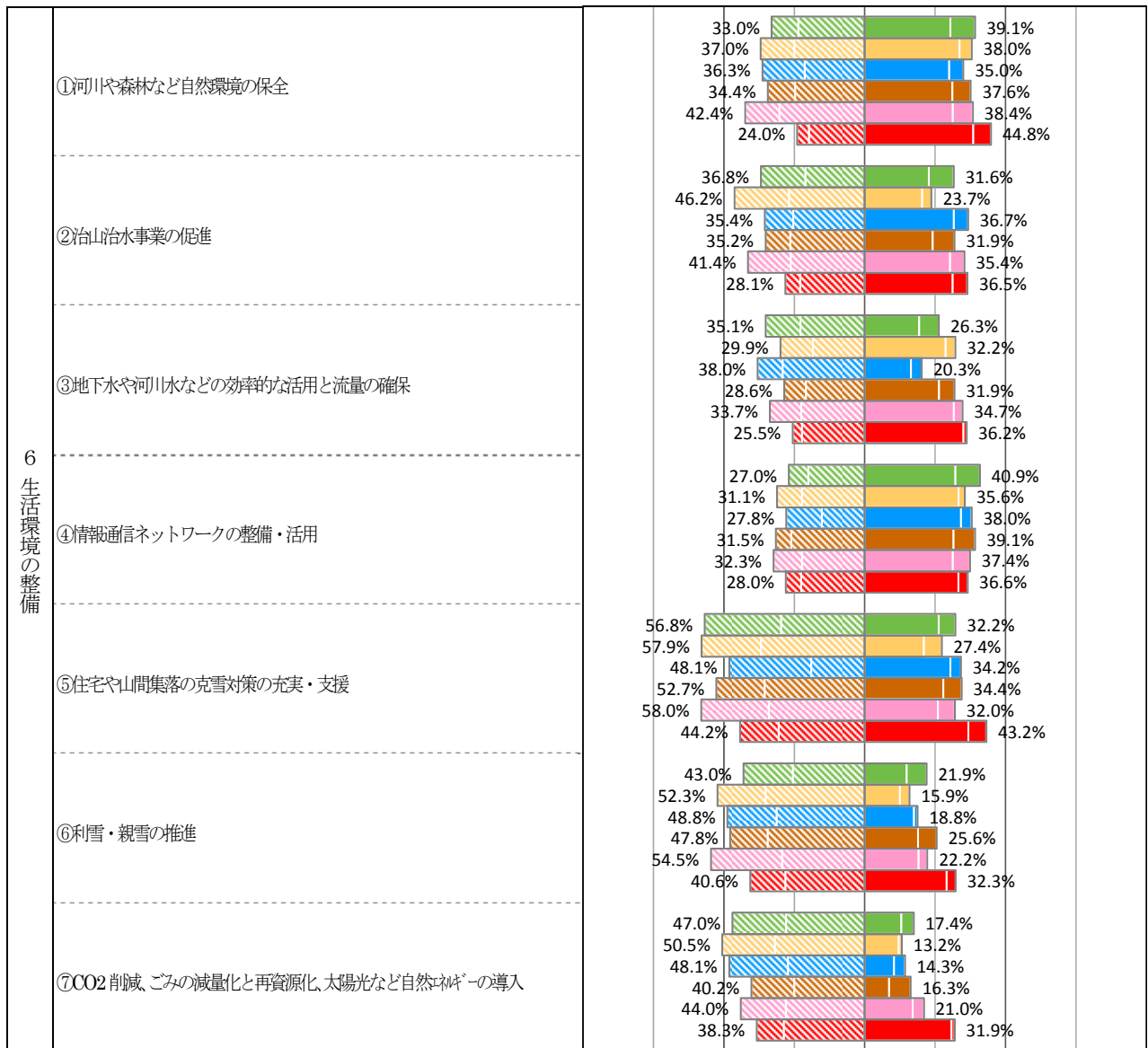
← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



13. 松之山

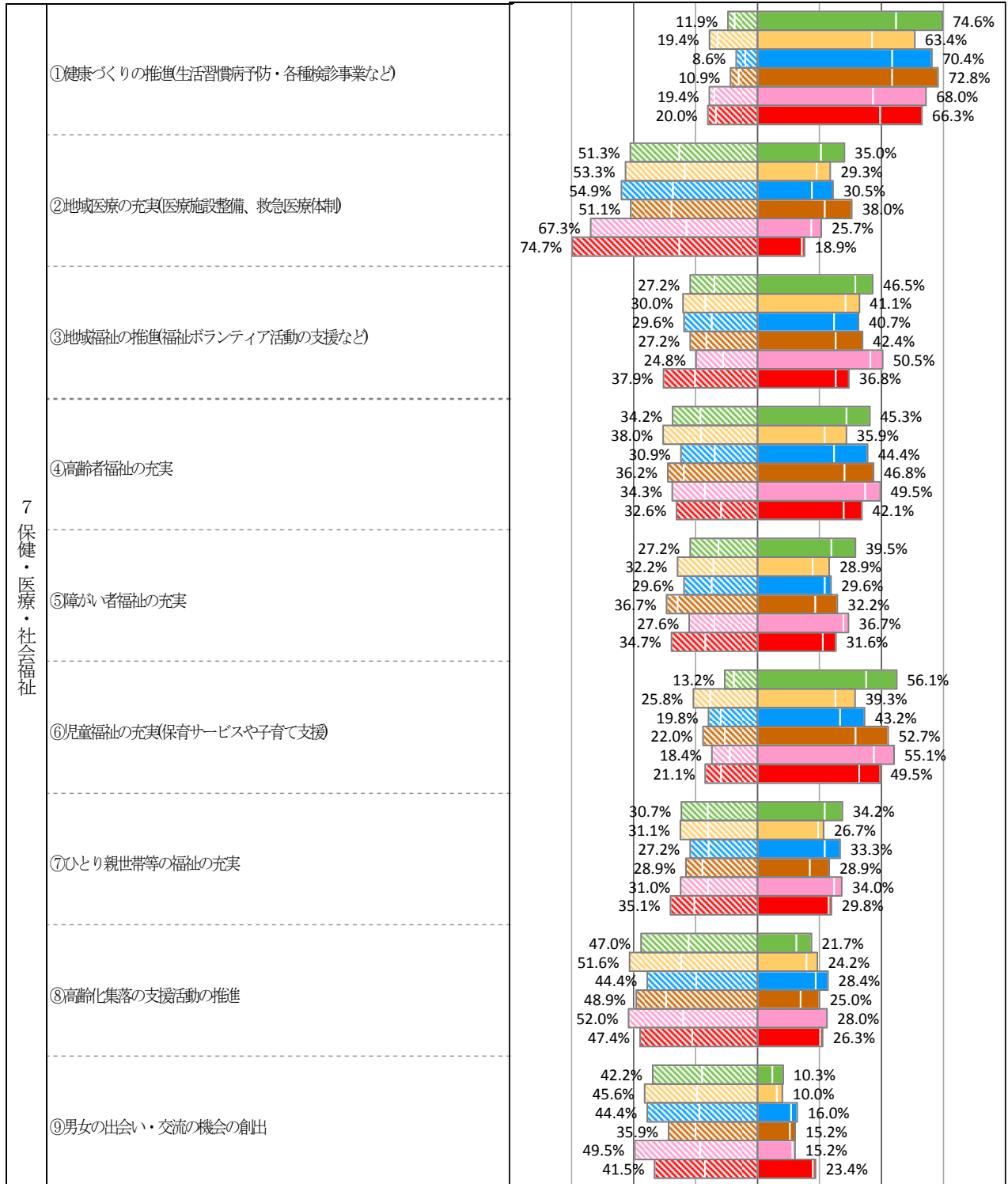
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



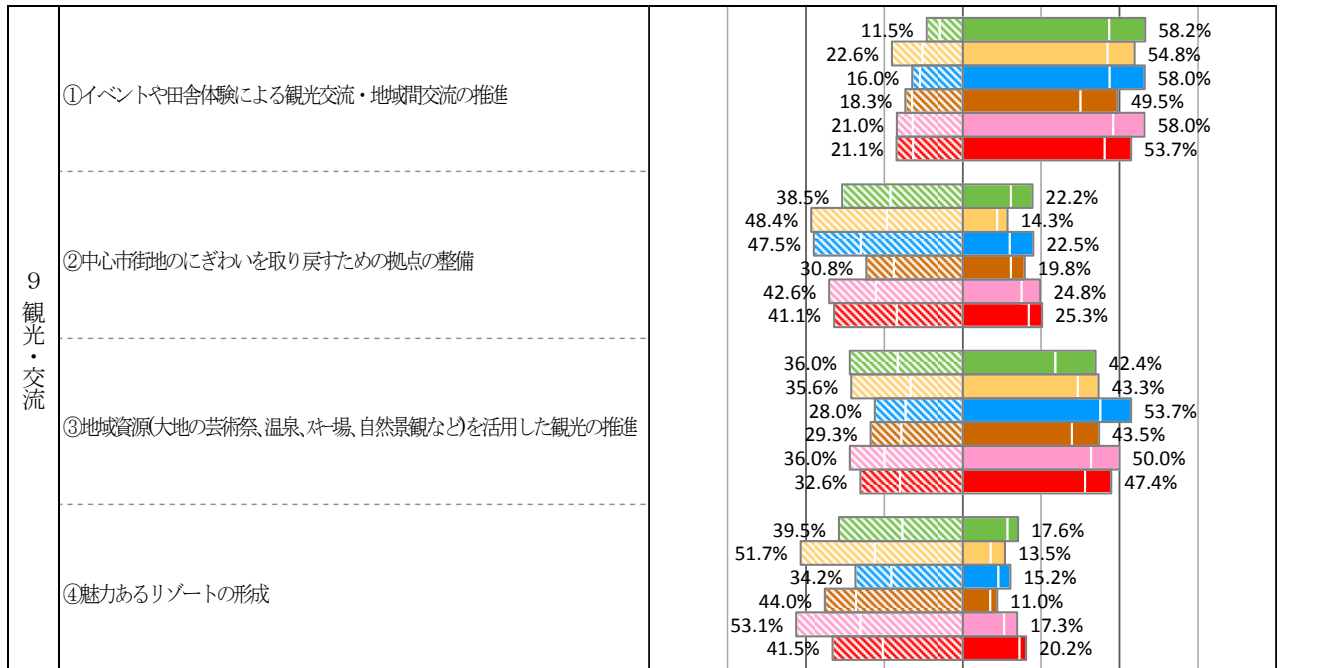
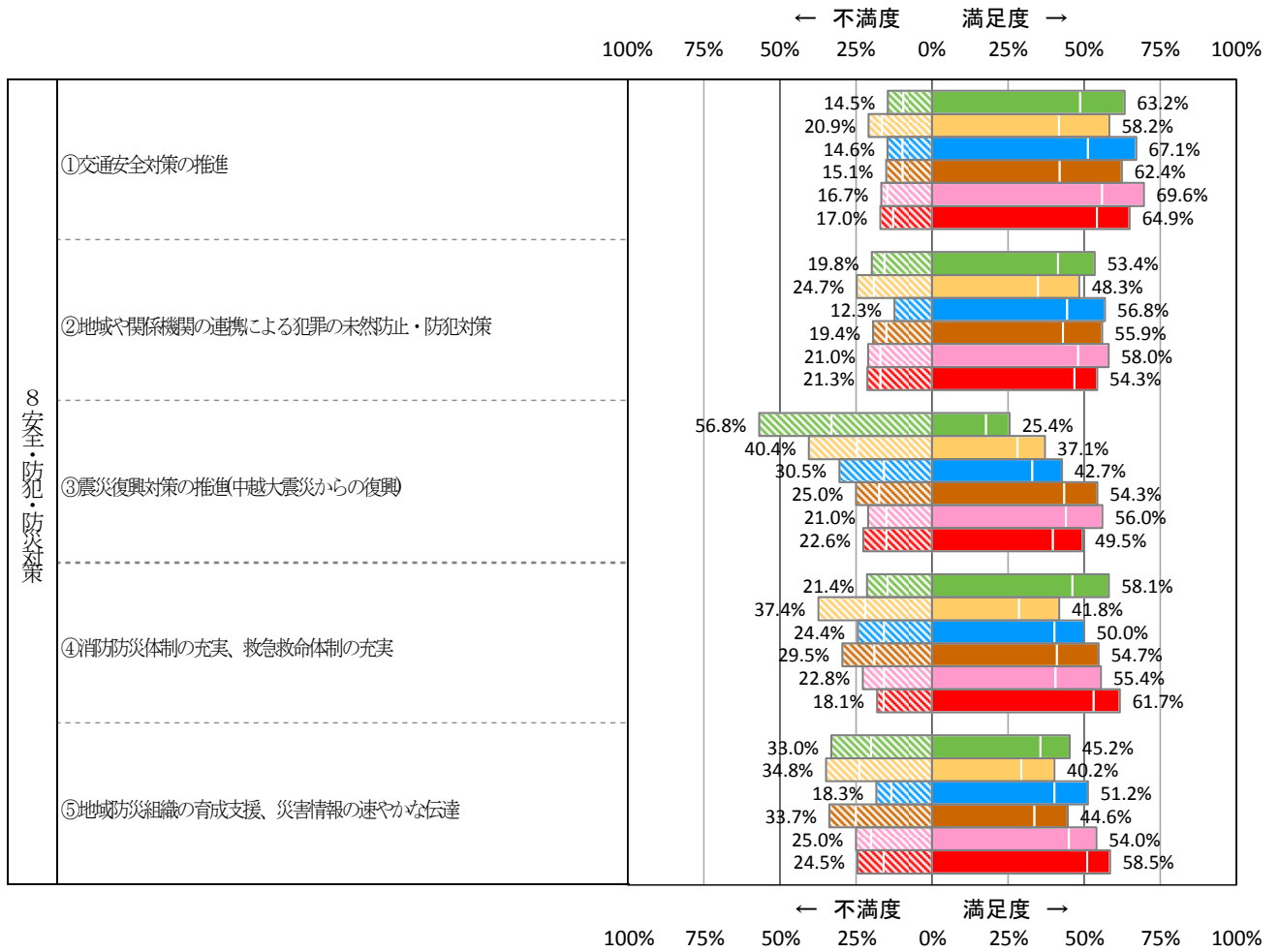
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



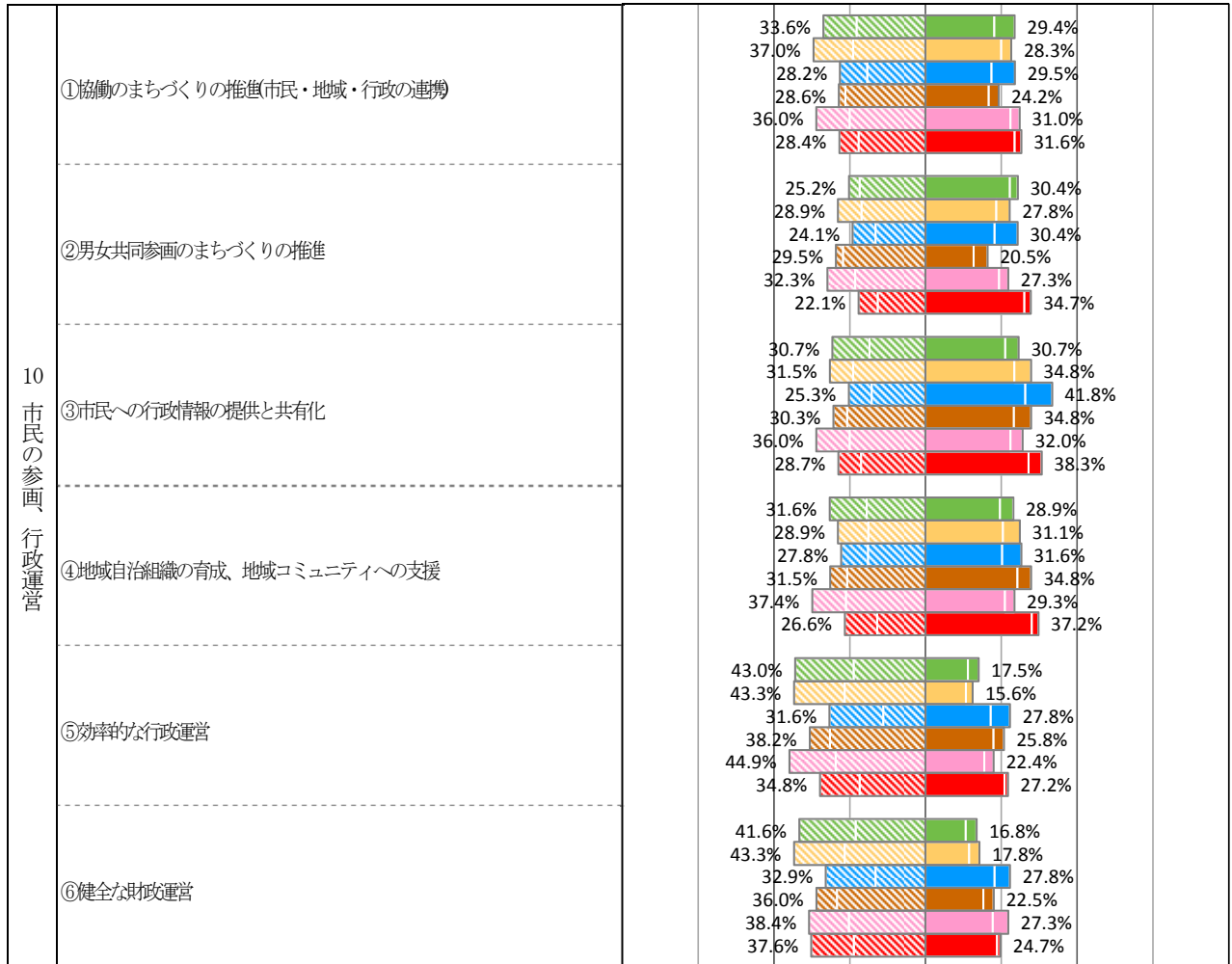
13. 松之山

■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

← 不満度 満足度 →
100% 75% 50% 25% 0% 25% 50% 75% 100%



Ⅲ. 十日町市のまちづくりについて（重要度について）

問3 あなたは、今後の十日町市のまちづくりにとって、どの取組を重点的に行うべきだと思いますか？

とくに市が力を入れて取り組むべきだと思うものを次の65の項目の中から10項目まで選んで、番号に○をつけてください。

【全体の傾向】

重要度が高いと評価された項目は、順に「4⑥雇用を生み出す産業の創出」、「7②地域医療の充実」、「7④高齢者福祉の充実」、「3②農業の担い手の育成・確保」、「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」である。

【年齢別集計】

全体の傾向で重要度が高かった項目以外では、年代によって重要度が高い項目（有効回答者数に対する割合）は、順に『70歳代』の「5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備」、『20歳代』、『30歳代』の「4③商店街の活性化」、『40歳代』の「1④高等教育の充実」である。

その他、年代によって重要度に差が生じた項目は、順に『30歳代』と『70歳代』の「7④高齢者福祉の充実」、『20歳代』と『50歳代』の「4⑥雇用を生み出す産業の創出」、『20歳代』と『70歳代』の「1③学校や学校関連施設の整備」である。

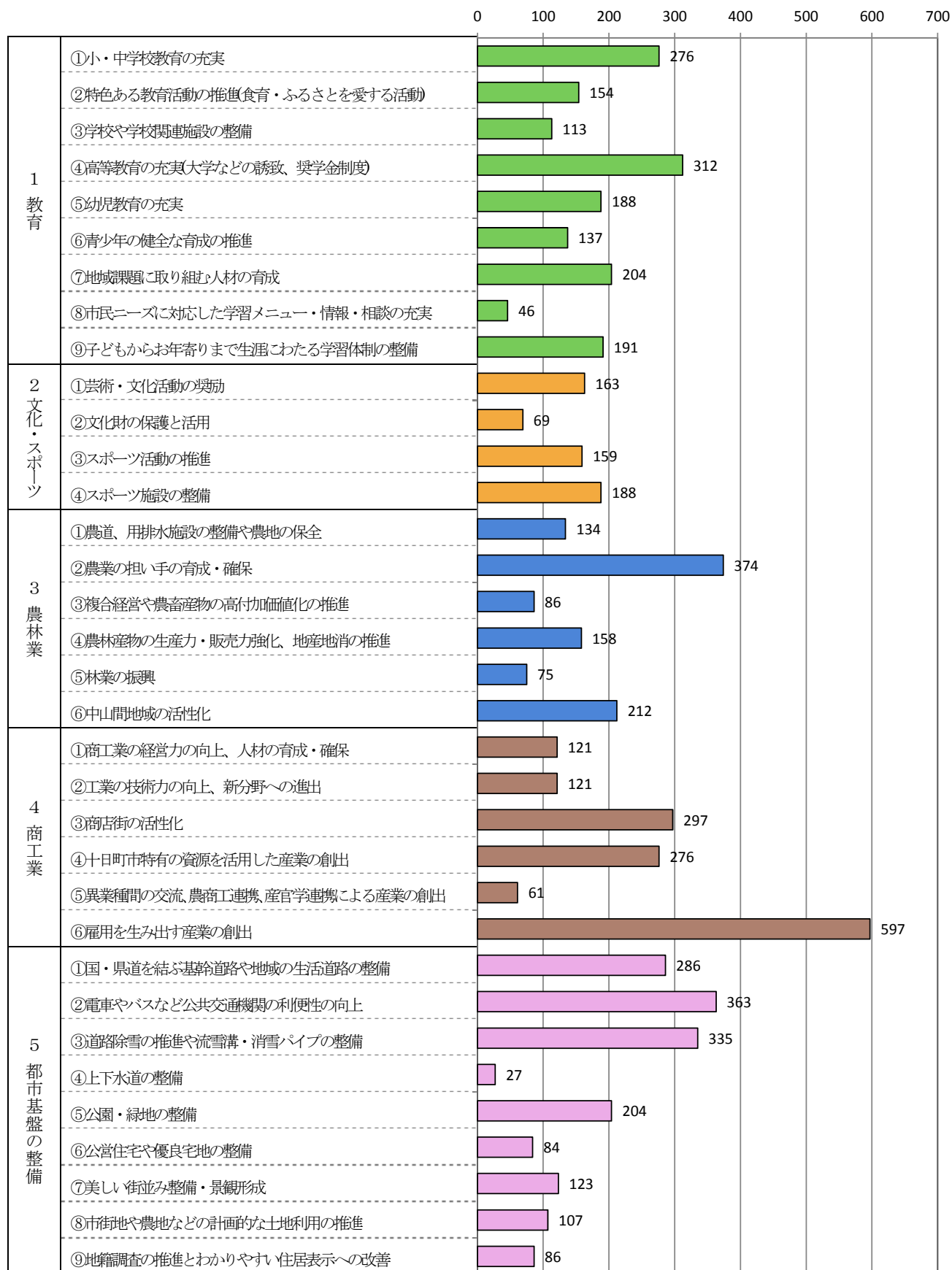
【地域別集計】

全体の傾向で重要度が高かった項目以外では、地域によって重要度が高い項目（有効回答者数に対する割合）は、順に『松之山』の「7⑧高齢化集落の支援活動の推進」、『大井田』の「1④高等教育の充実」、『松之山』の「3⑥中山間地域の活性化」、『下条』の「5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備」である。

その他、地域によって重要度に差が生じた項目は、順に『西部』と『松之山』の「3⑥中山間地域の活性化」、『川治・六箇』と『大井田』の「7②地域医療の充実」、『西部』と『中里』の「6⑤住宅や山間集落の克雪対策の充実・支援」である。

【全体の傾向】

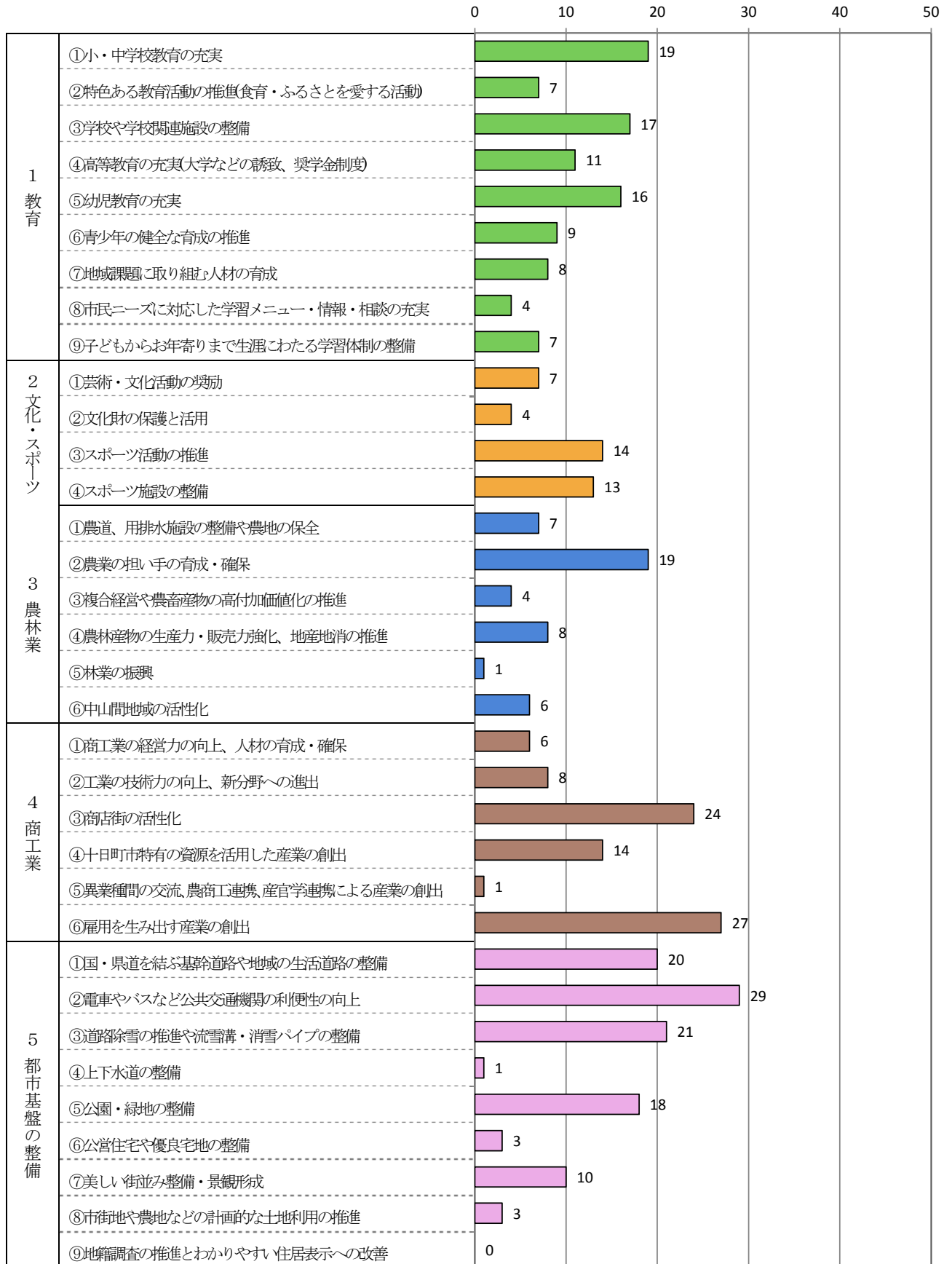
(有効回答者数：1,162人)

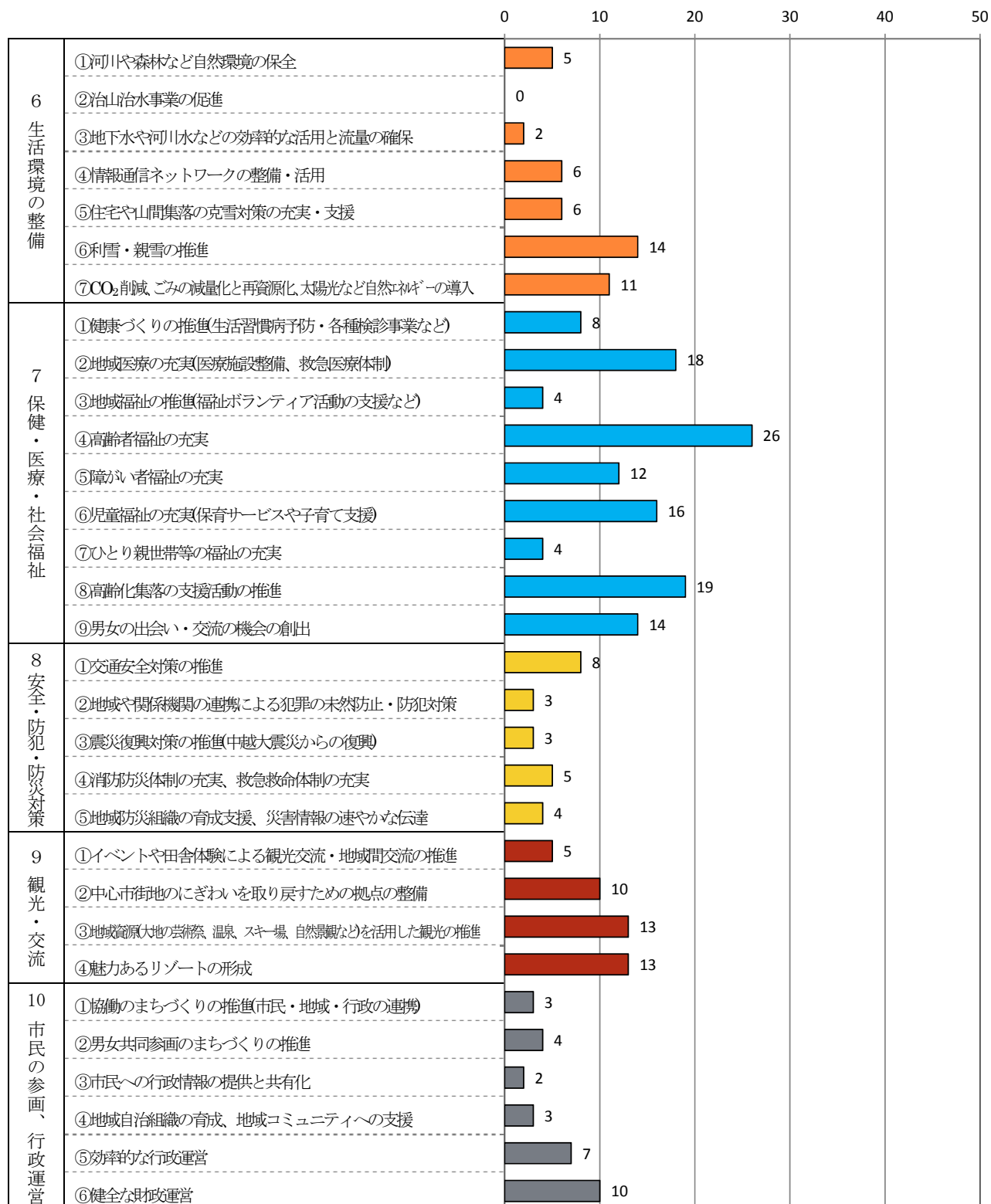




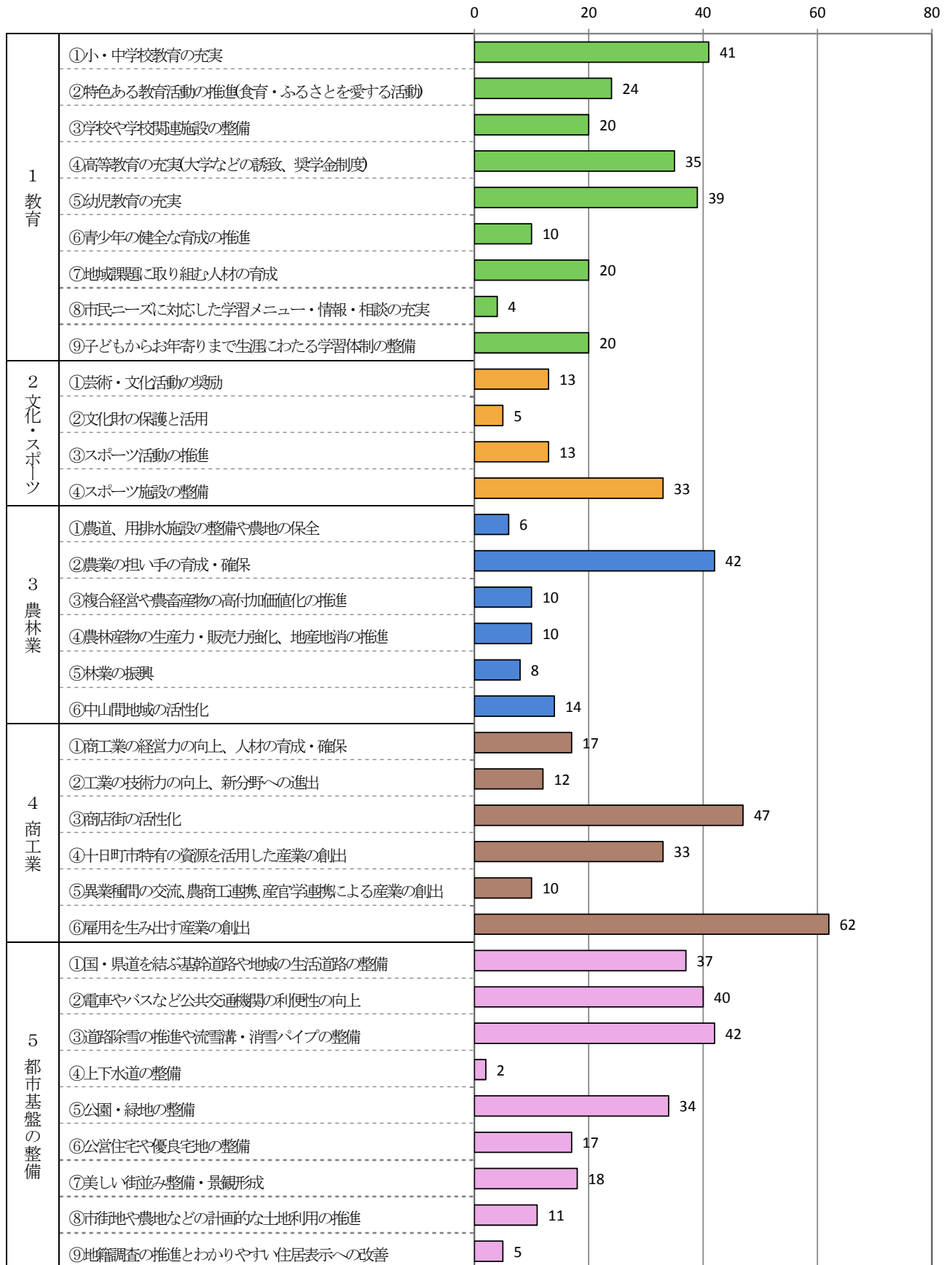
【年齢別集計】

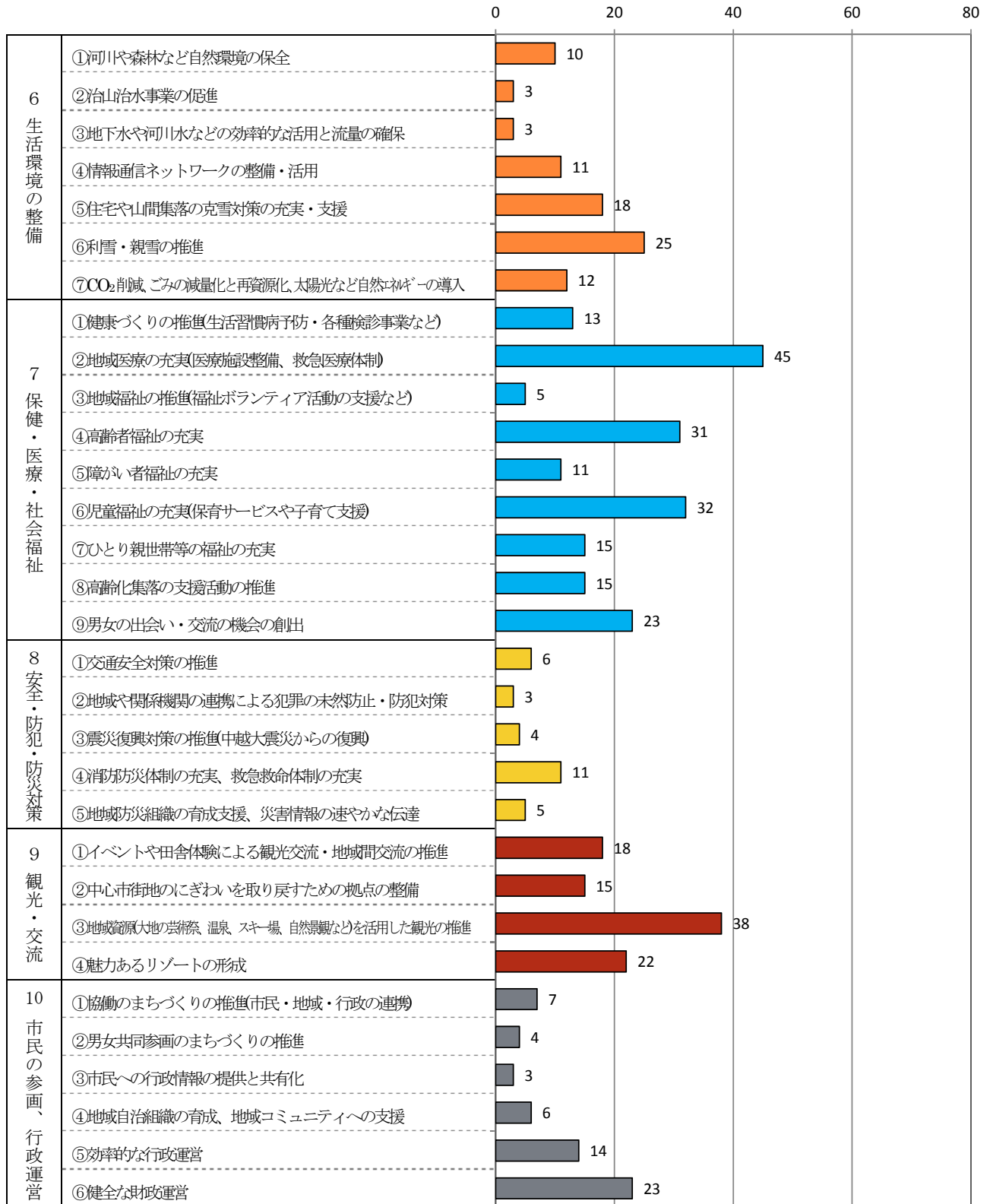
1. 20歳代（有効回答者数：69人）



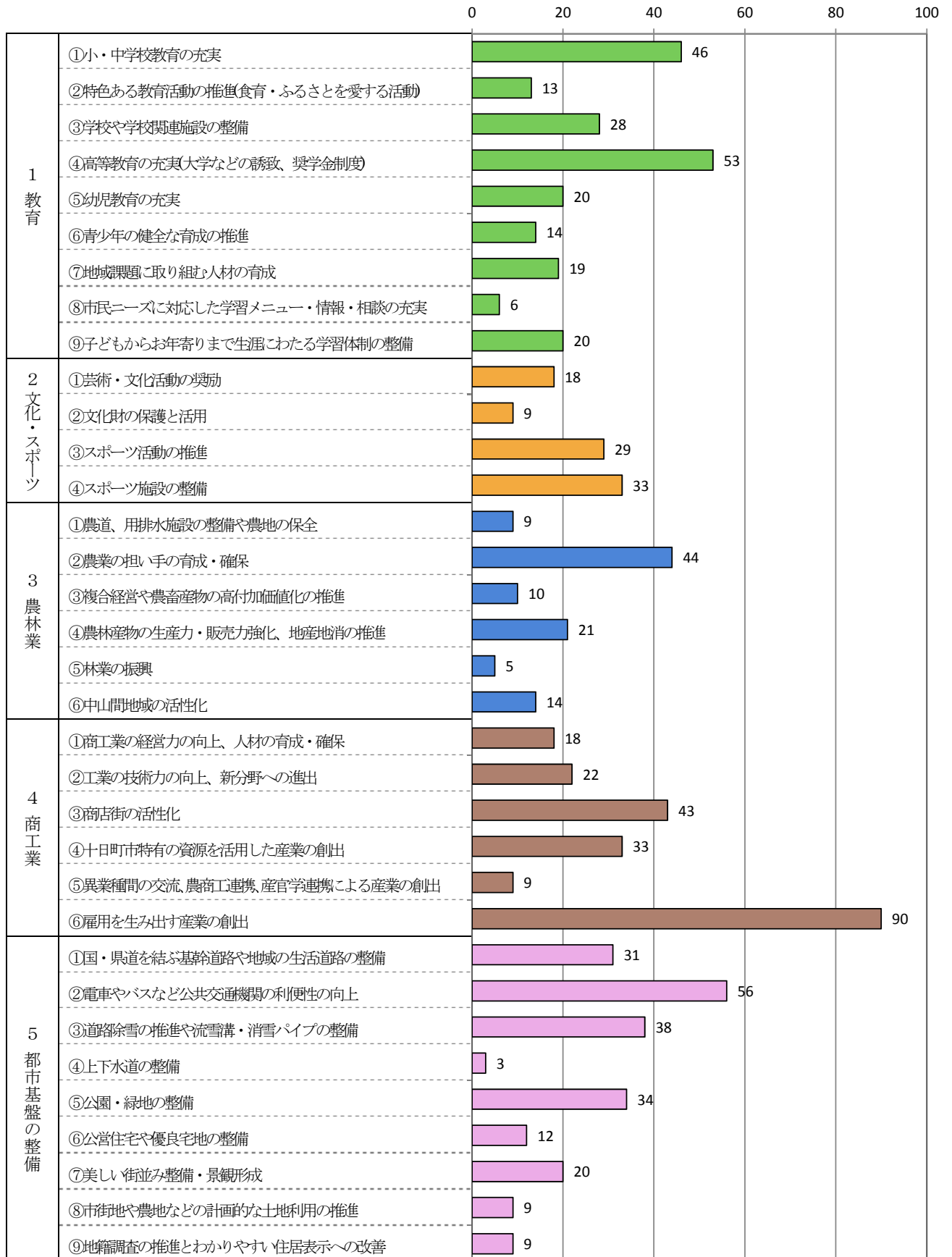


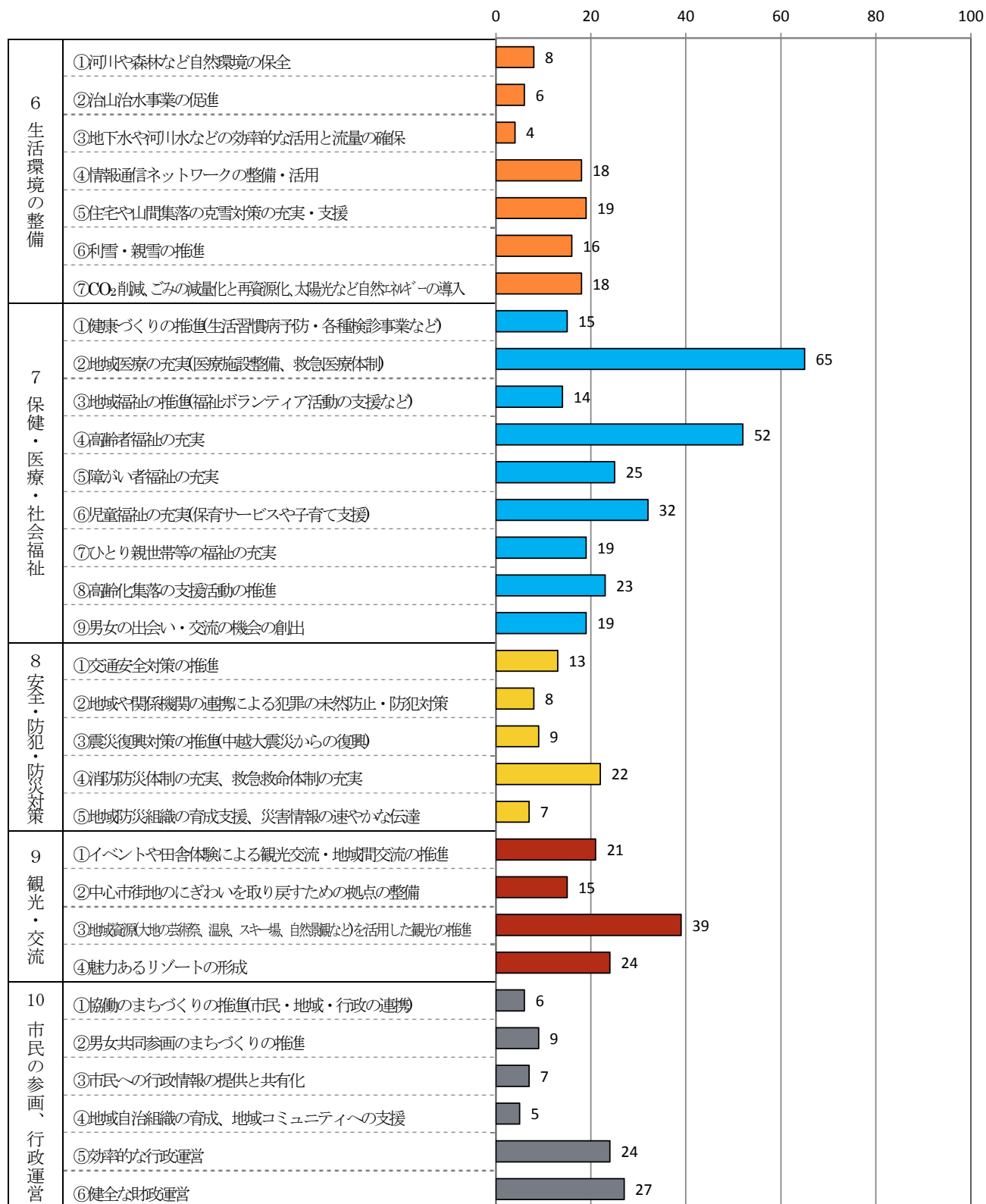
2. 30歳代（有効回答者数：132人）



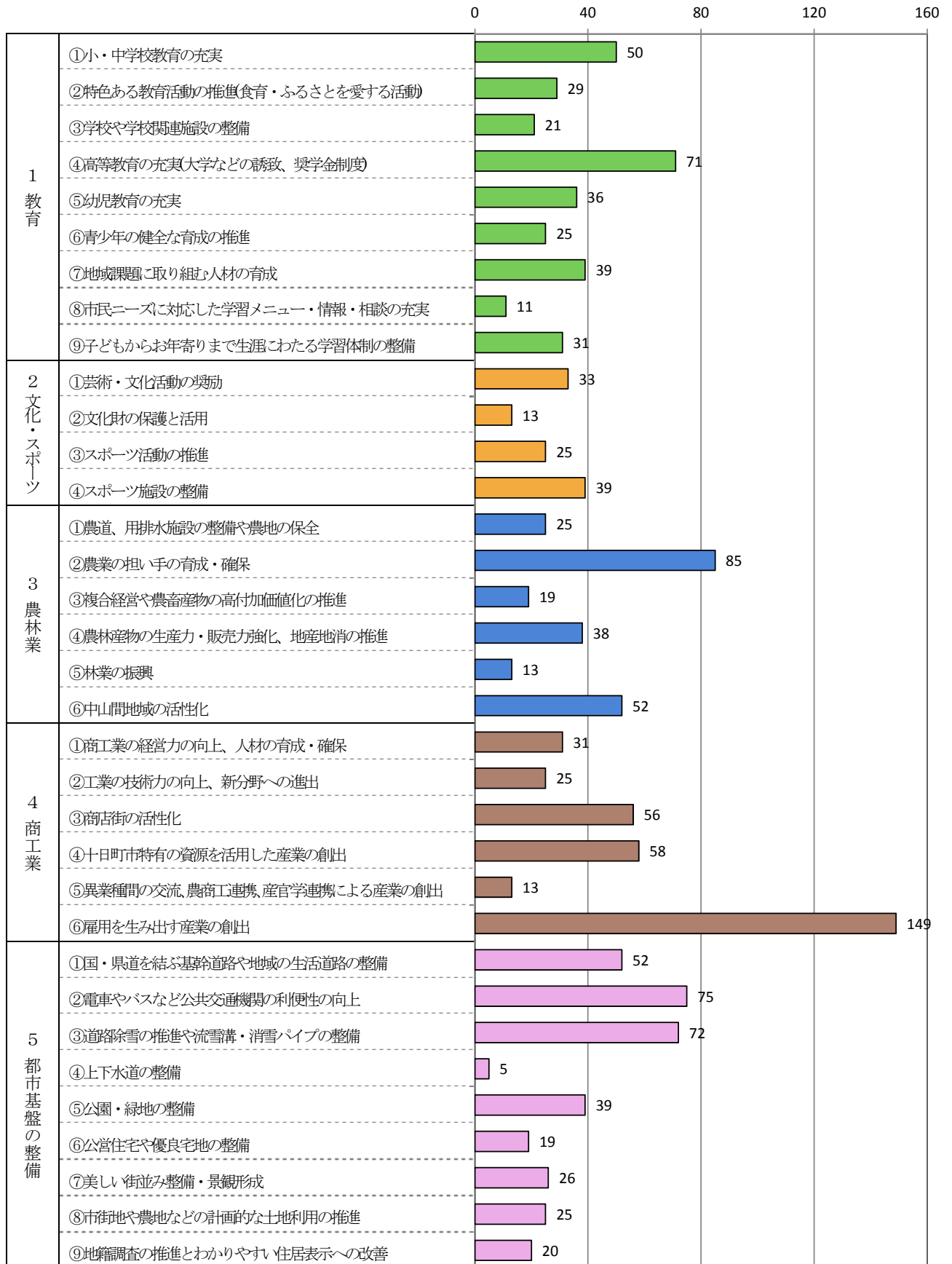


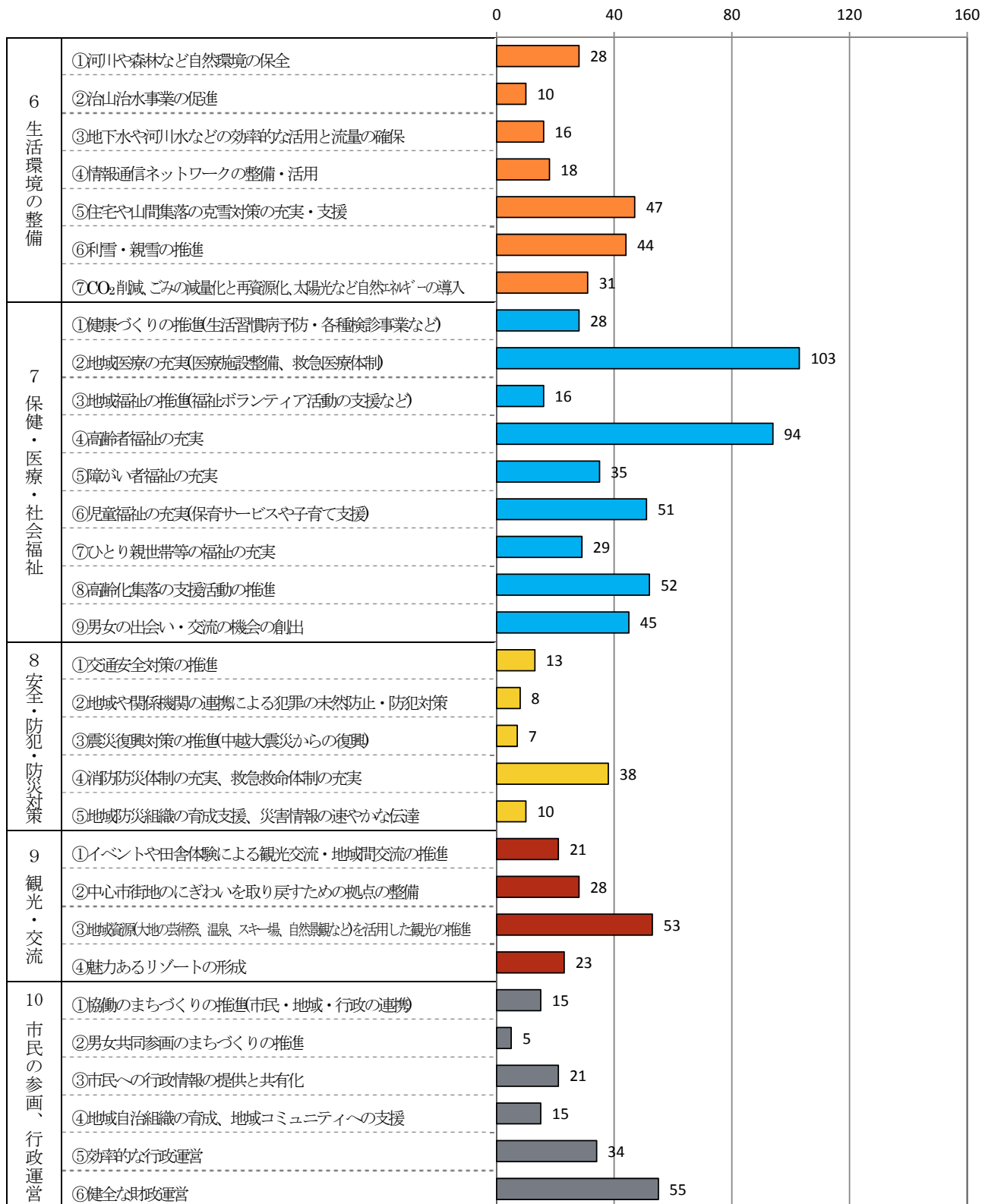
3. 40歳代（有効回答者数：159人）



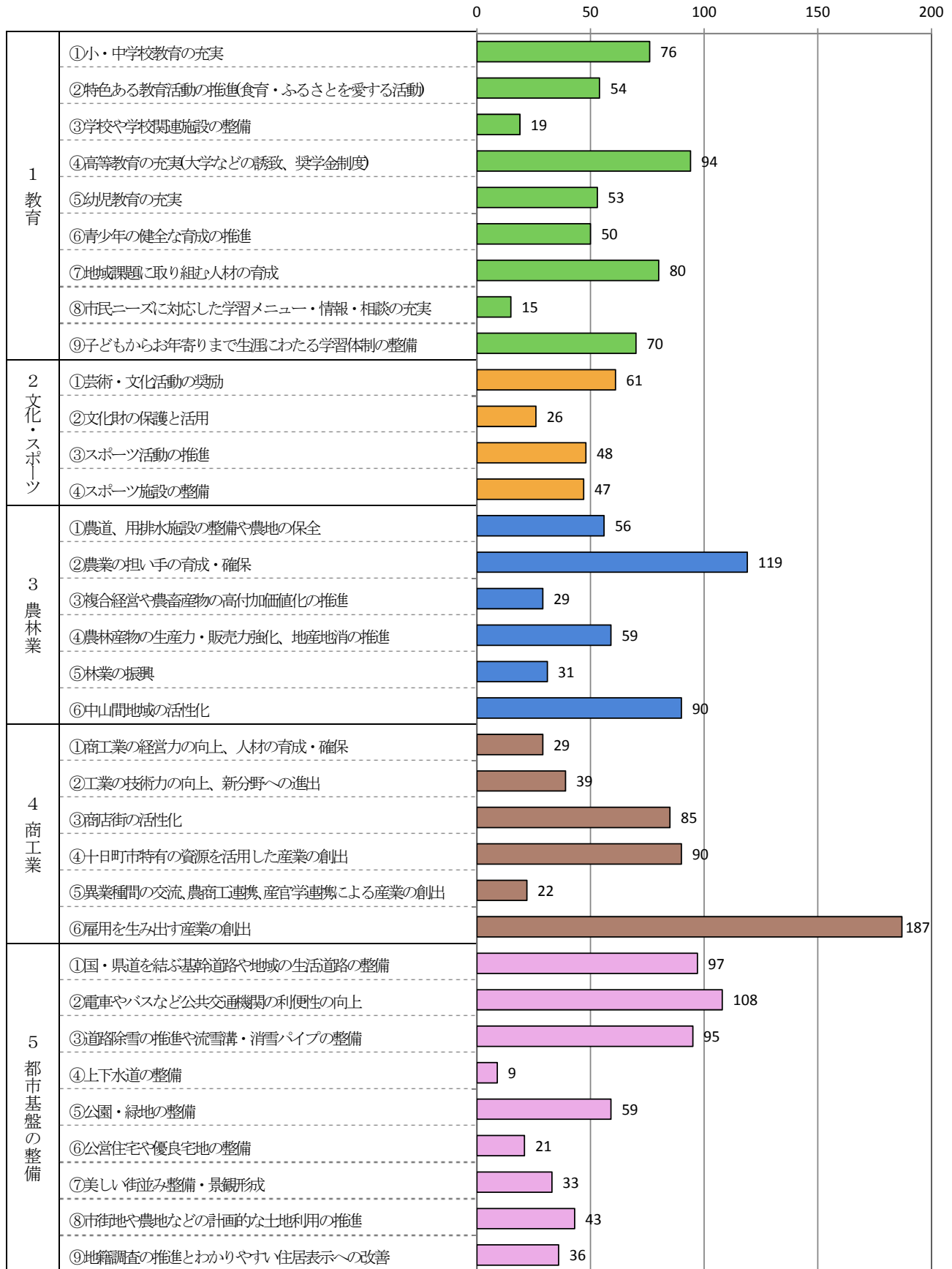


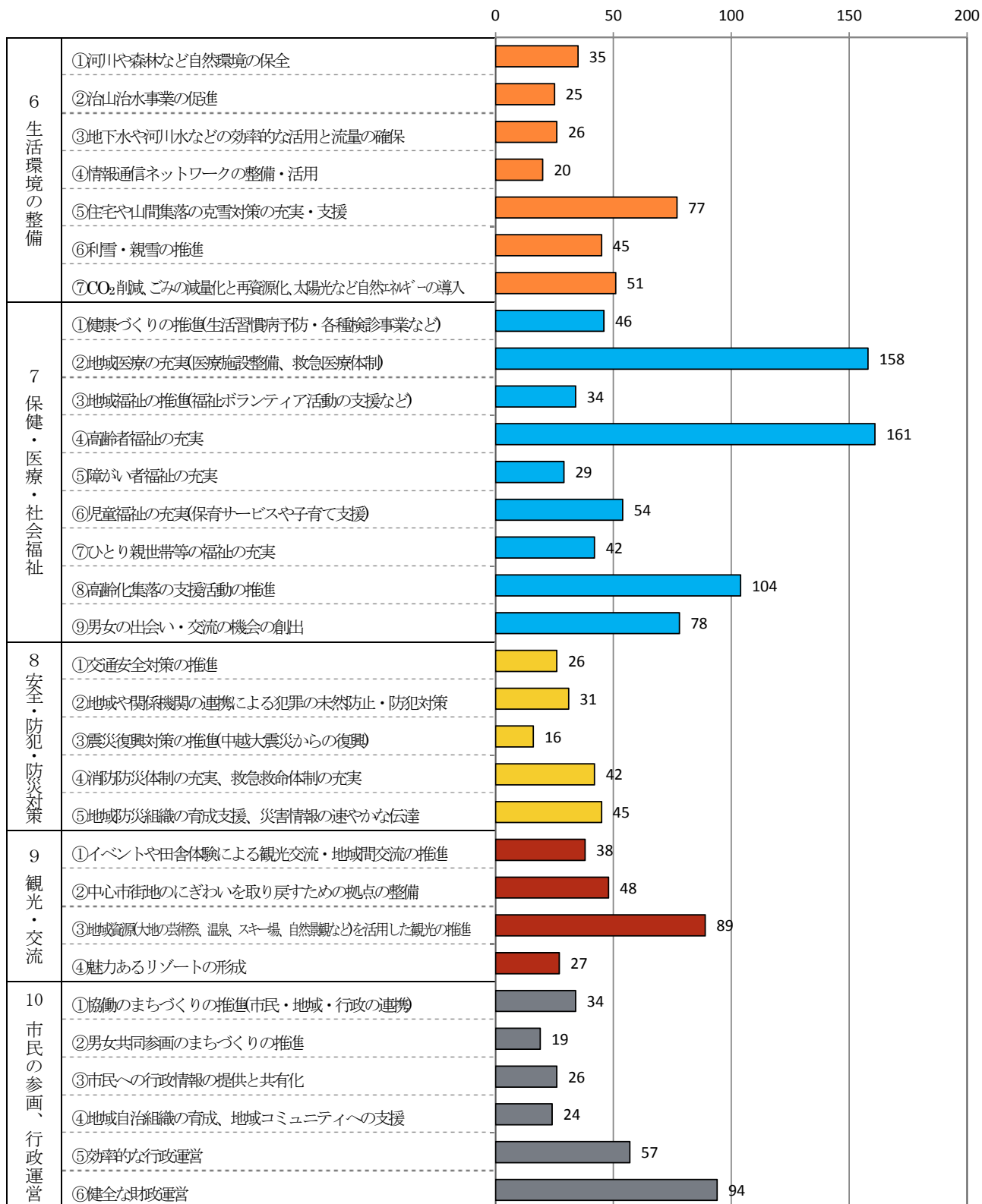
4. 50歳代（有効回答者数：248人）



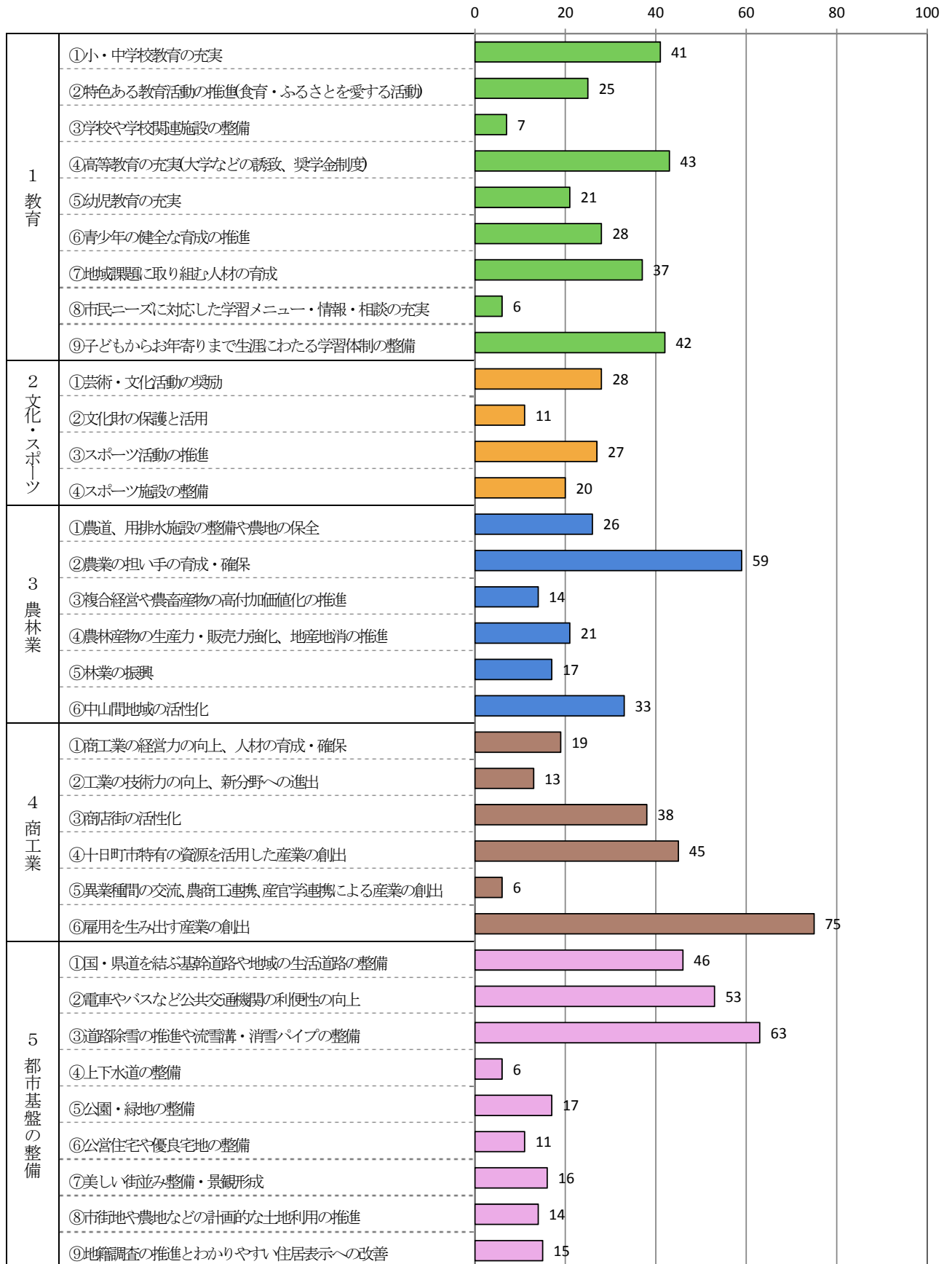


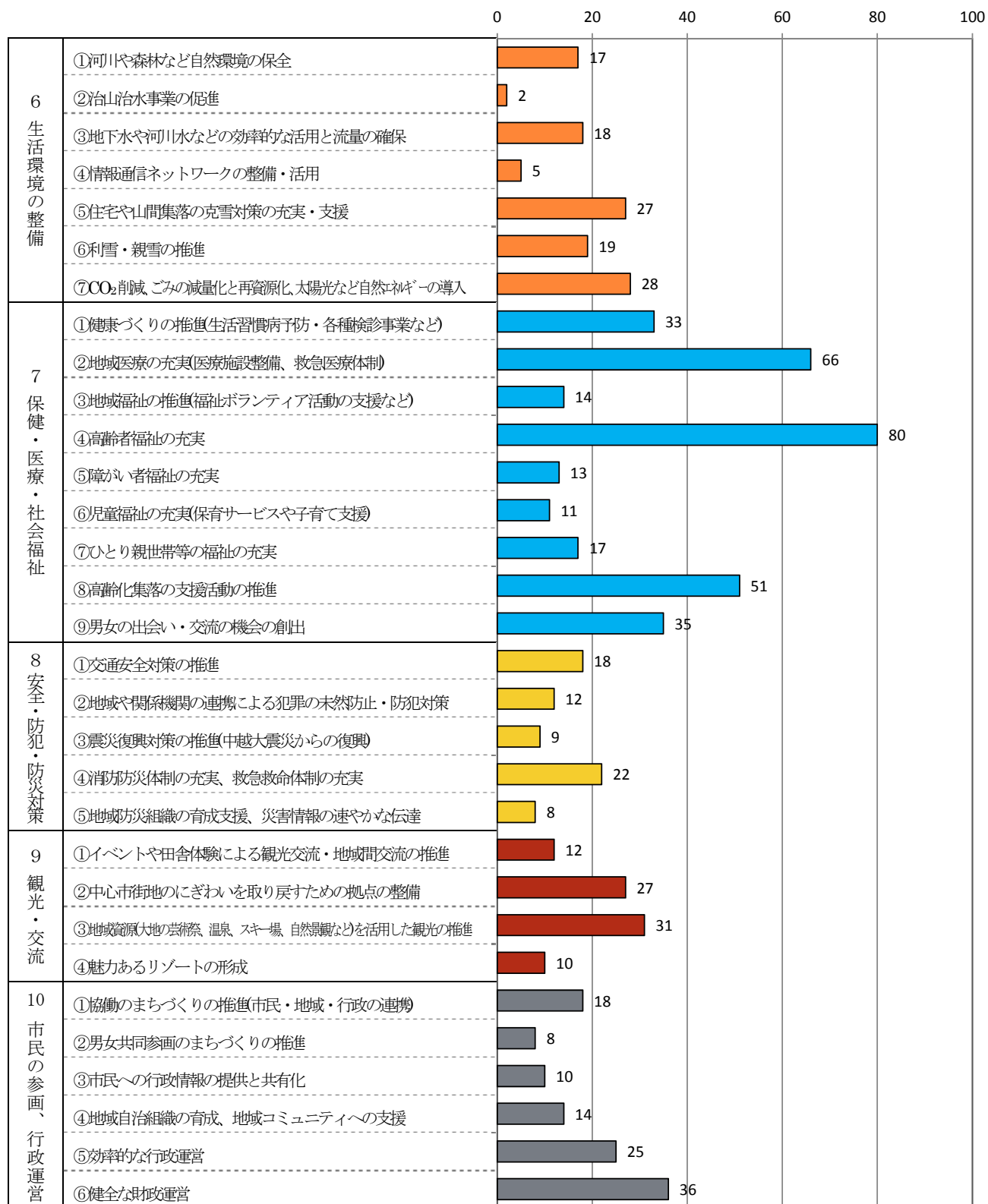
5. 60歳代（有効回答者数：376人）





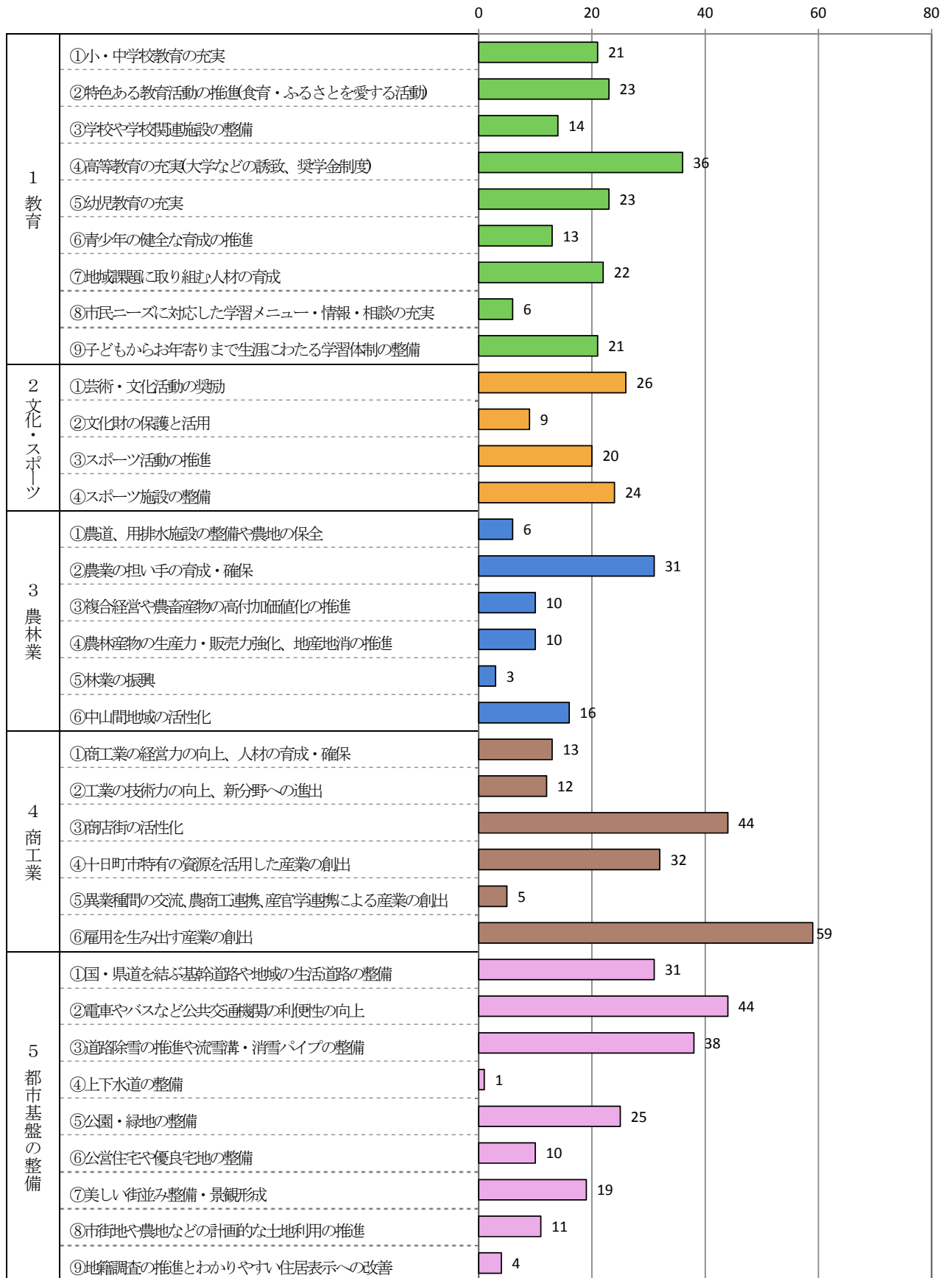
6. 70歳代（有効回答者数：168人）

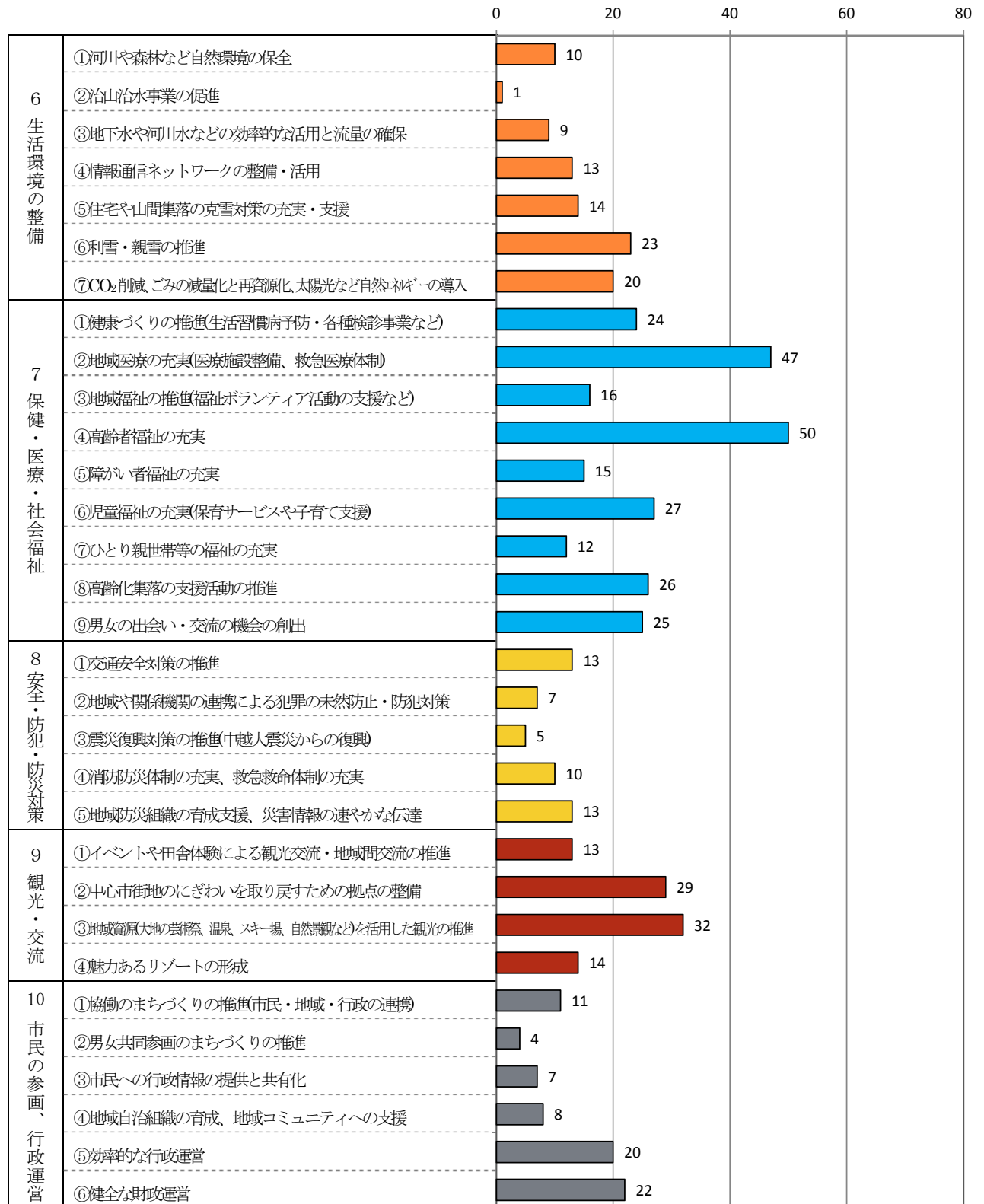




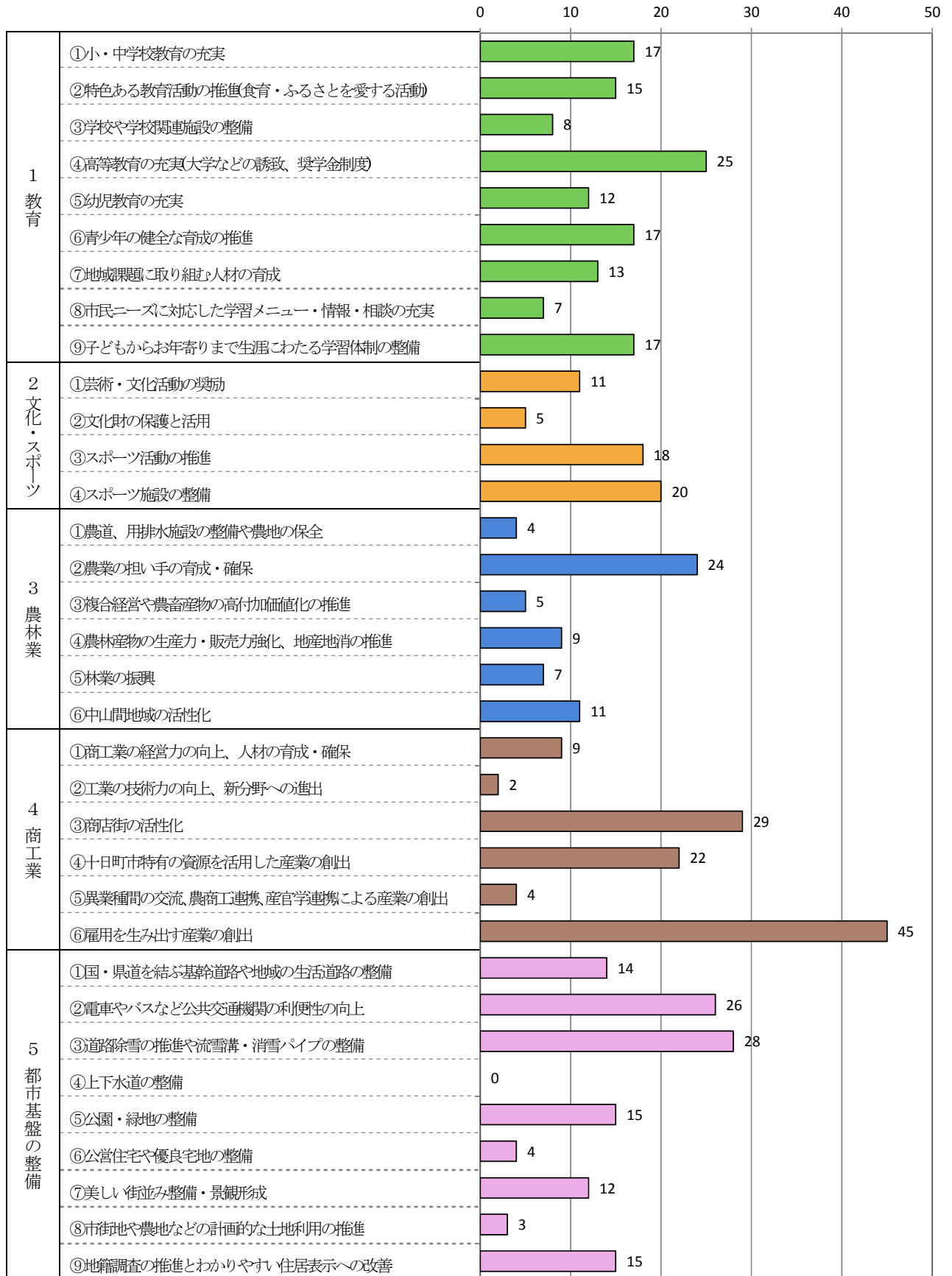
【地域別集計】

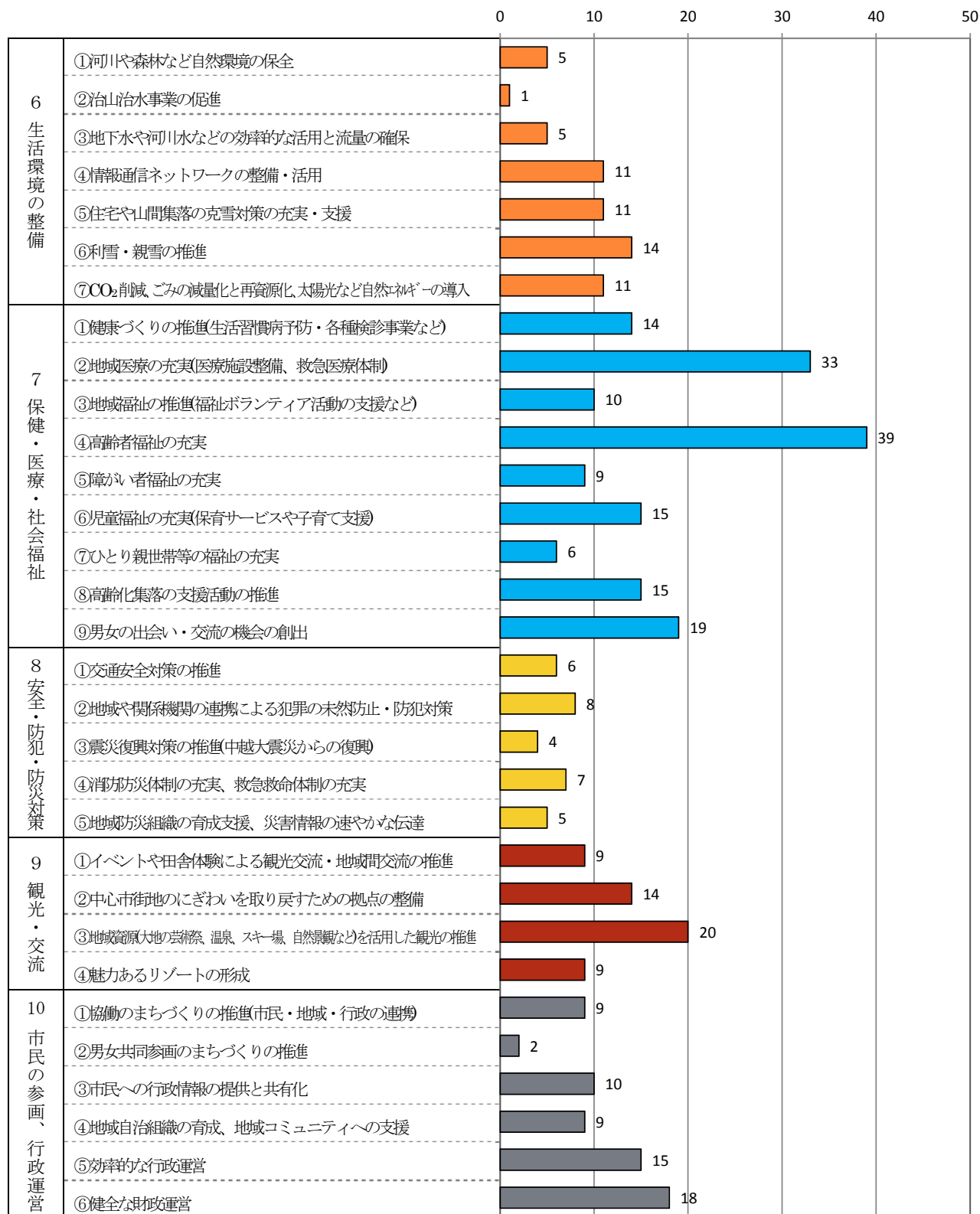
1. 十日町（十日町中学校区）（有効回答者数：131人）



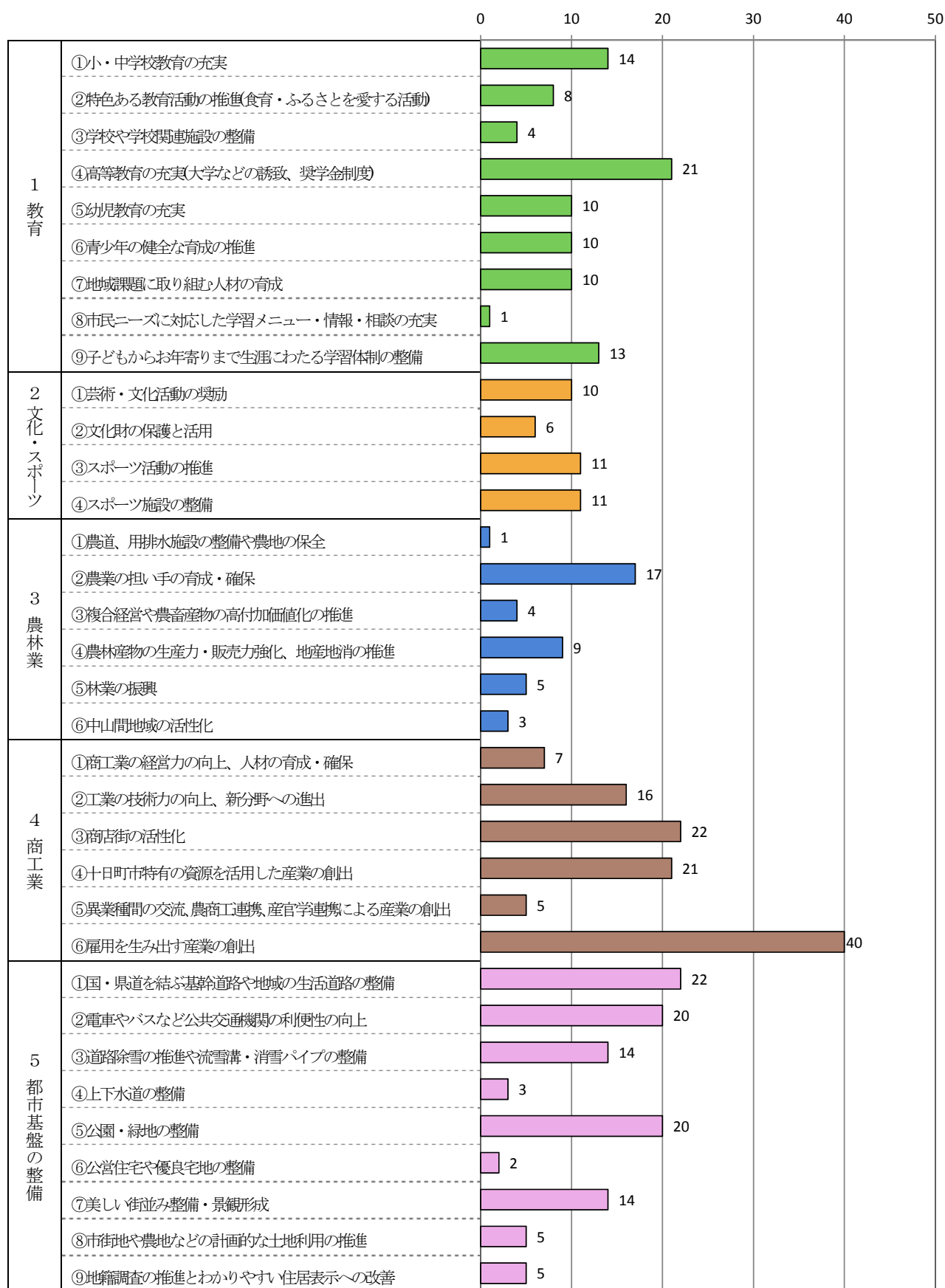


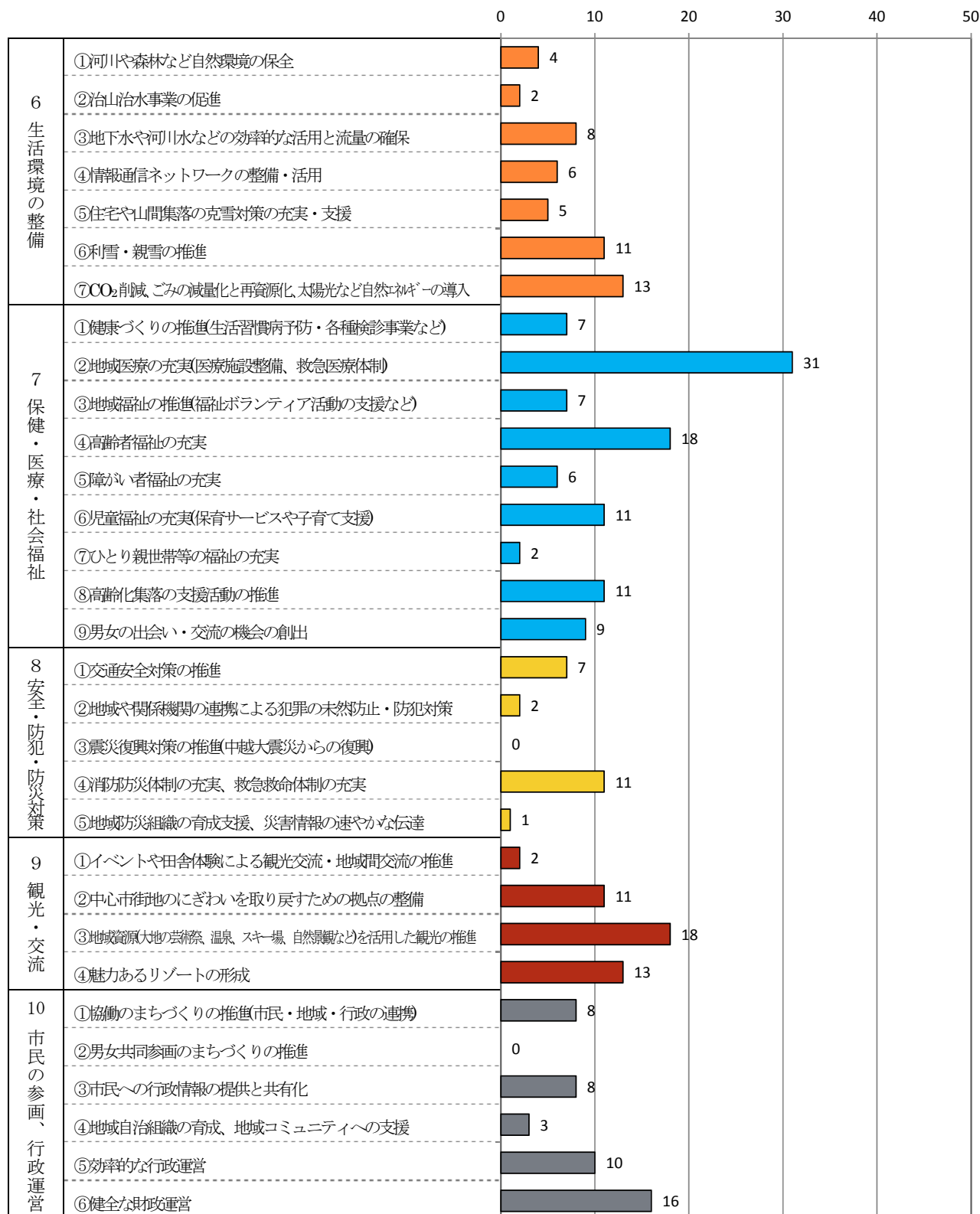
2. 高山（西小学校区の南部）（有効回答者数：85人）



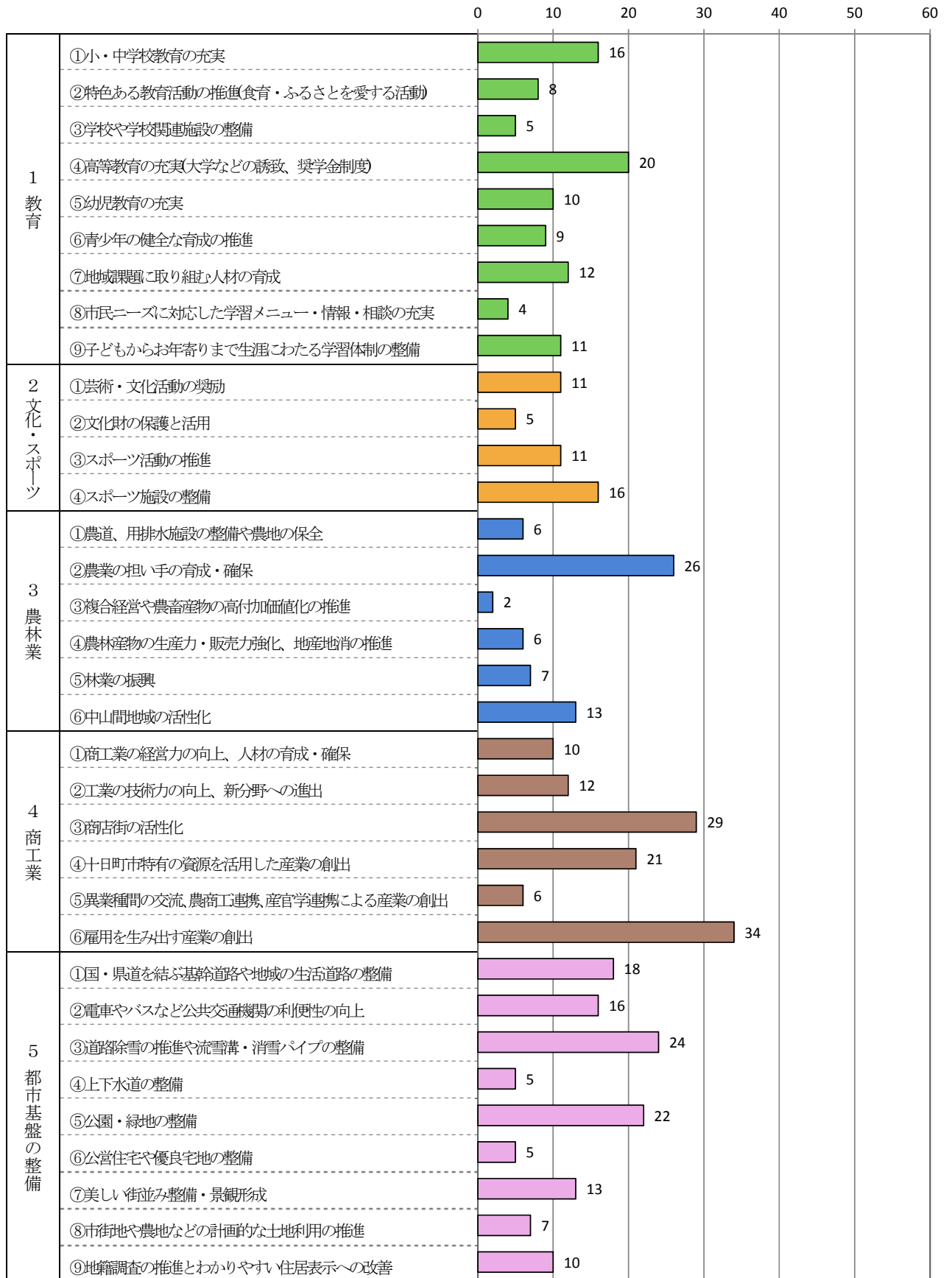


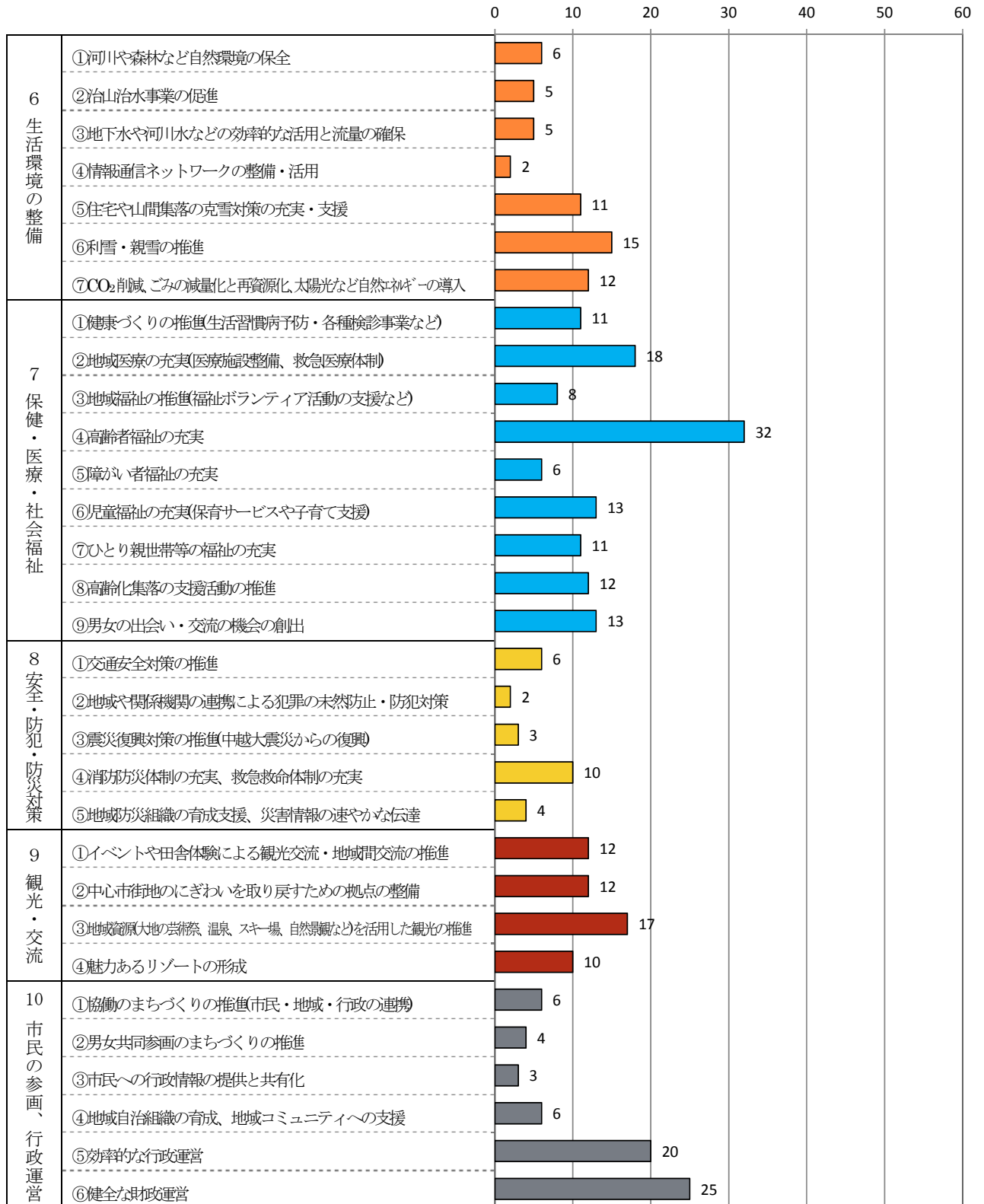
3. 西部（西小学校区の北部）（有効回答者数：71人）



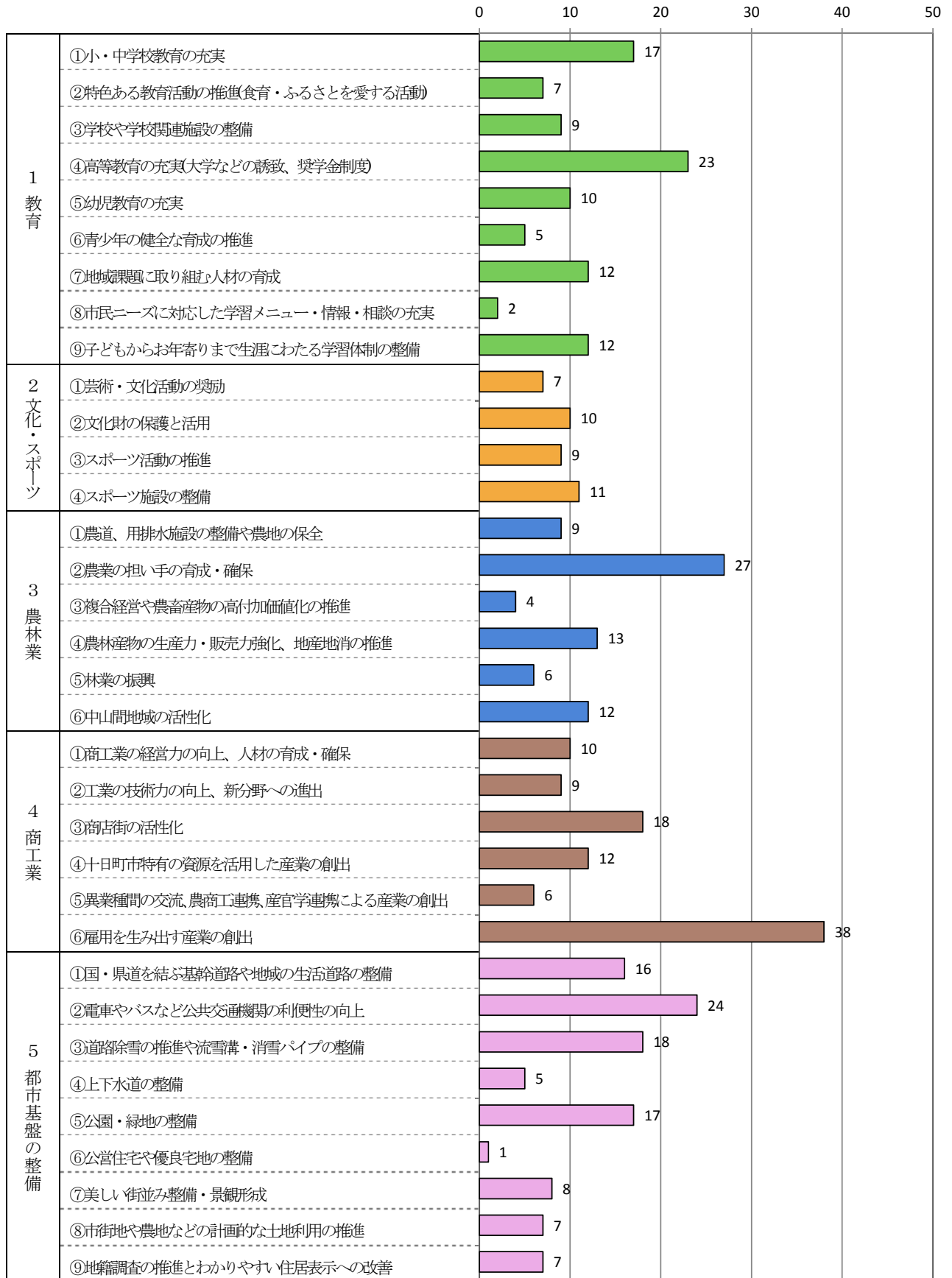


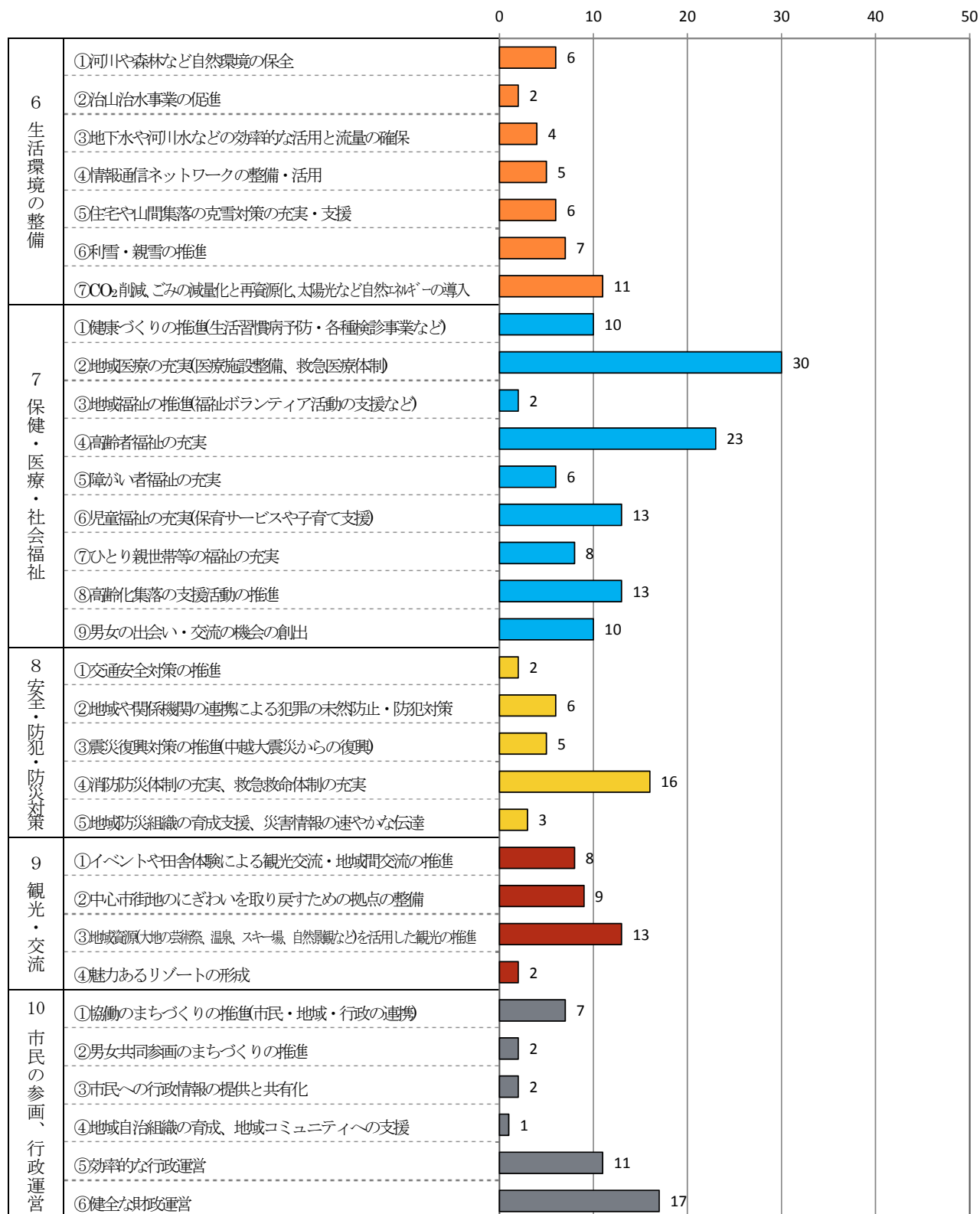
4. 川治・六箇（有効回答者数：80人）



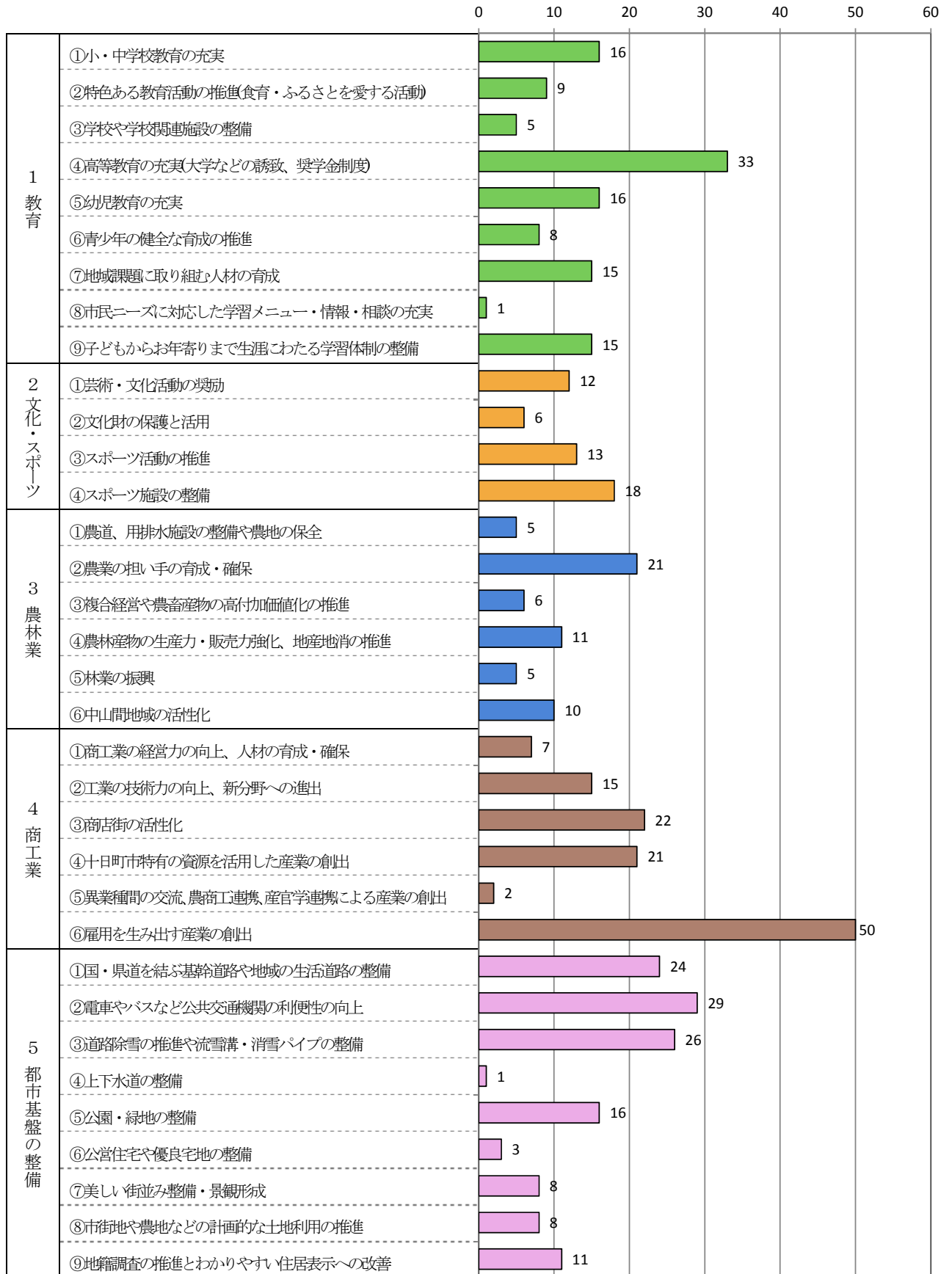


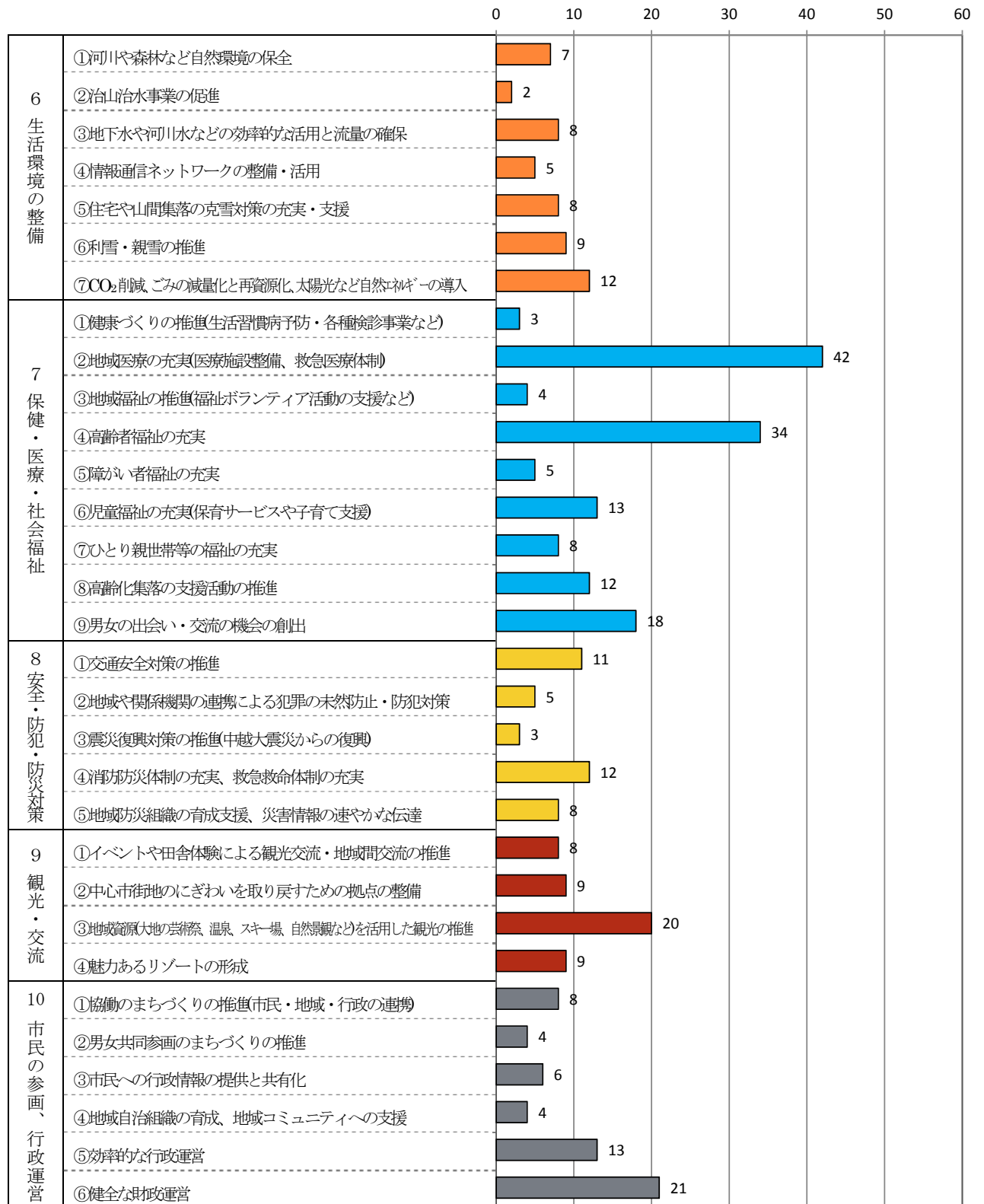
5. 中条・飛渡（有効回答者数：70人）



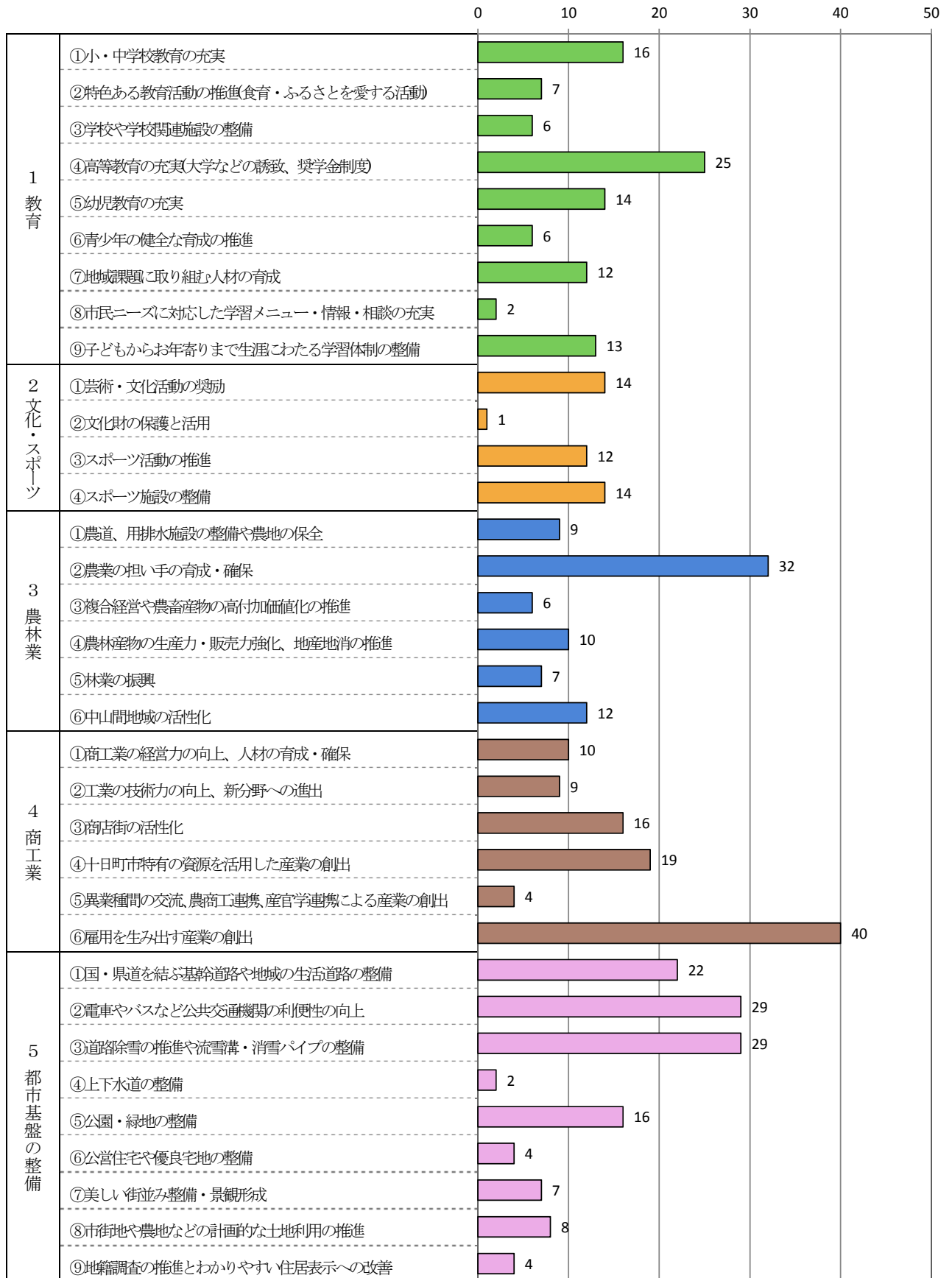


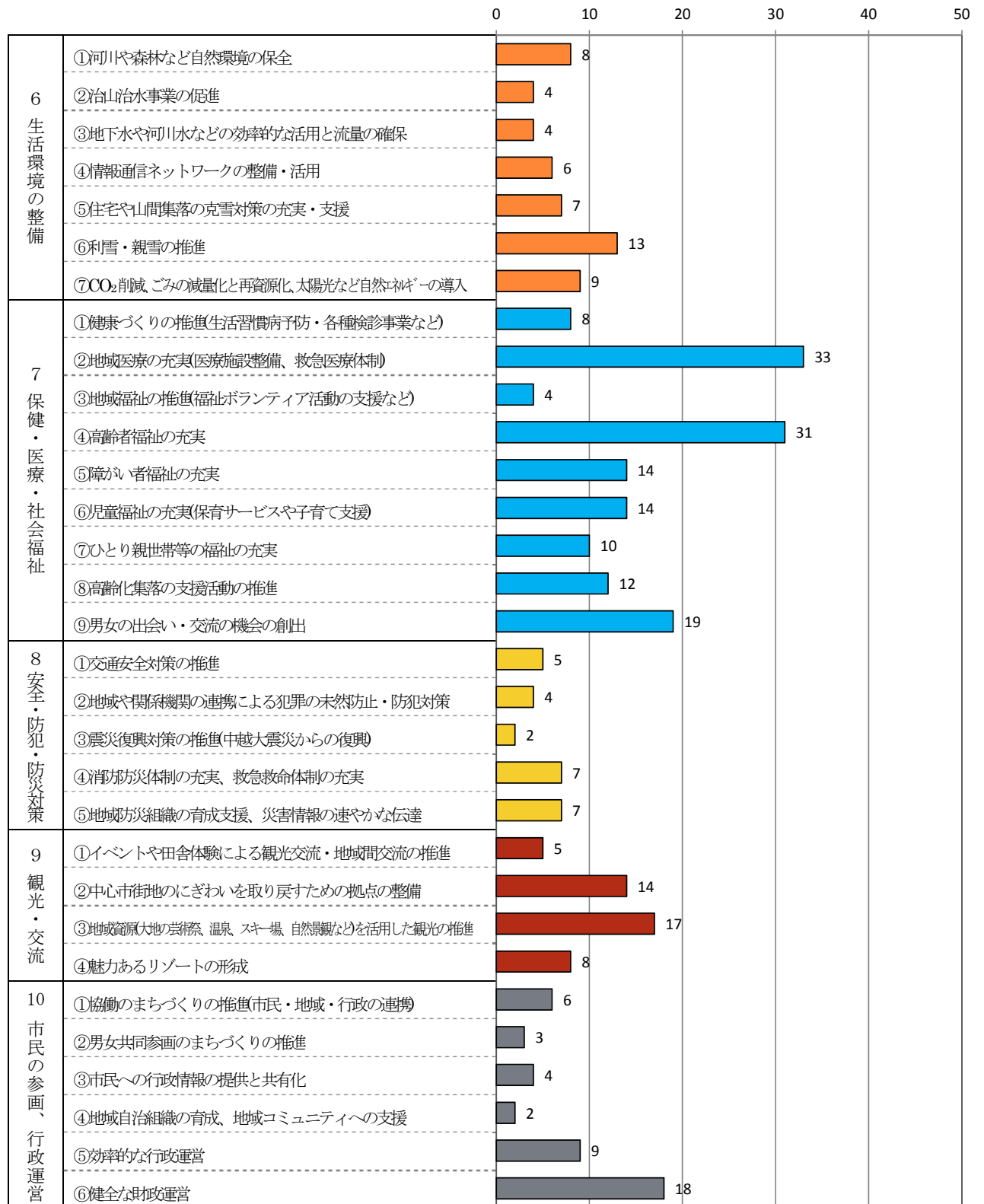
6. 大井田（有効回答者数：83人）



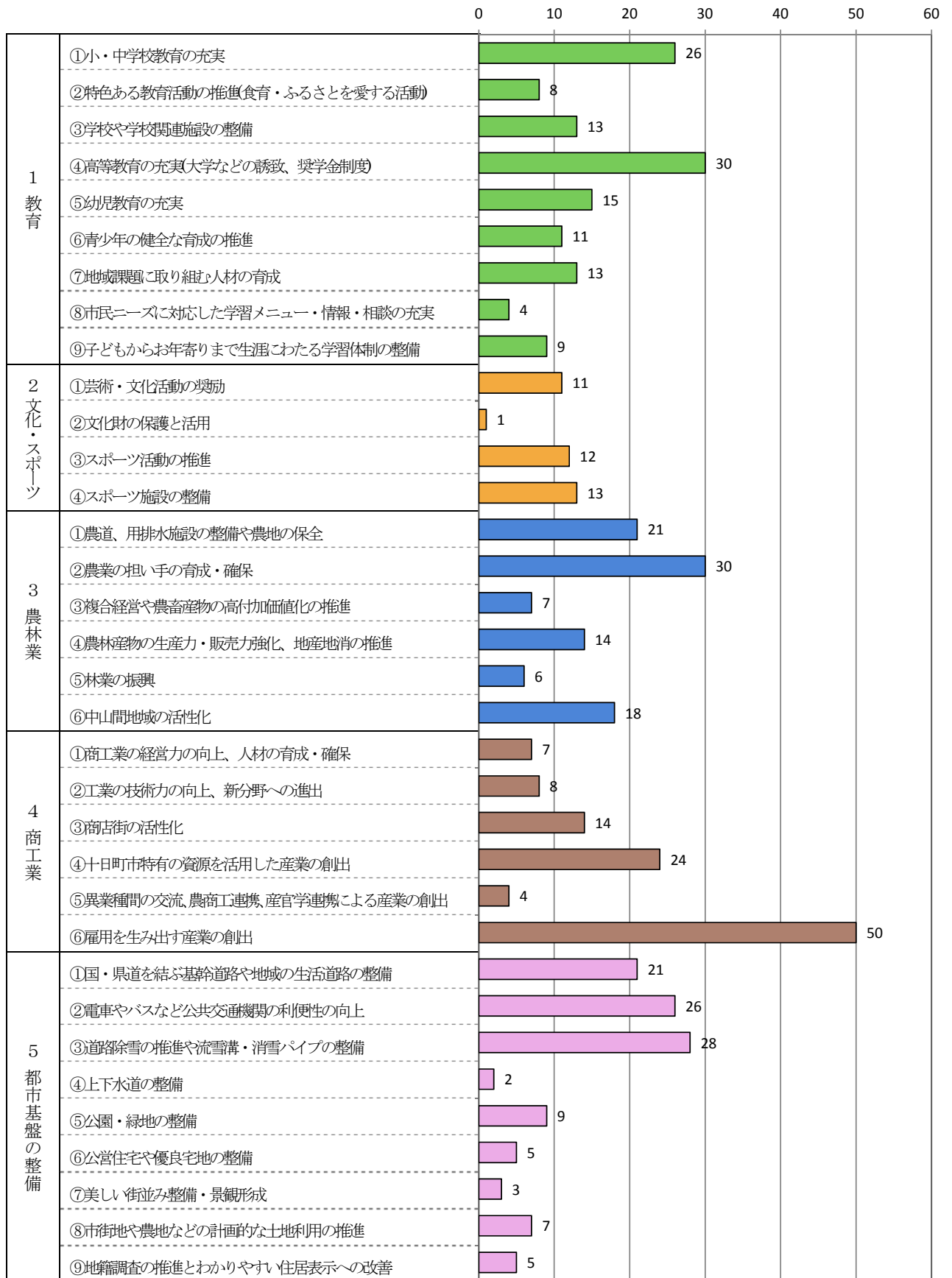


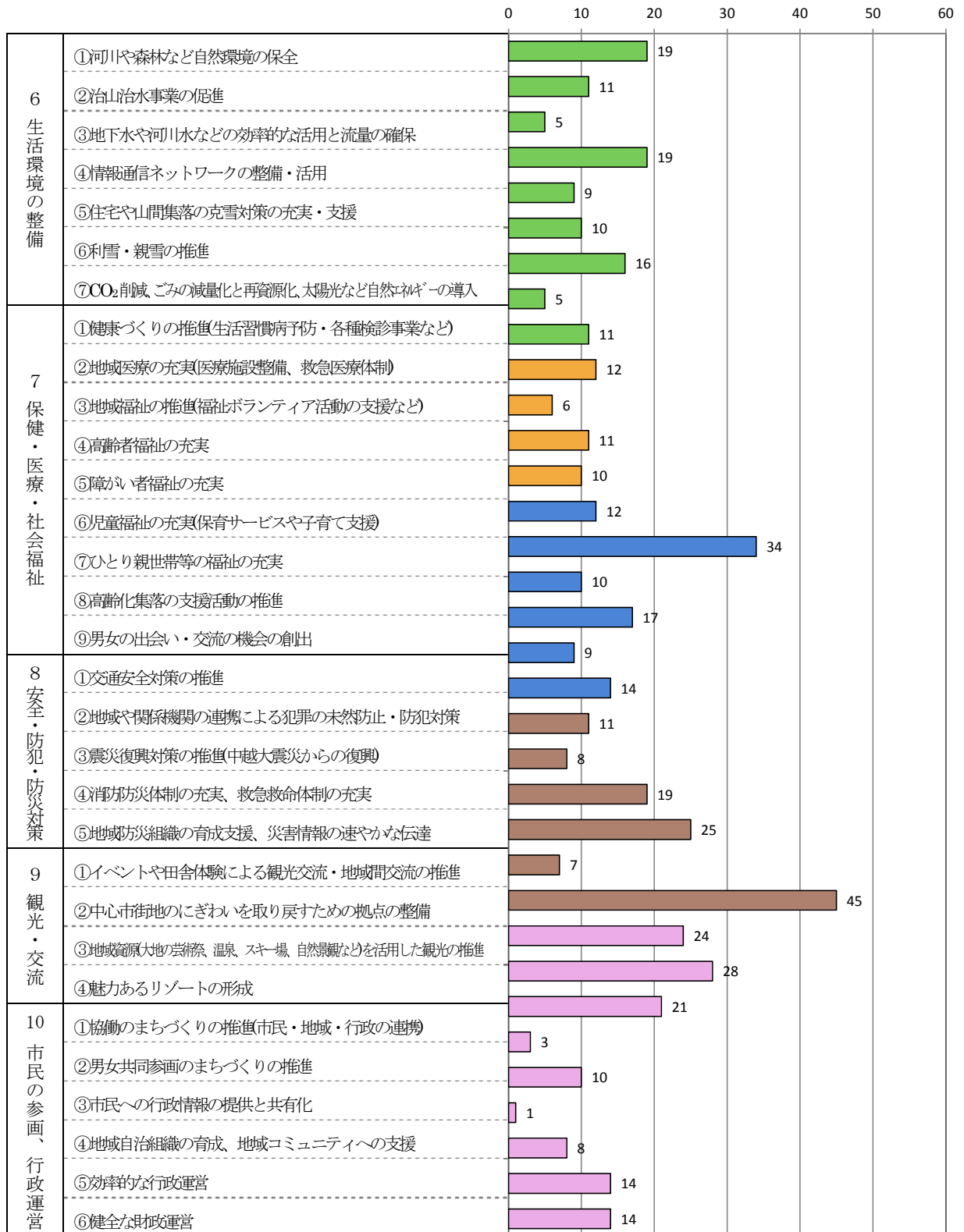
7. 下条（有効回答者数：79人）



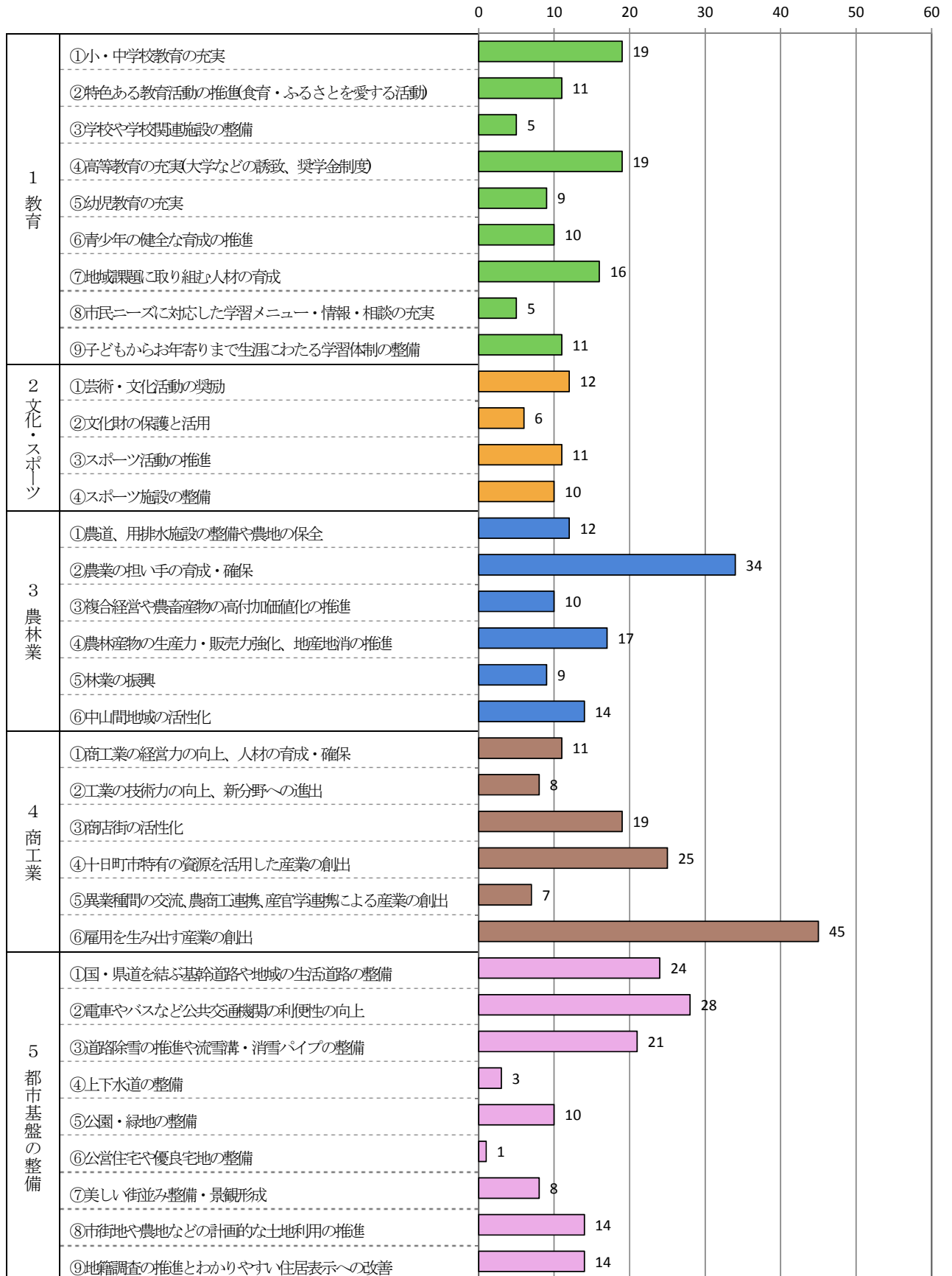


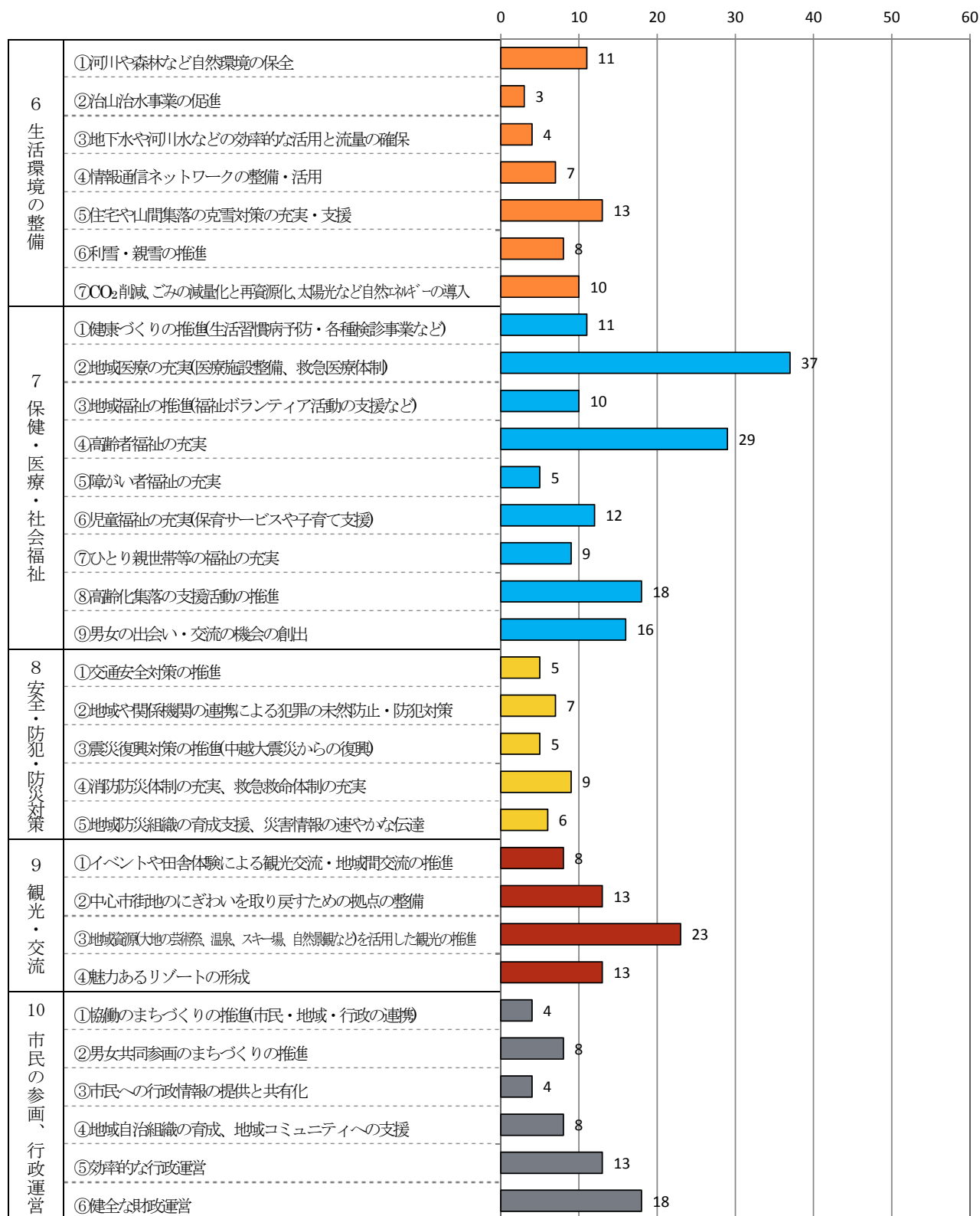
8. 吉田（有効回答者数：89人）



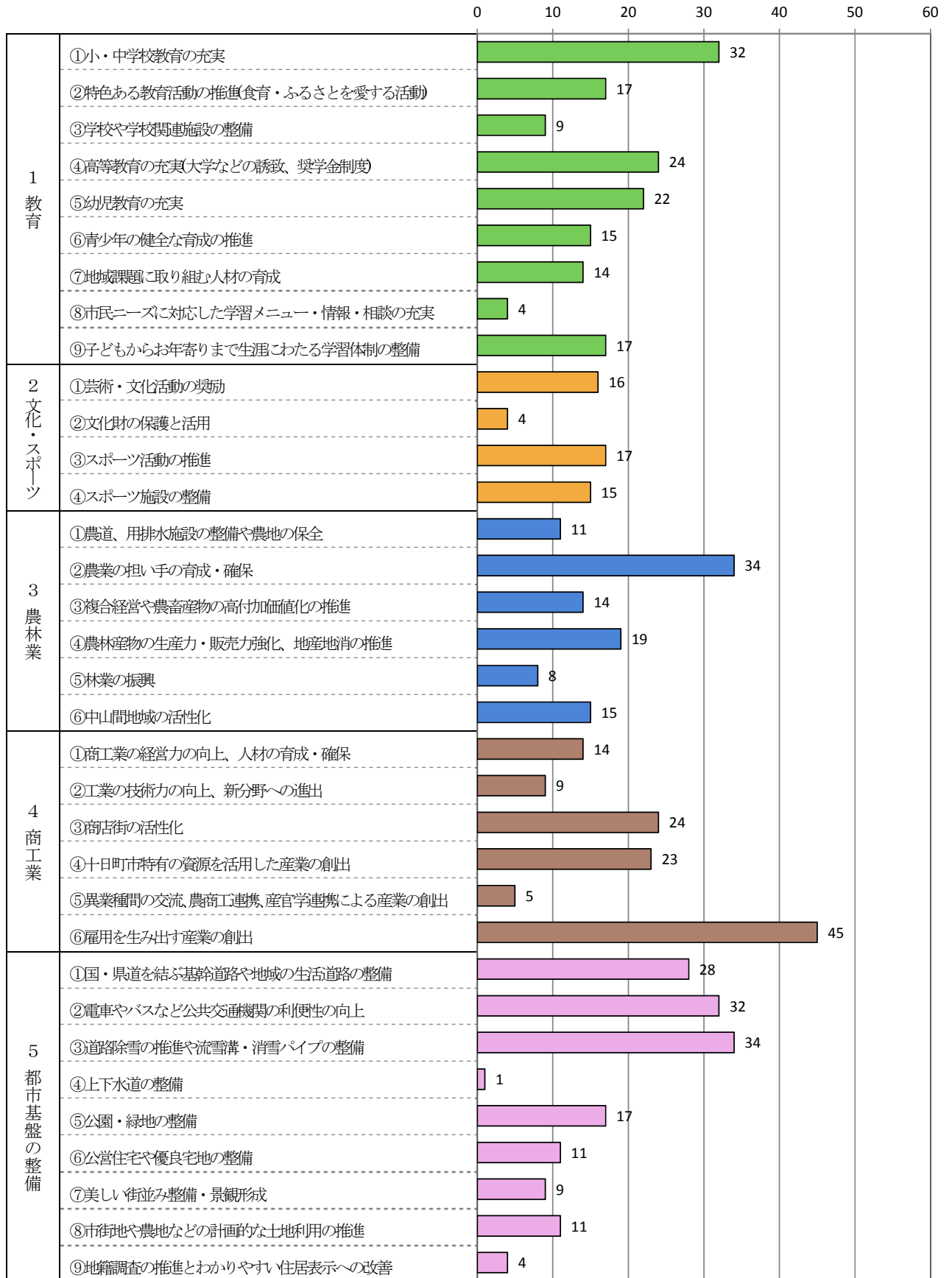


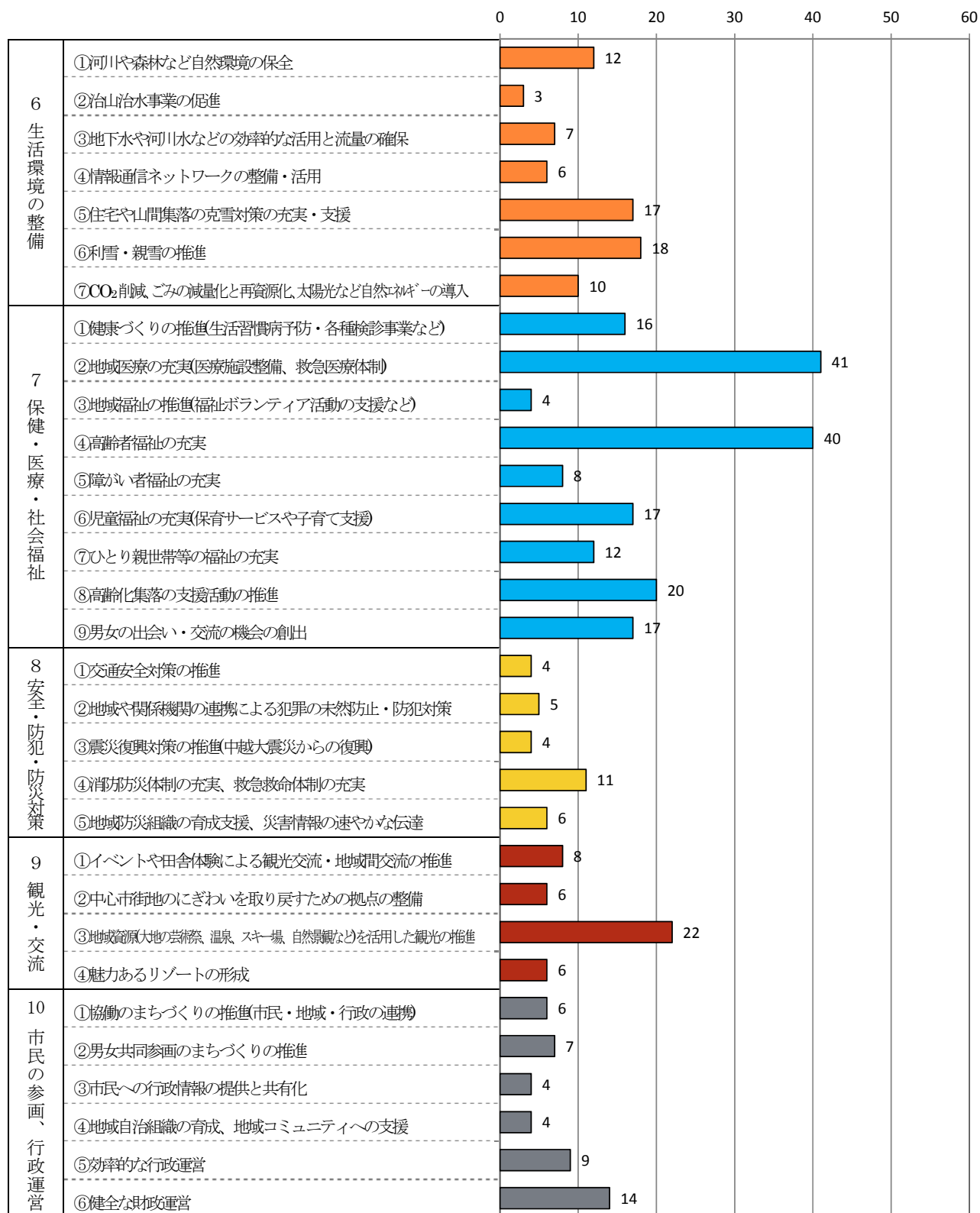
9. 水沢（有効回答者数：86人）



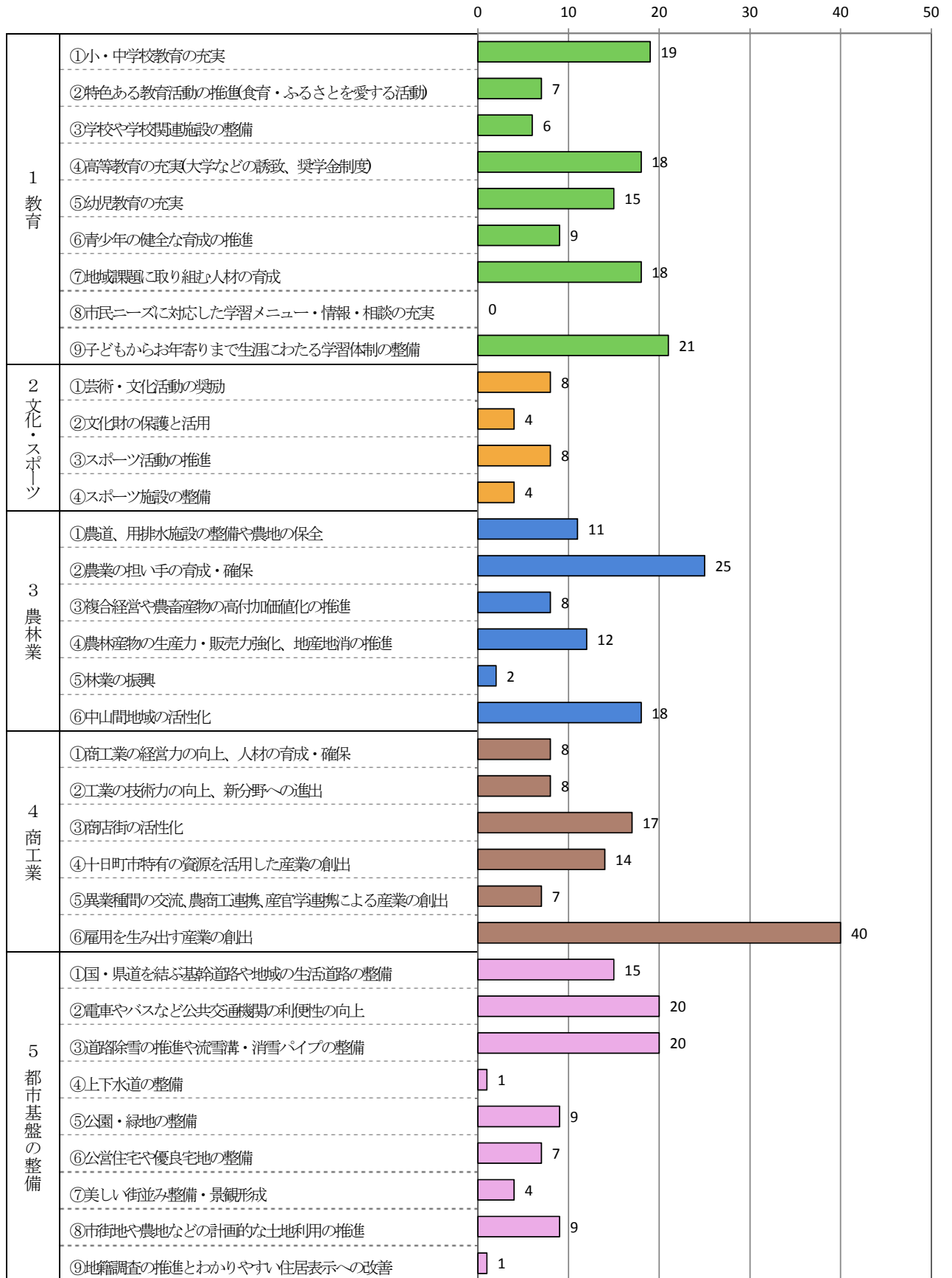


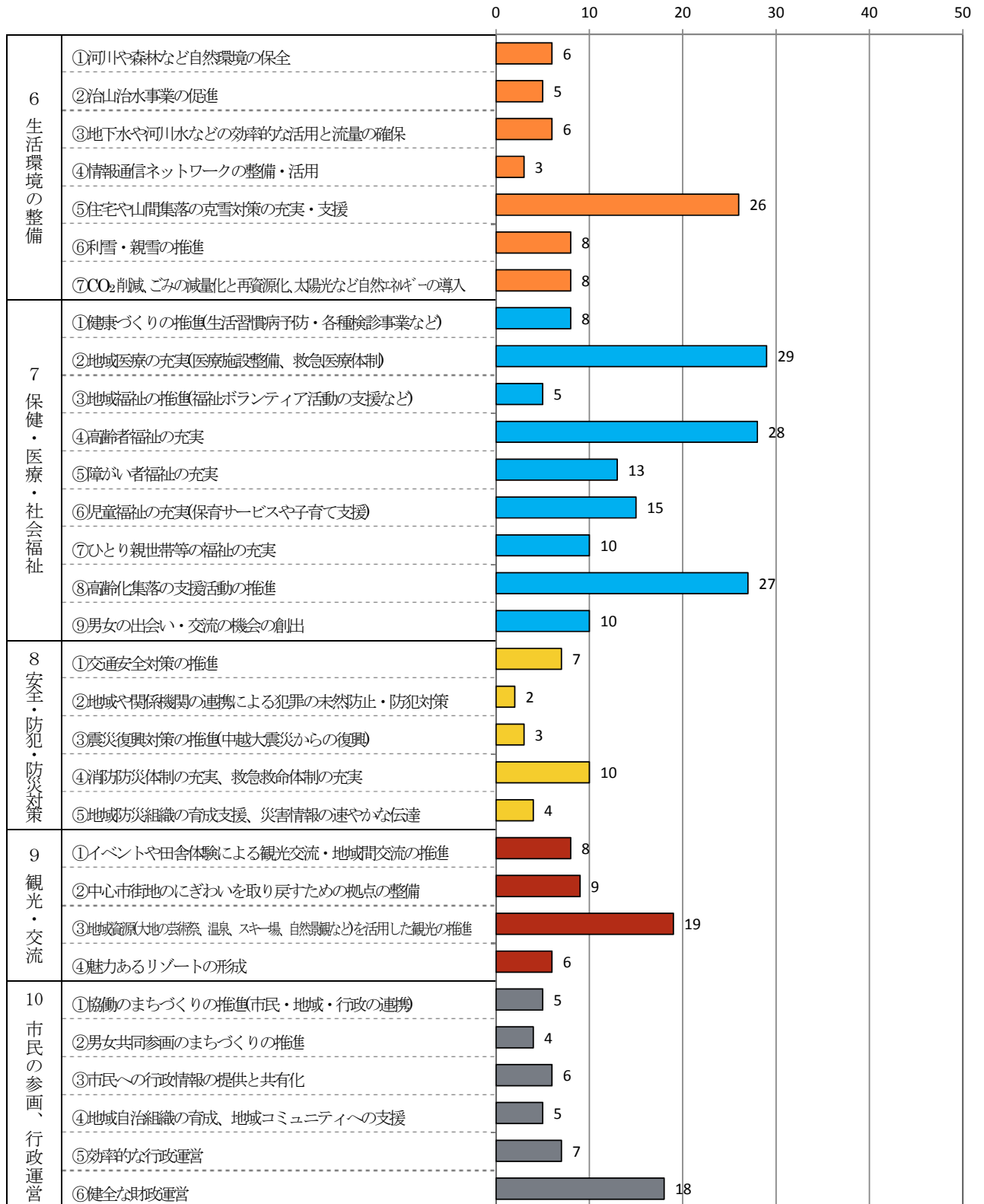
10. 川西（有効回答者数：100人）



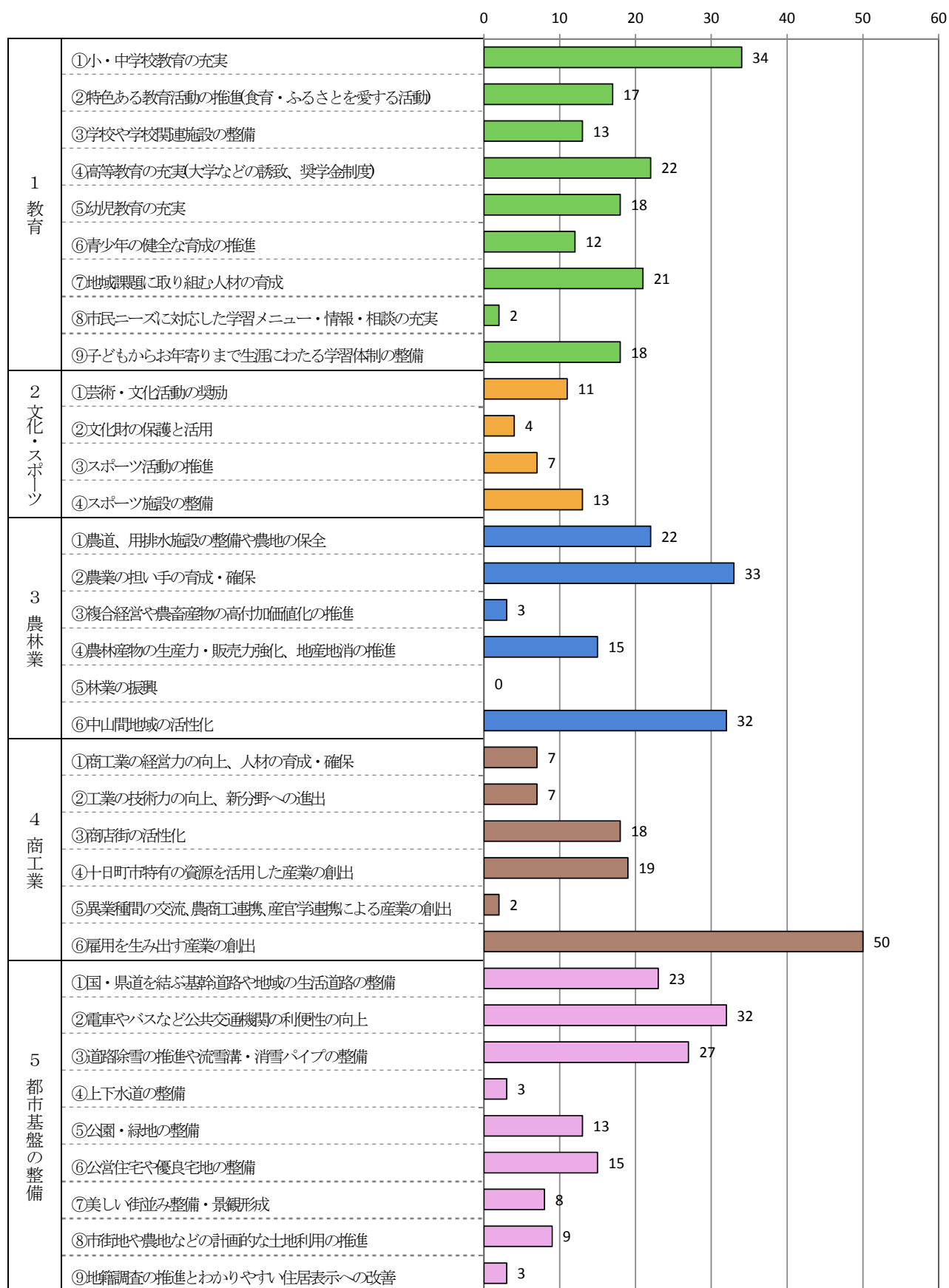


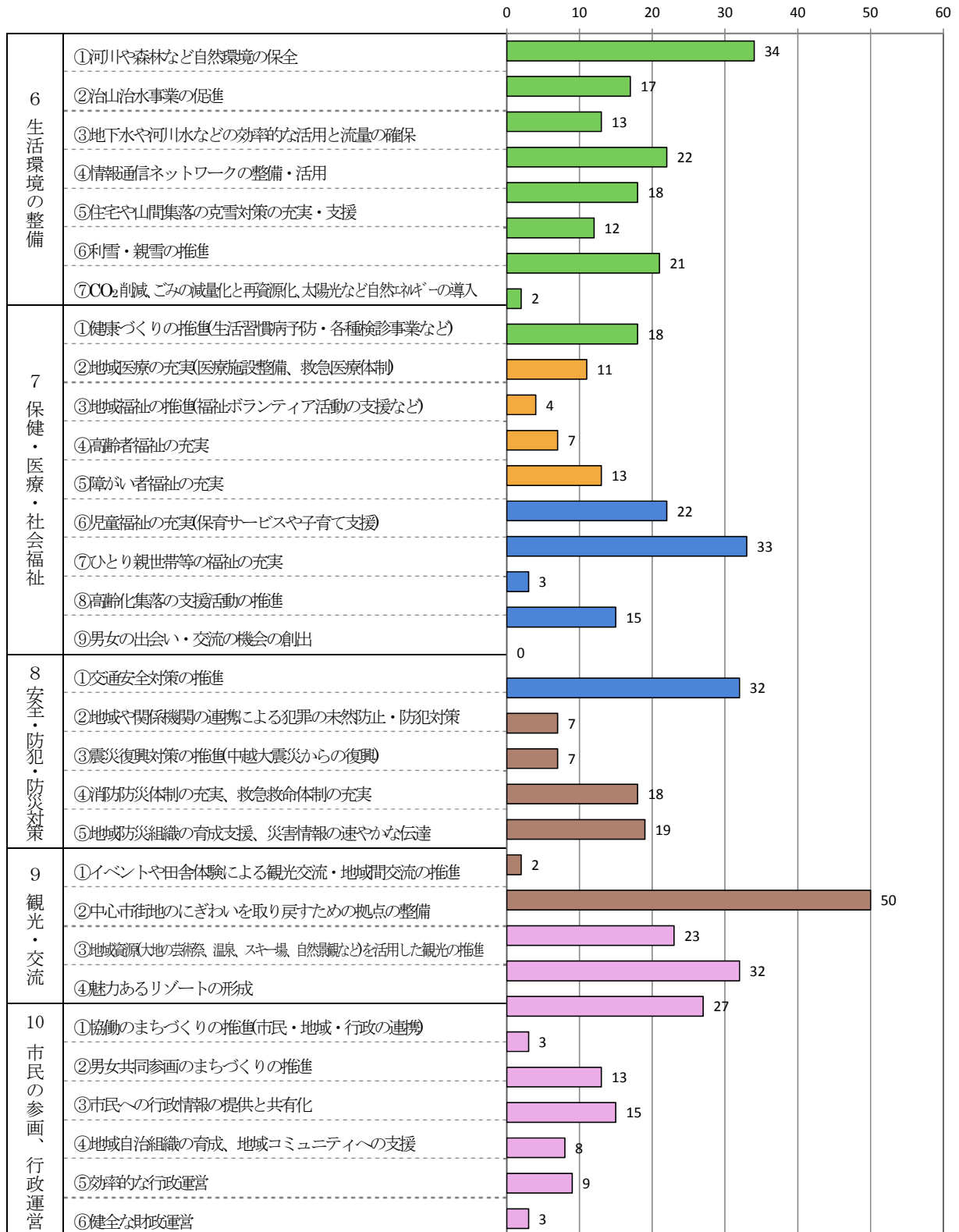
1.1. 中里（有効回答者数：74人）



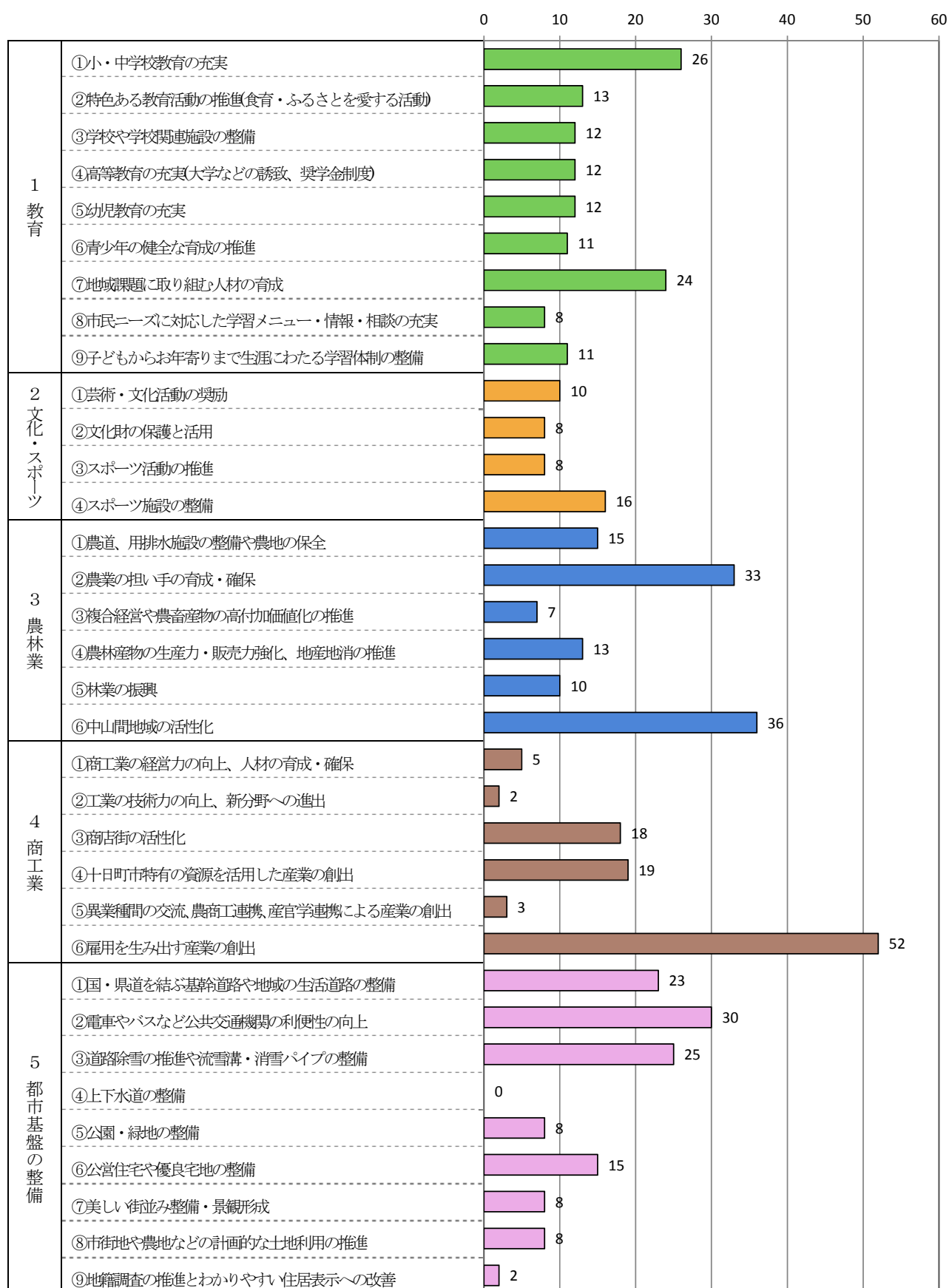


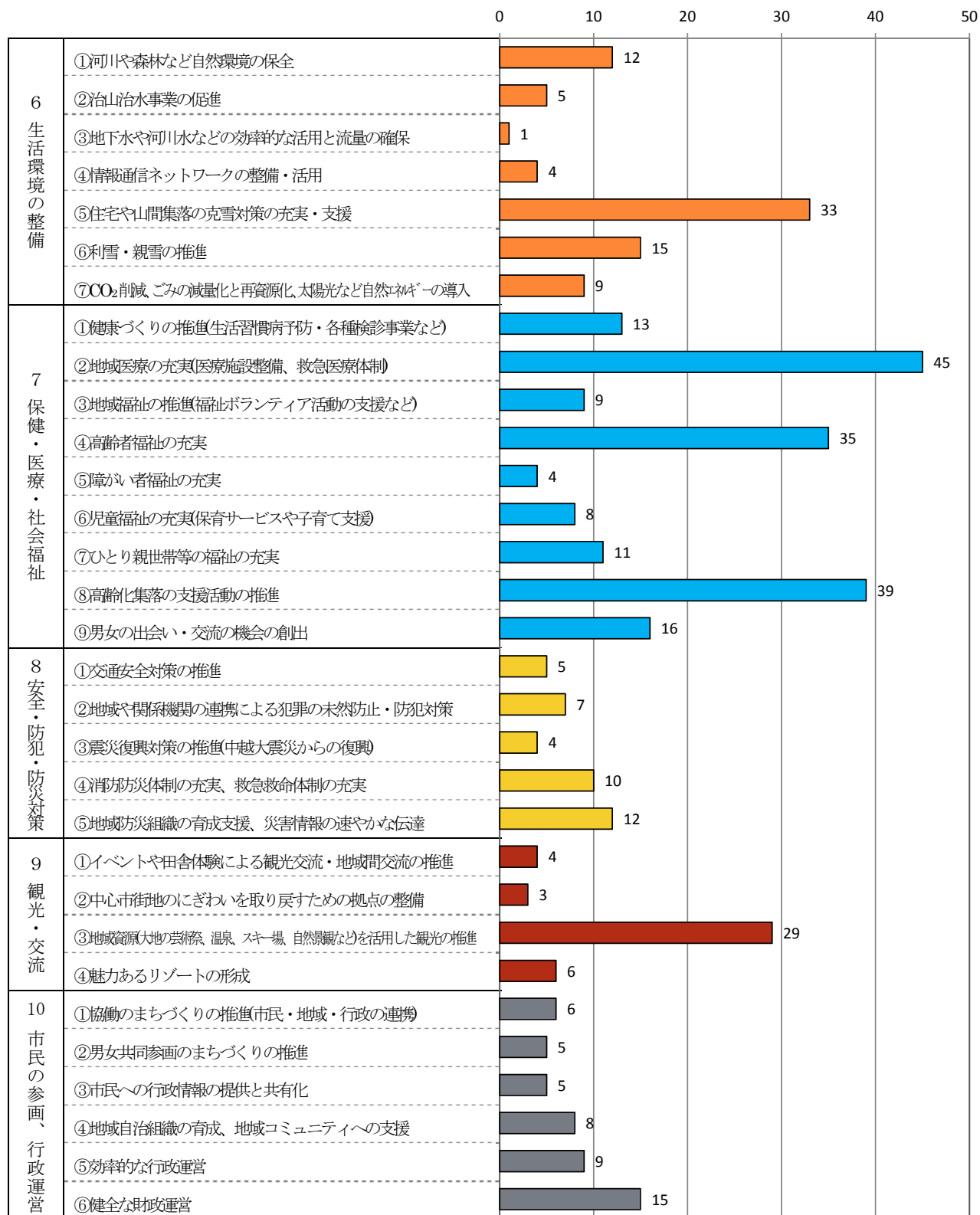
12. 松代（有効回答者数：101人）





13. 松之山（有効回答者数：94人）





<過去6年間の比較>

(注) 有効回答者数が各々の年度で異なるため、各年度の有効回答者数を平成28年度の有効回答者数を用いて補正をしたうえで解析をしている。

【全体の傾向】

今年度の重要度が過去6年間で最高となった項目は、全65項目中13項目であった。このうち、重要度が最も低い年との差(上昇値)が大きい3項目は以下のとおりである。

「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」(+129)

「7④高齢者福祉の充実」(+110)

「7⑥児童福祉の充実」(+61)

一方、重要度が過去6年間で最低となった項目は、65項目中17項目あり、重要度が最も高い年との差(減少値)が大きい3項目は以下のとおりである。

「5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備」(-119)

「10⑤効率的な行政運営」(-58)

「10⑥健全な財政運営」(-44)

【年齢別集計】

今年度の重要度が過去6年間で最高となった項目数は、40歳代が15項目、60歳代が11項目、20歳代が10項目、30歳代が9項目、50歳代が8項目、70歳代が6項目となっている。

このうち、各年齢で重要度の上昇値が最も大きかった項目は以下のとおりである。

20歳代：「1③学校や学校関連施設の整備」(+10)

「7④高齢者福祉の充実」(+10)

30歳代：「9③地域資源を活用した観光の推進」(+16)

40歳代：「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」(+27)

50歳代：「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」(+31)

60歳代：「7④高齢者福祉の充実」(+51)

70歳代：「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」(+20)

一方、重要度が最低となった項目数は、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代が14項目、60歳代が10項目、70歳代が9項目であった。

各年齢で重要度の減少値が最も大きかった項目は以下のとおりである。

20歳代：「9①イベントや田舎体験による観光交流・地域間交流の推進」(-10)

30歳代：「6⑦CO2削減、ごみの減量化と再資源化、太陽光など自然エネルギーの導入」(-17)

40歳代：「5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備」(-23)

50歳代：「5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備」(-34)

60歳代：「5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備」(-36)

70歳代：「6⑤住宅や山間集落の克雪対策の充実・支援」(-18)

【地域別集計】

今年度の重要度が過去6年間で最高となった項目数は、十日町西と水沢が10項目、中条、下条、吉田、川西が9項目、十日町、川治・六箇、中里、松代、松之山が8項目となっている。

各地域で重要度の上昇値が最も大きかった項目は以下のとおりである。

十日町：「9③地域資源を活用した観光の推進」(+11)

十日町西：「9③地域資源を活用した観光の推進」(+11)

川治・六箇：「5⑤公園・緑地の整備」(+13)

中条：「1④高等教育の充実」(+19)

下条：「5③道路除雪の推進や流雪溝・消雪パイプの整備」(+6)

吉田：「7④高齢者福祉の充実」(+18)

水沢：「3②農業の担い手の育成・確保」(+10)

川西：「9③地域資源を活用した観光の推進」(+16)

中里：「7⑧高齢化集落の支援活動の推進」(+17)

松代：「7④高齢者福祉の充実」(+15)

松之山：「4⑥雇用を生み出す産業の創出」(+15)

一方、重要度が最低となった項目数は松代が15項目、下条が12項目、吉田が11項目、十日町、中条、松之山が10項目と多くなっている。

各地域で重要度の減少値が最も大きかった項目は以下のとおりである。

十日町：「4⑤異業種間交流、農商工連携、産官学連携による産業の創出」(-8)

十日町西：「8⑤地域防災組織の育成支援、災害情報の速やかな伝達」(-10)

川治・六箇：「8④消防防災体制の充実、救急救命体制の充実」(-6)

中条：「6⑥利雪・親雪の推進」(-16)

下条：「1①小・中学校教育の充実」(-14)

吉田：「4③商店街の活性化」(-12)

水沢：「6⑥利雪・親雪の推進」(-11)

川西：「10⑥健全な財政運営」(-18)

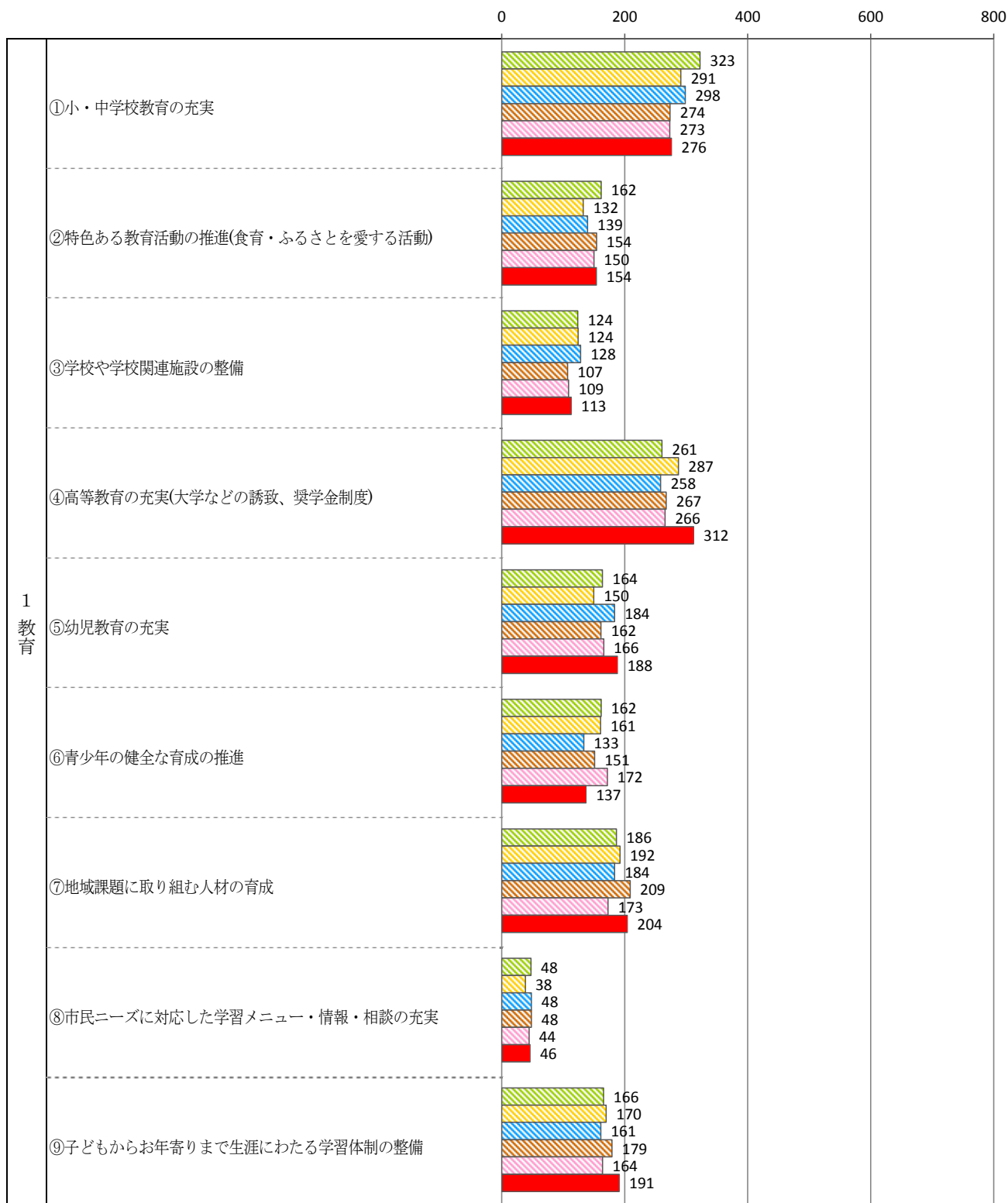
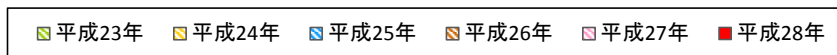
中里：「2④スポーツ施設の整備」(-16)

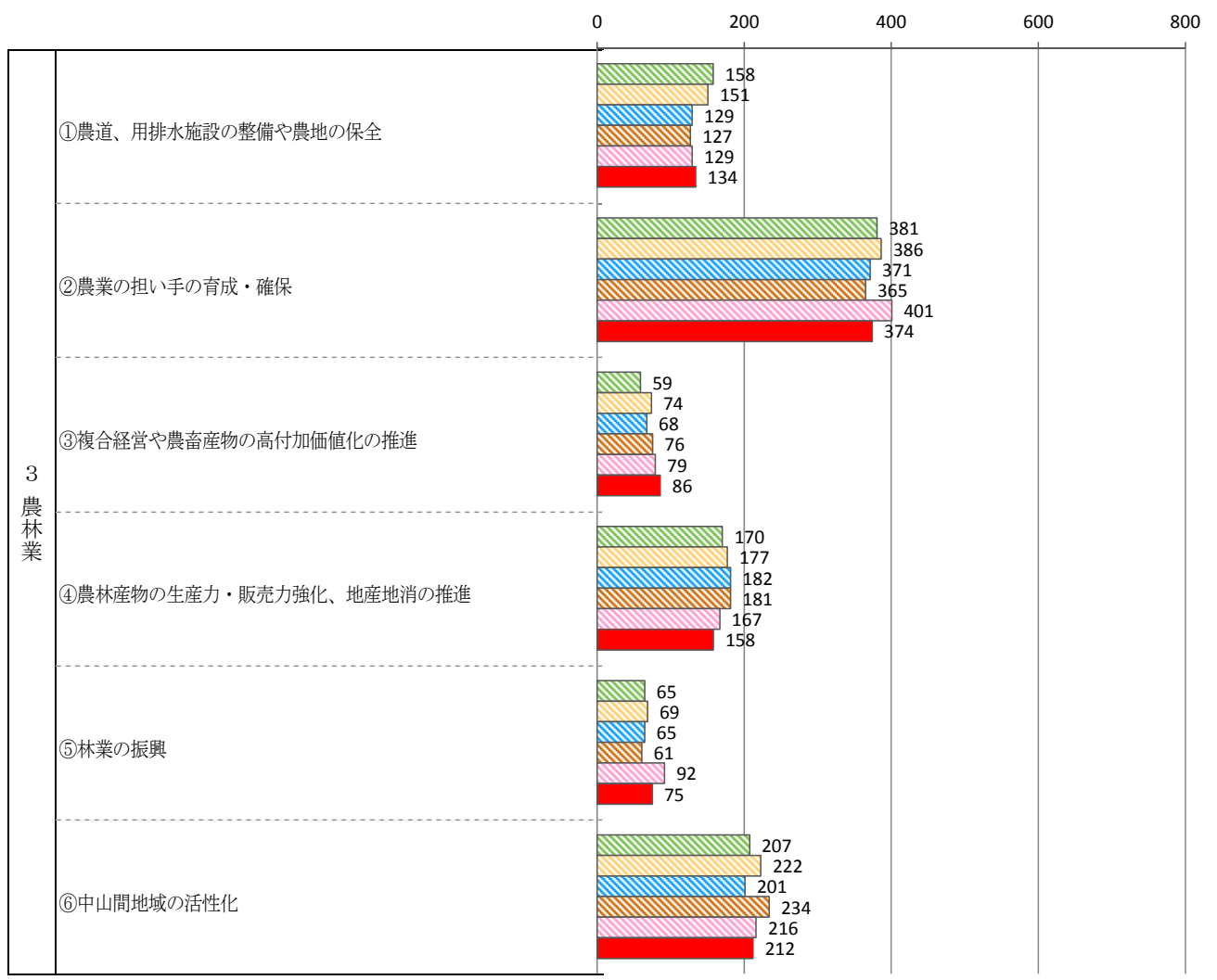
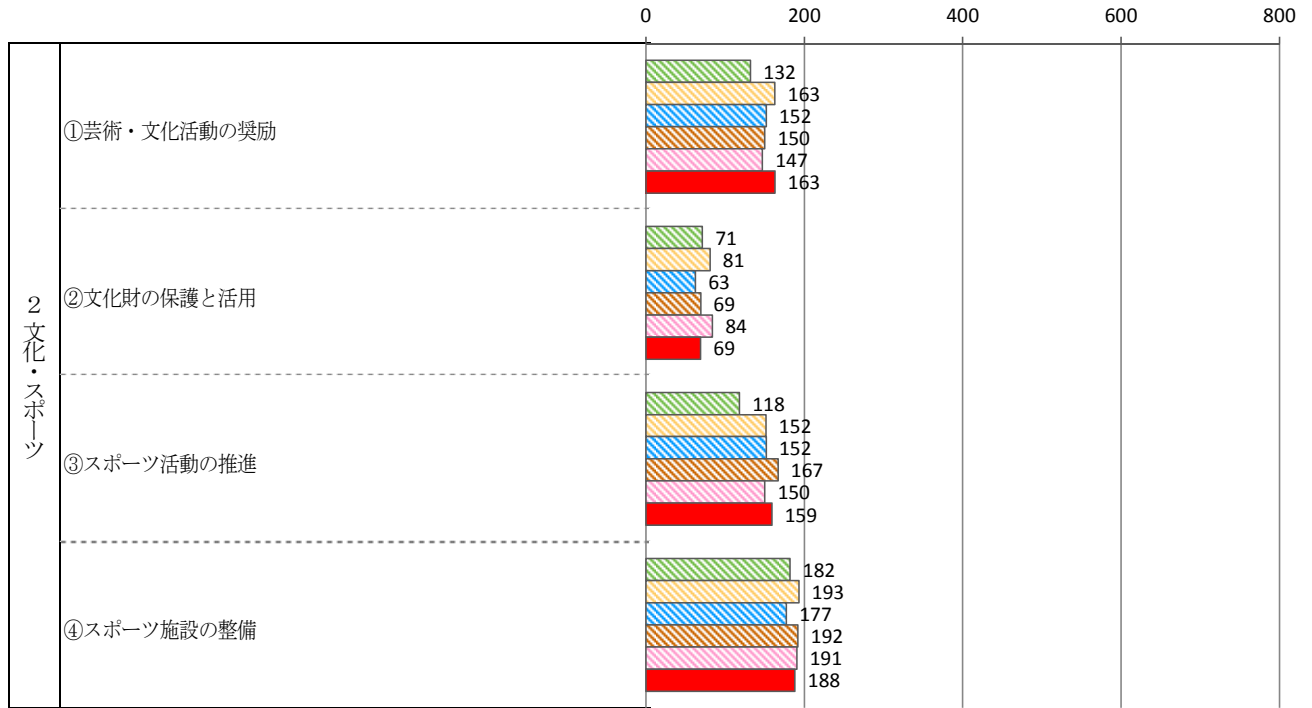
松代：「4③商店街の活性化」(-17)

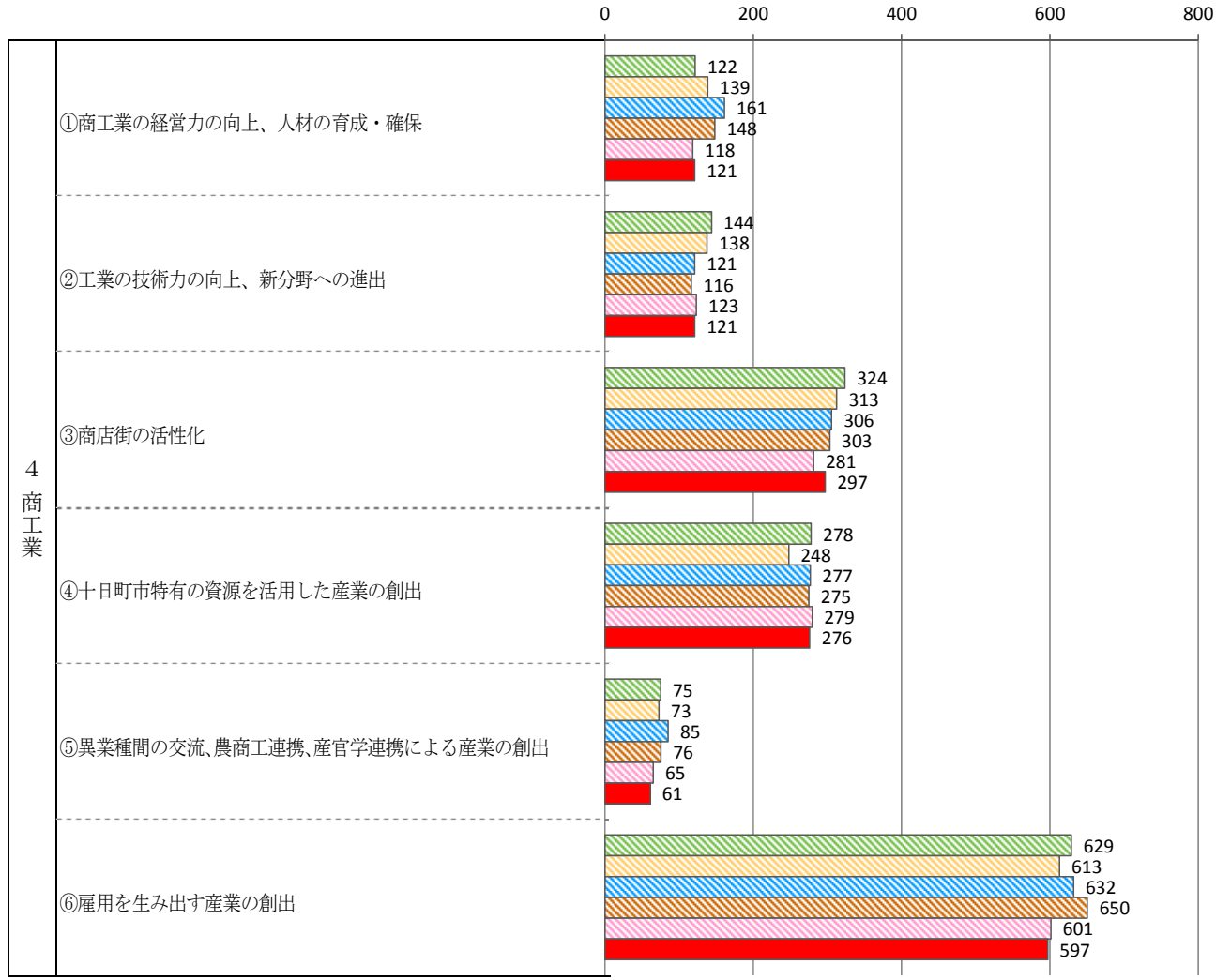
松之山：「6⑤住宅や山間集落の克雪対策の充実・支援」(-18)

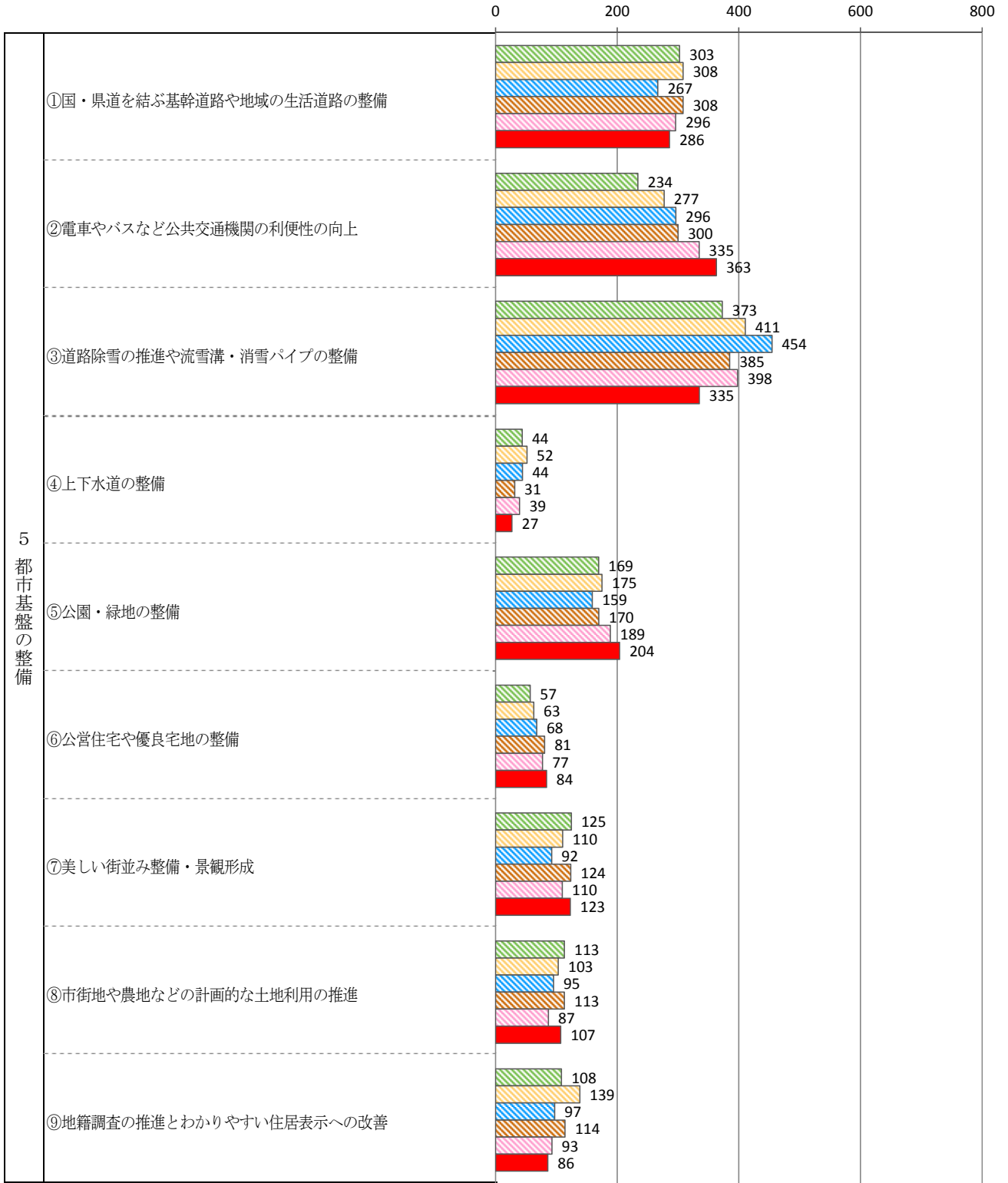
【全体の傾向】

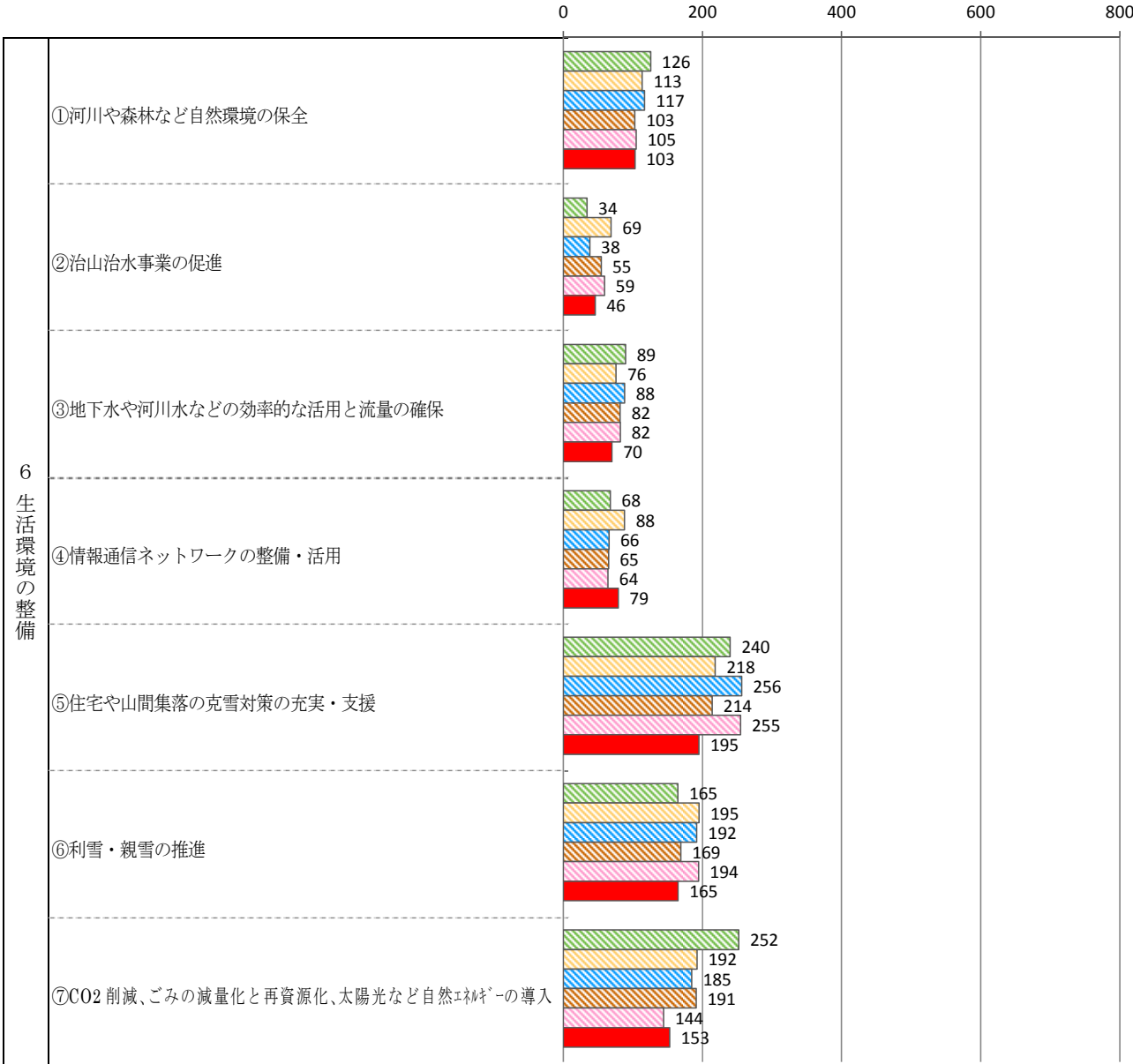
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	1, 217	1, 145	1, 129	1, 104	1, 173	1, 158
補正值	0. 95	1. 01	1. 03	1. 05	0. 99	1. 00

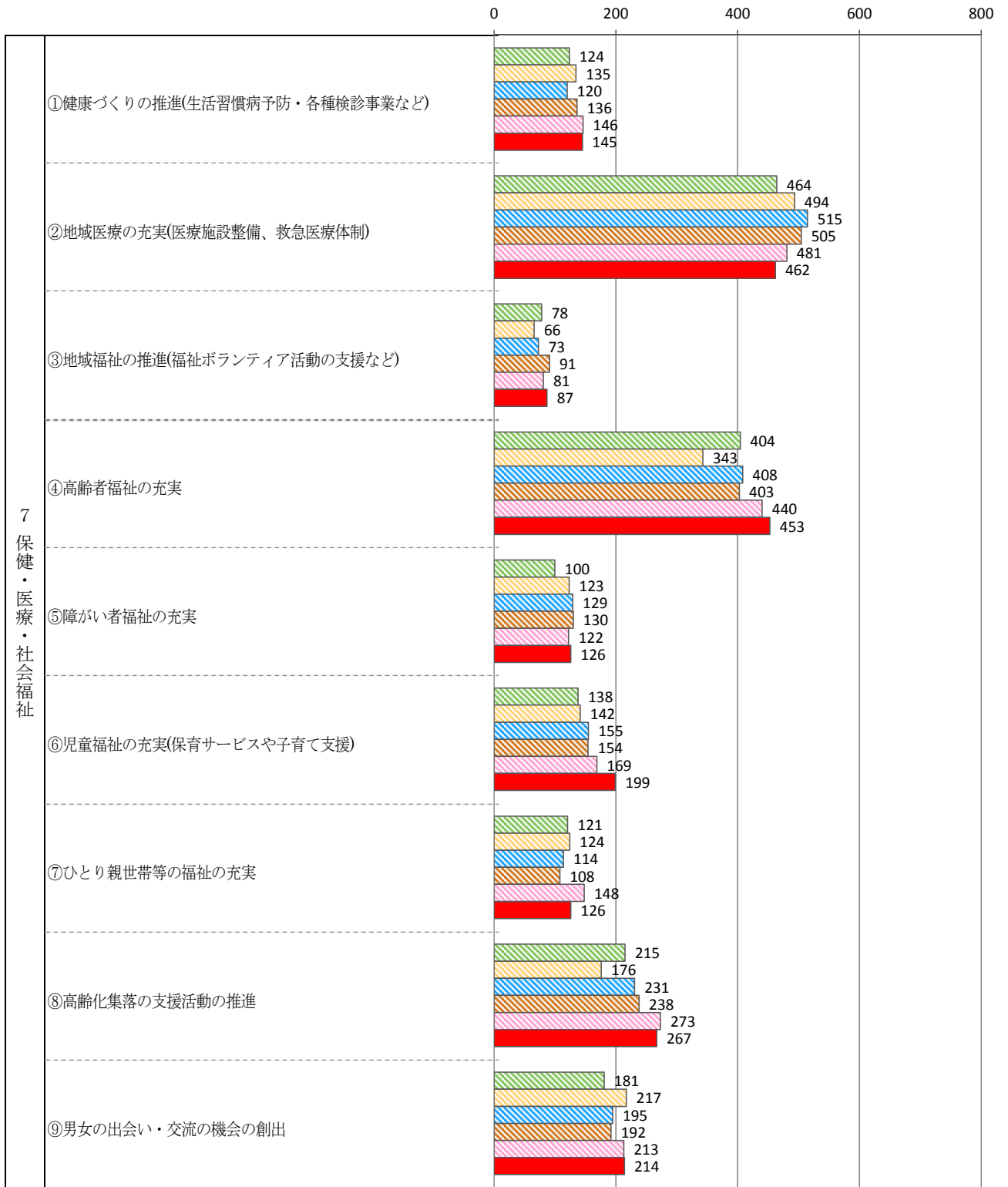


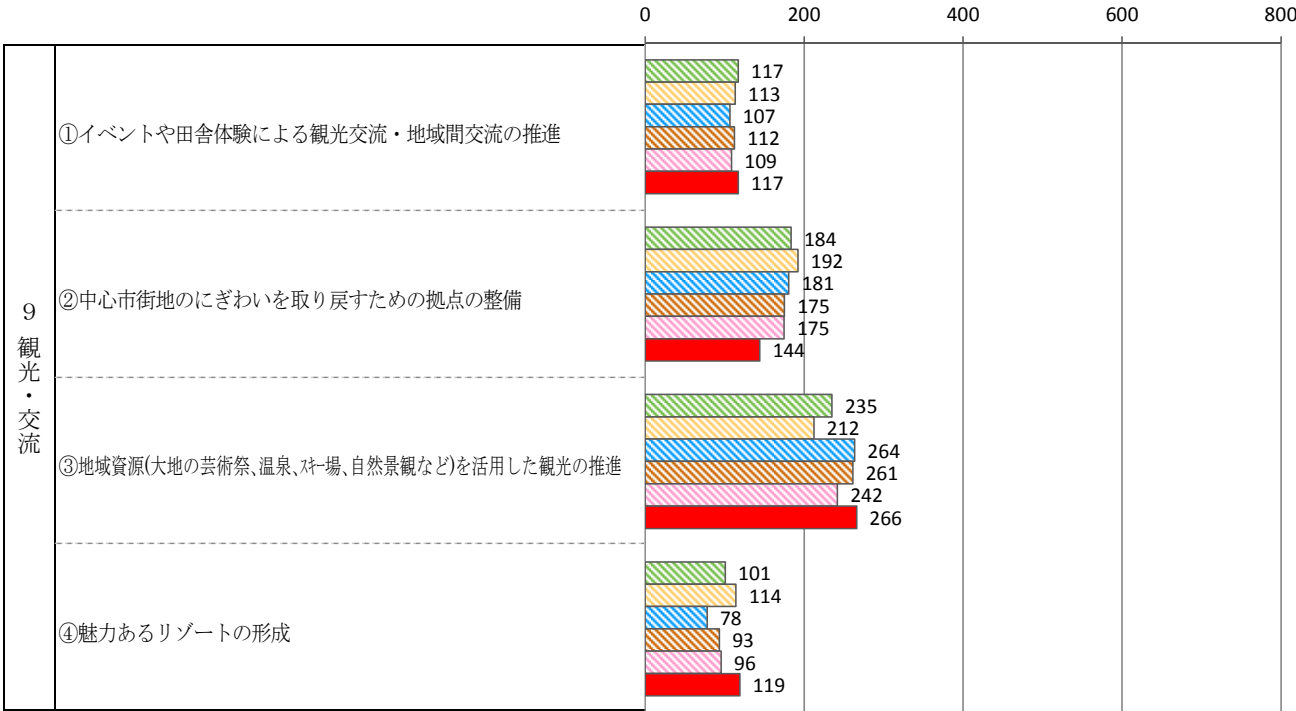
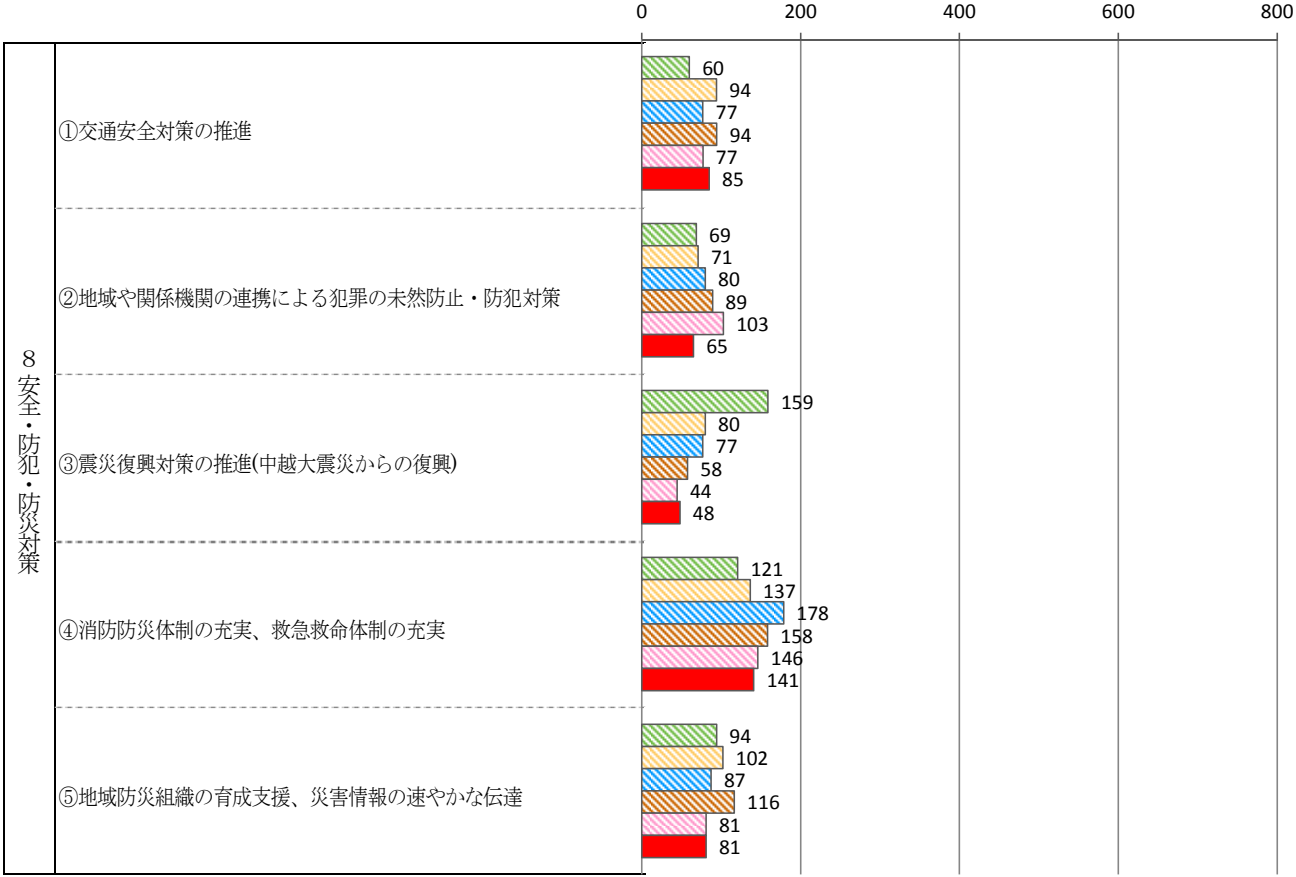


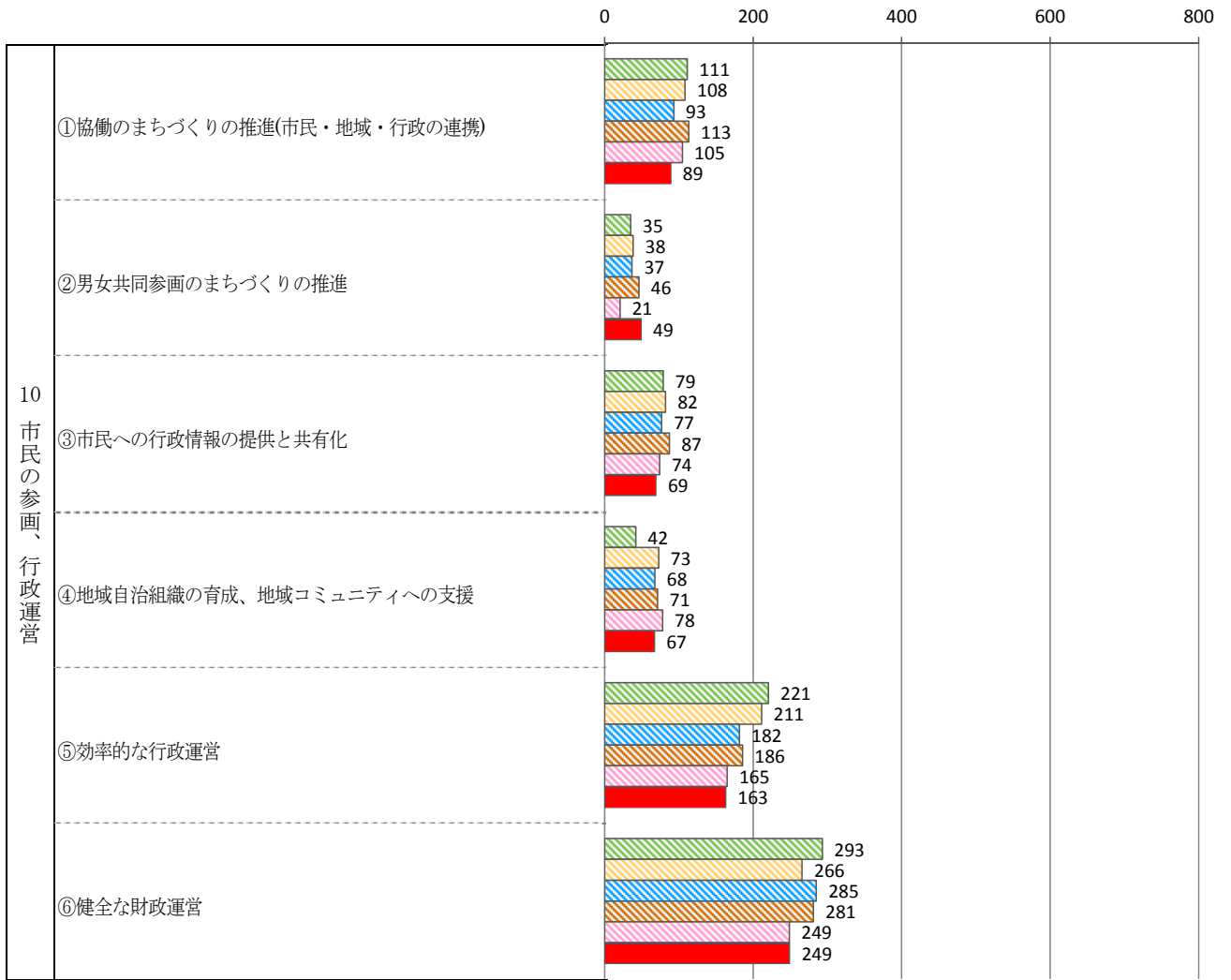










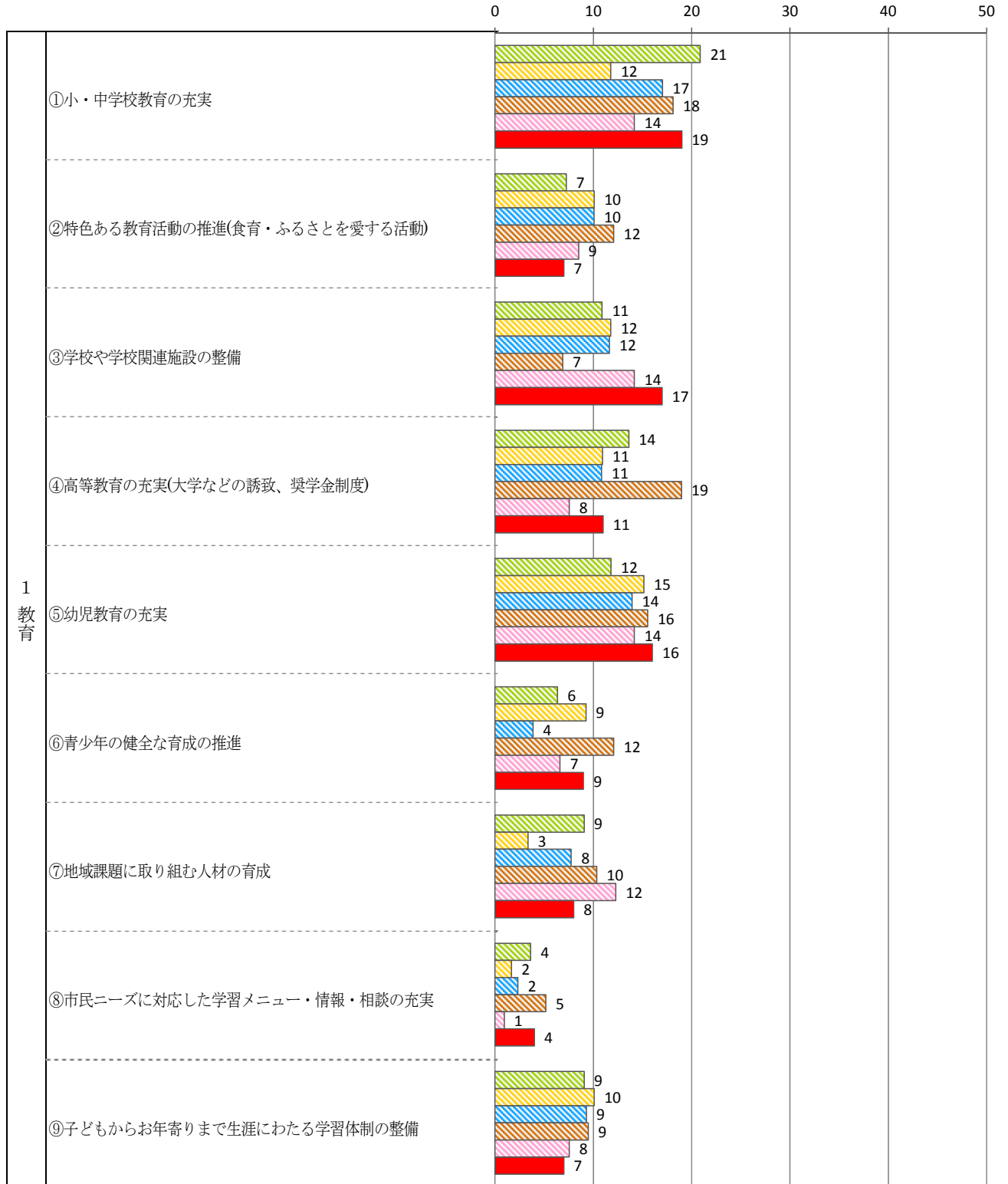


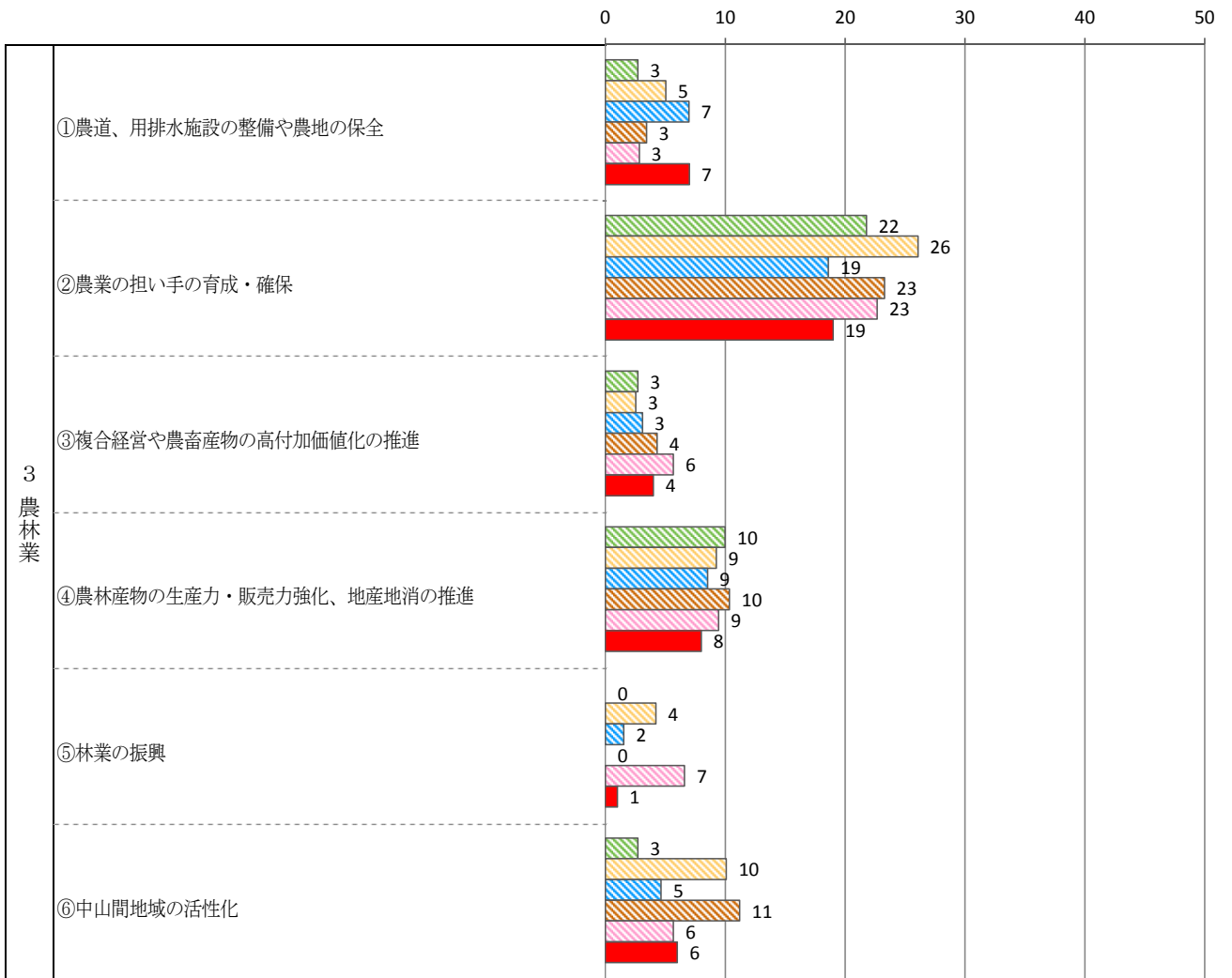
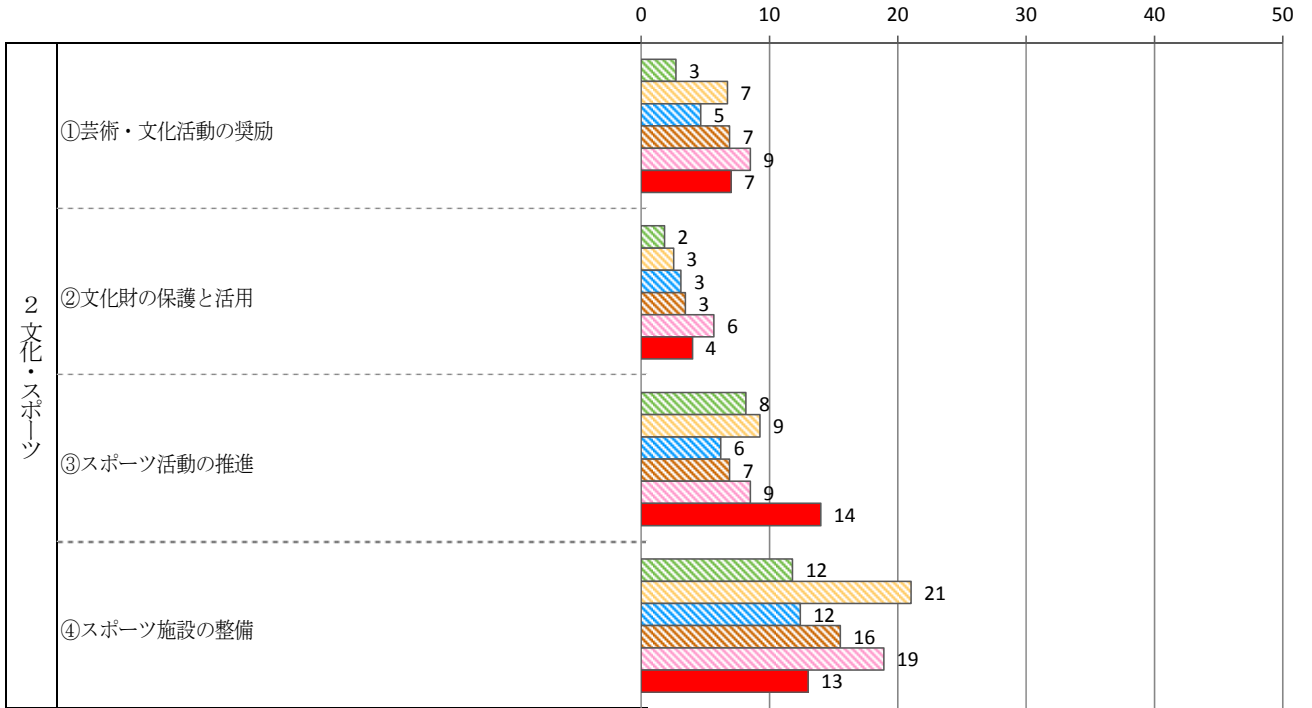
【年齢別集計】

1. 20 歳代

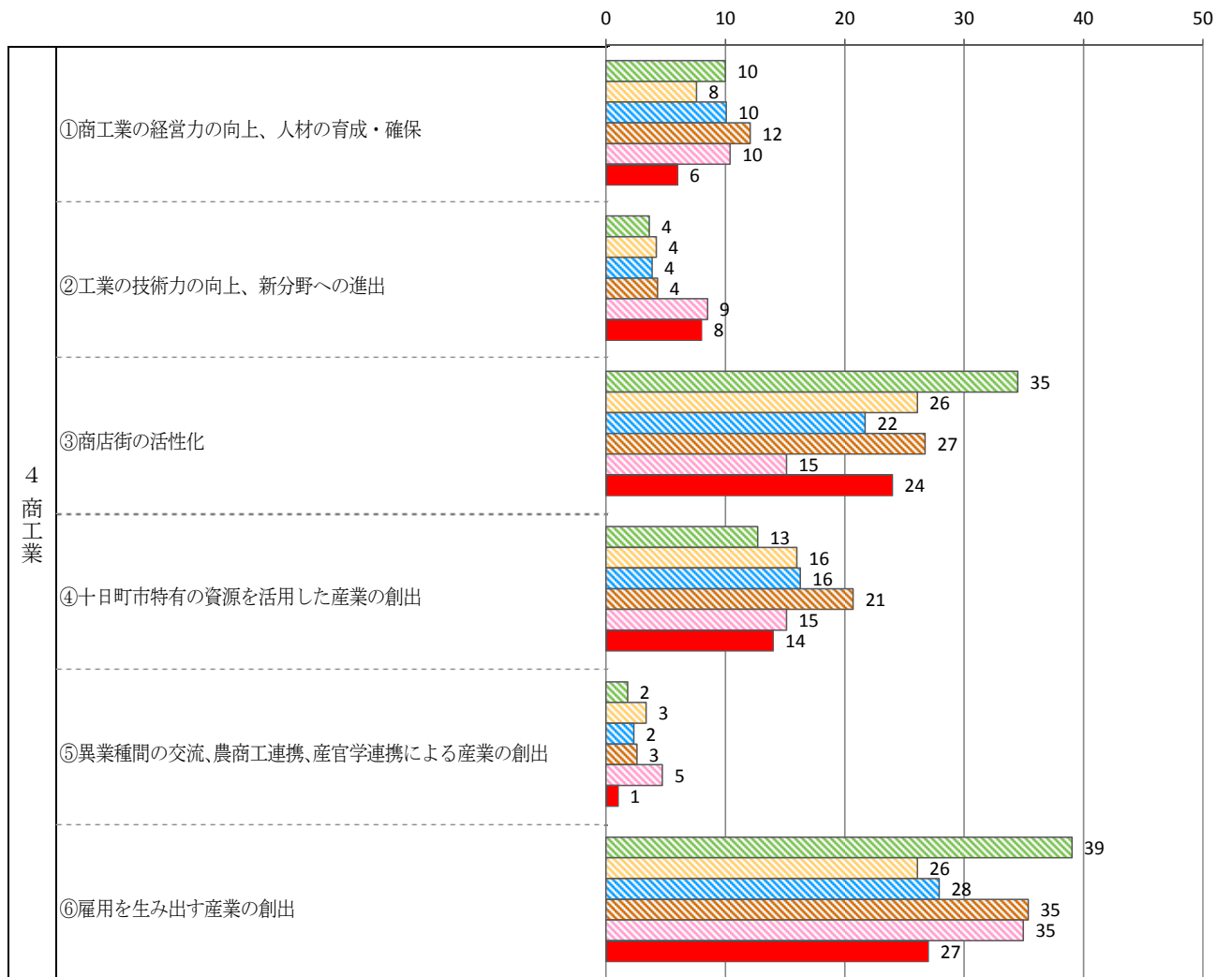
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	76	82	89	80	73	69
補正值	0.91	0.84	0.78	0.86	0.95	1.00

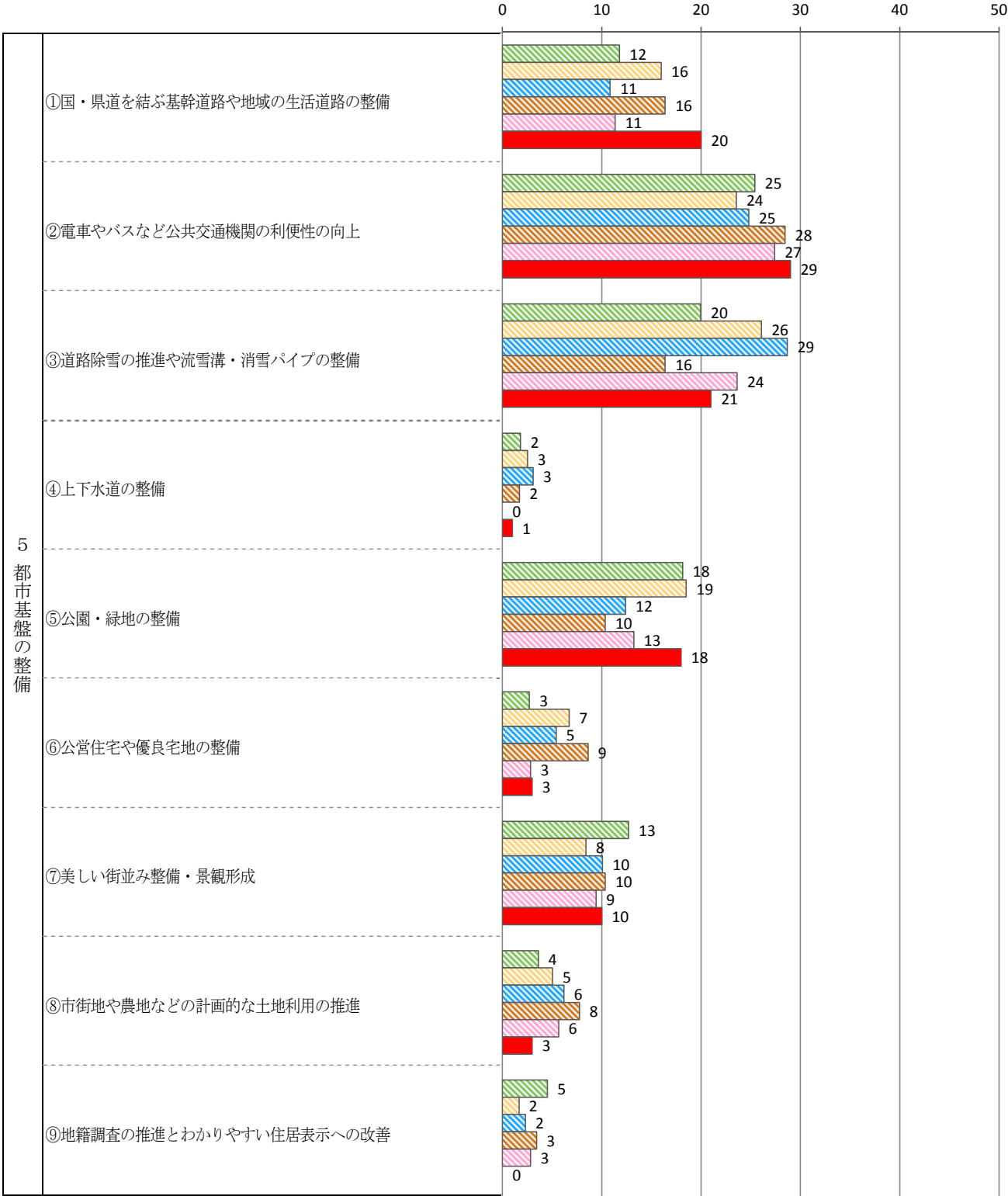
■ 平成23年
 ■ 平成24年
 ■ 平成25年
 ■ 平成26年
 ■ 平成27年
 ■ 平成28年



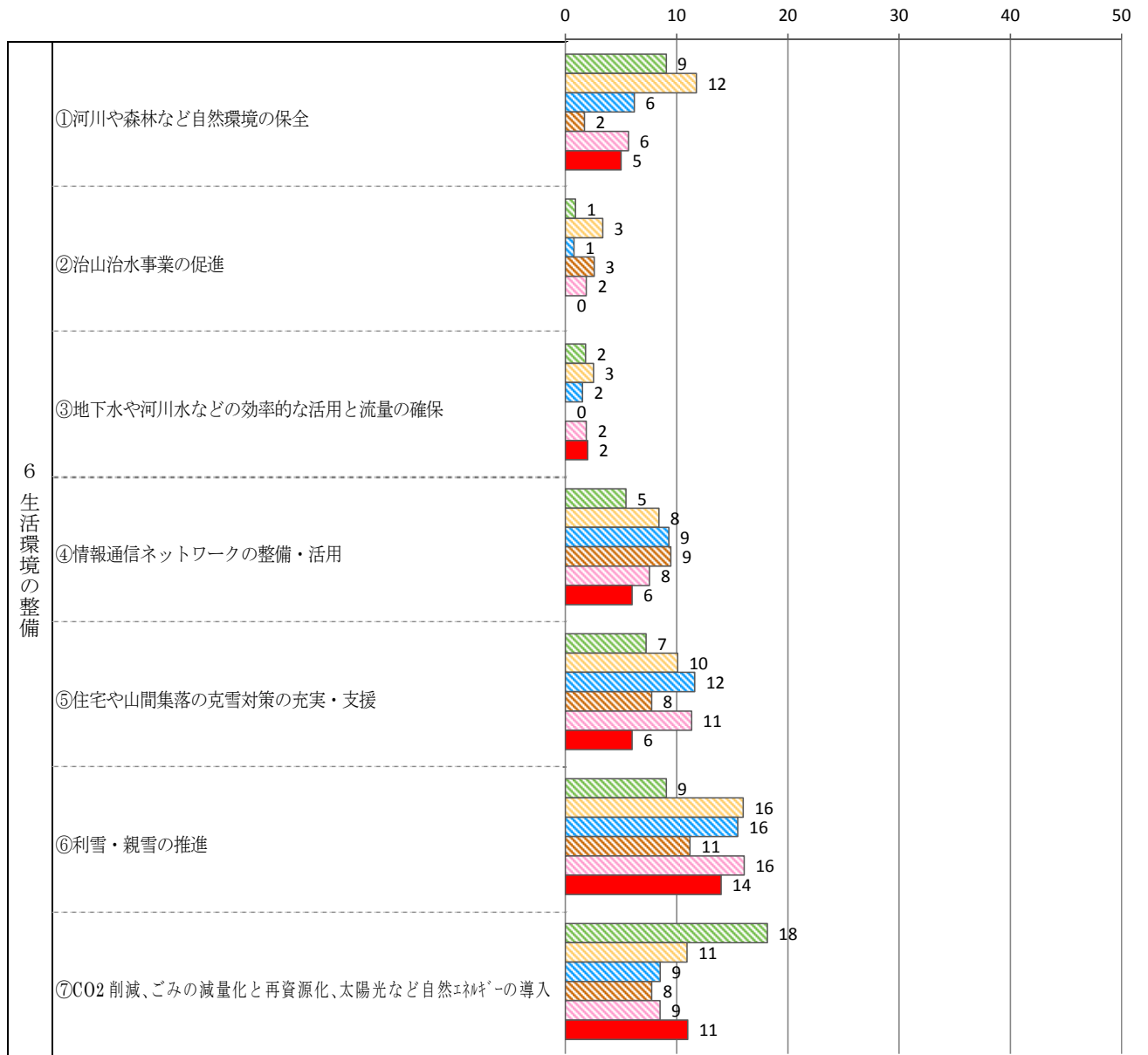


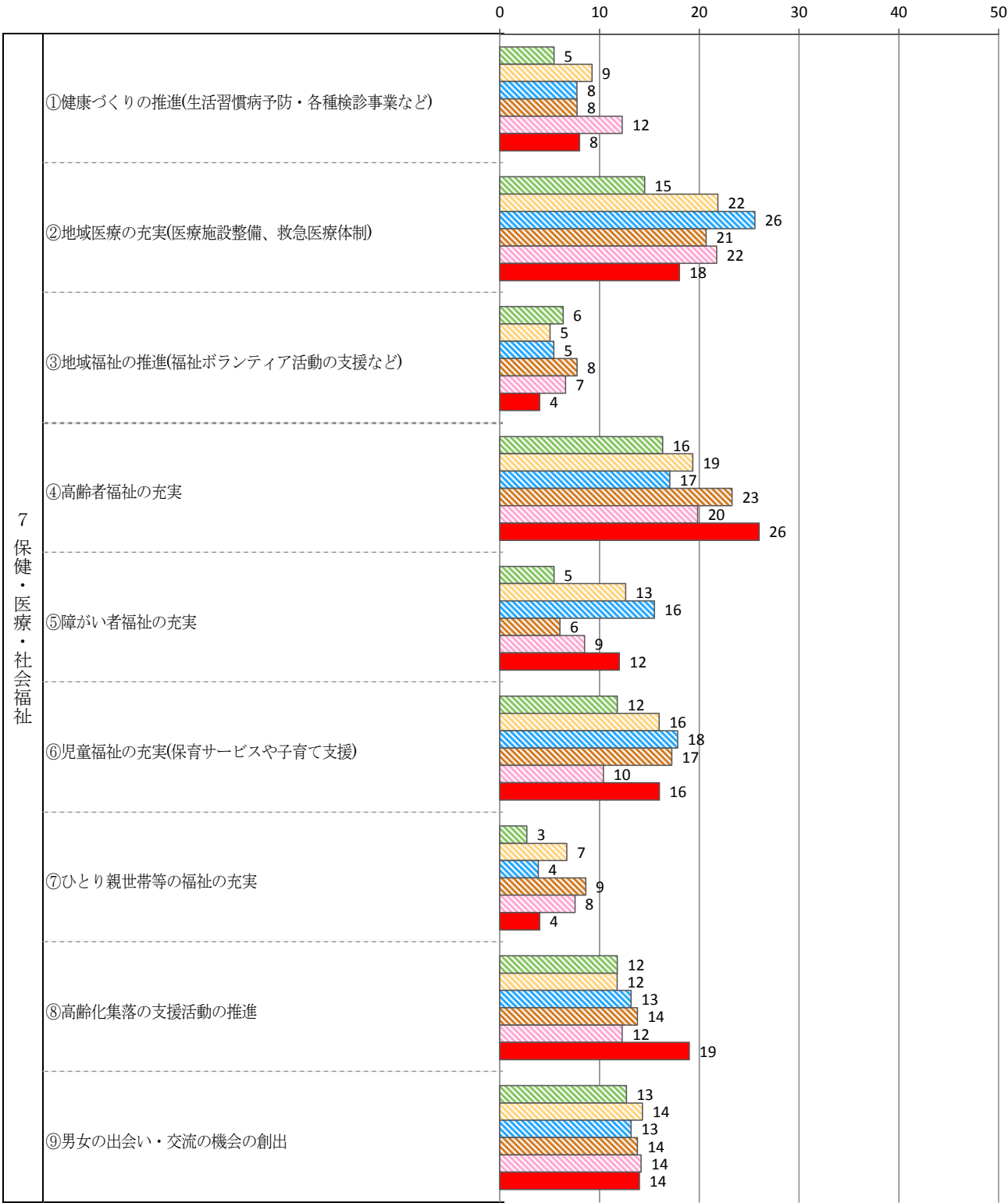
1. 20 歳代



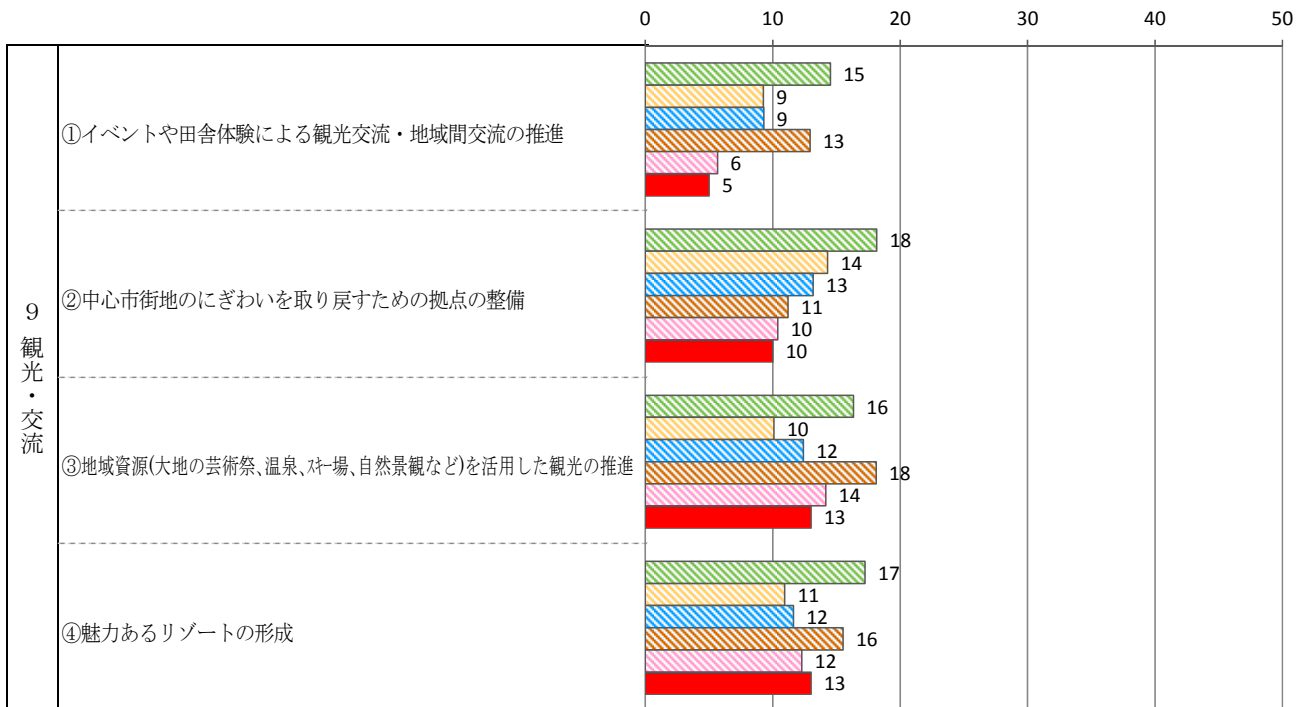
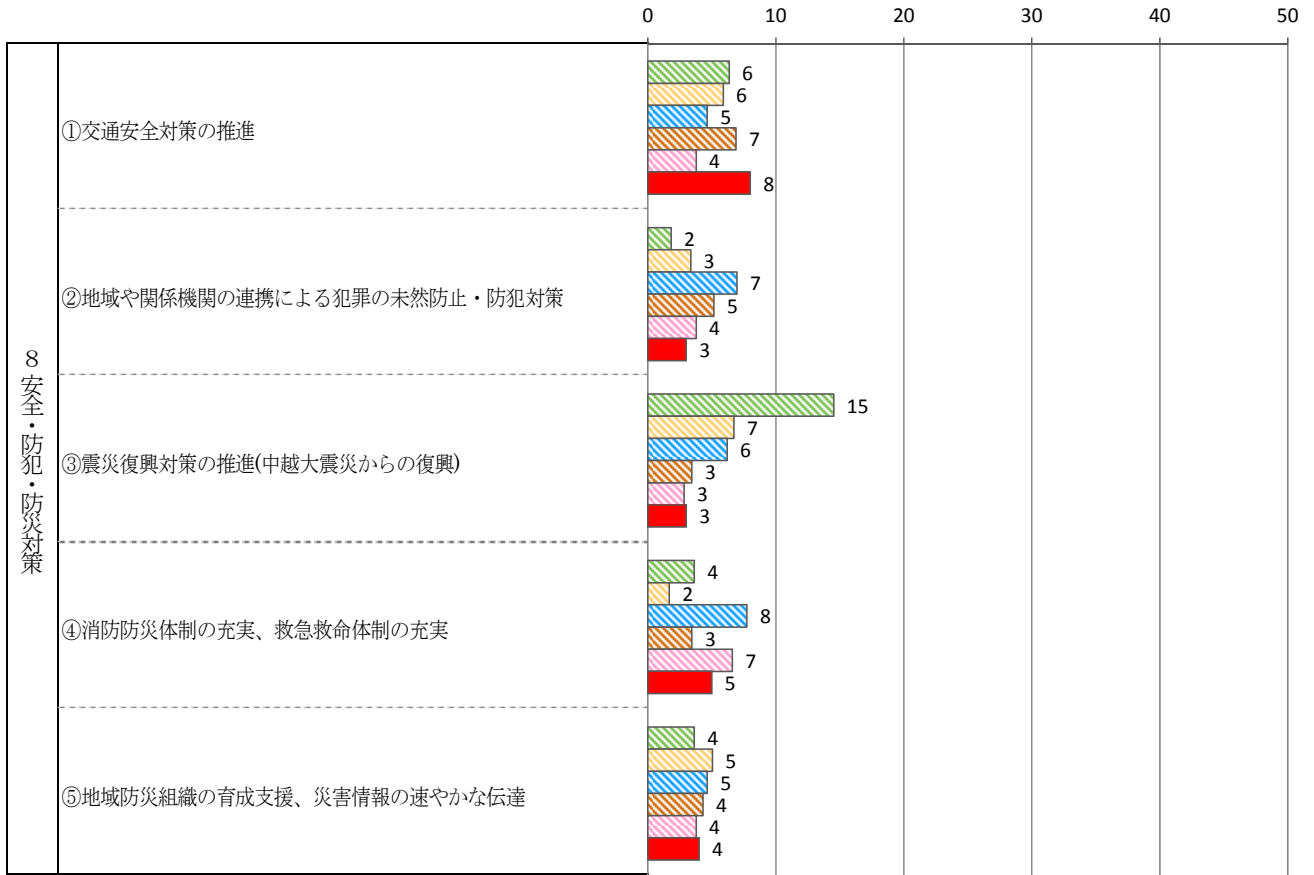


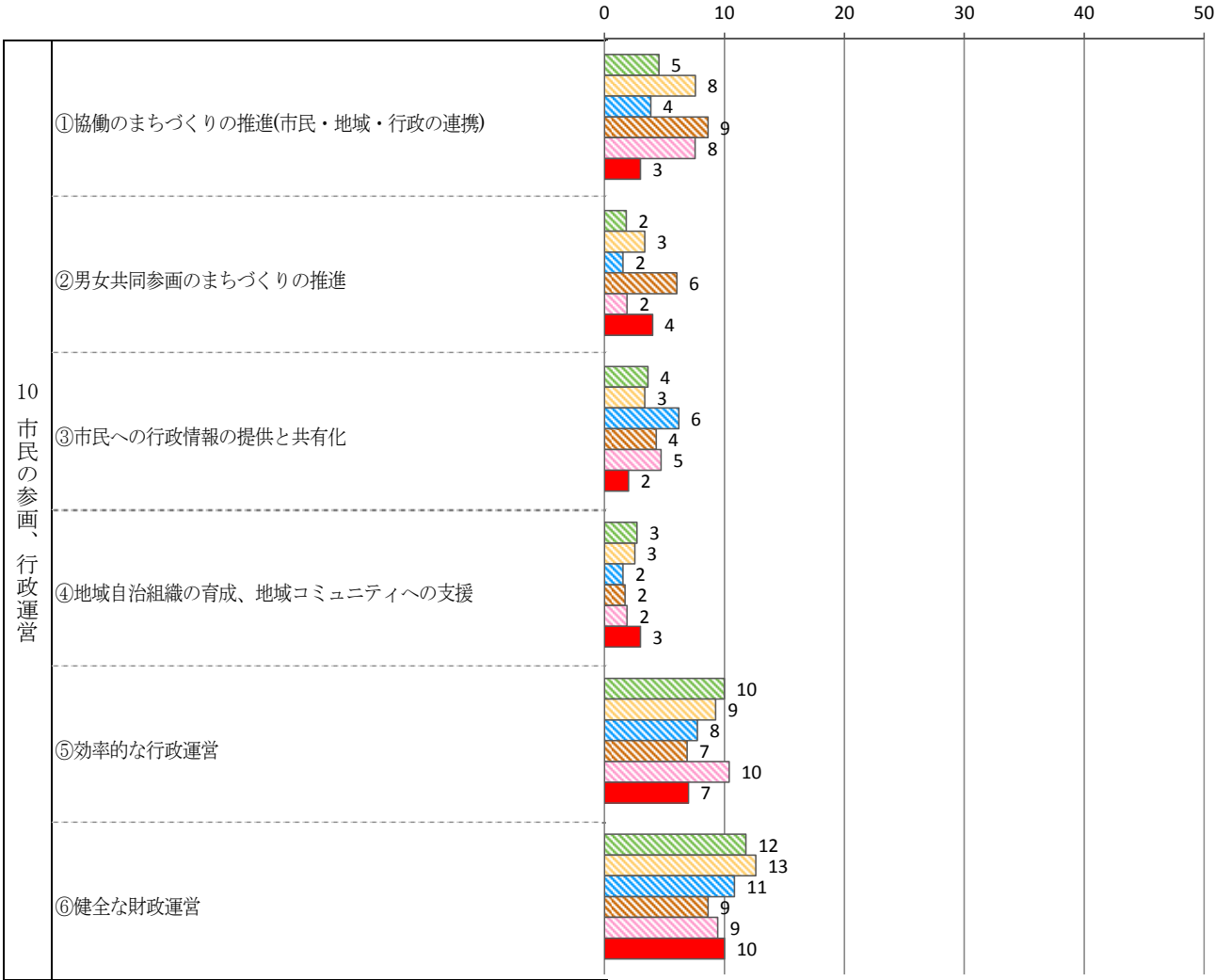
1. 20 歳代





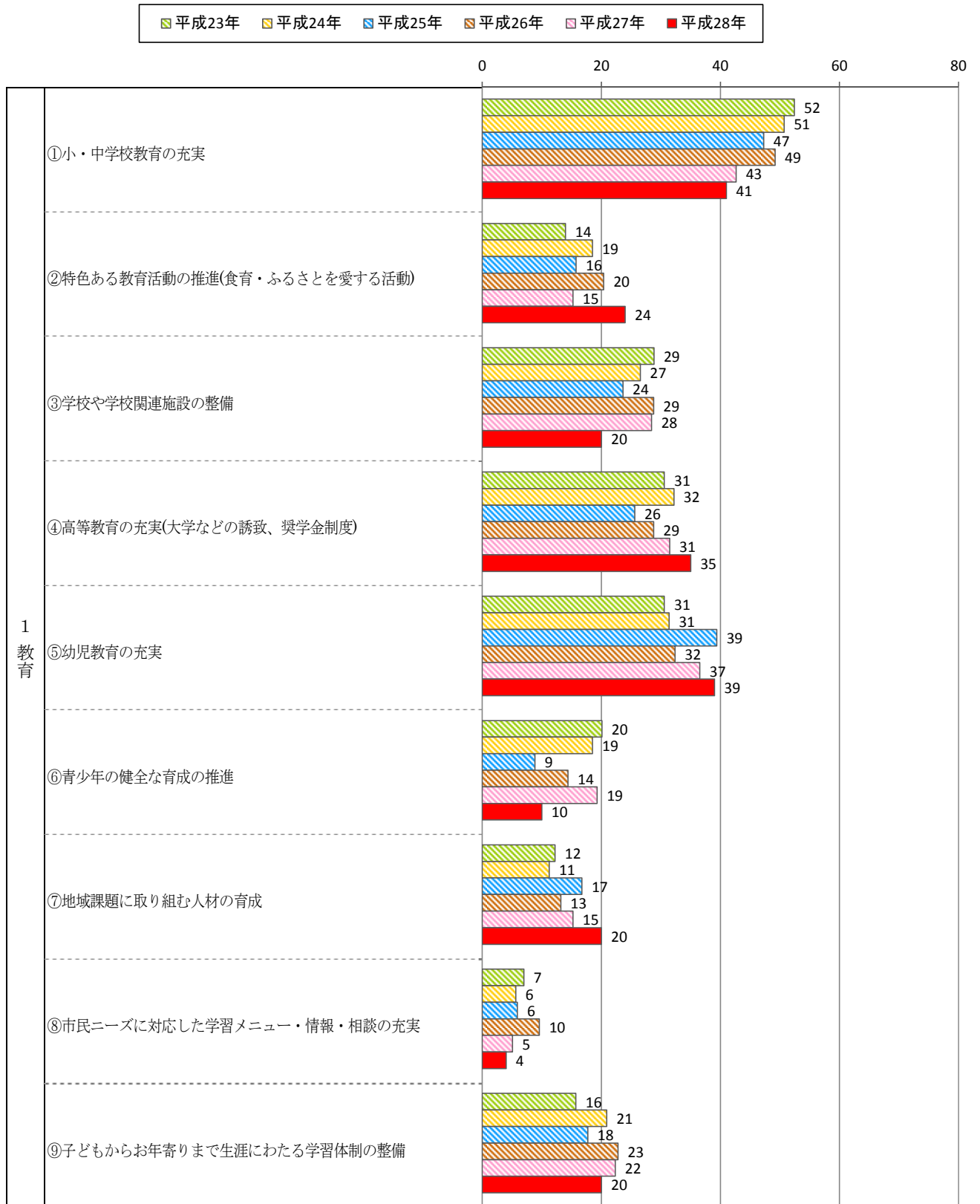
1. 20 歳代

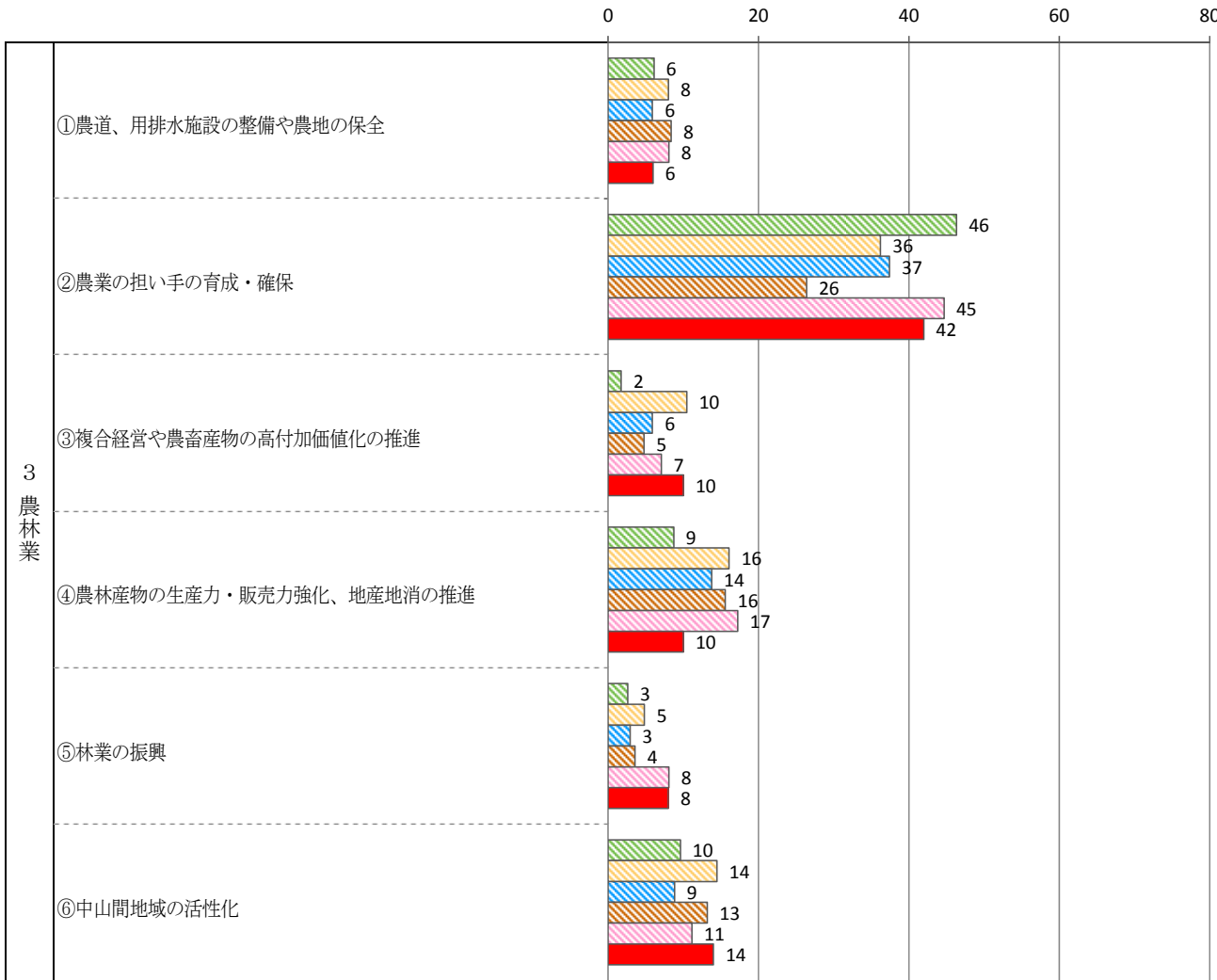
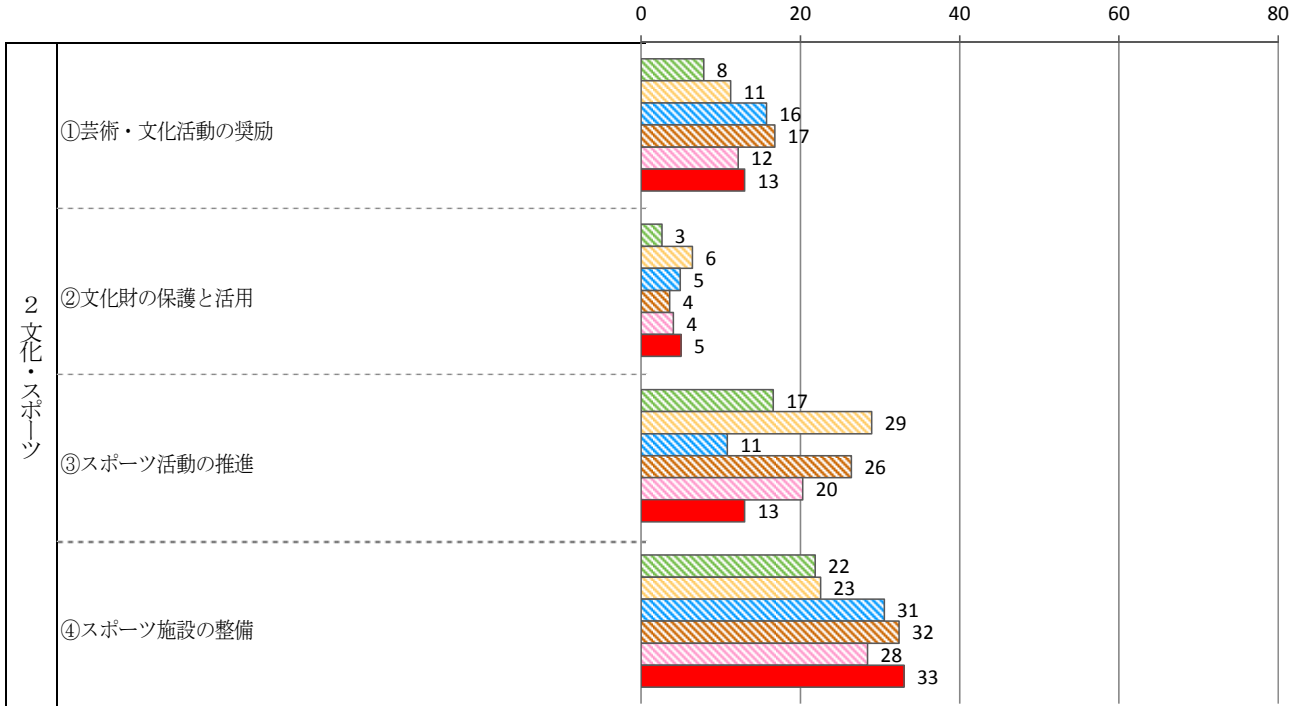




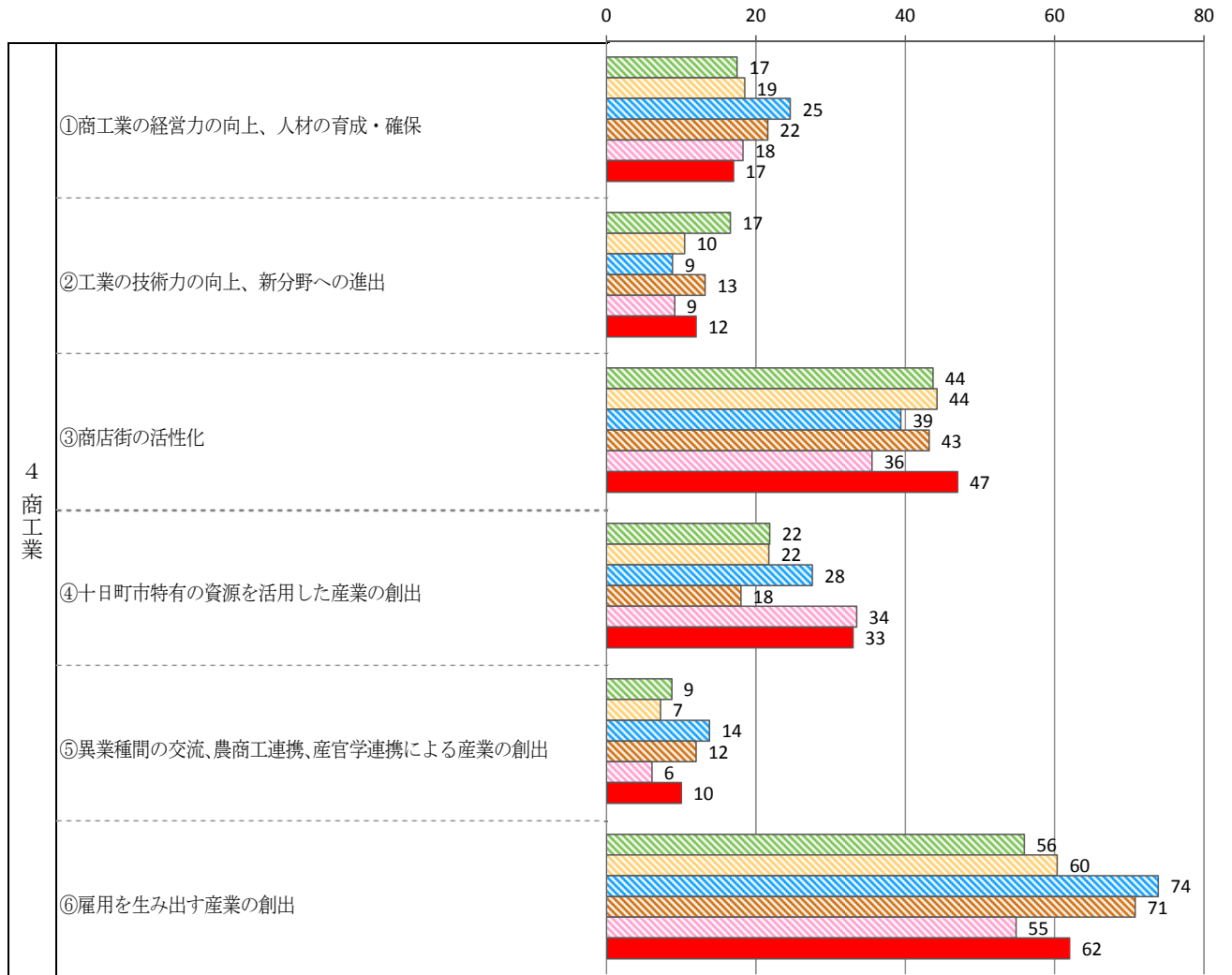
2. 30 歳代

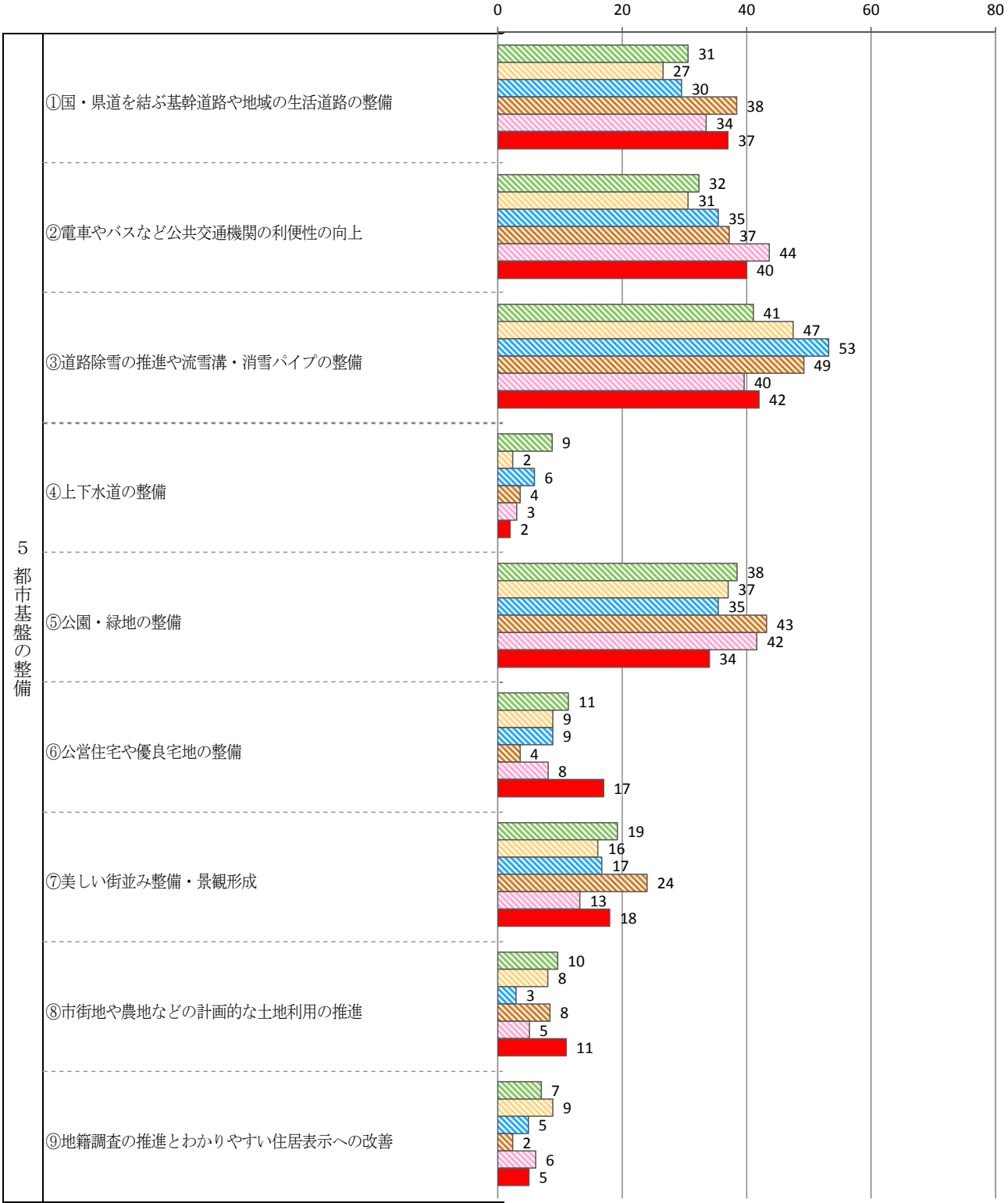
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	151	164	134	110	130	132
補正值	0.87	0.80	0.99	1.20	1.02	1.00



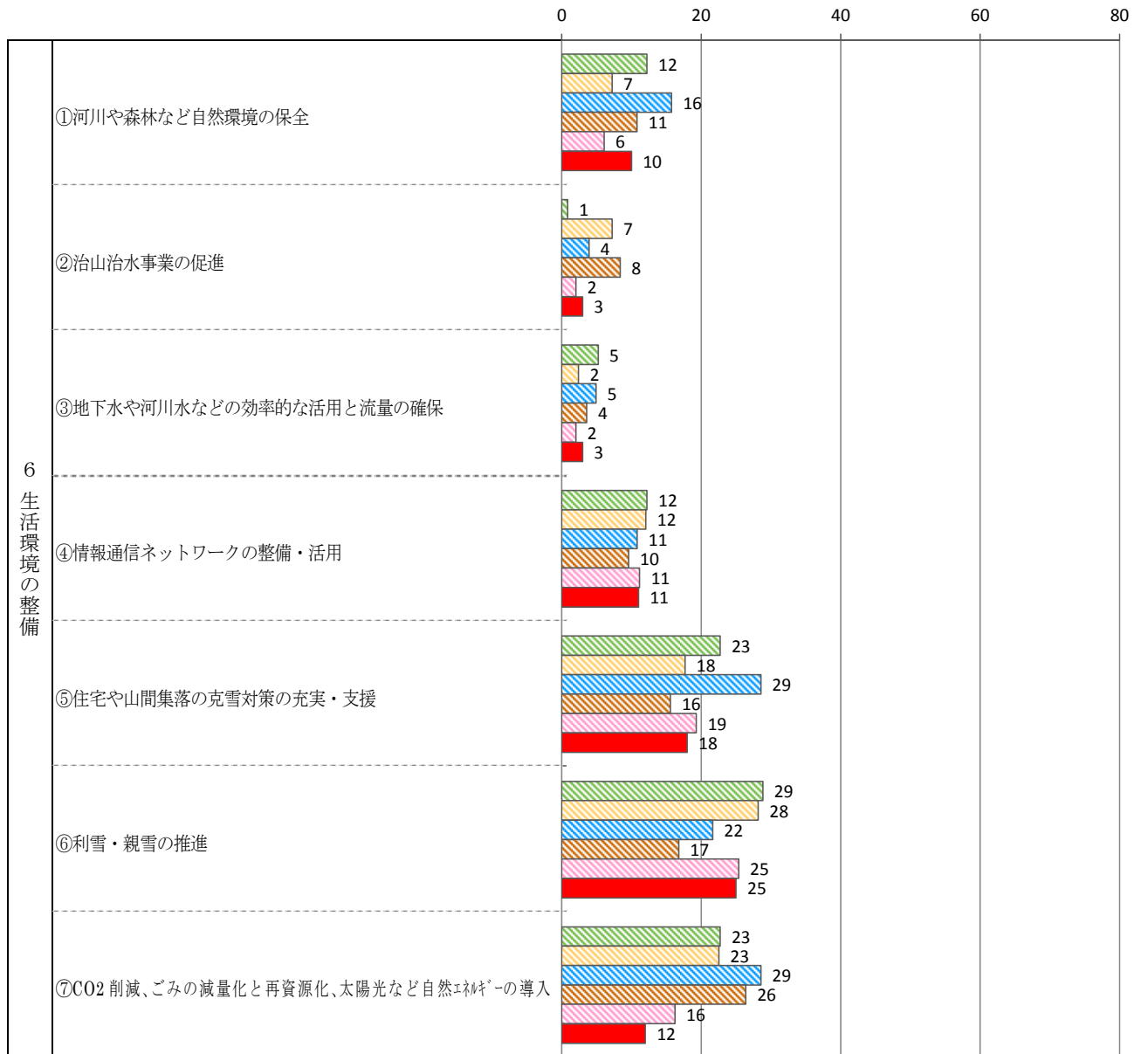
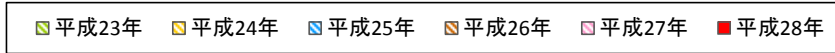


2. 30 歳代

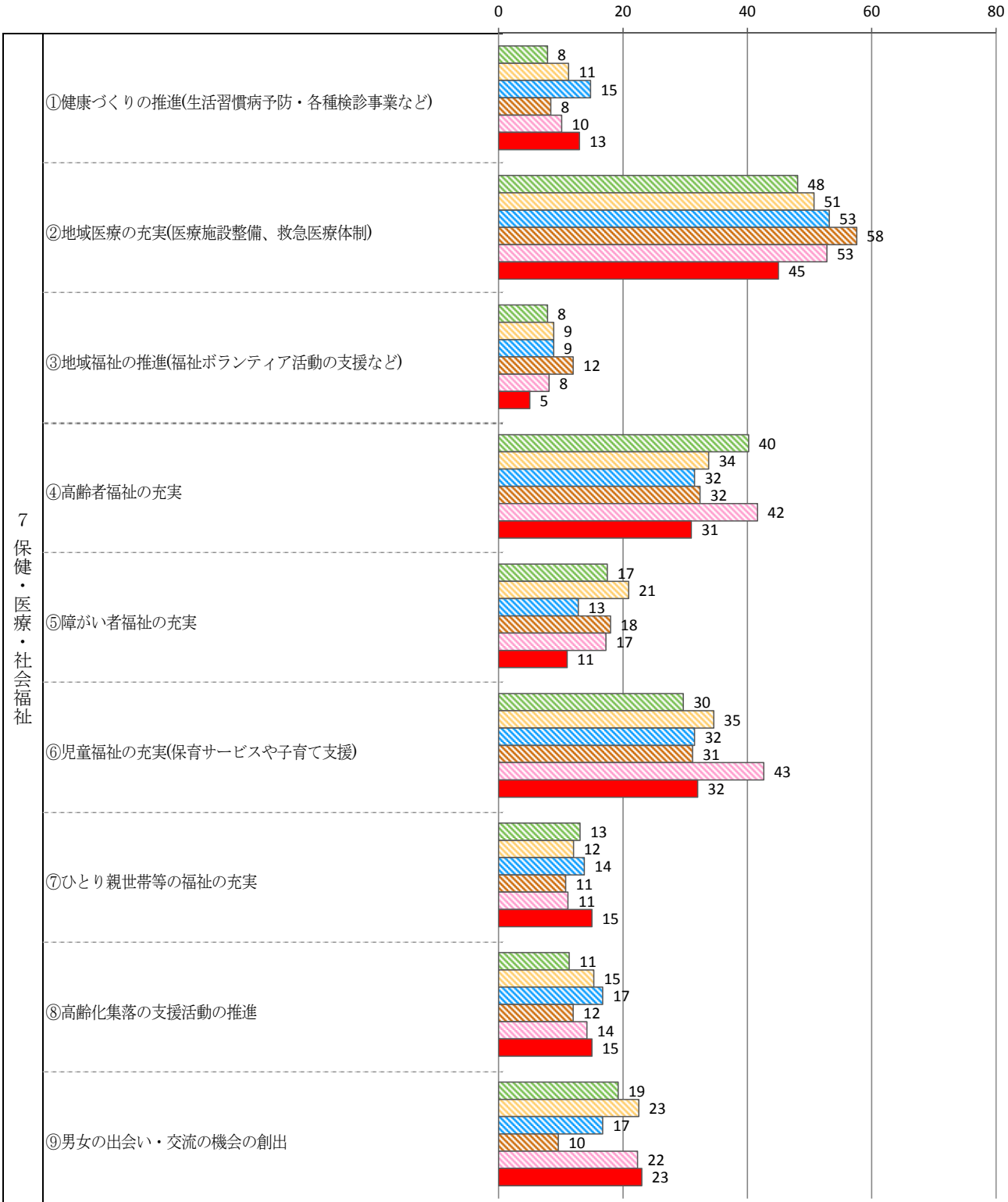




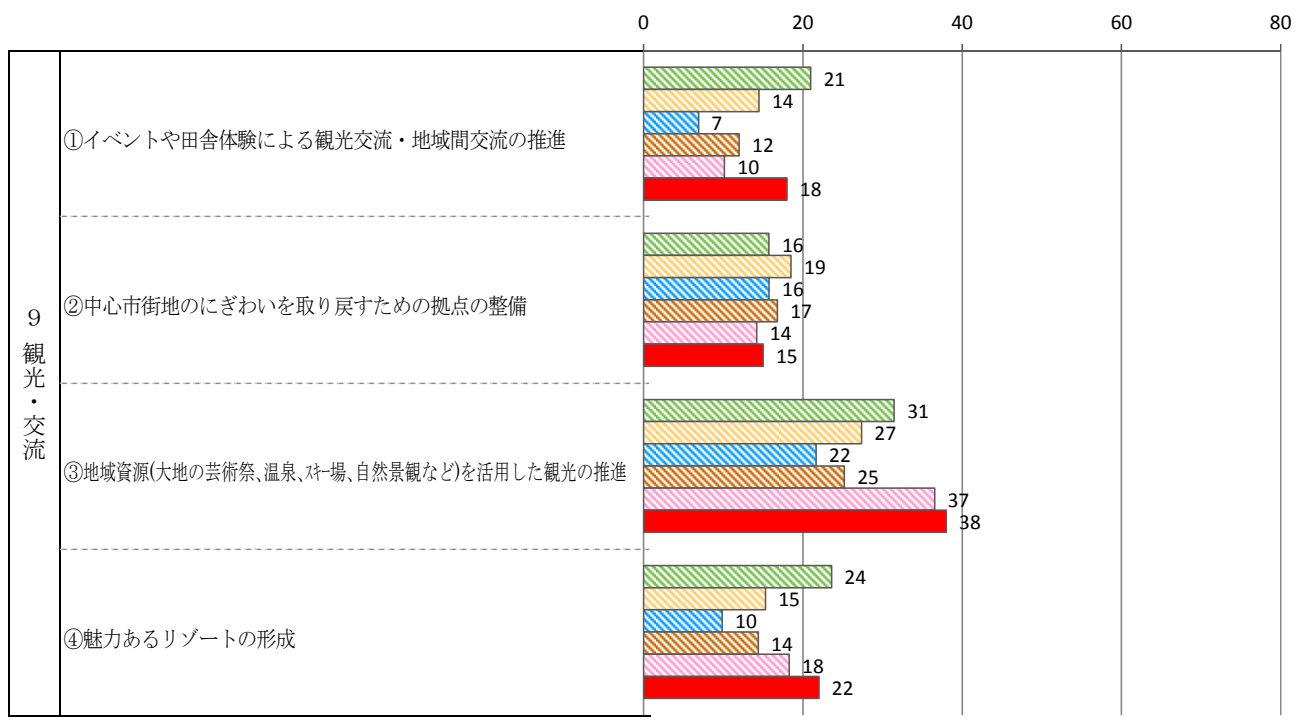
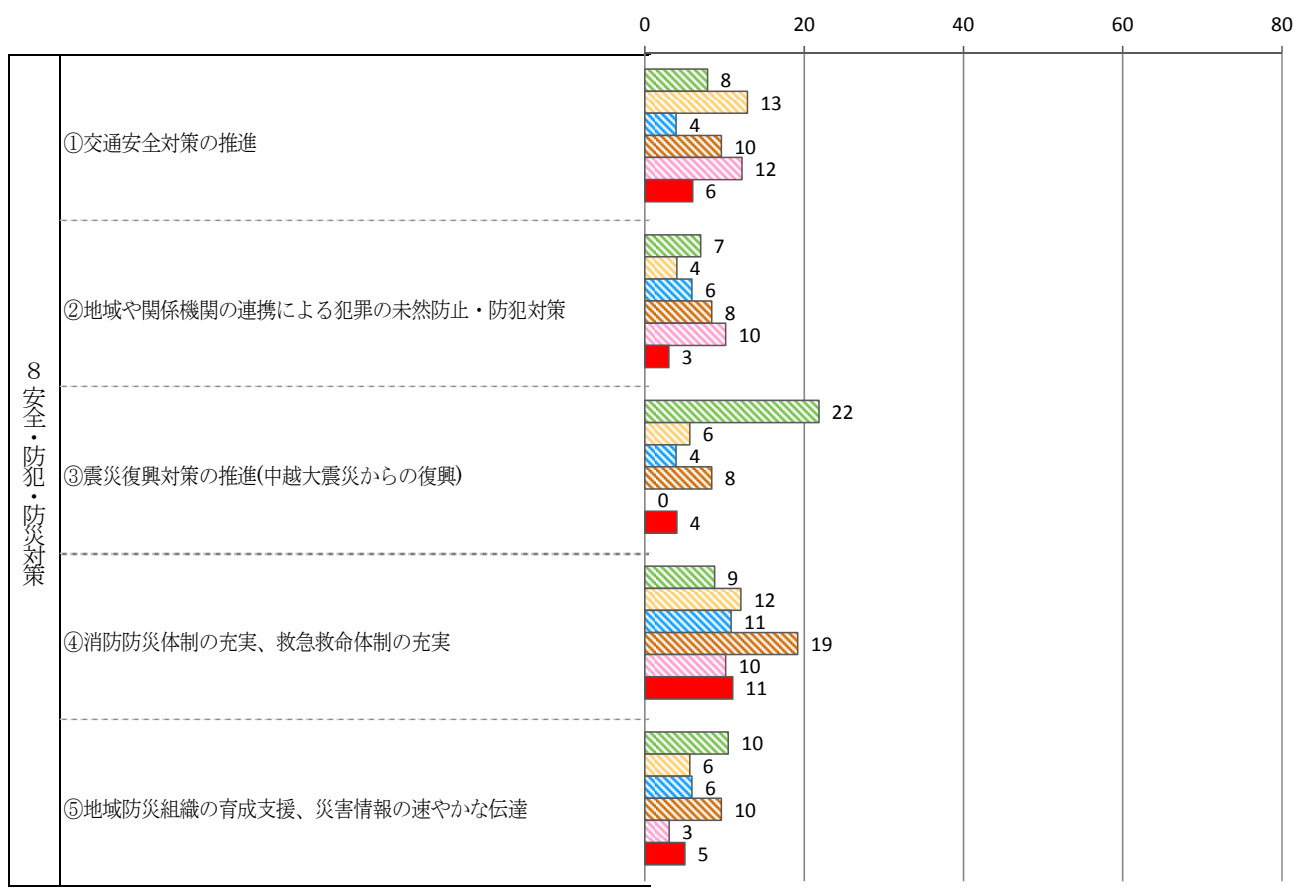
2. 30 歳代

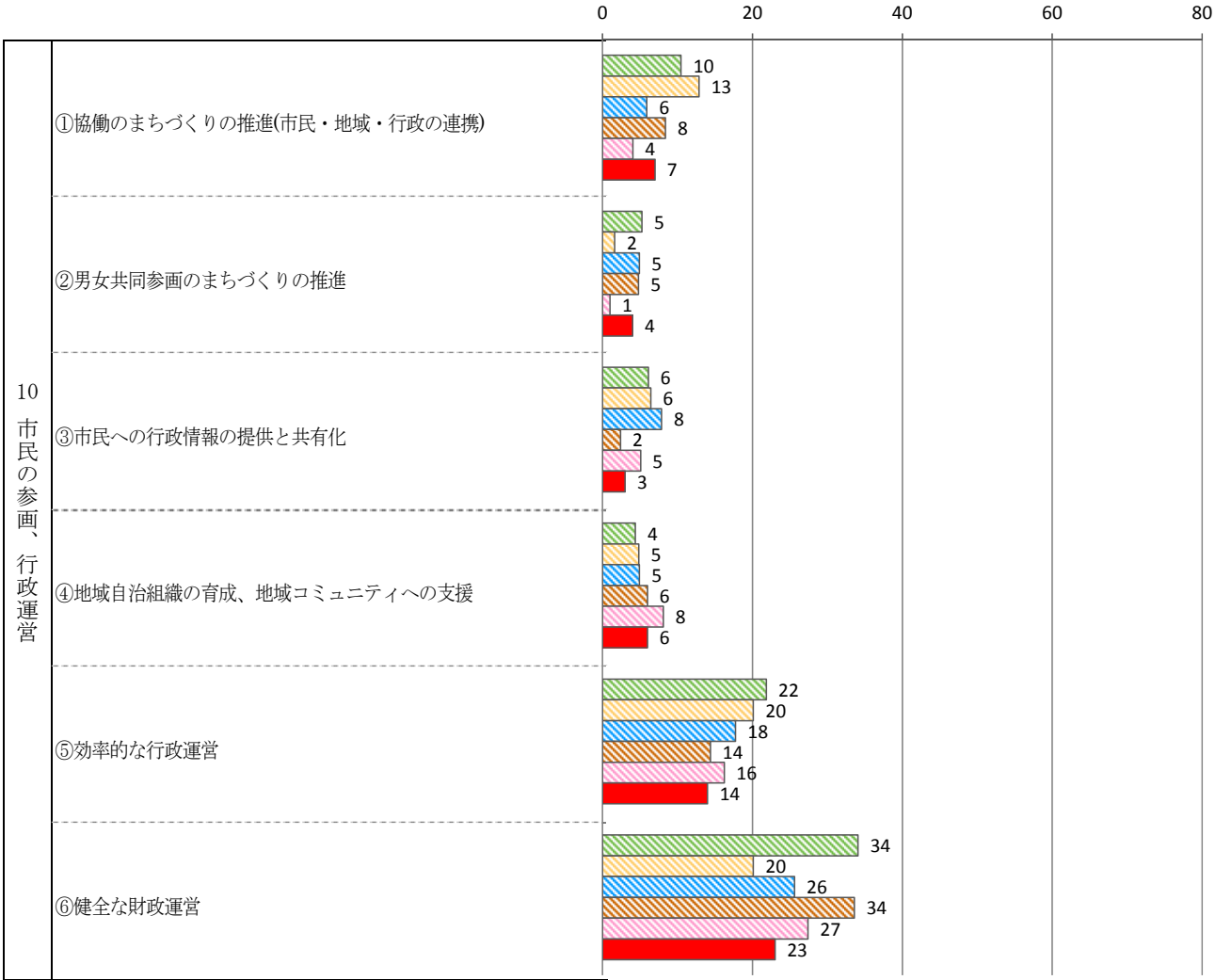


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



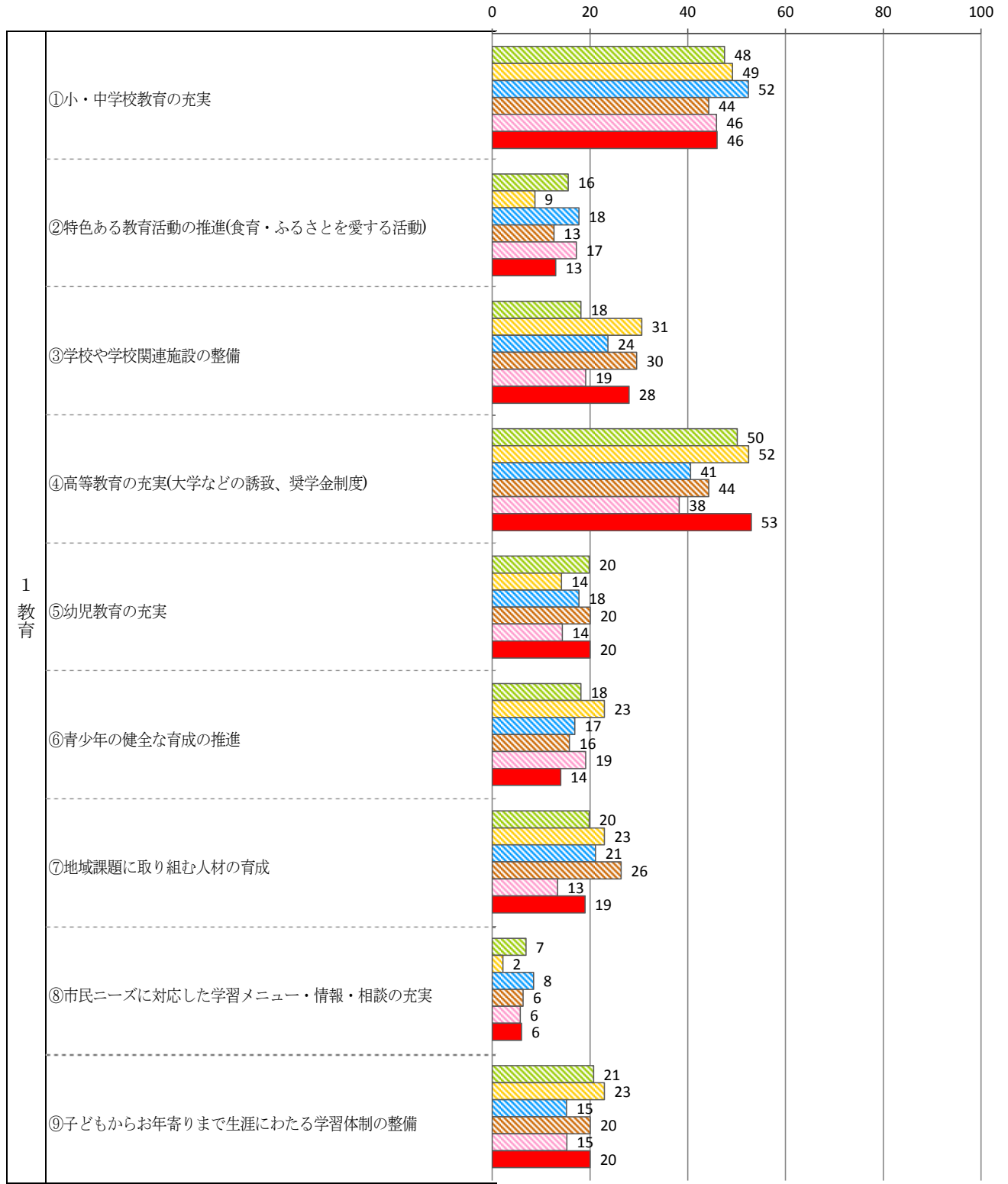
2. 30歳代

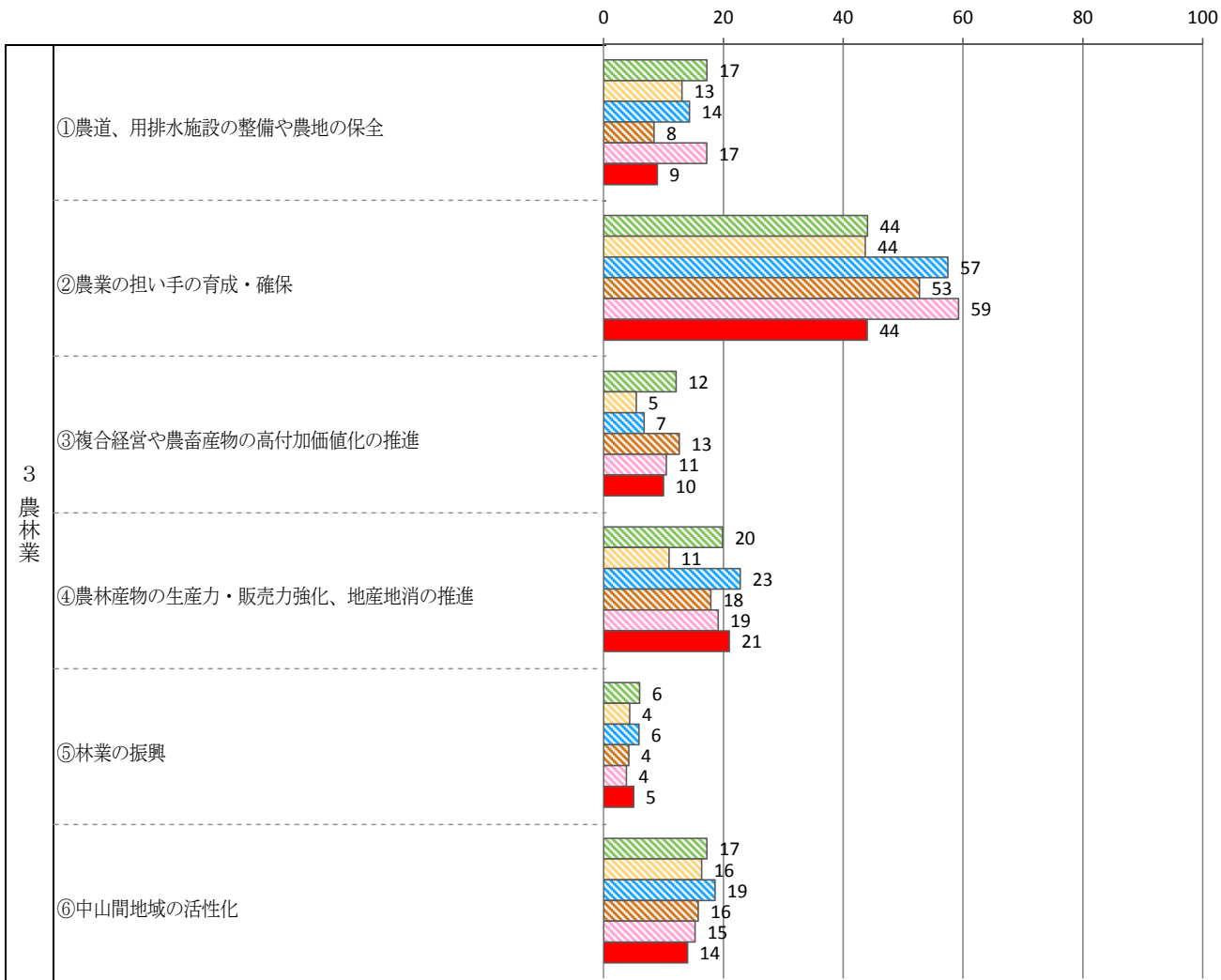
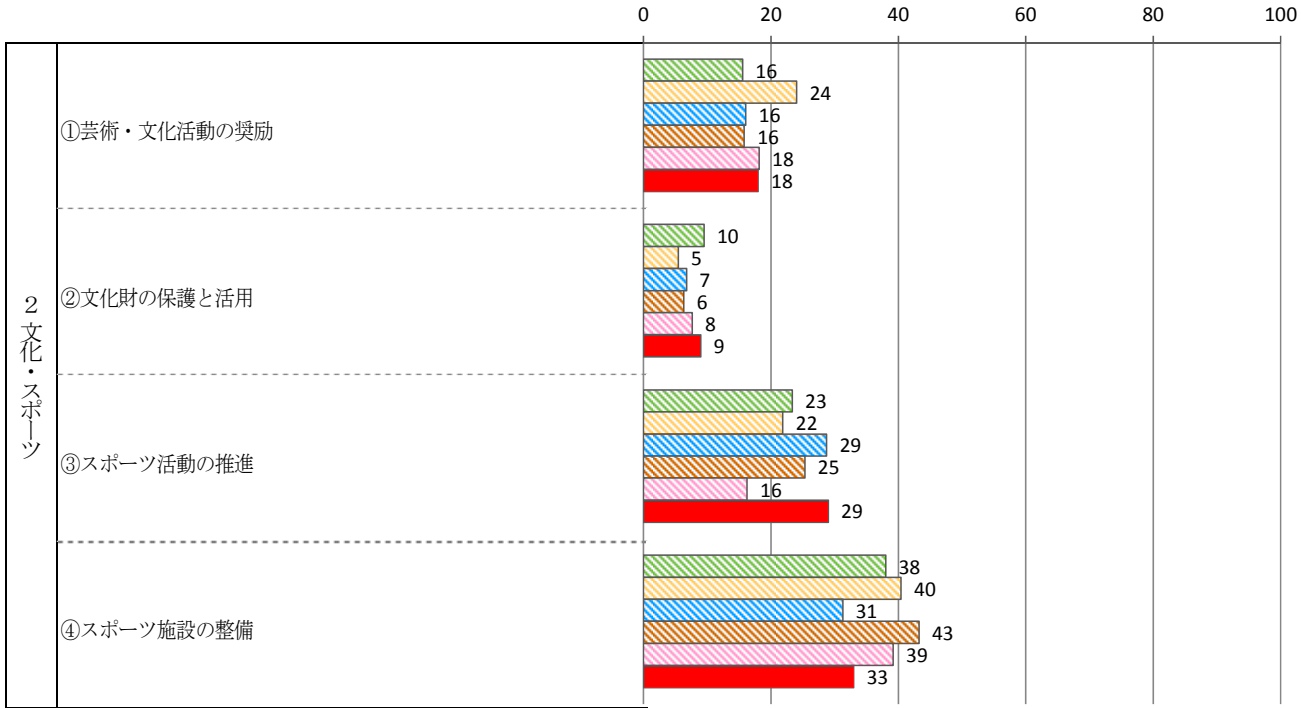




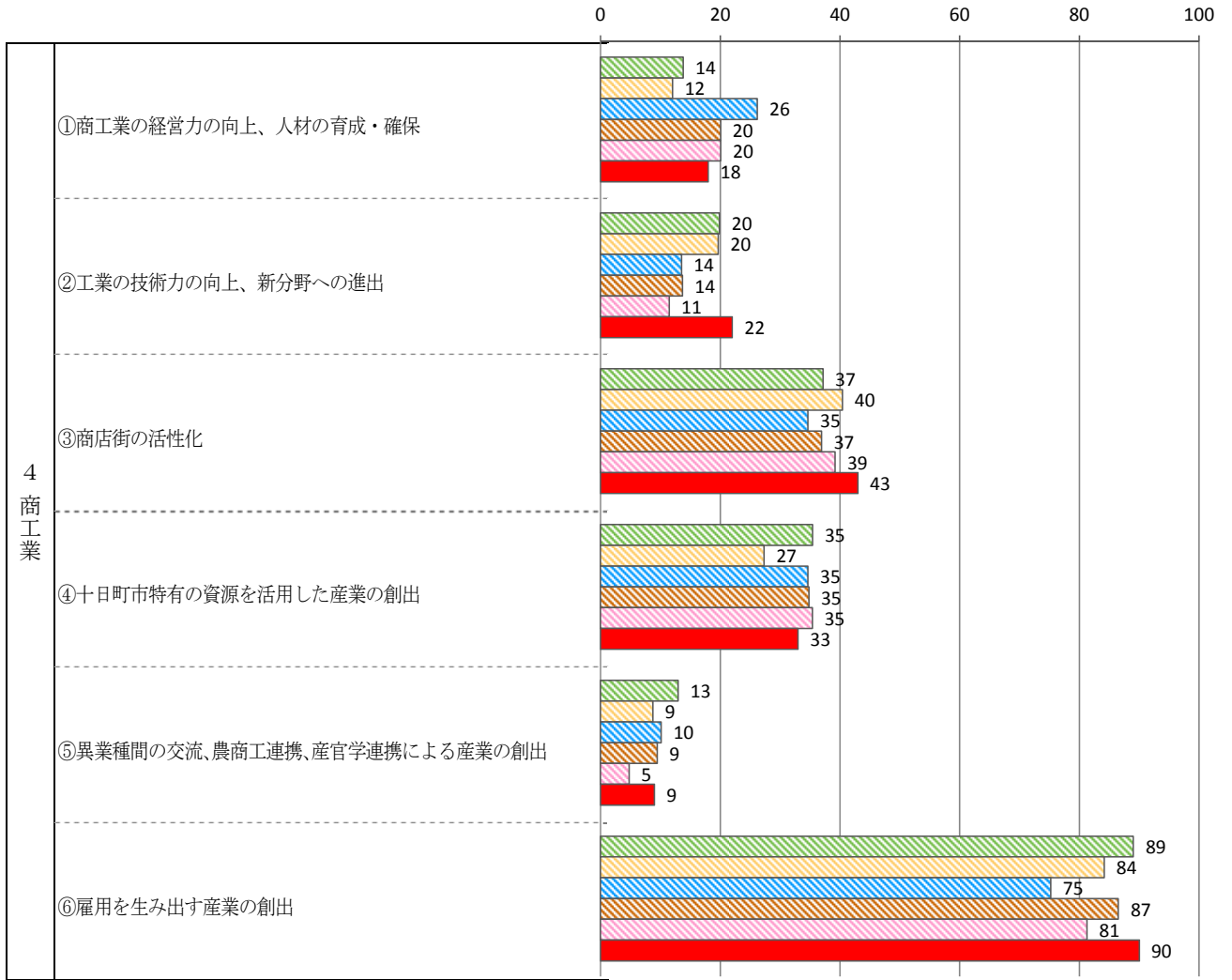
3. 40 歳代

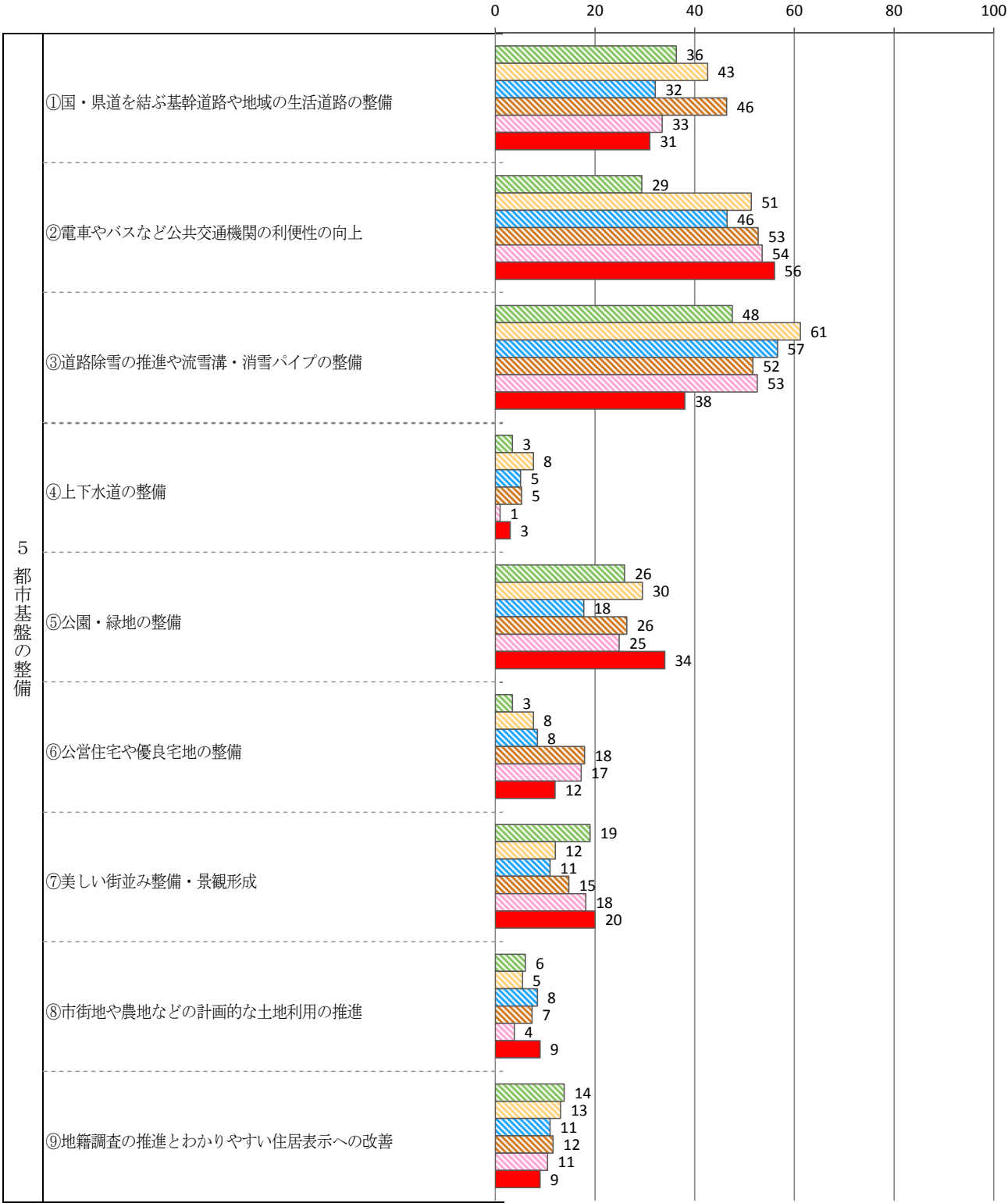
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	177	140	181	145	160	153
補正值	0.86	1.09	0.85	1.06	0.96	1.00



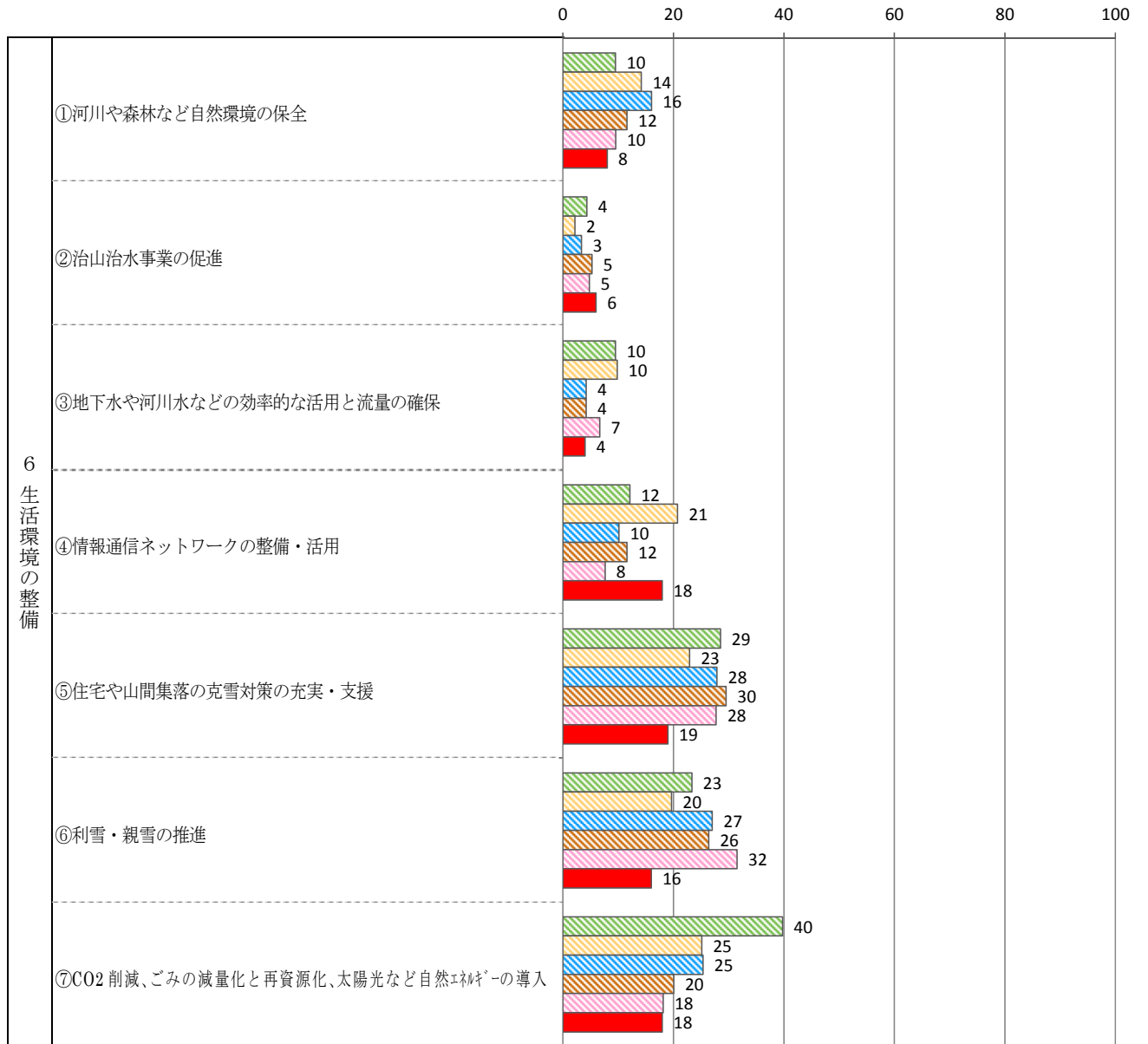
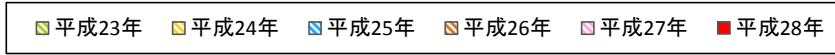


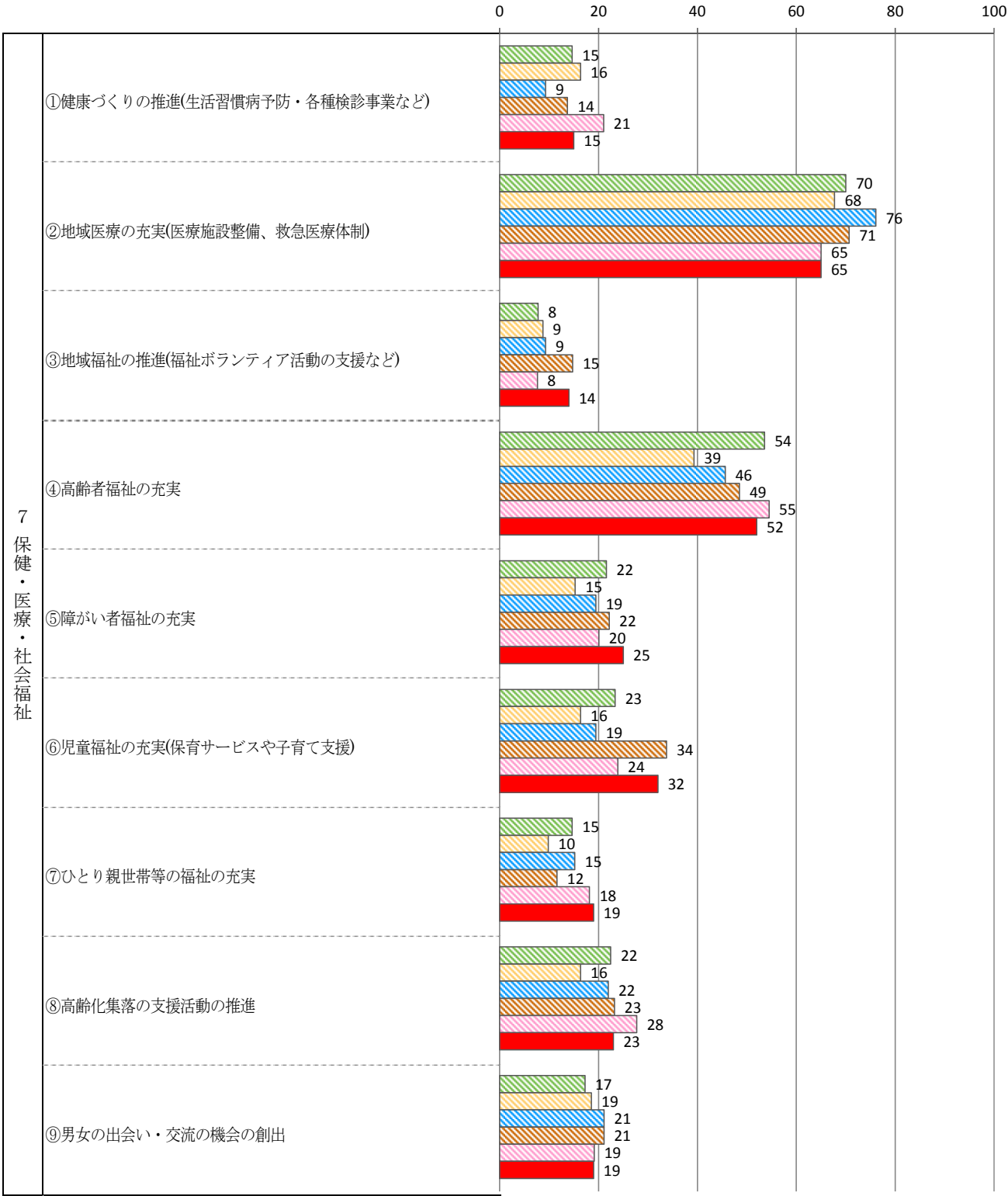
3. 40 歳代



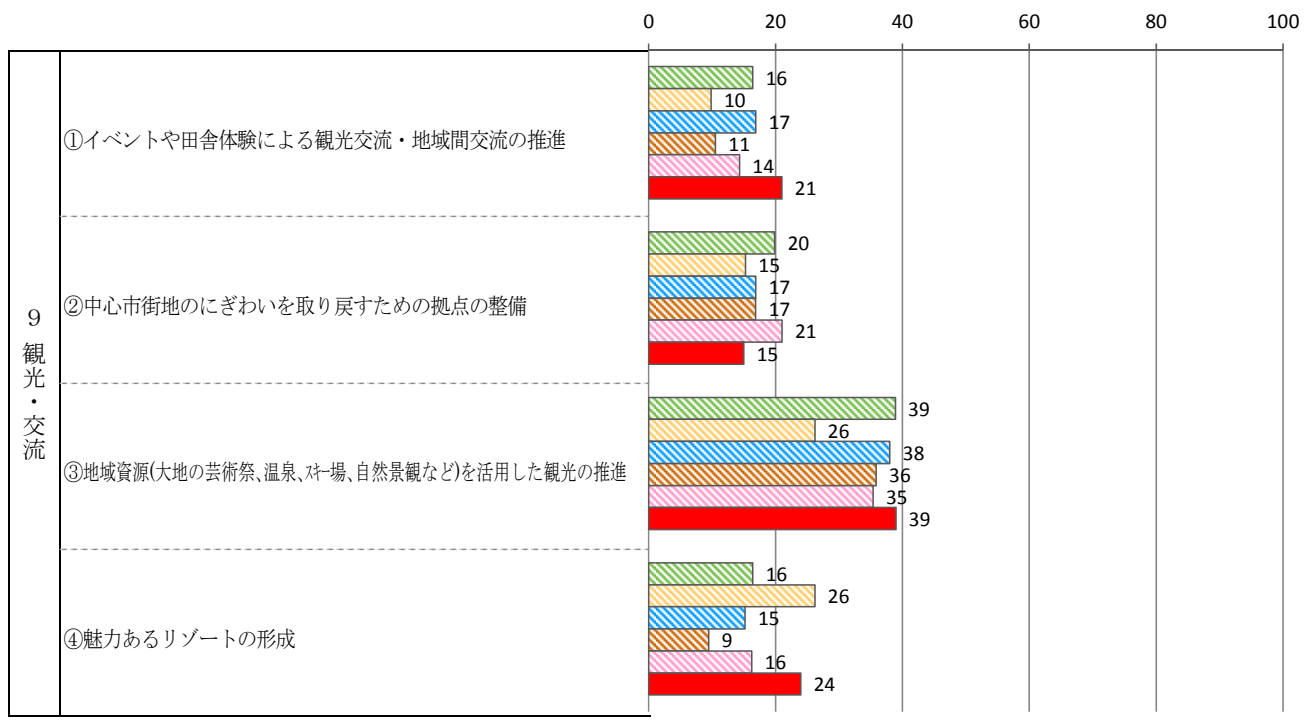
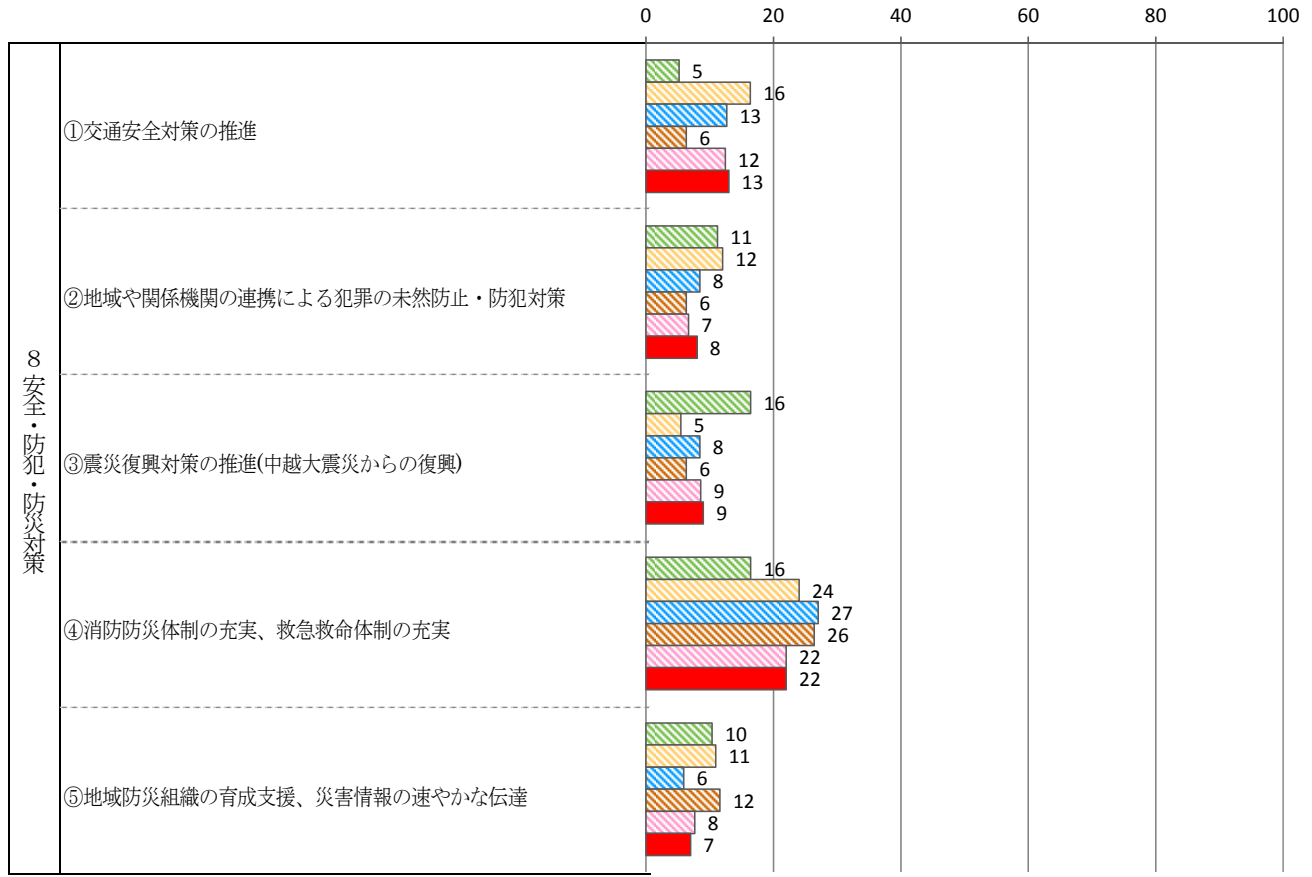


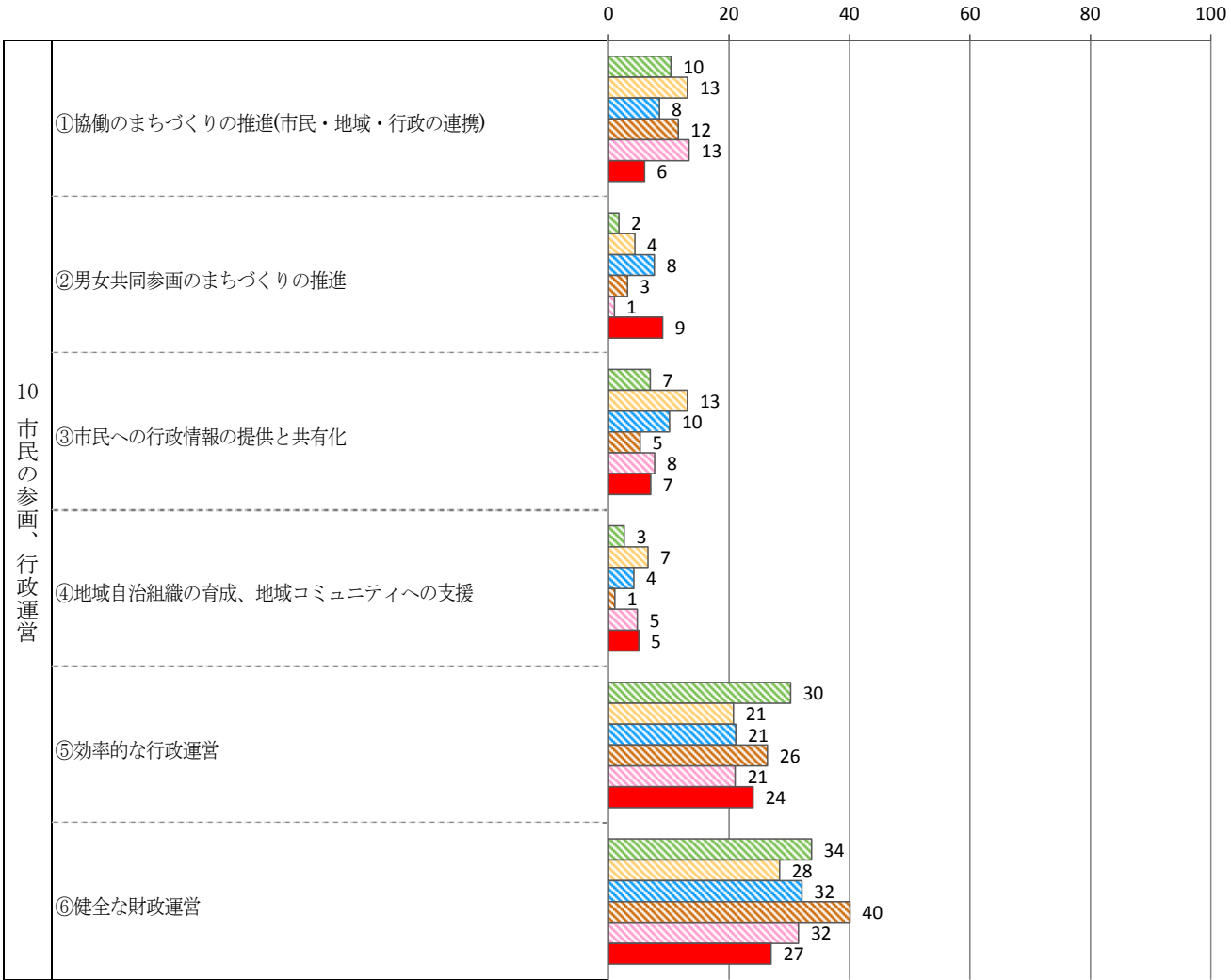
3. 40 歳代





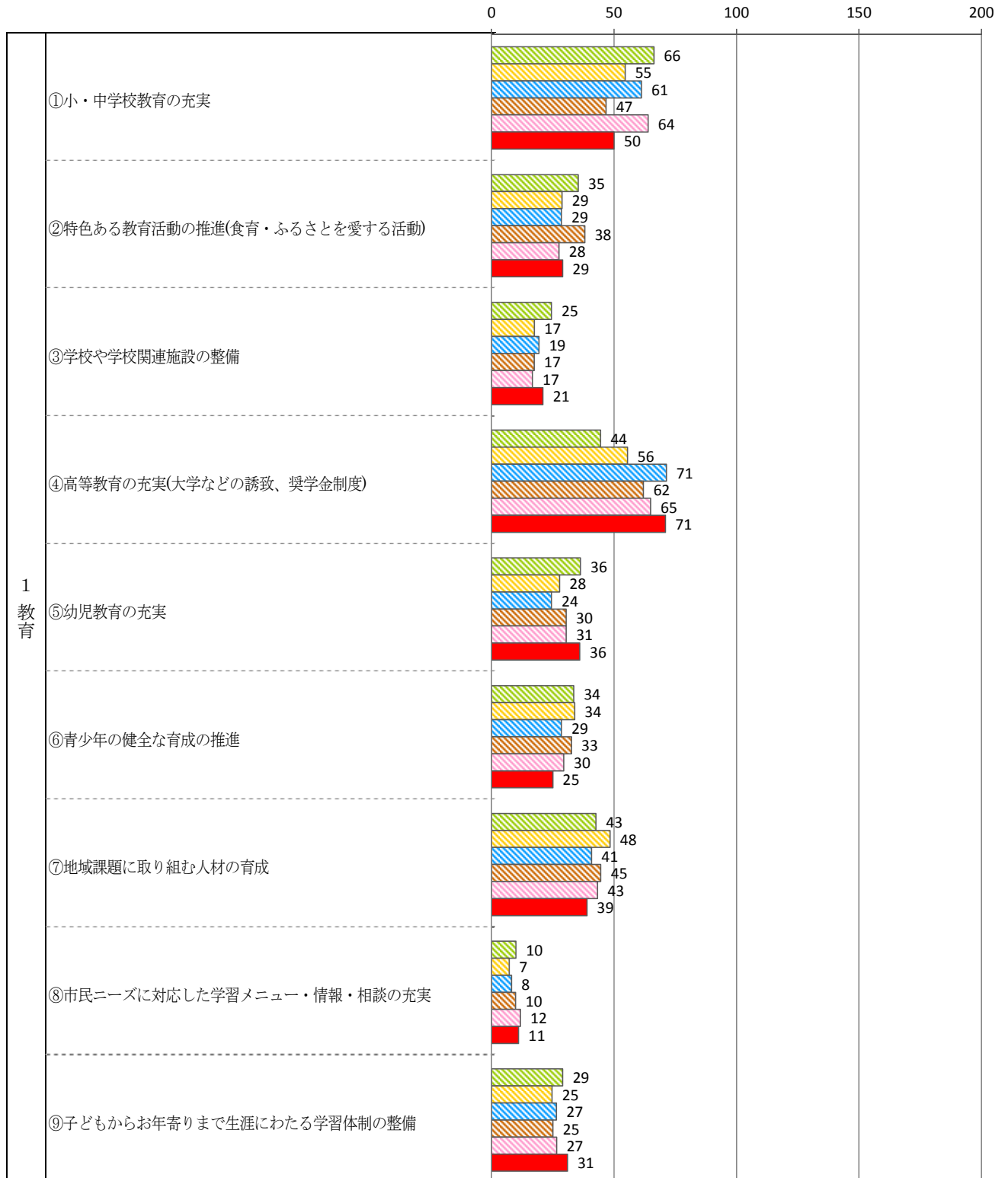
3. 40 歳代



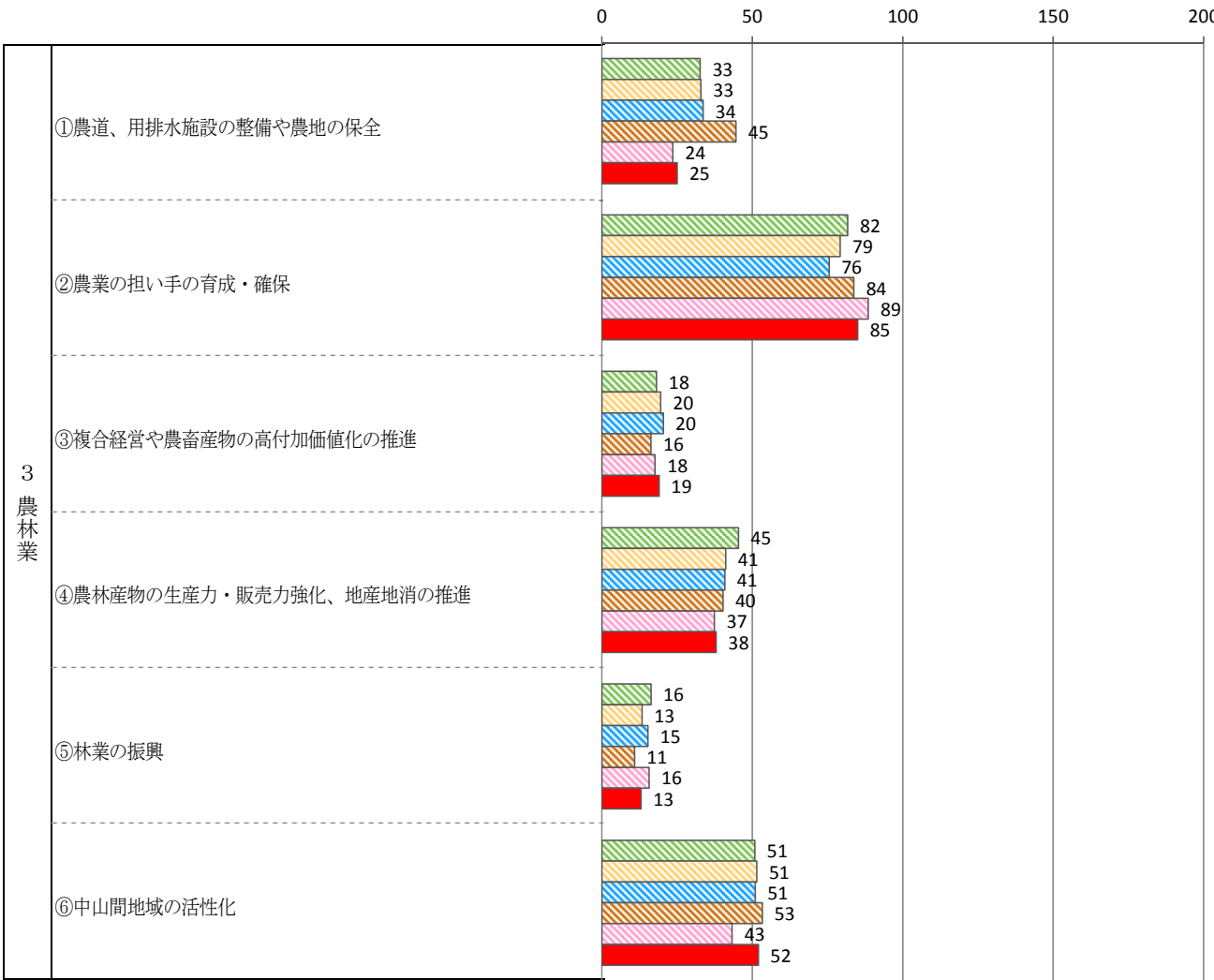
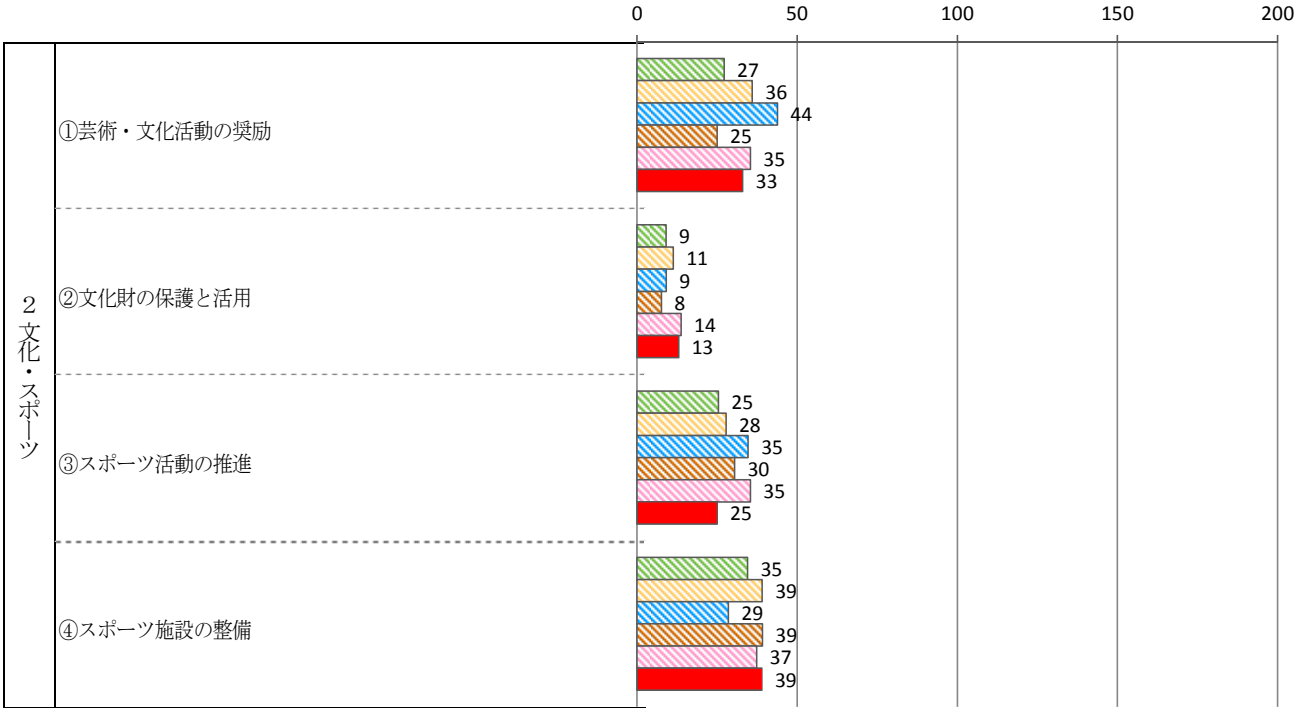


4. 50 歳代

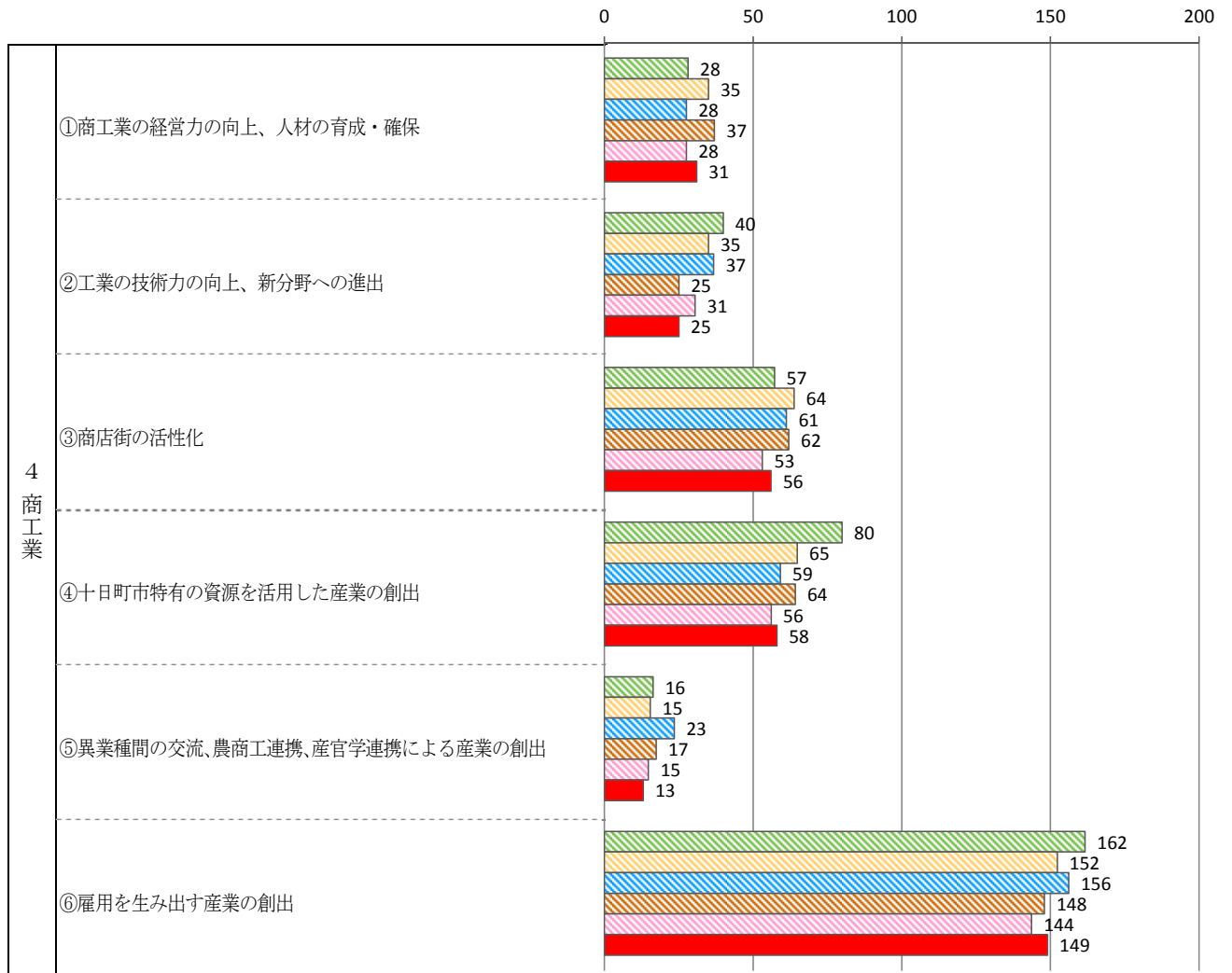
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	272	240	242	227	251	247
補正值	0.91	1.03	1.02	1.09	0.98	1.00



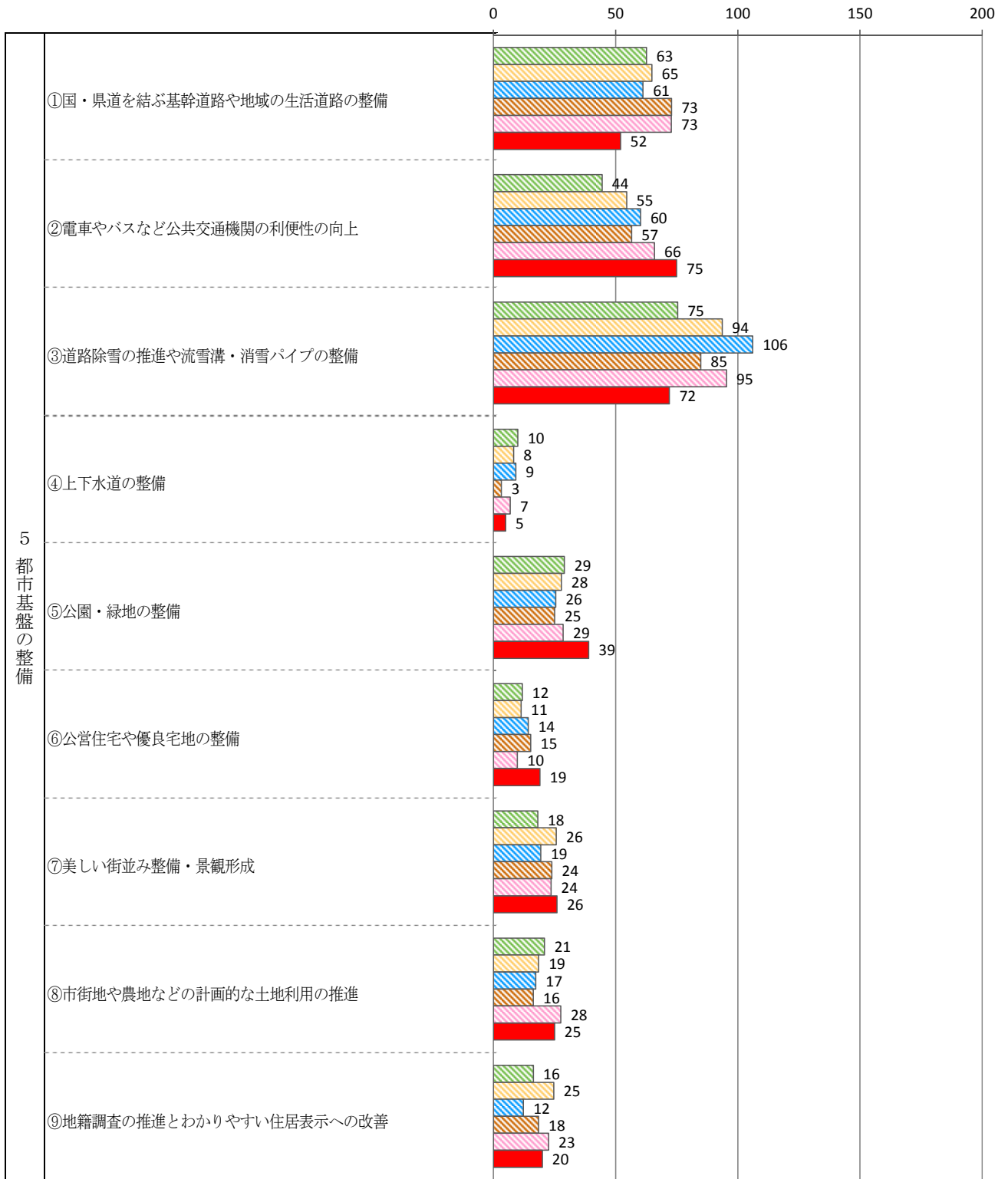
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



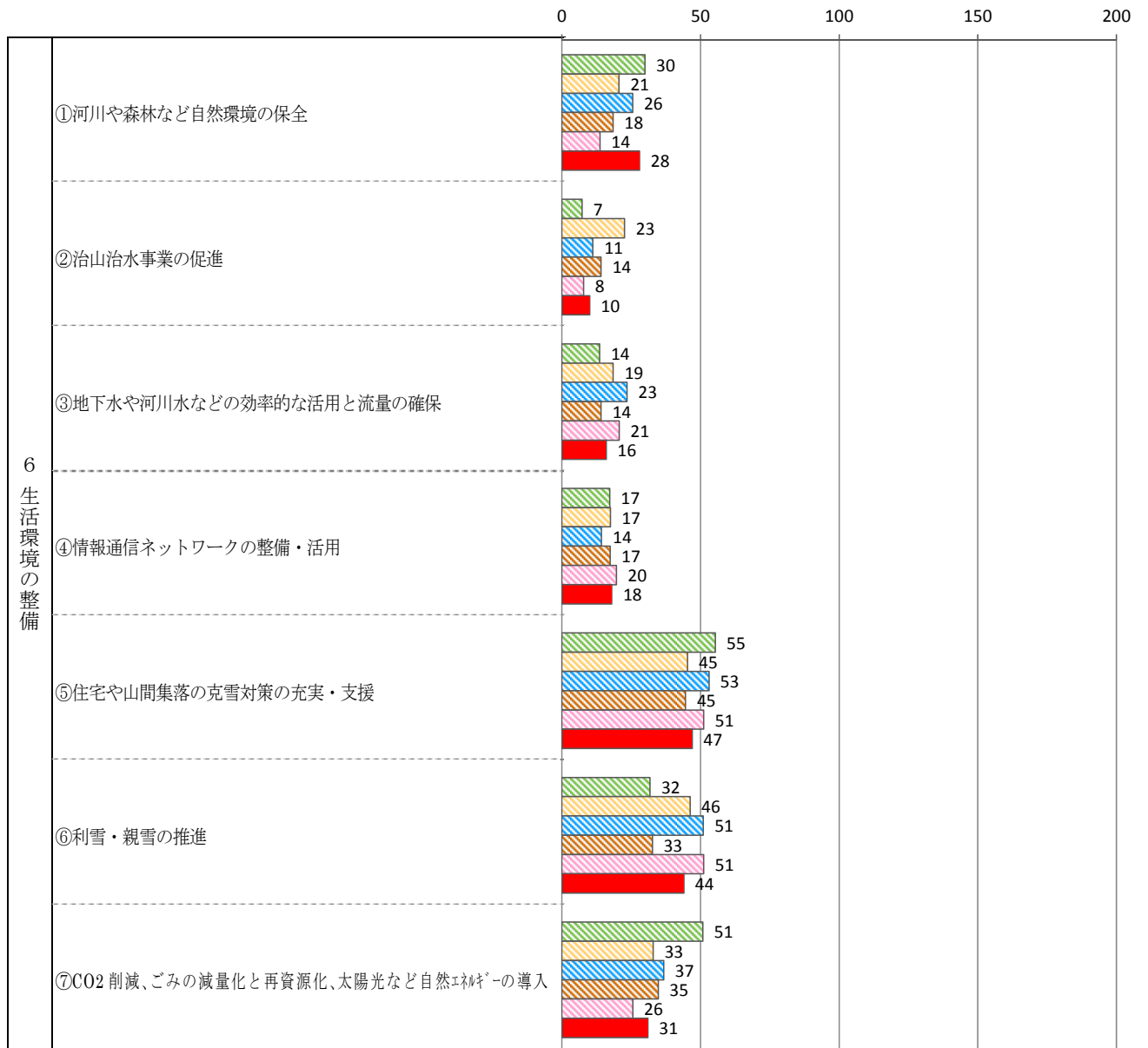
4. 50 歳代



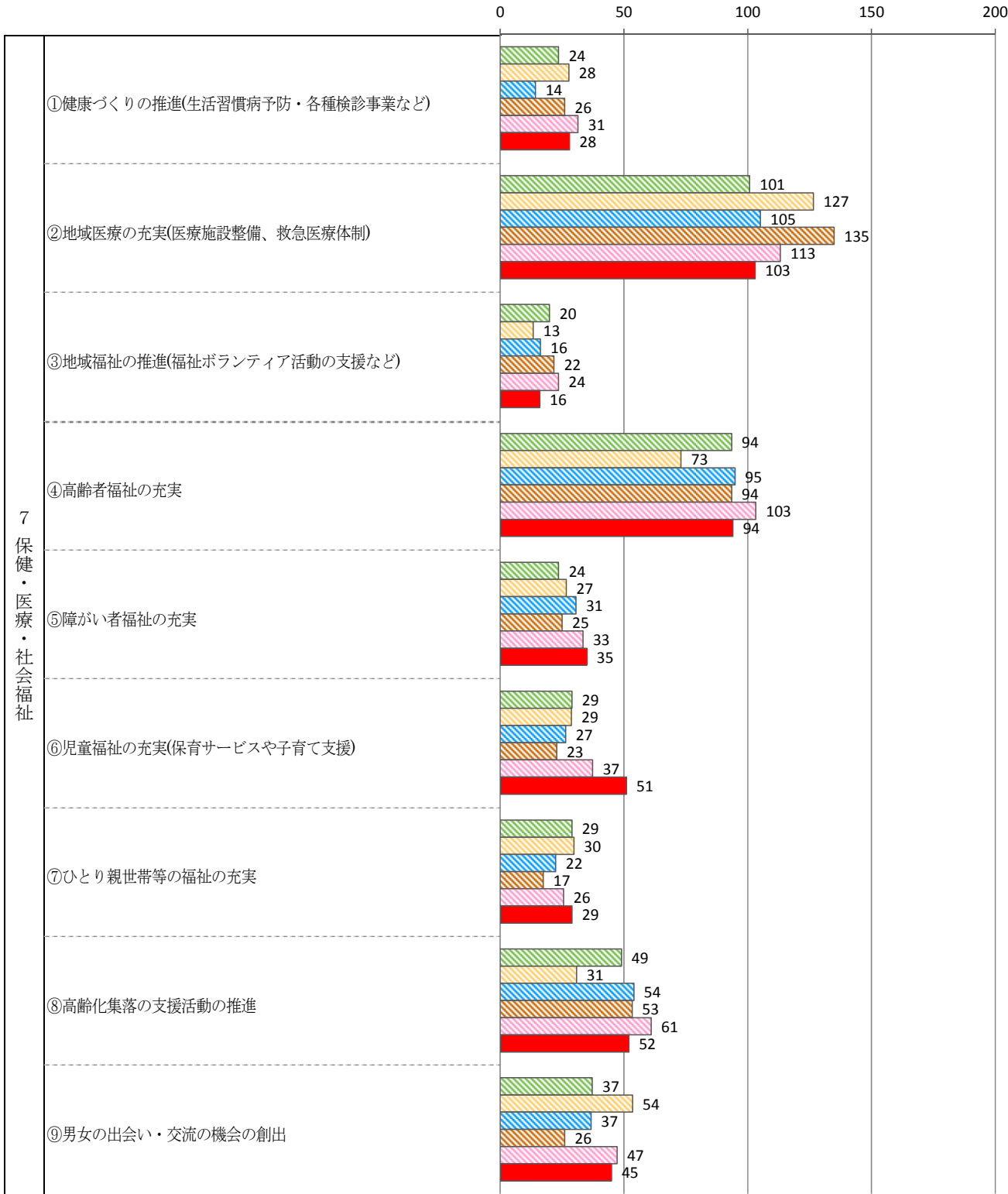
4. 50 歳代



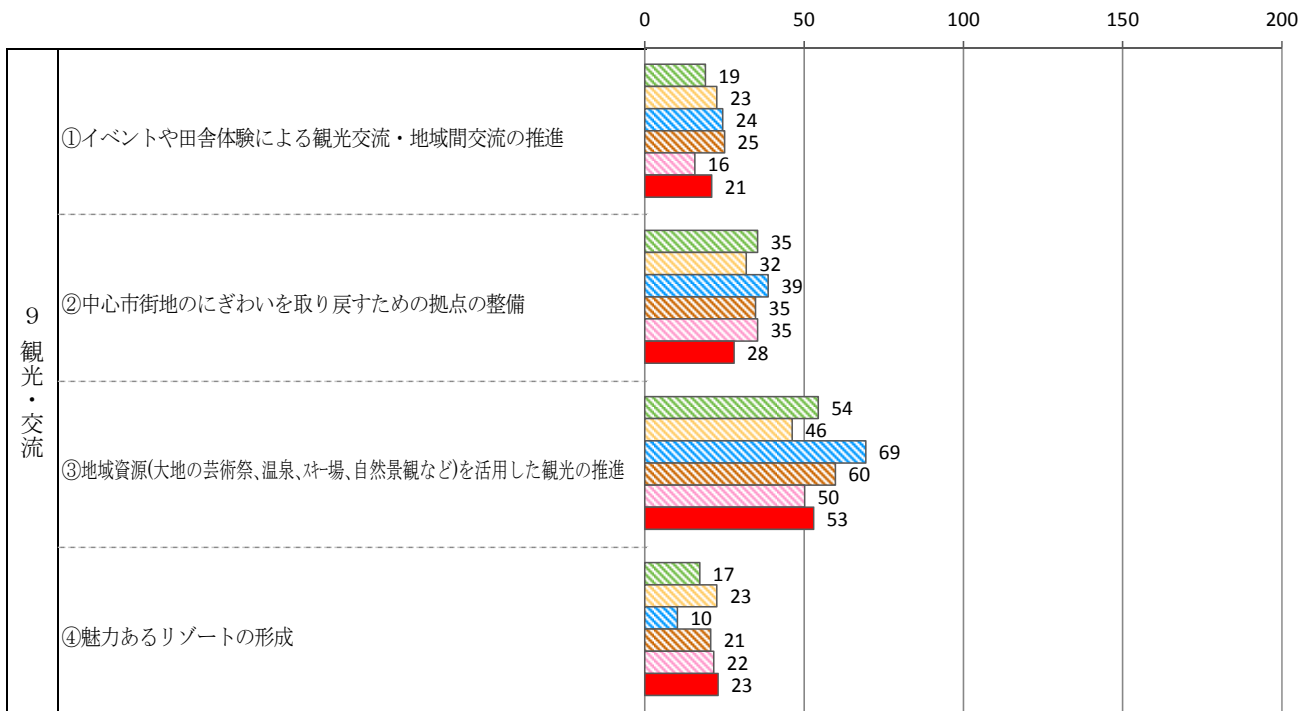
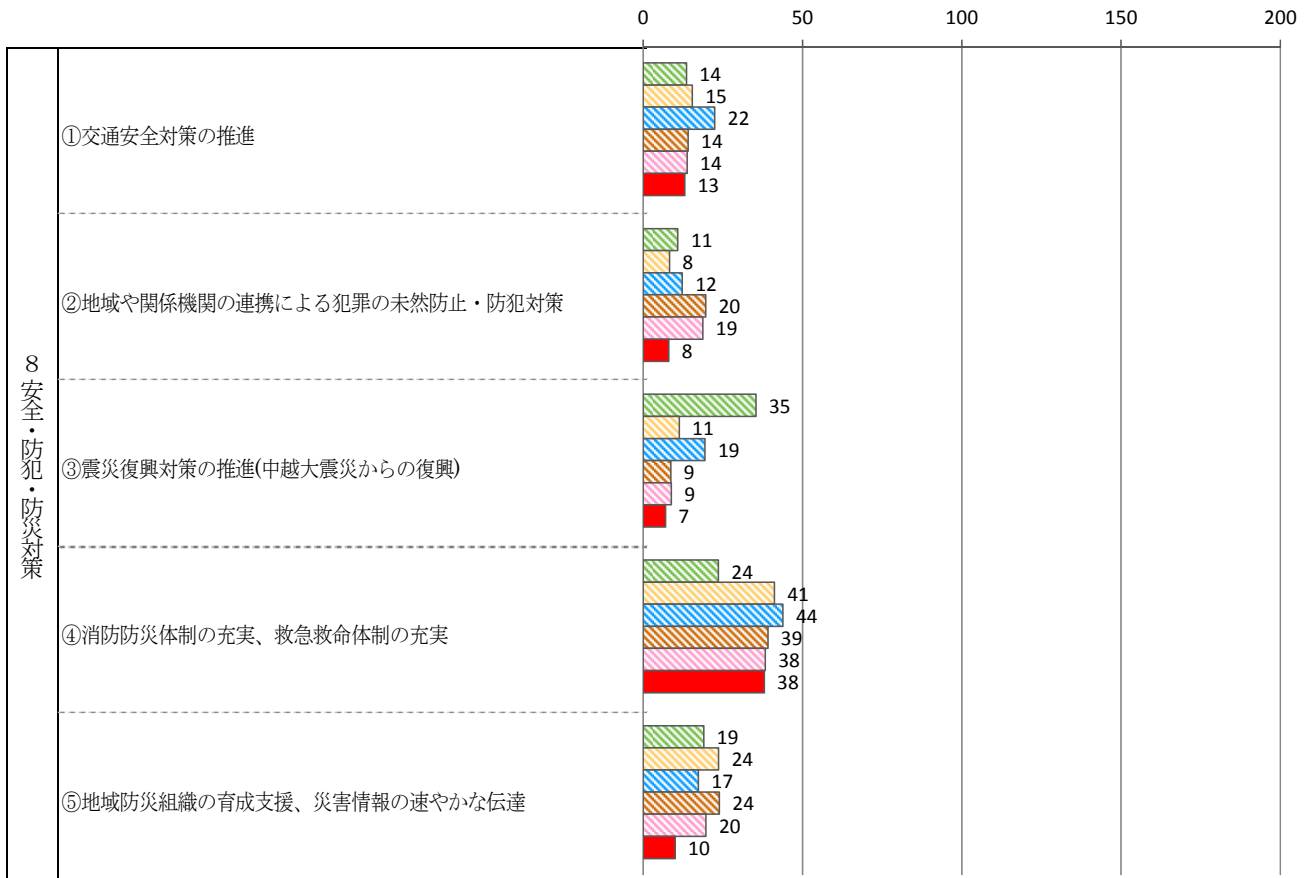
4. 50 歳代

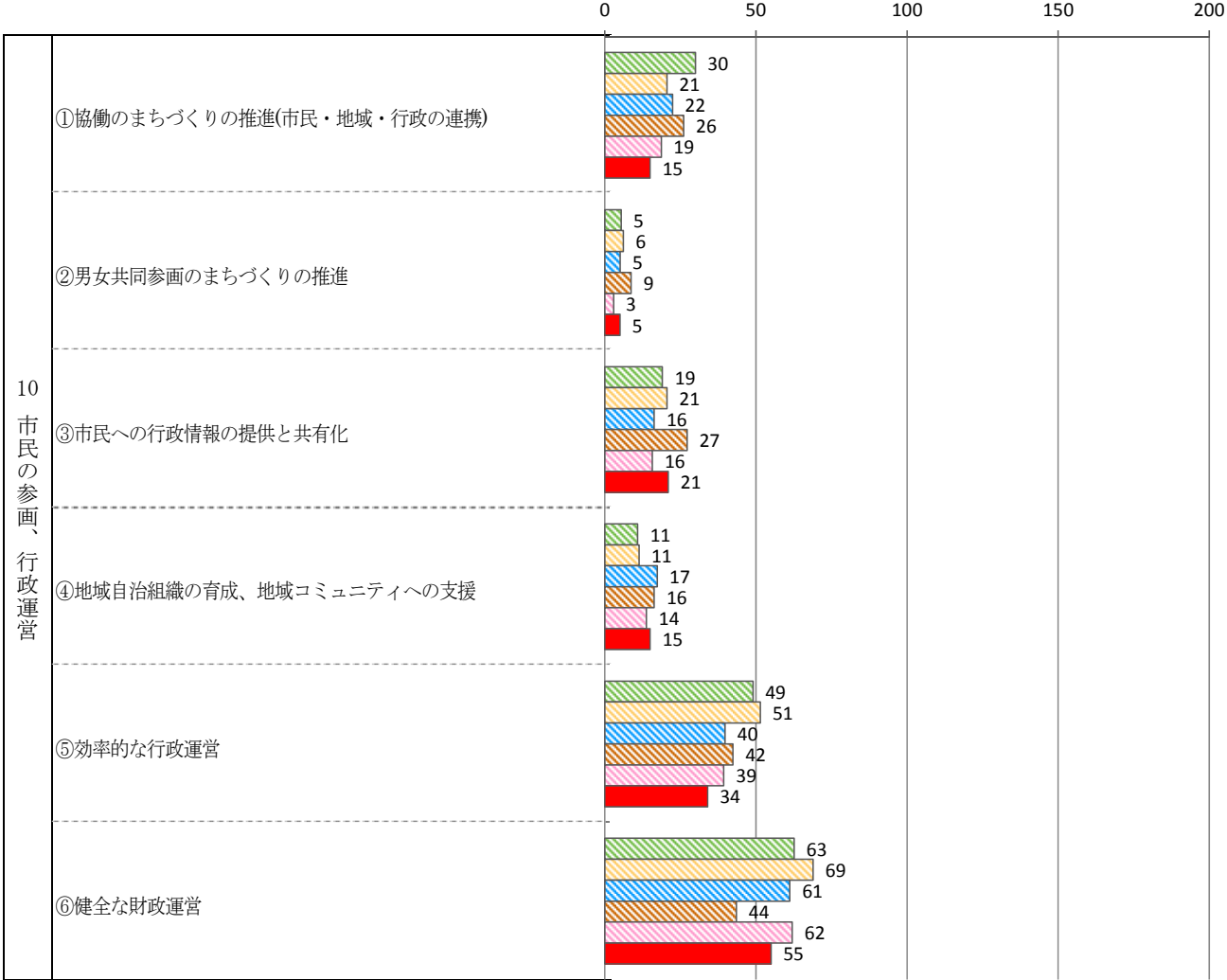


■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



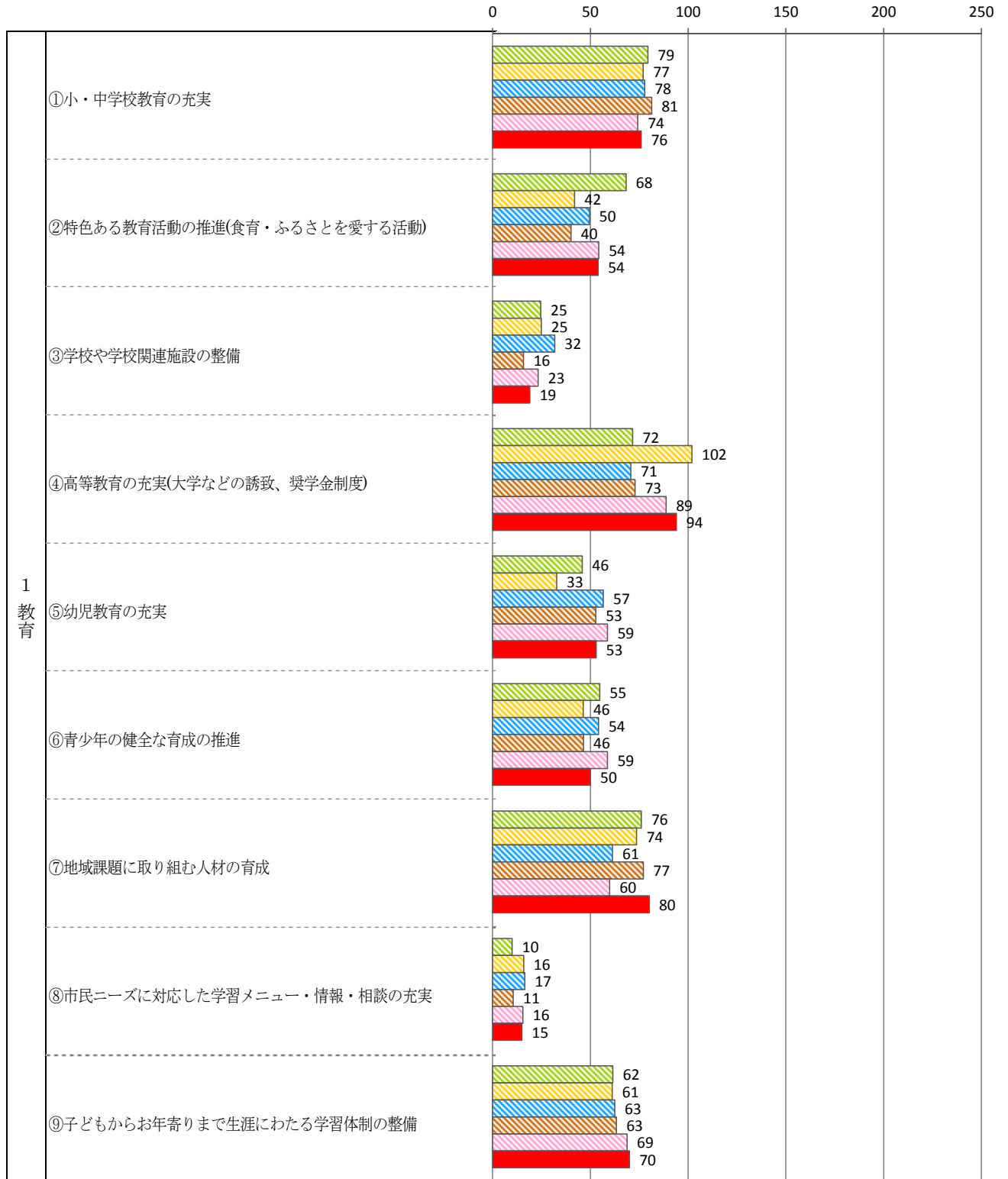
4. 50 歳代

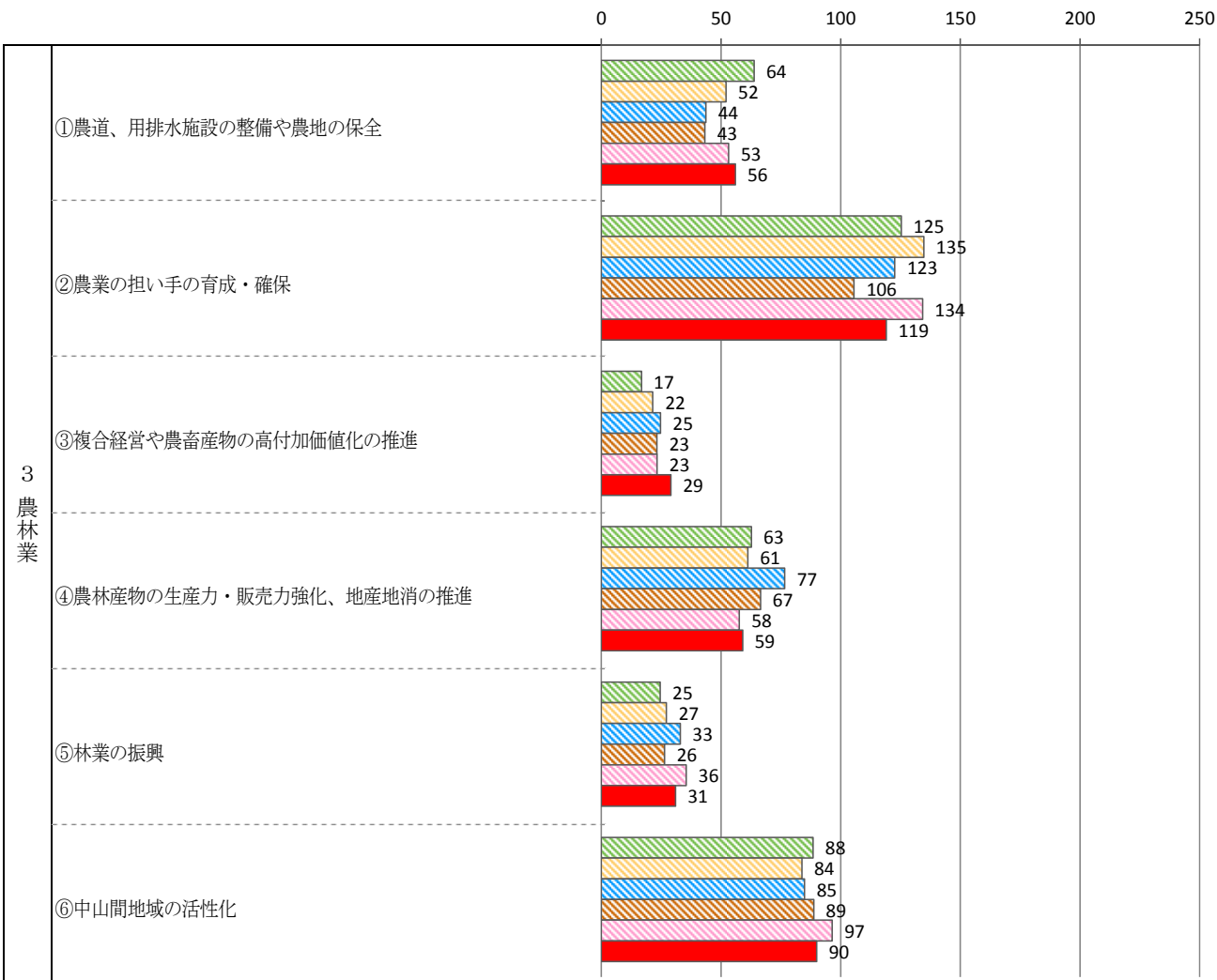
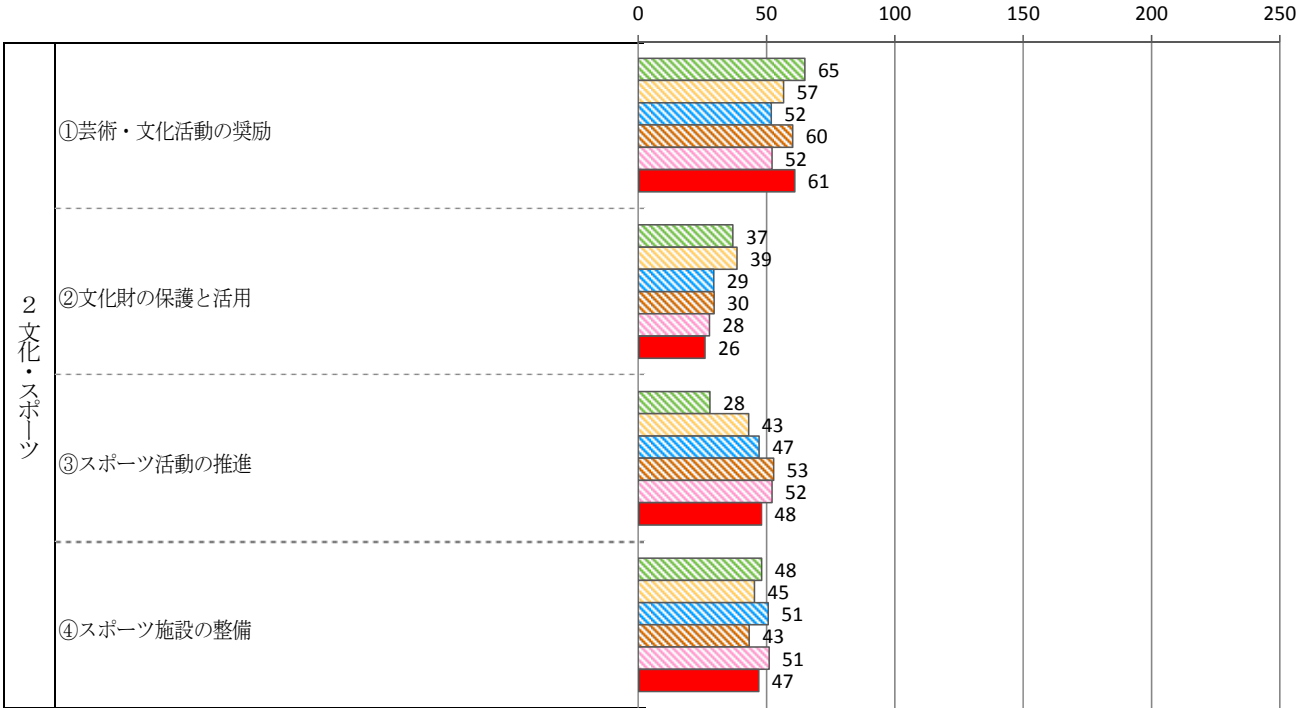




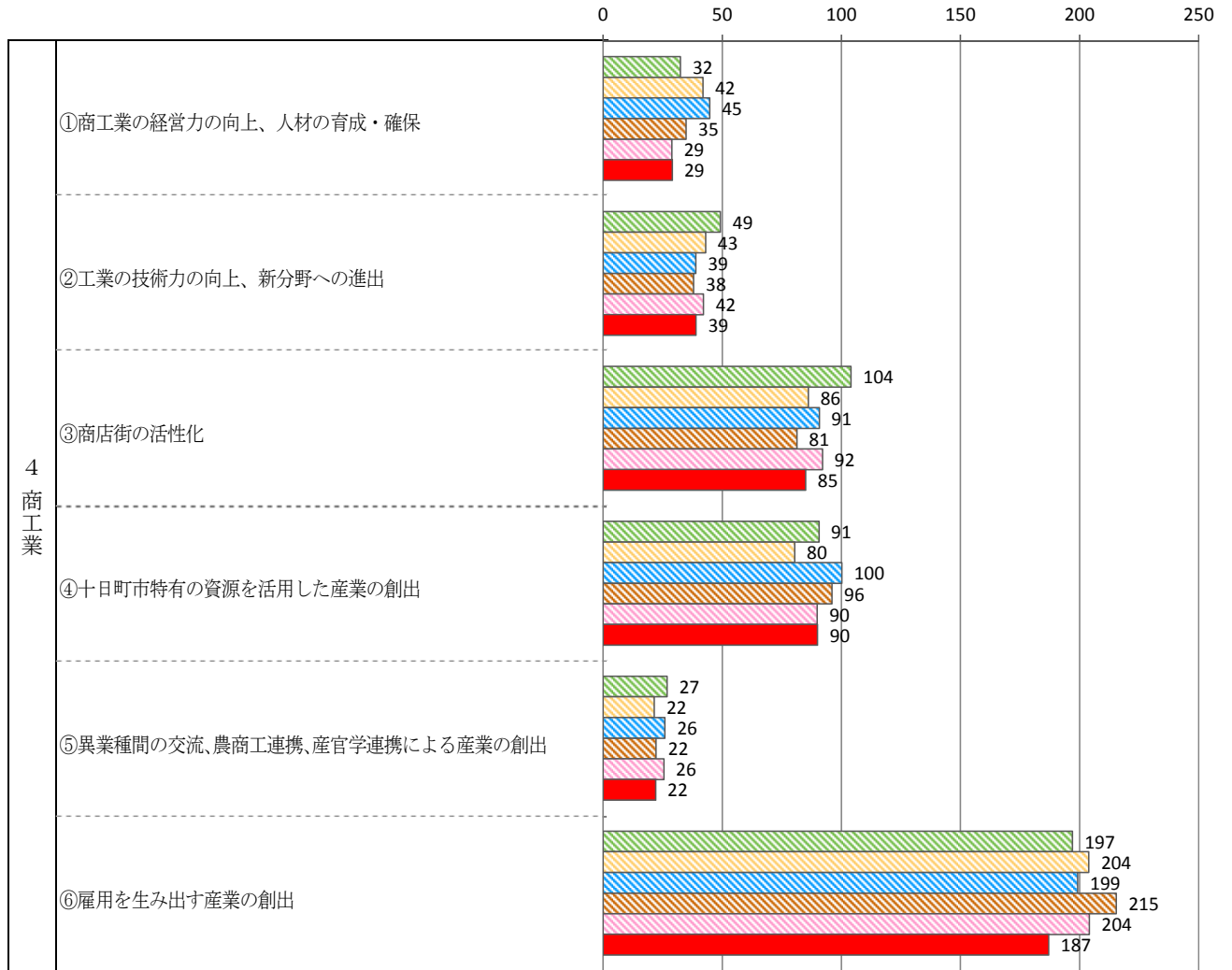
5. 60 歳代

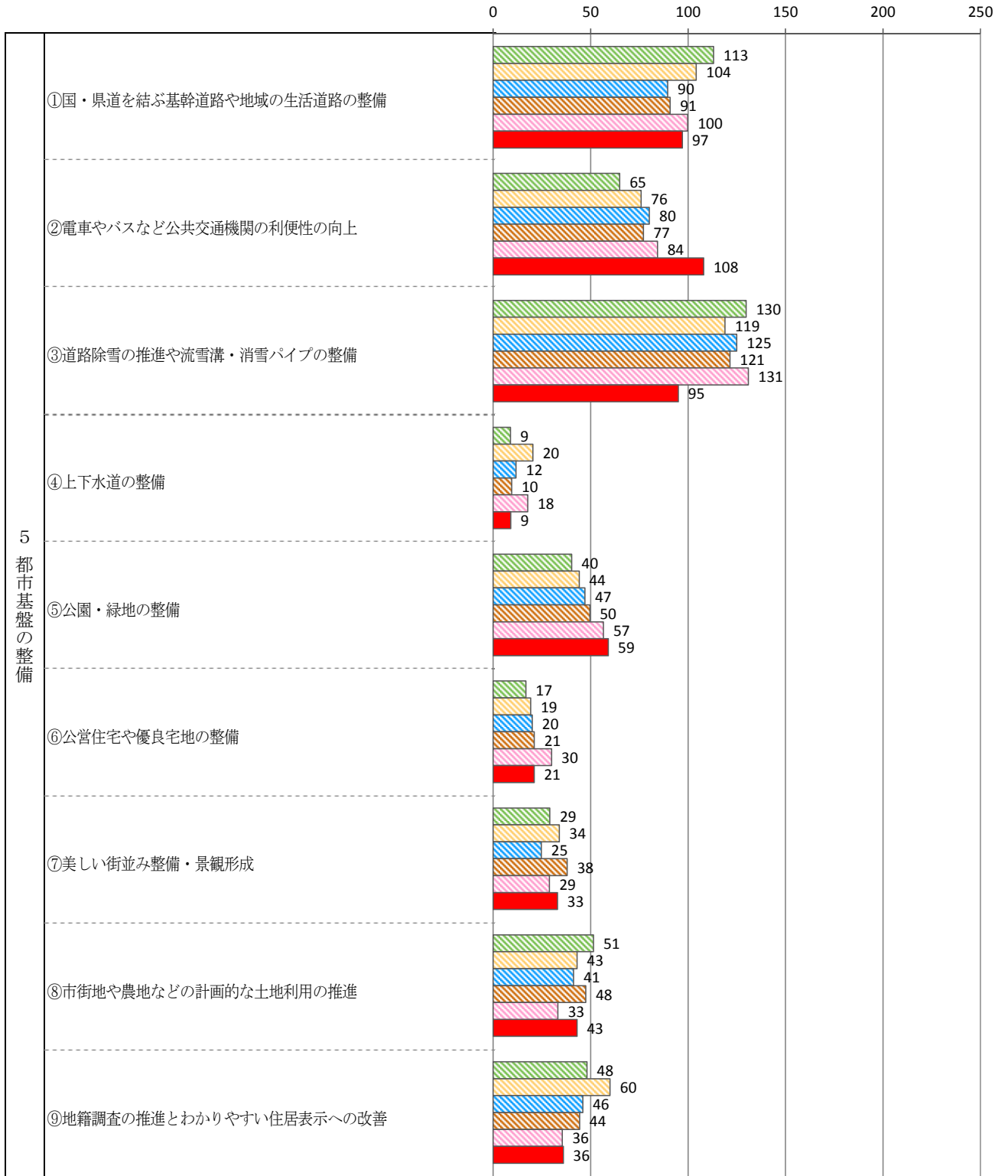
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	335	331	318	355	338	375
補正值	1.12	1.13	1.18	1.06	1.11	1.00



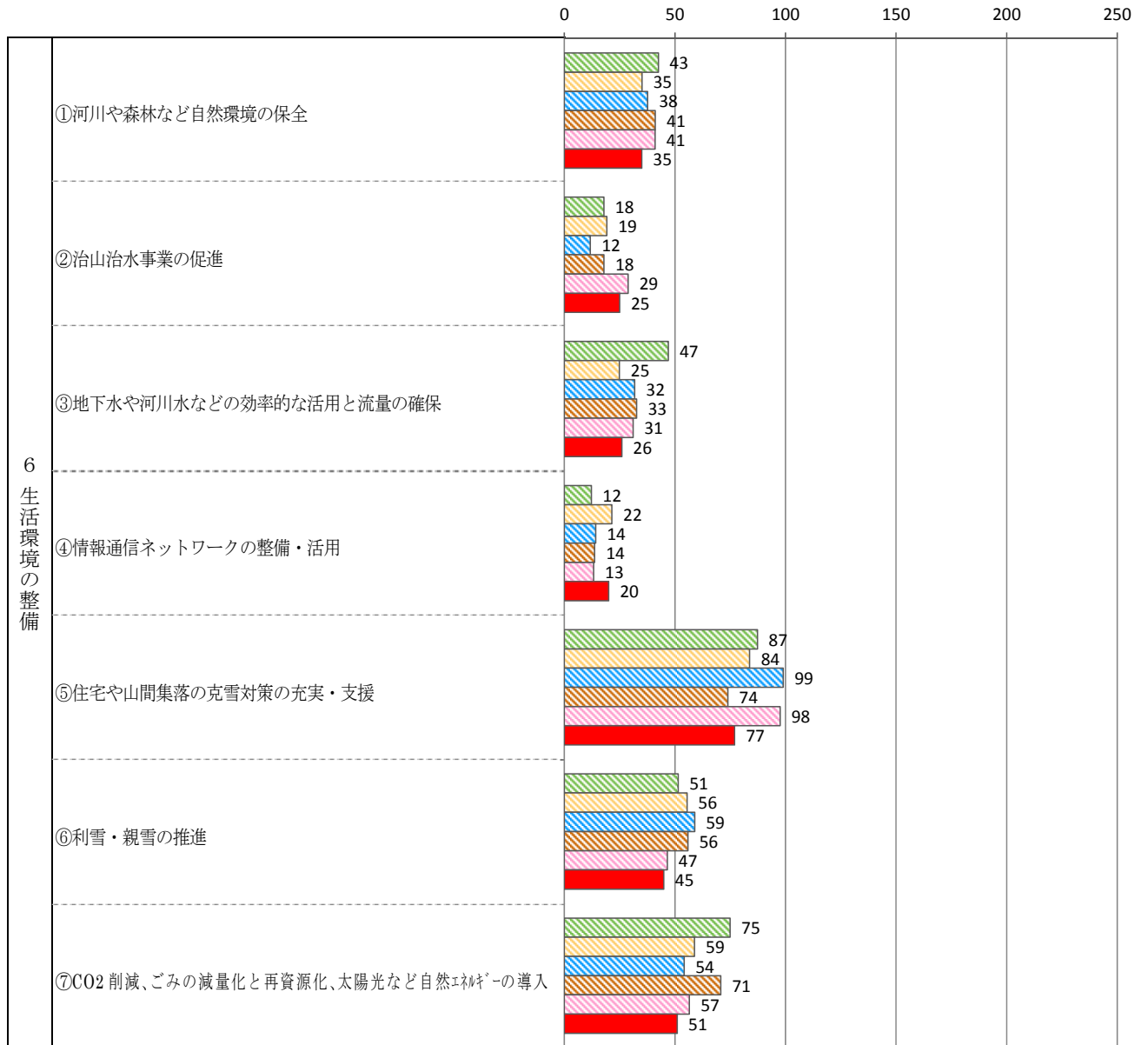


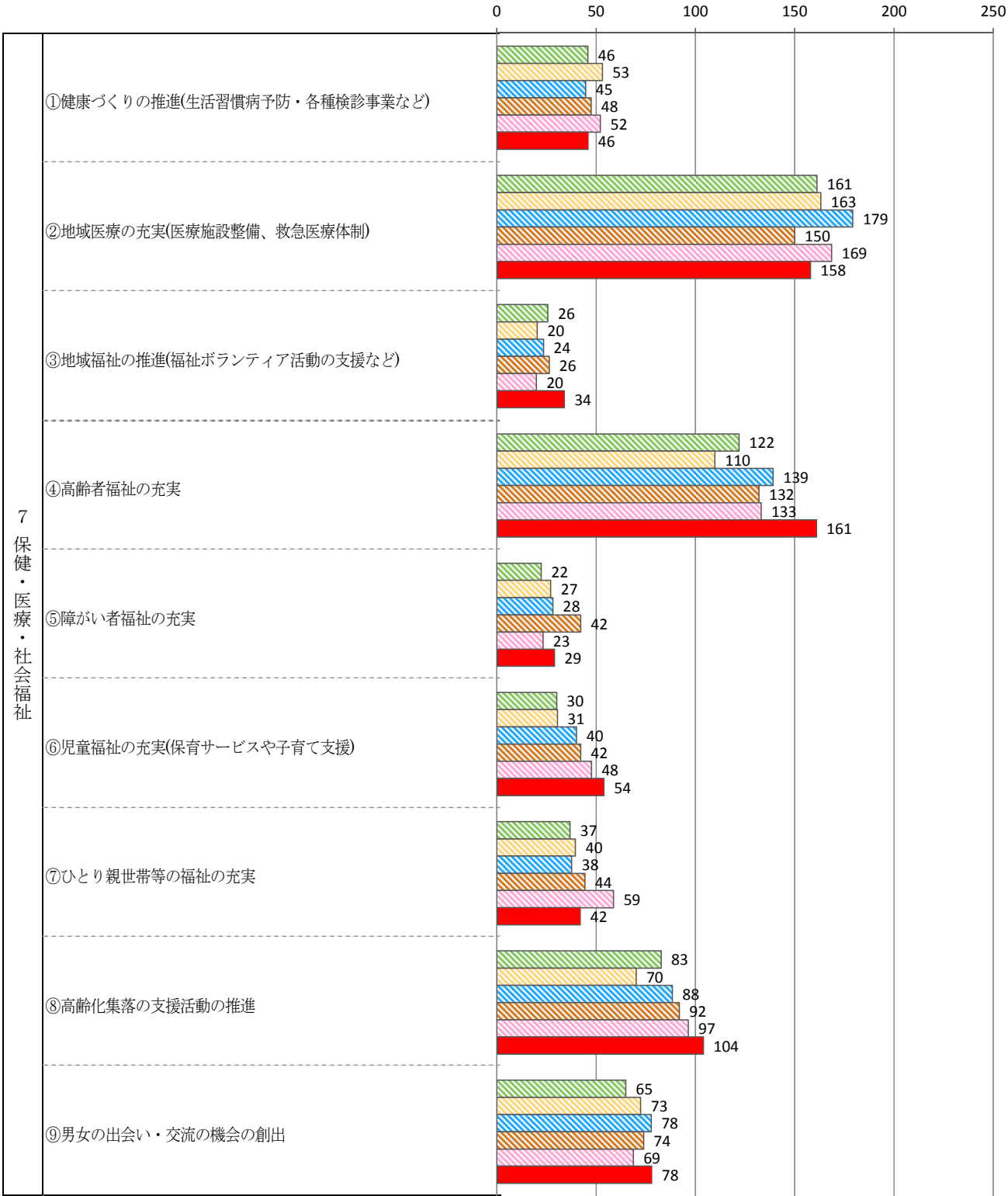
5. 60 歳代



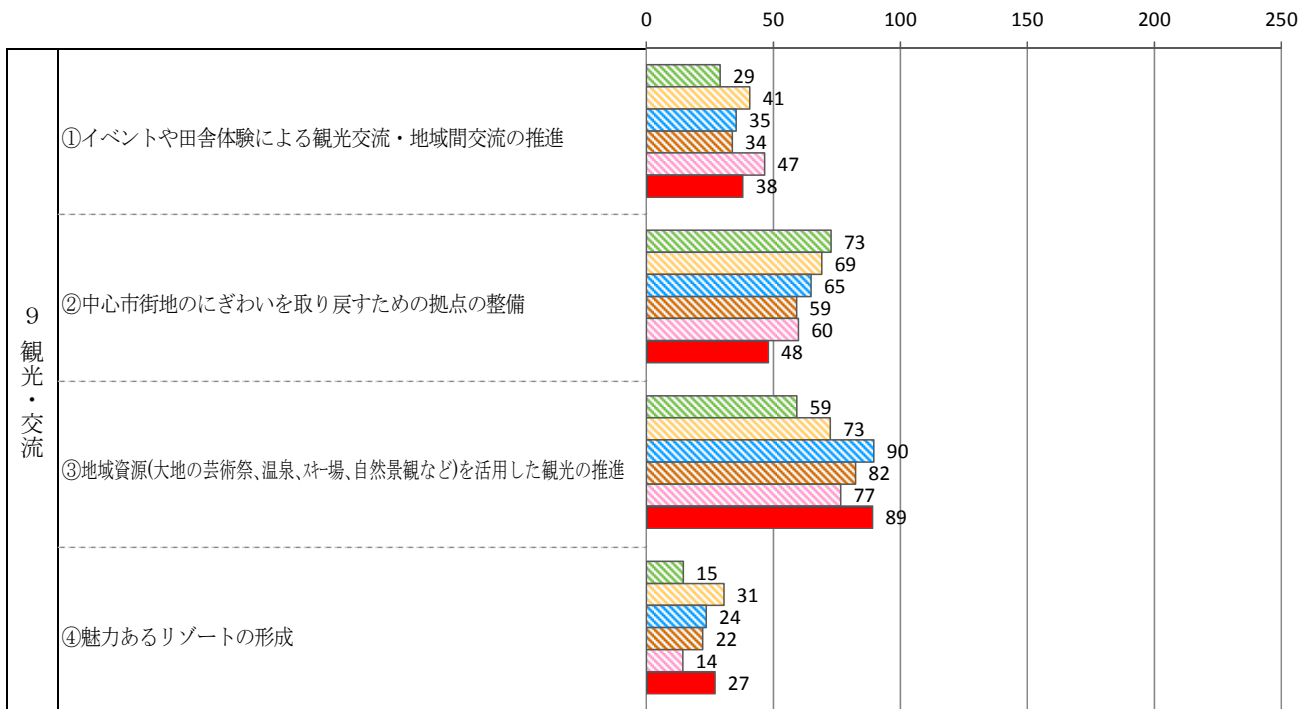
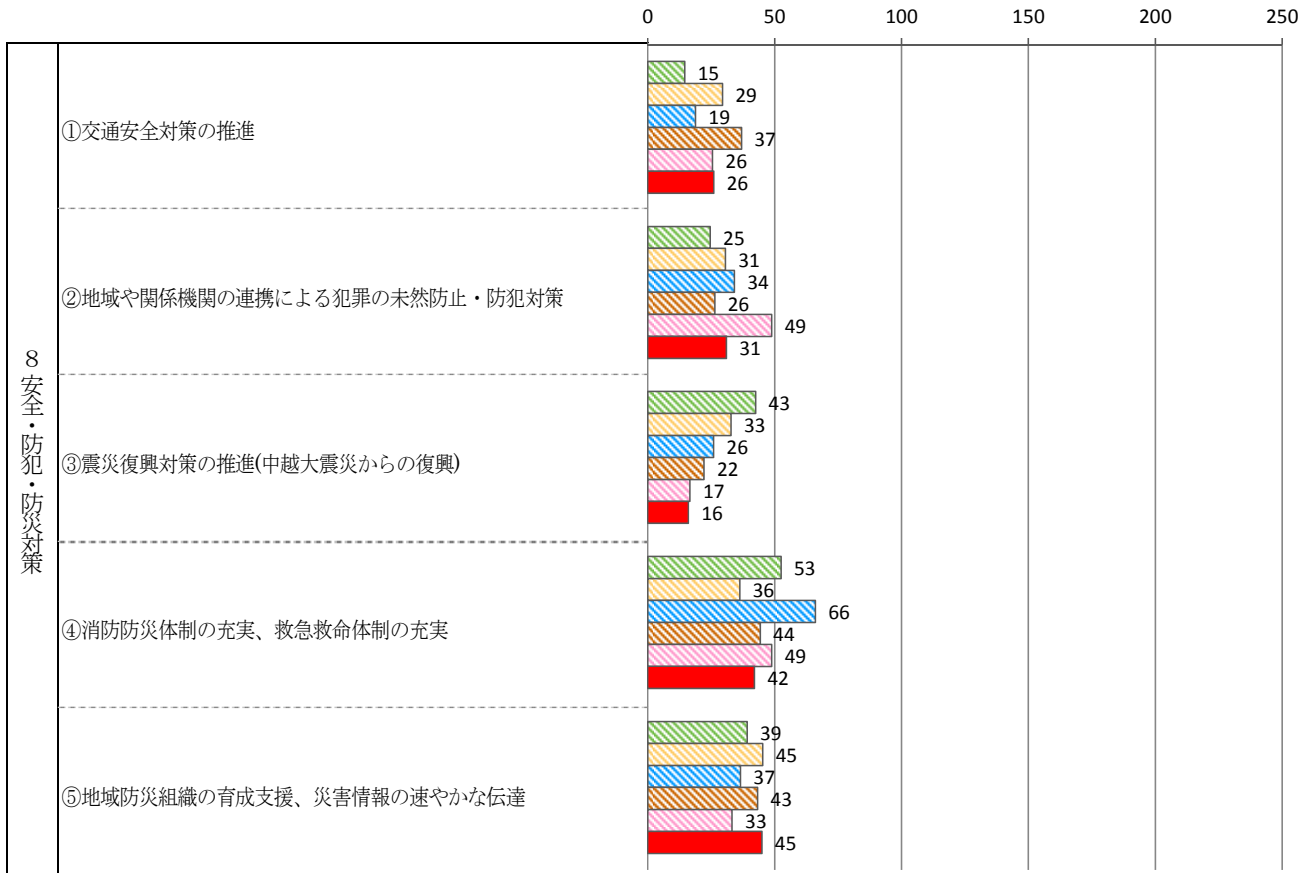


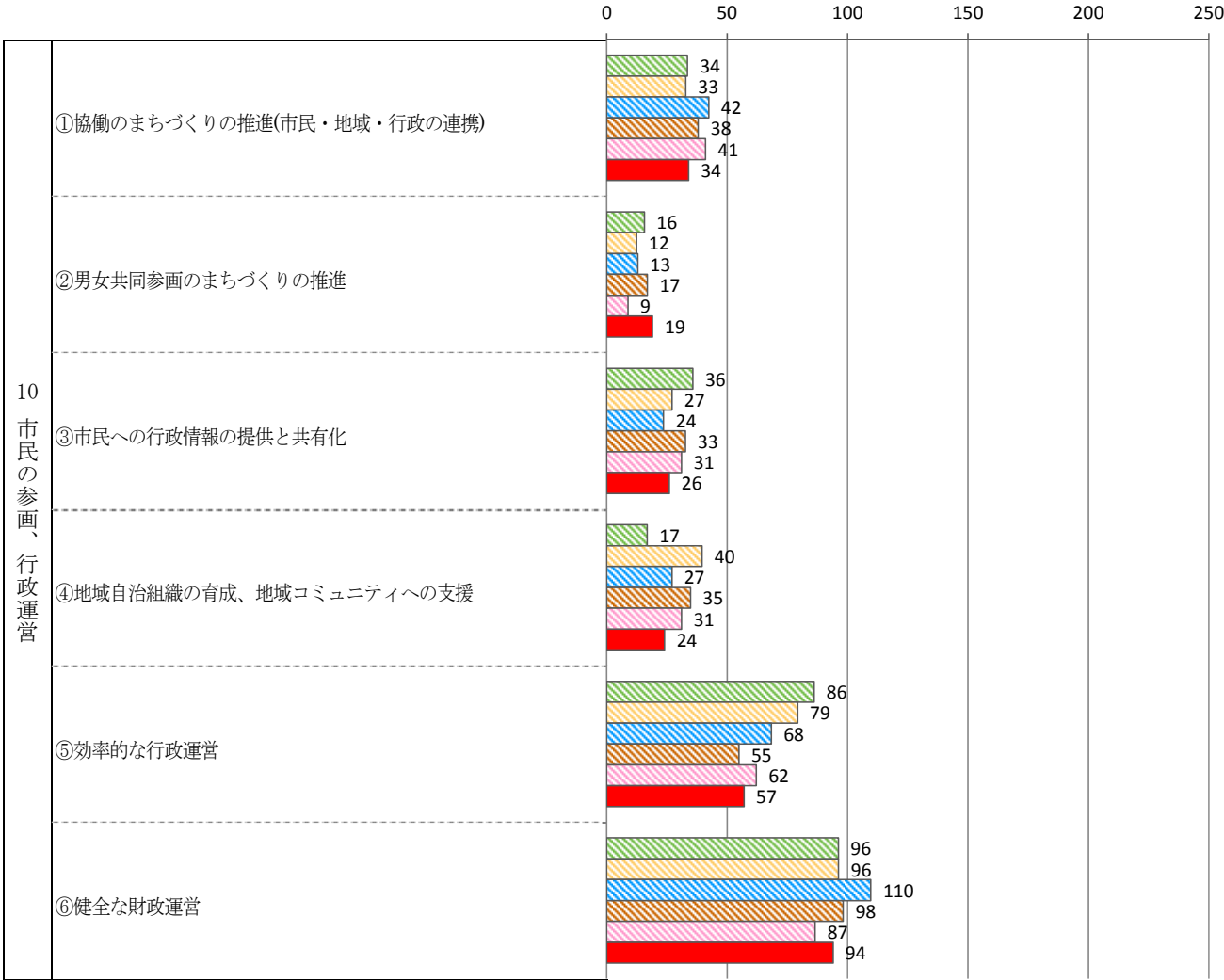
5. 60 歳代





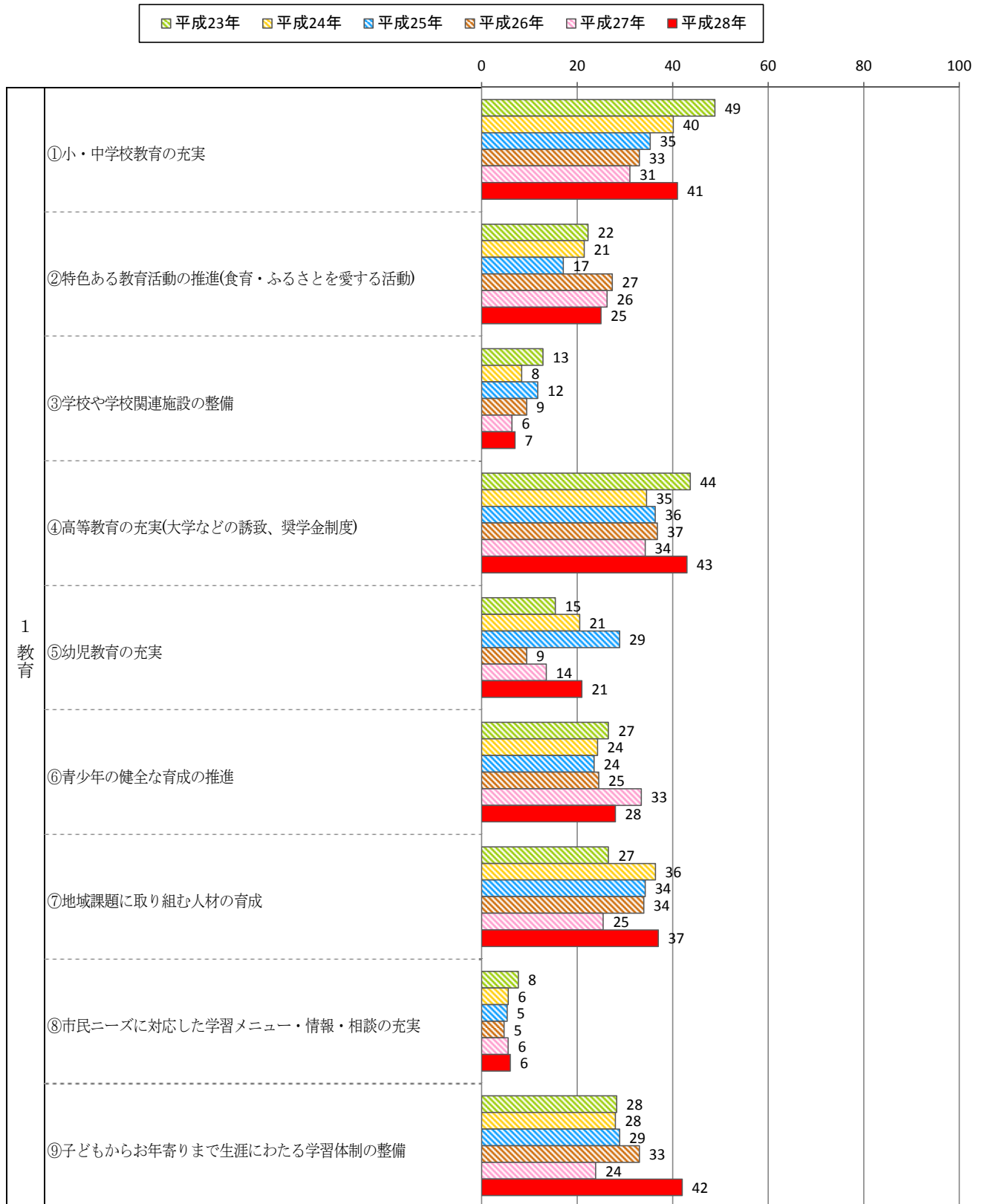
5. 60 歳代

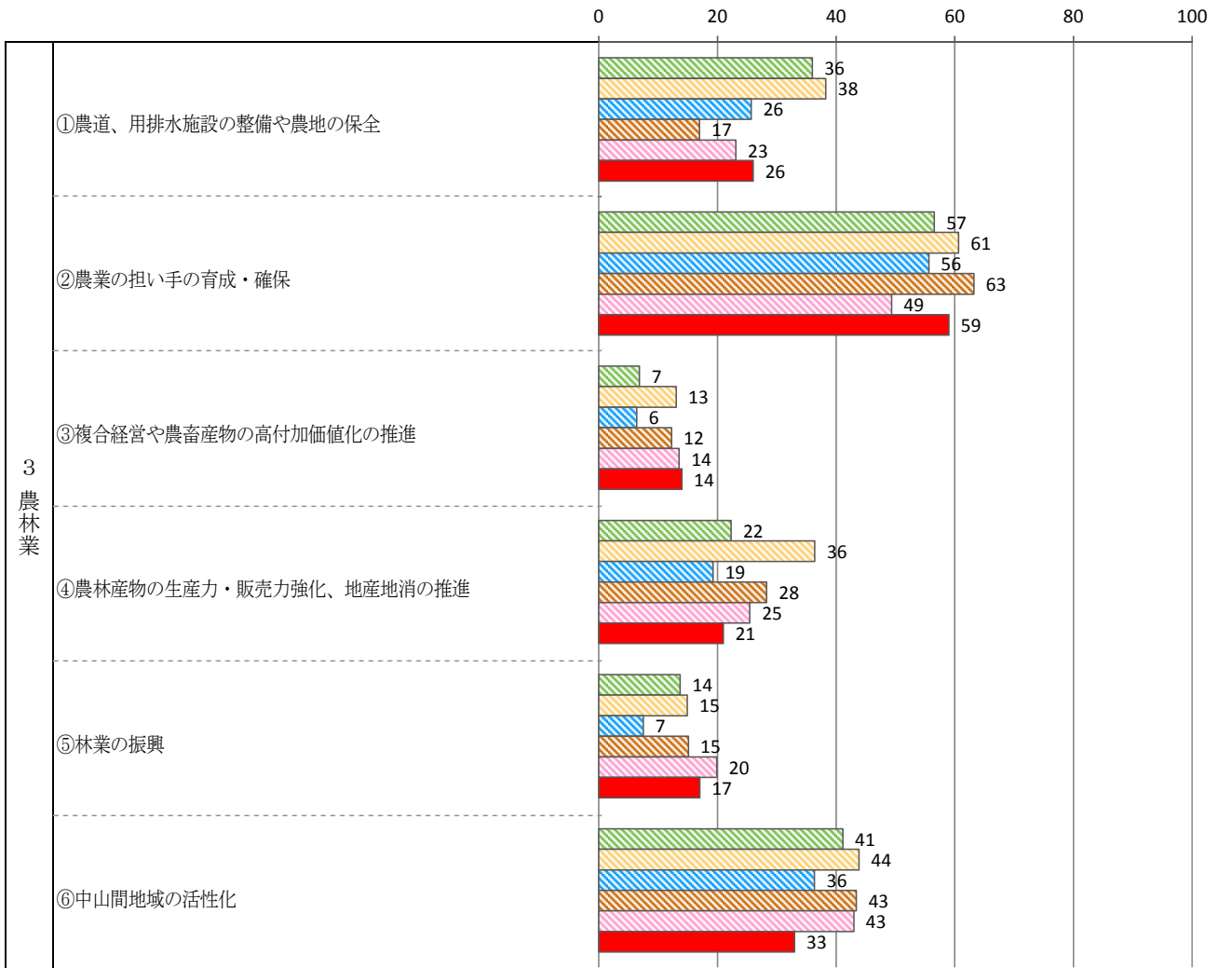
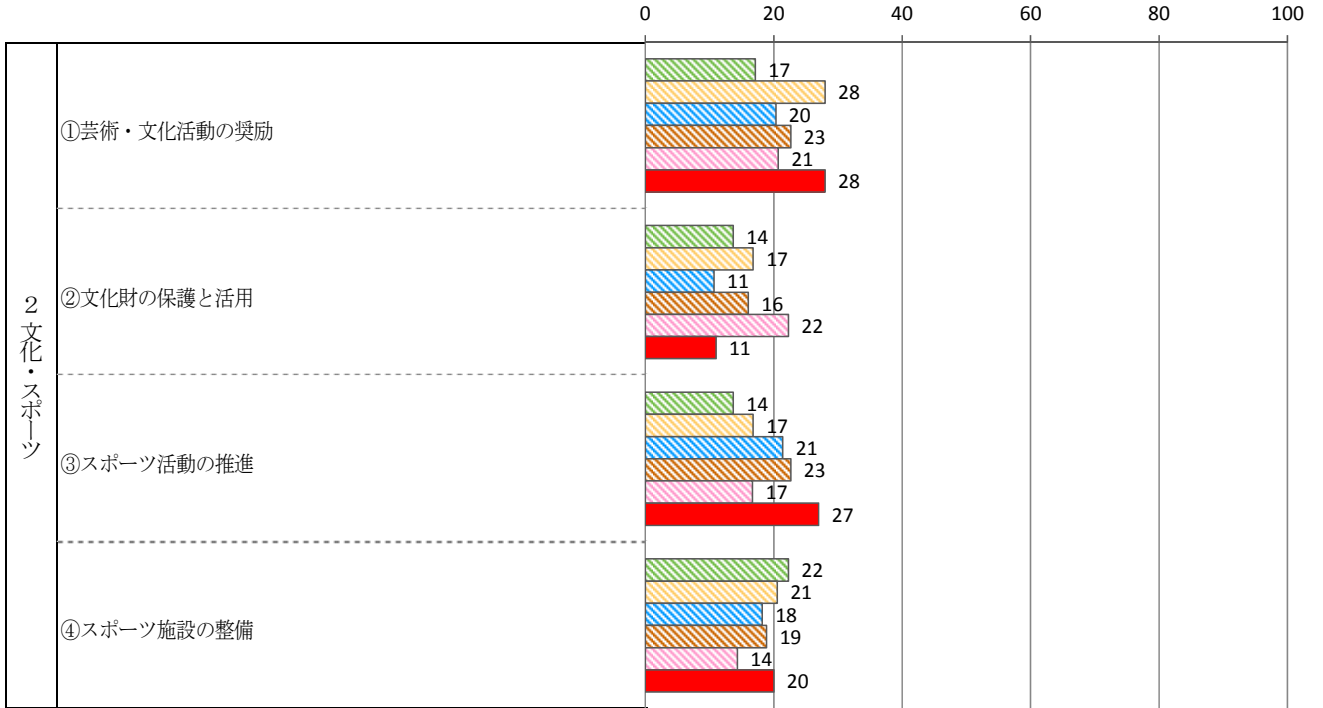




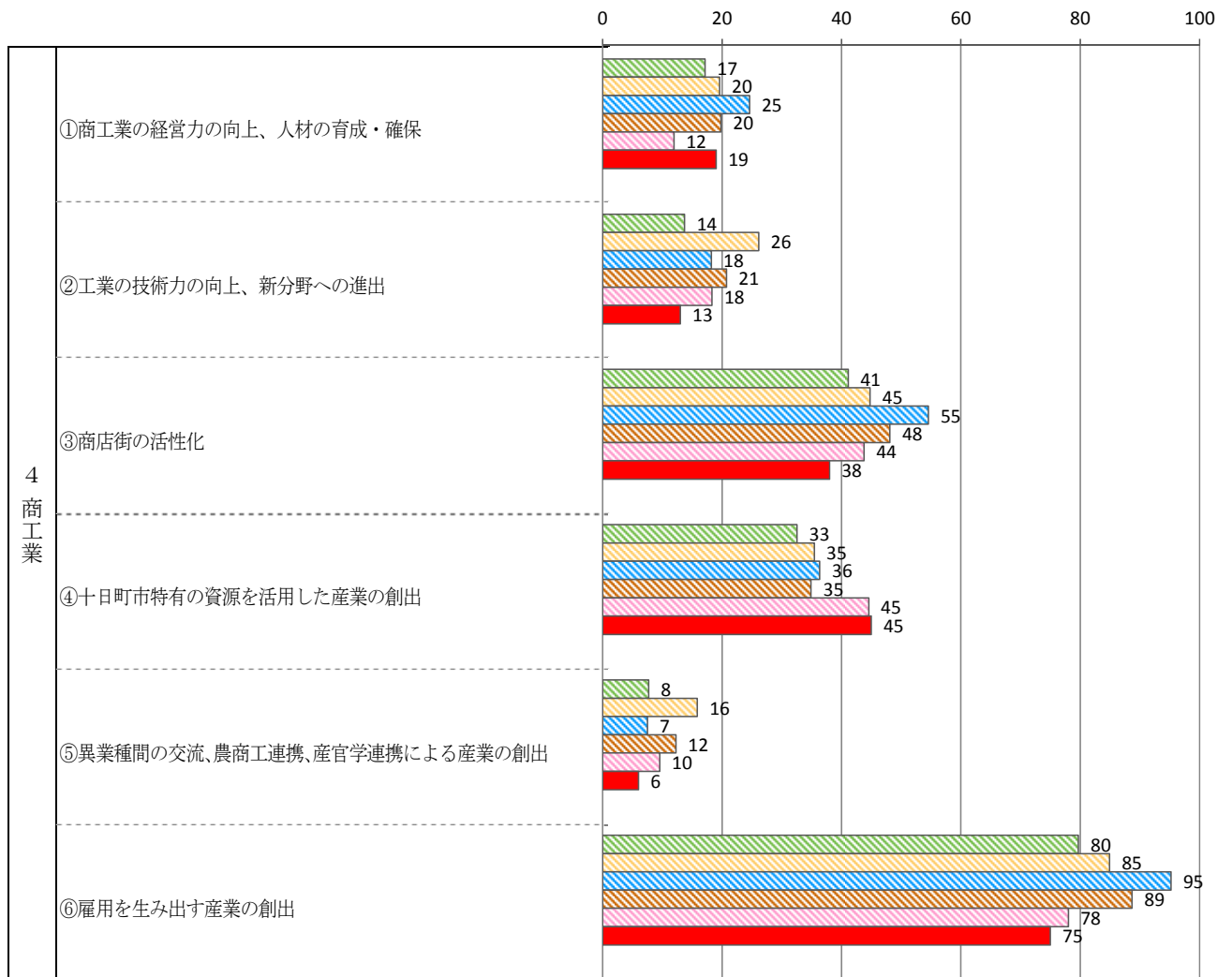
6. 70 歳代

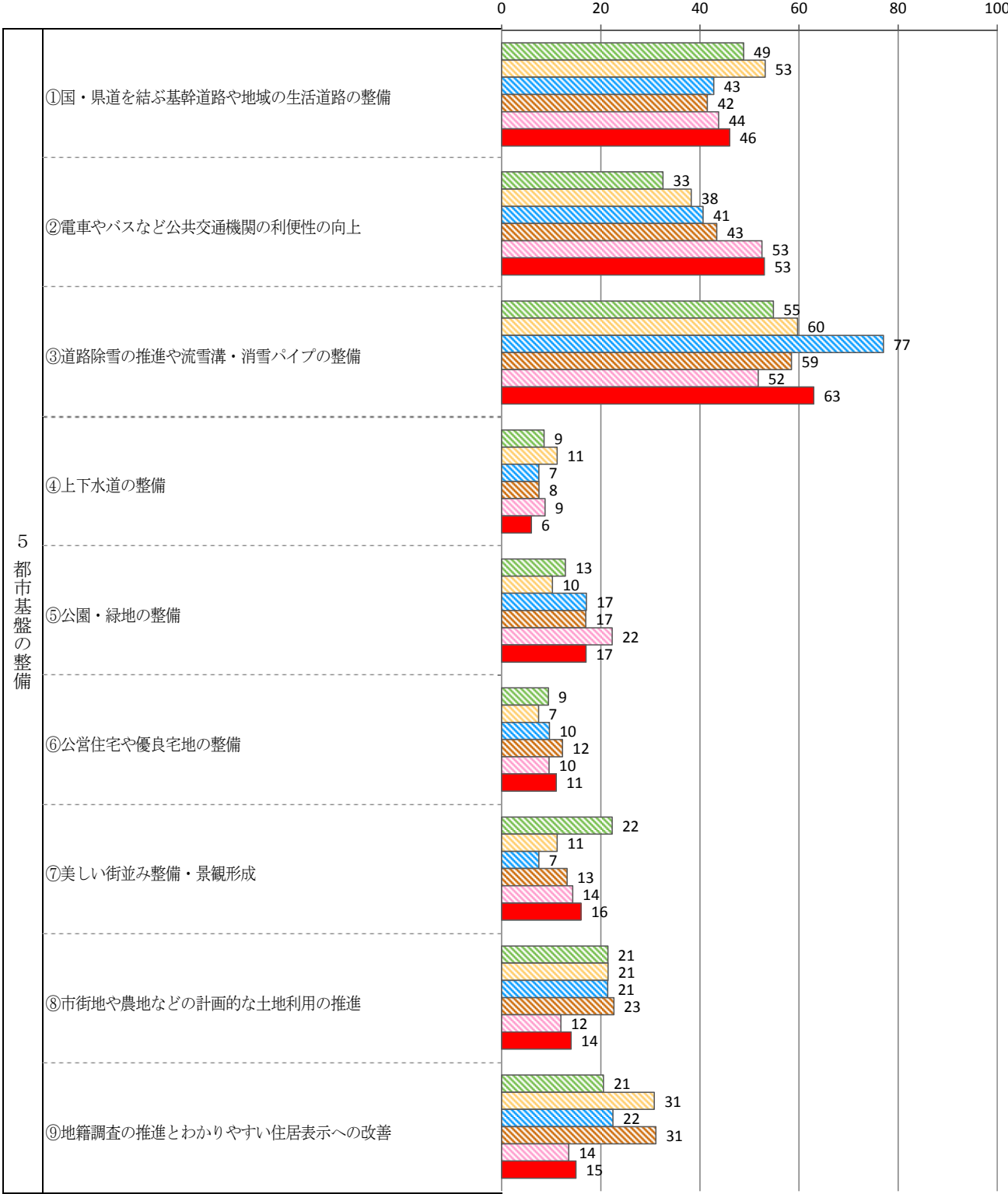
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	196	180	157	178	211	168
補正值	0.86	0.93	1.07	0.94	0.80	1.00



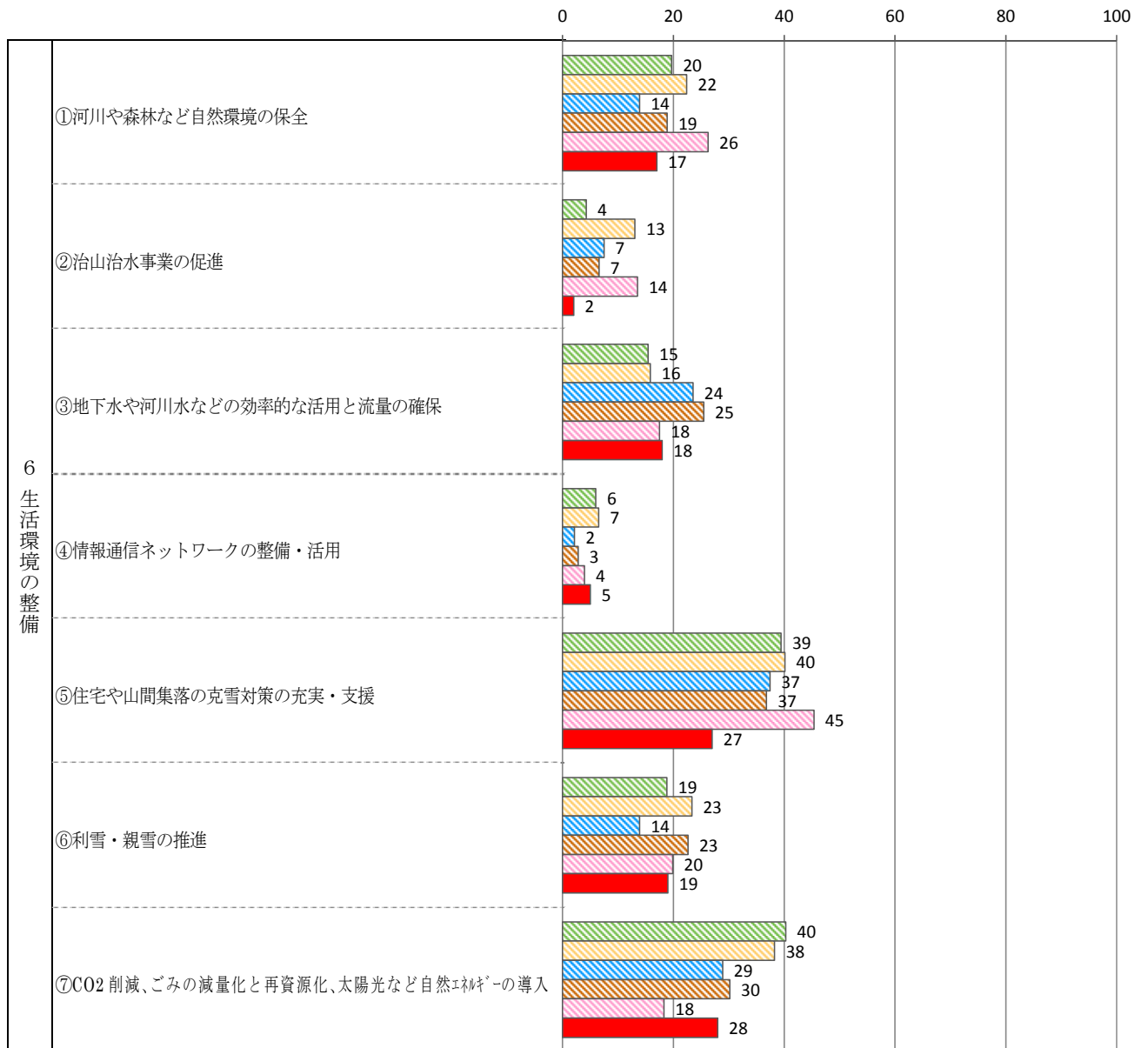
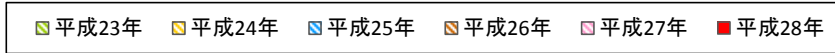


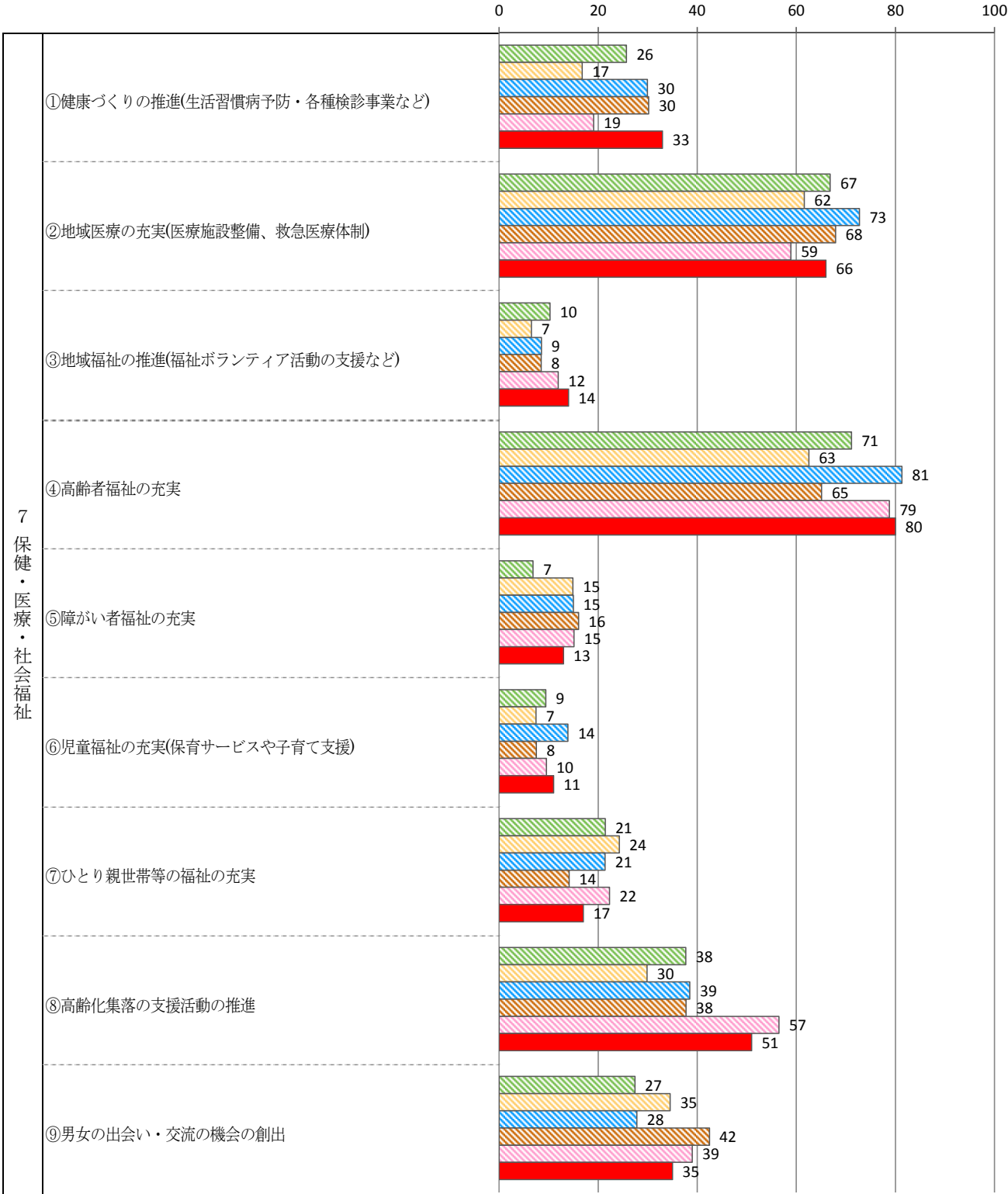
6. 70 歳代



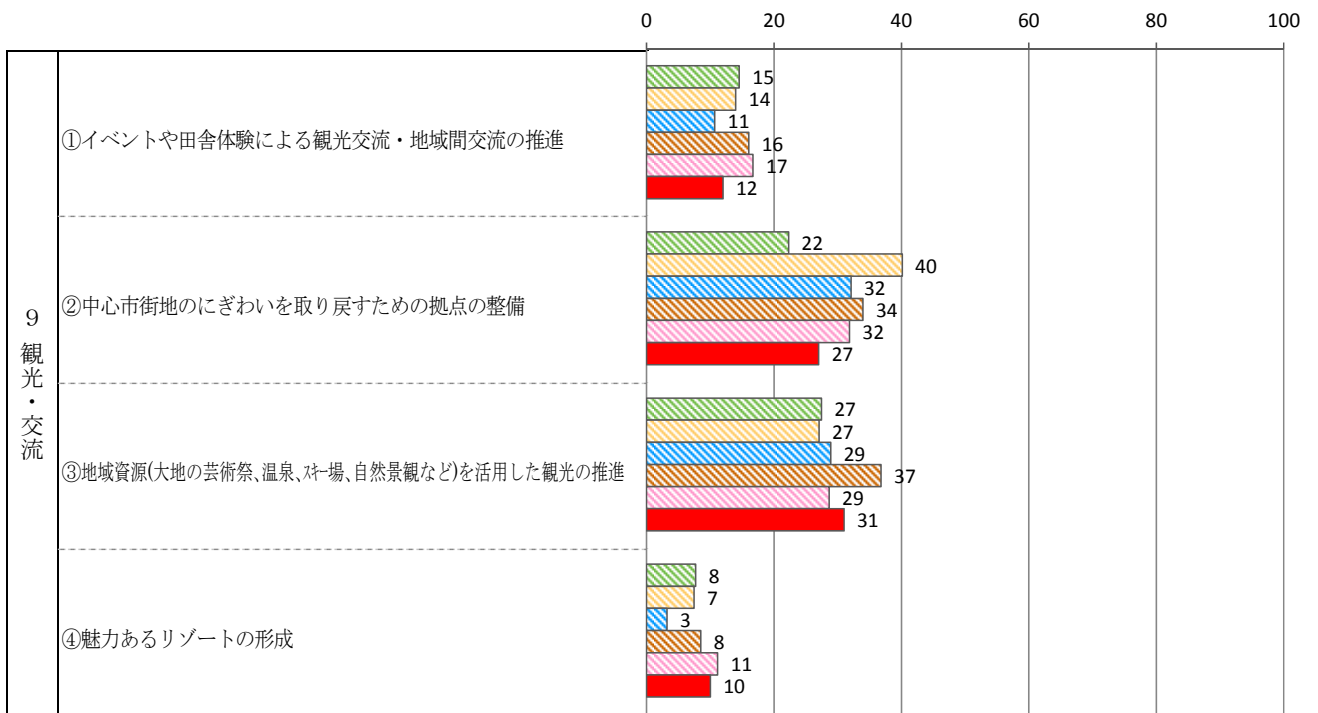
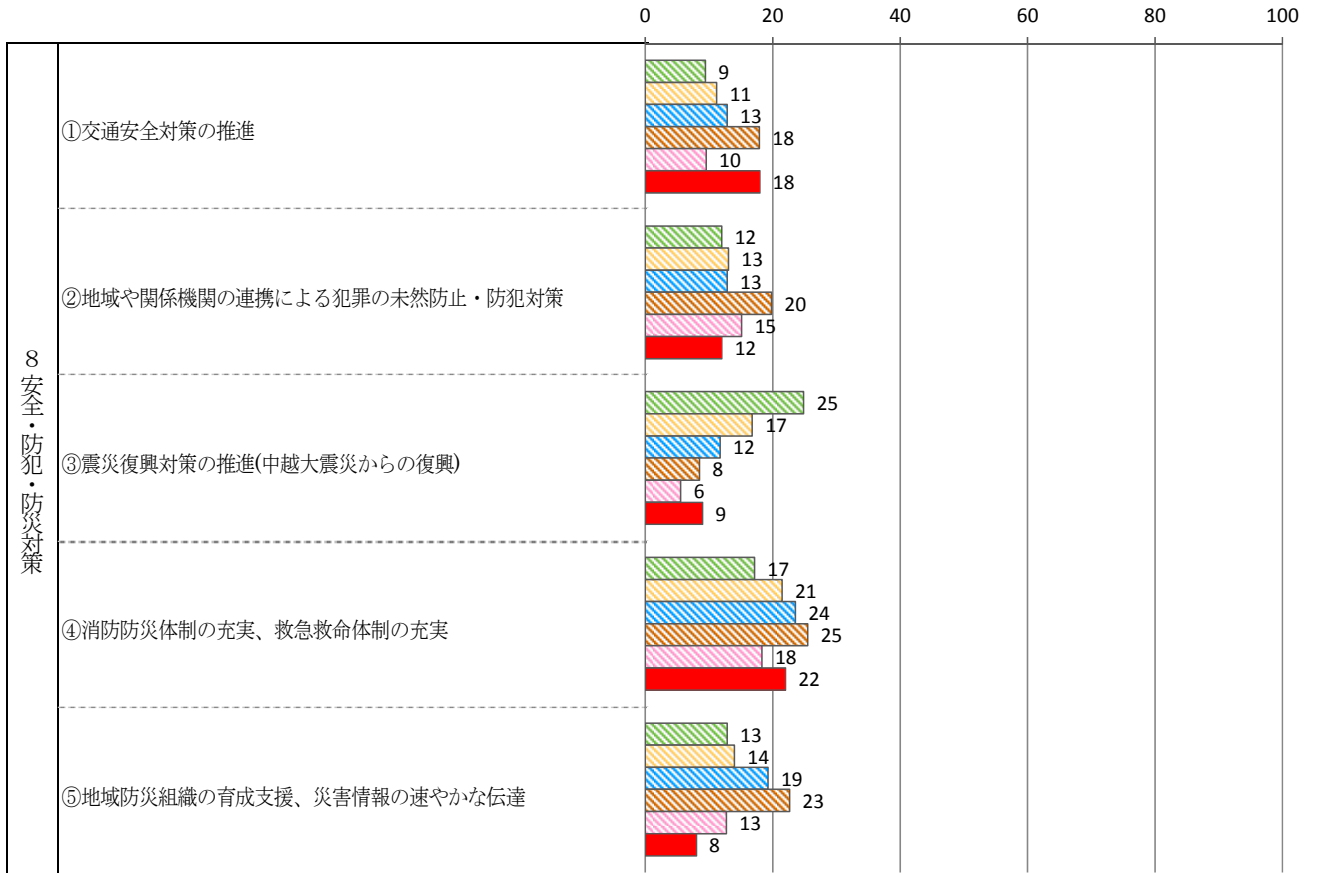


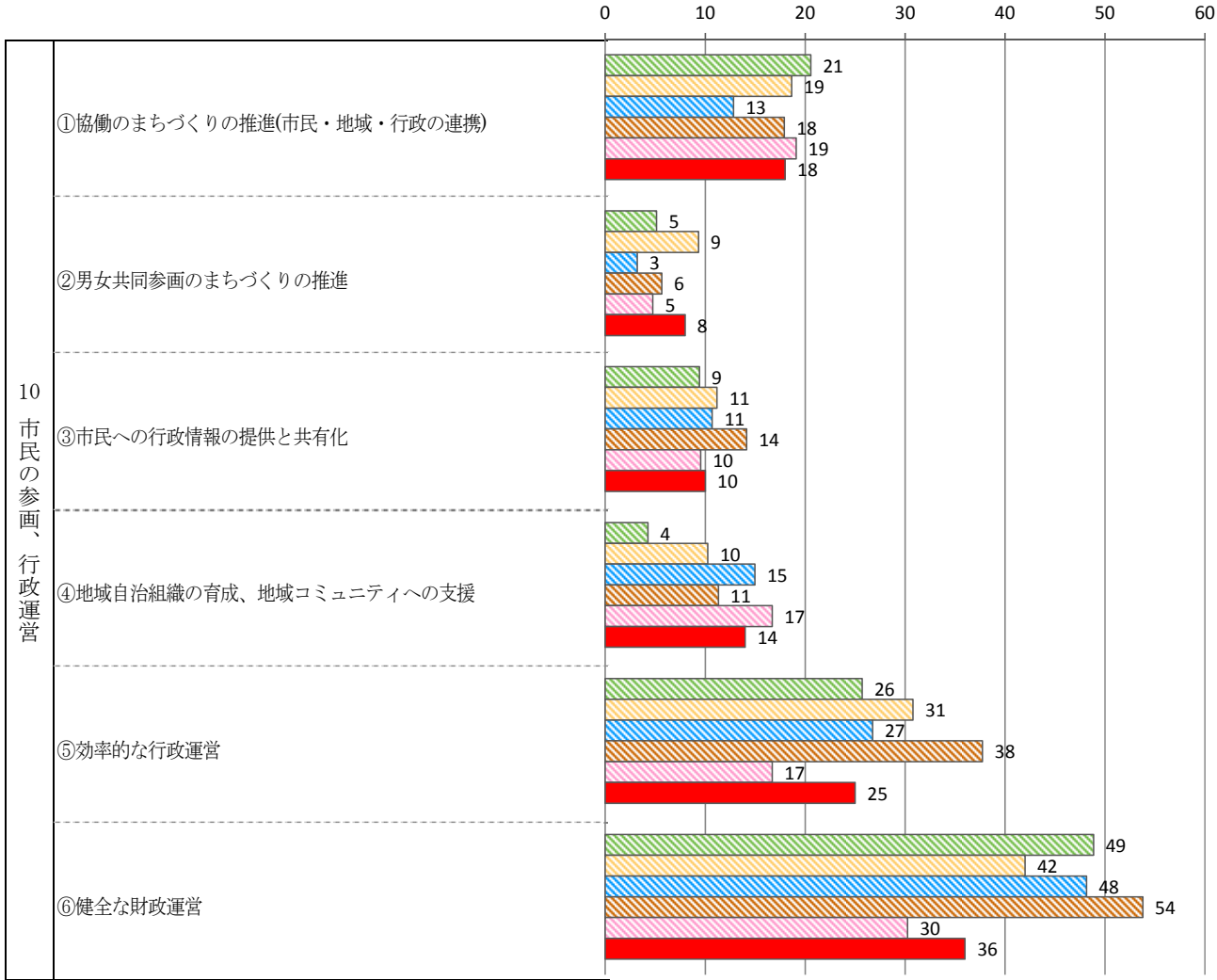
6. 70 歳代





6. 70 歳代



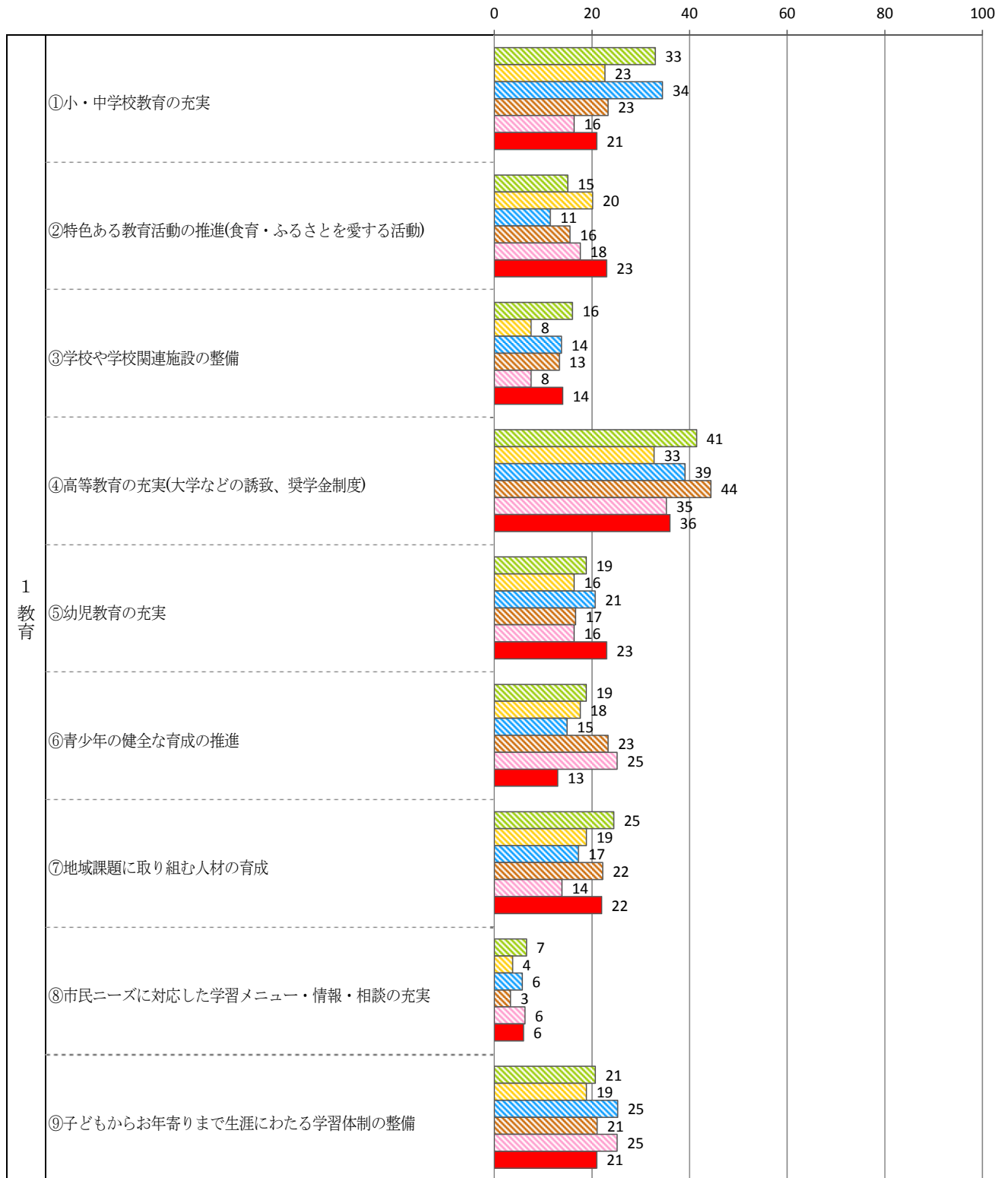


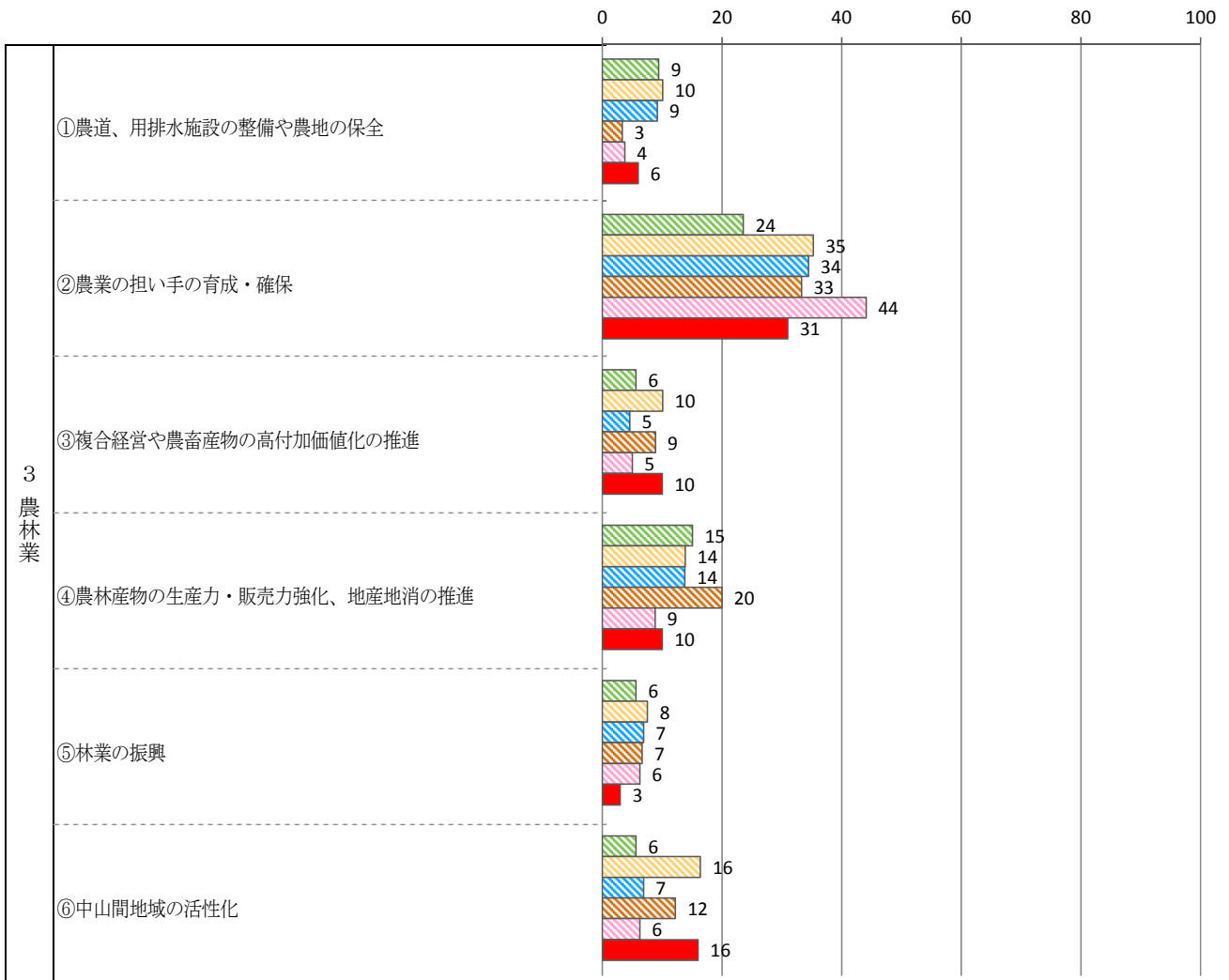
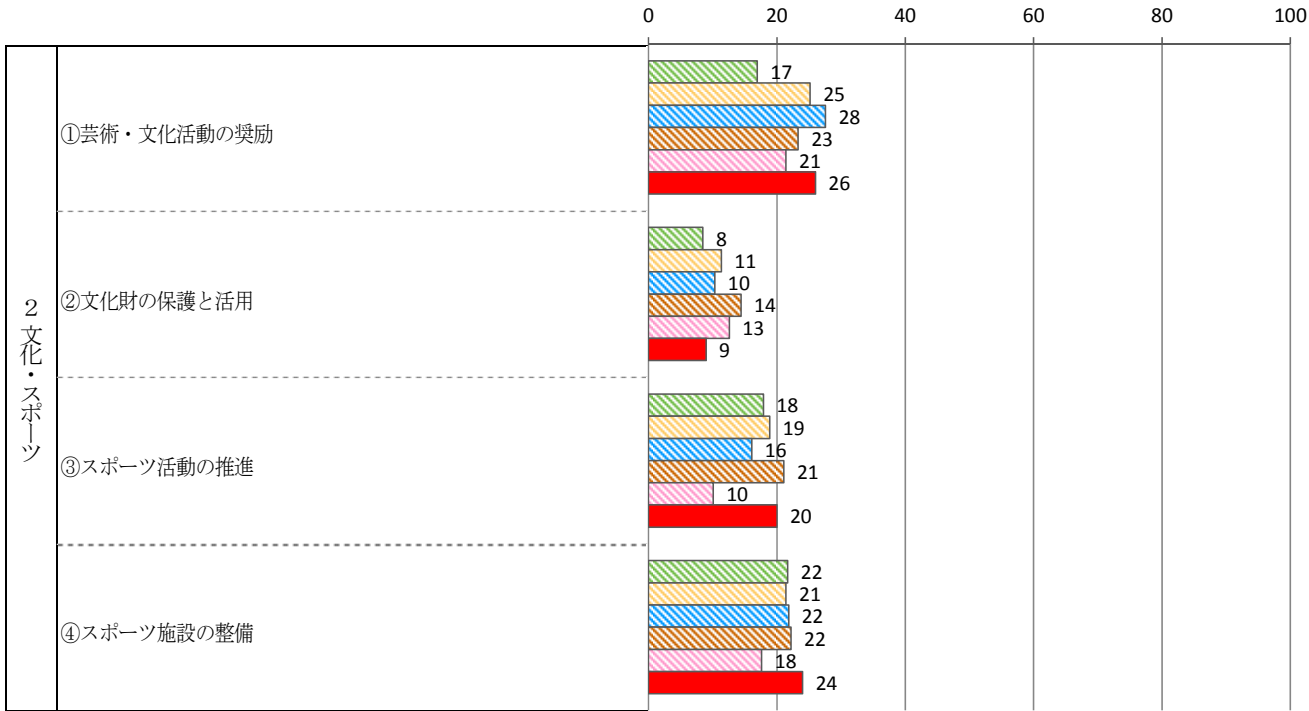
【地域別集計】

1. 十日町（十日町中学校区）

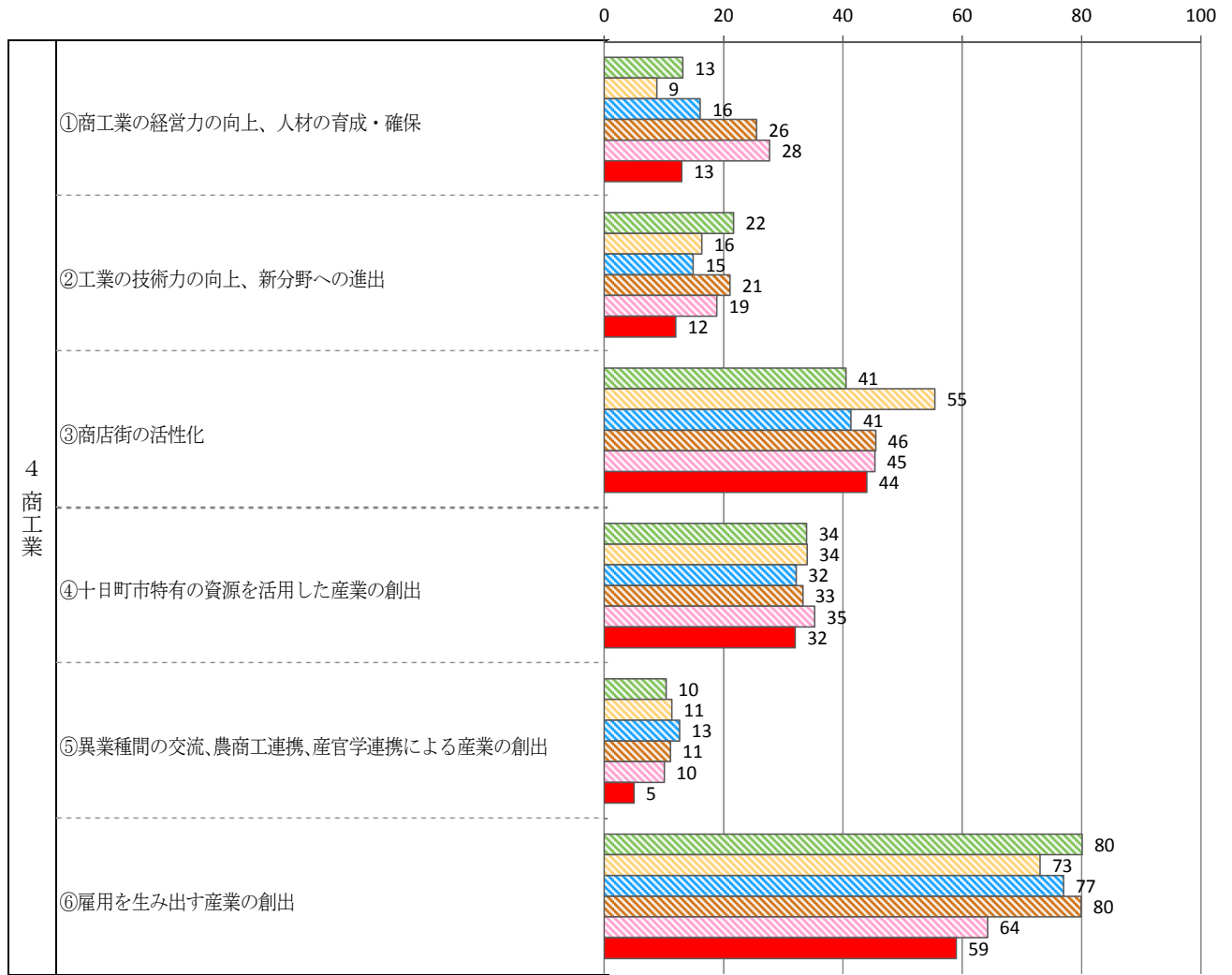
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数（人）	139	104	114	118	104	131
補正值	0.94	1.26	1.15	1.11	1.26	1.00

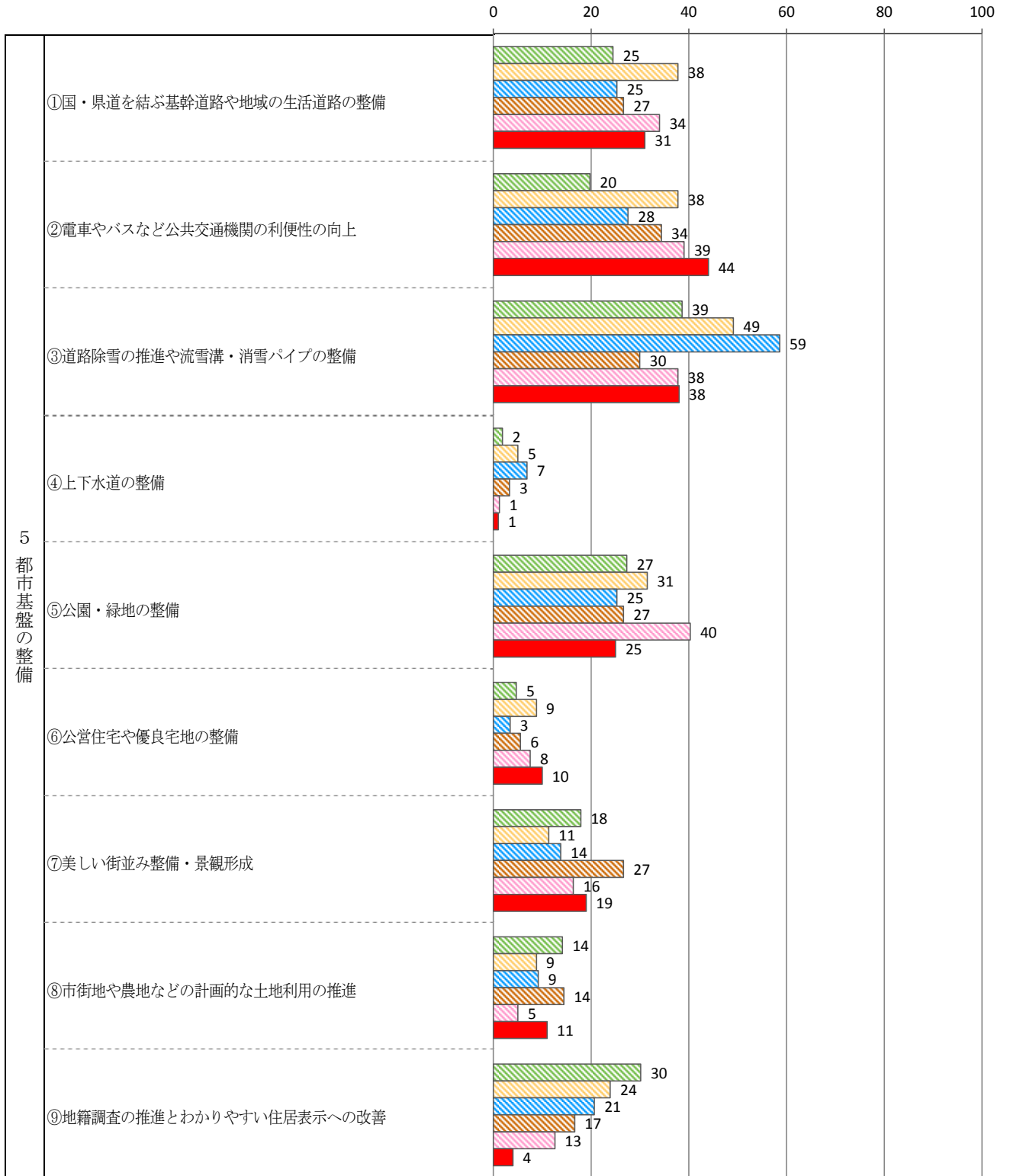
■ 平成23年
 ■ 平成24年
 ■ 平成25年
 ■ 平成26年
 ■ 平成27年
 ■ 平成28年



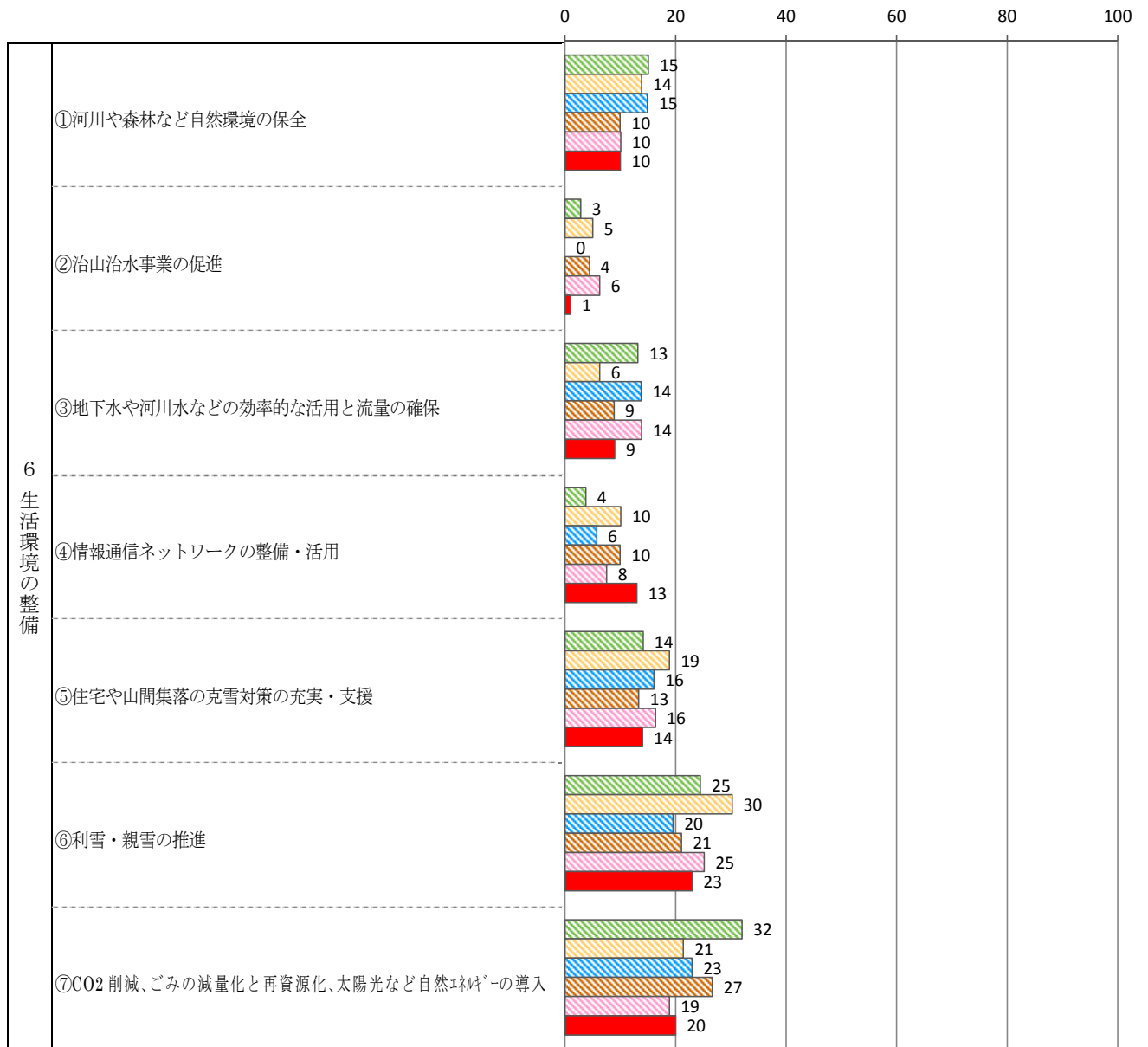


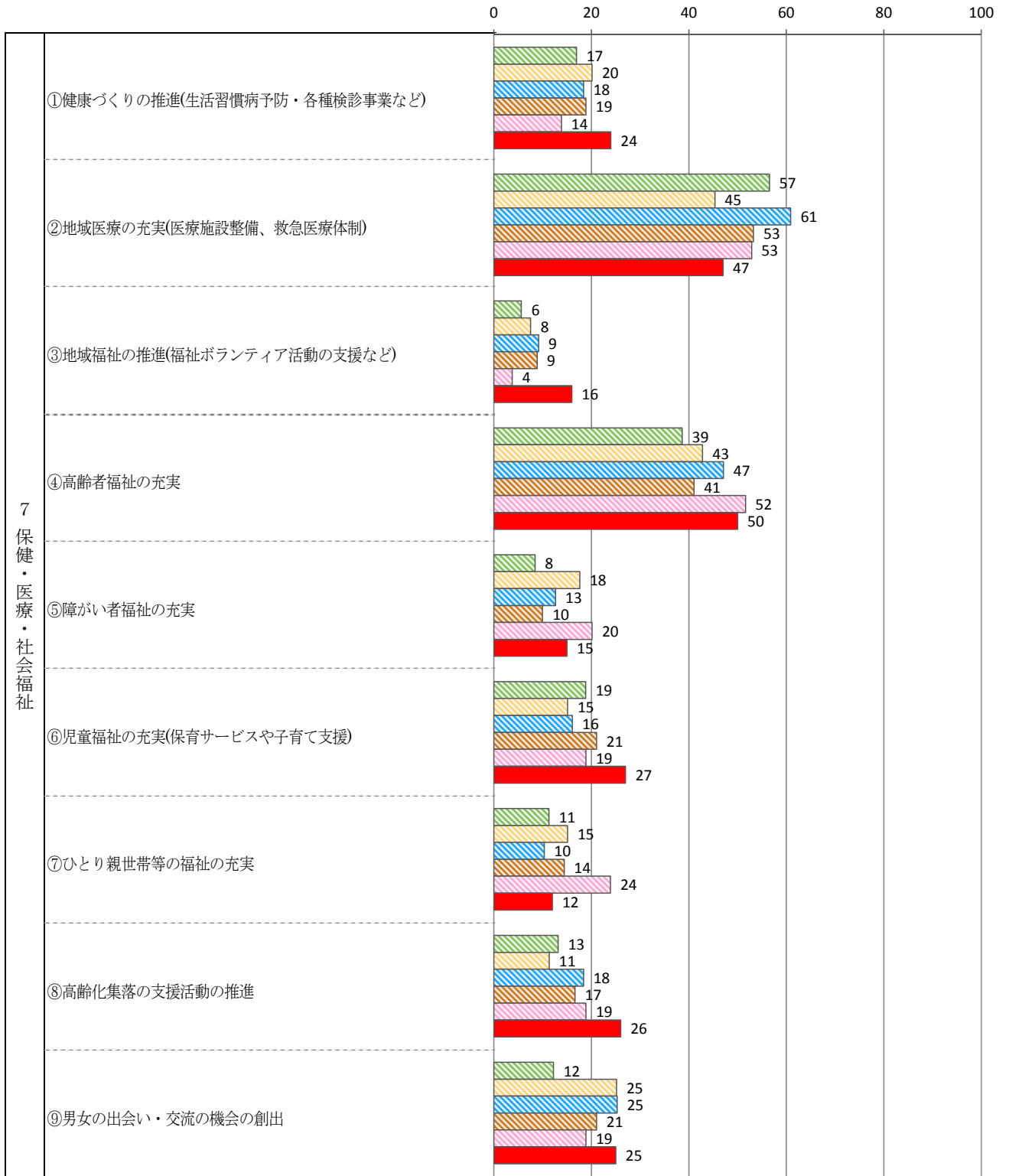
1. 十日町（十日町中学校区）



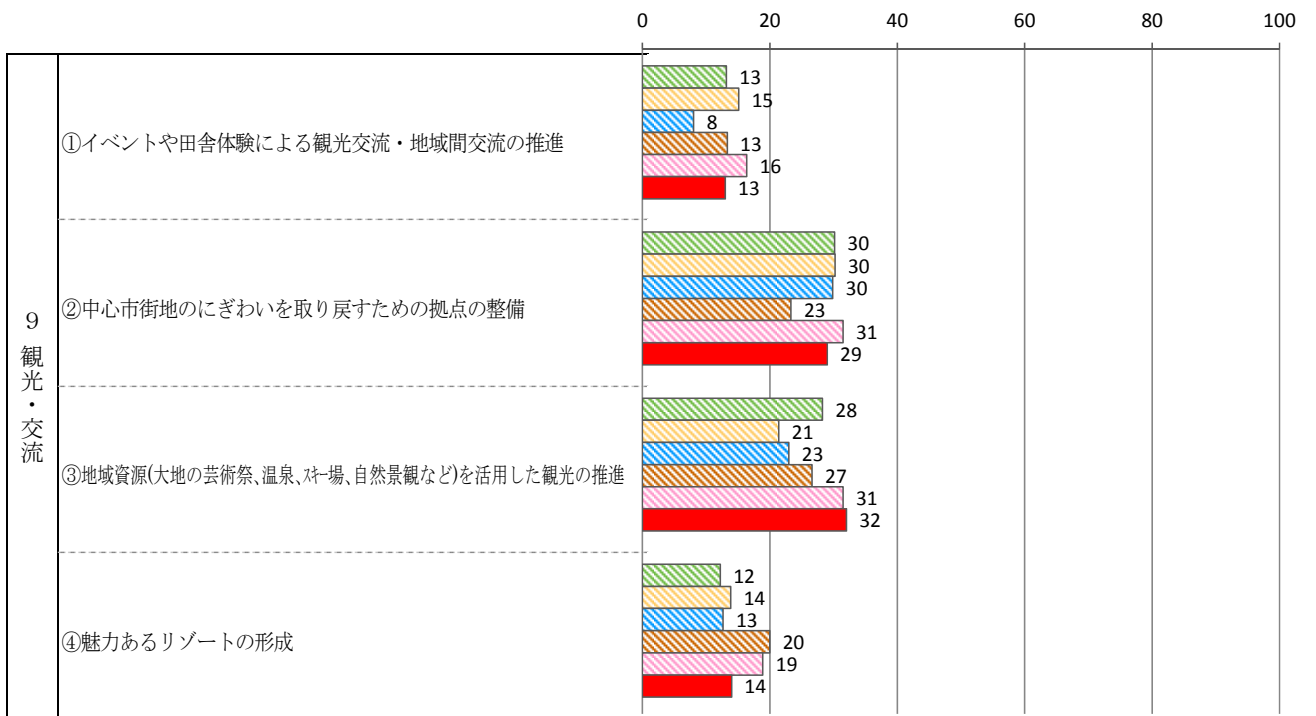
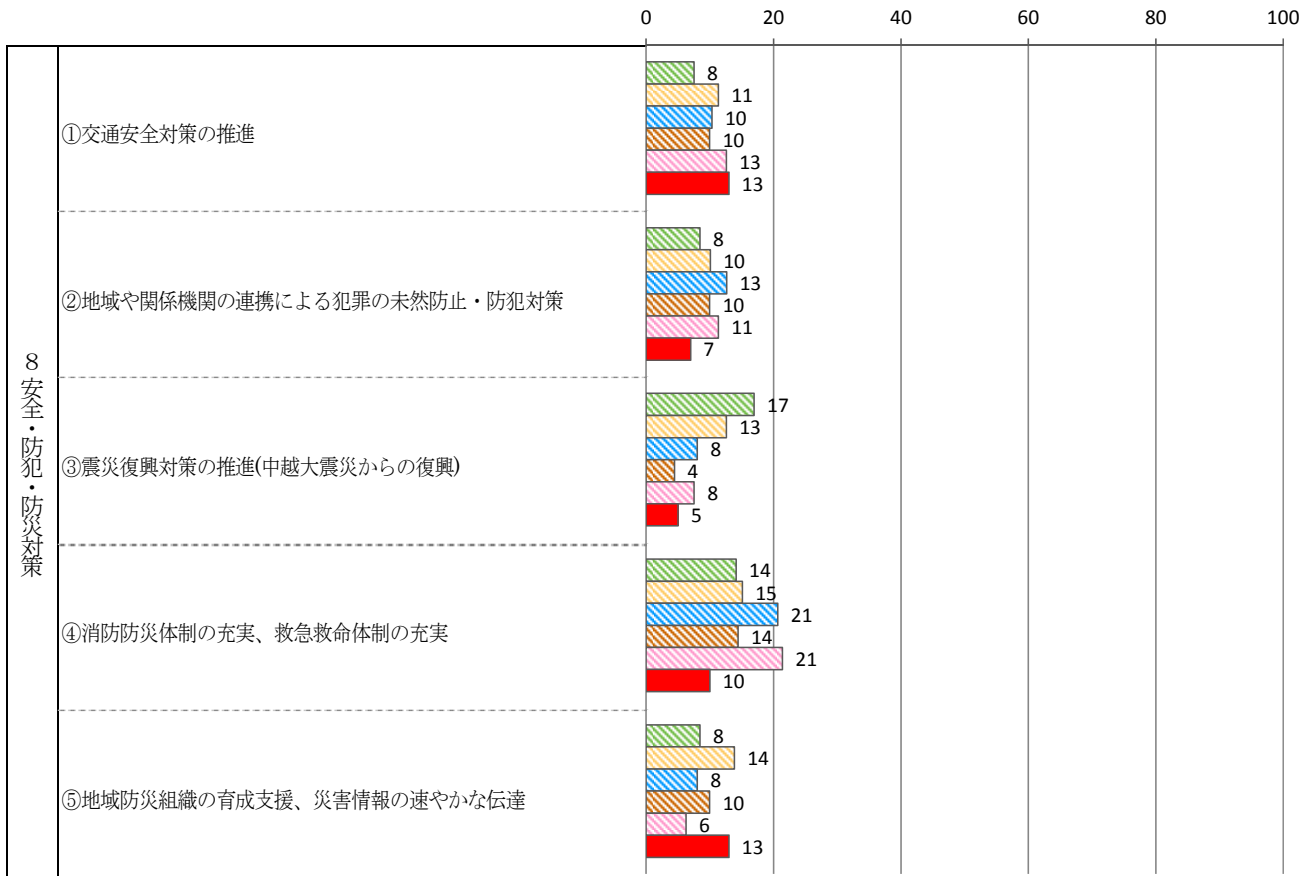


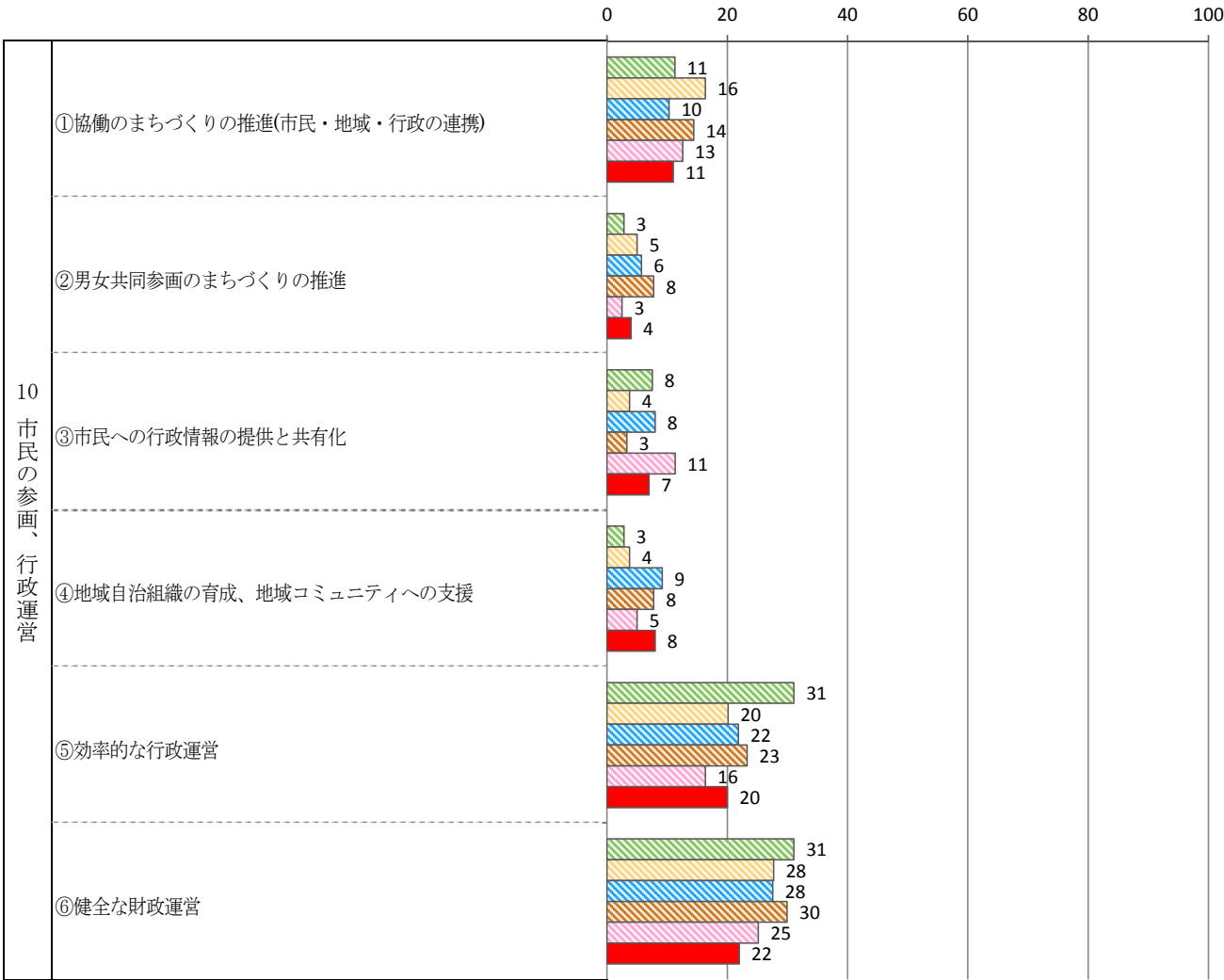
1. 十日町（十日町中学校区）





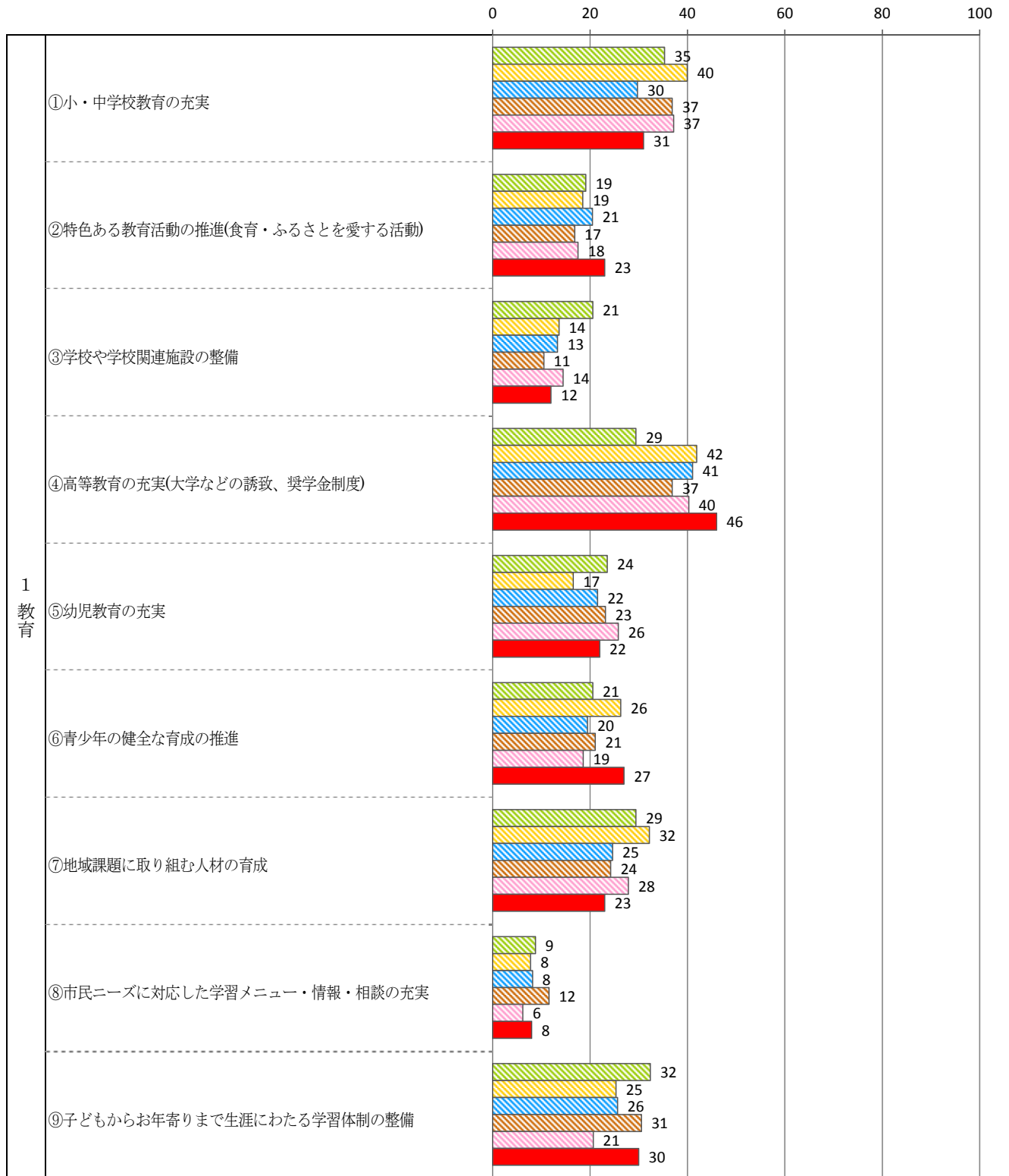
1. 十日町（十日町中学校区）

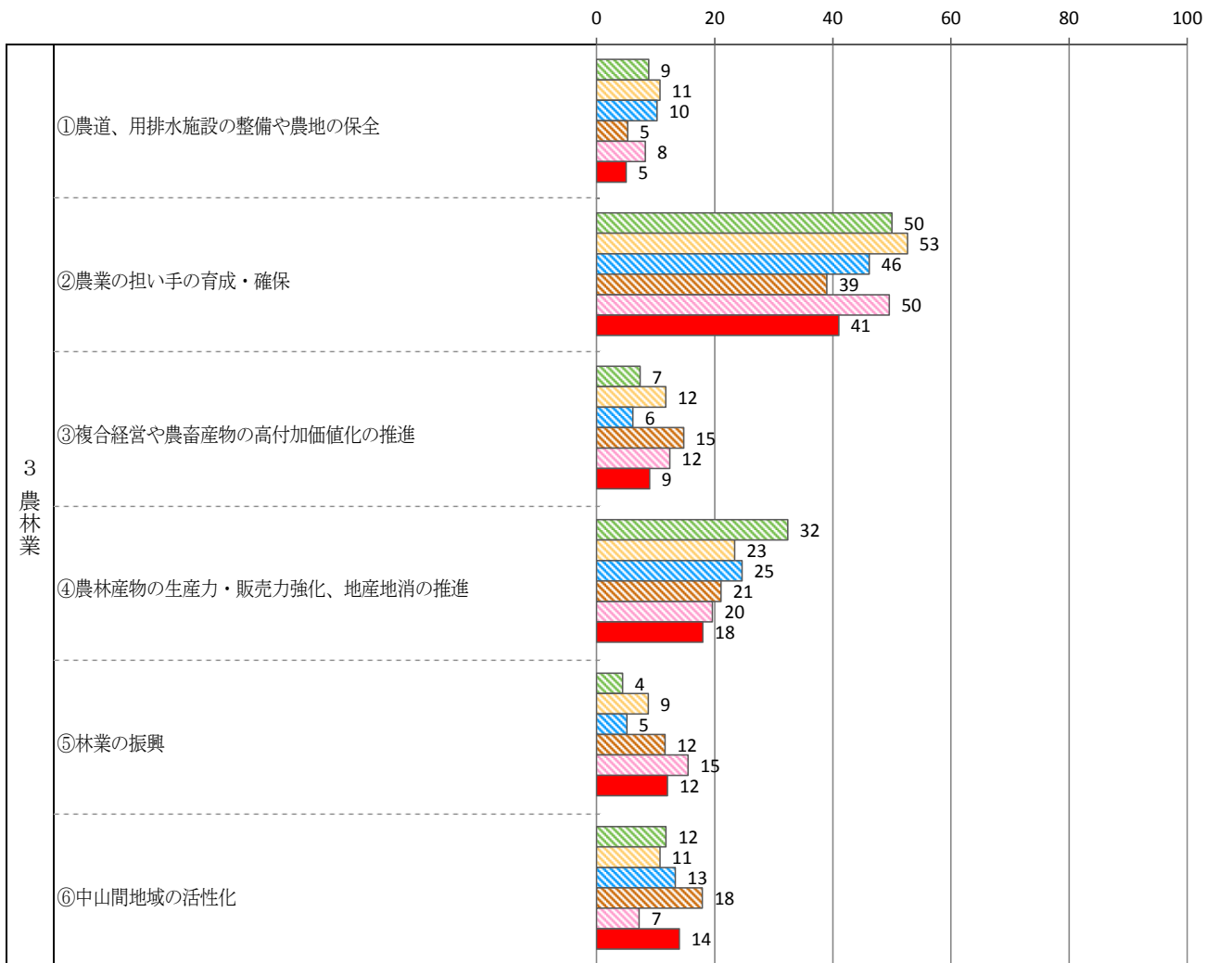
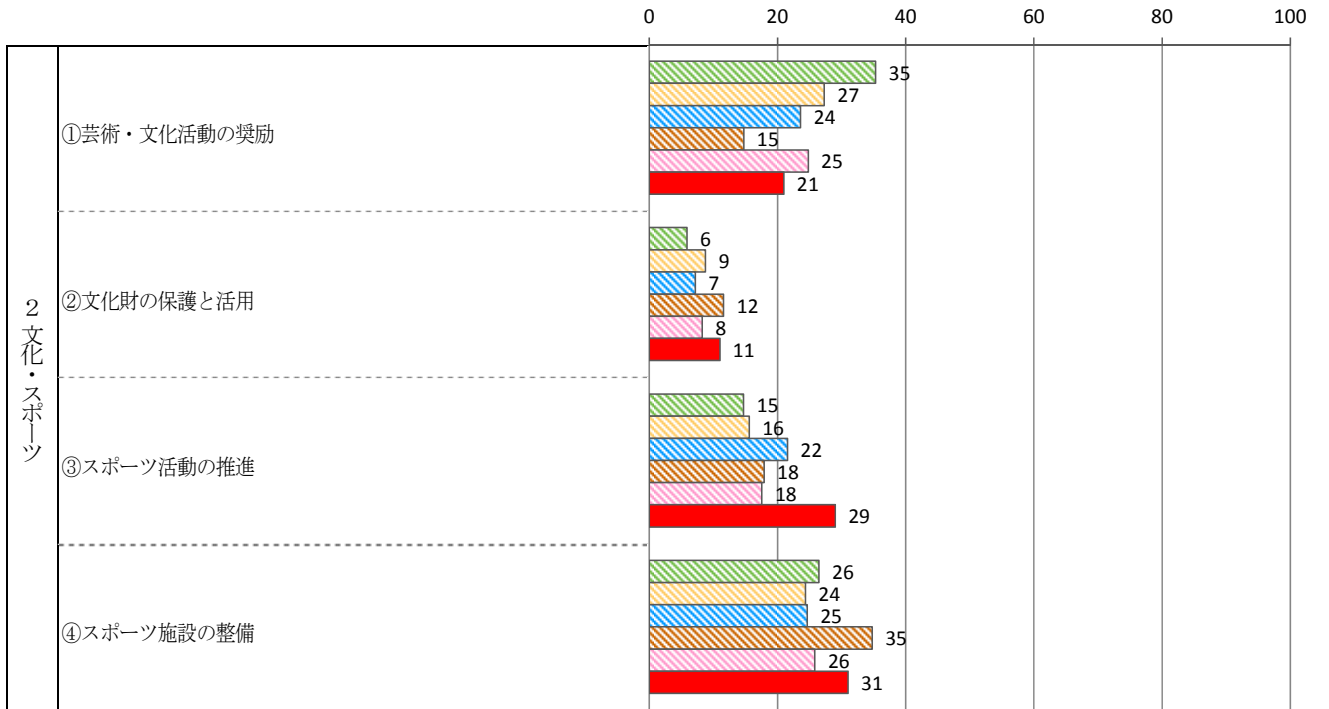




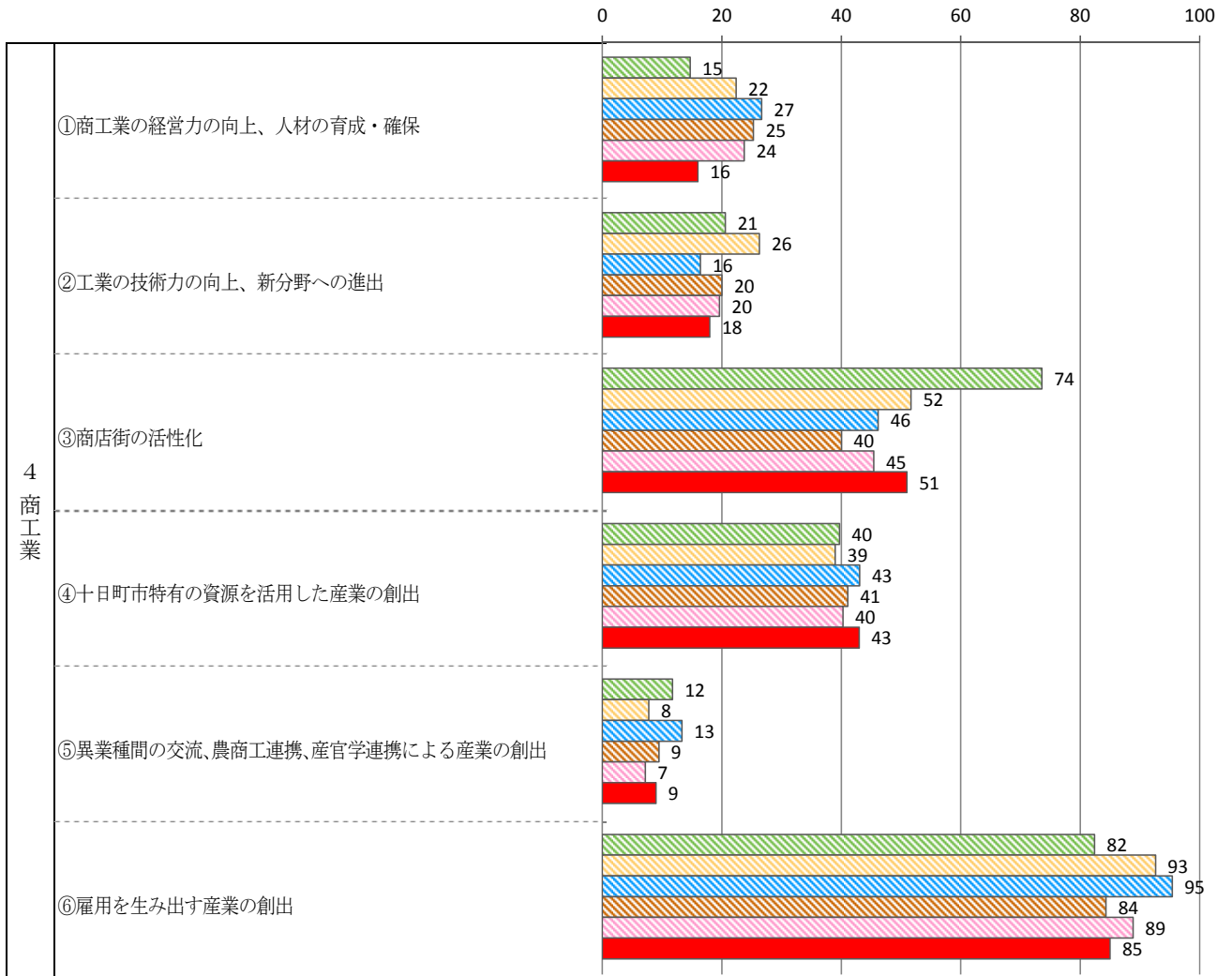
2. 高山 3. 西部（十日町西）

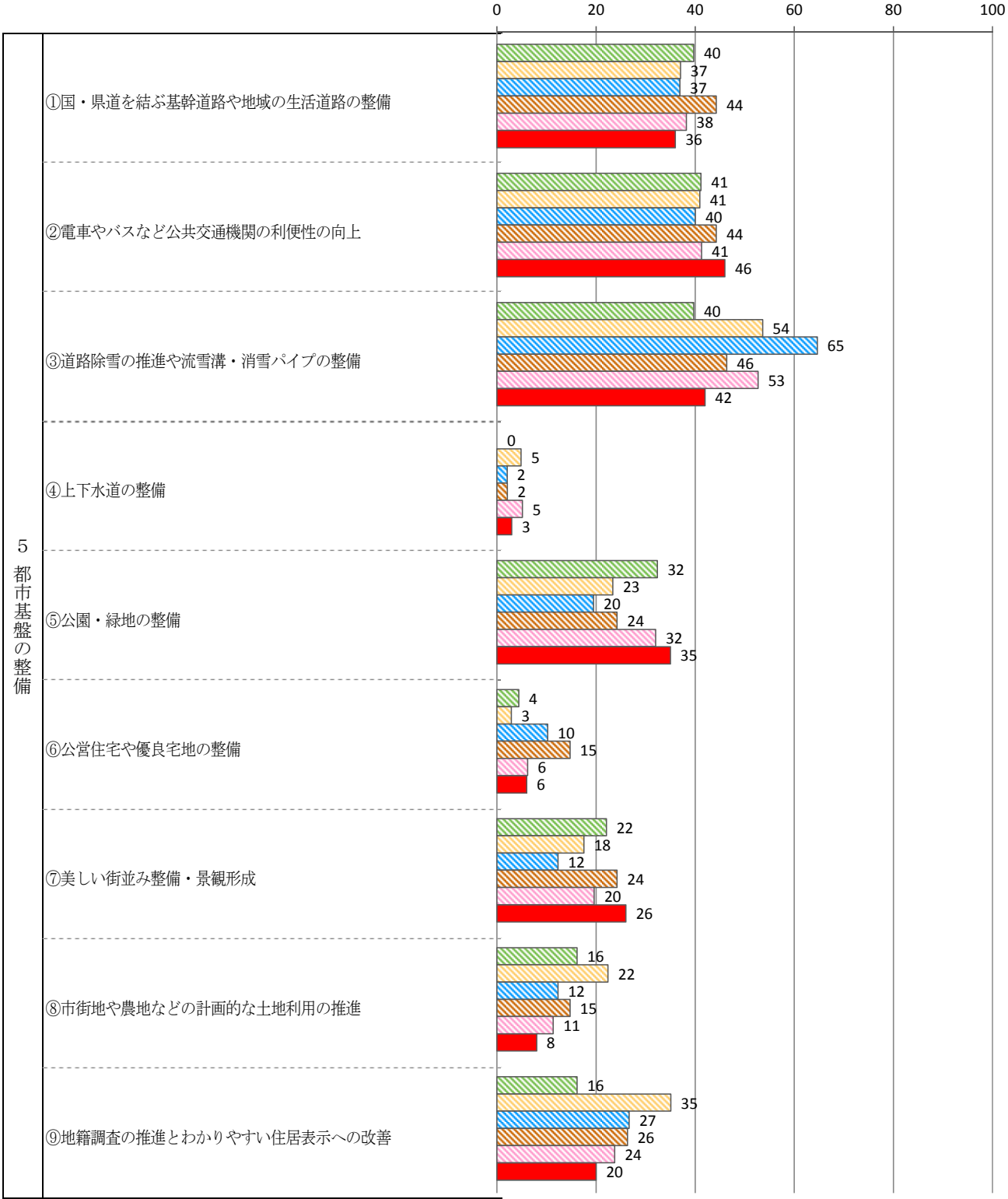
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数（人）	106	160	152	148	151	156
補正值	1.47	0.98	1.03	1.05	1.03	1.00



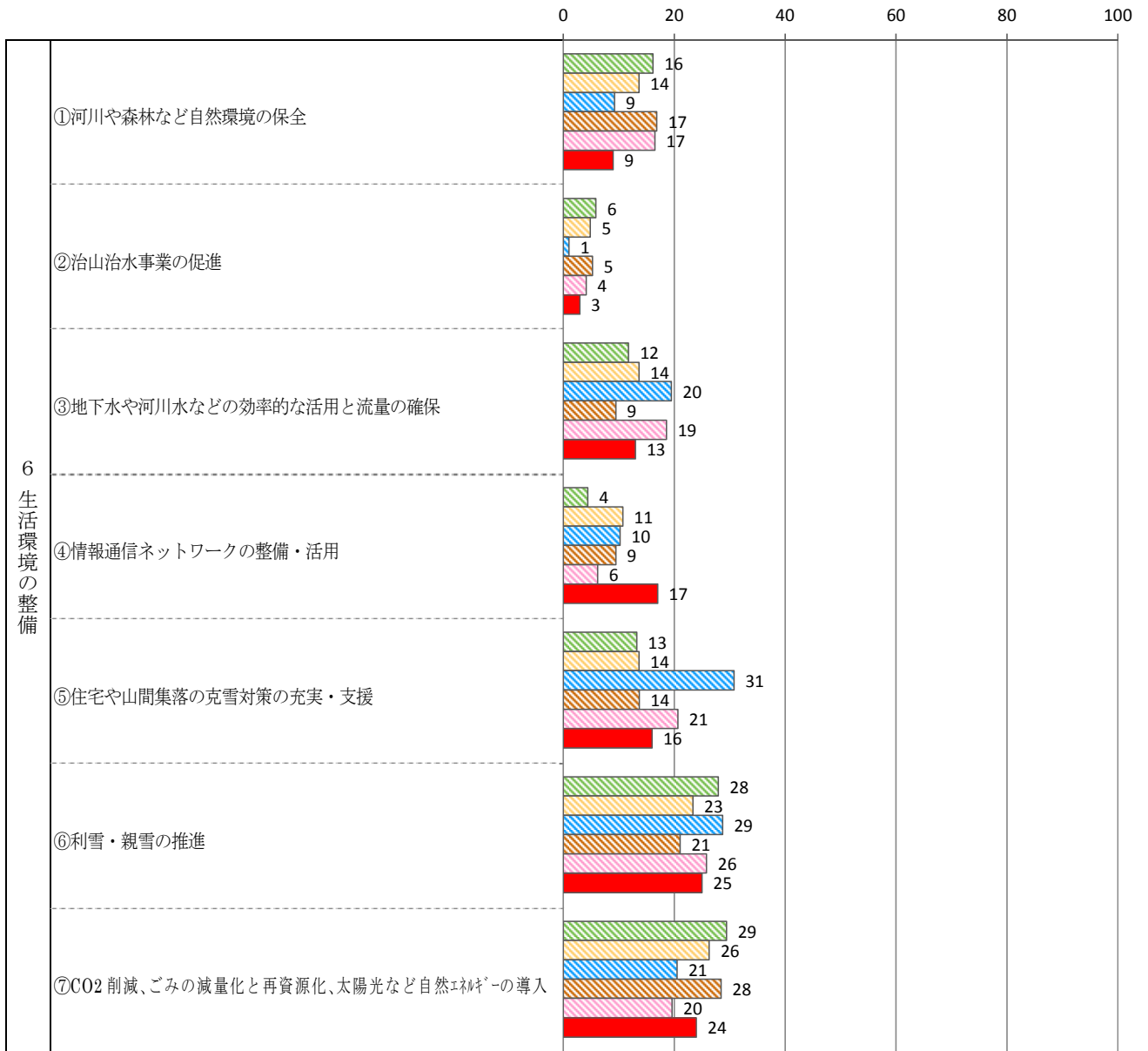


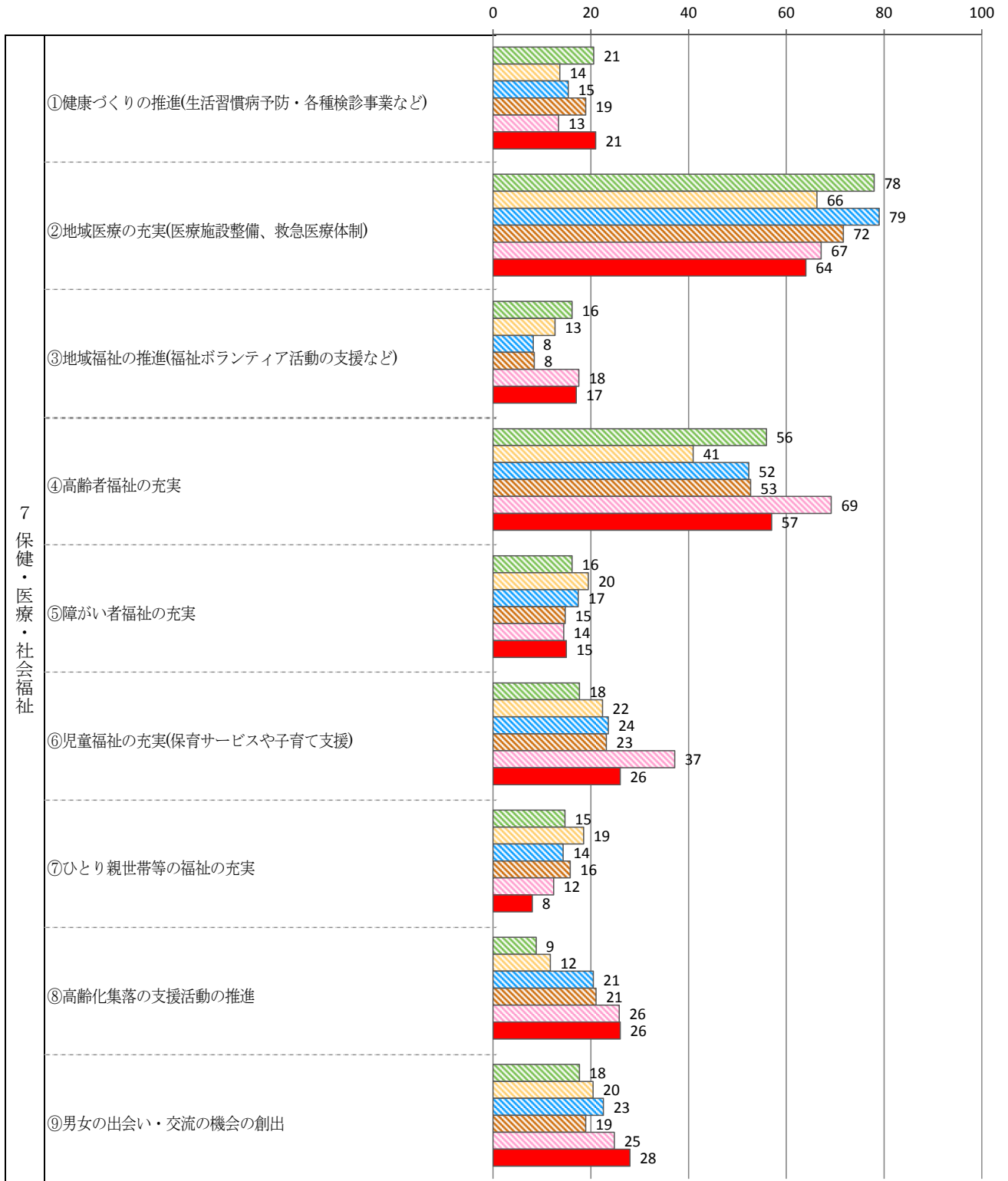
2. 高山 3. 西部（十日町西）



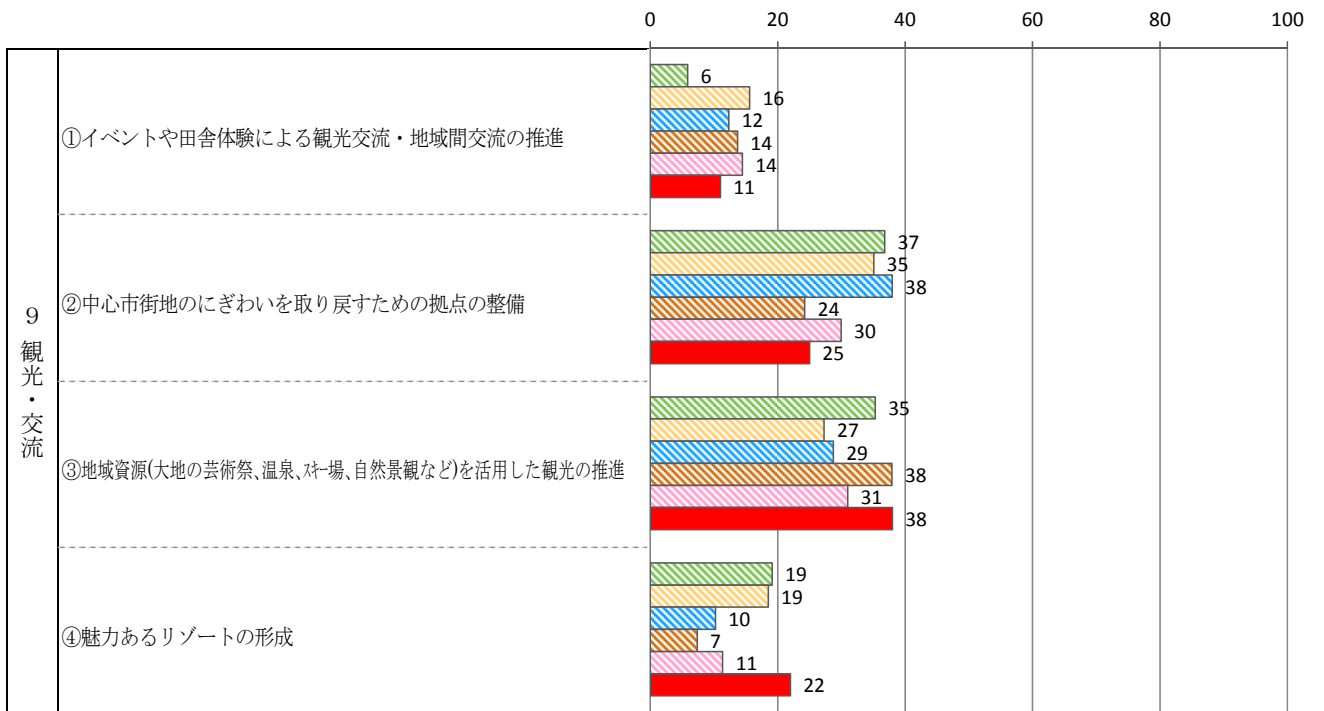
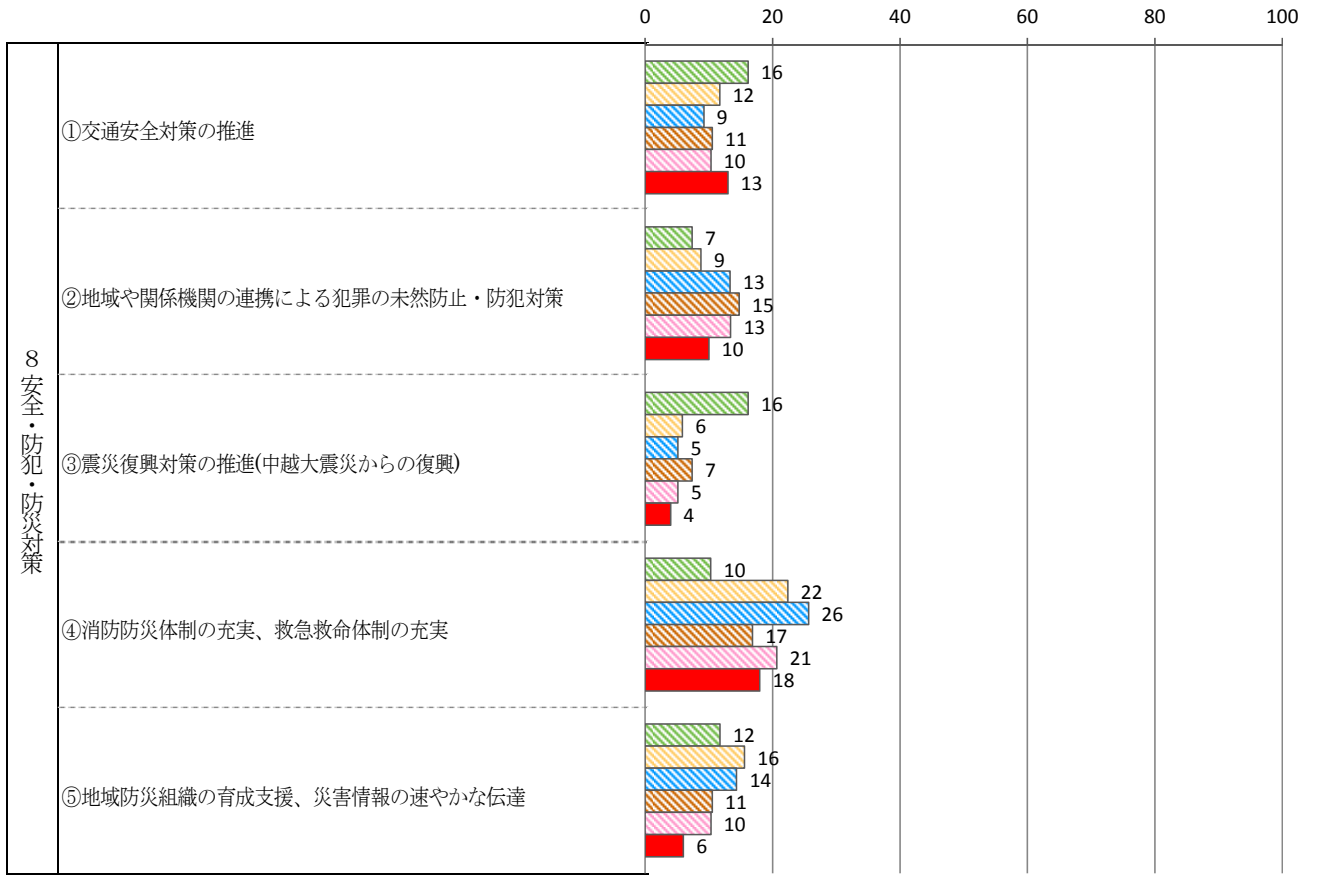


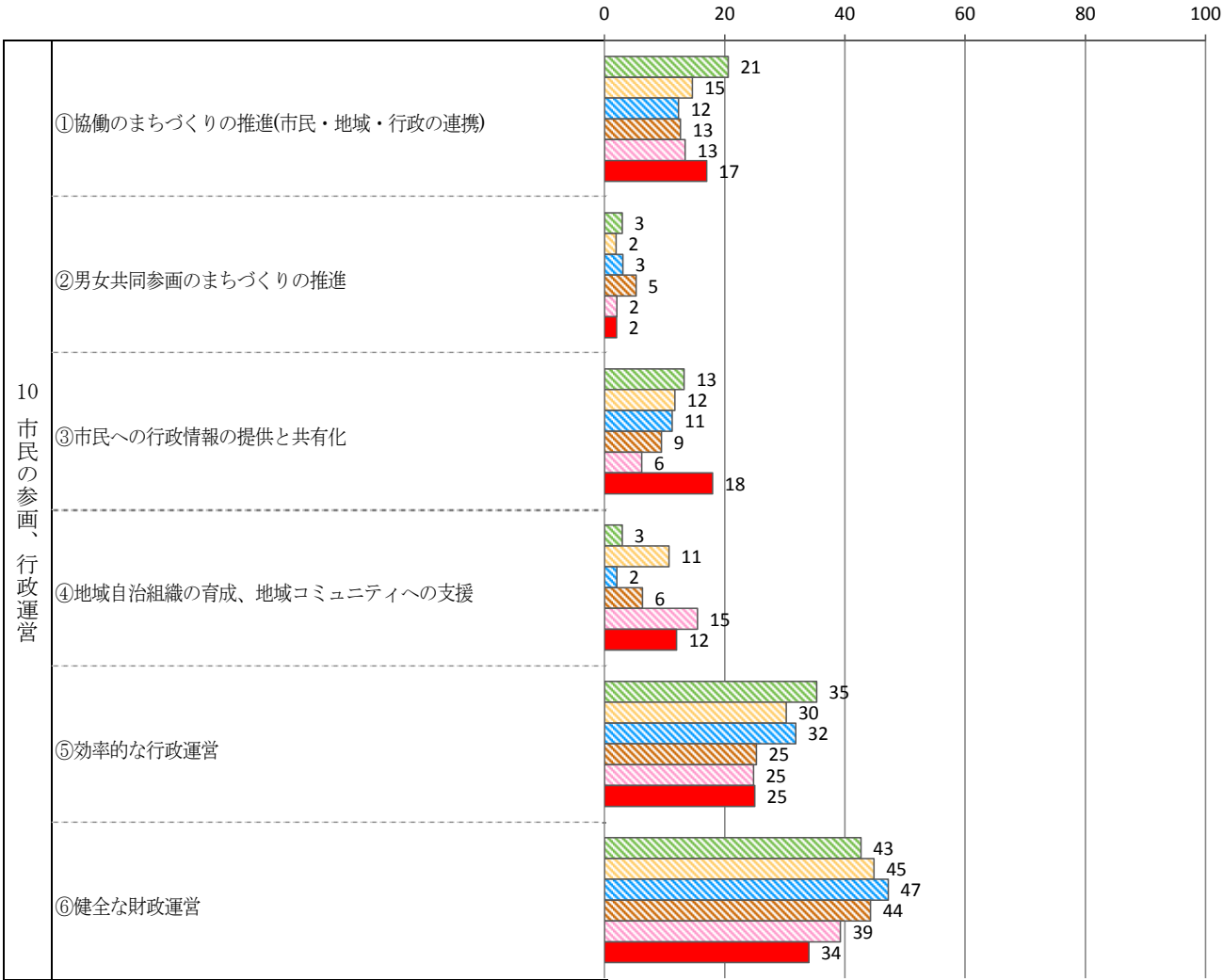
2. 高山 3. 西部（十日町西）





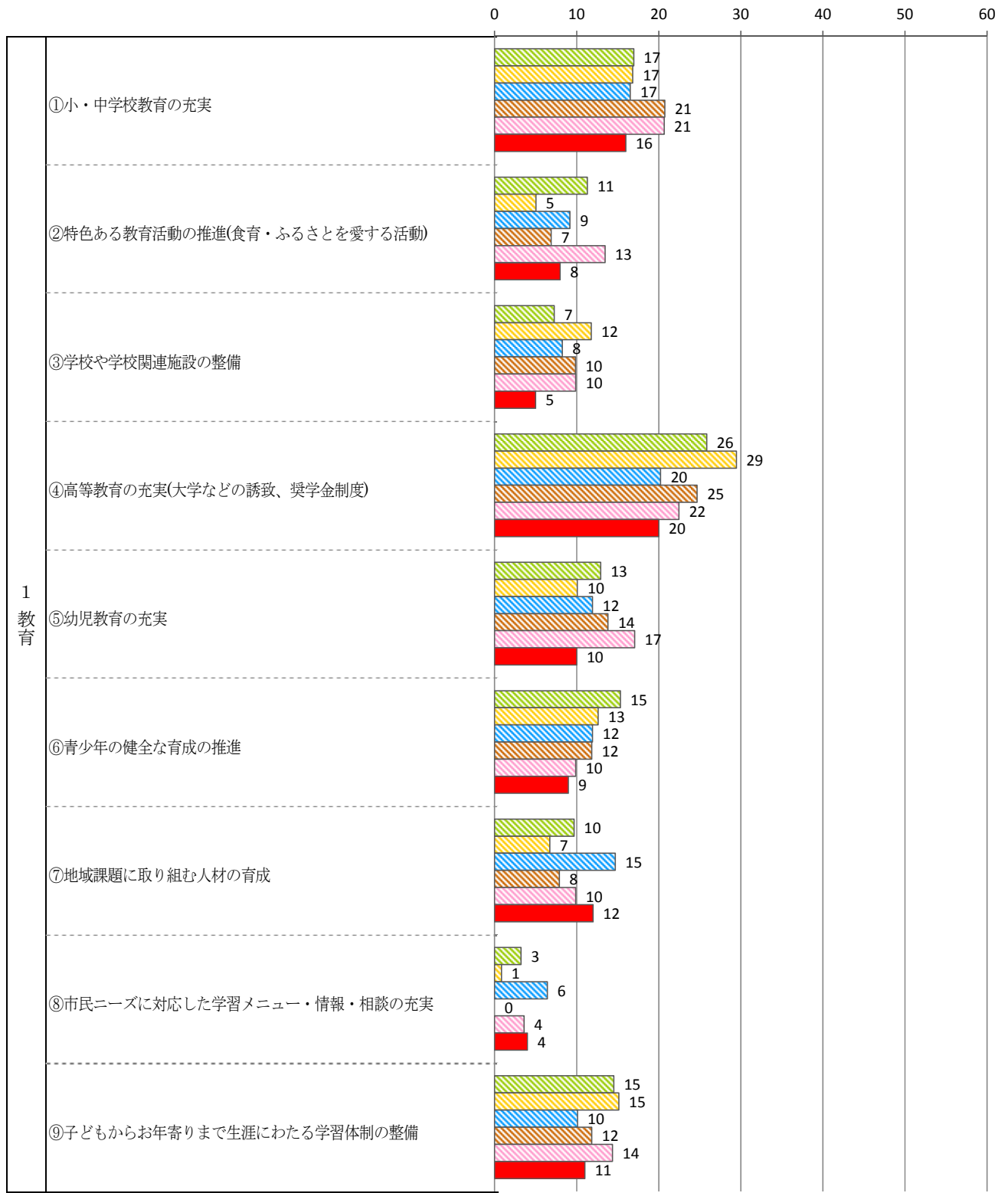
2. 高山 3. 西部（十日町西）

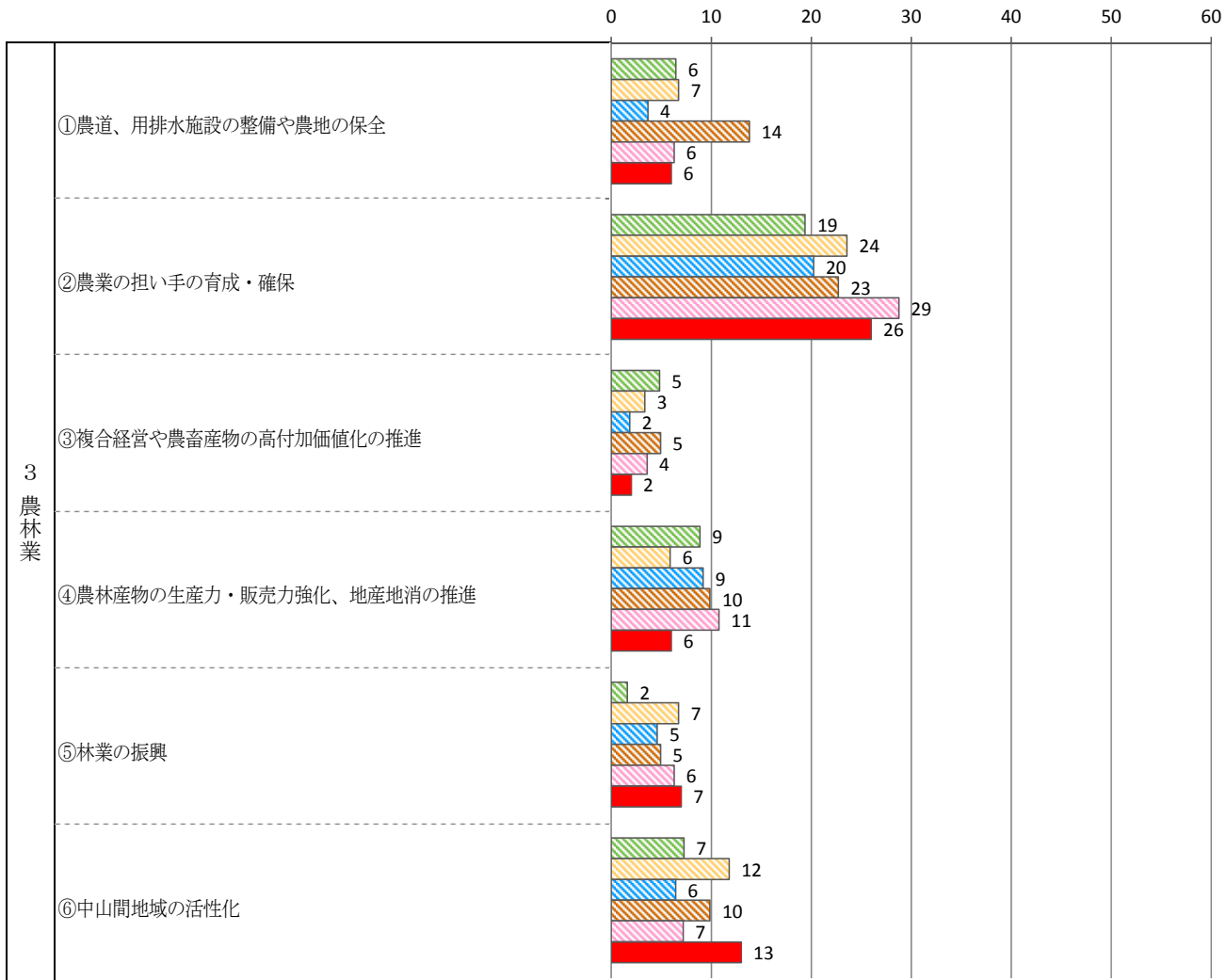
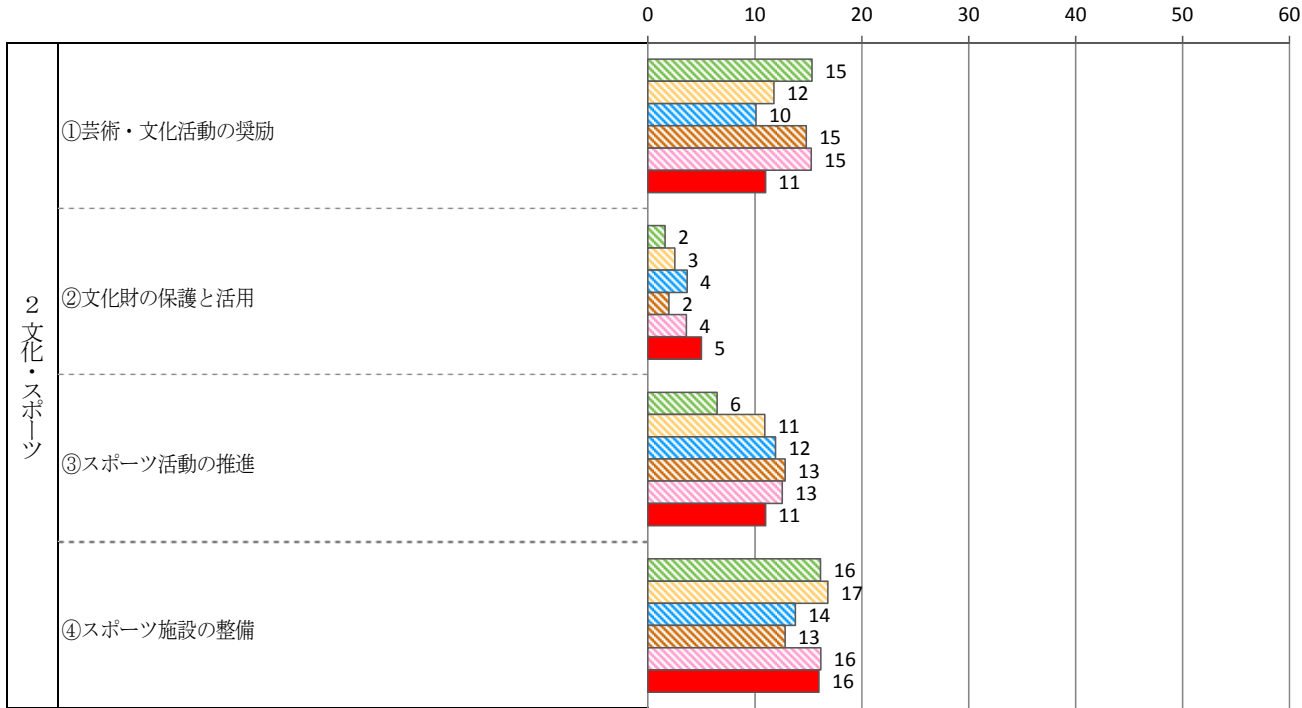




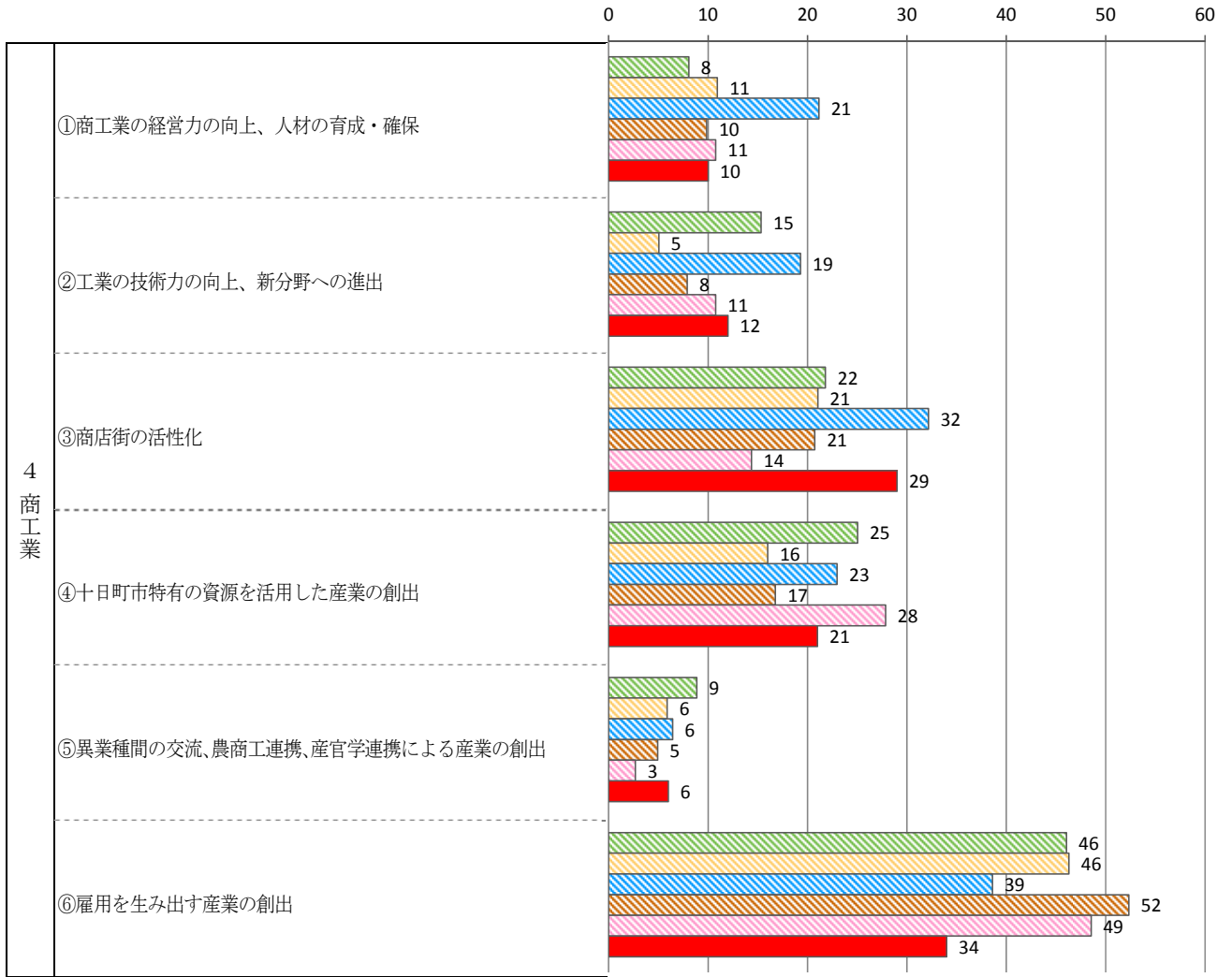
4. 川治・六箇

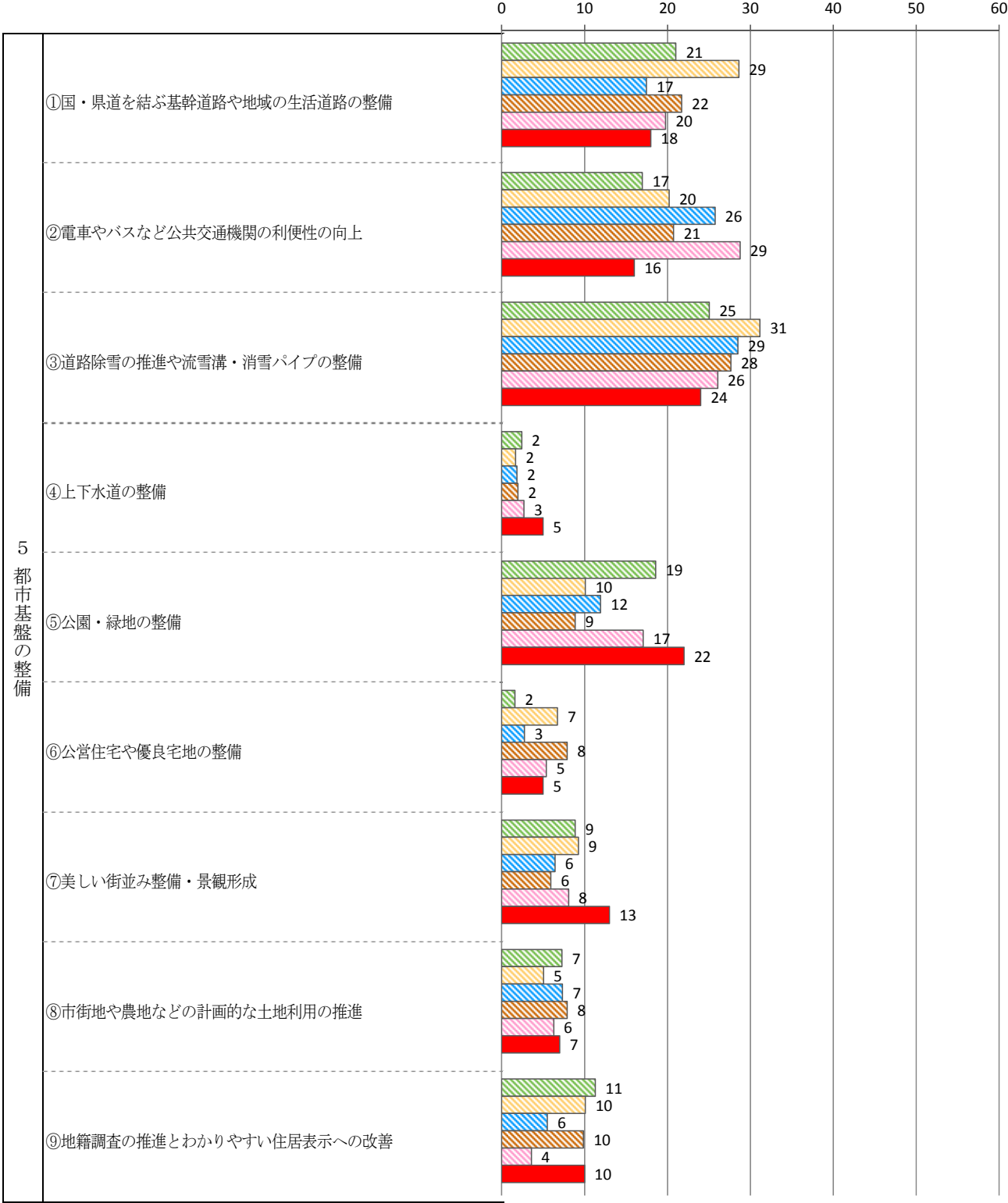
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	99	95	87	81	89	80
補正值	0.81	0.84	0.92	0.99	0.90	1.00



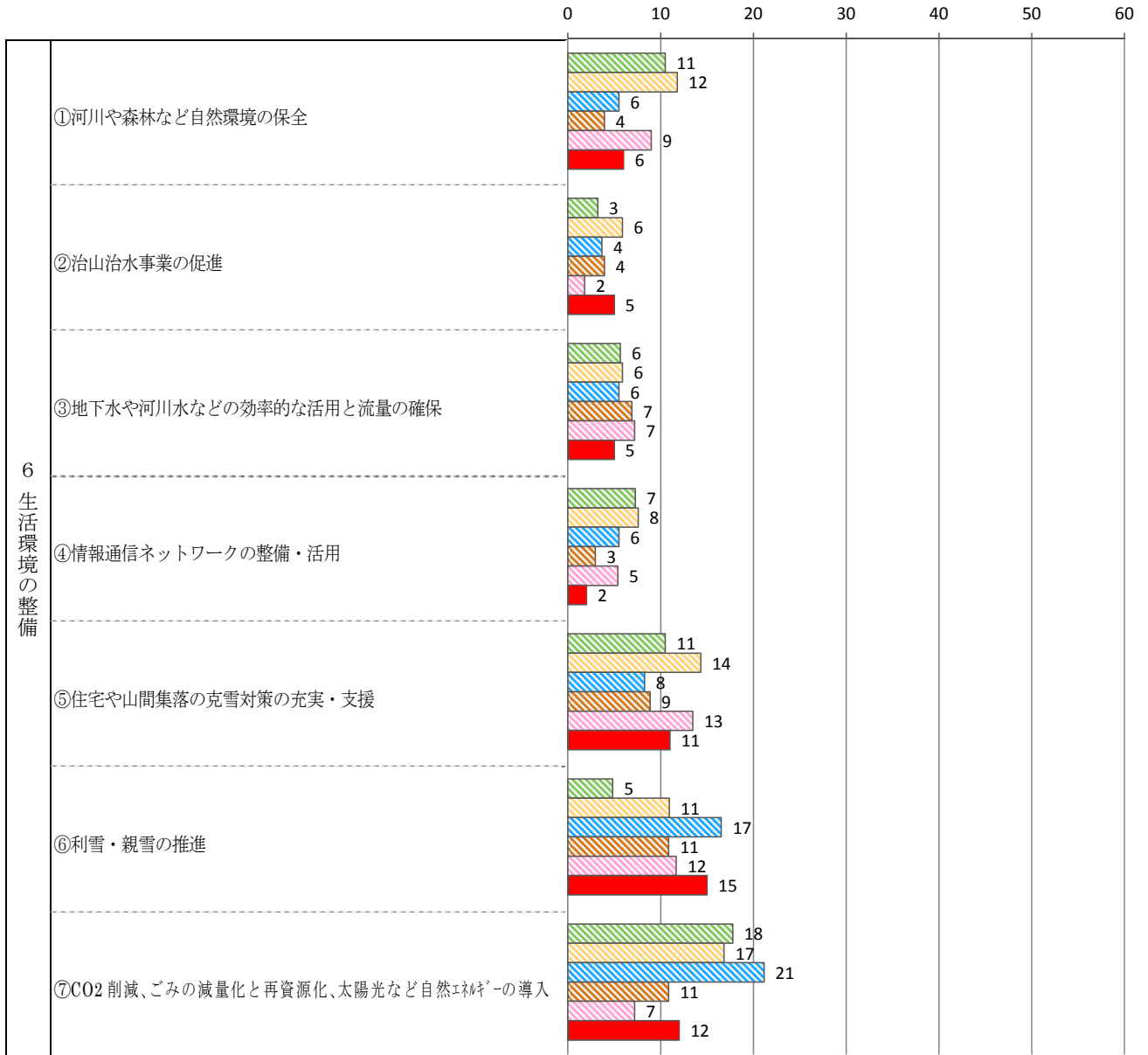


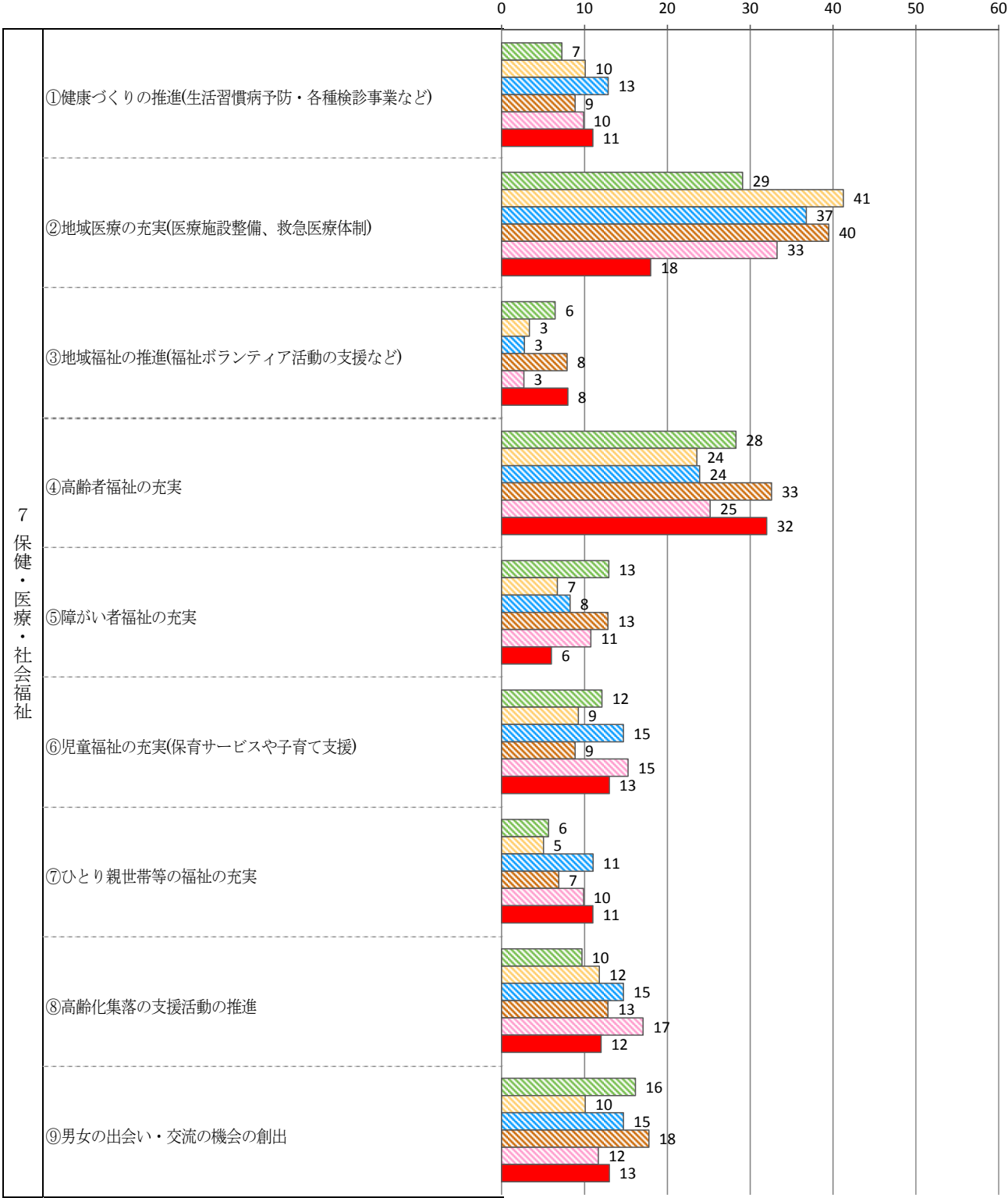
4. 川治・六箇



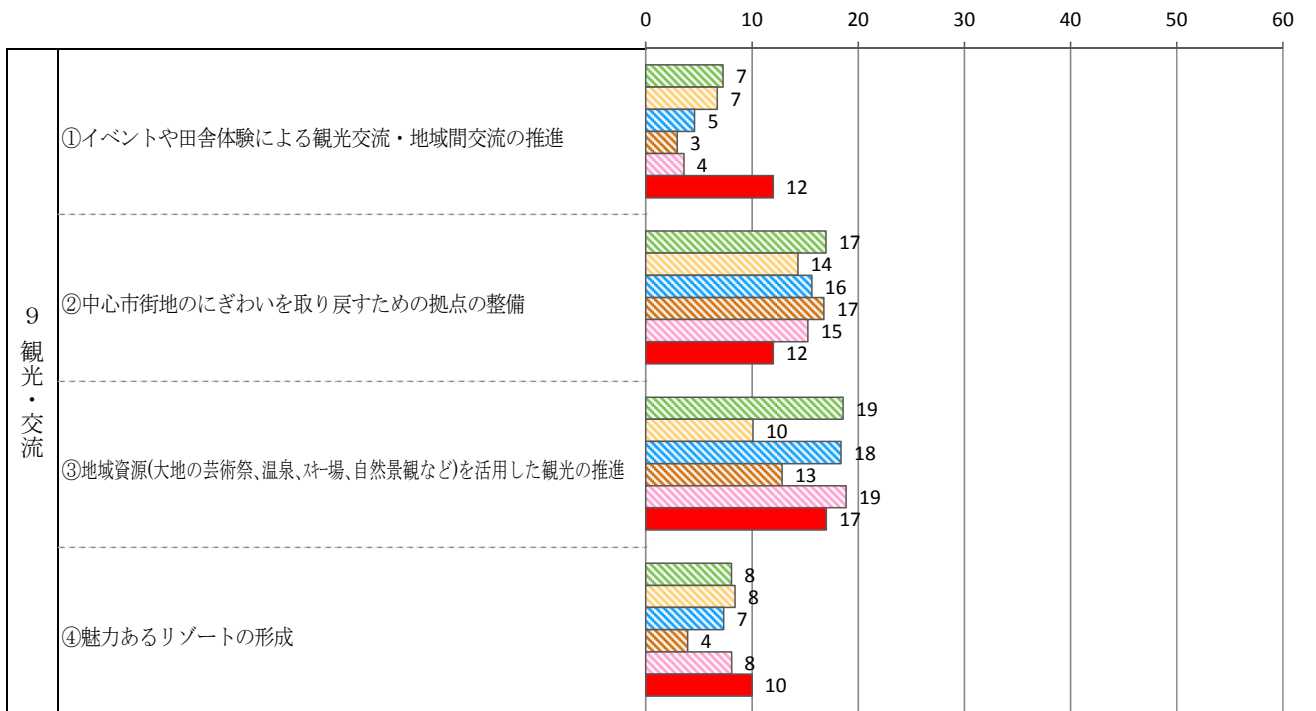
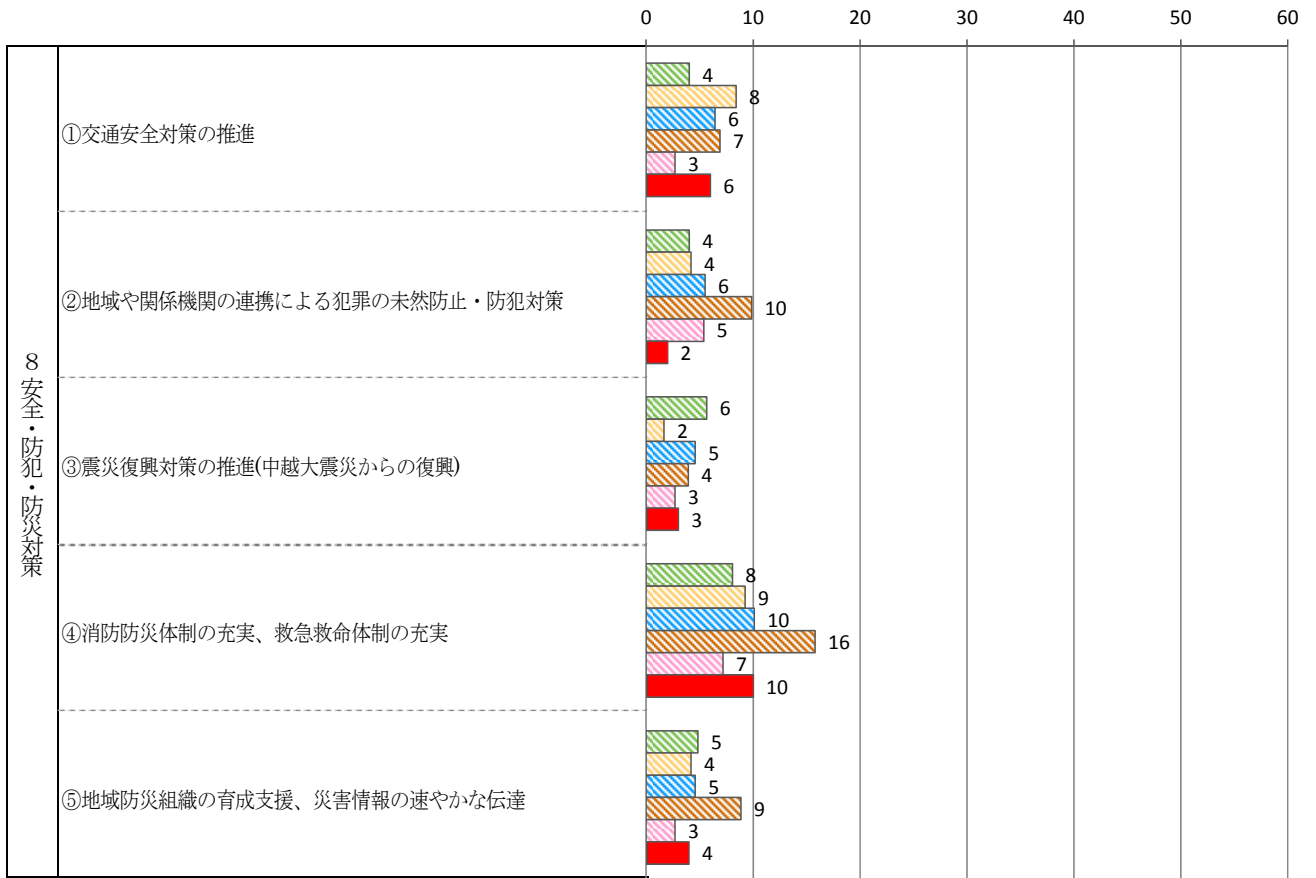


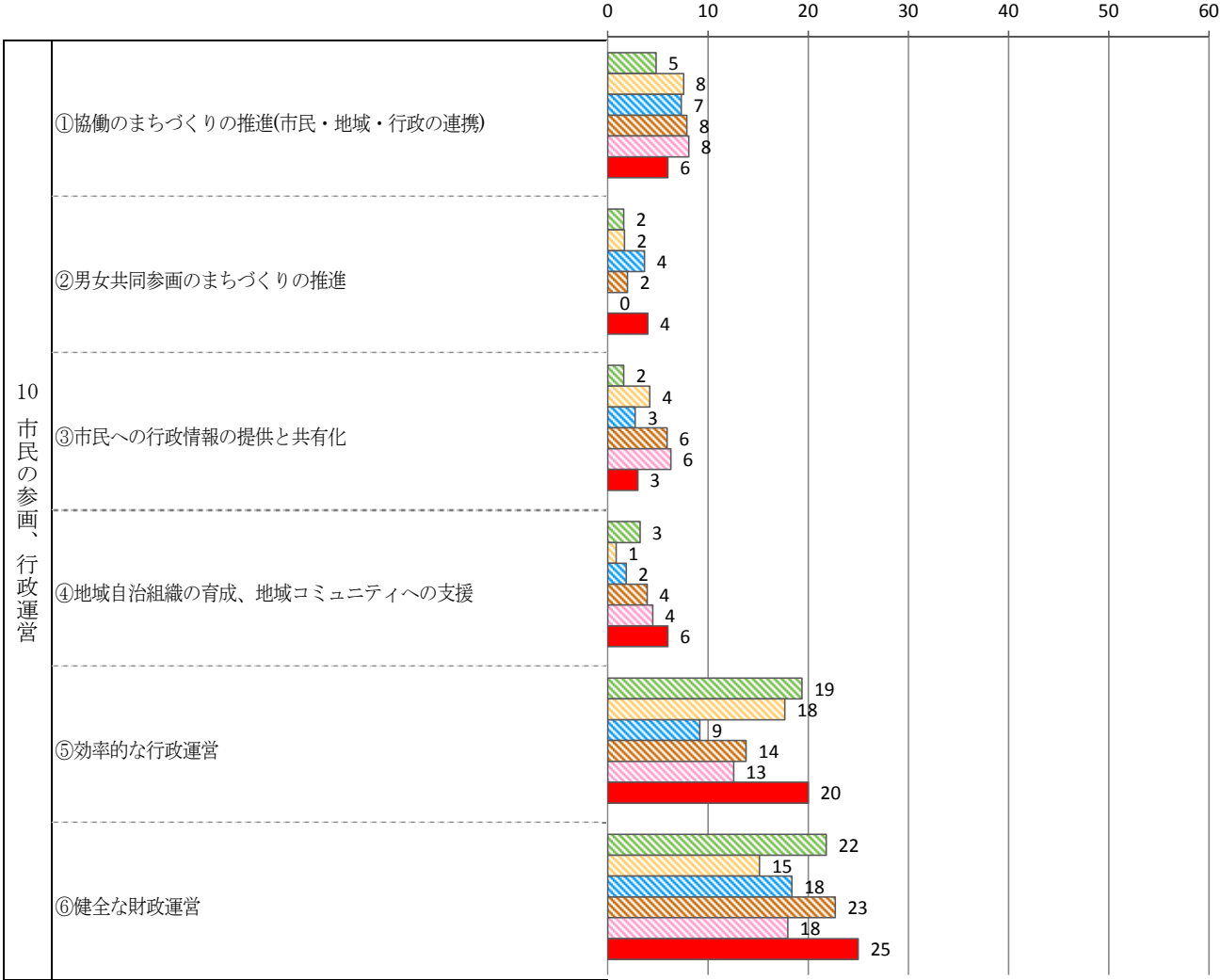
4. 川治・六箇





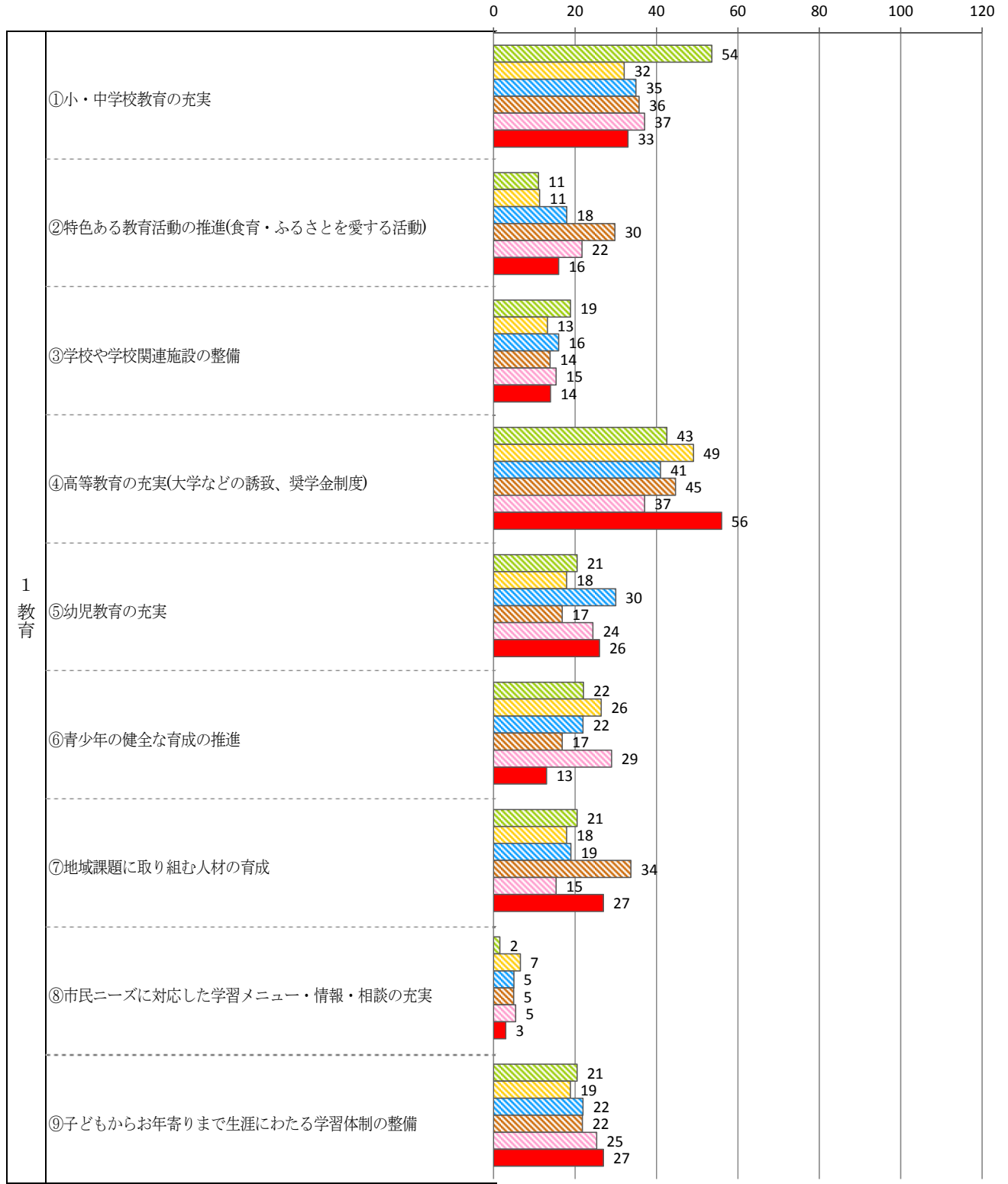
4. 川治・六箇

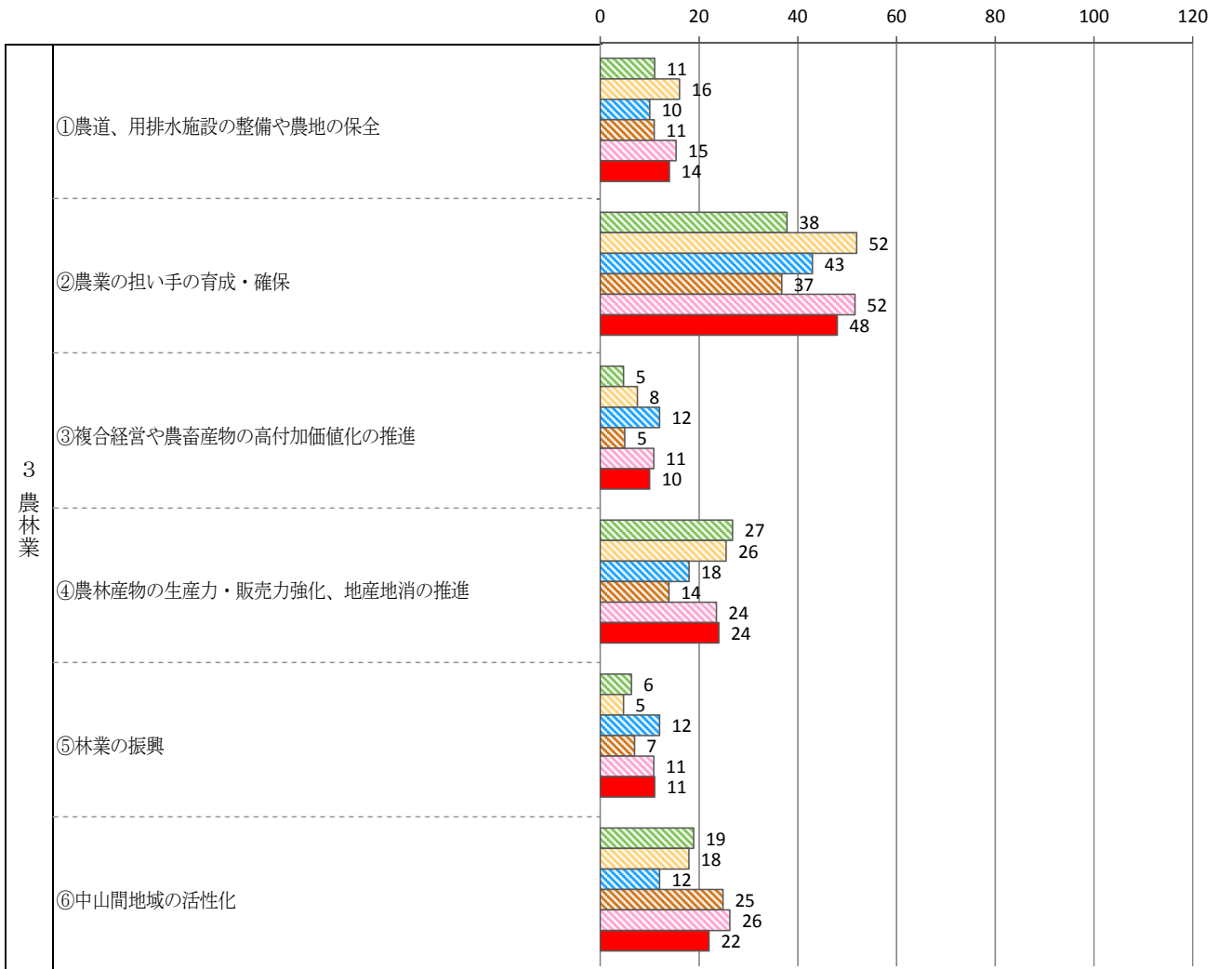
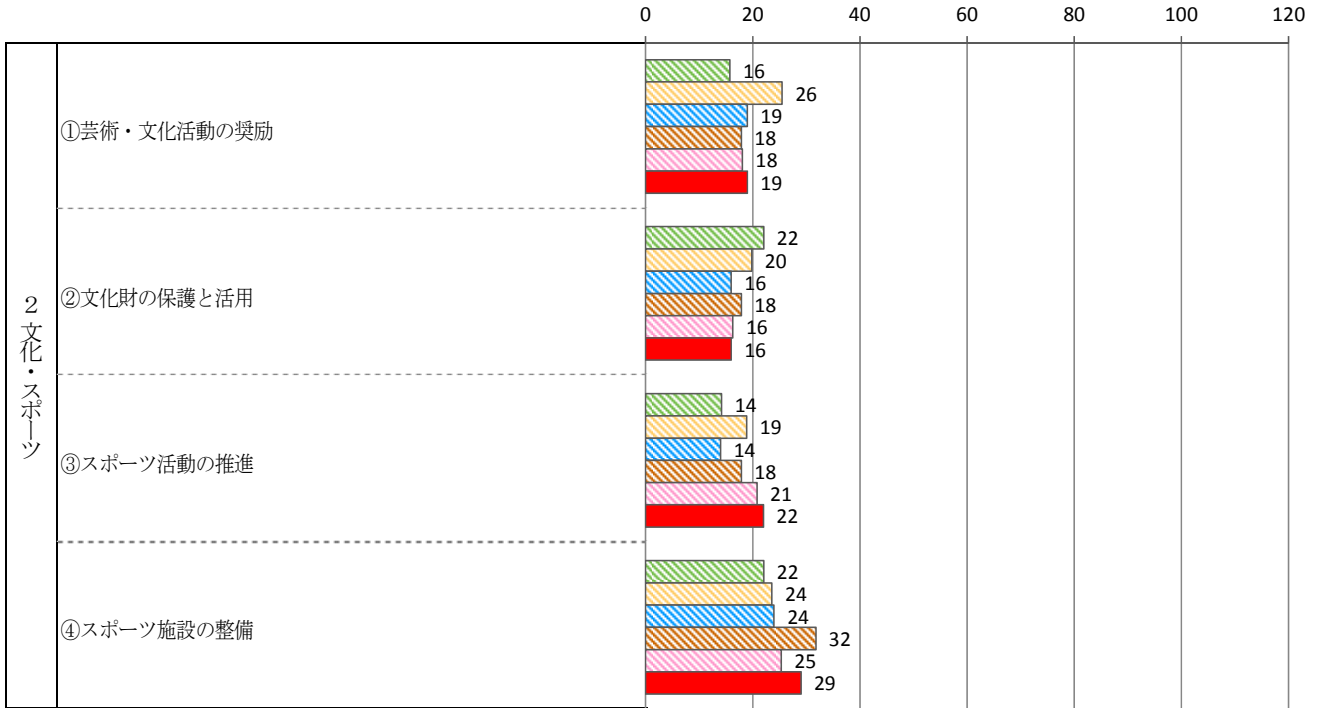




5. 中条・飛渡 6. 大井田 (中条)

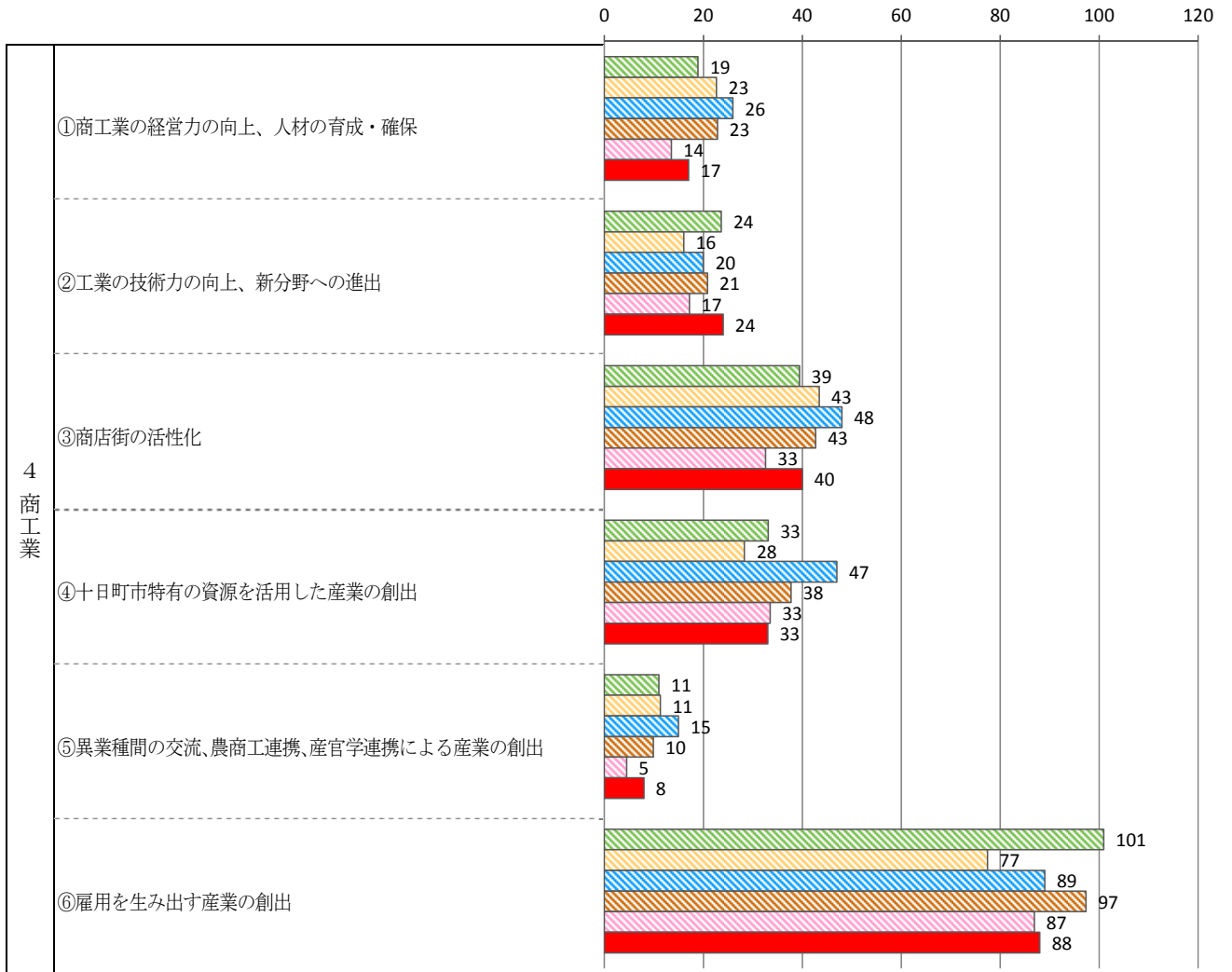
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	97	162	153	154	169	153
補正值	1.58	0.94	1.00	0.99	0.91	1.00

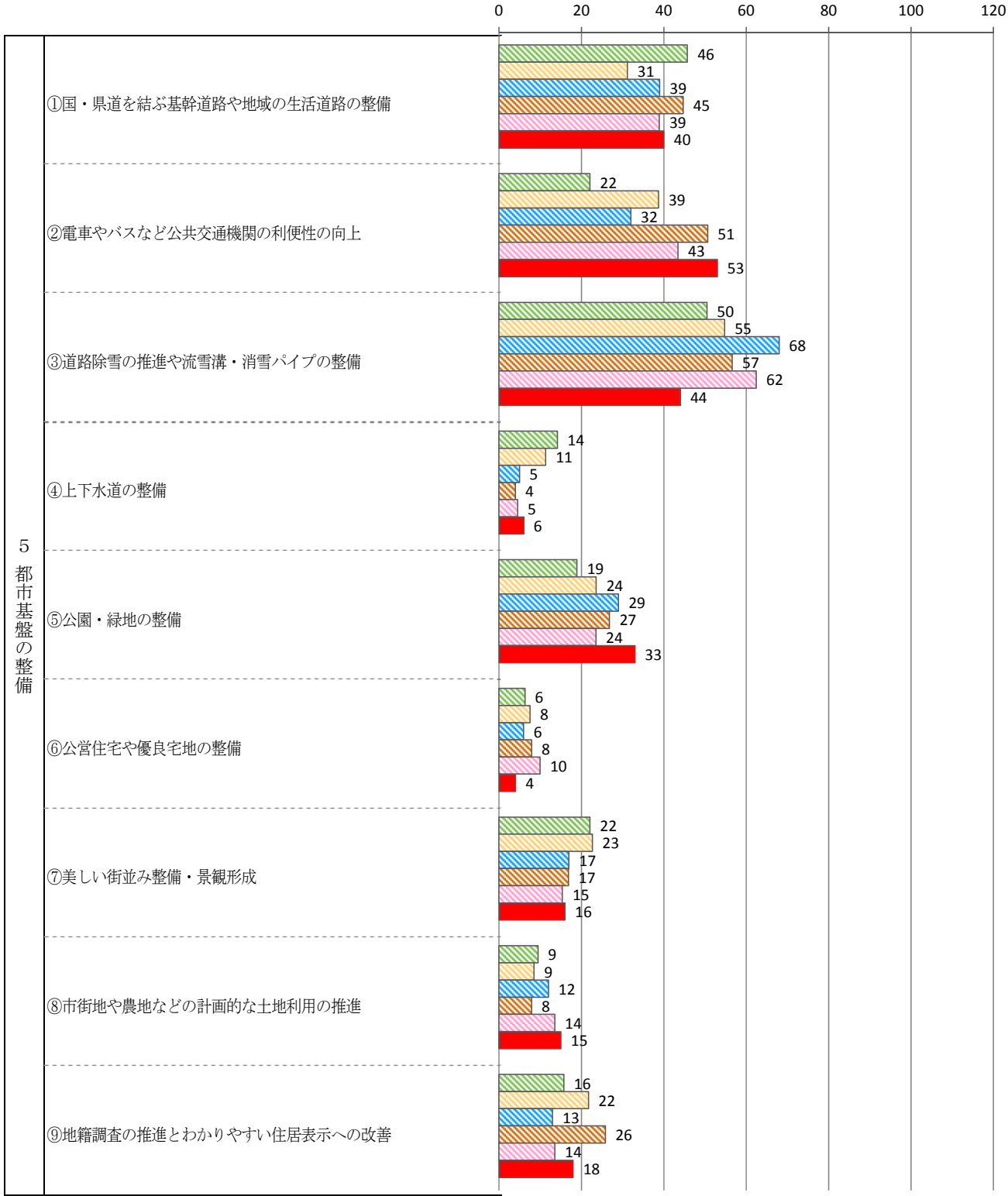




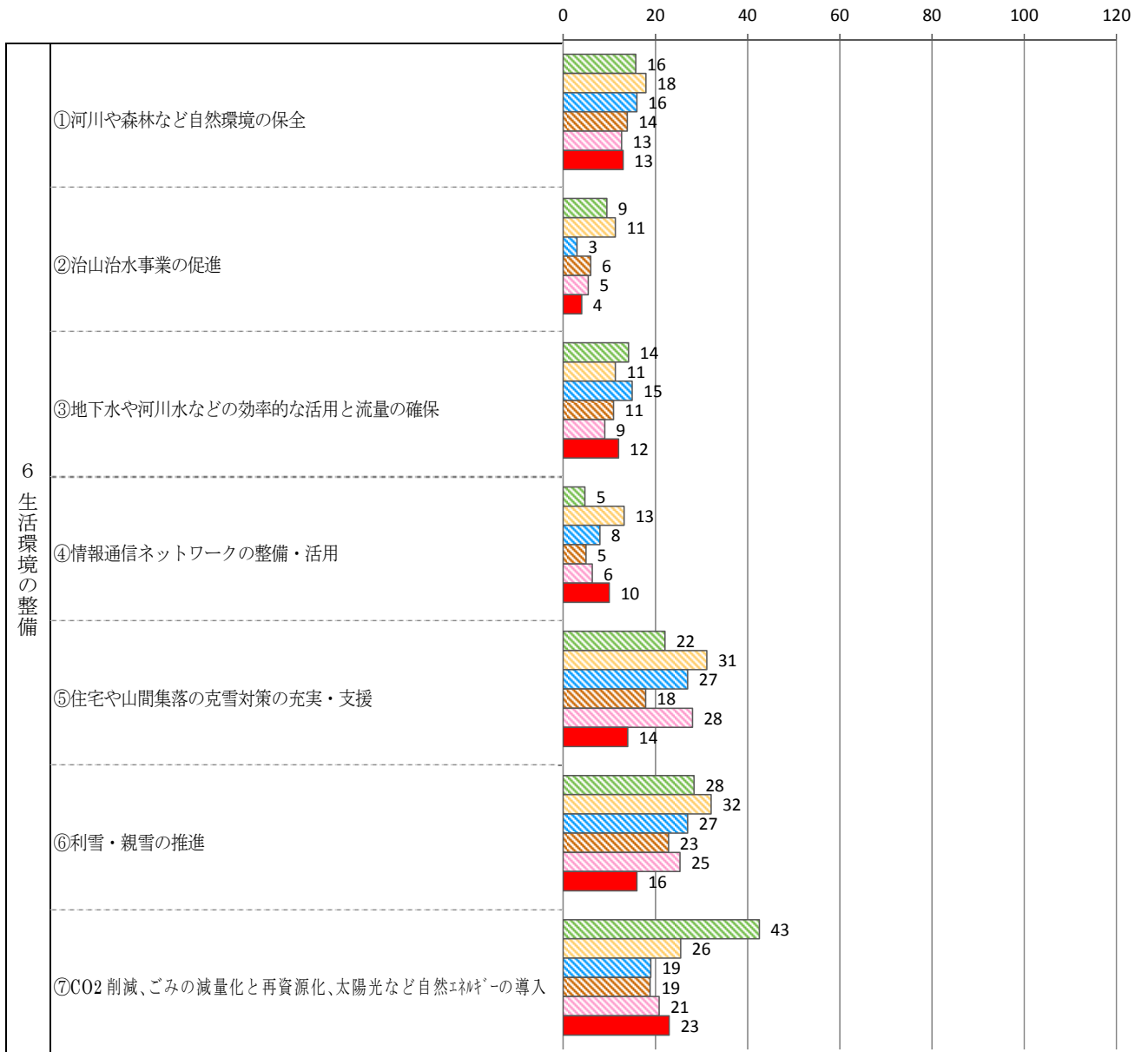
5. 中条・飛渡 6. 大井田 (中条)

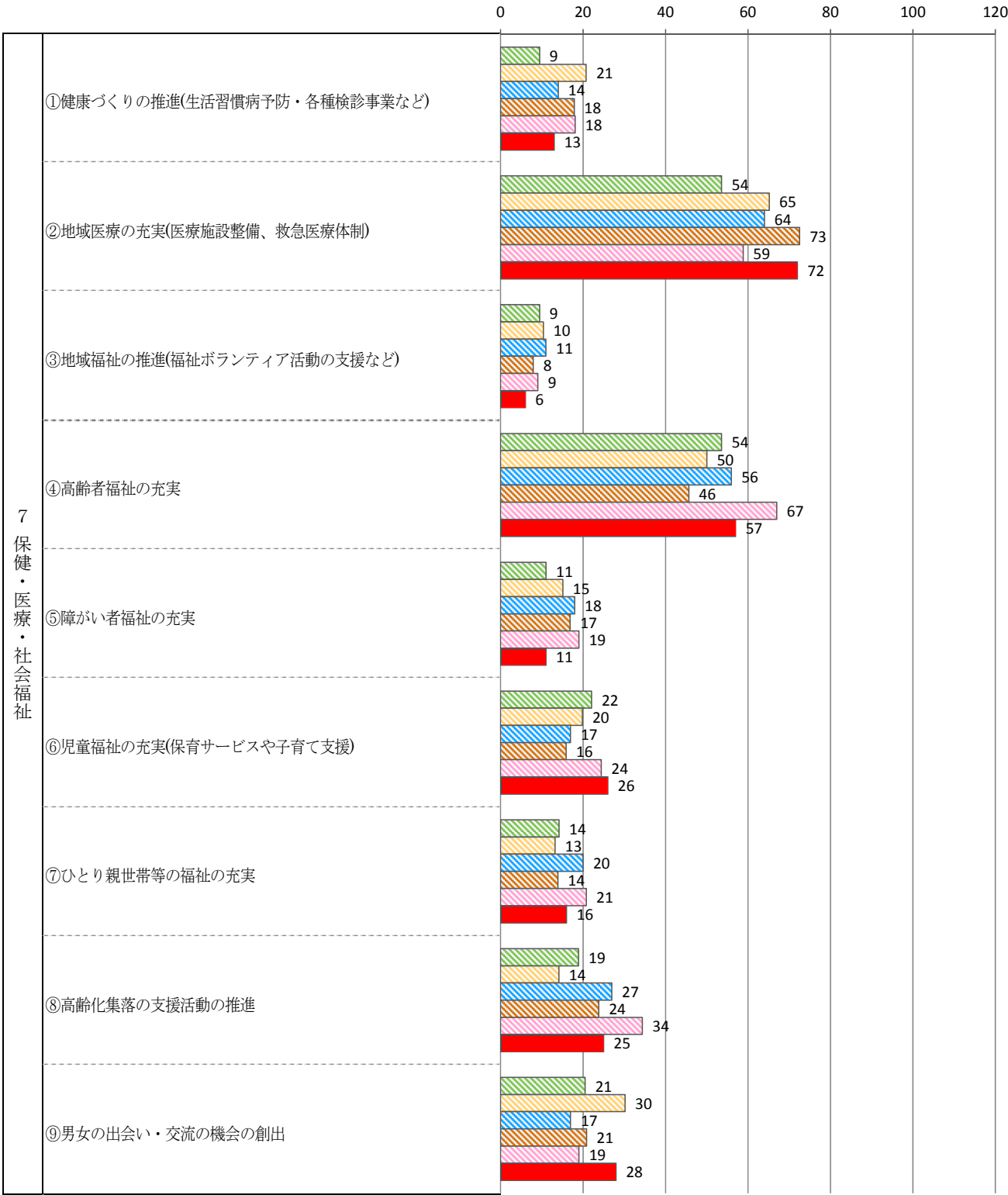
■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年



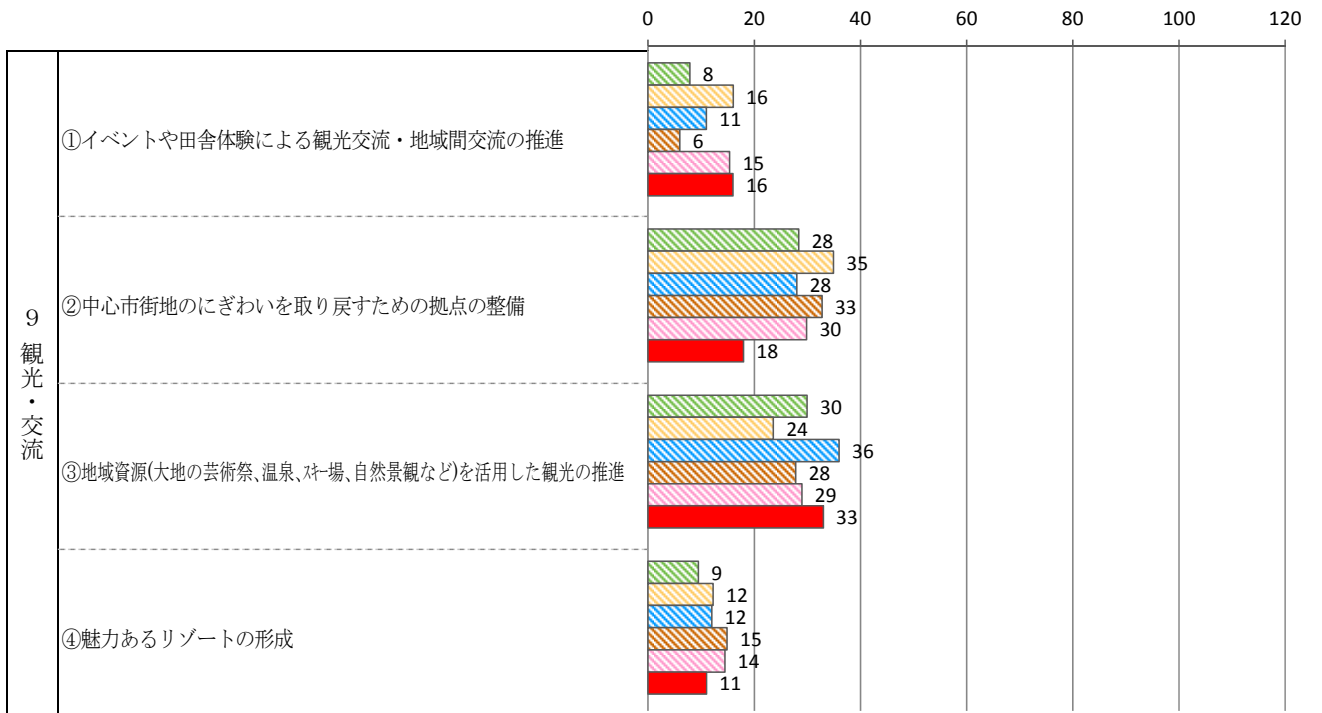
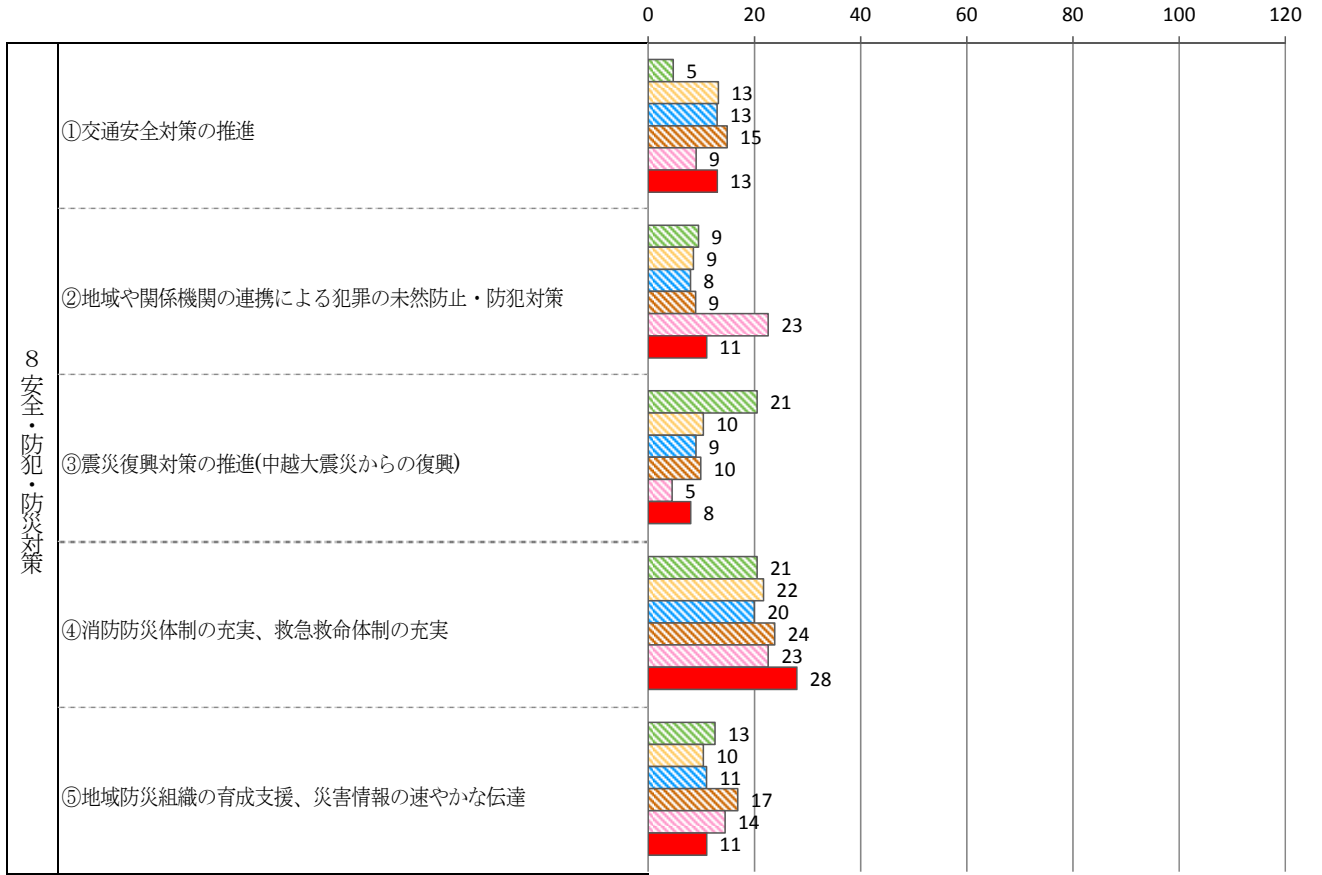


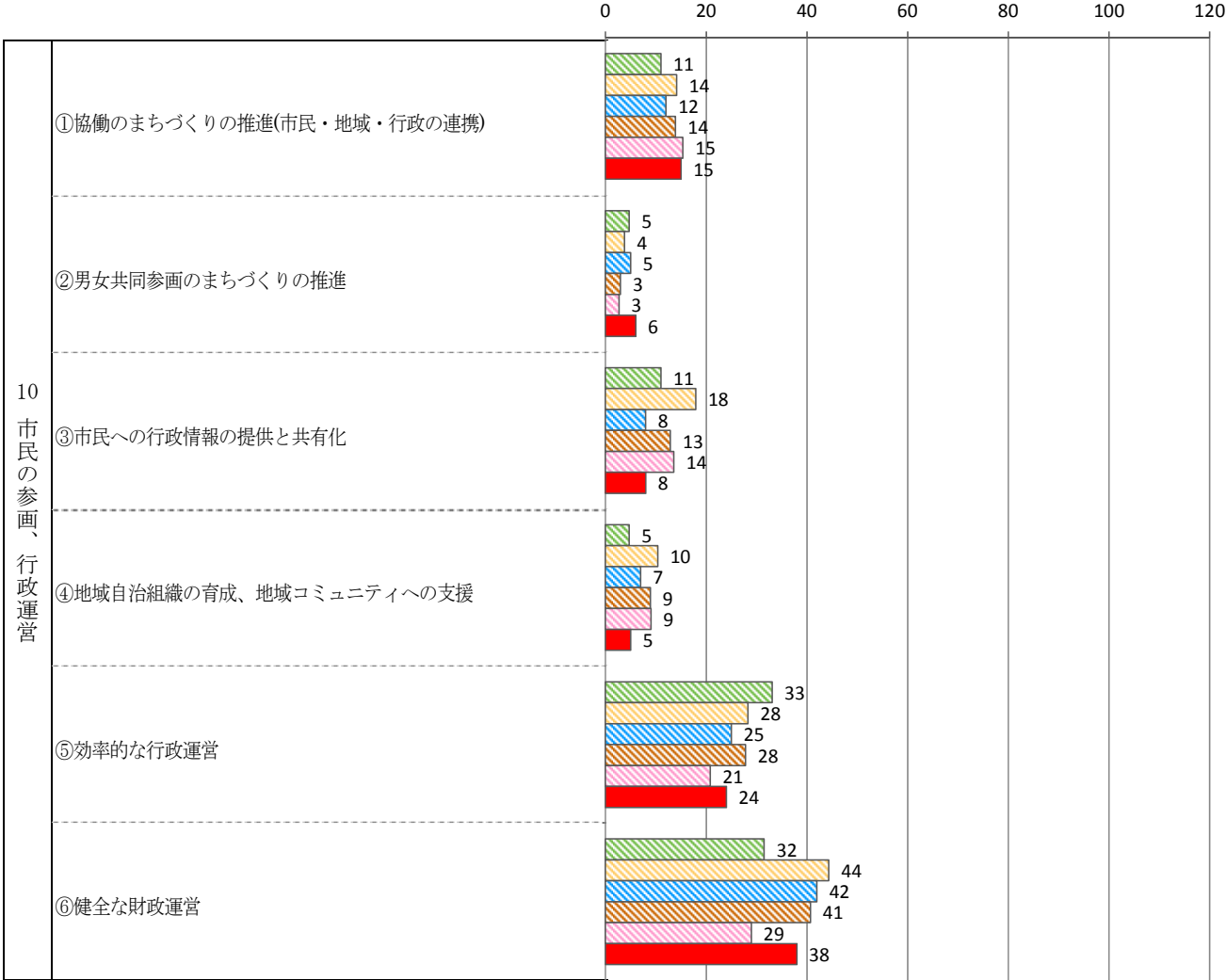
5. 中条・飛渡 6. 大井田 (中条)





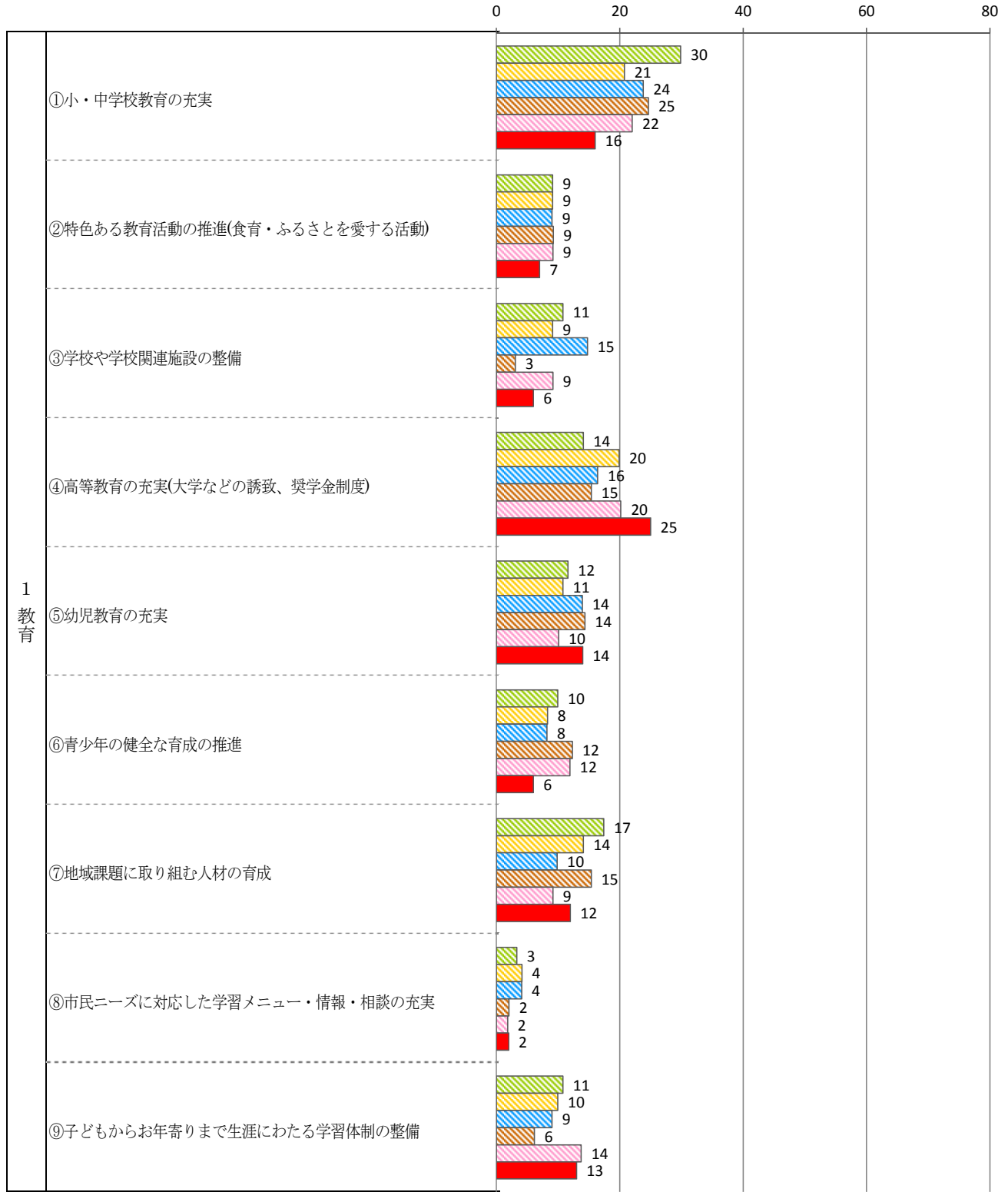
5. 中条・飛渡 6. 大井田 (中条)

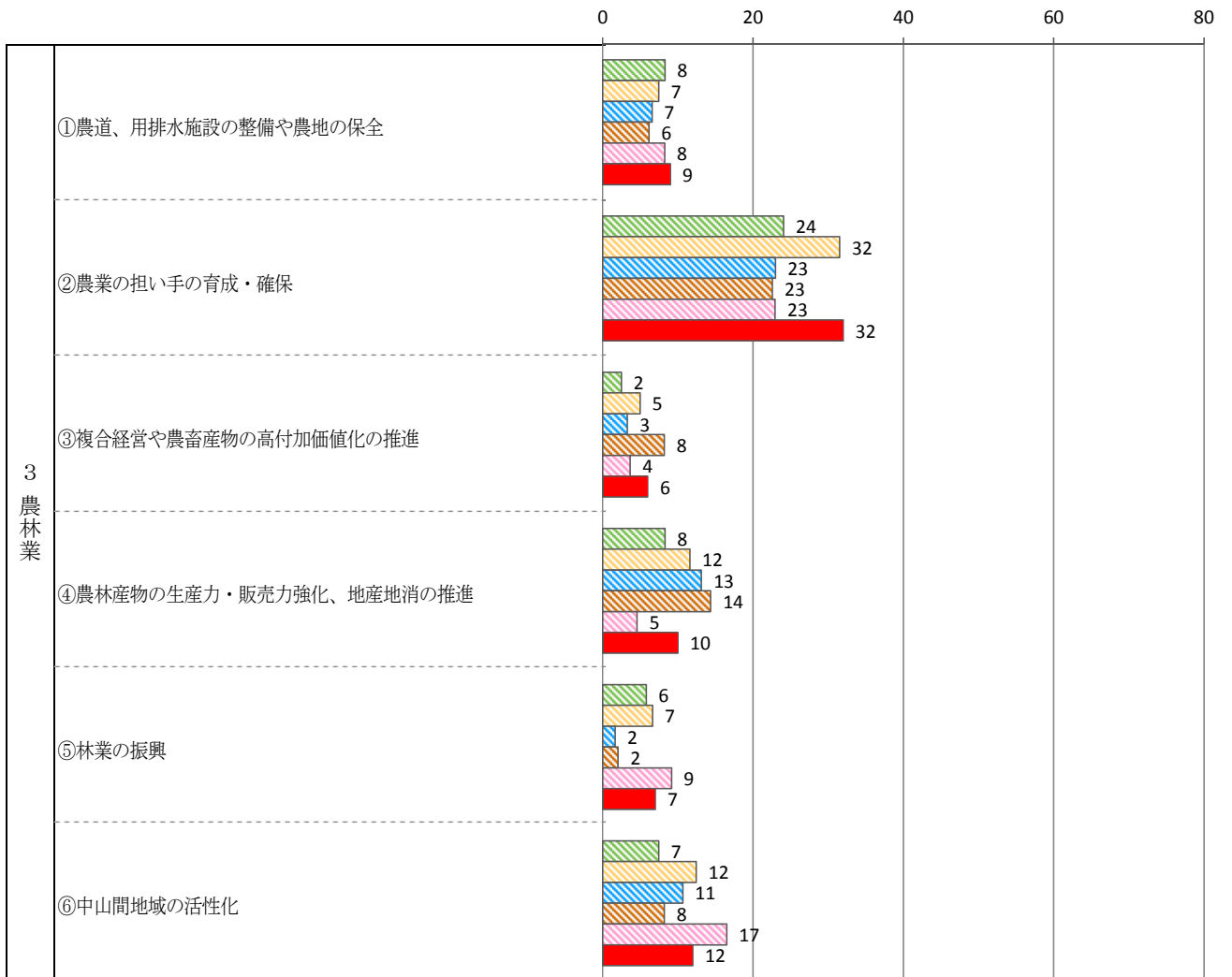
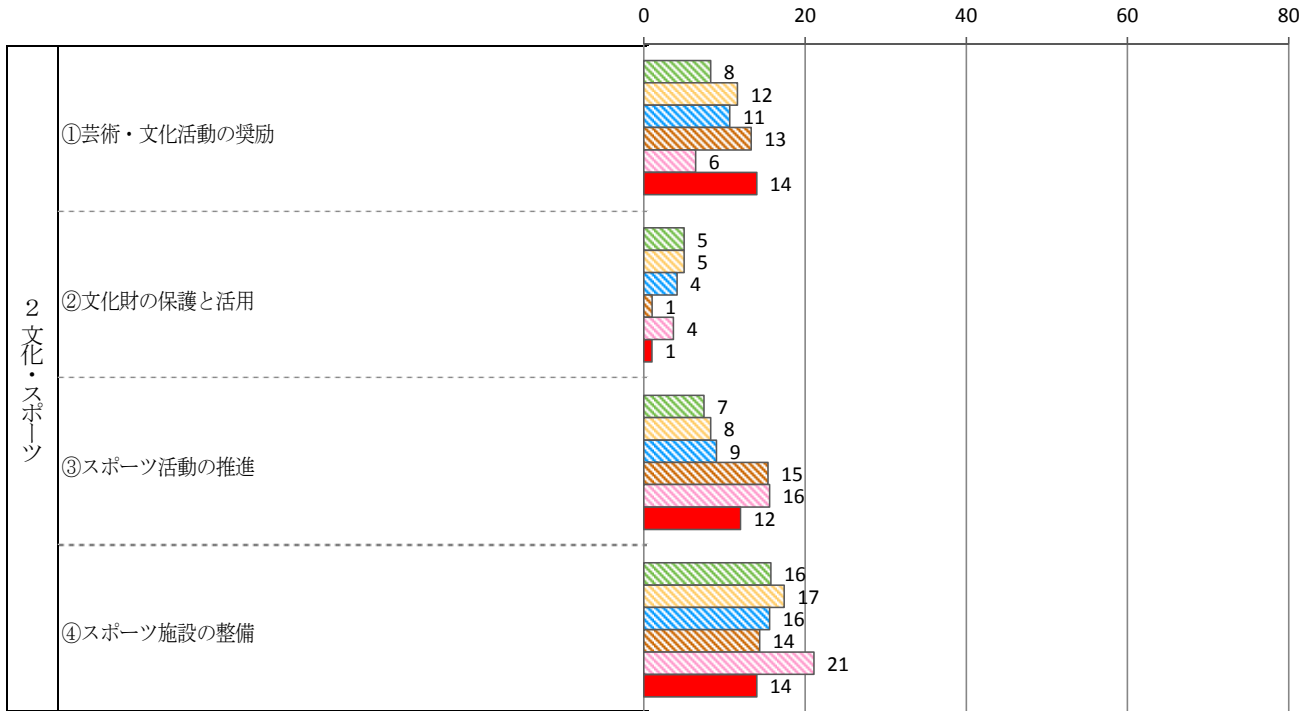




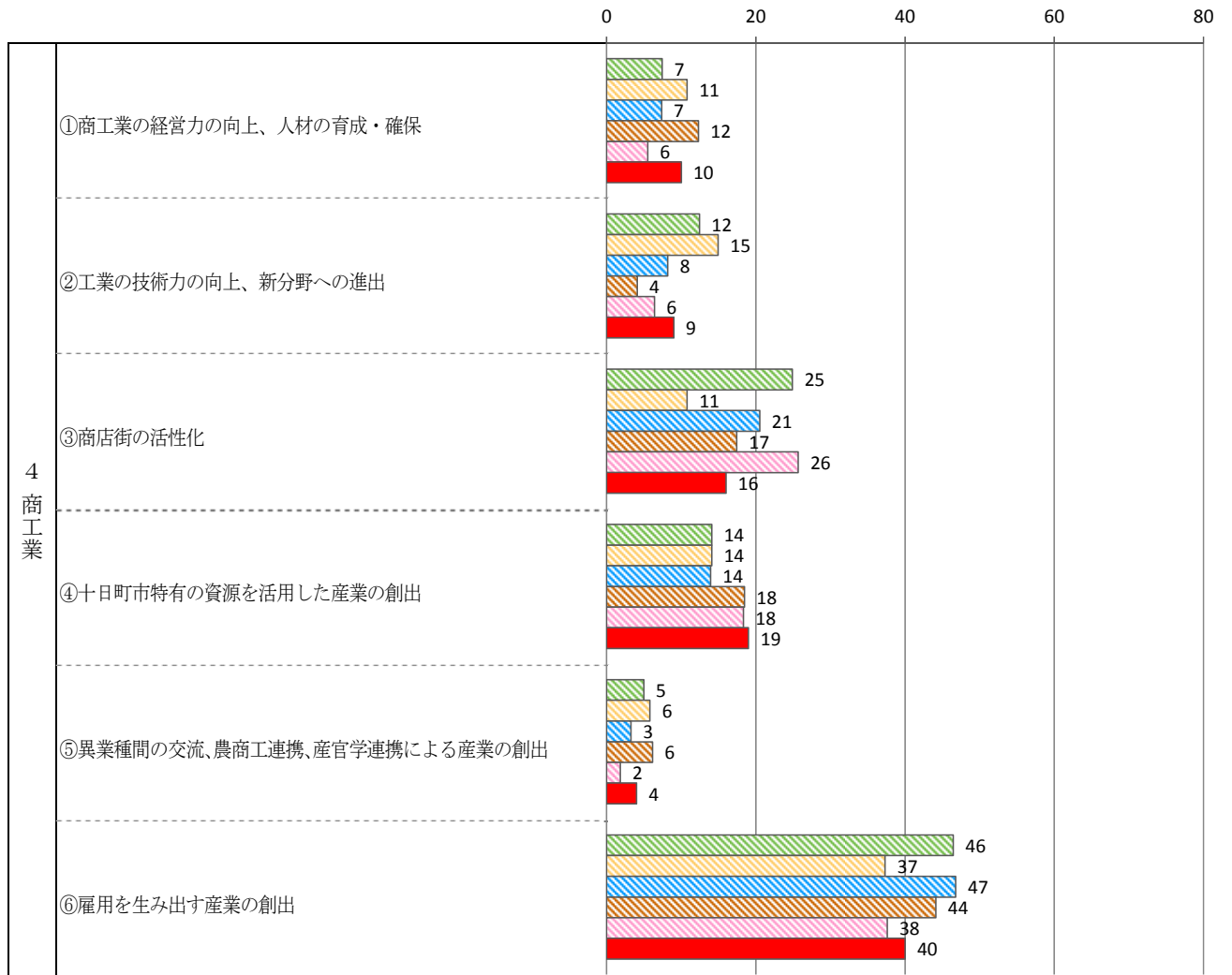
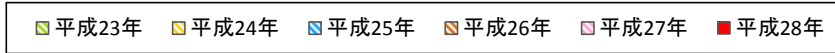
7. 下条

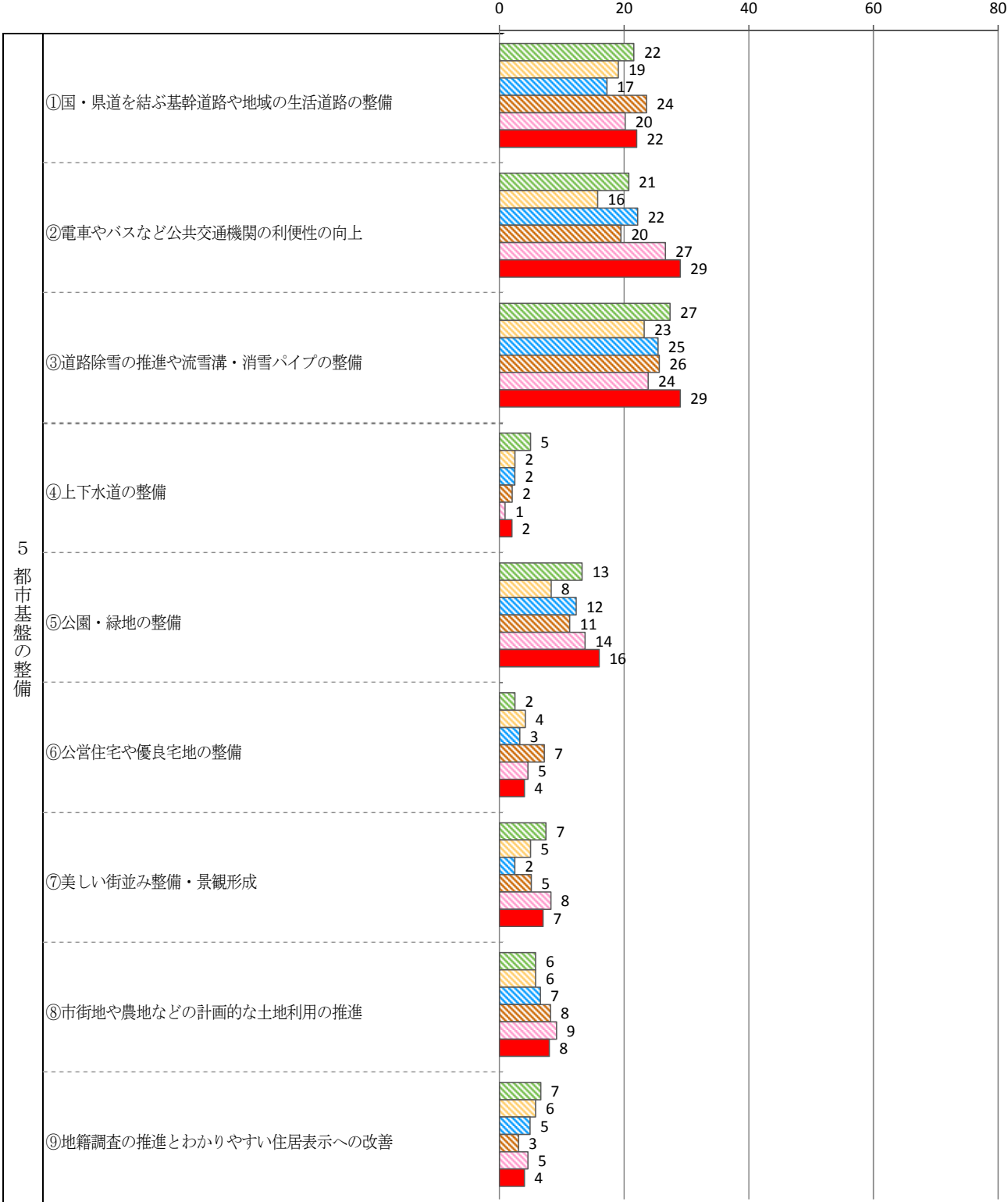
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	94	94	95	76	85	78
補正值	0.83	0.83	0.82	1.03	0.92	1.00



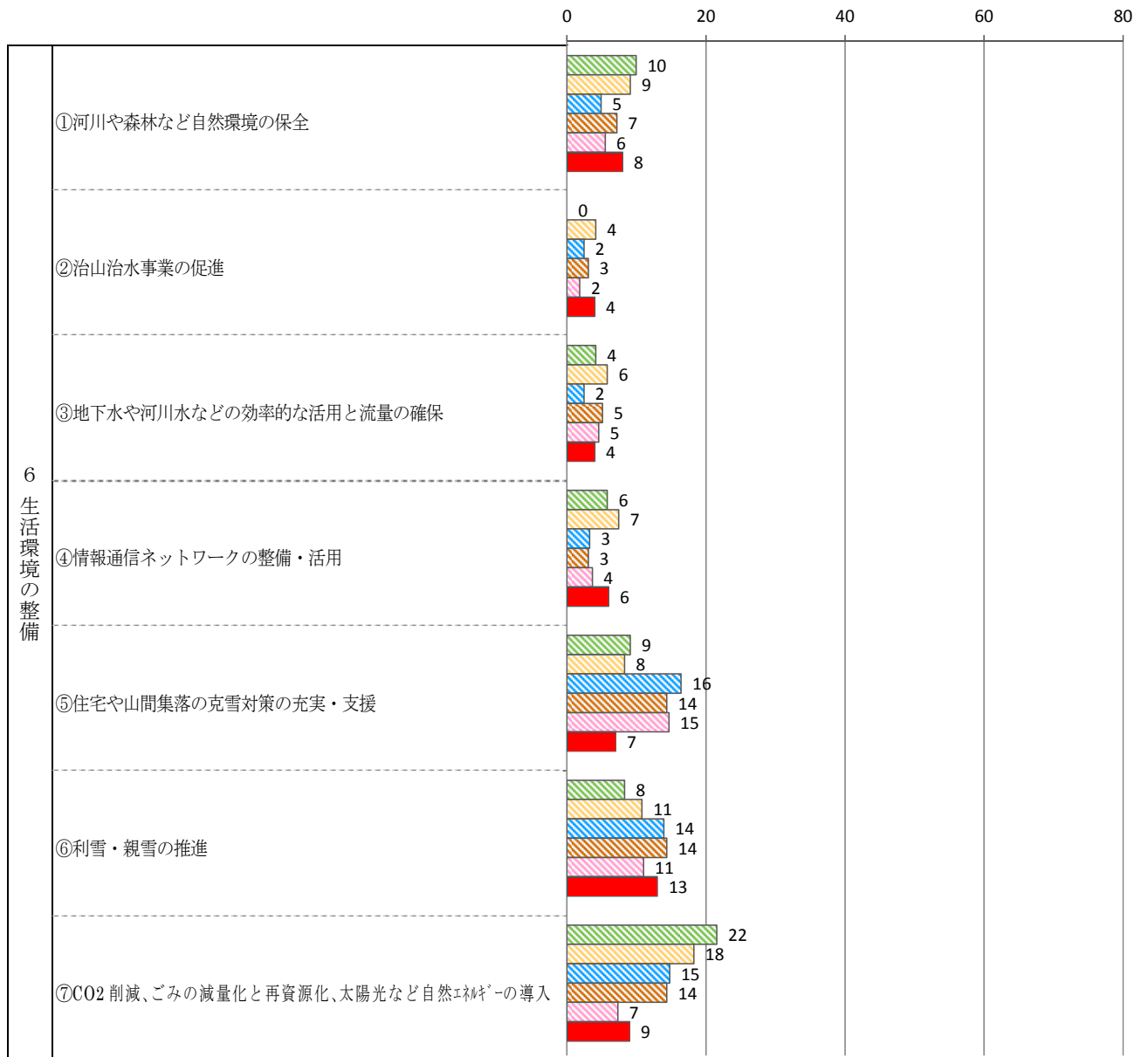
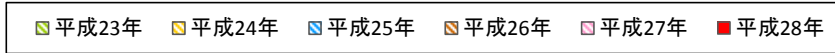


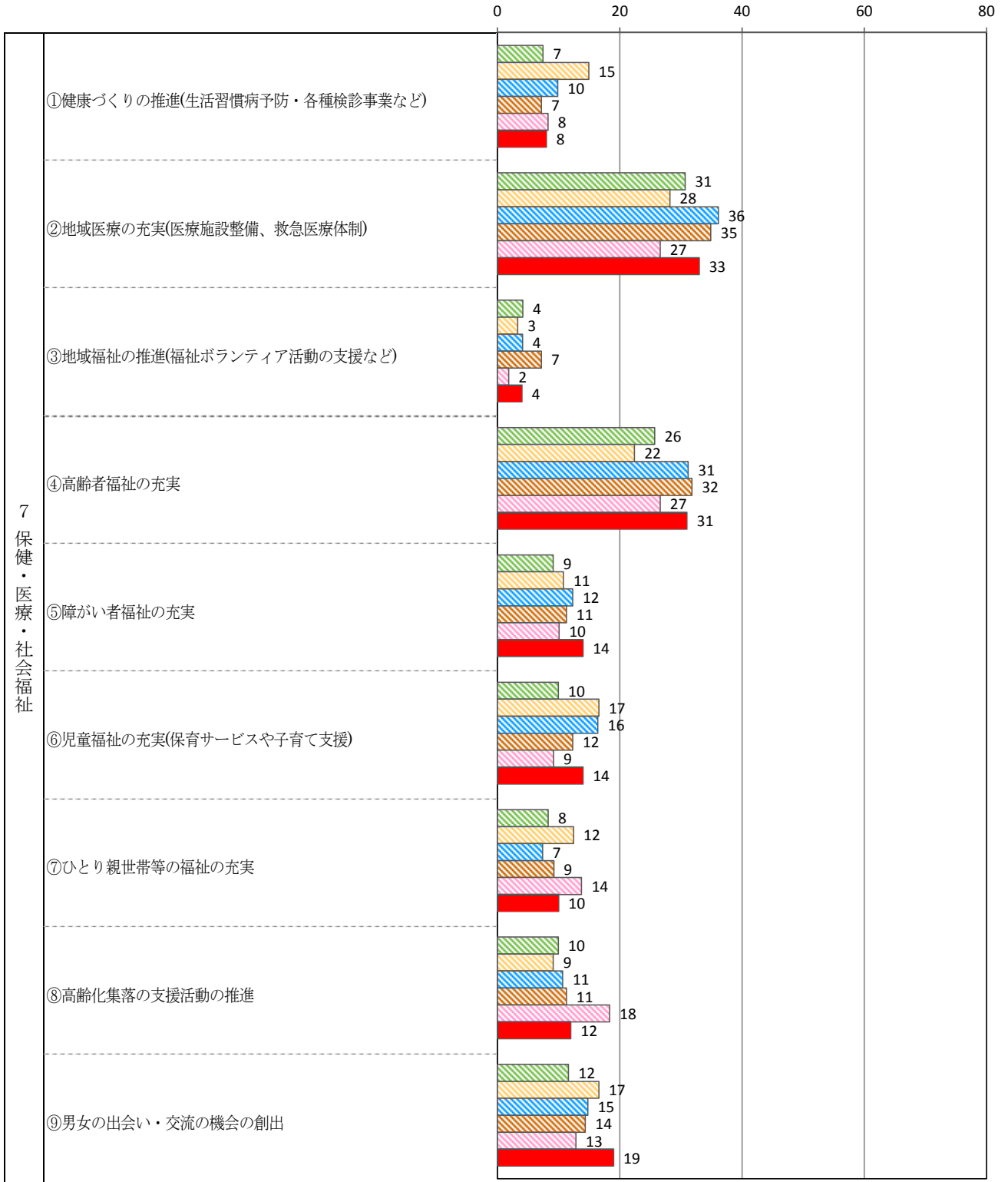
7. 下条



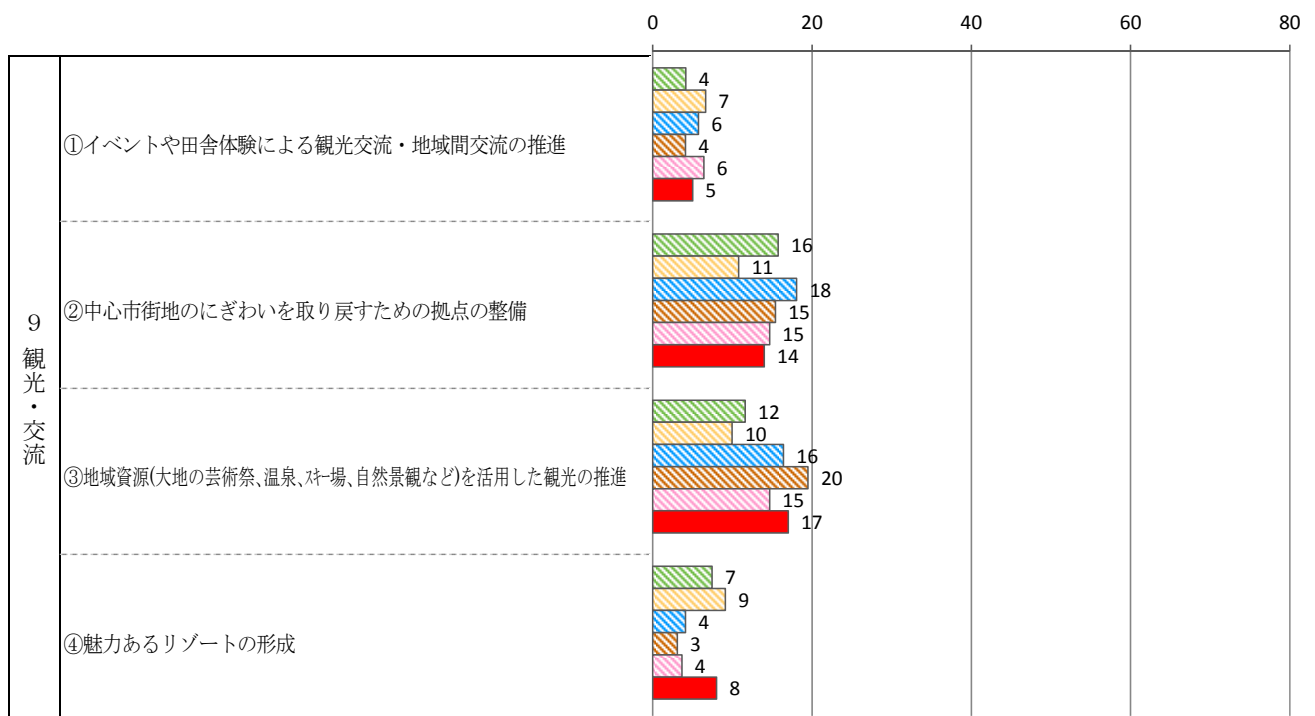
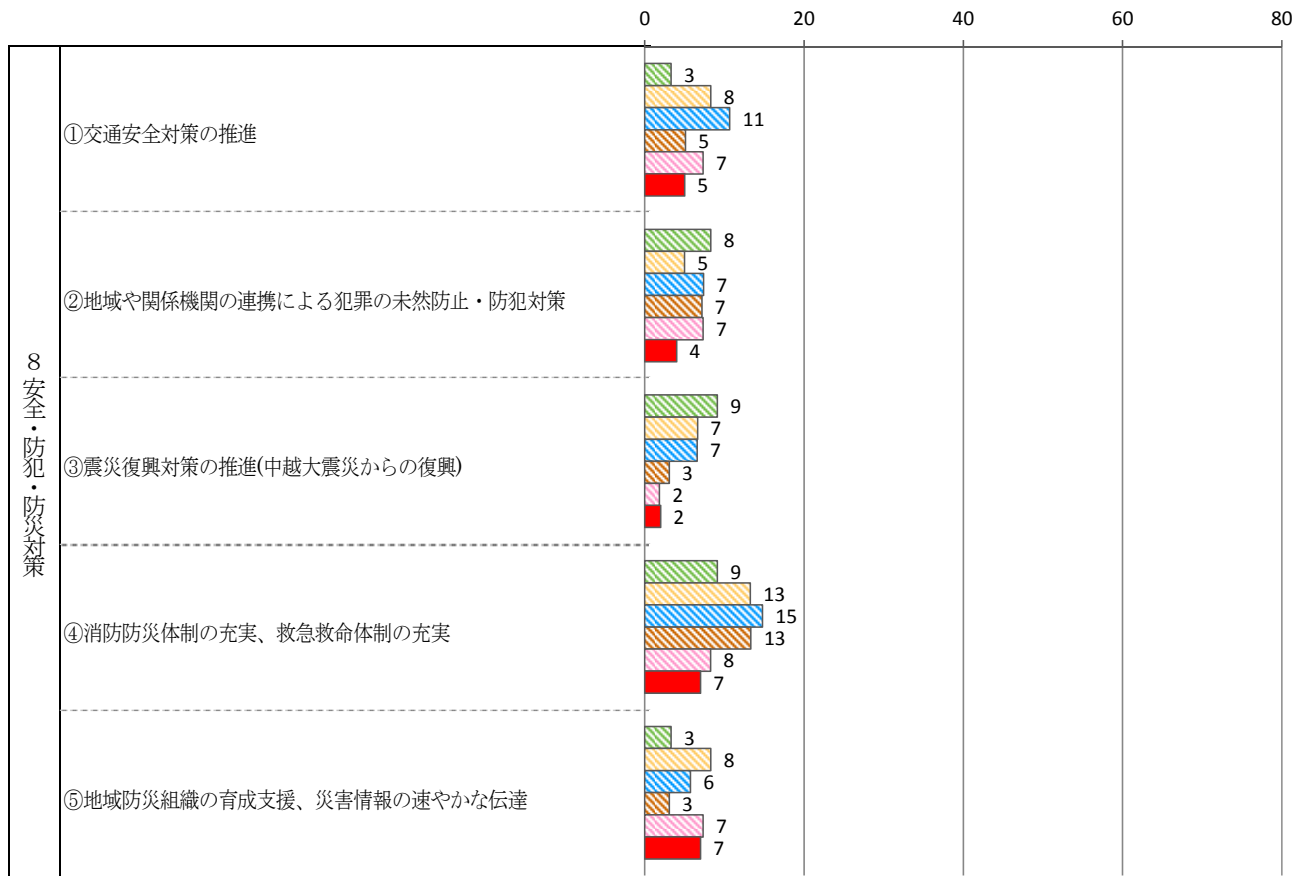
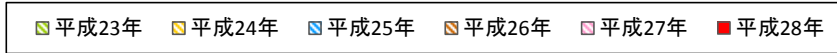


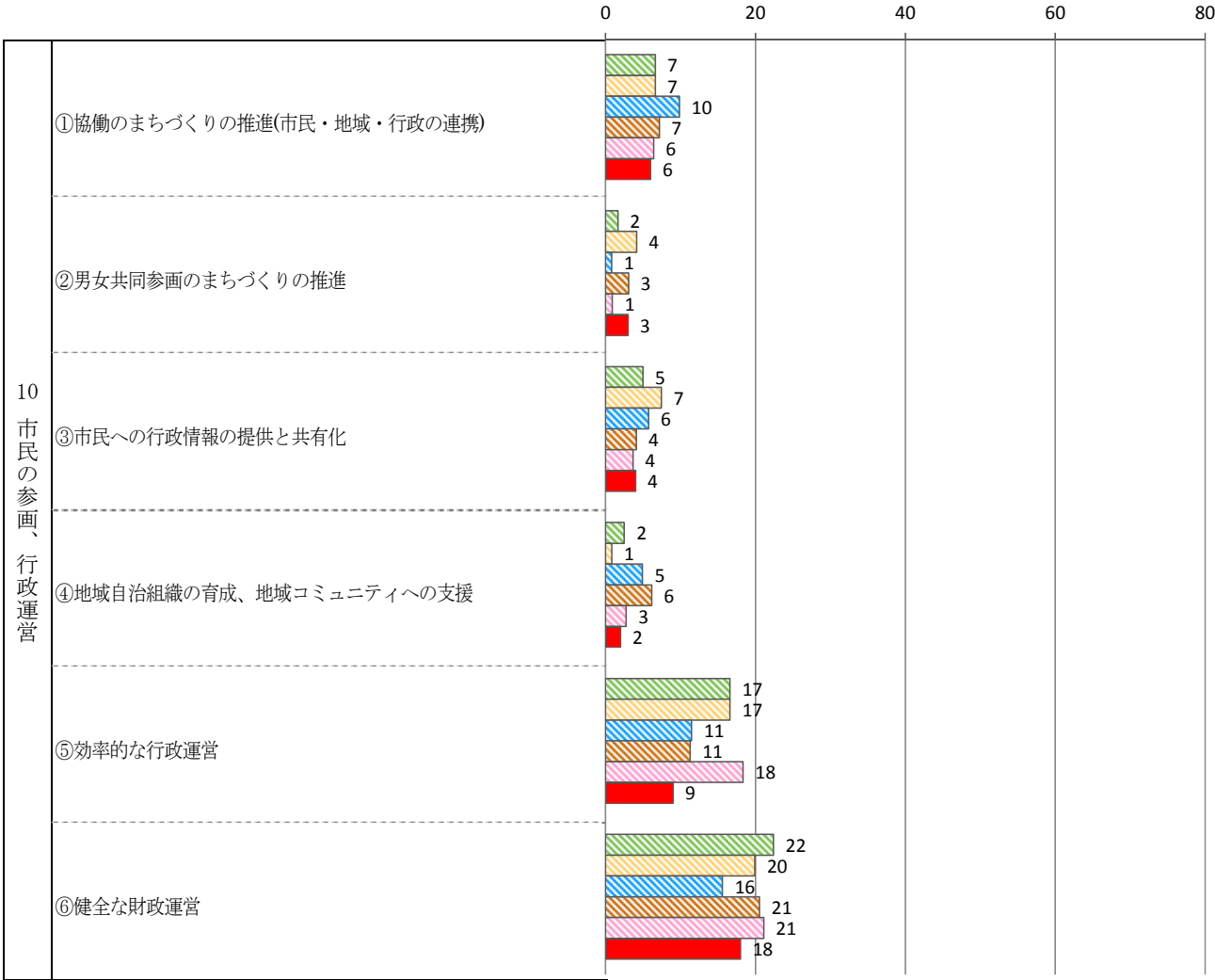
7. 下条





7. 下条

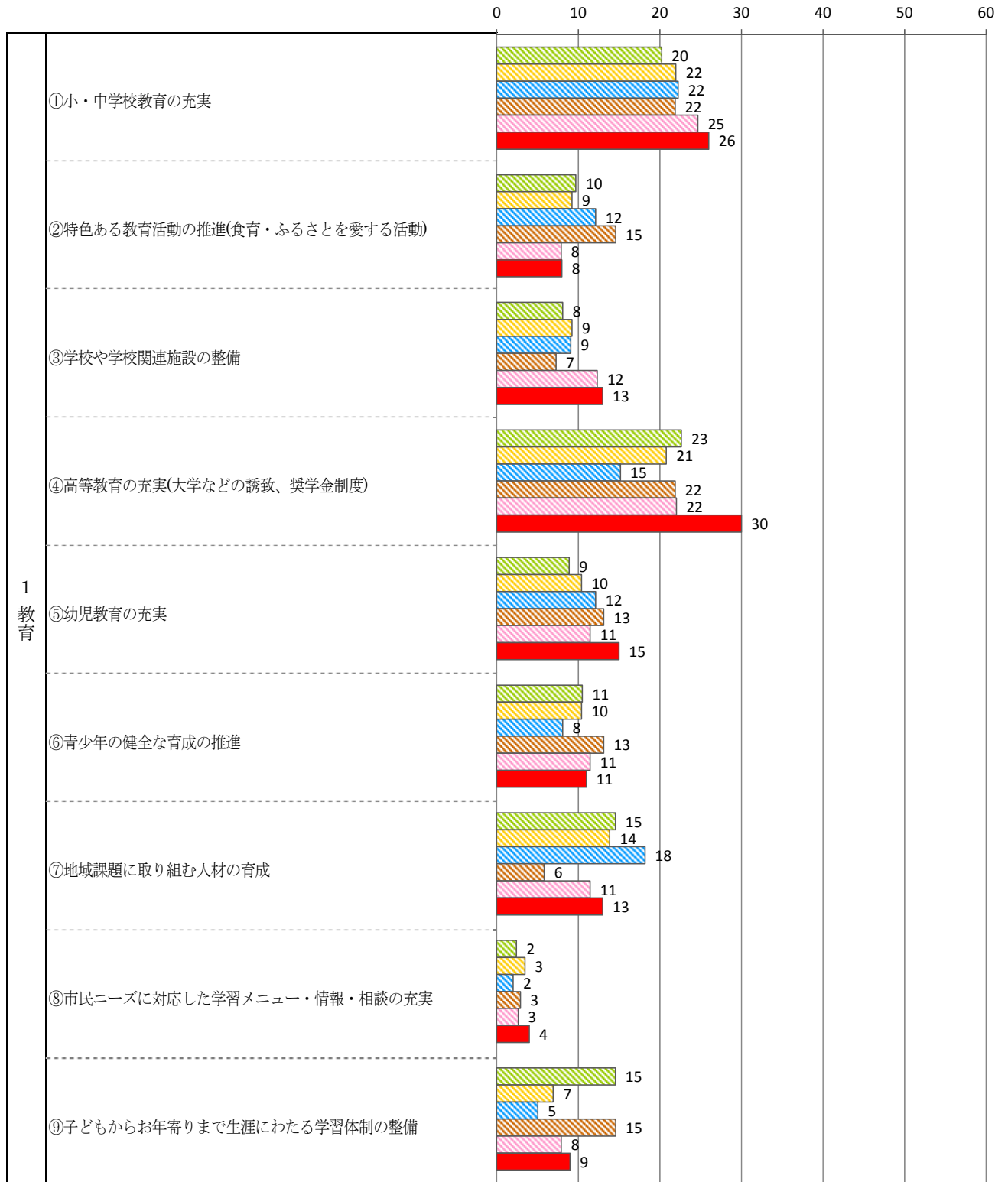


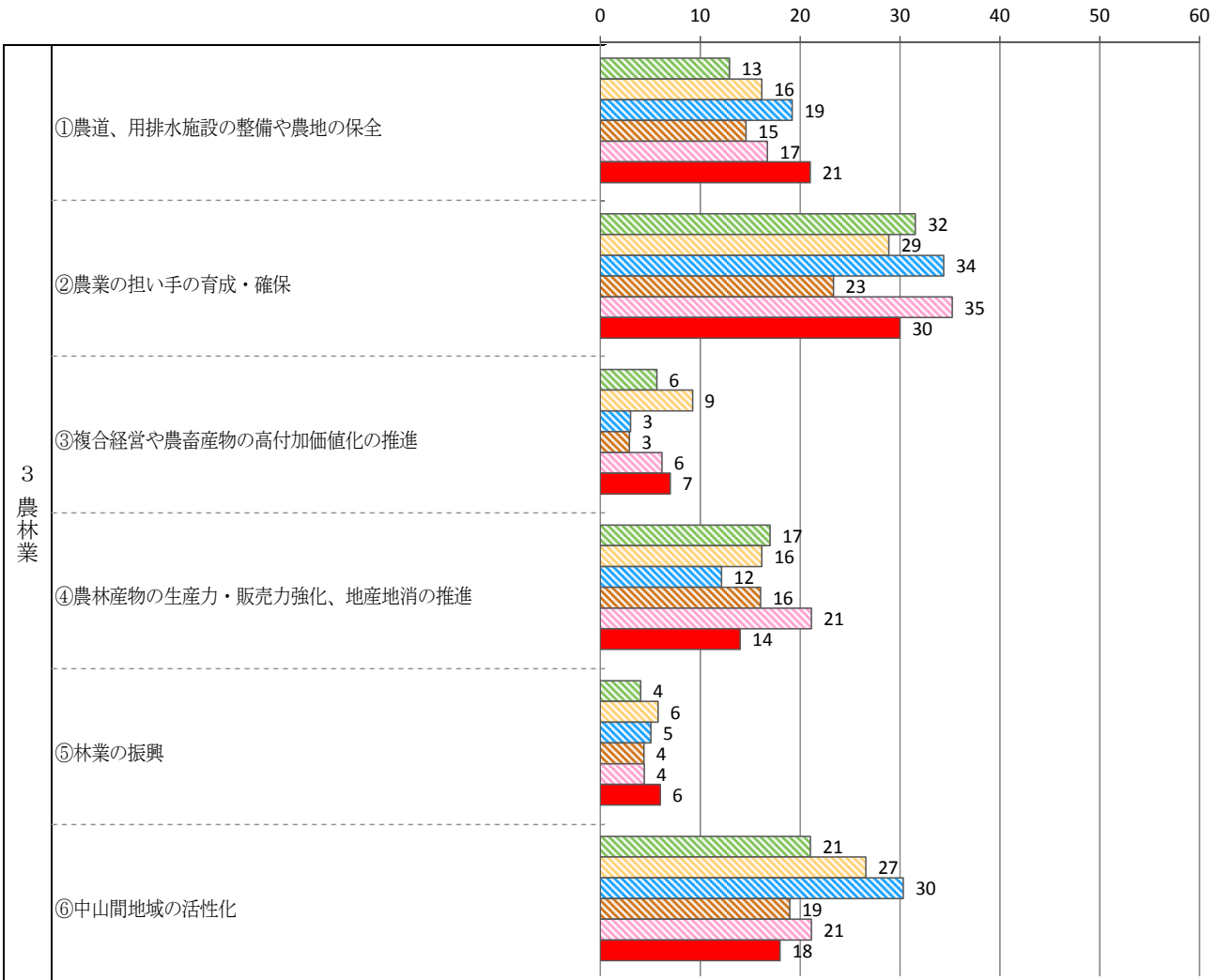
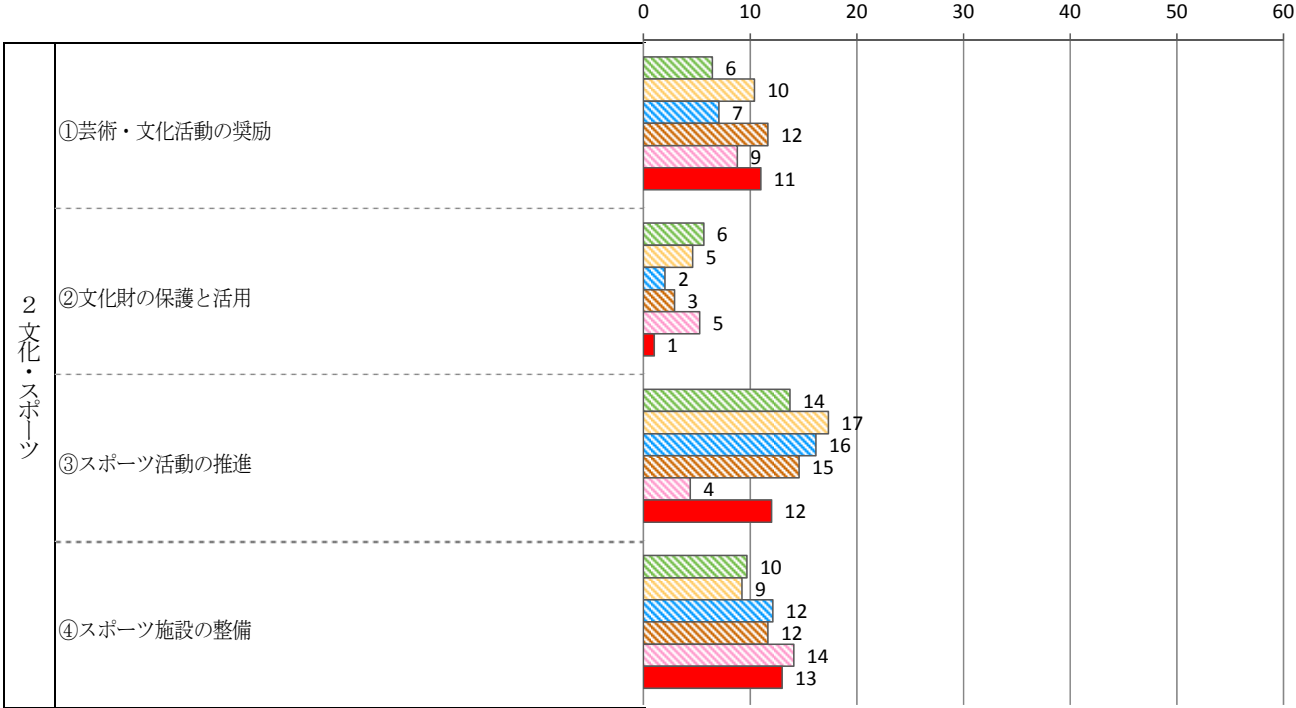


8. 吉田

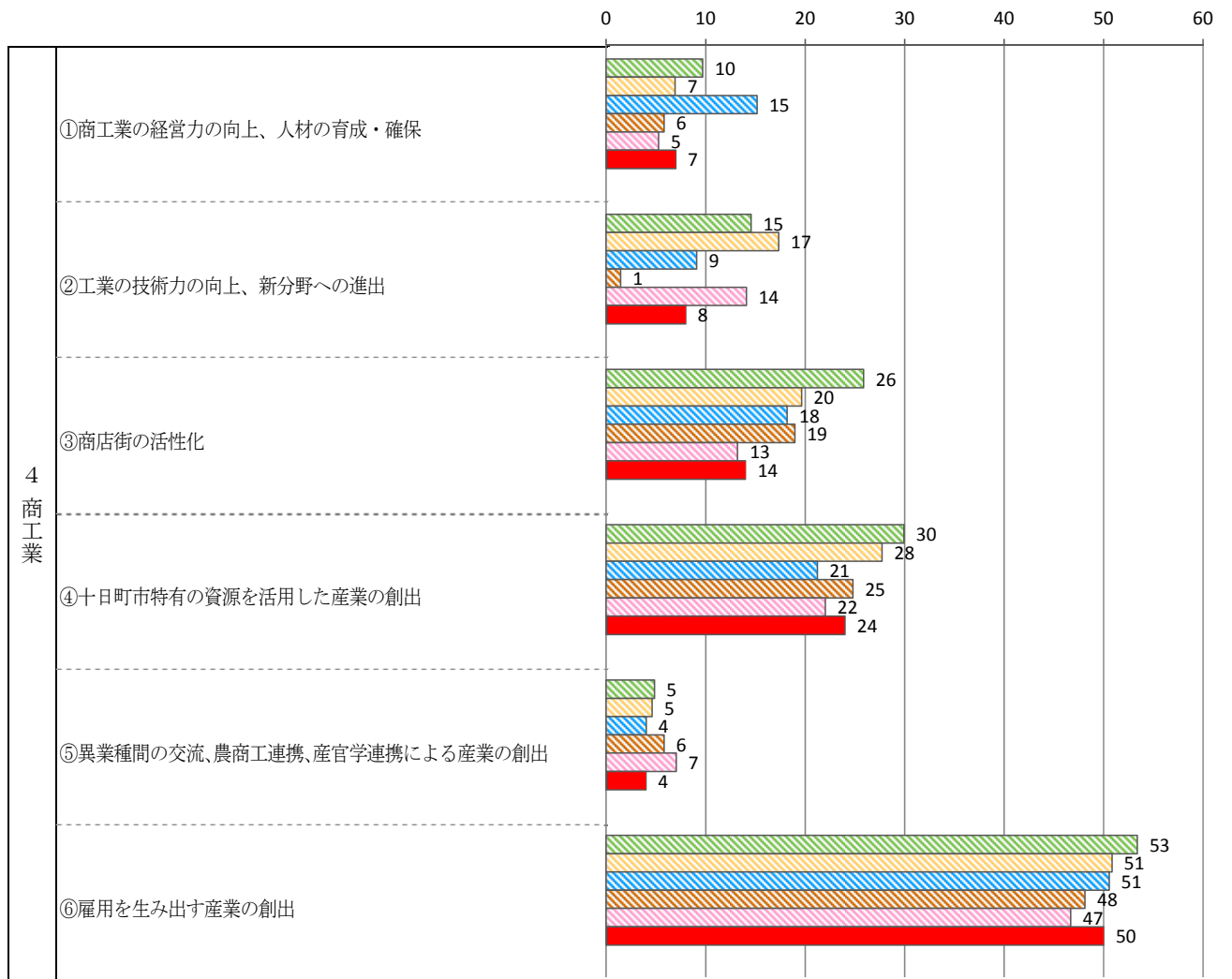
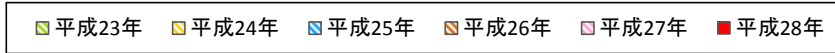
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	110	77	88	61	101	89
補正值	0.81	1.16	1.01	1.46	0.88	1.00

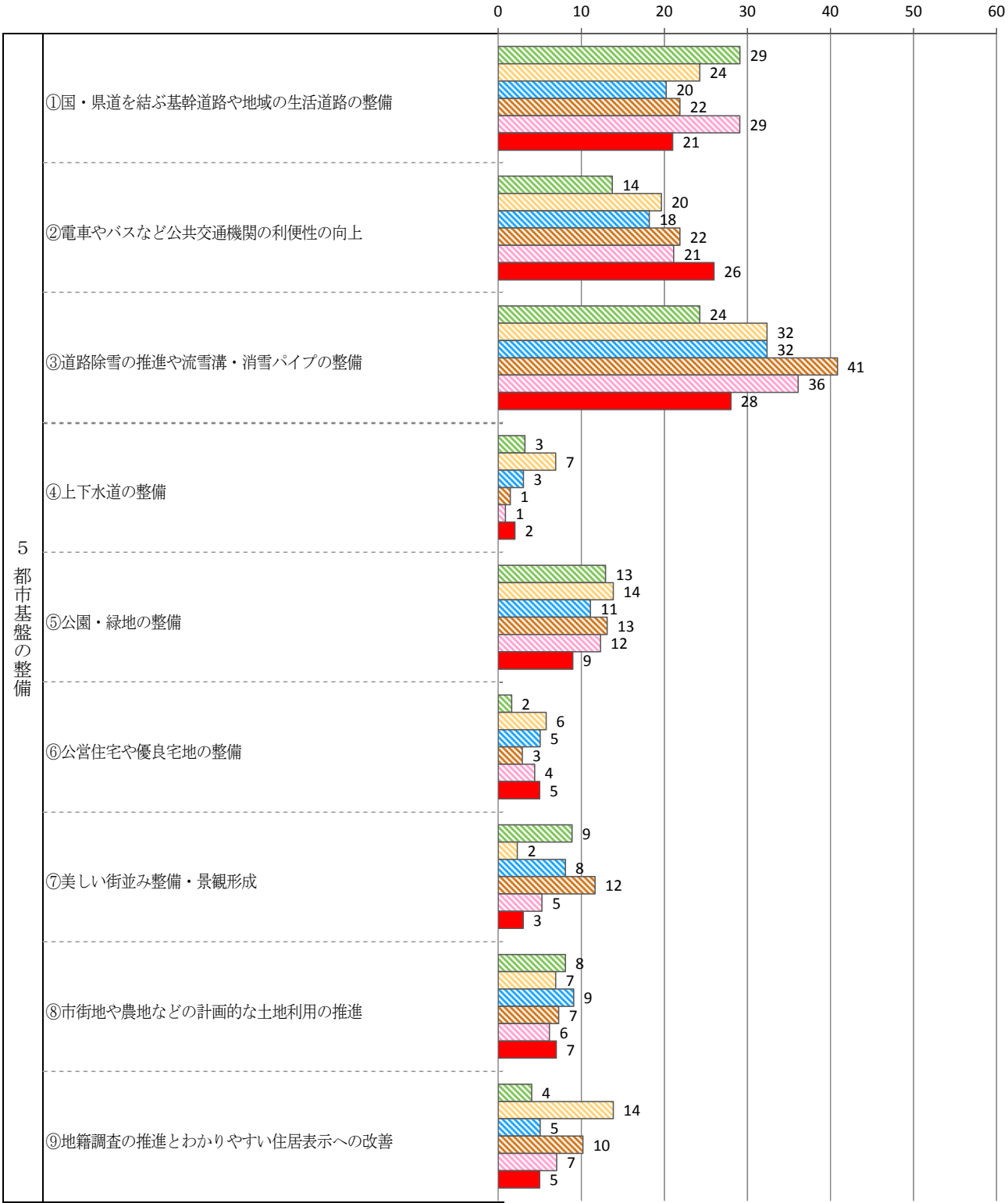
■ 平成23年
 ■ 平成24年
 ■ 平成25年
 ■ 平成26年
 ■ 平成27年
 ■ 平成28年



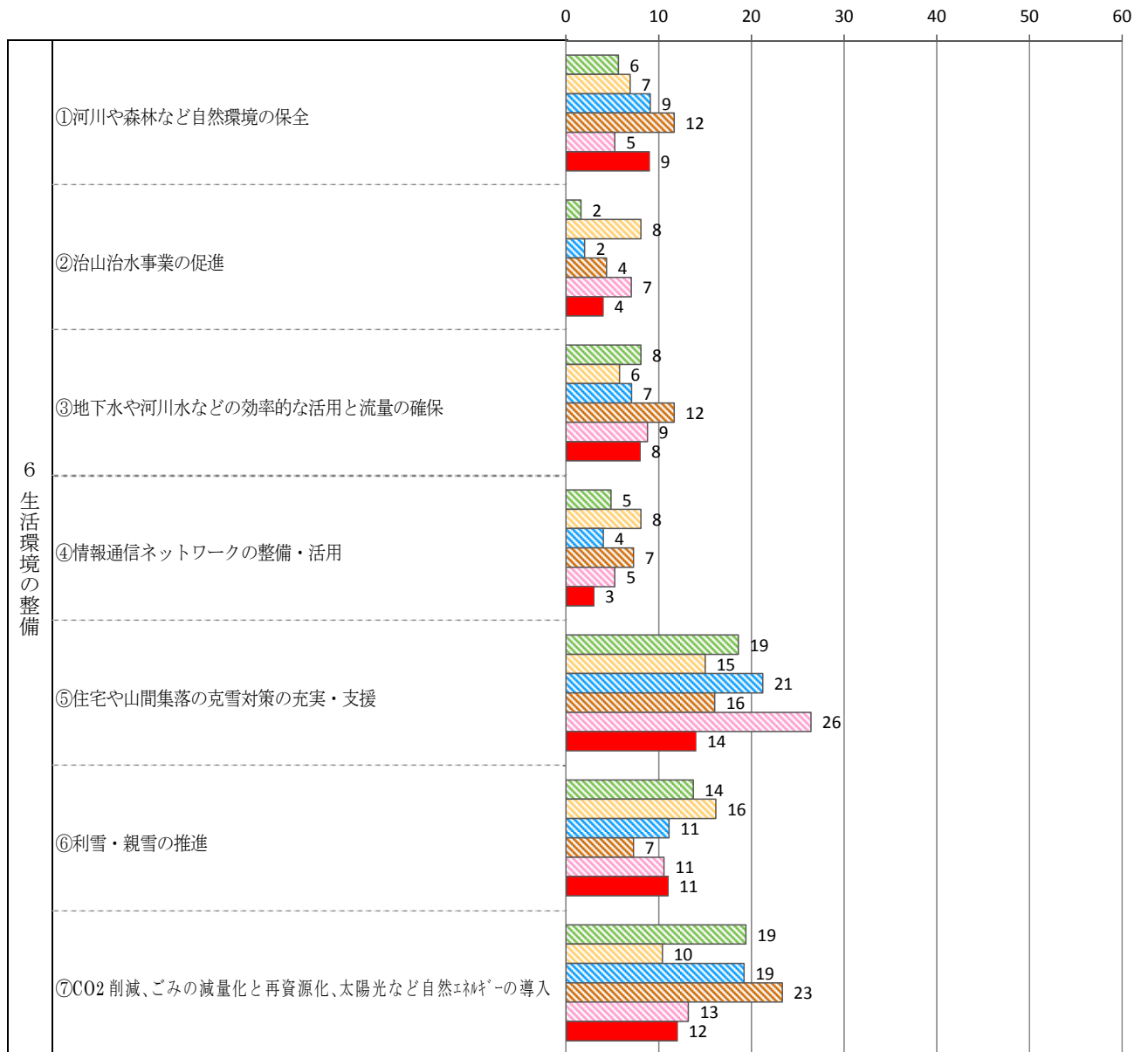


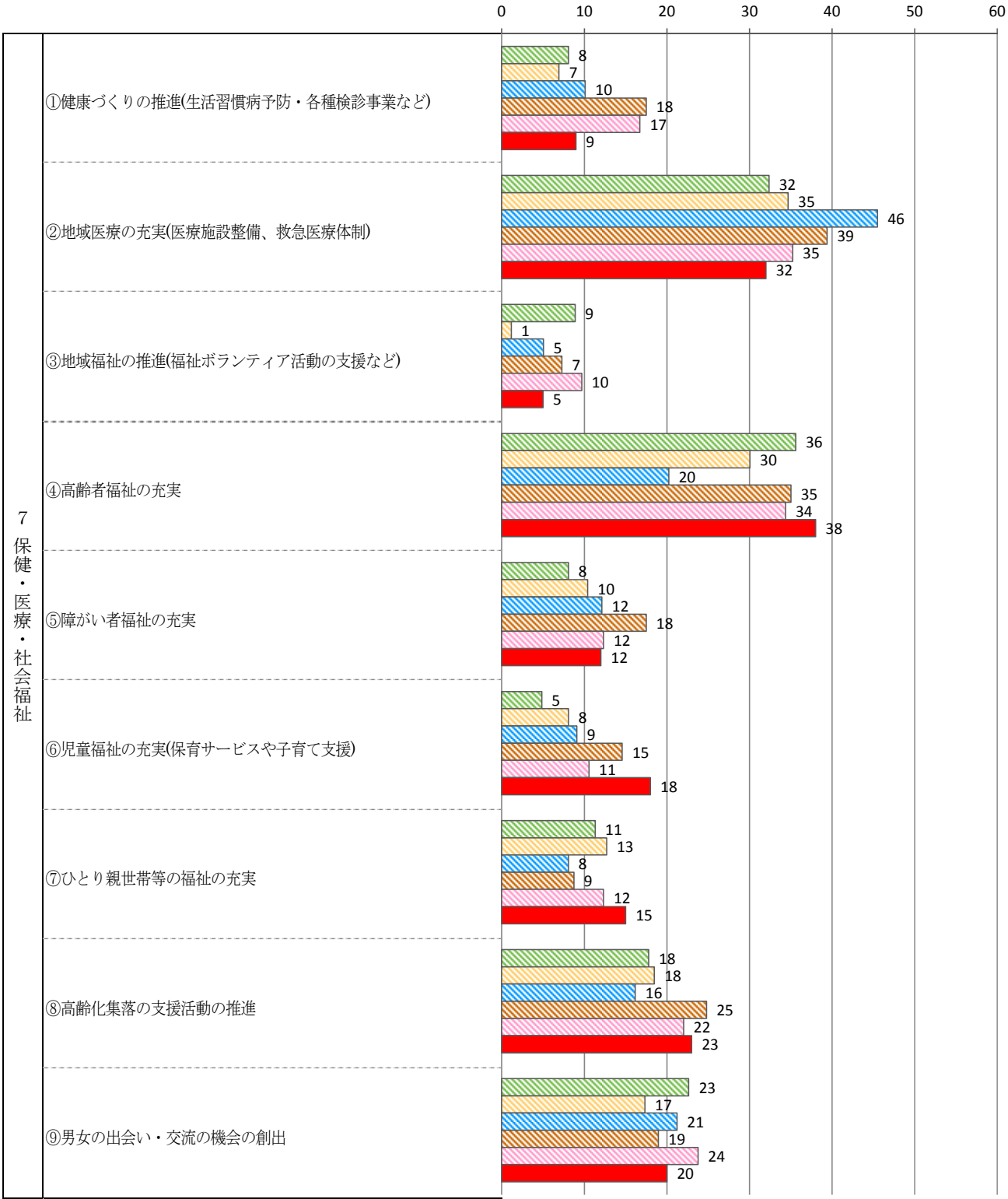
8. 吉田



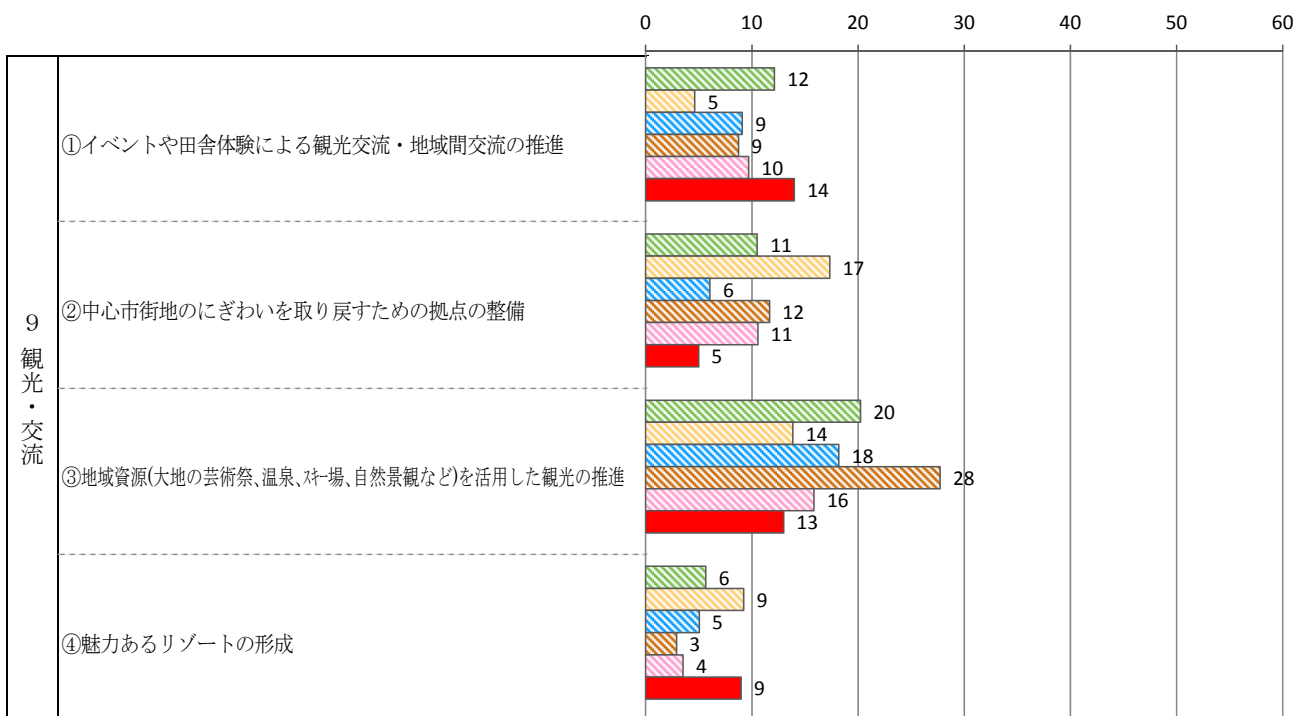
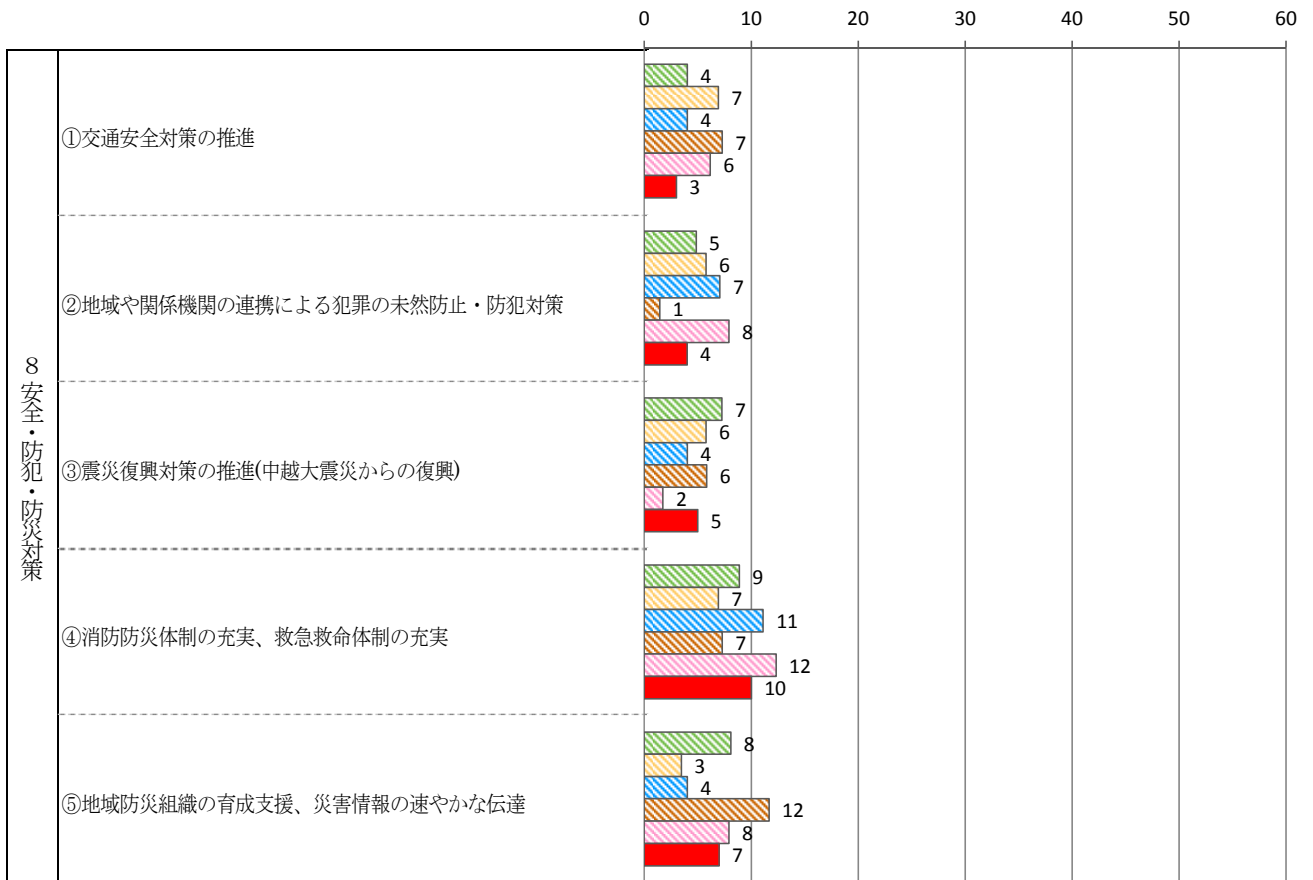


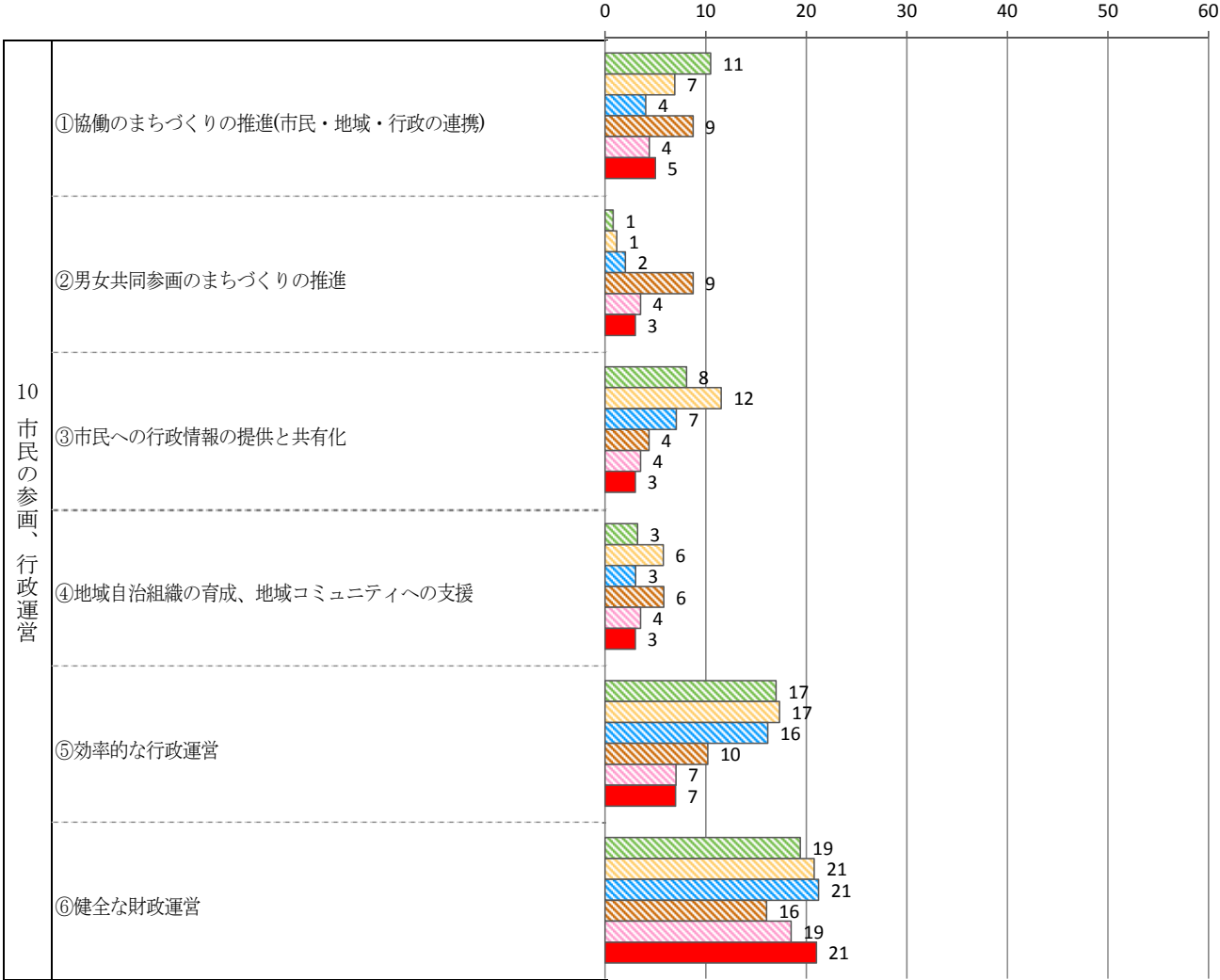
8. 吉田





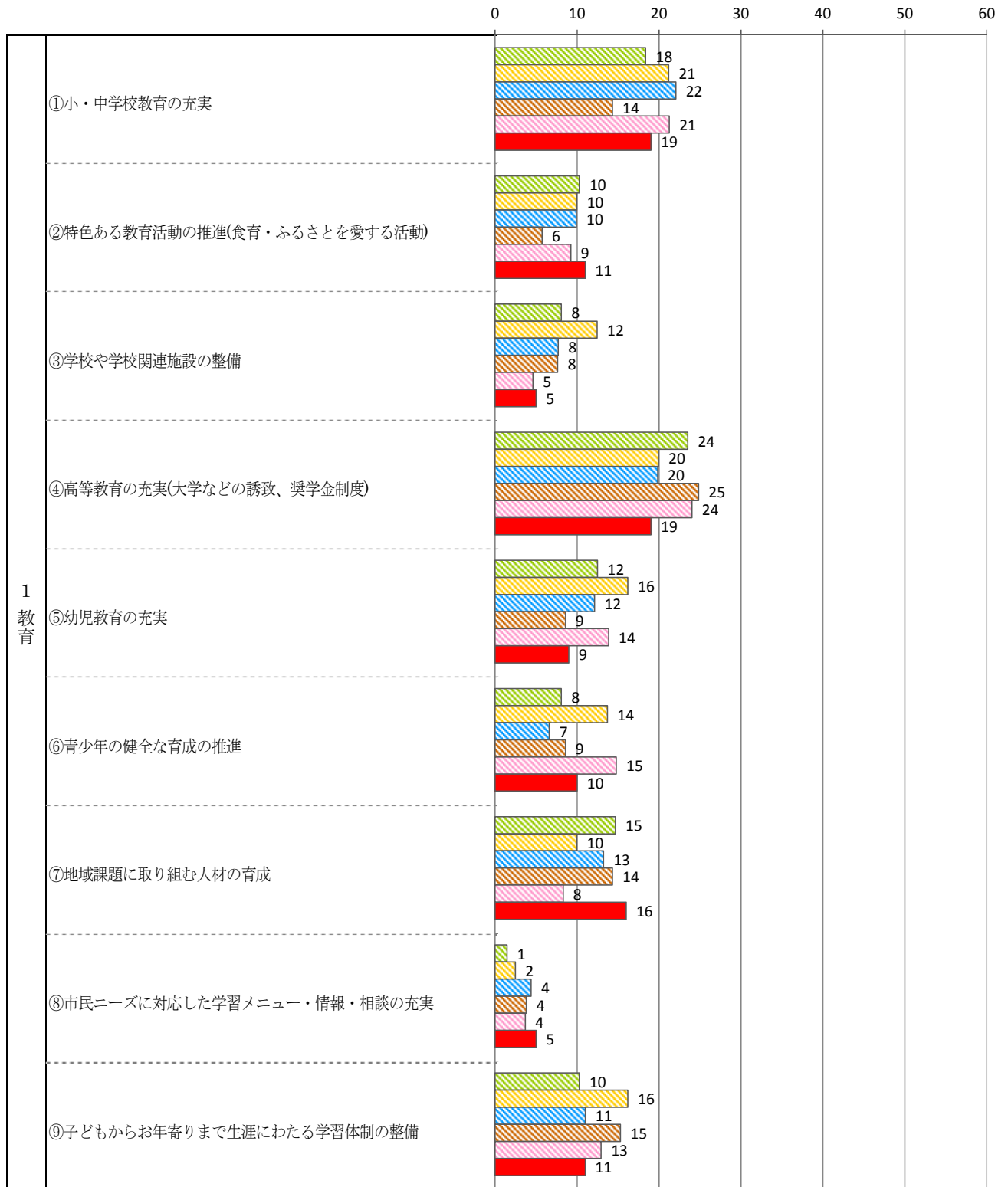
8. 吉田

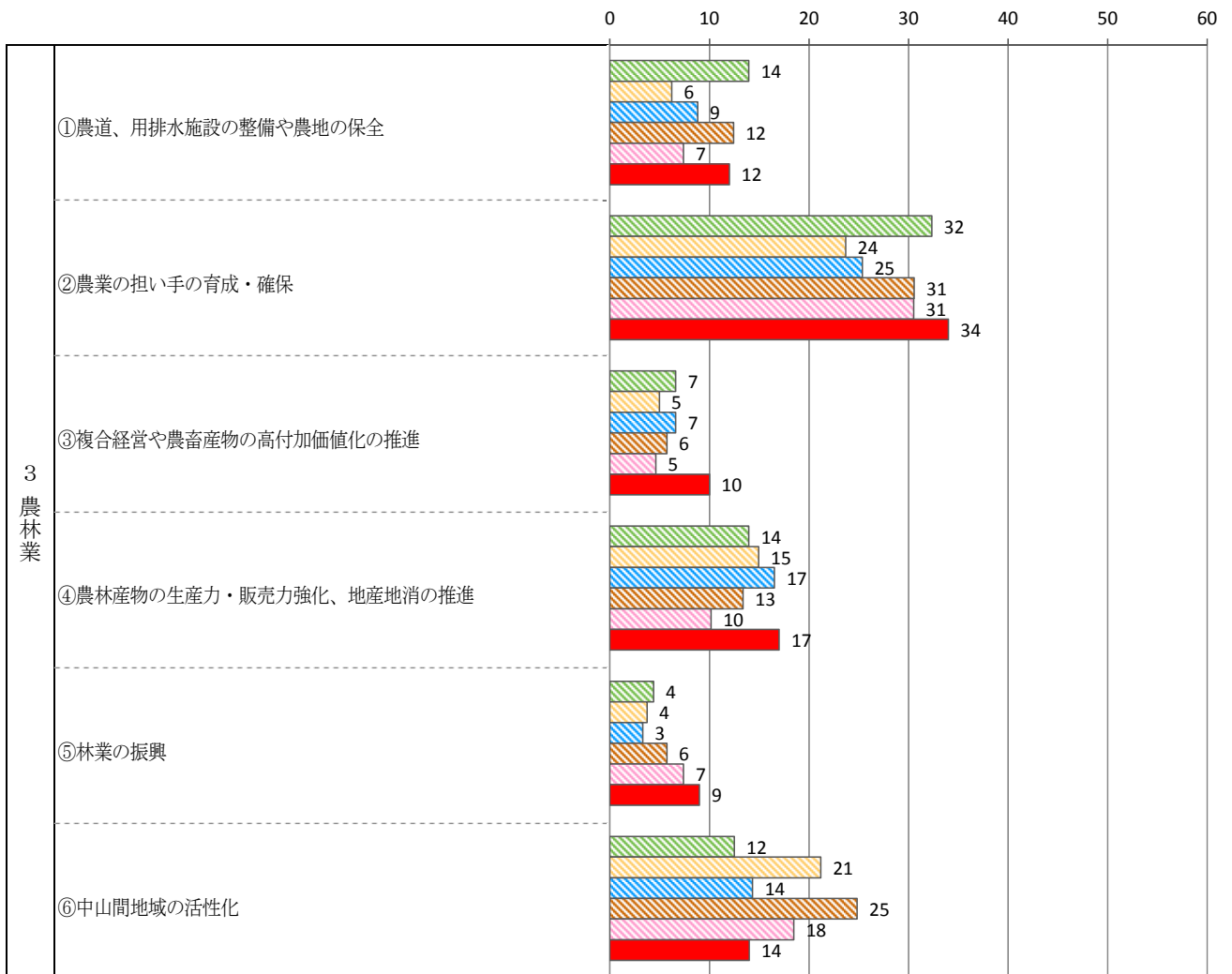
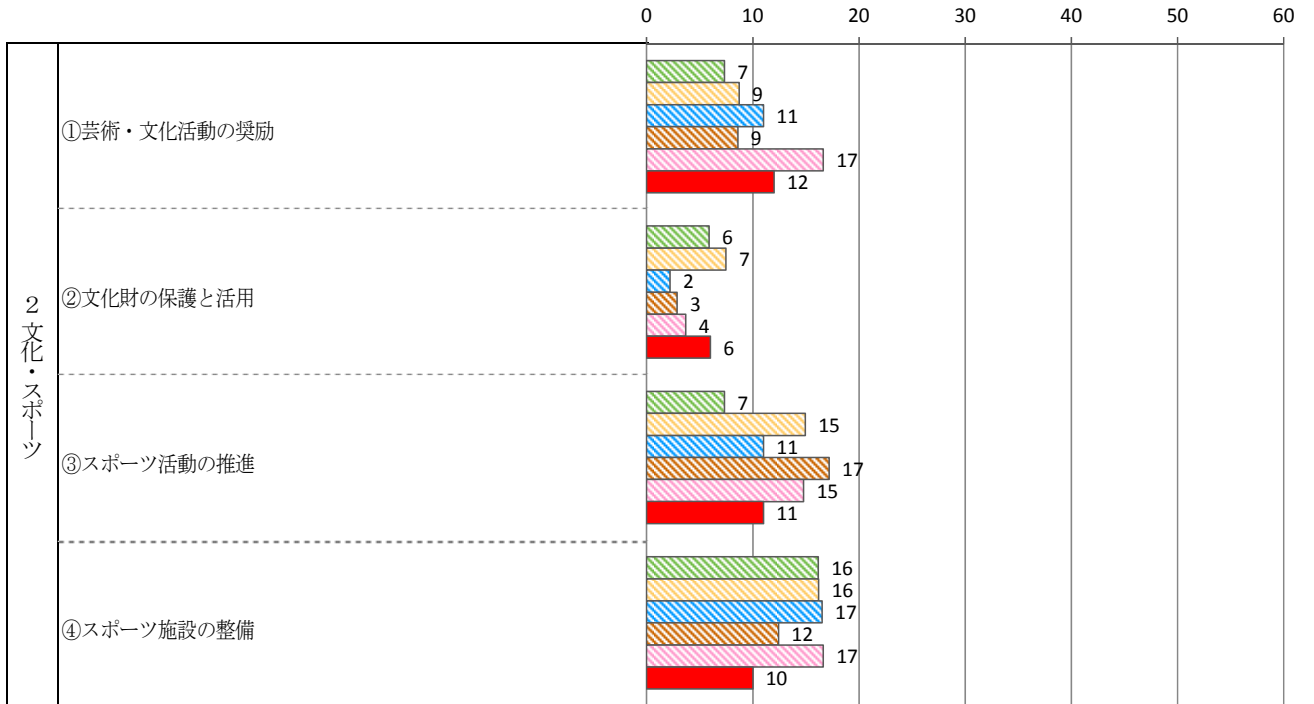




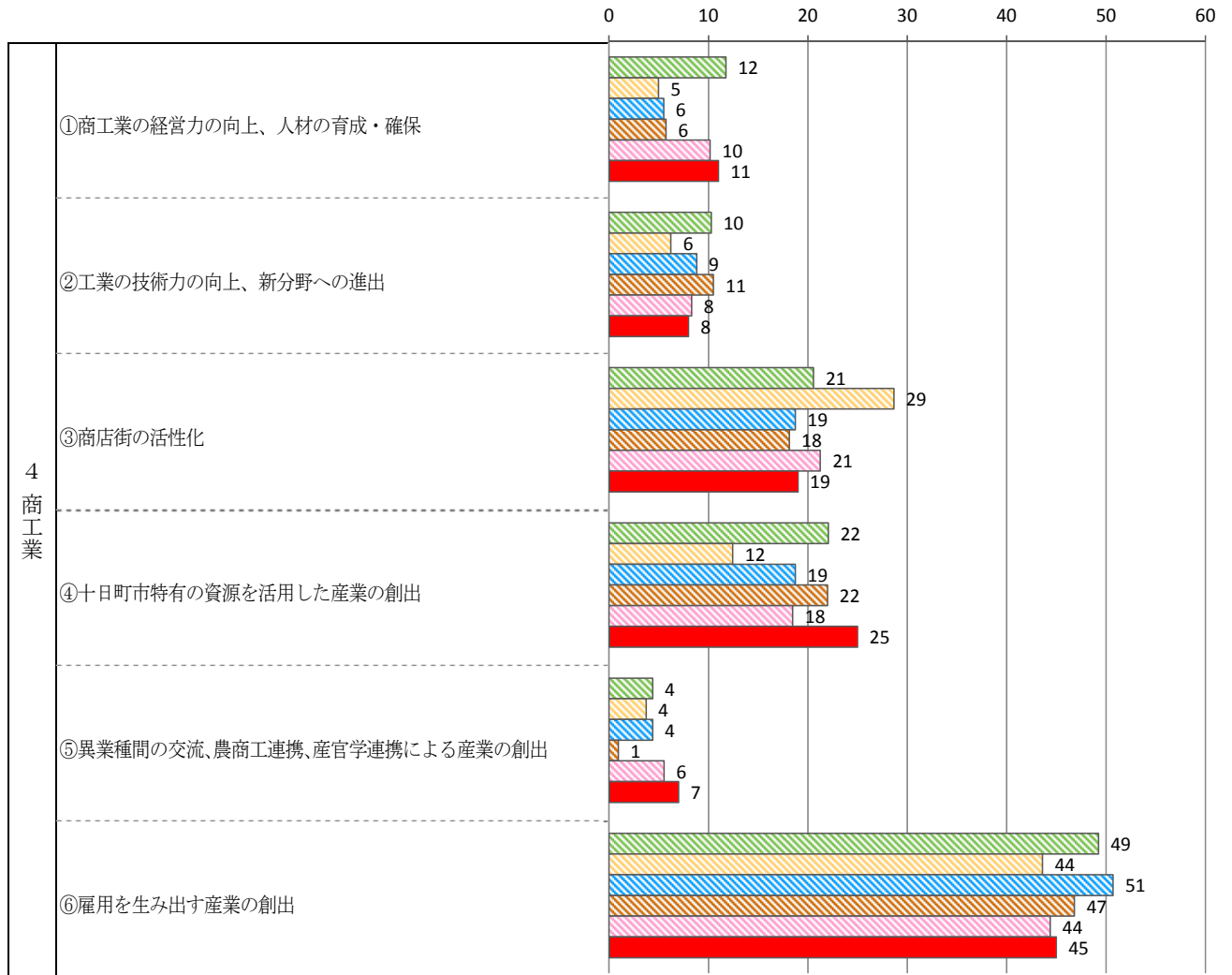
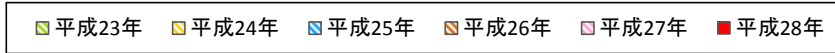
9. 水沢

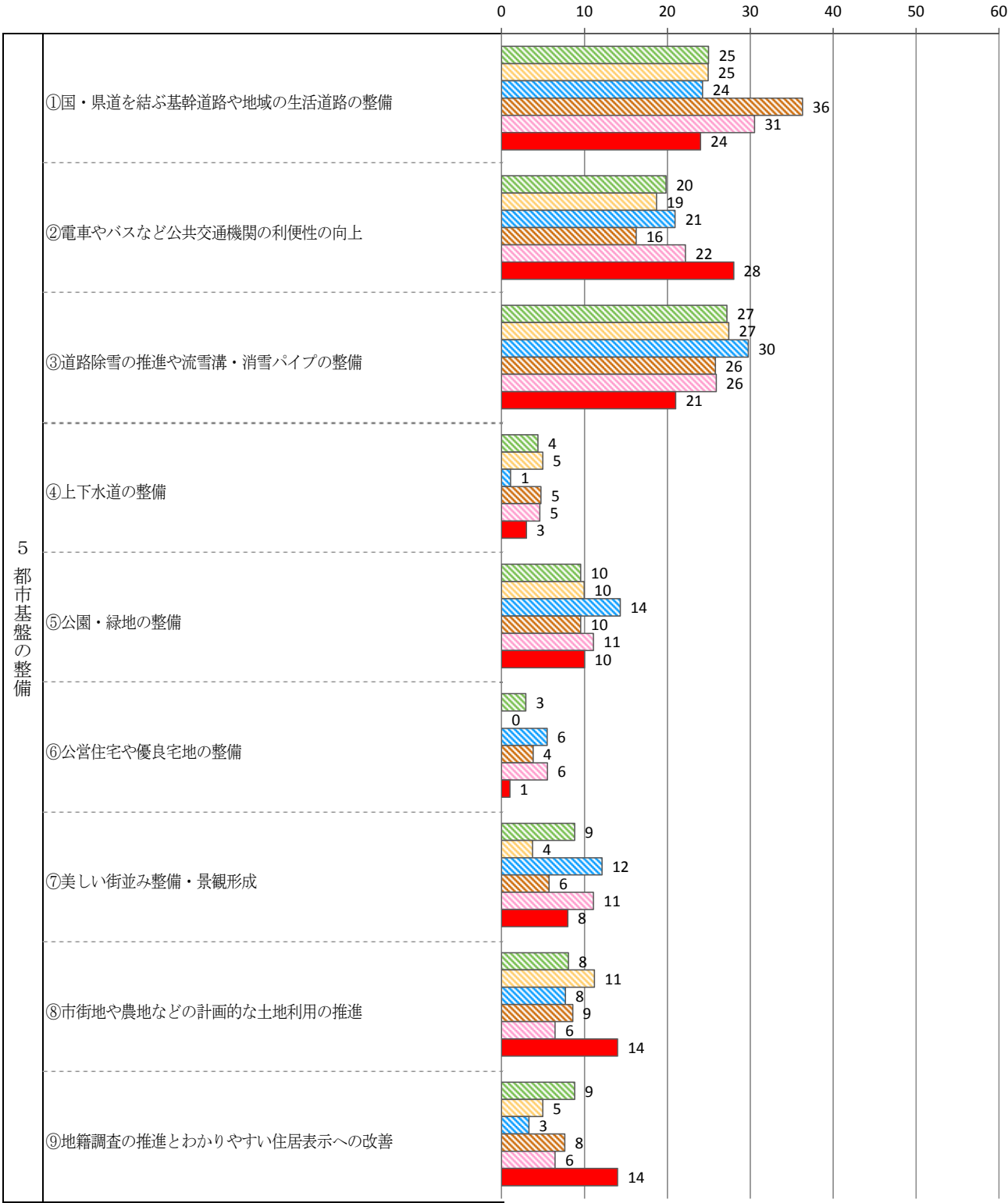
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	117	69	78	90	93	86
補正值	0.74	1.25	1.10	0.96	0.92	1.00



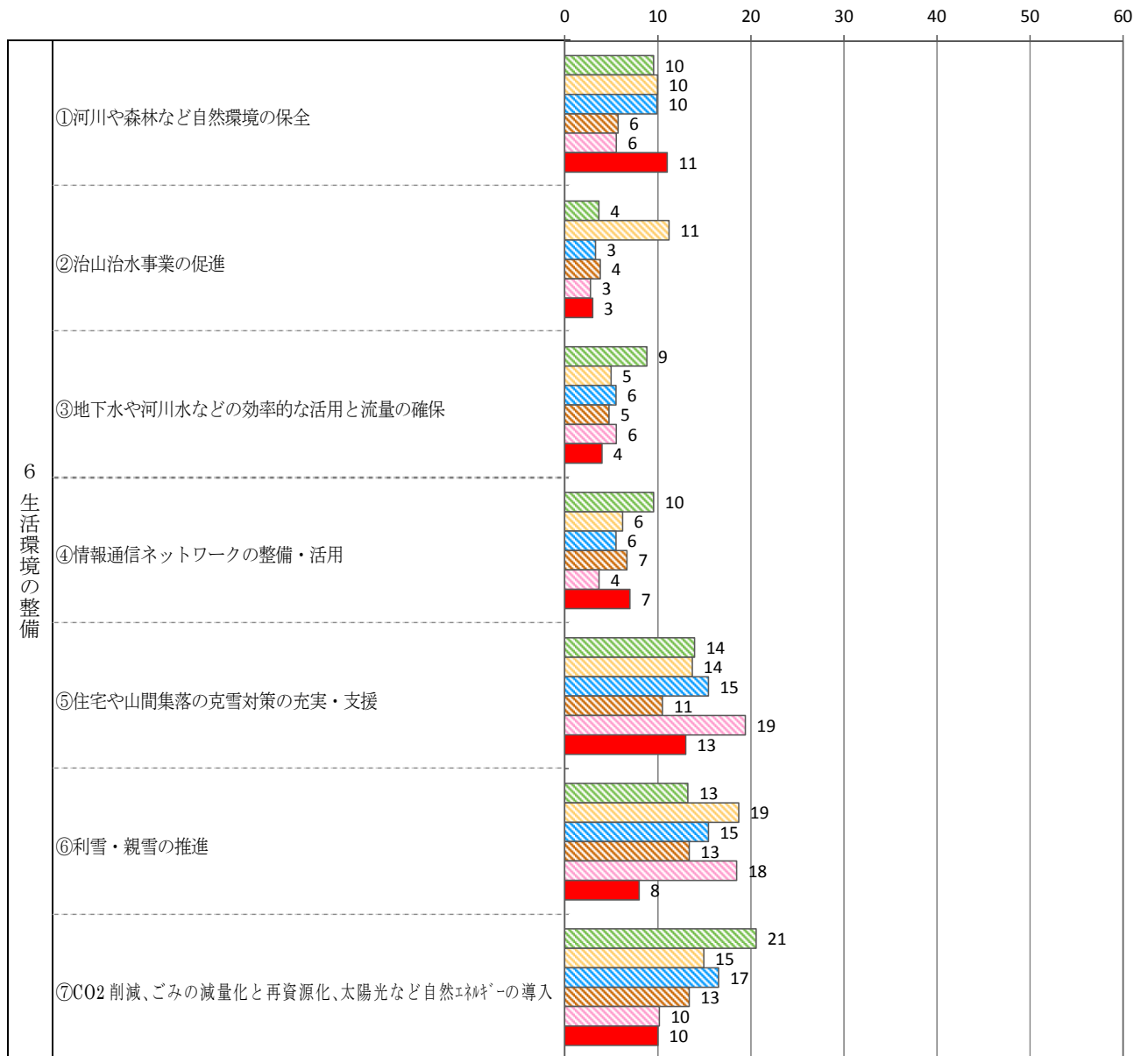
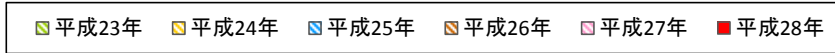


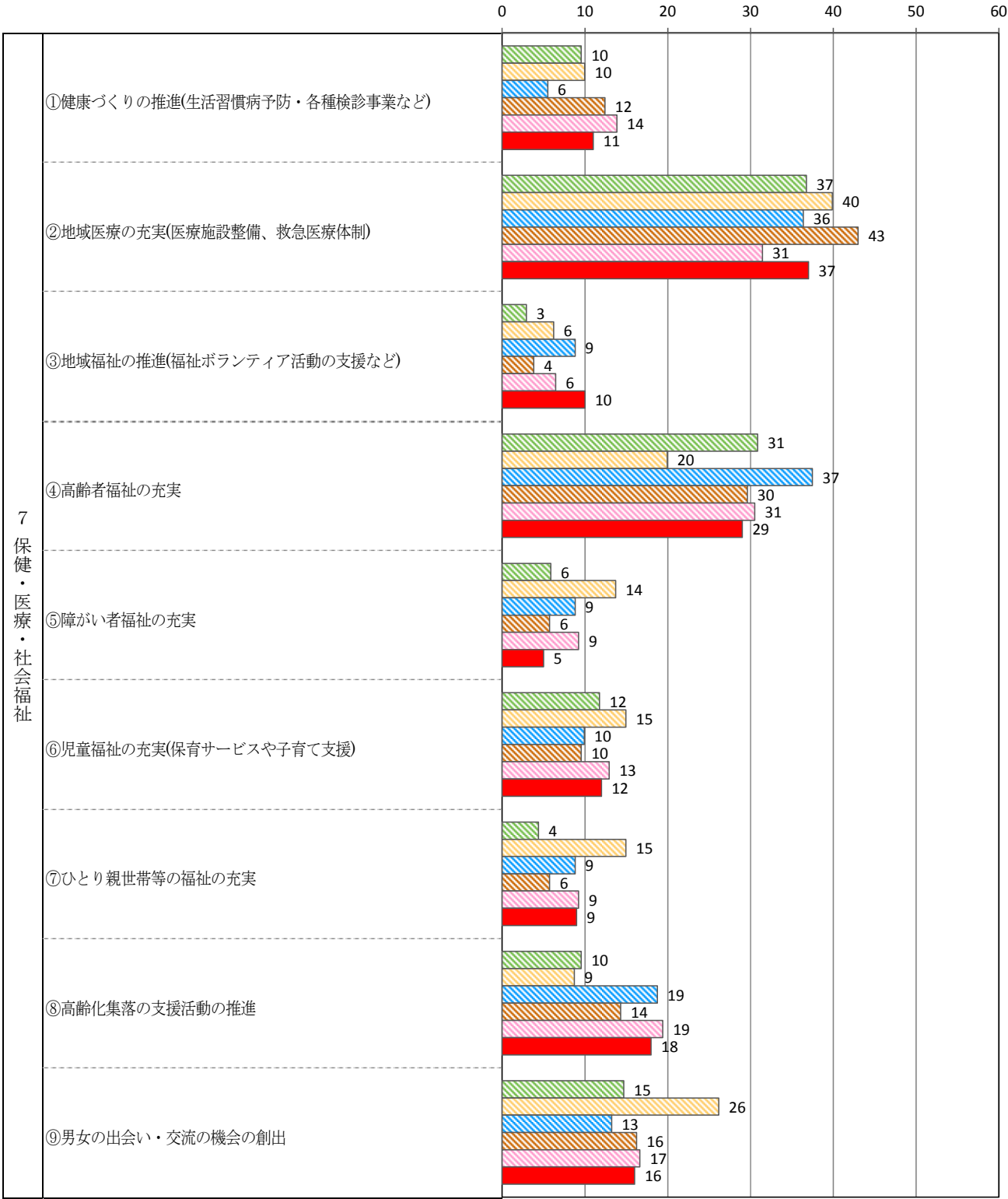
9. 水沢



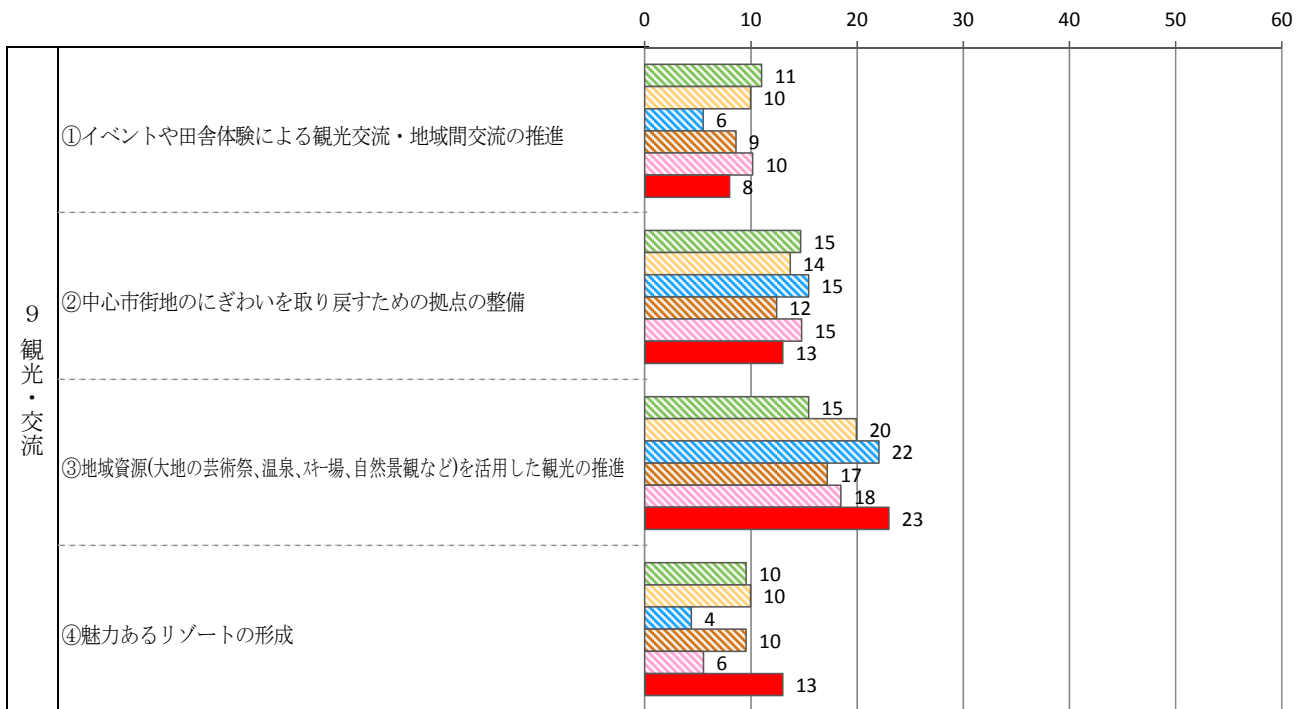
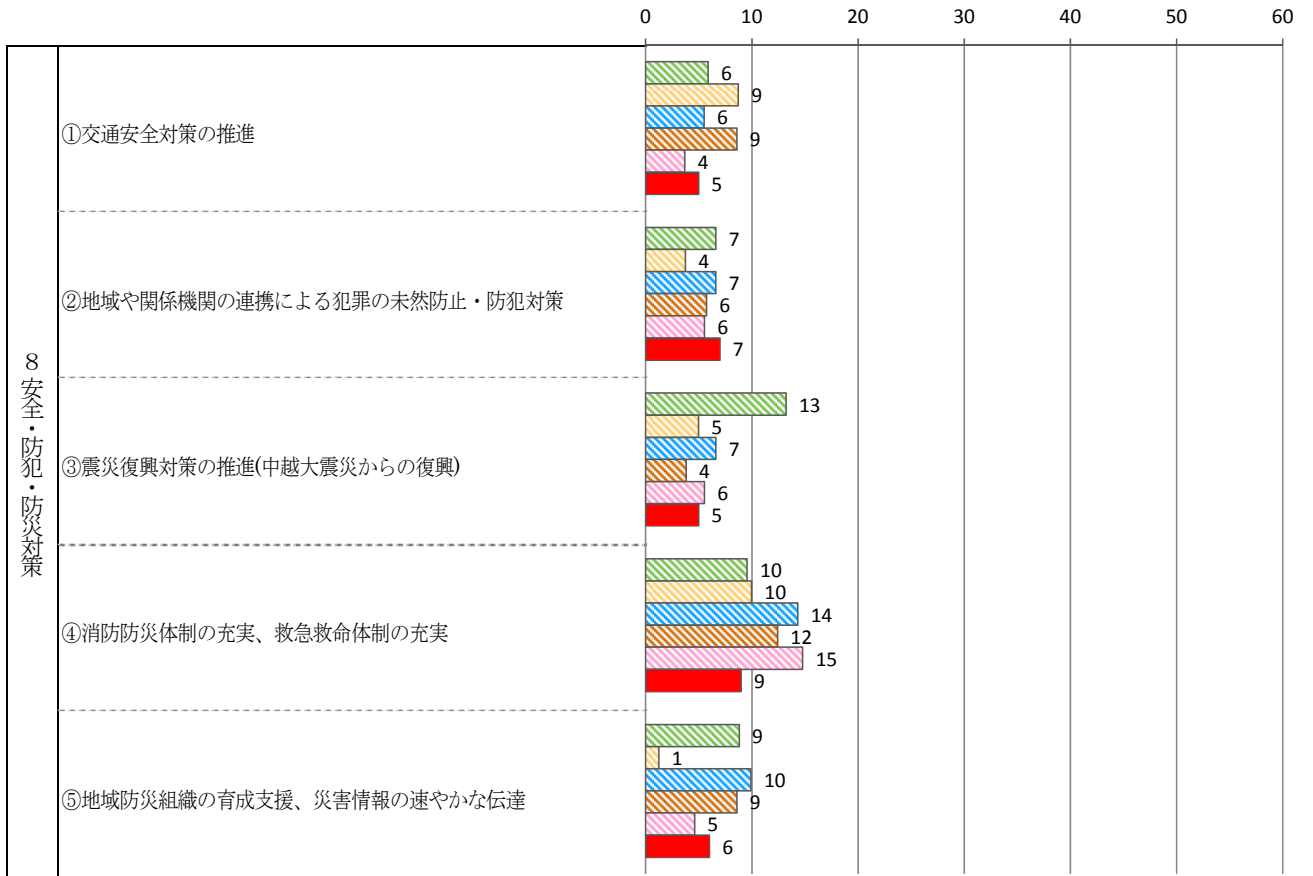
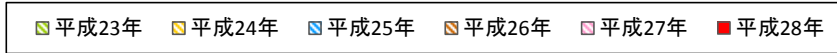


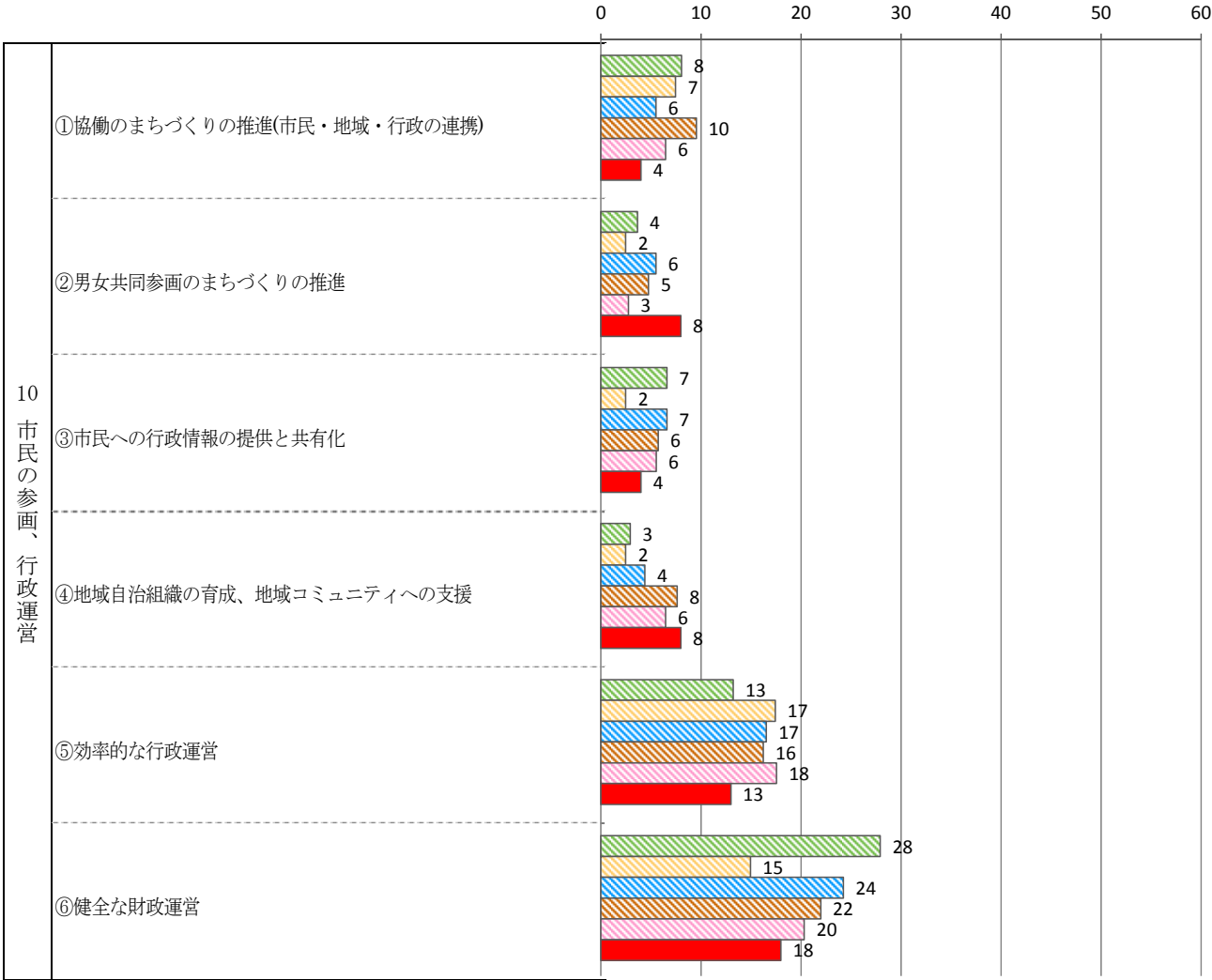
9. 水沢





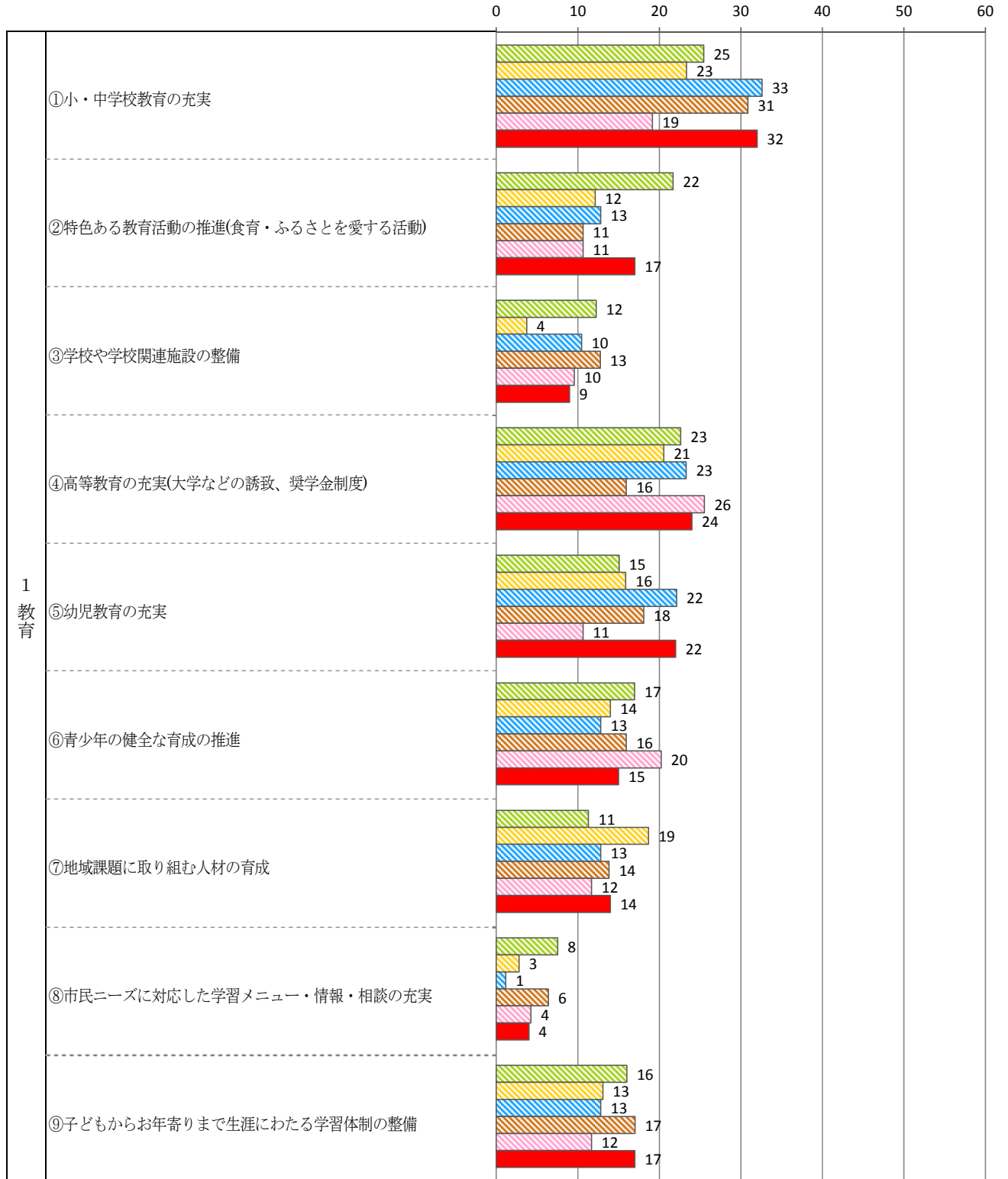
9. 水沢

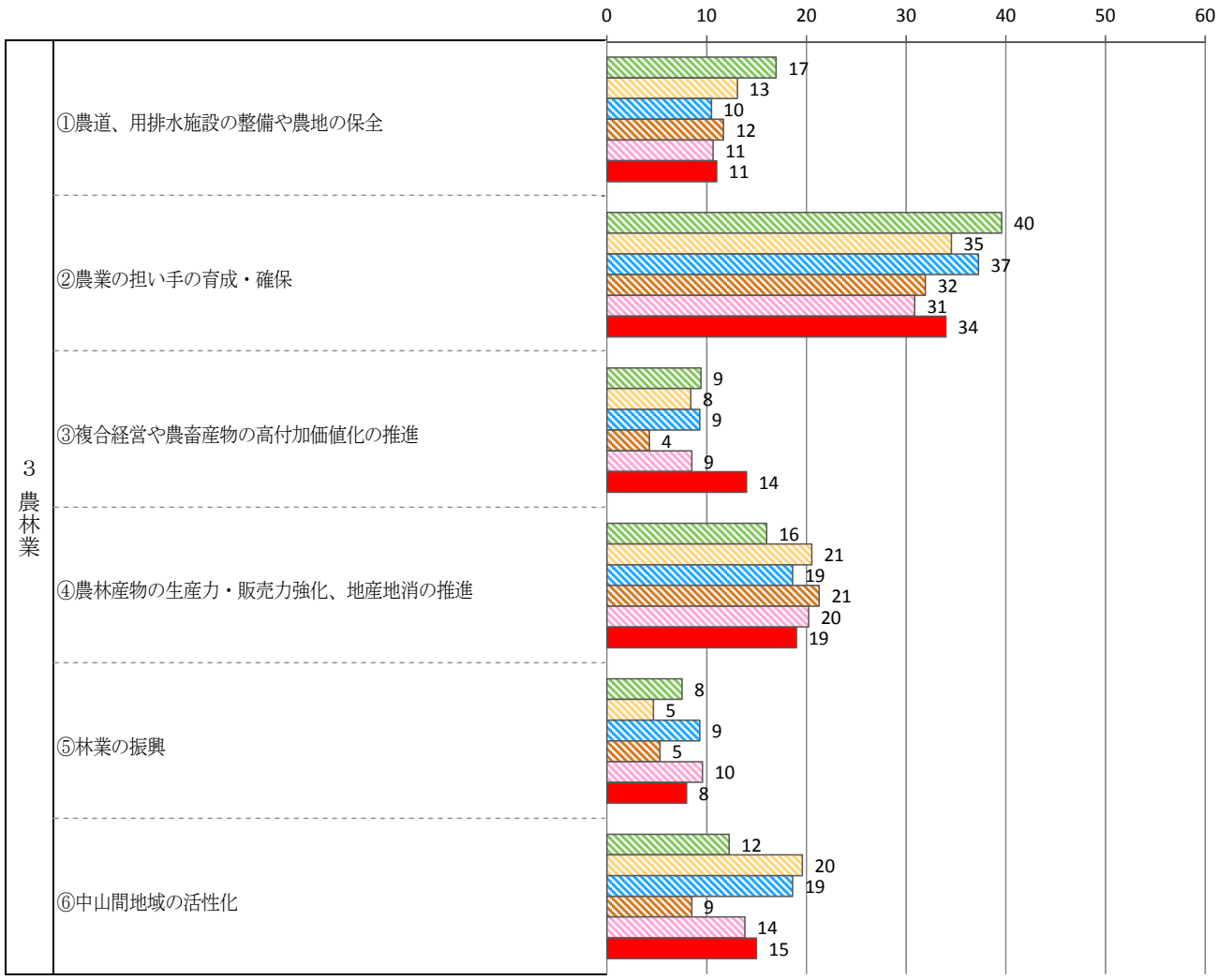
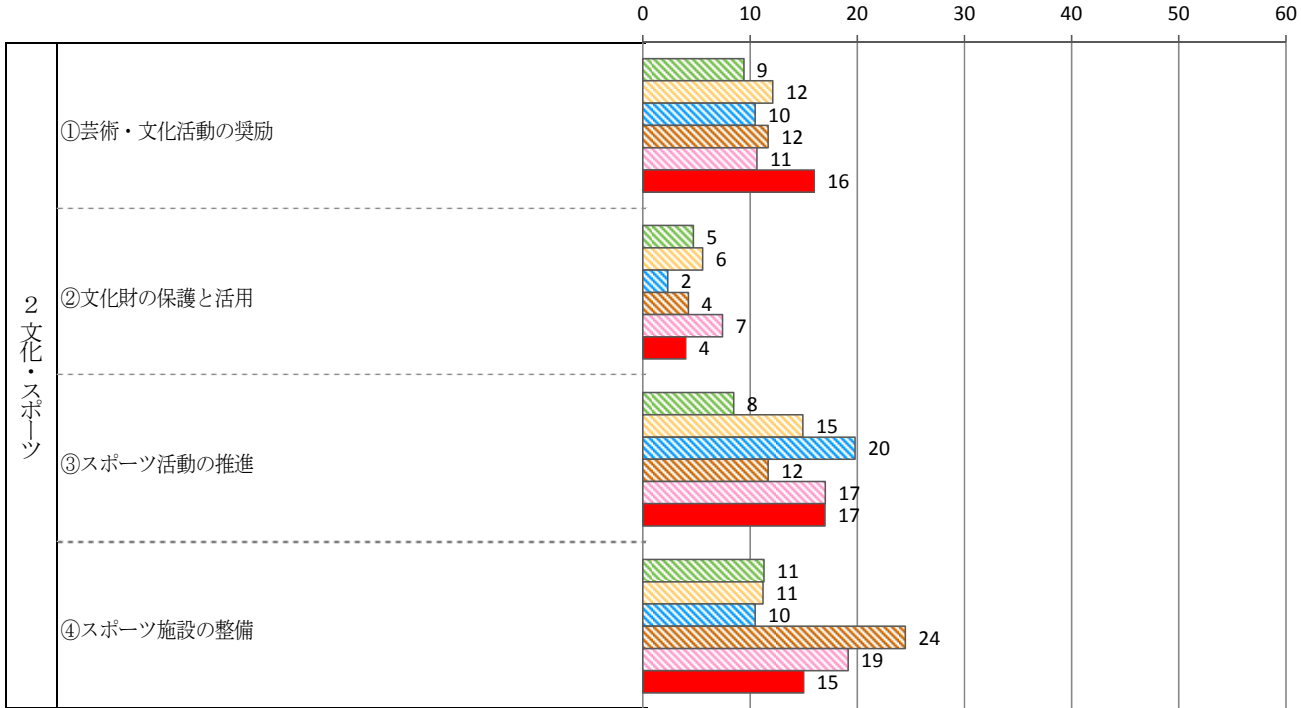




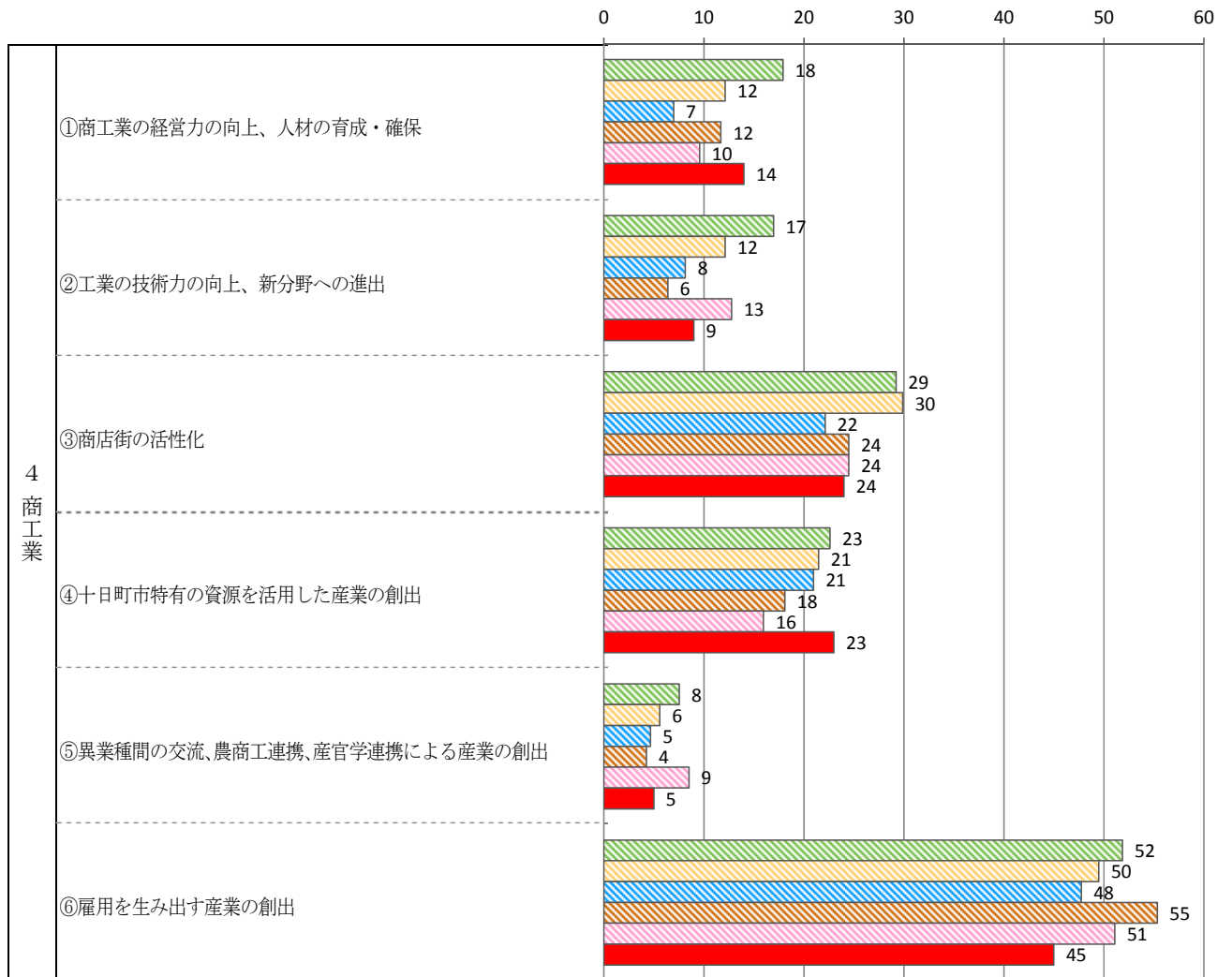
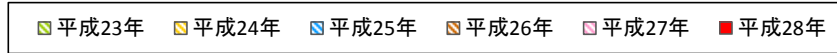
10. 川西

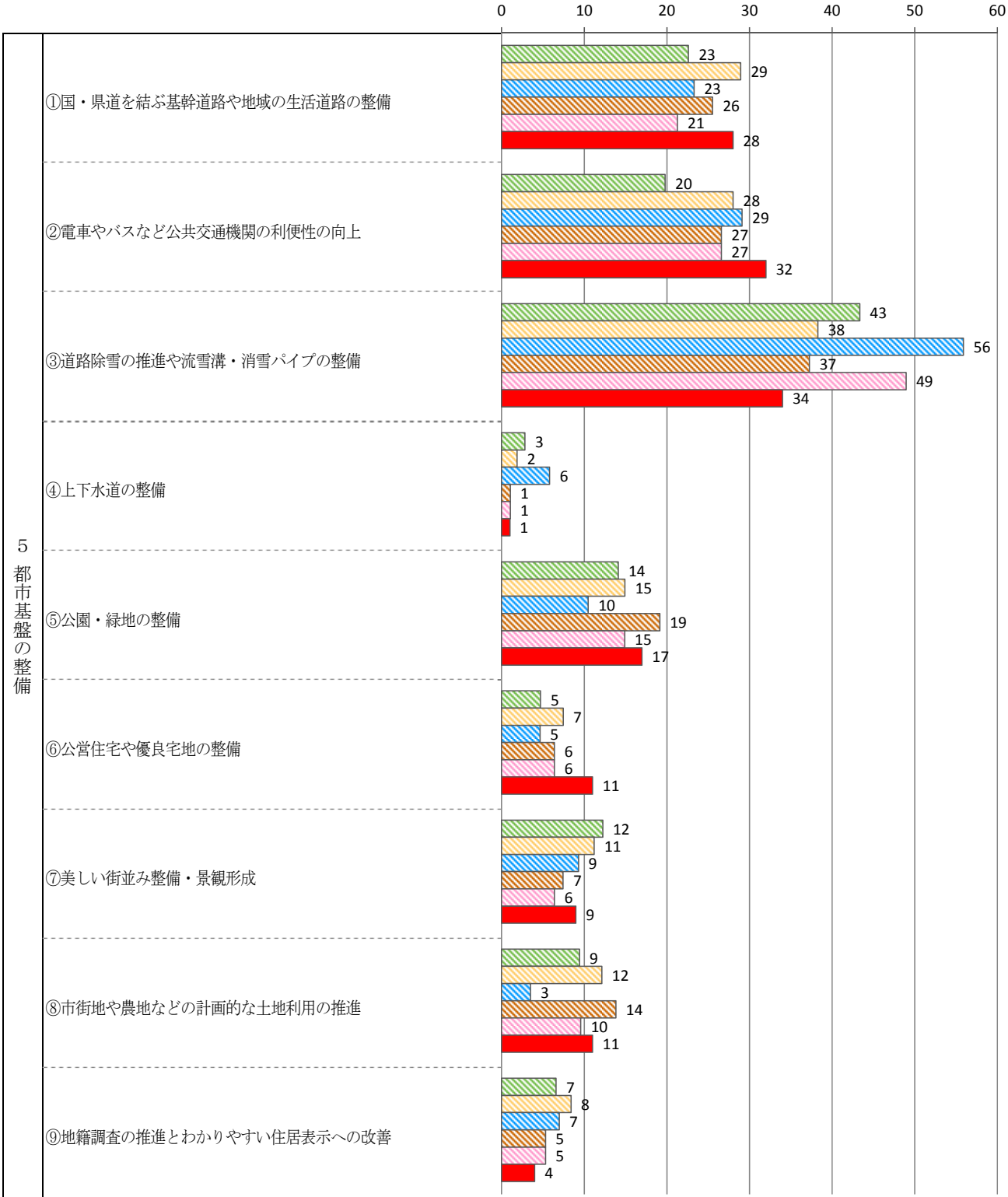
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	105	106	85	93	93	99
補正值	0.94	0.93	1.16	1.06	1.06	1.00



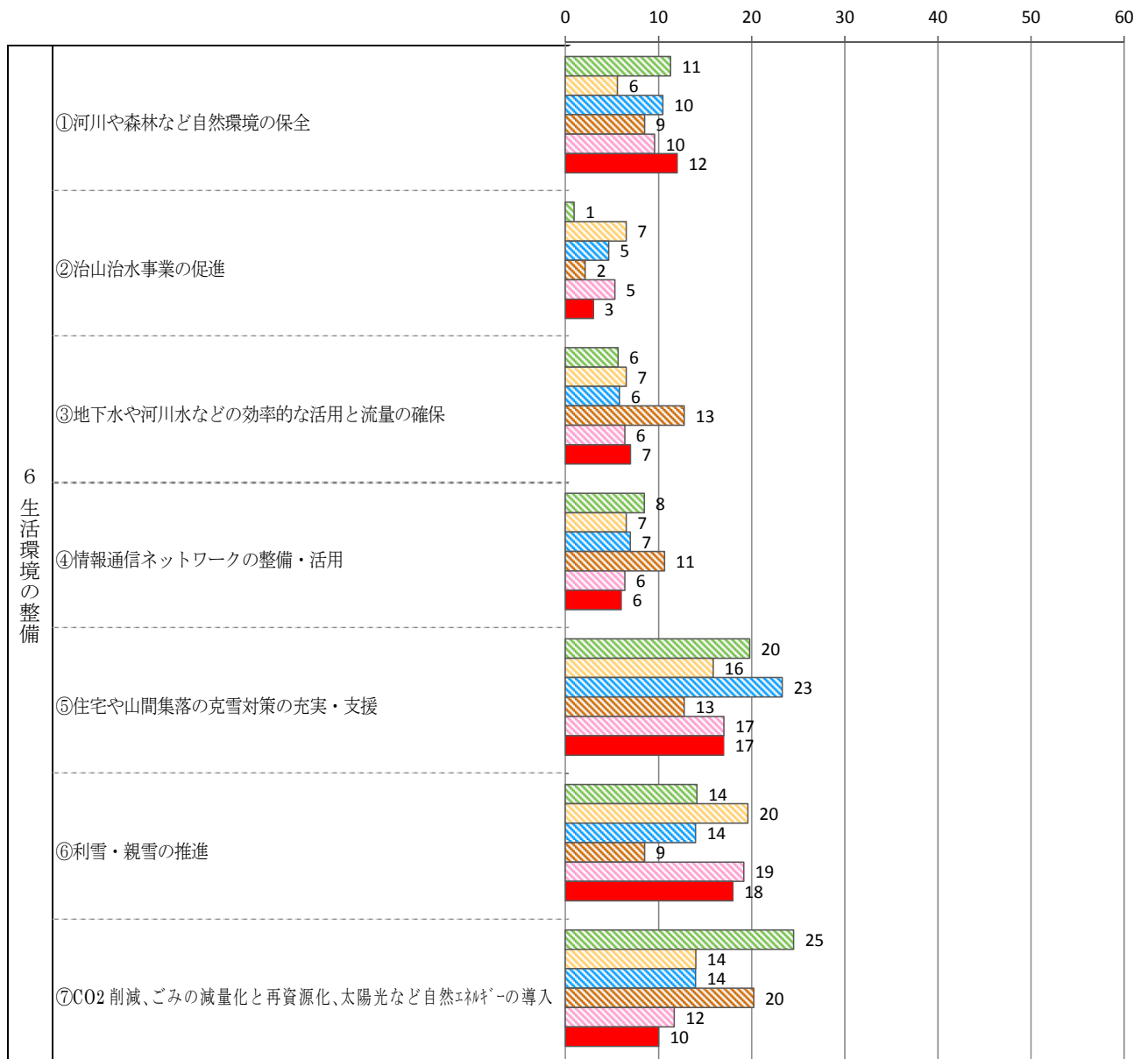
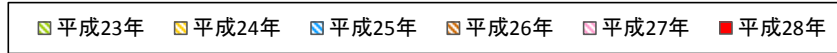


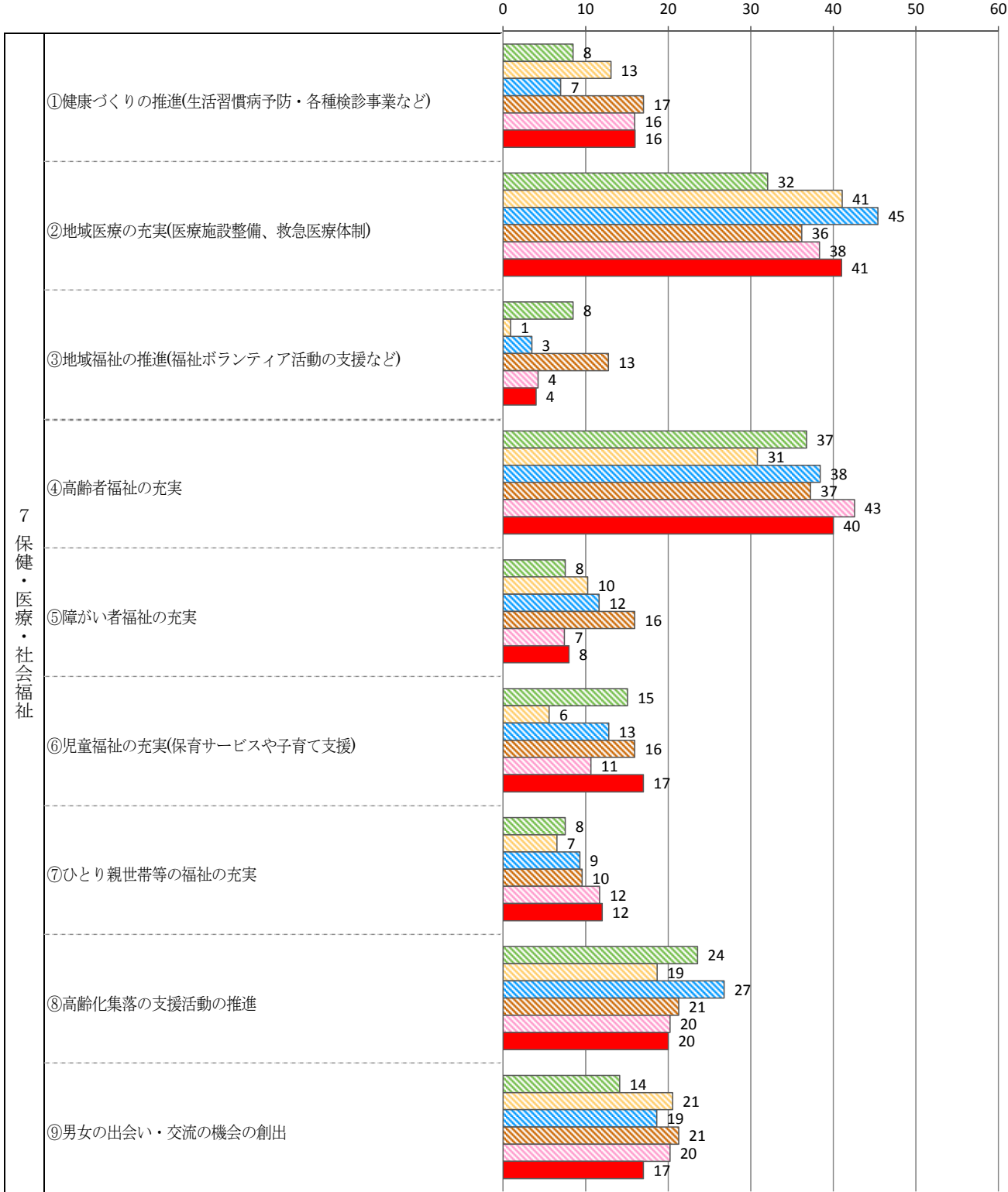
10. 川西



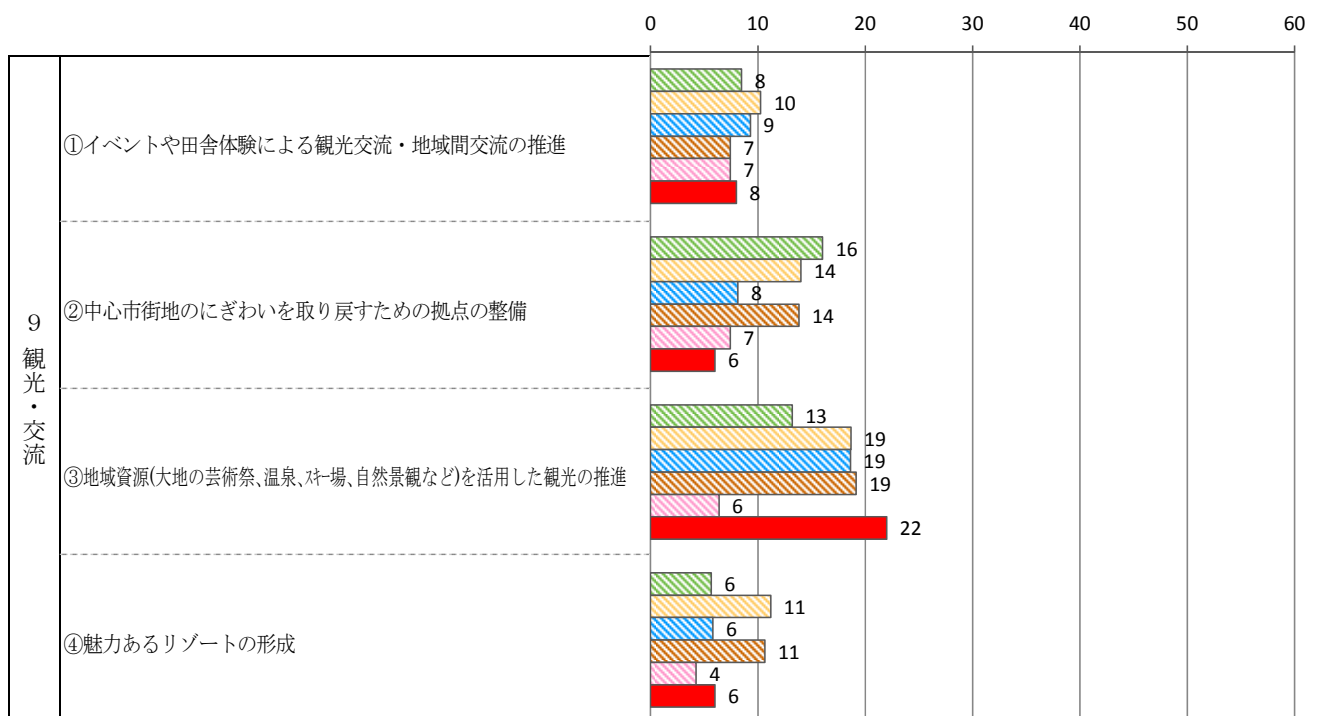
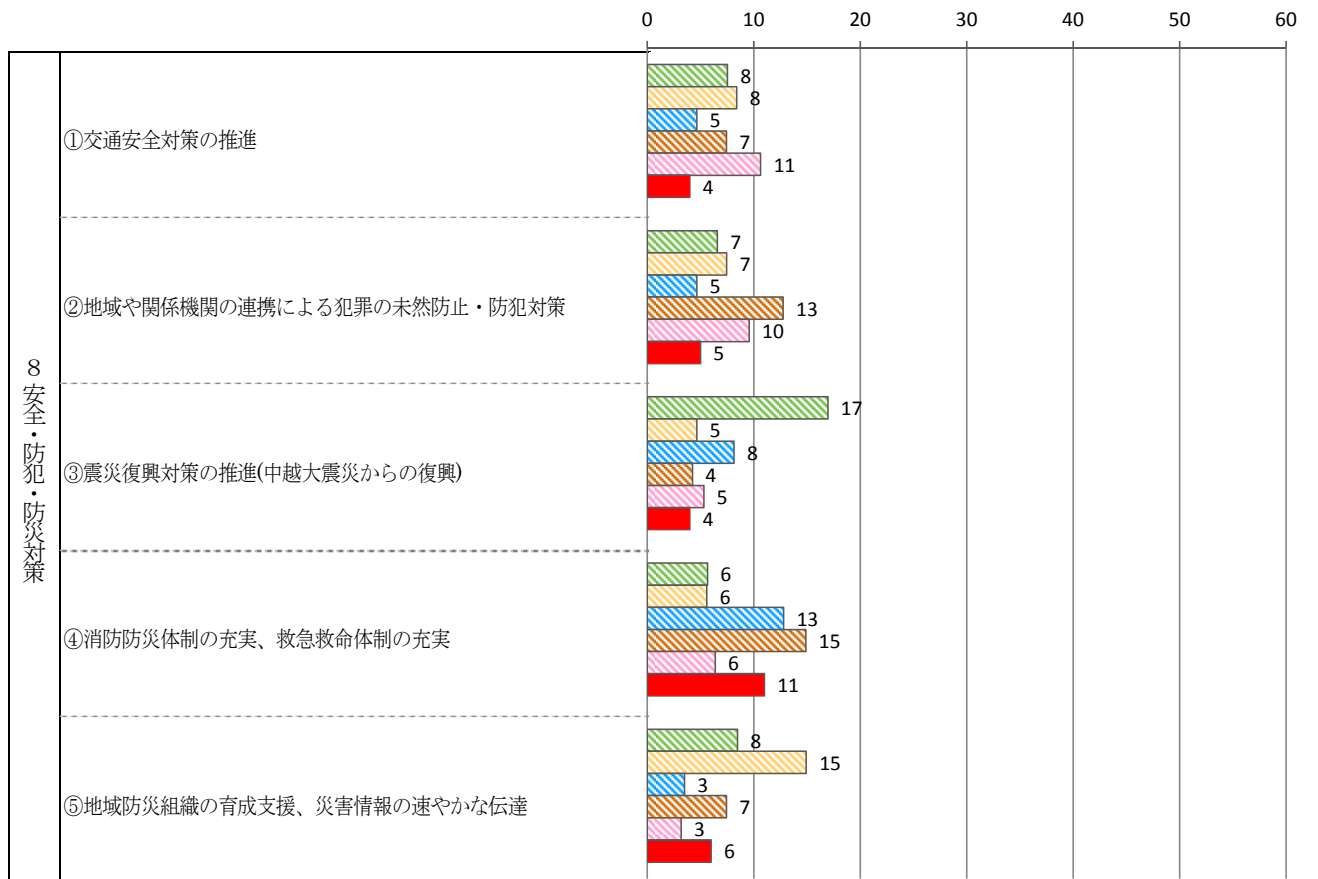
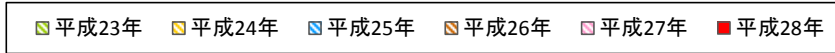


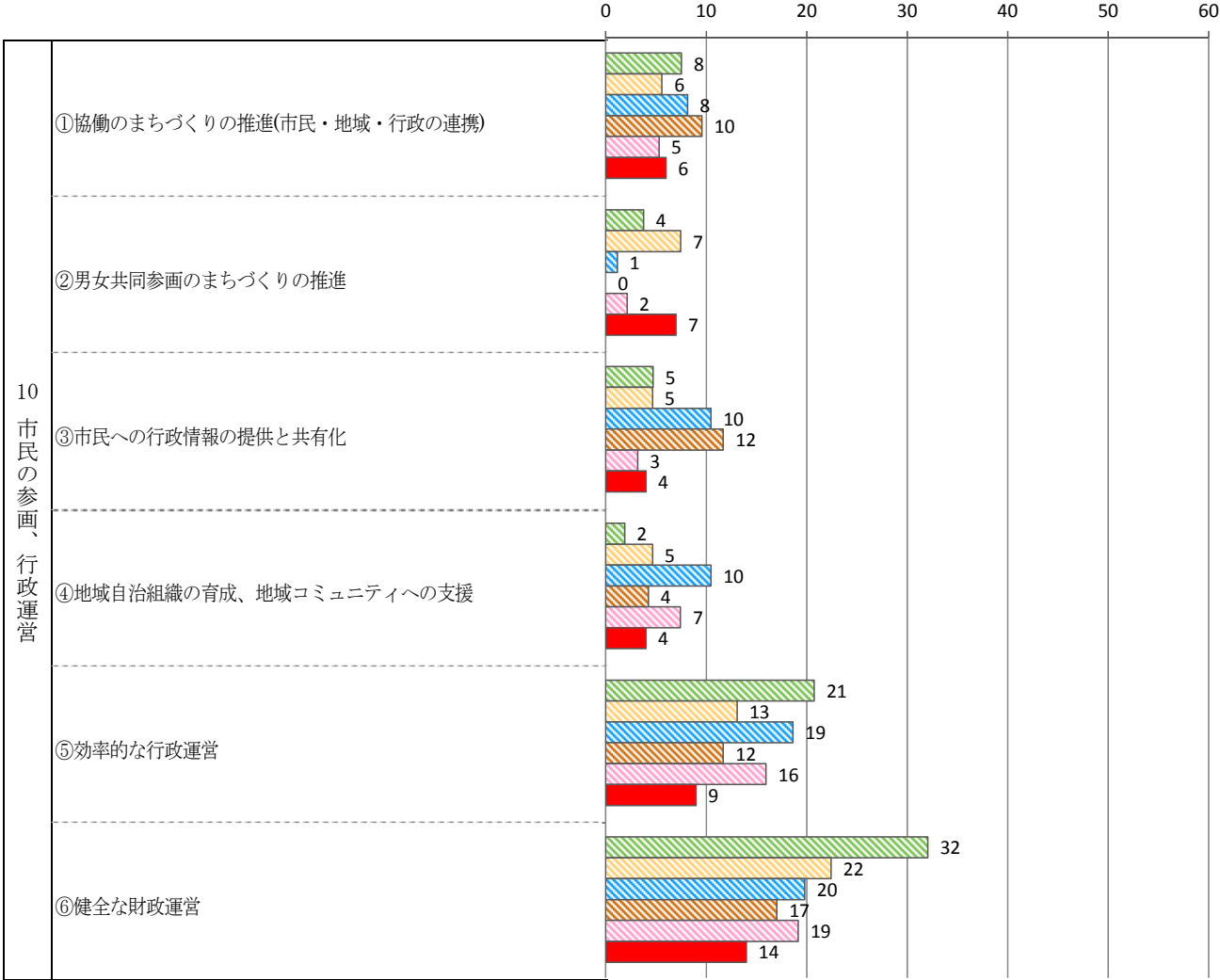
10. 川西





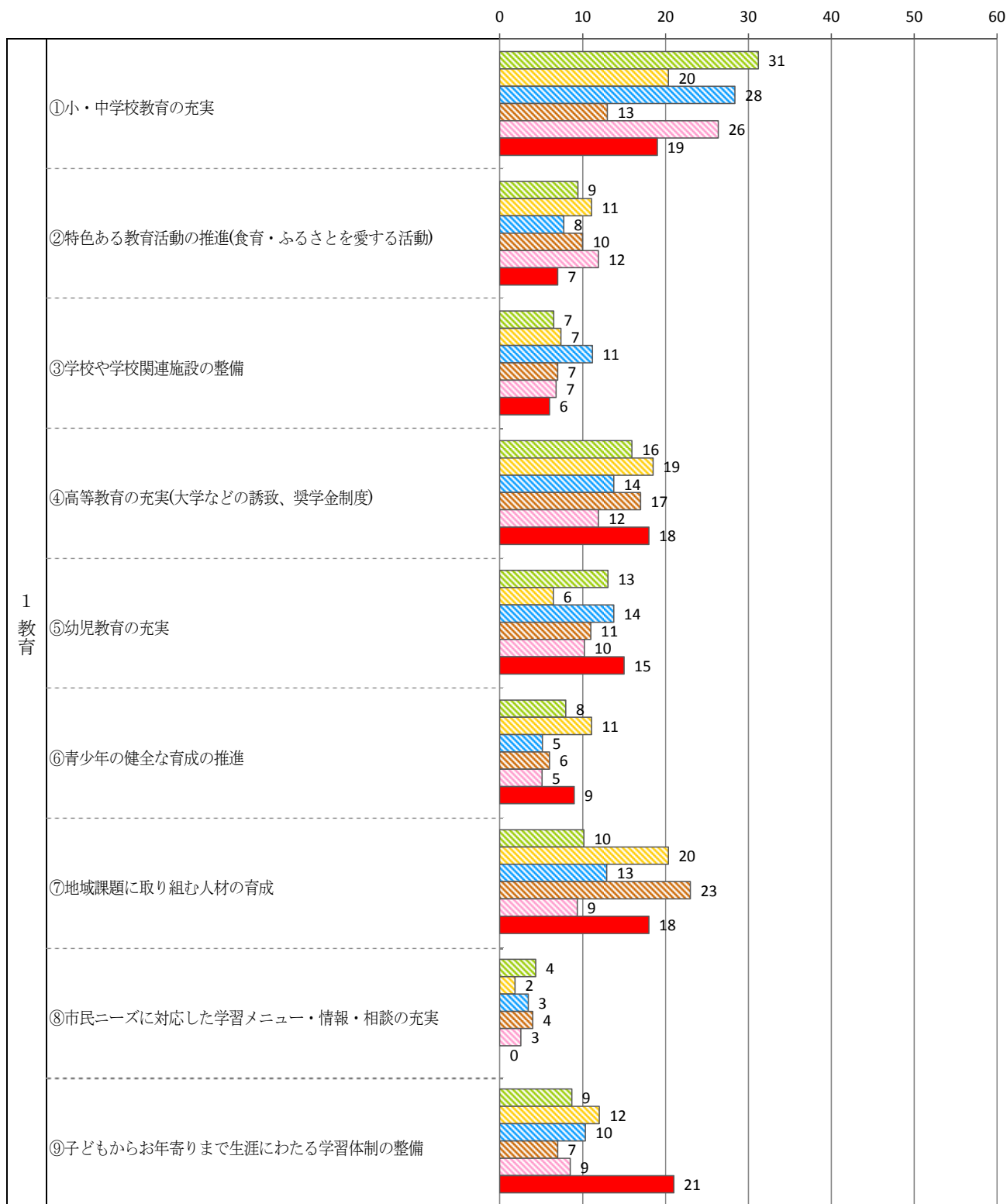
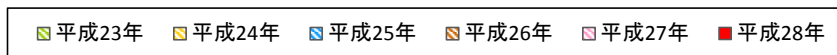
10. 川西

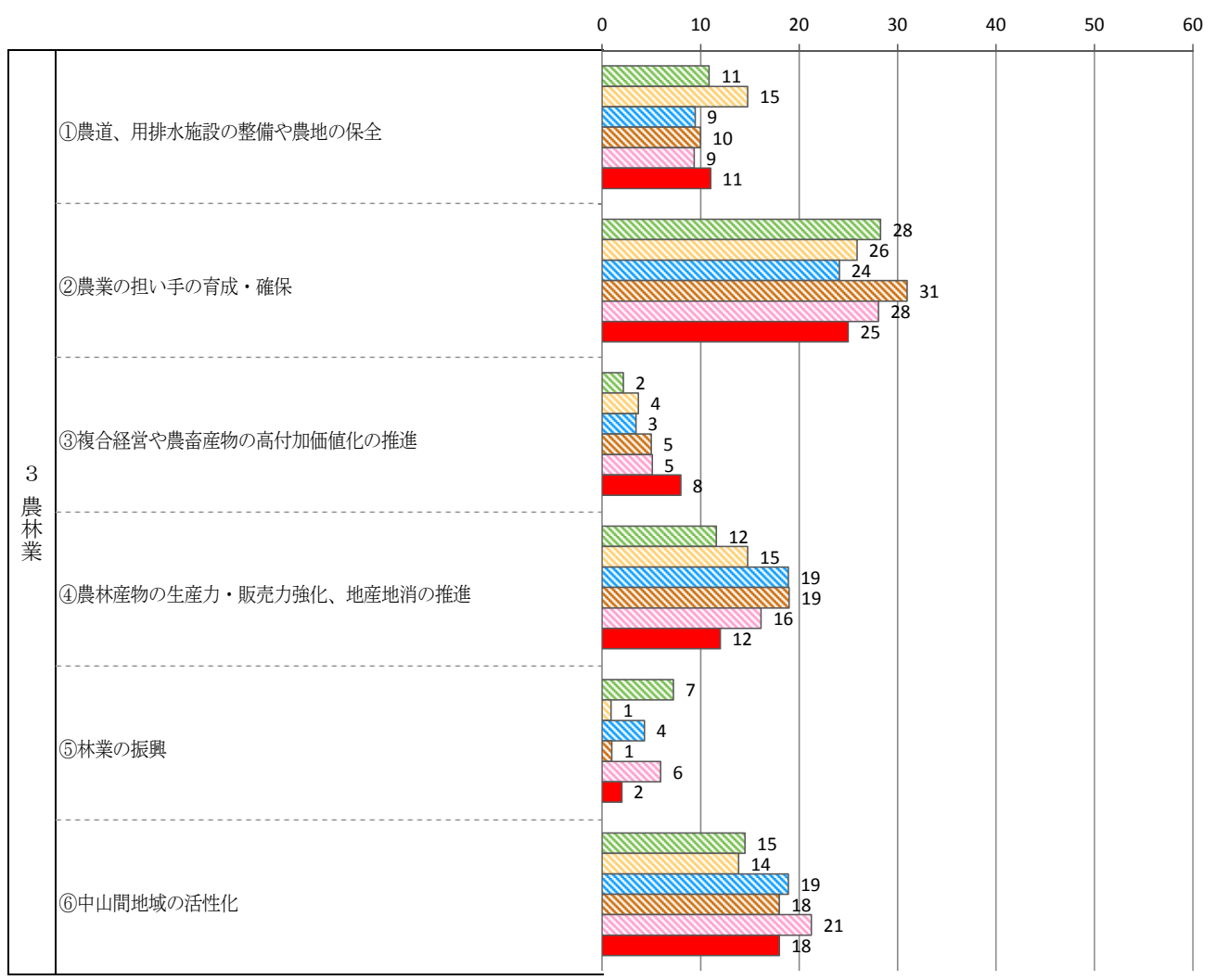
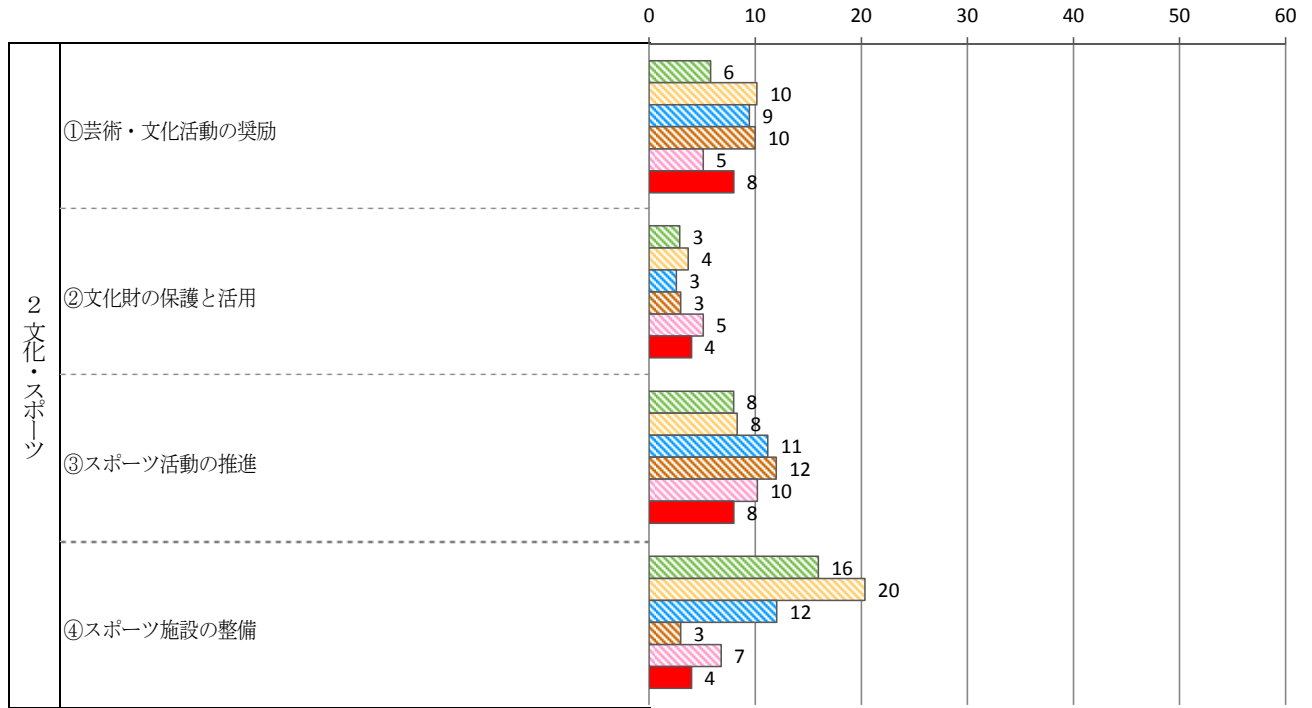




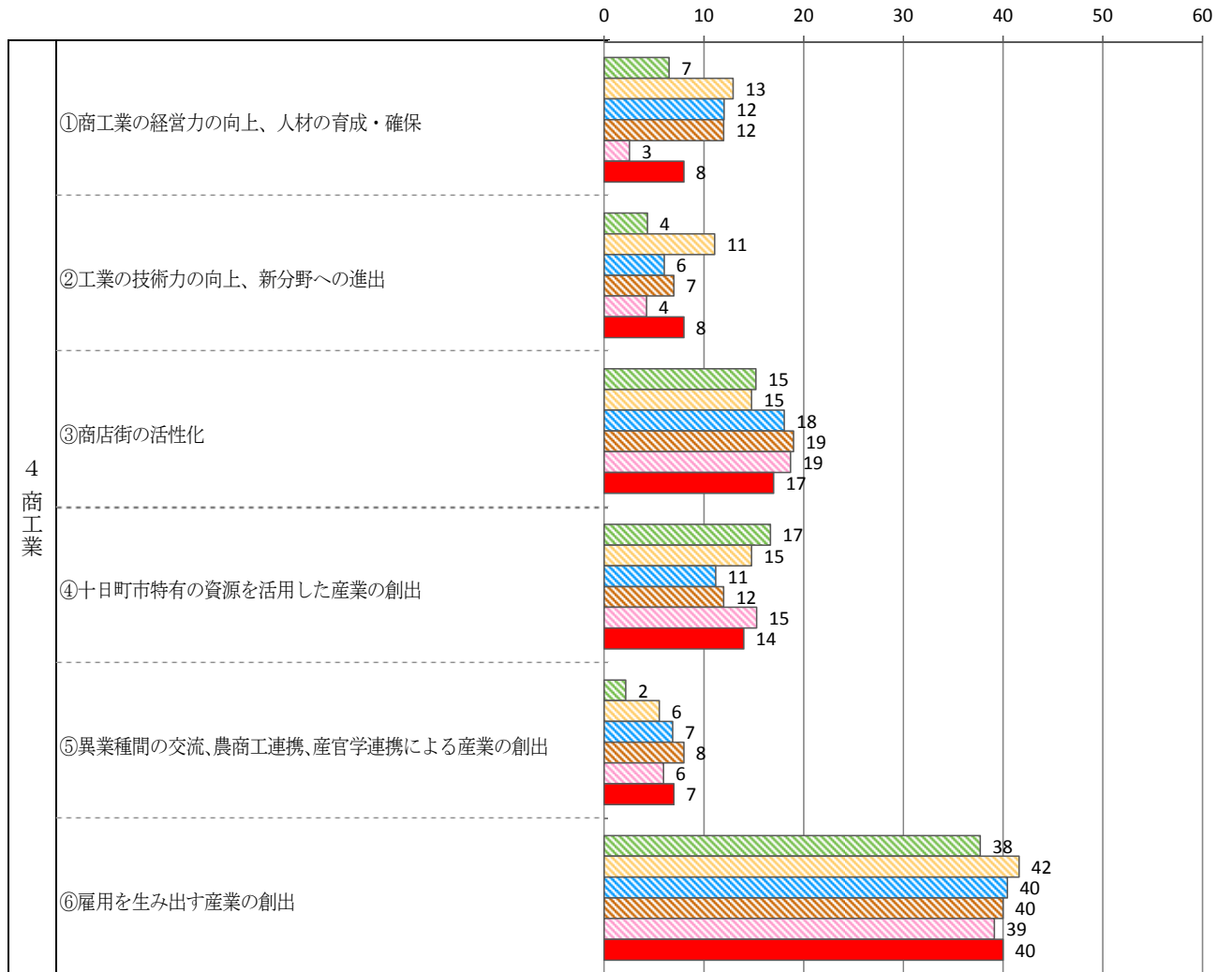
11. 中里

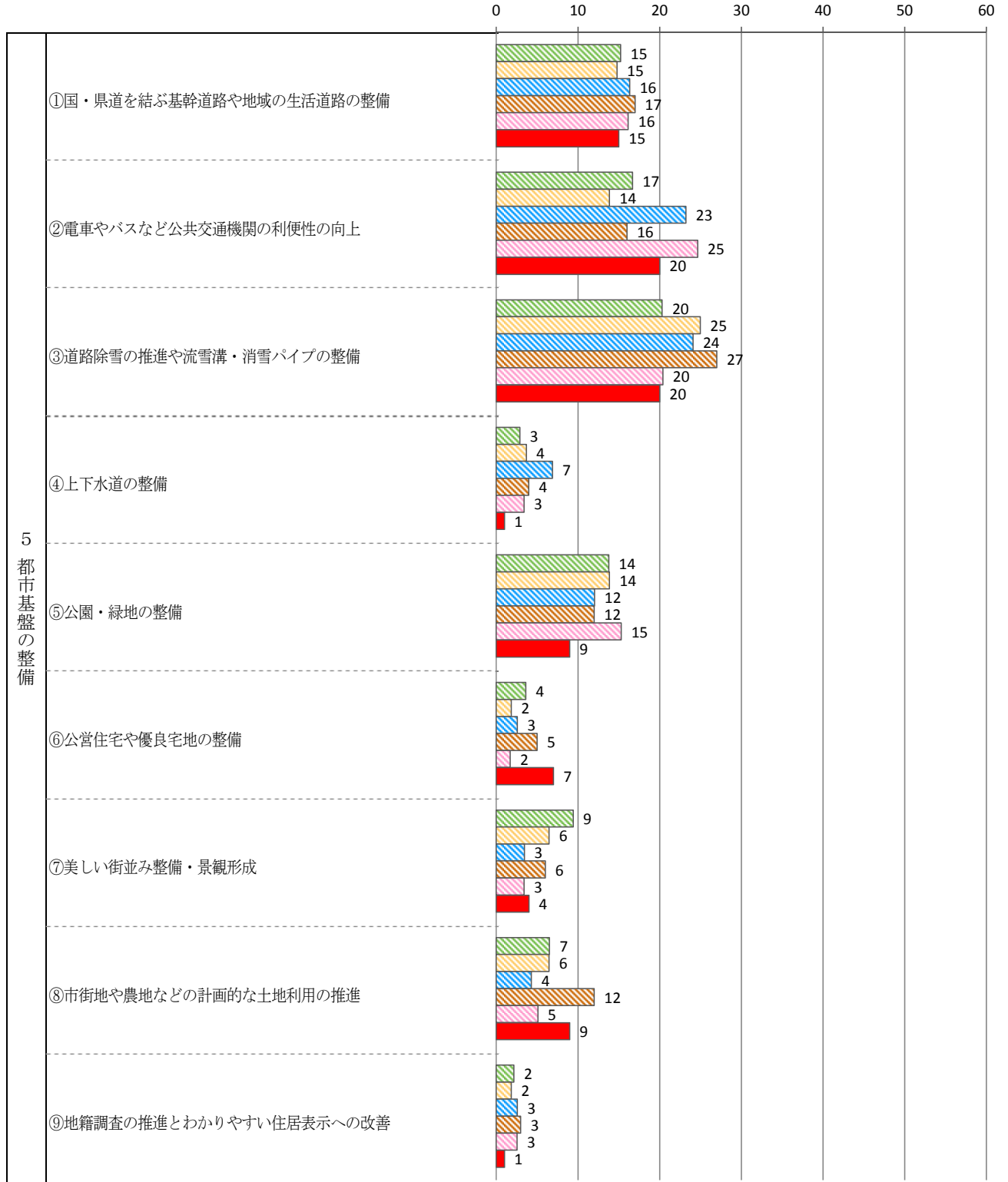
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	102	80	86	74	87	74
補正值	0.73	0.93	0.86	1.00	0.85	1.00



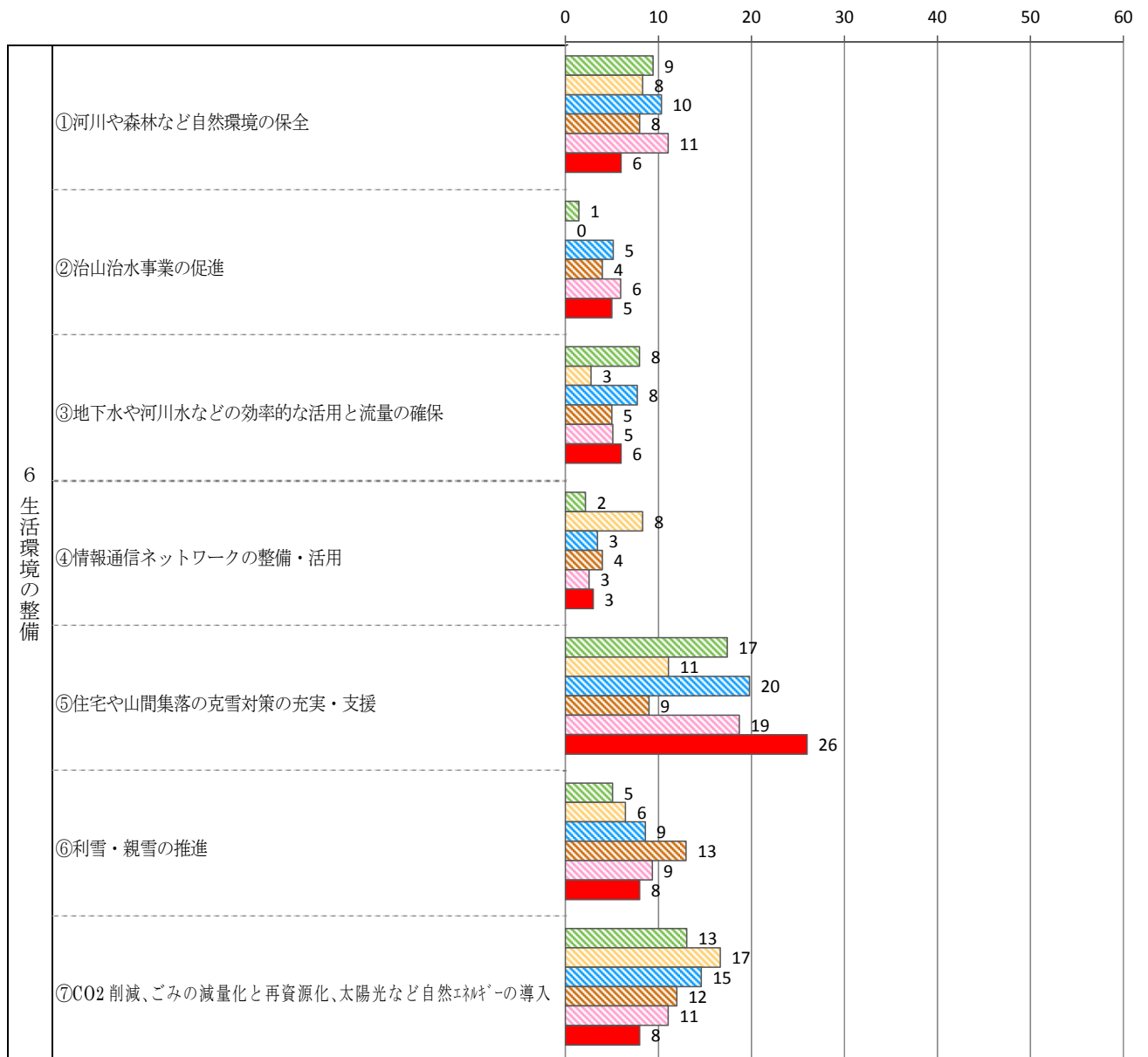
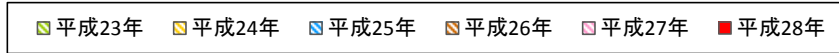


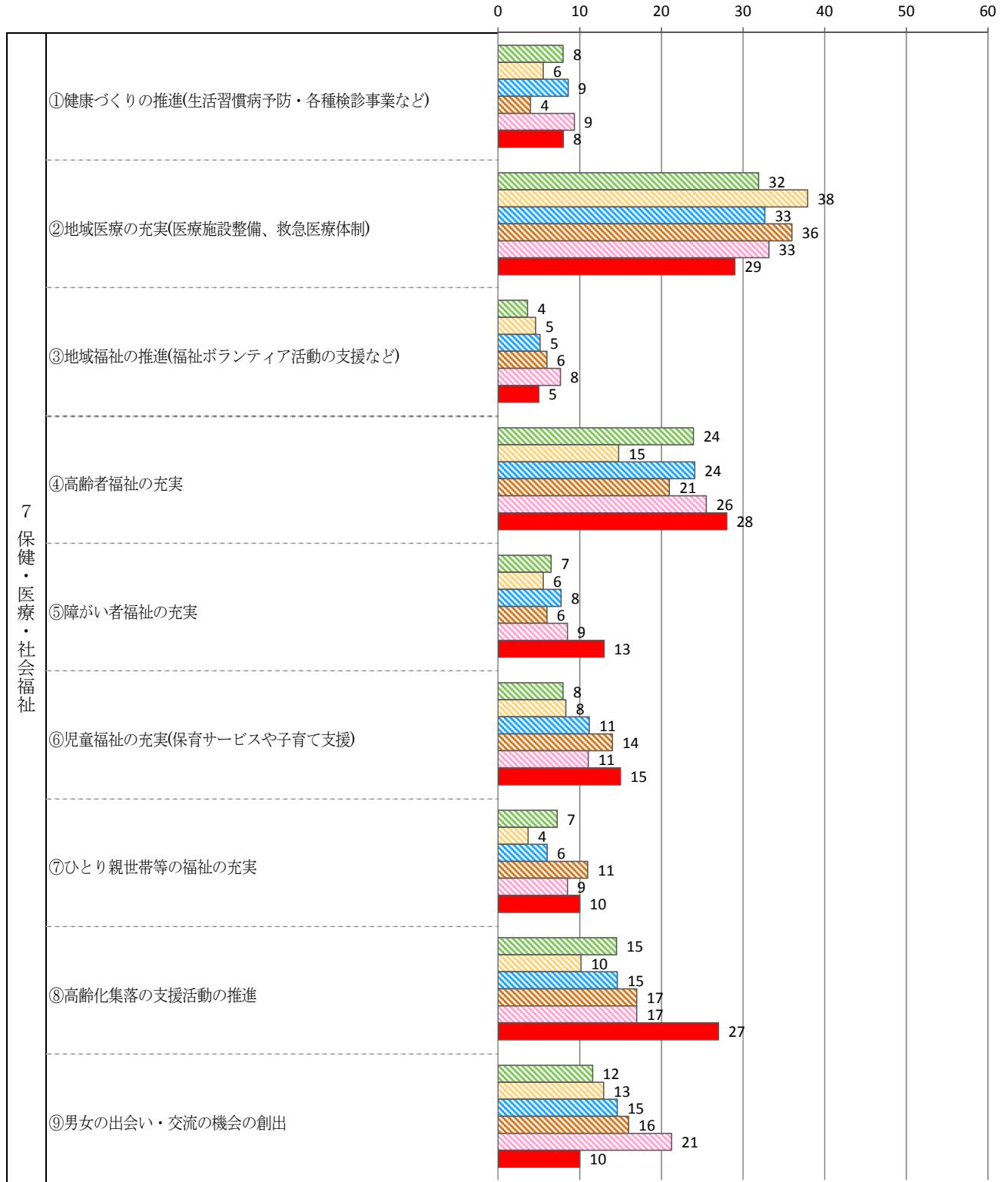
11. 中里



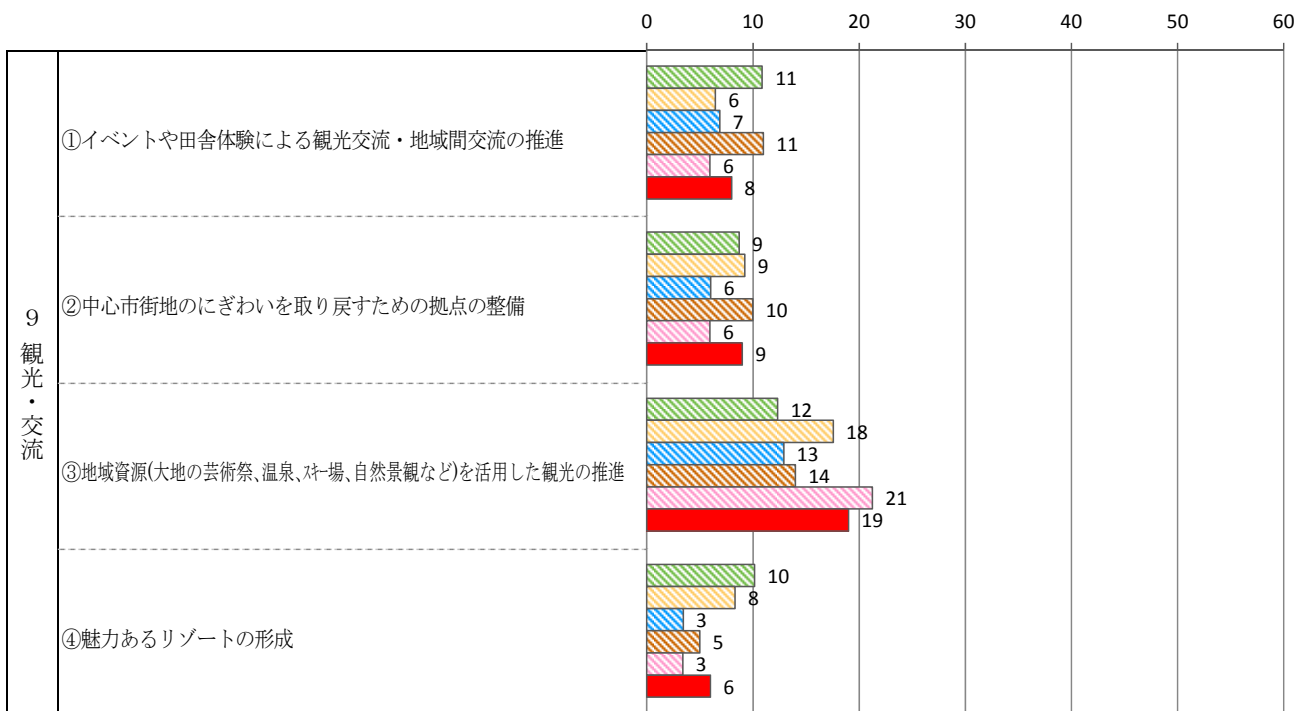
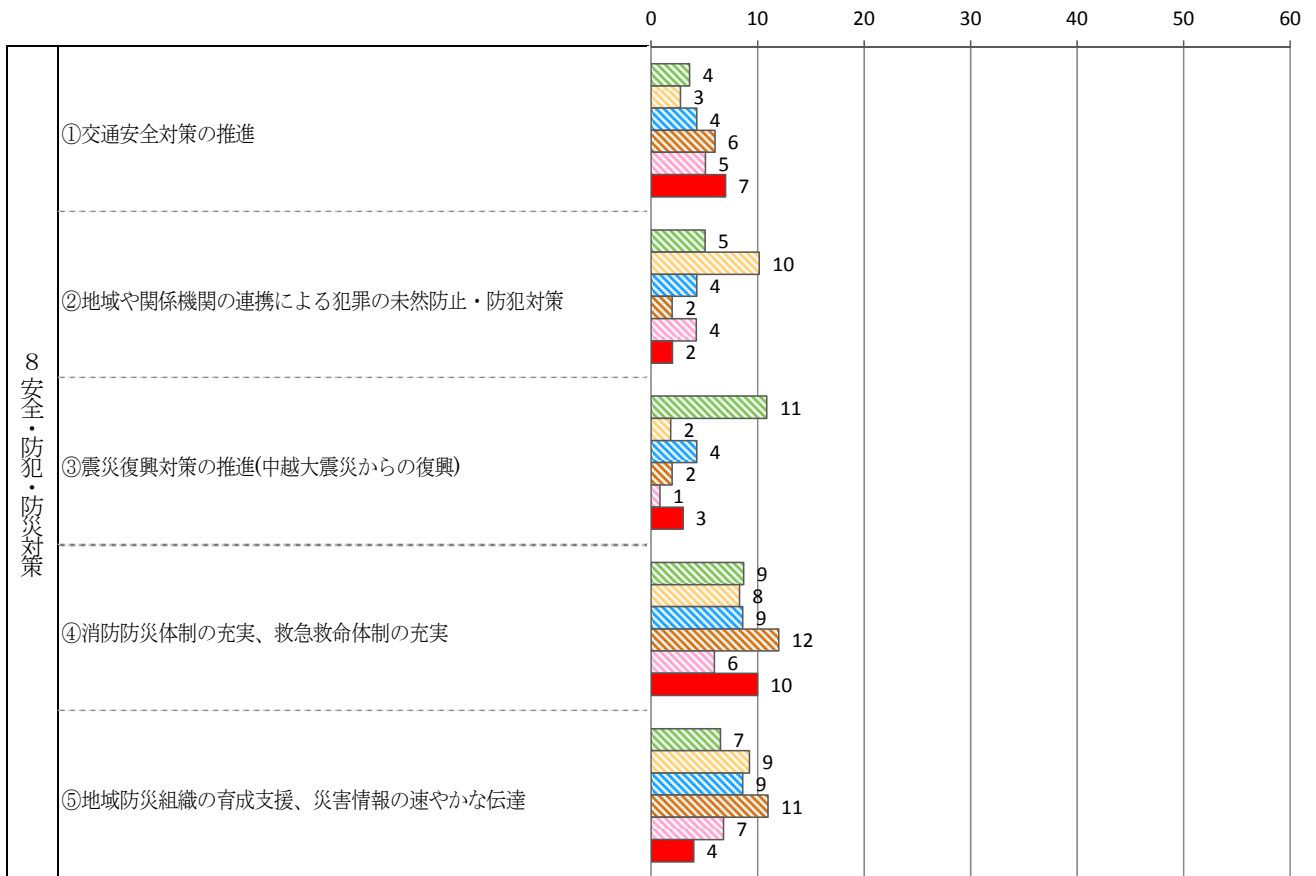


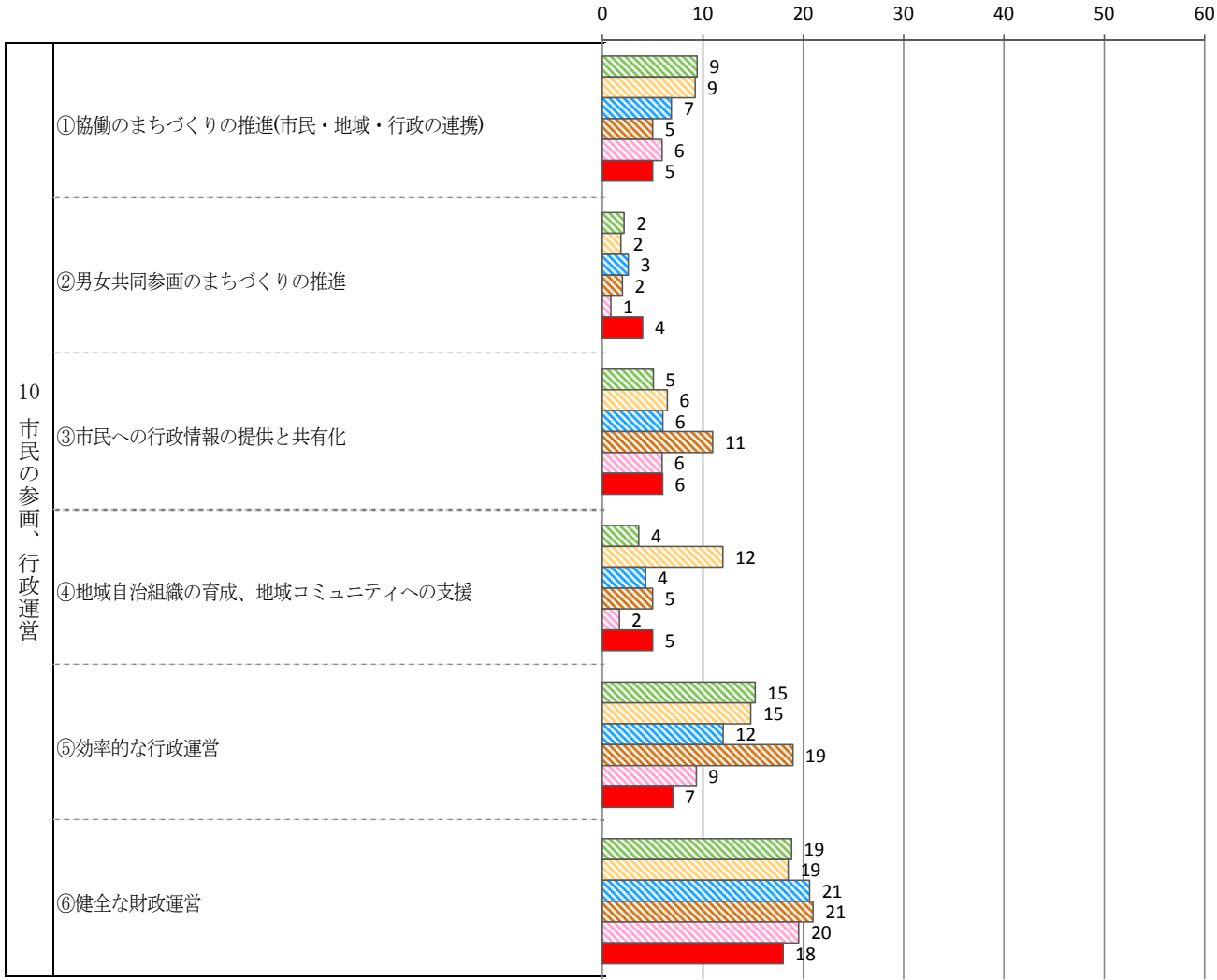
11. 中里





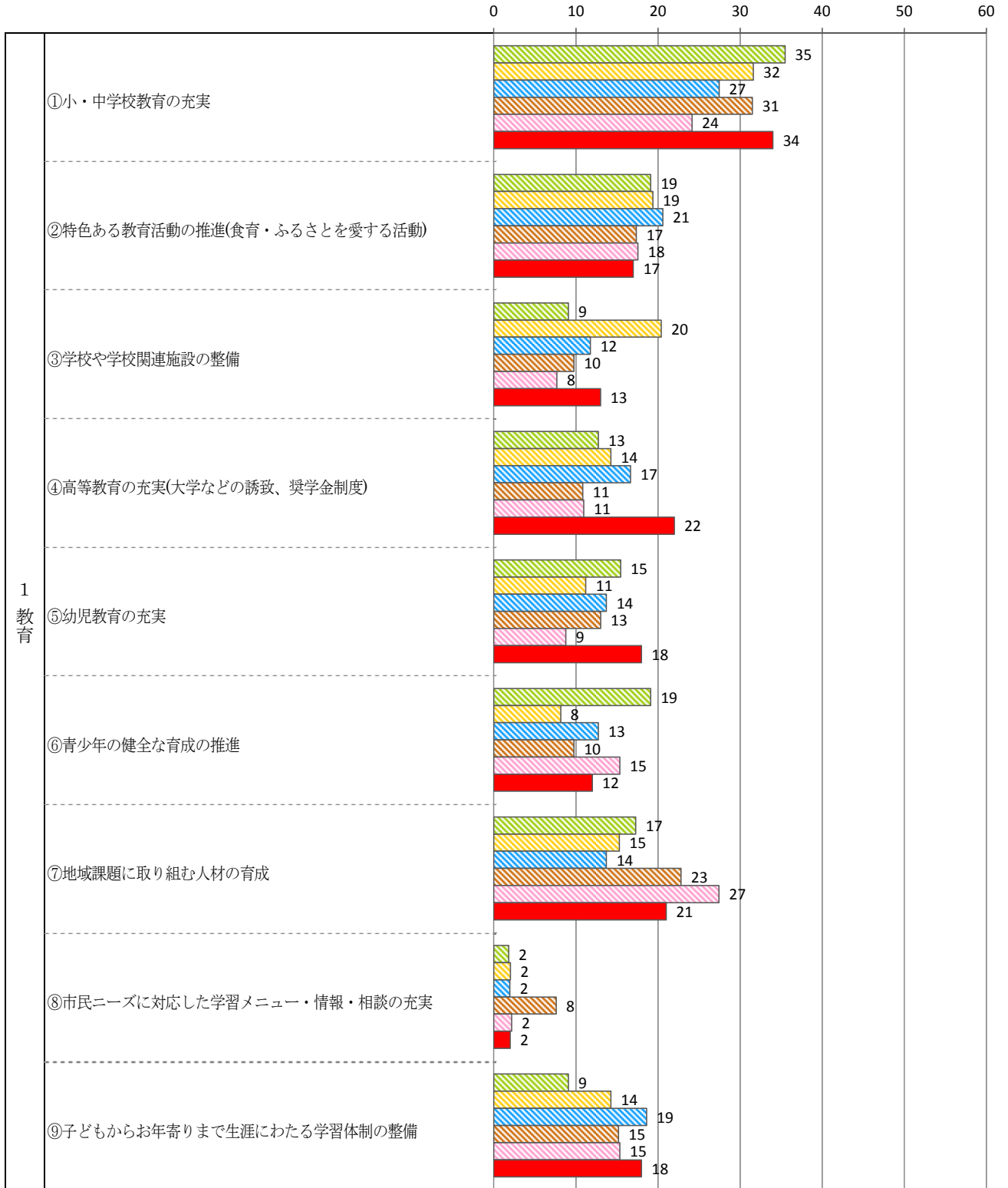
11. 中里

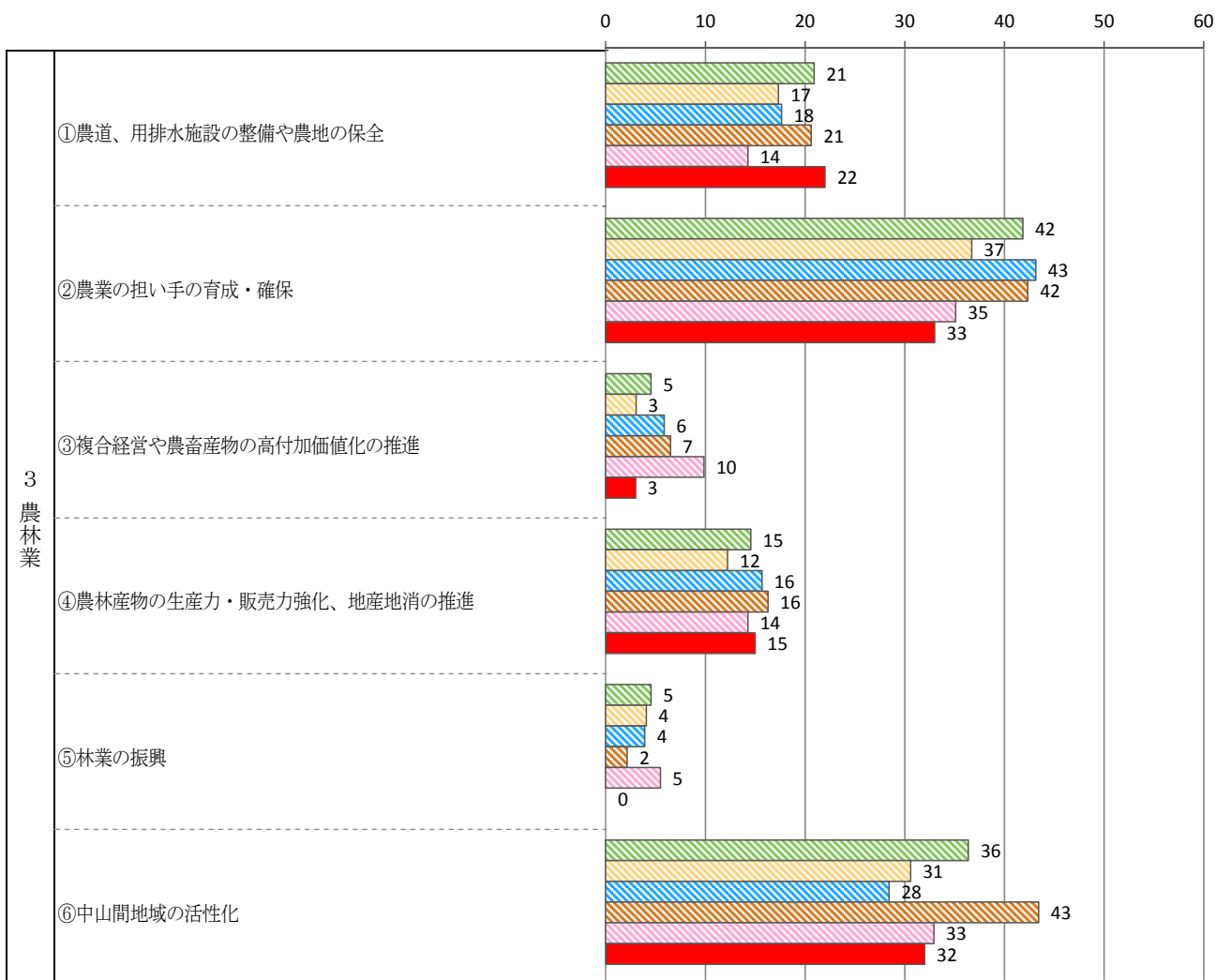
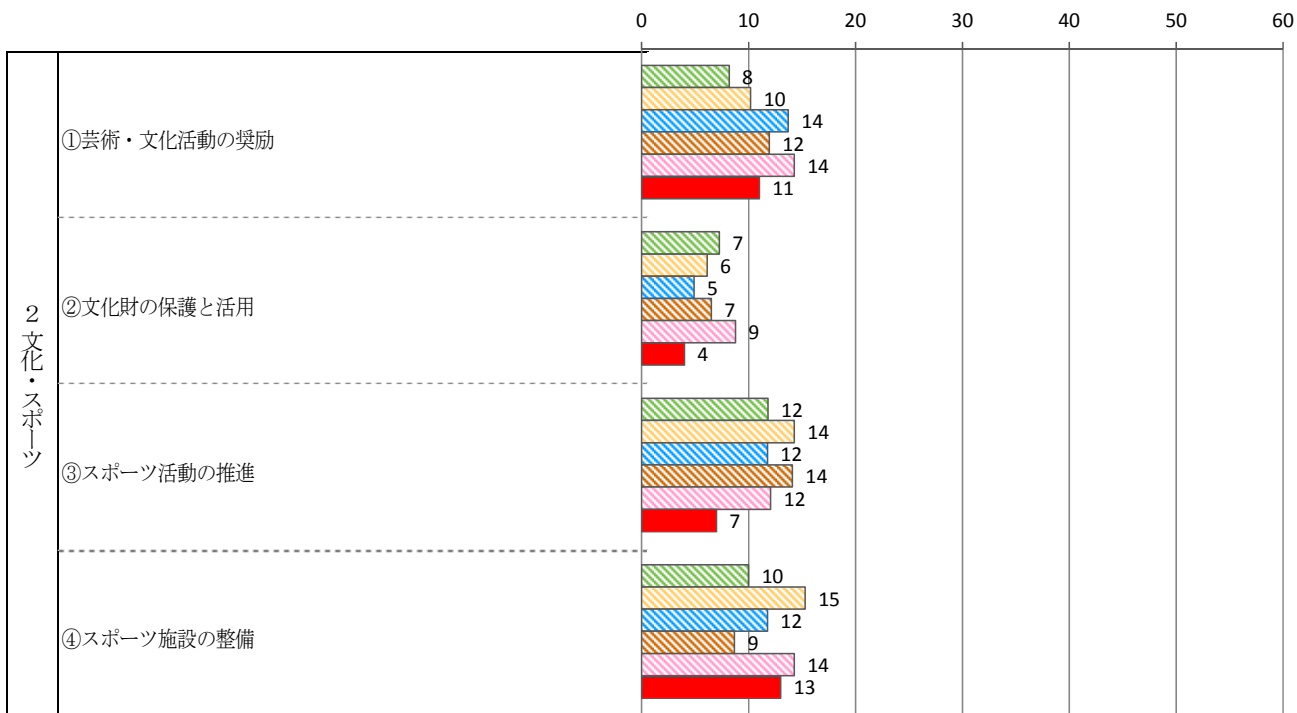




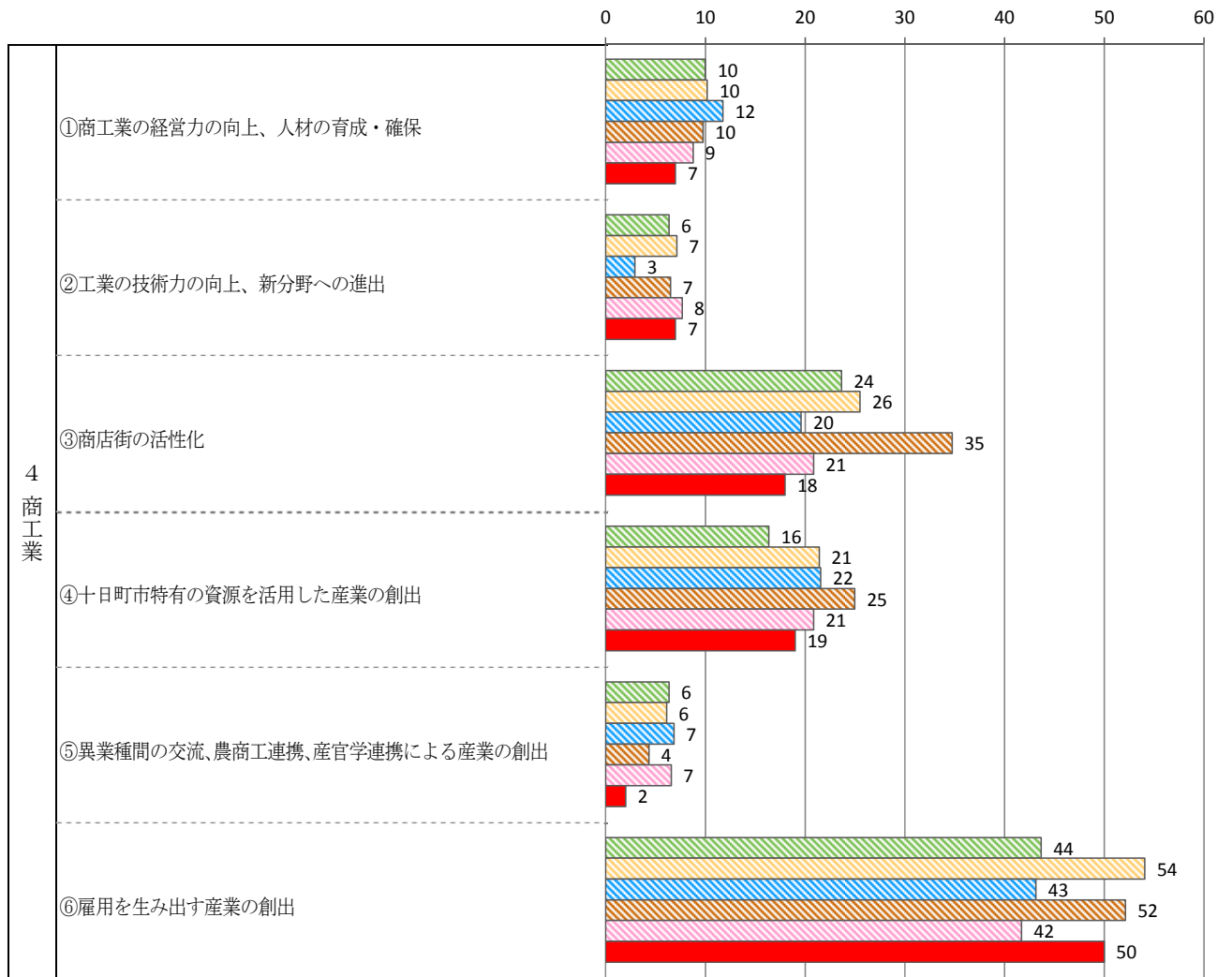
12. 松代

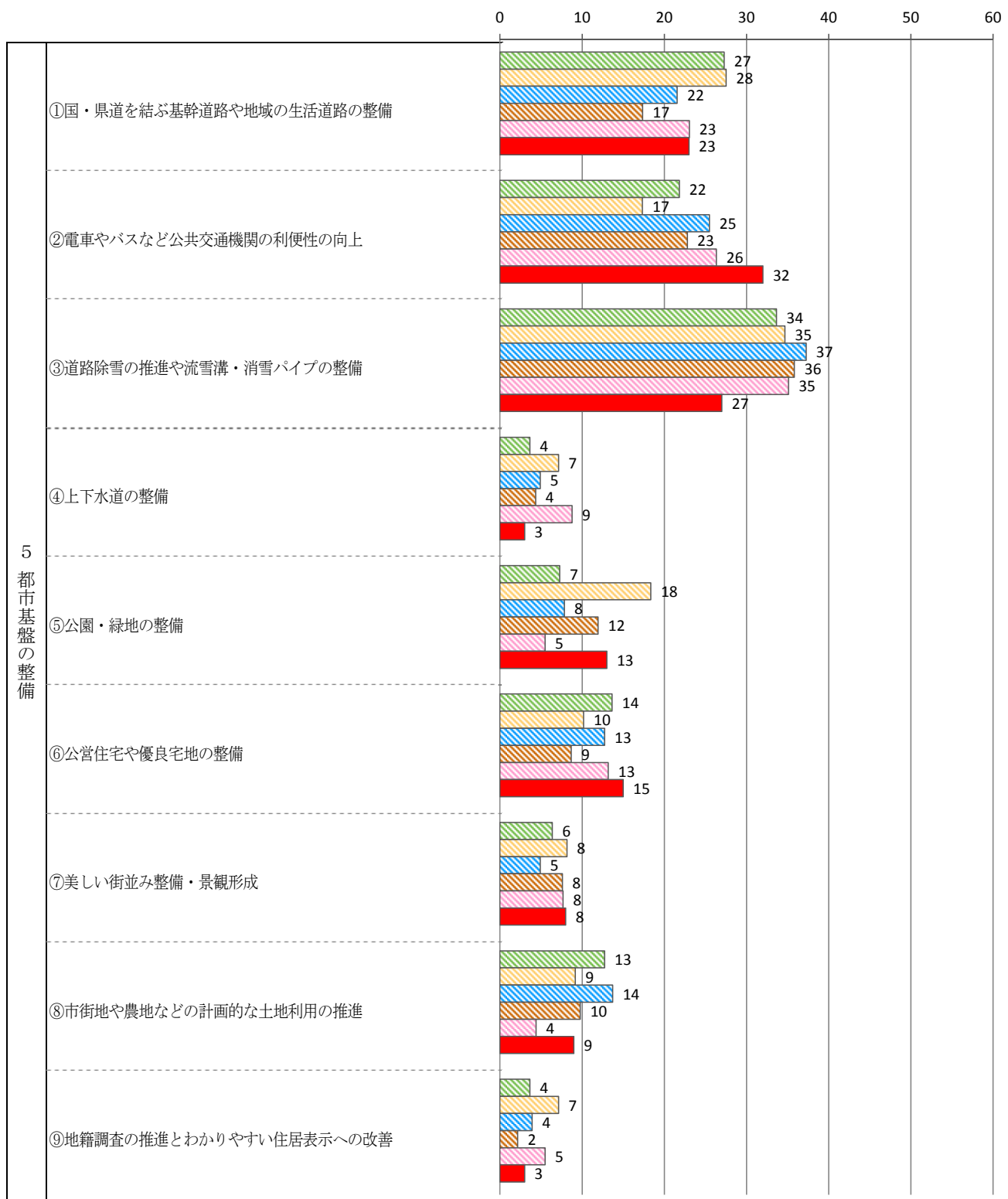
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	111	99	103	93	92	101
補正值	0.91	1.02	0.98	1.09	1.10	1.00



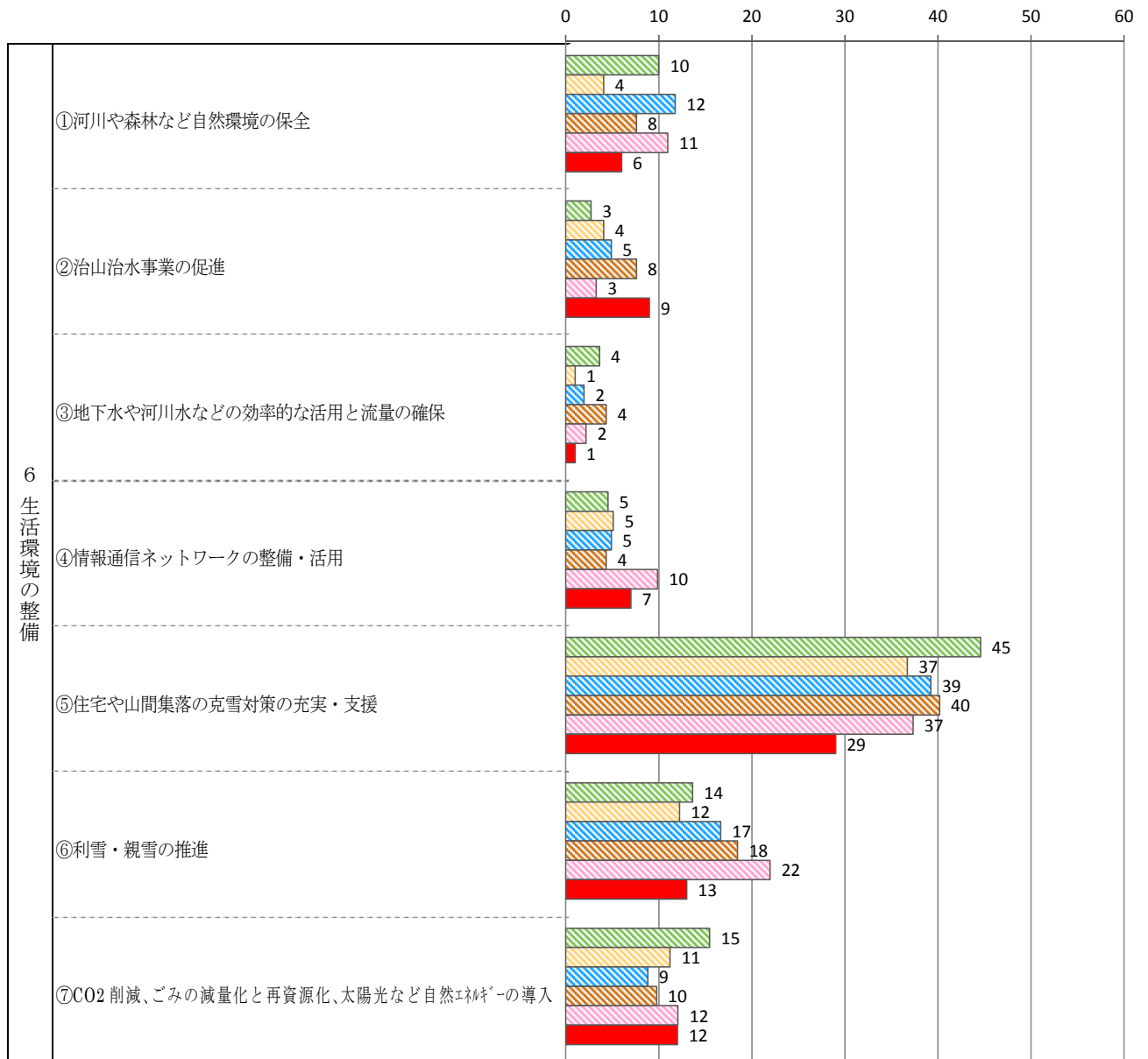


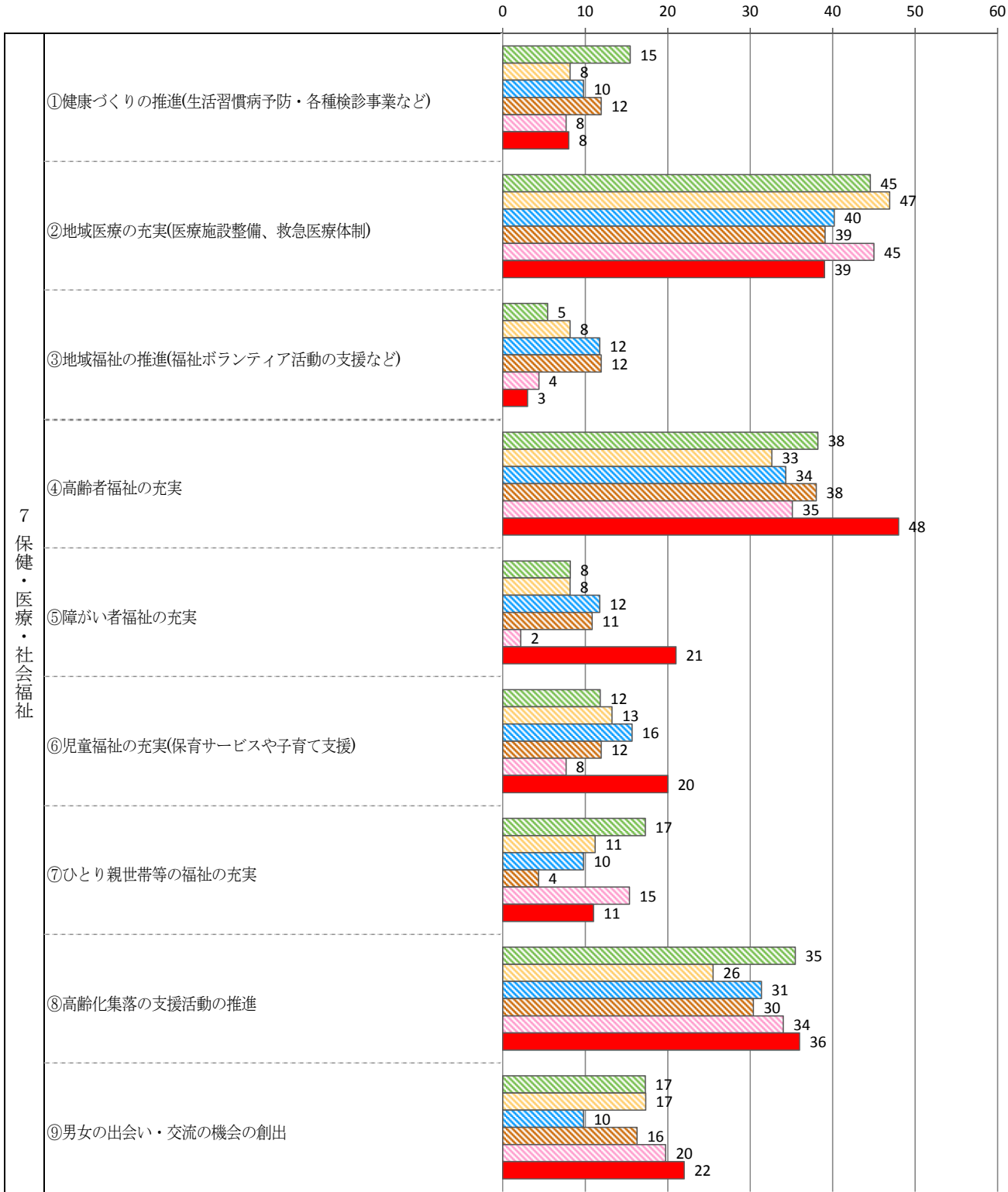
12. 松代



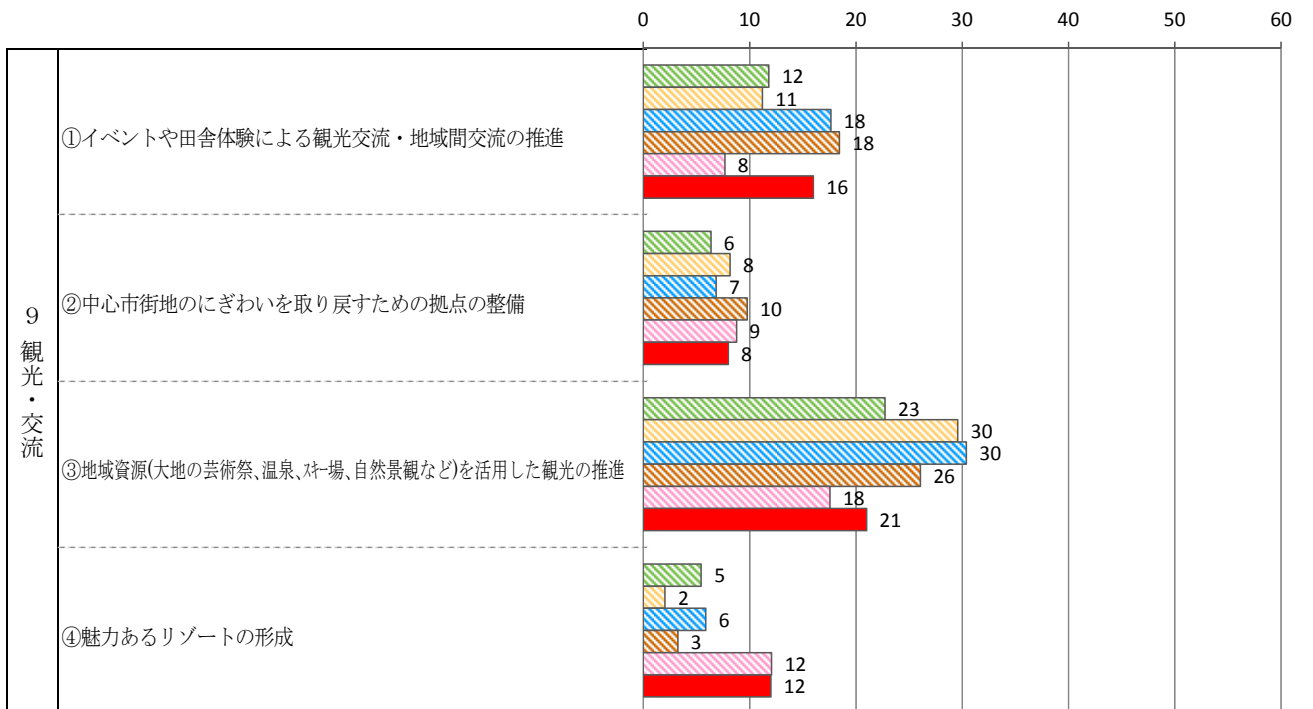
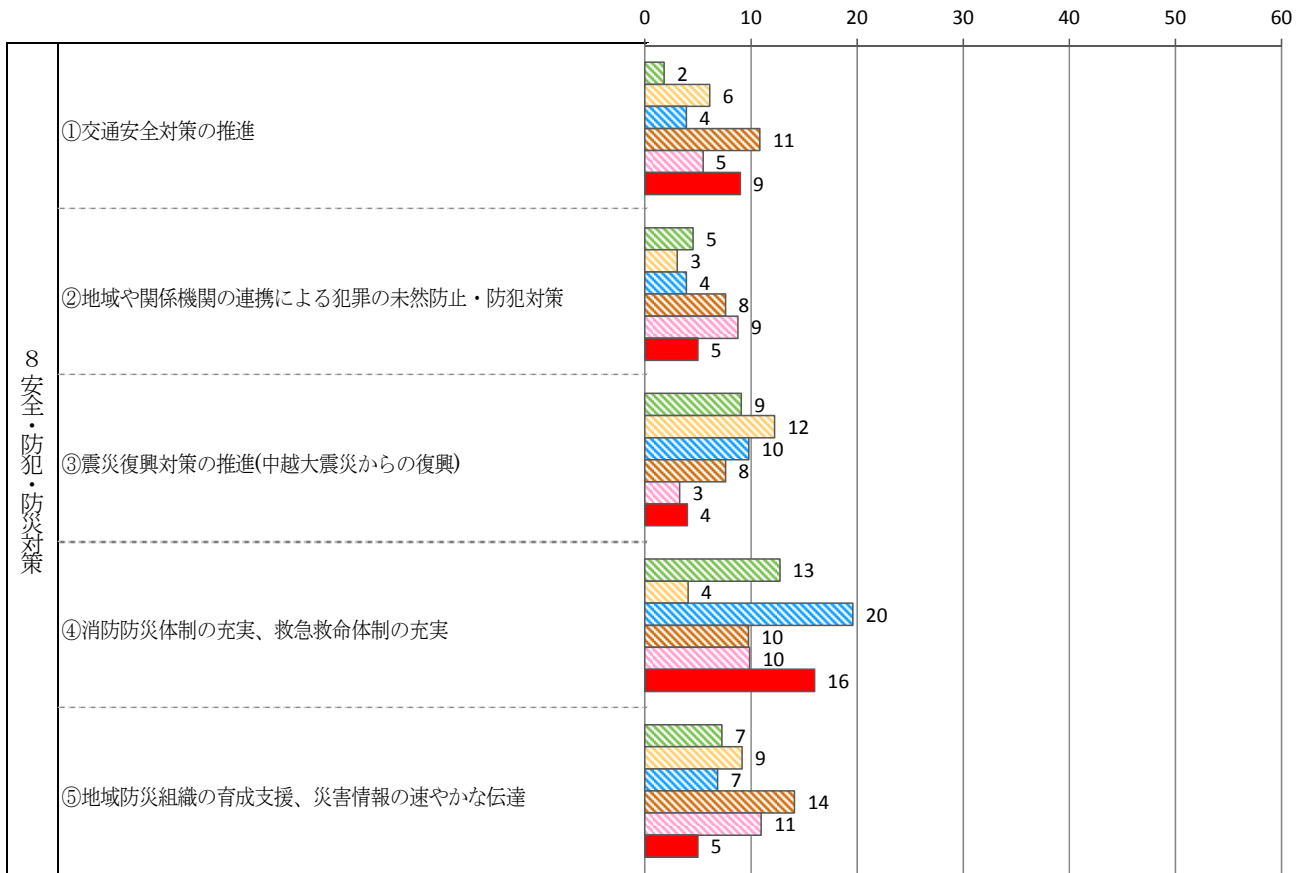
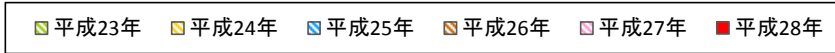


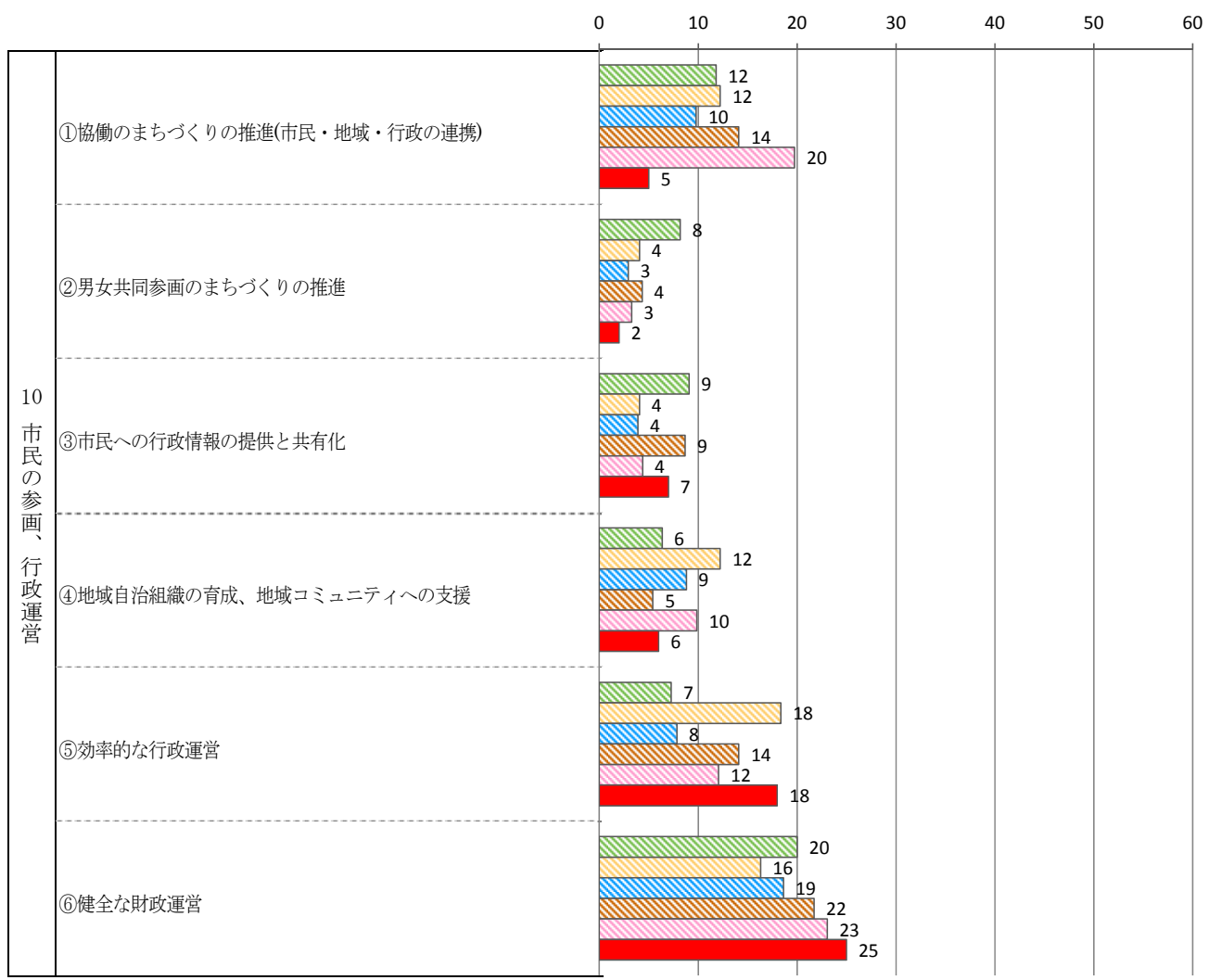
12. 松代





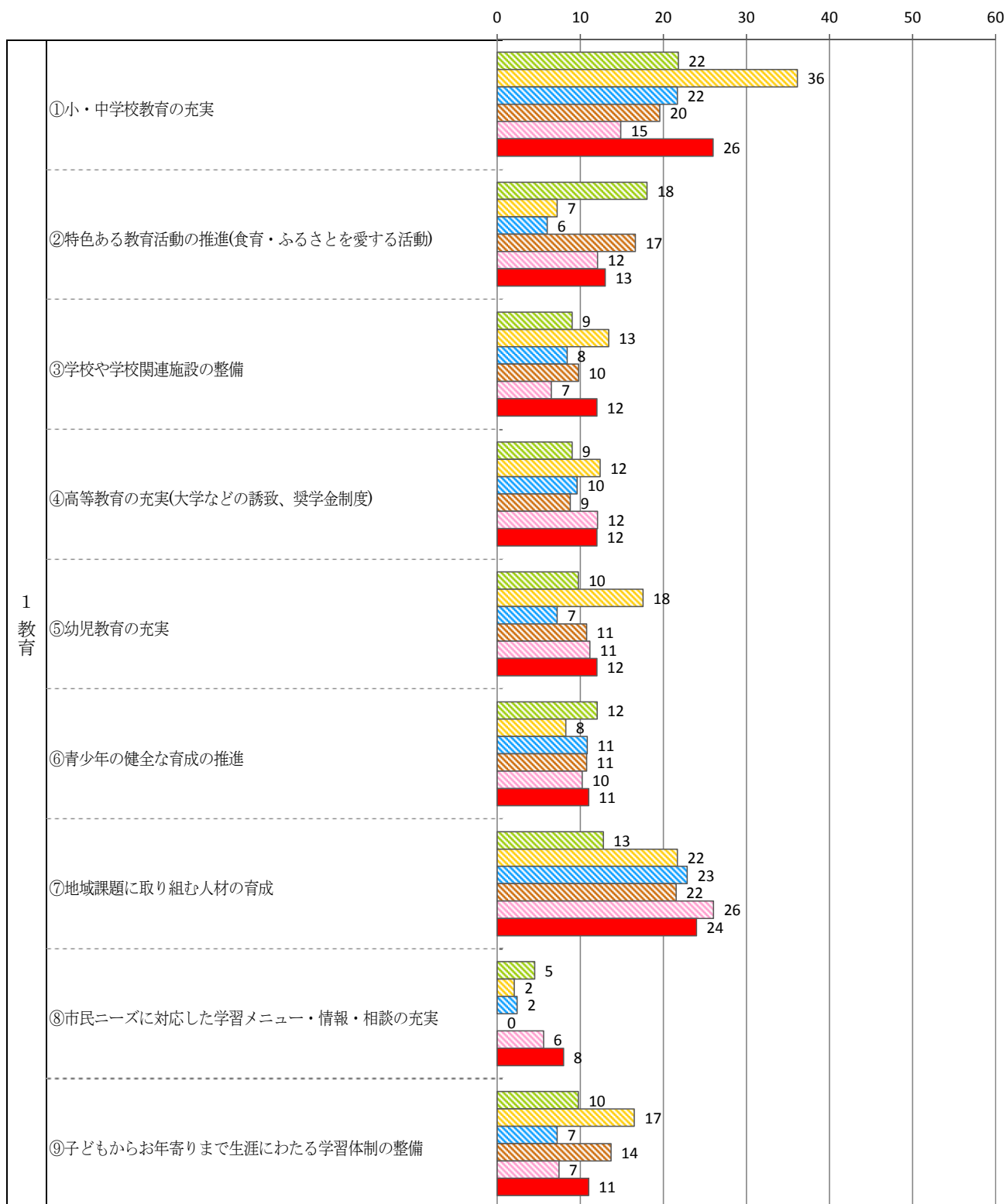
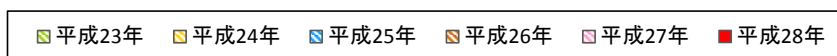
12. 松代

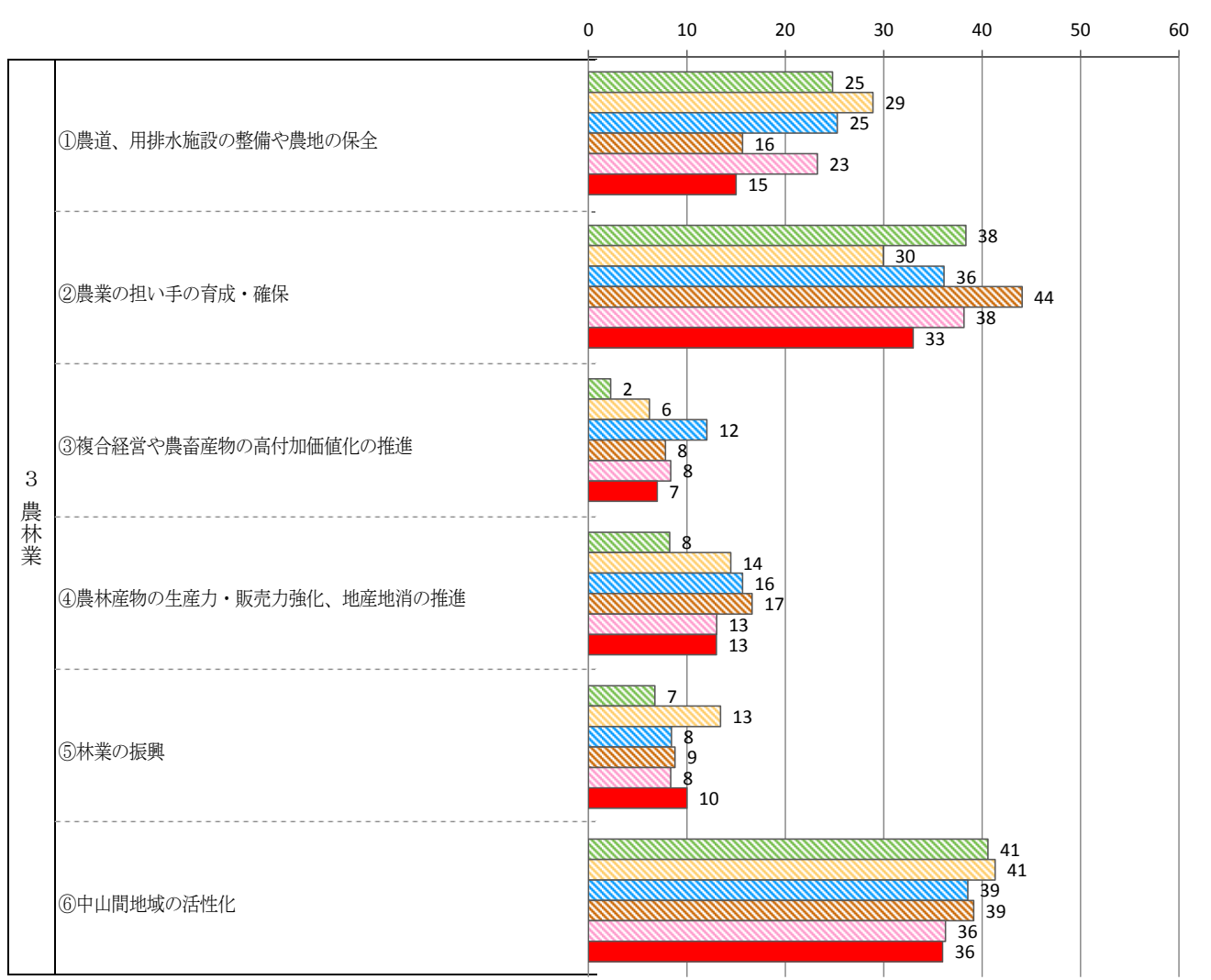
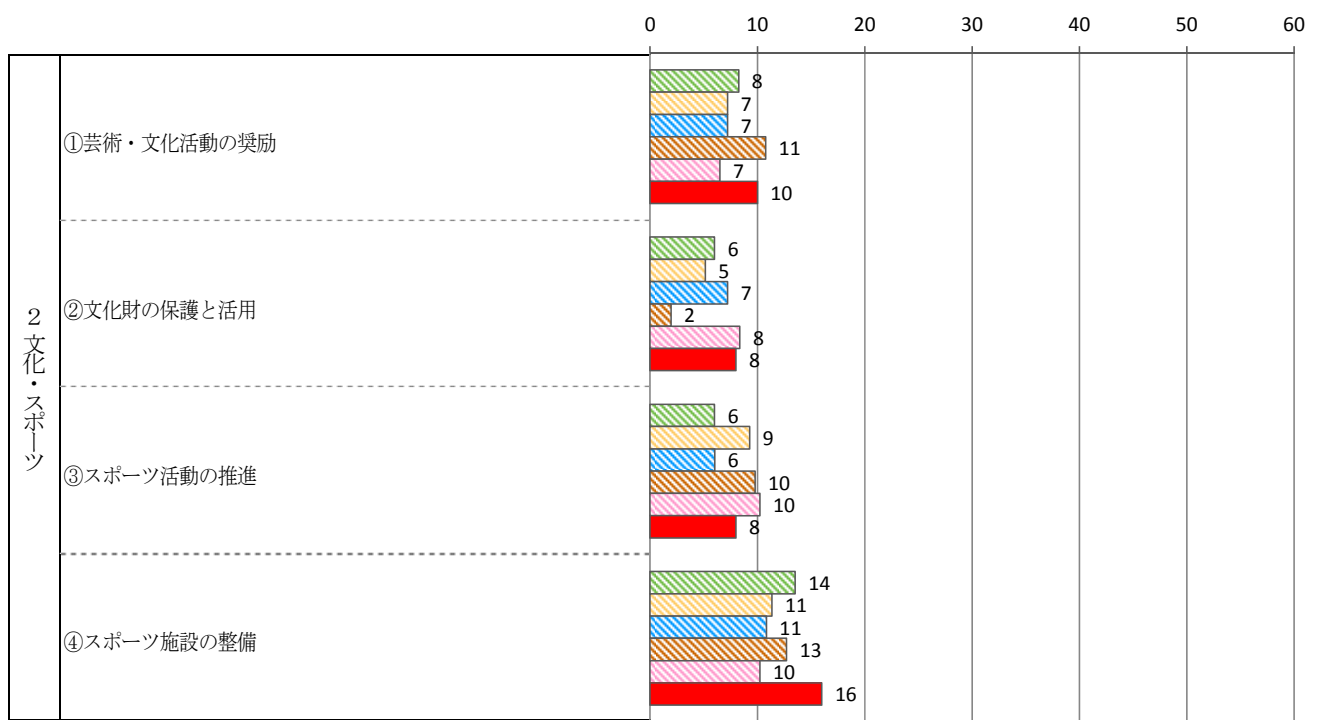




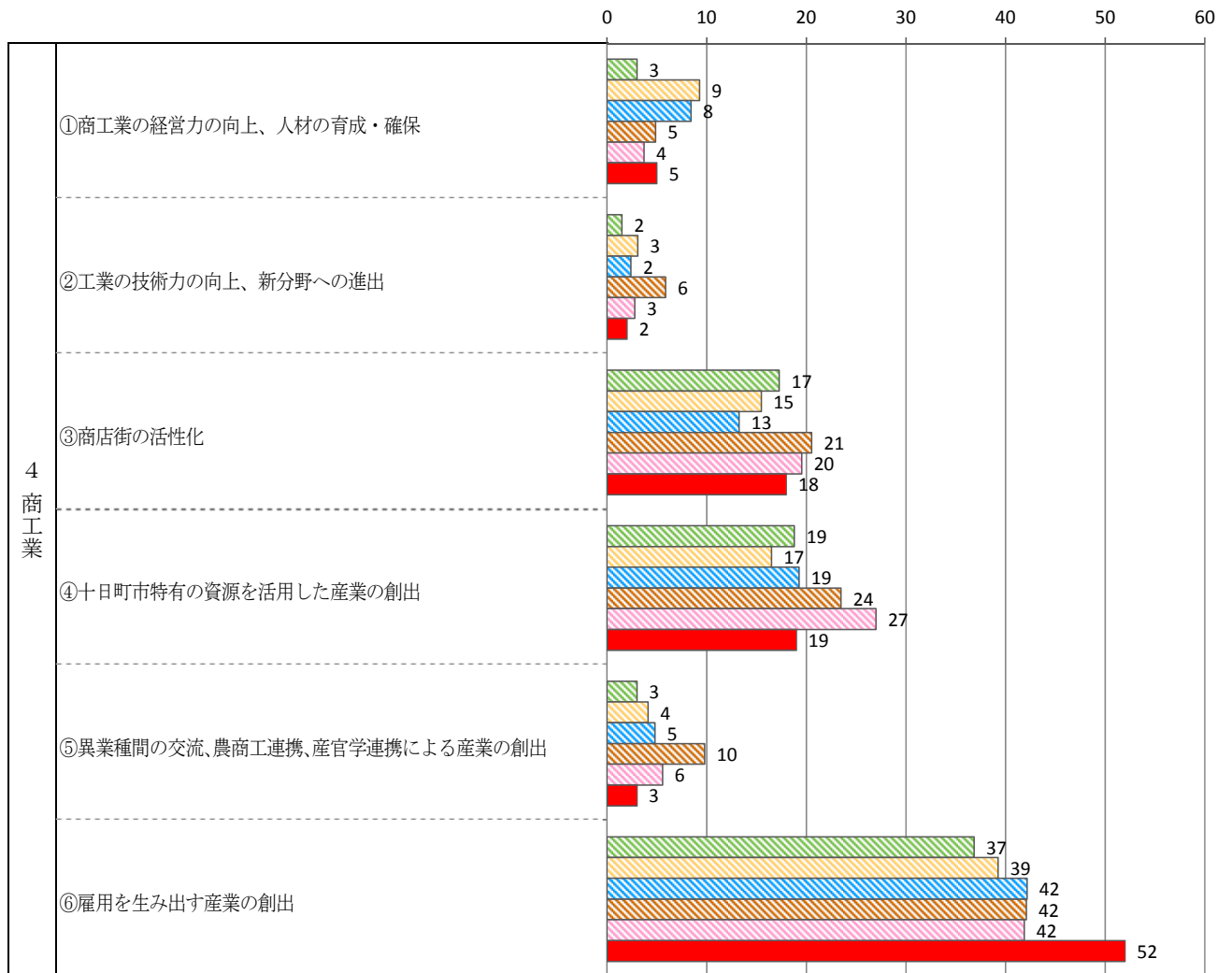
13. 松之山

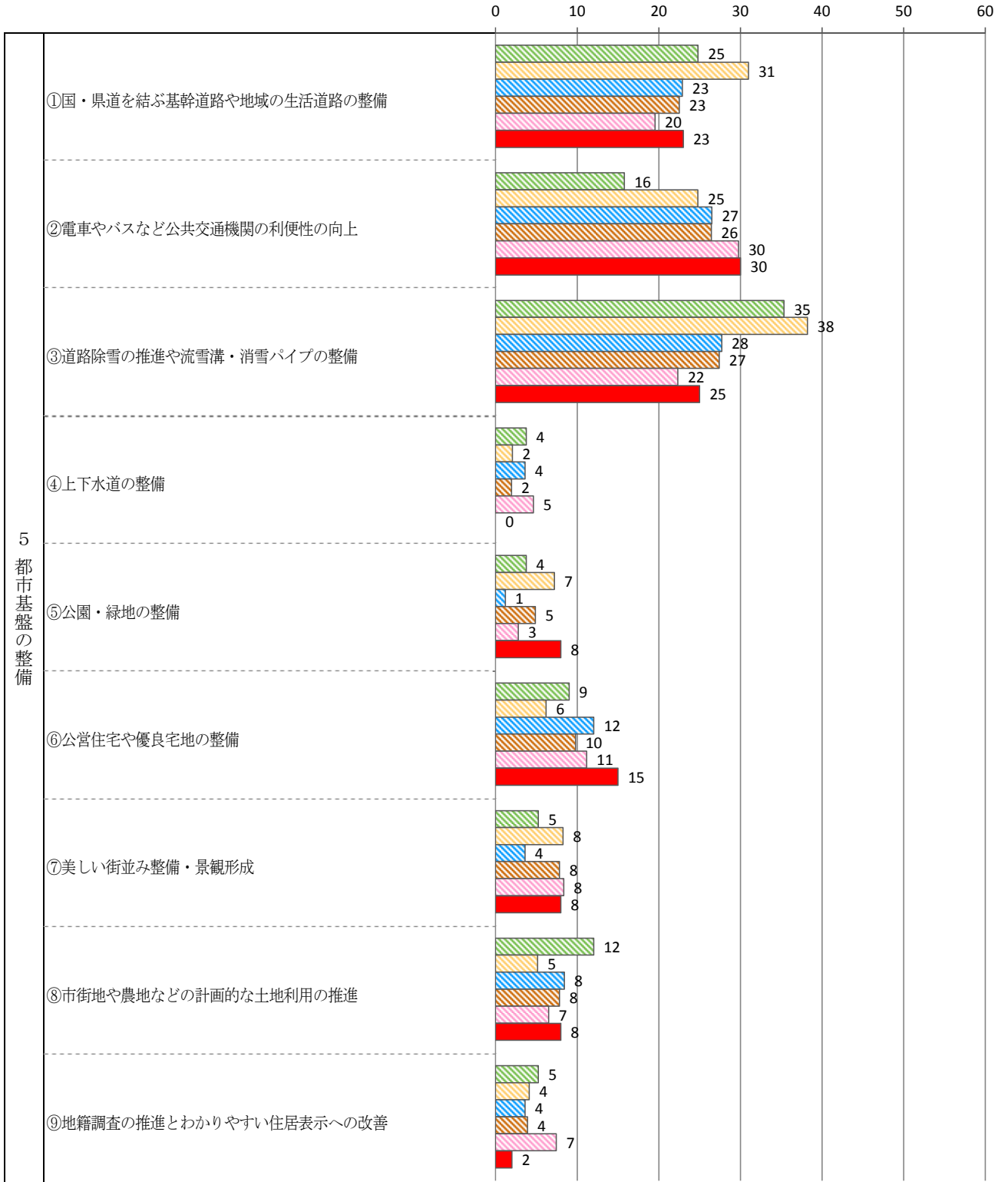
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
有効回答者数 (人)	125	91	78	96	101	94
補正值	0.75	1.03	1.21	0.98	0.93	1.00



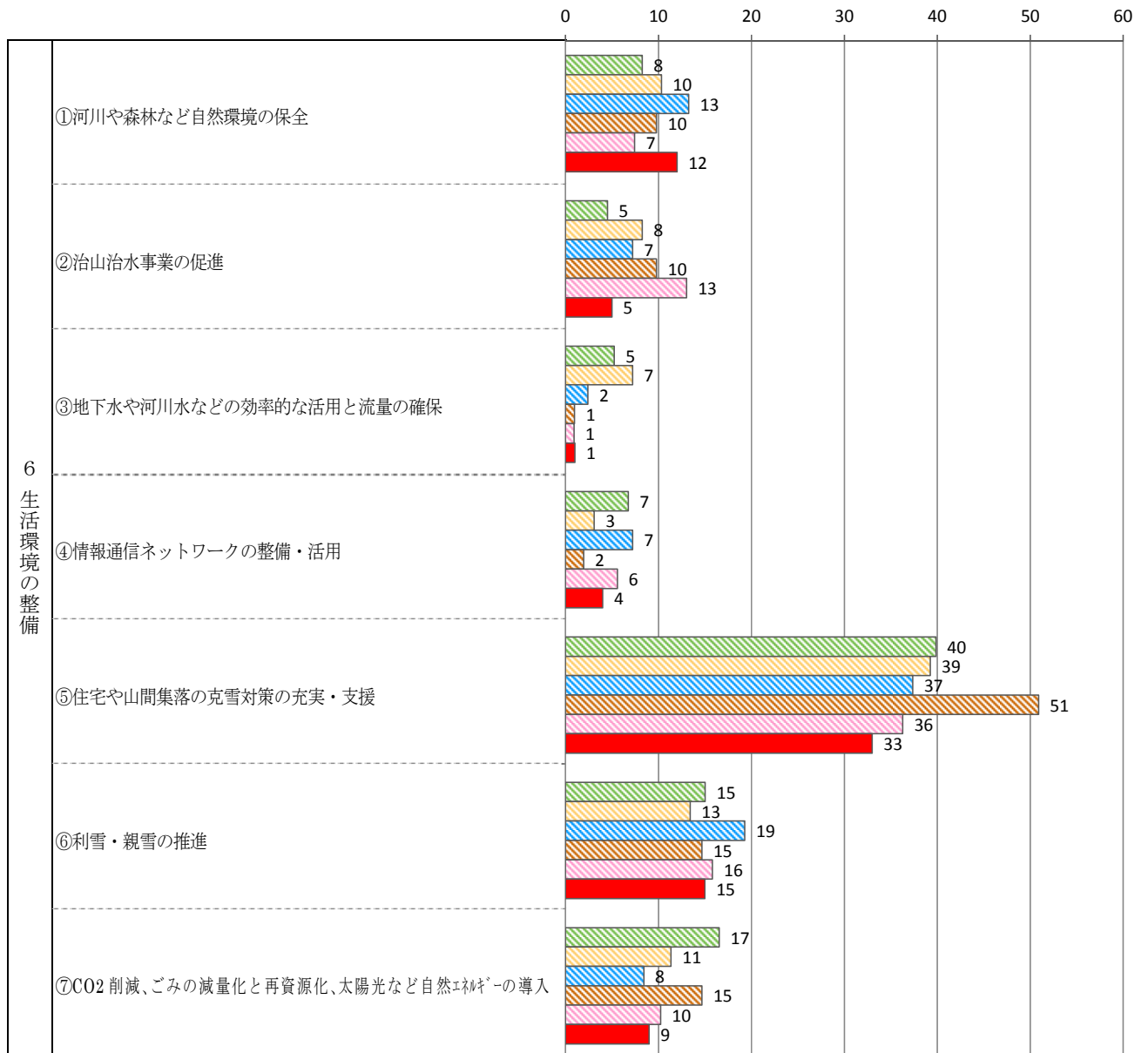


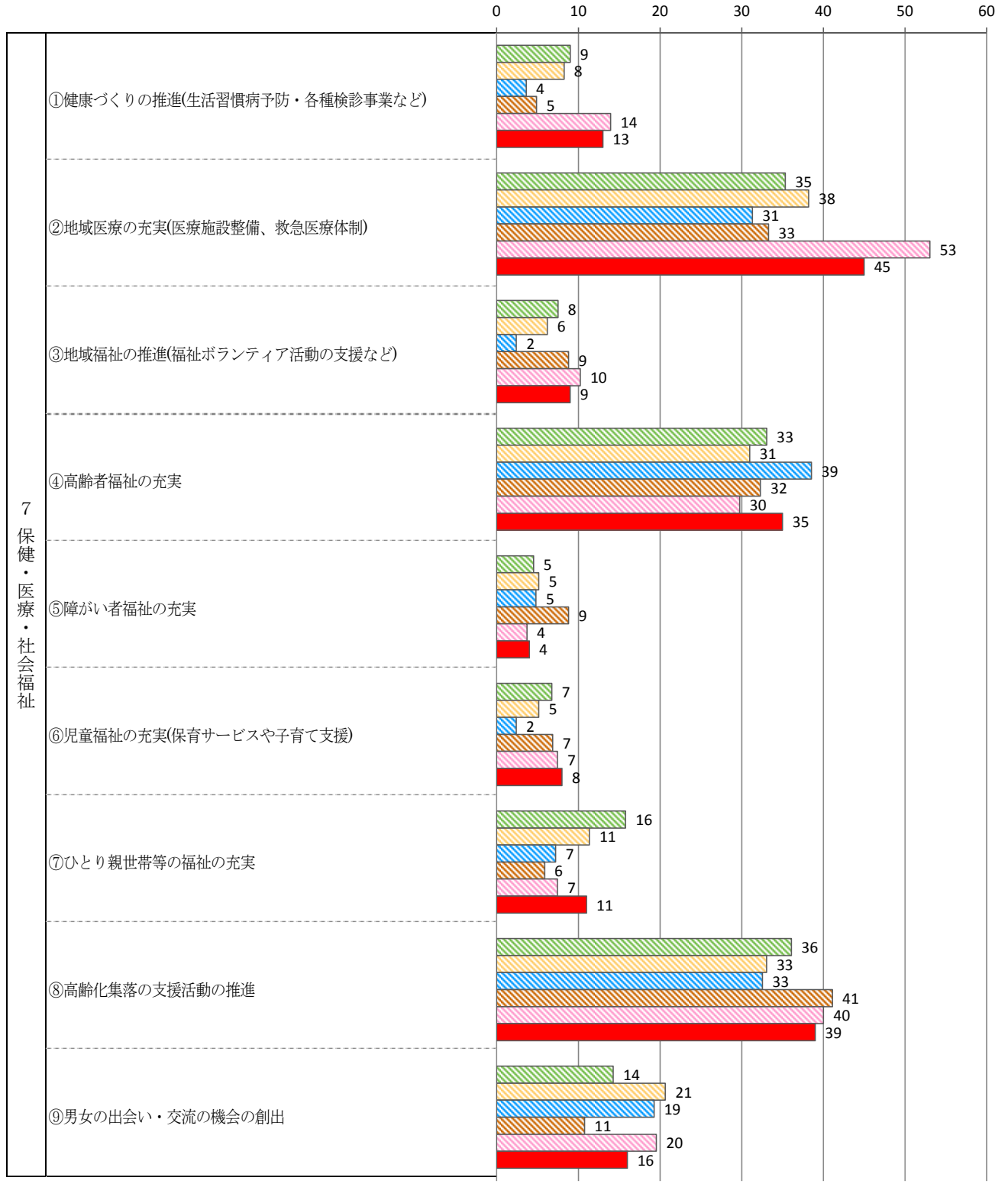
13. 松之山



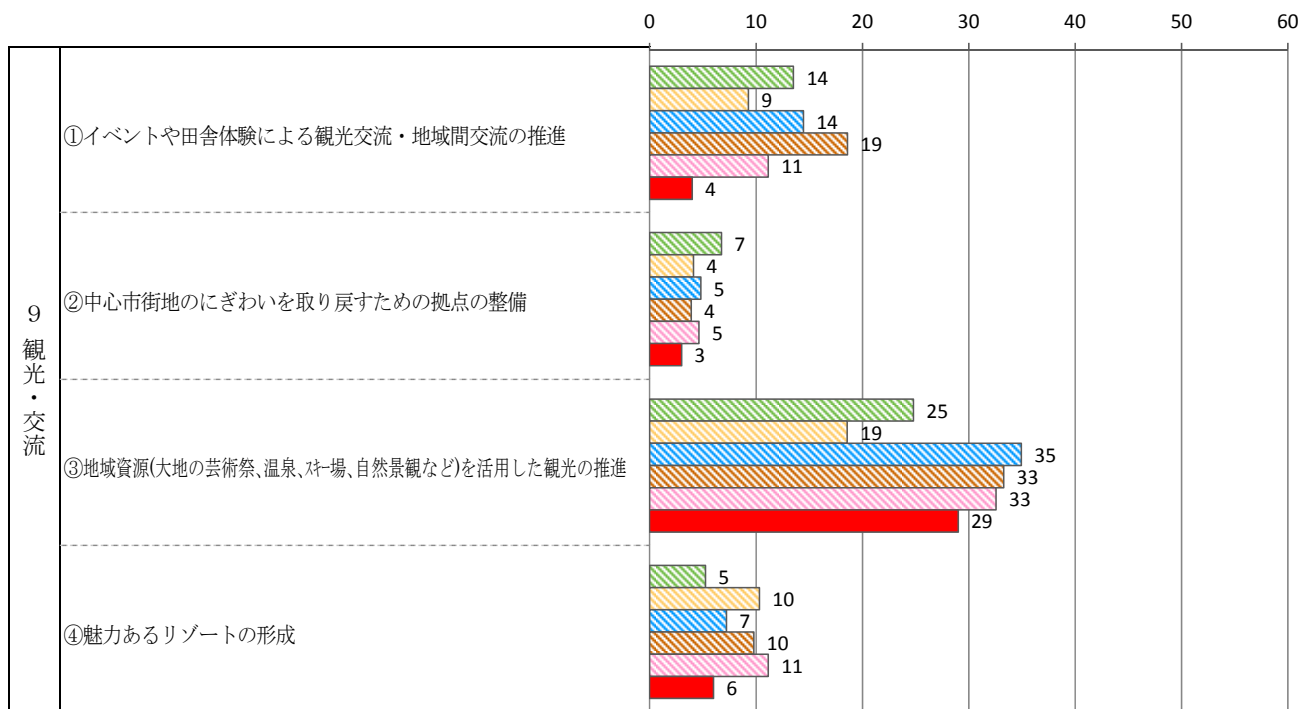
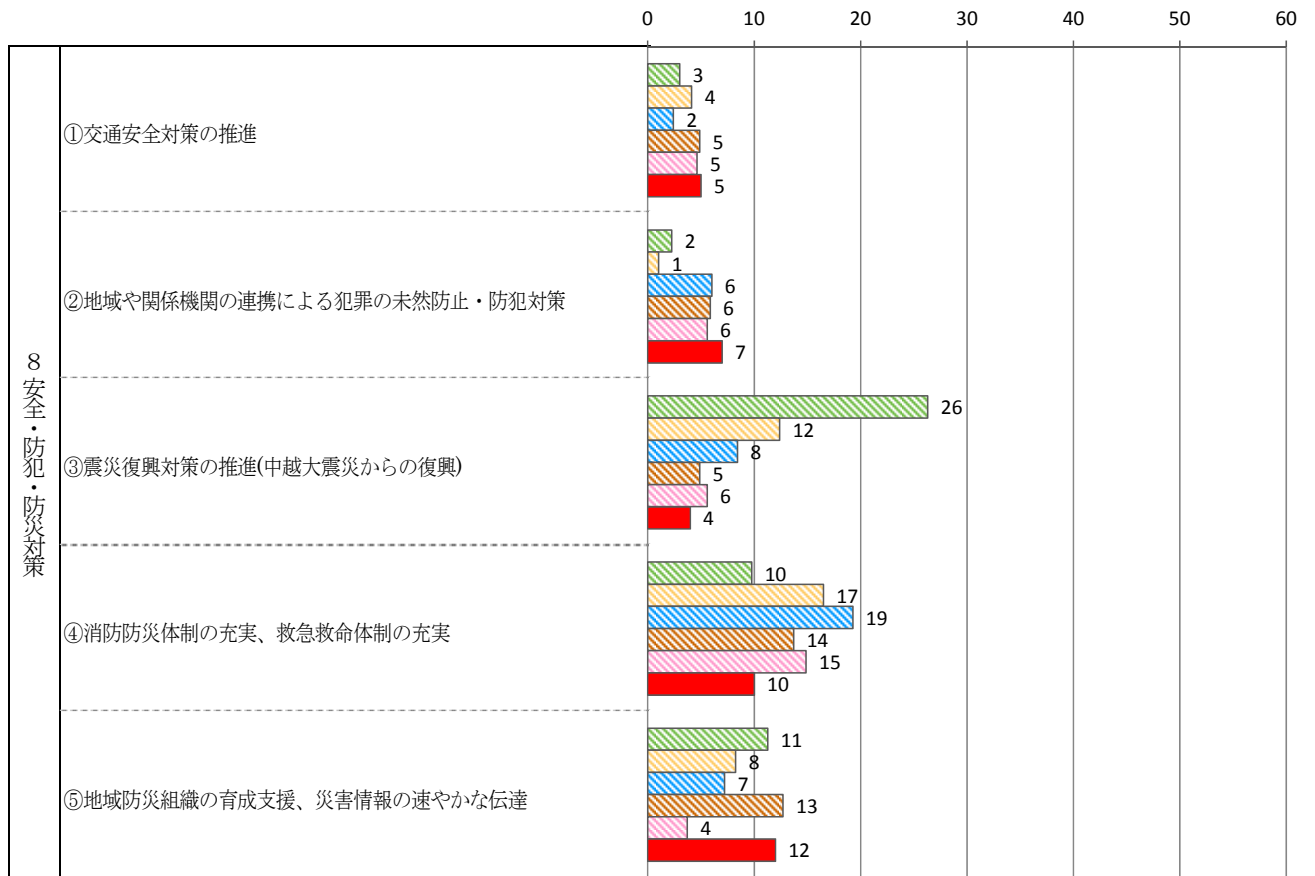
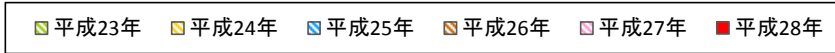


13. 松之山

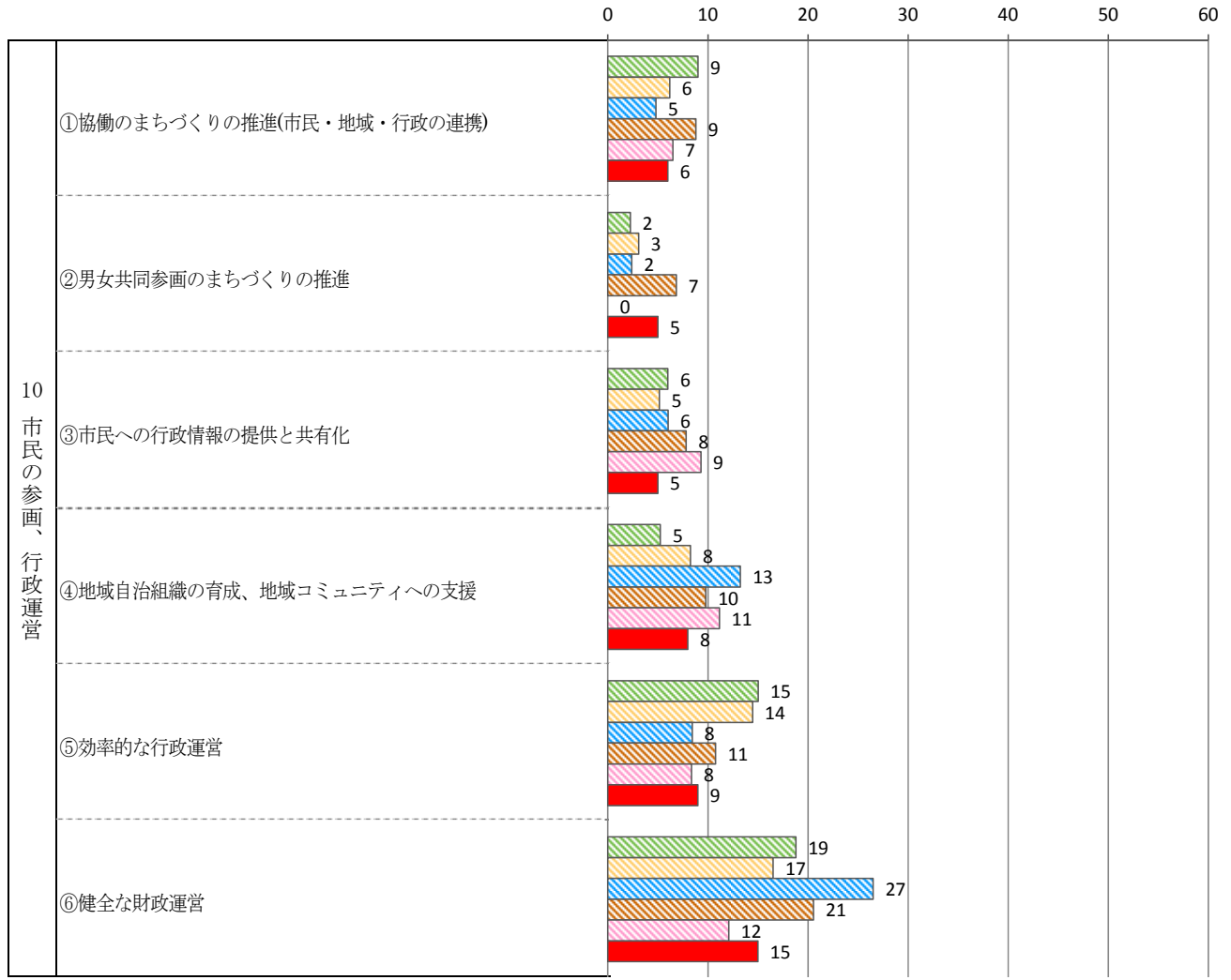




13. 松之山



■平成23年 ■平成24年 ■平成25年 ■平成26年 ■平成27年 ■平成28年

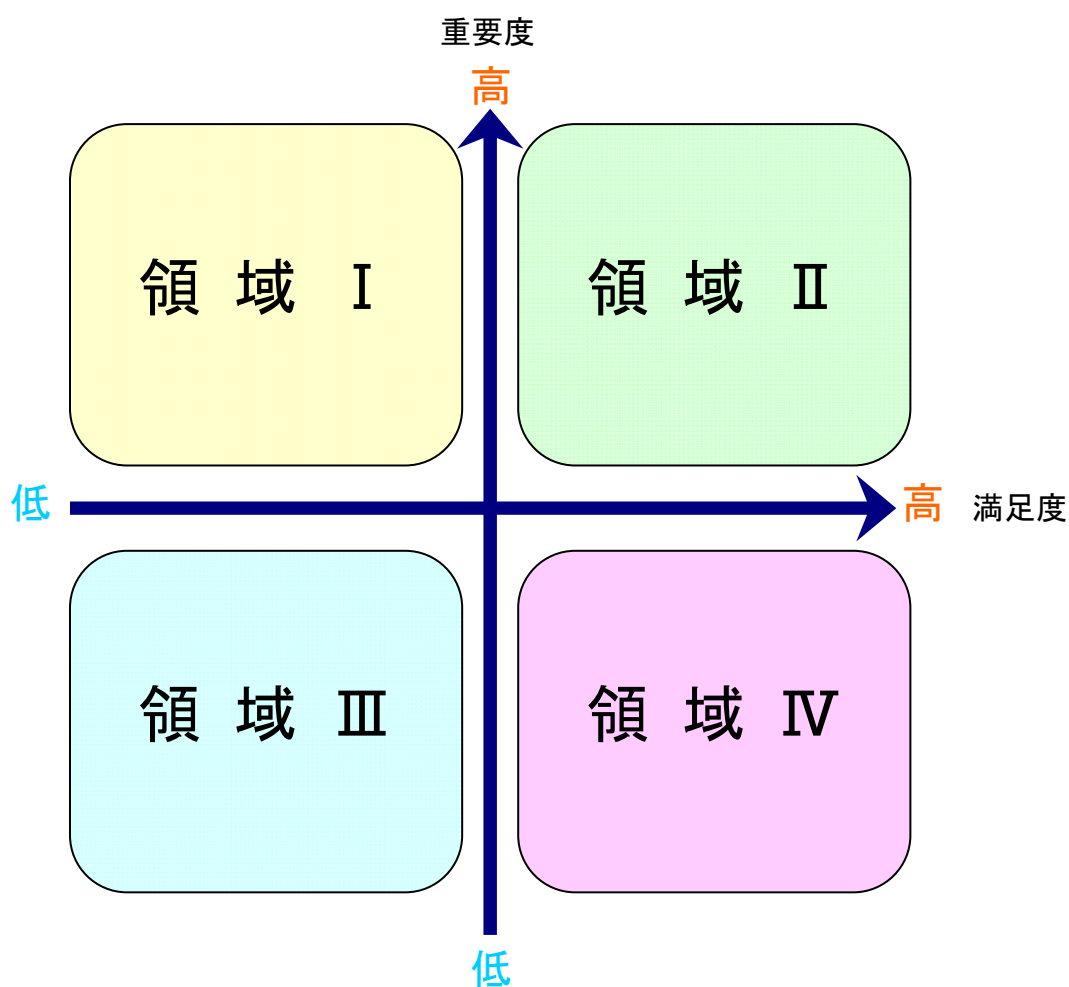


IV. 満足度と重要度のクロス集計

■ 相対分布図

調査結果を集計・数値化した上で、問2の満足度を横軸に、問3の重要度を縦軸として図上にプロットし、『相対分布図』を作成する。

さらに以下の4つの領域に分類し、解析する。(下図参照)



領域 I	重要度[高]・満足度[低]	重点的な改善が必要なもの。
領域 II	重要度[高]・満足度[高]	現状を維持しつつ一層のレベルアップを図るもの。
領域 III	重要度[低]・満足度[低]	的確な改善が望まれるもの。
領域 IV	重要度[低]・満足度[高]	今後も継続して充実を図るもの。

■計算方法

満足度…満足4点、やや満足2点、どちらでもない0点、やや不満-2点、不満-4点
として項目ごとに点数集計し、対象の総数で除することで度数を算出した。
重要度…項目ごとの票数を、対象の総数で除することで度数を算出した。
中央値…全要素を数値順に並べたときの中央に位置する値。

【全体の傾向】

重要度が高い一方、満足度が低いと評価された「領域Ⅰ」では、特に重要度が高い順に並べると「4⑥雇用を生み出す産業の創出」、「7②地域医療の充実」、「7④高齢者福祉の充実」と分布している。

一方、「領域Ⅰ」のうち満足度が特に低い項目は、「4⑥雇用を生み出す産業の創出」、「4③商店街の活性化」、「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性確保」、「4④十日町特有の資源を活用した産業の創出」の順である。

また、重要度が高く、かつ満足度も高い「領域Ⅱ」の中で、重要度・満足度共に高い項目は「1①小中学校教育の充実」である。

【年齢別の傾向】

全ての年齢で「領域Ⅰ」に属す項目は「1④高等教育の充実」、「1⑦地域課題に取り組む人材の教育」、「3②農業の担い手の育成・確保」、「4③商店街の活性化」、「4④十日町特有の資源を活用した産業の創出」、「4⑥雇用を生み出す産業の創出」、「5①国・県道をつなぐ基幹道路や地域の生活道路の整備」、「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」、「7④高齢者福祉の充実」、「7⑧高齢化集落の支援活動の推進」、「10⑥健全な財政運営」である。

また、『20歳代』、『40歳代』、『60歳代』、『70歳代』では、満足度の中央値が全体の中央値を下回っている一方で、『30歳代』、『50歳代』では上回っている。

【地域別の傾向】

全ての地域で「領域Ⅰ」に属す項目は「1④高等教育の充実」、「3②農業の担い手の育成・確保」、「4③商店街の活性化」、「4④十日町特有の資源を活用した産業の創出」、「4⑥雇用を生み出す産業の創出」、「5②電車やバスなど公共交通機関の利便性の向上」、「7⑧高齢化集落の支援活動の推進」、「7⑨男女の出会い・交流の機会の創出」である。

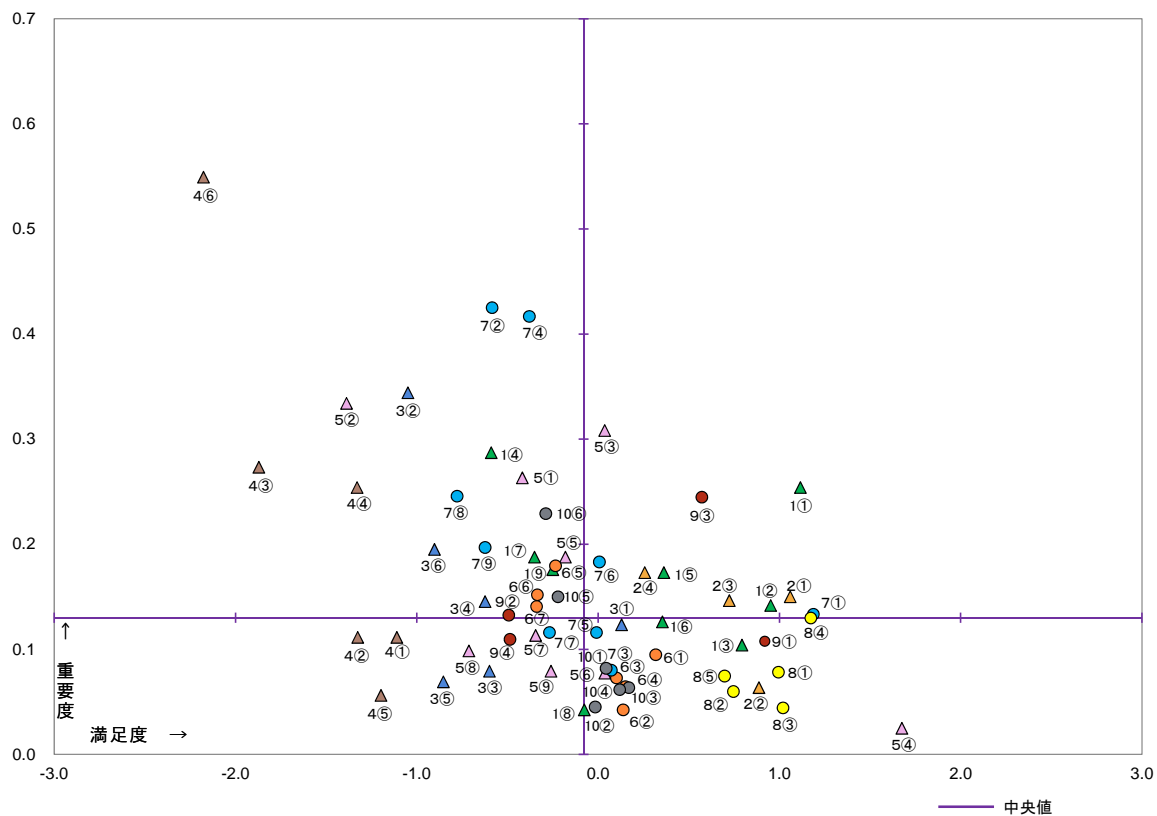
「4⑥雇用を生み出す産業の創出」については、『松之山』以外の地域で満足度が最も低く、すべての地域で重要度が最も高い。また、『松之山』では「7②地域医療の充実」の満足度が最も低い。

また、『中条・飛渡』では、満足度の中央値が全体の中央値を大きく下回っている一方で、『松代』では大きく上回っている。

クロス集計の凡例

- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|--------------|
| ▲ 1. 教育について | ▲ 2. 文化・スポーツについて | ▲ 3. 農林業について | ▲ 4. 商工業について |
| ▲ 5. 都市基盤の整備について | ● 6. 生活環境の整備について | ● 7. 保健・医療・社会福祉について | |
| ● 8. 安全・防犯・防災対策について | ● 9. 観光・交流について | ● 10. 市民の参画、行政運営について | |

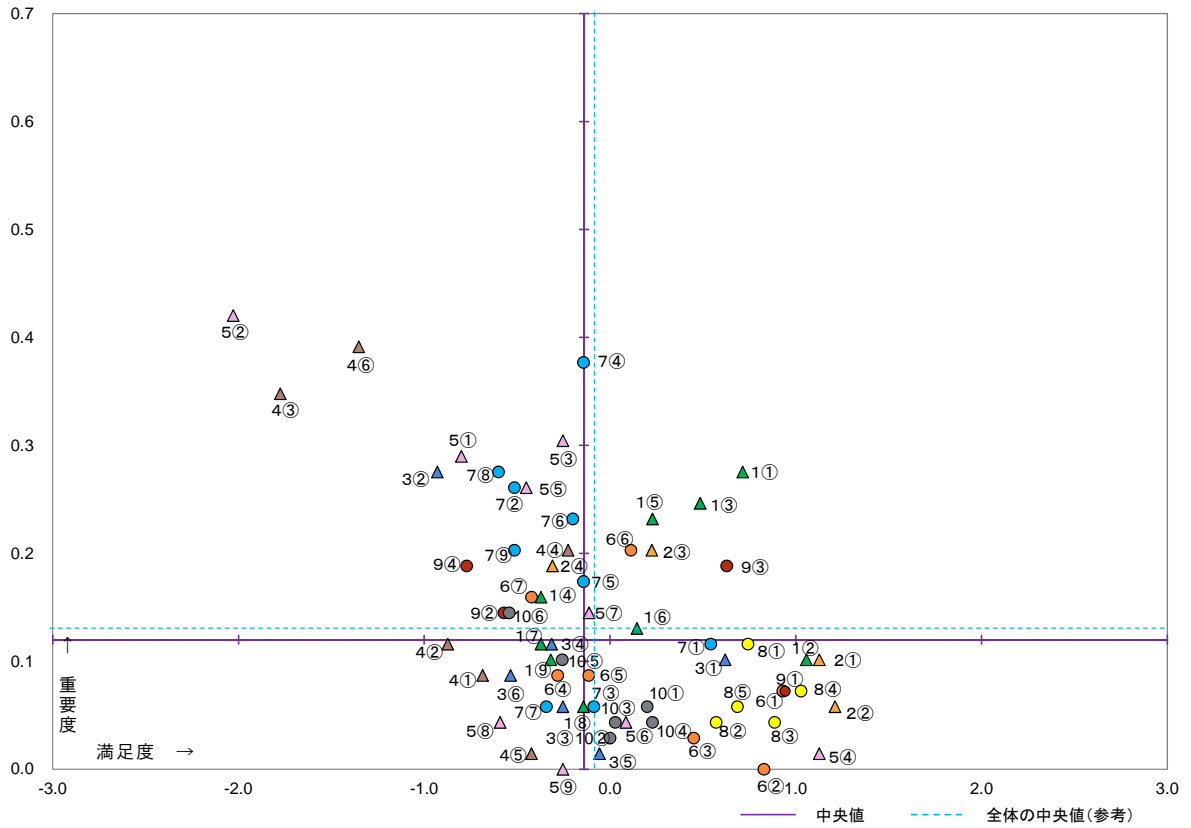
【全体の傾向】



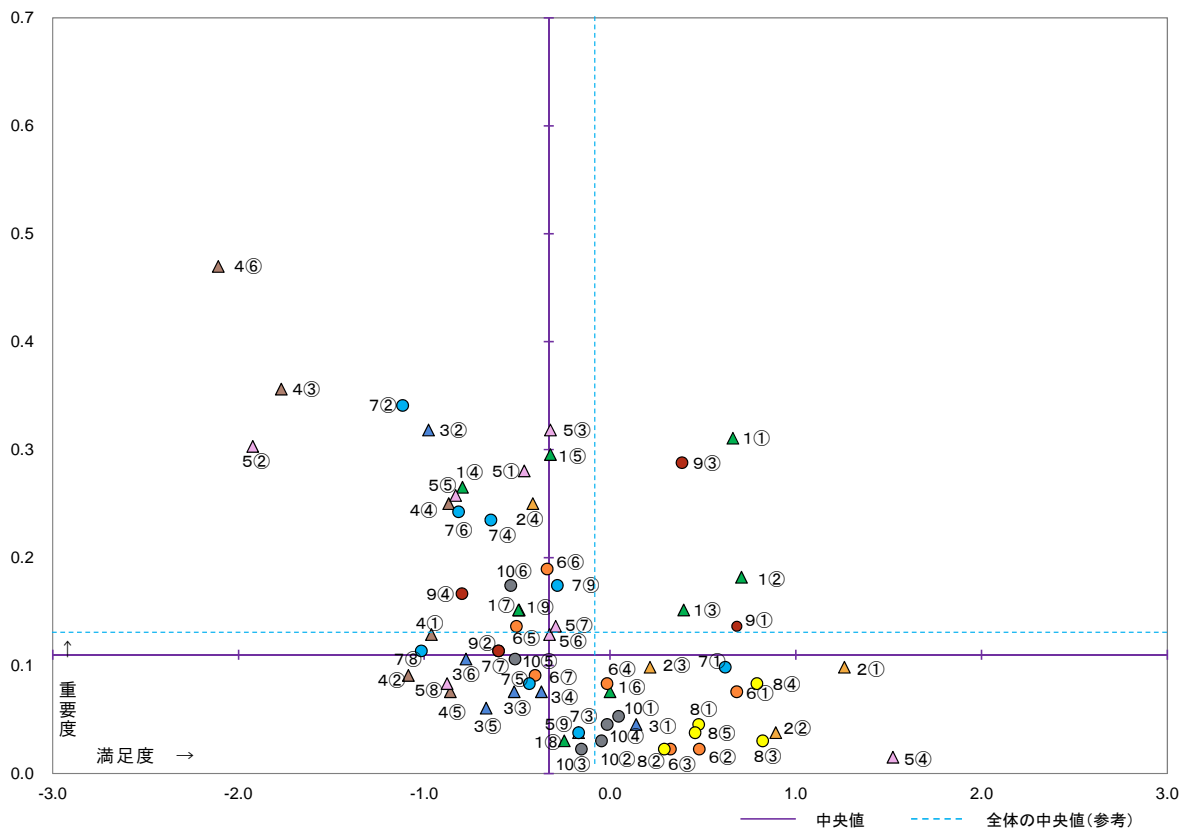
- ▲ 1. 教育について ▲ 2. 文化・スポーツについて ▲ 3. 農林業について ▲ 4. 商工業について
- ▲ 5. 都市基盤の整備について ● 6. 生活環境の整備について ● 7. 保健・医療・社会福祉について
- 8. 安全・防犯・防災対策について ● 9. 観光・交流について ● 10. 市民の参画、行政運営について

【年齢別集計】

1. 20 歳代

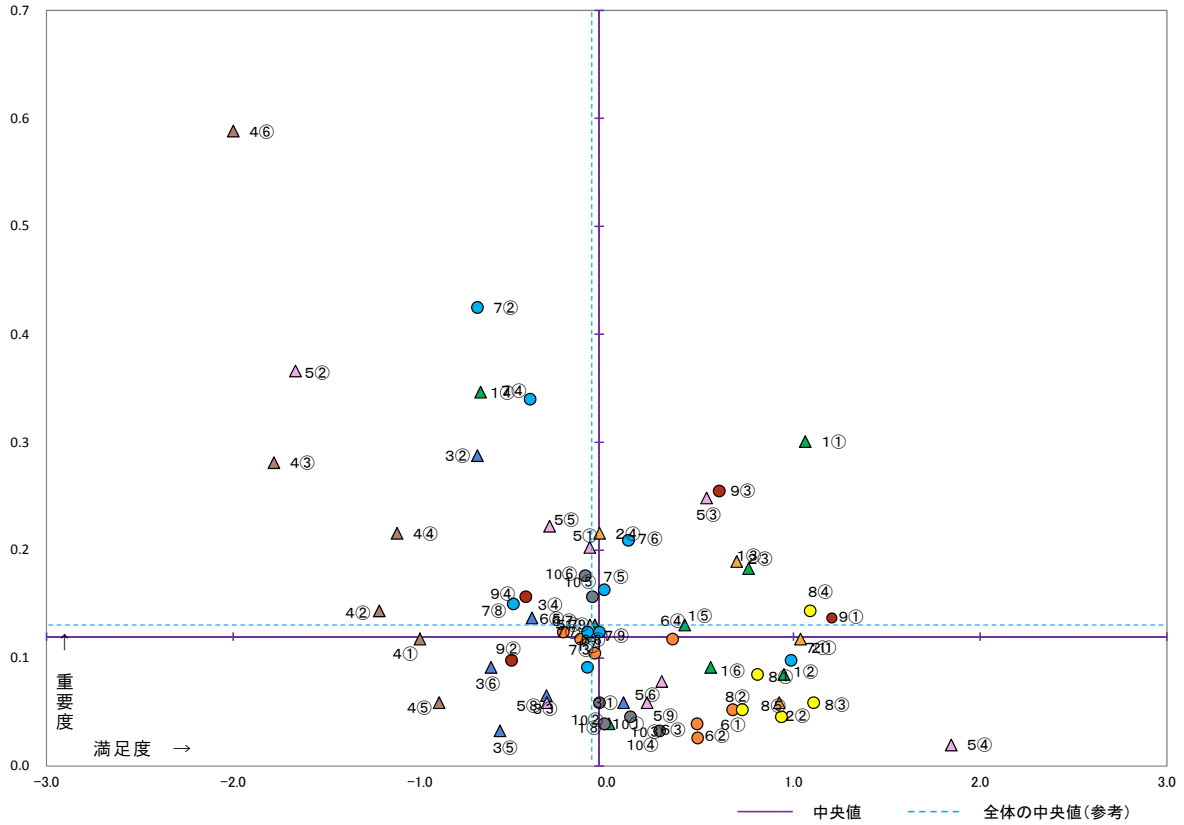


2. 30 歳代

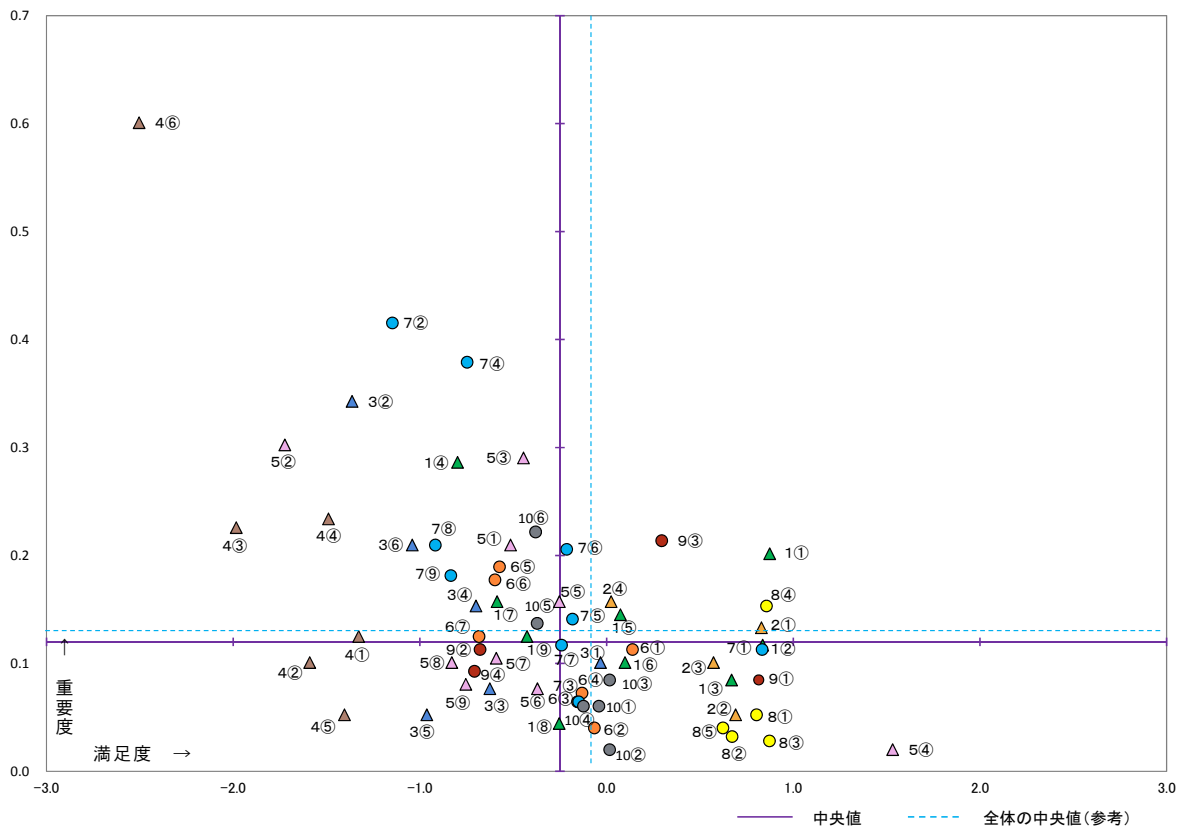


- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|--------------|
| ▲ 1. 教育について | ▲ 2. 文化・スポーツについて | ▲ 3. 農林業について | ▲ 4. 商工業について |
| ▲ 5. 都市基盤の整備について | ● 6. 生活環境の整備について | ● 7. 保健・医療・社会福祉について | |
| ● 8. 安全・防犯・防災対策について | ● 9. 観光・交流について | ● 10. 市民の参画、行政運営について | |

3. 40 歳代

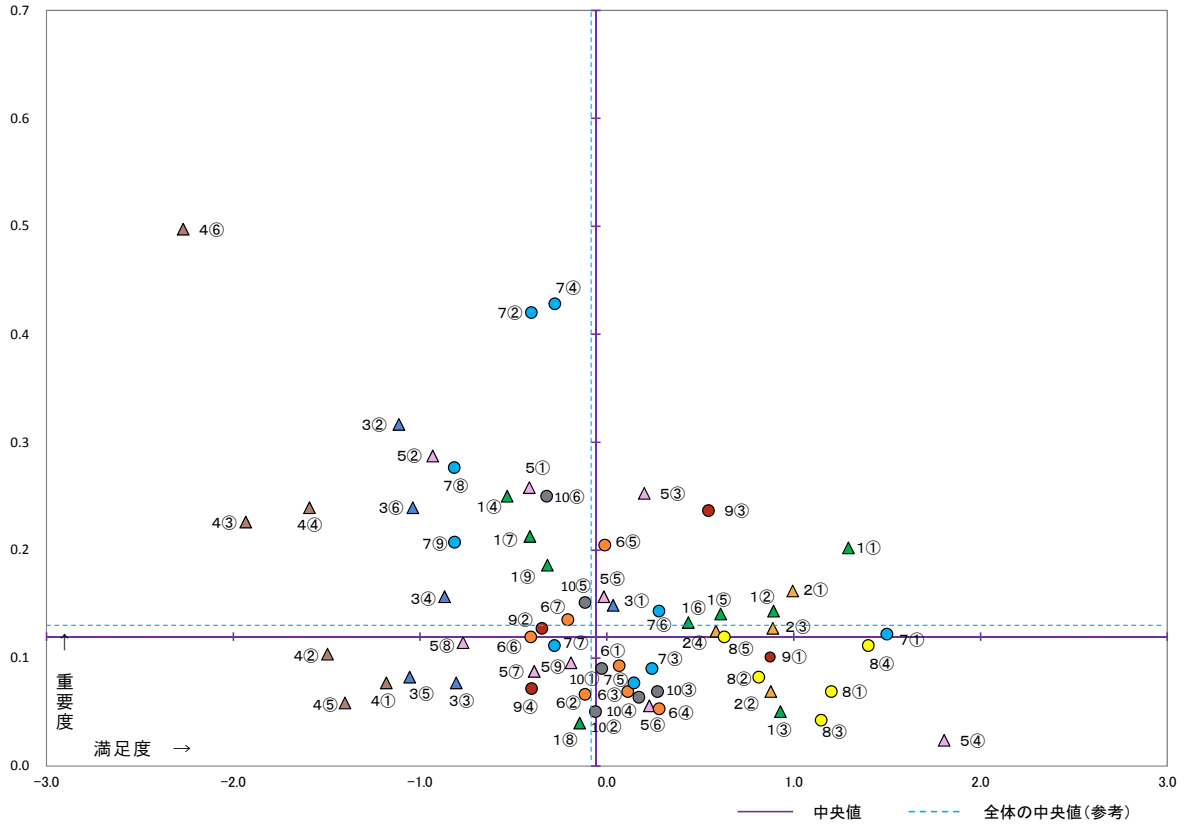


4. 50 歳代

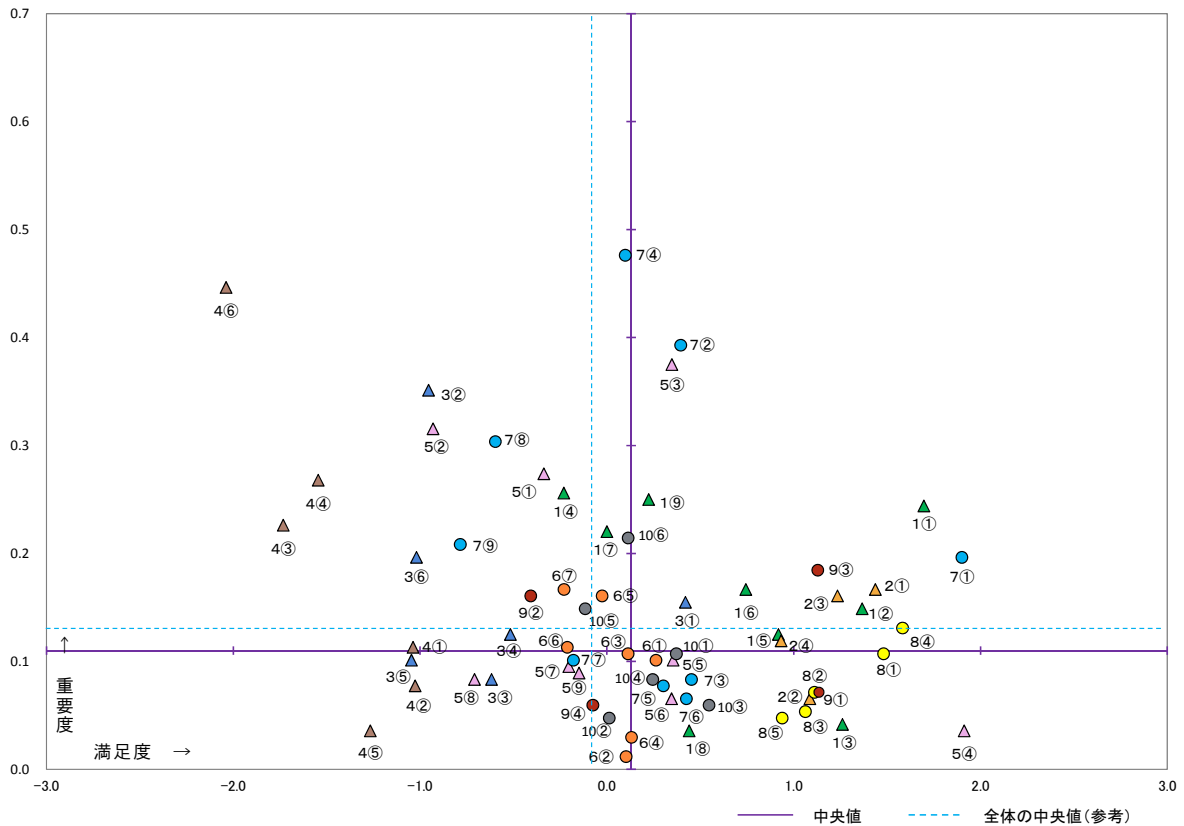


- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|--------------|
| ▲ 1. 教育について | ▲ 2. 文化・スポーツについて | ▲ 3. 農林業について | ▲ 4. 商工業について |
| ▲ 5. 都市基盤の整備について | ● 6. 生活環境の整備について | ● 7. 保健・医療・社会福祉について | |
| ● 8. 安全・防犯・防災対策について | ● 9. 観光・交流について | ● 10. 市民の参画、行政運営について | |

5. 60 歳代



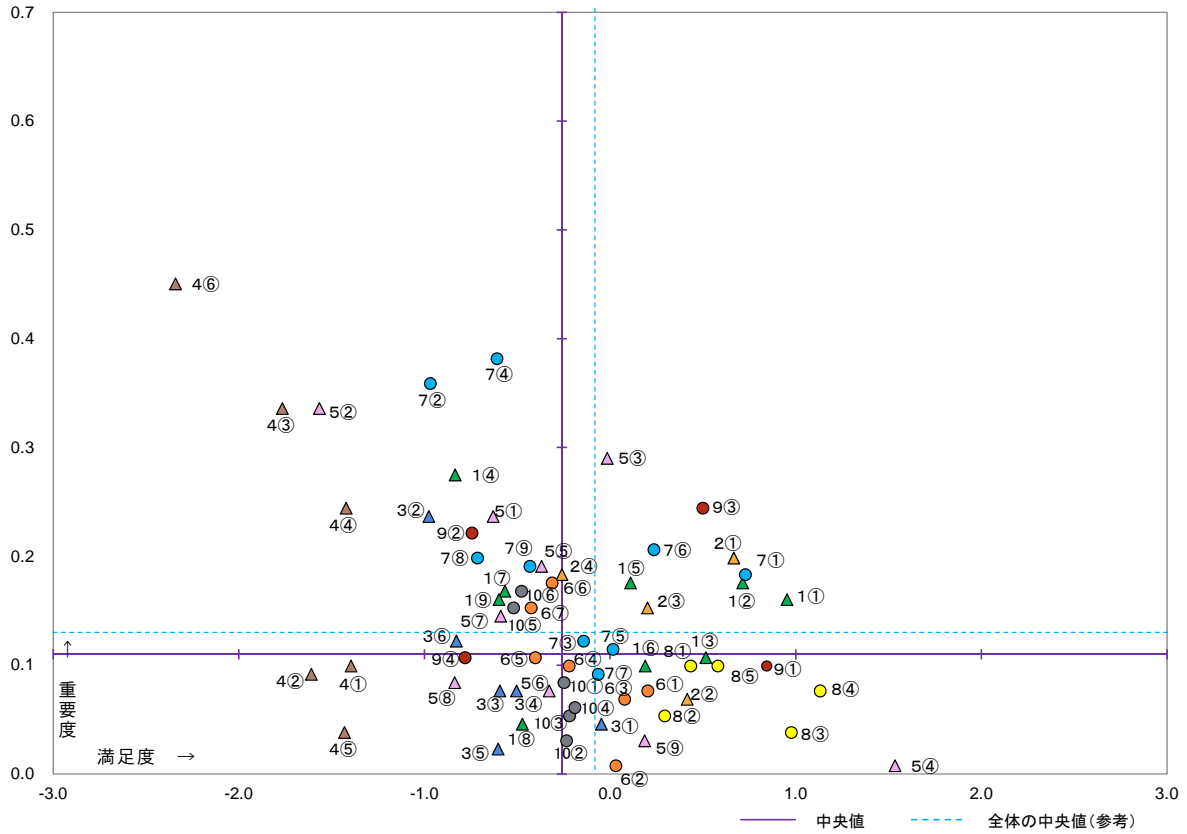
6. 70 歳代



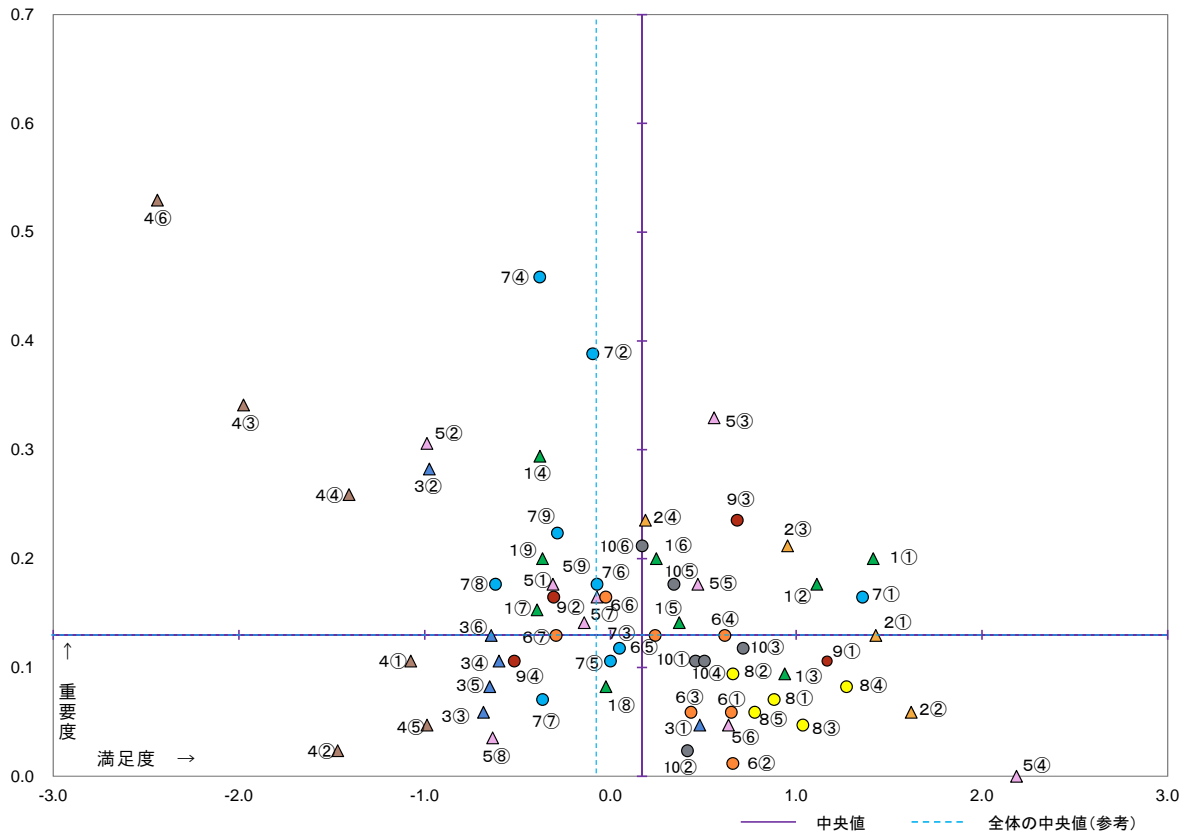
- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|--------------|
| ▲ 1. 教育について | ▲ 2. 文化・スポーツについて | ▲ 3. 農林業について | ▲ 4. 商工業について |
| ▲ 5. 都市基盤の整備について | ● 6. 生活環境の整備について | ● 7. 保健・医療・社会福祉について | |
| ● 8. 安全・防犯・防災対策について | ● 9. 観光・交流について | ● 10. 市民の参画、行政運営について | |

【地域別集計】

1. 十日町（十日町中学校区）

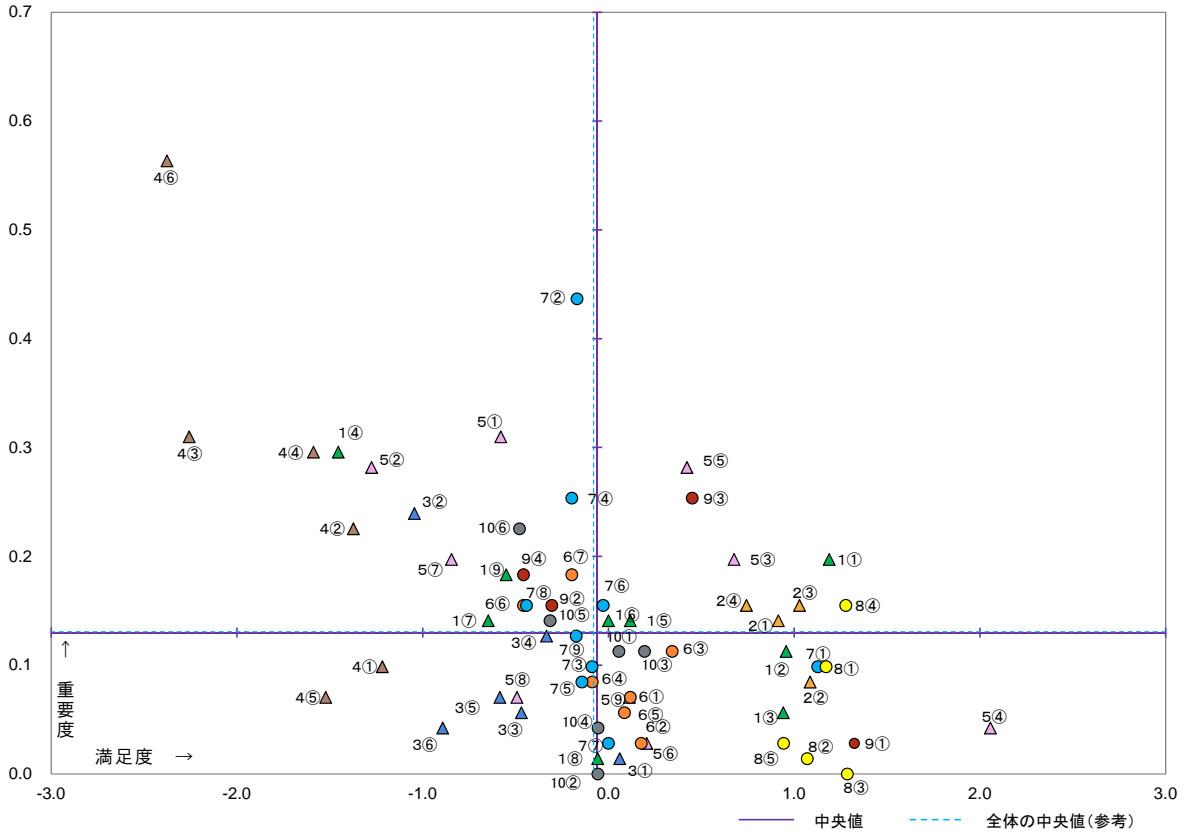


2. 高山（西小学校区の南部）

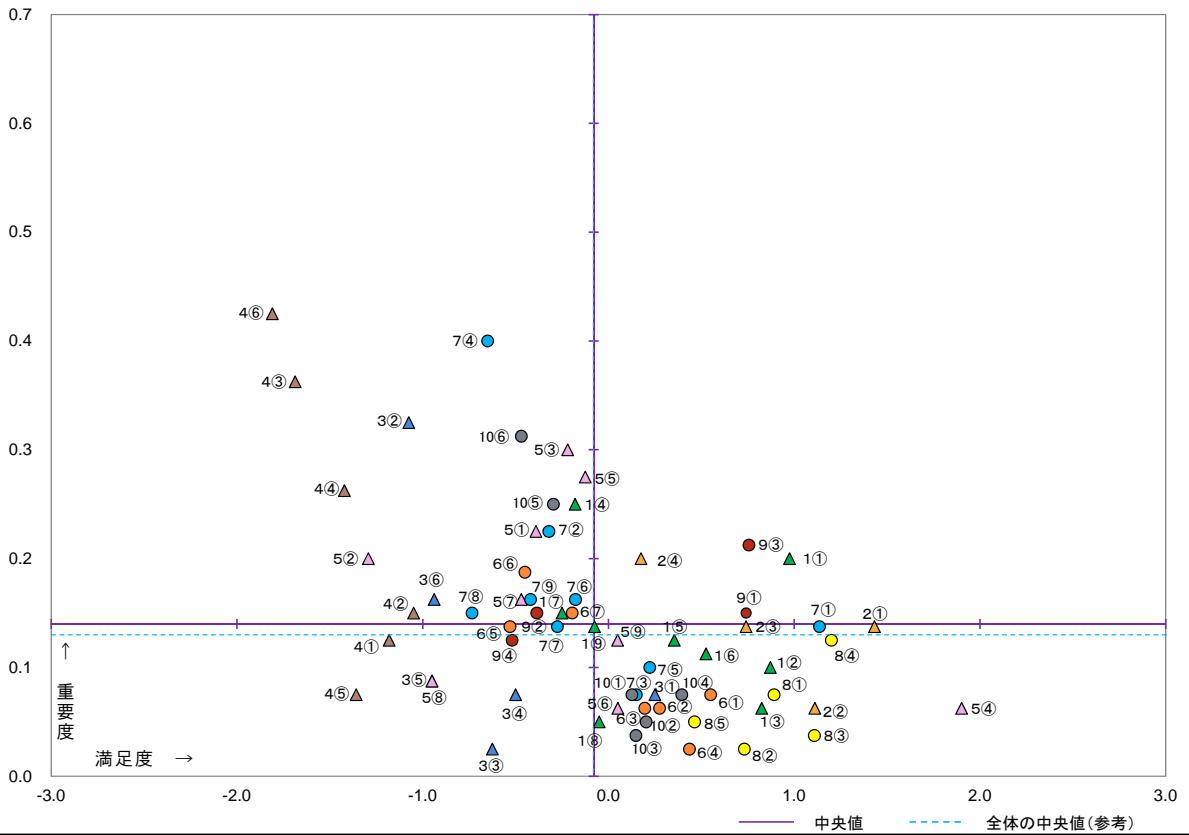


- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|--------------|
| ▲ 1. 教育について | ▲ 2. 文化・スポーツについて | ▲ 3. 農林業について | ▲ 4. 商工業について |
| ▲ 5. 都市基盤の整備について | ● 6. 生活環境の整備について | ● 7. 保健・医療・社会福祉について | |
| ● 8. 安全・防犯・防災対策について | ● 9. 観光・交流について | ● 10. 市民の参画、行政運営について | |

3. 西部（西小学校区の北部）

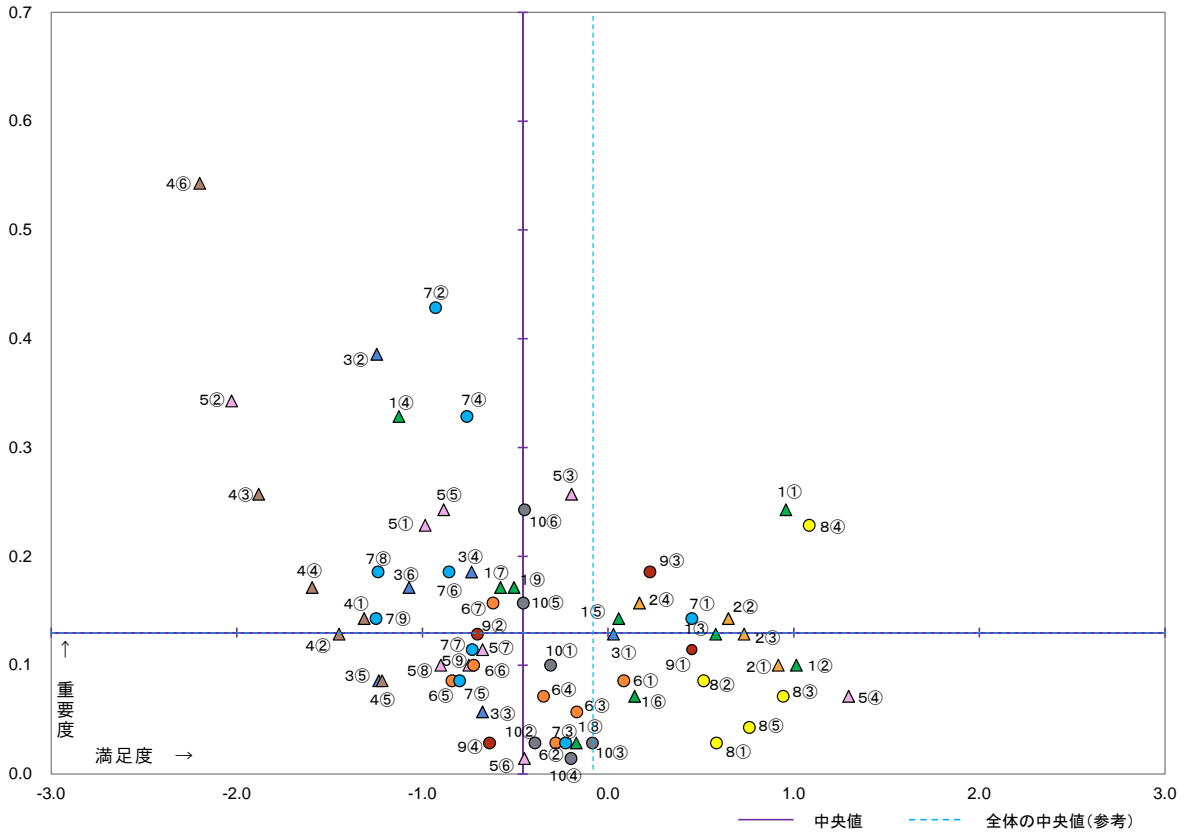


4. 川治・六箇

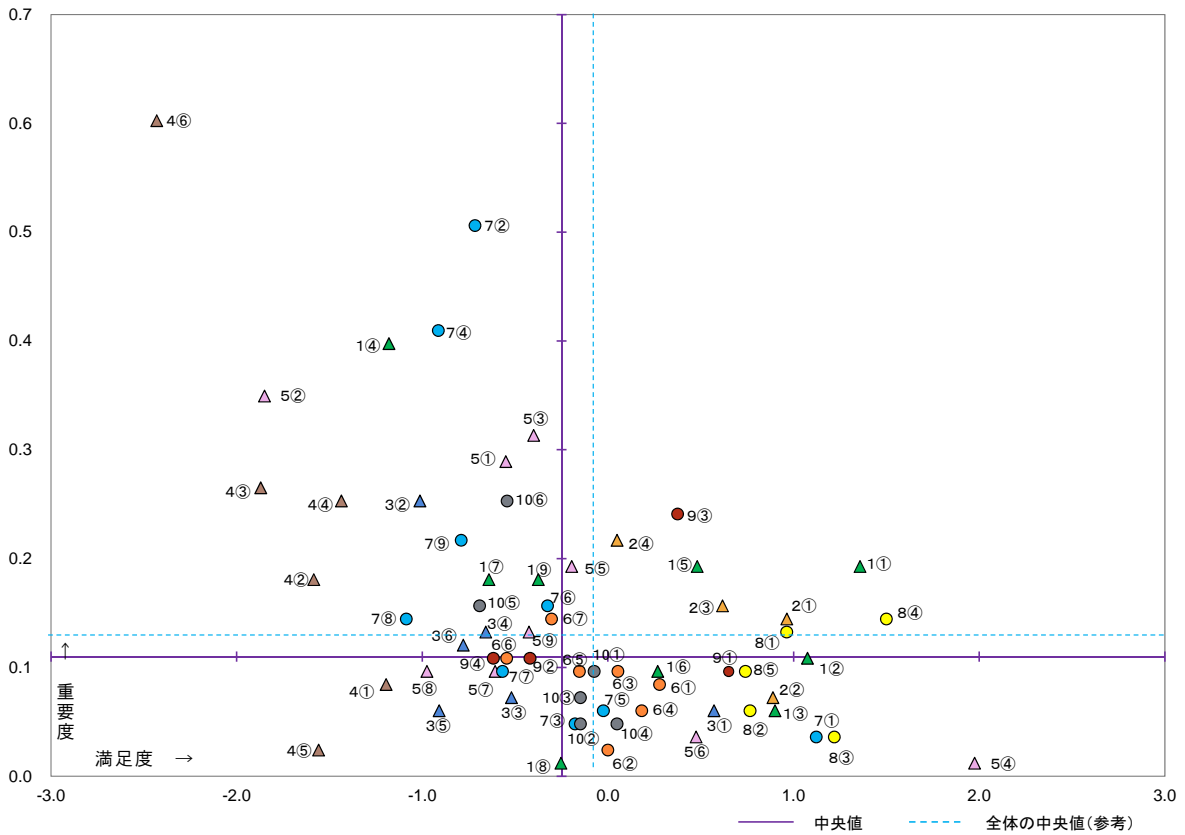


- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|--------------|
| ▲ 1. 教育について | ▲ 2. 文化・スポーツについて | ▲ 3. 農林業について | ▲ 4. 商工業について |
| ▲ 5. 都市基盤の整備について | ● 6. 生活環境の整備について | ● 7. 保健・医療・社会福祉について | |
| ● 8. 安全・防犯・防災対策について | ● 9. 観光・交流について | ● 10. 市民の参画、行政運営について | |

5. 中条・飛渡

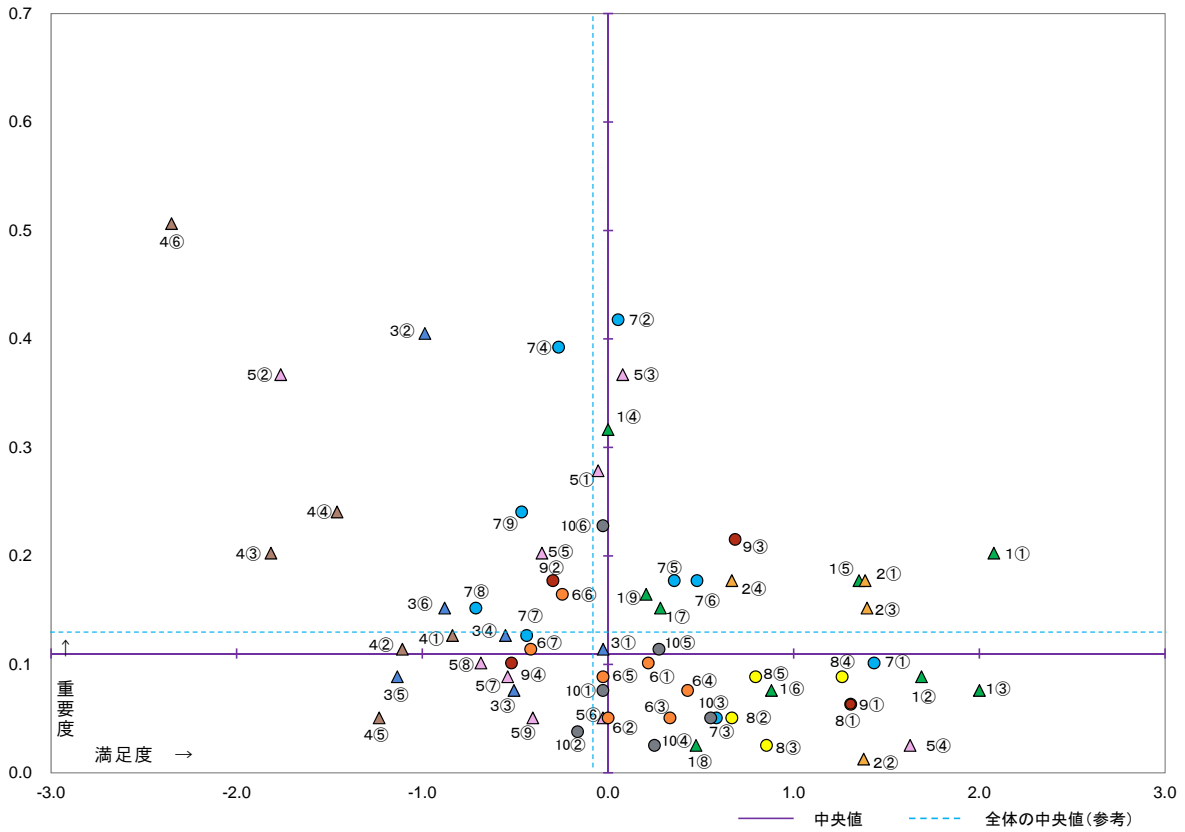


6. 大井田

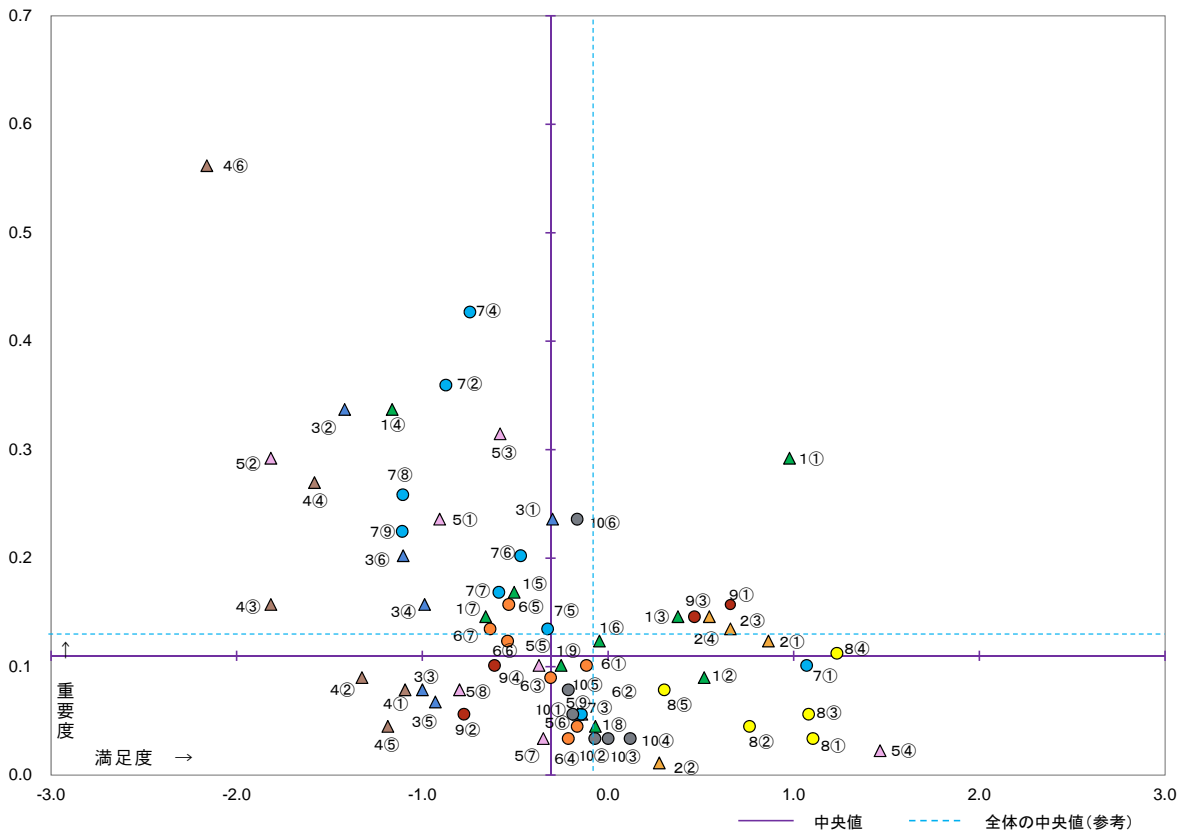


- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|--------------|
| ▲ 1. 教育について | ▲ 2. 文化・スポーツについて | ▲ 3. 農林業について | ▲ 4. 商工業について |
| ▲ 5. 都市基盤の整備について | ● 6. 生活環境の整備について | ● 7. 保健・医療・社会福祉について | |
| ● 8. 安全・防犯・防災対策について | ● 9. 観光・交流について | ● 10. 市民の参画、行政運営について | |

7. 下条

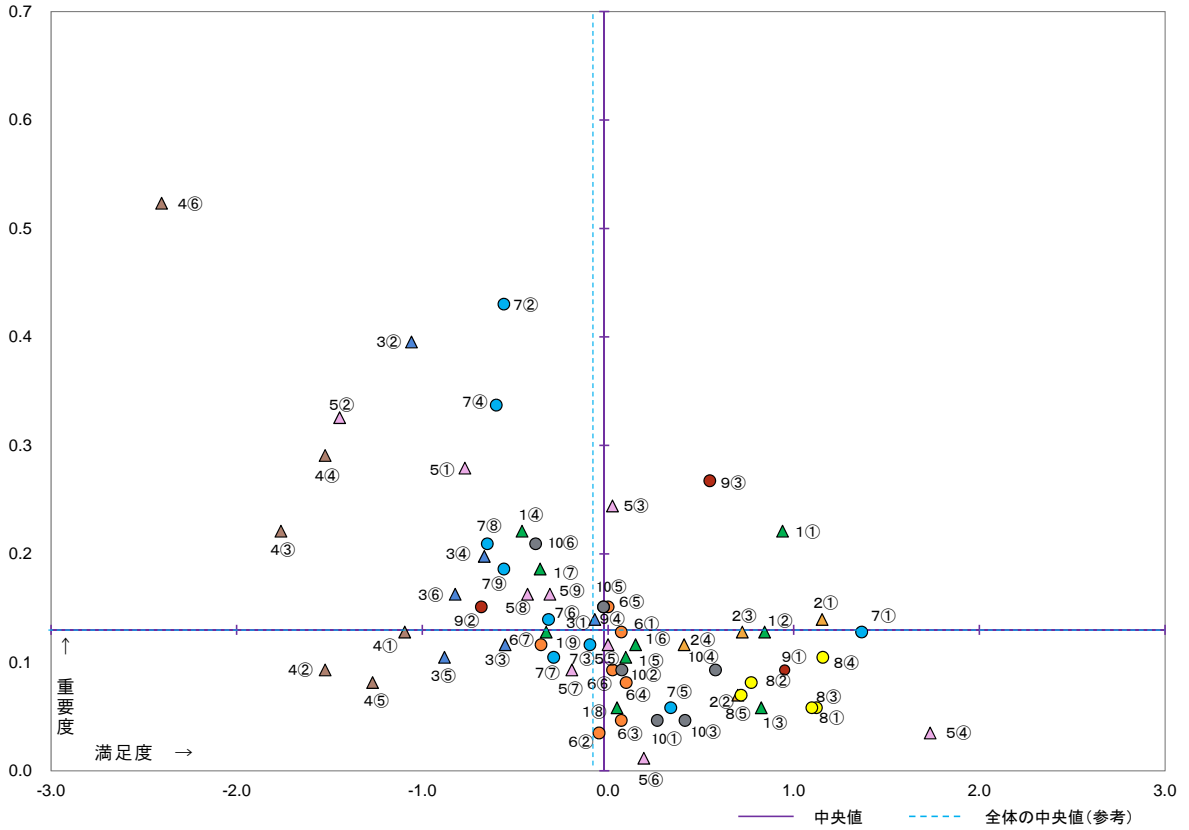


8. 吉田

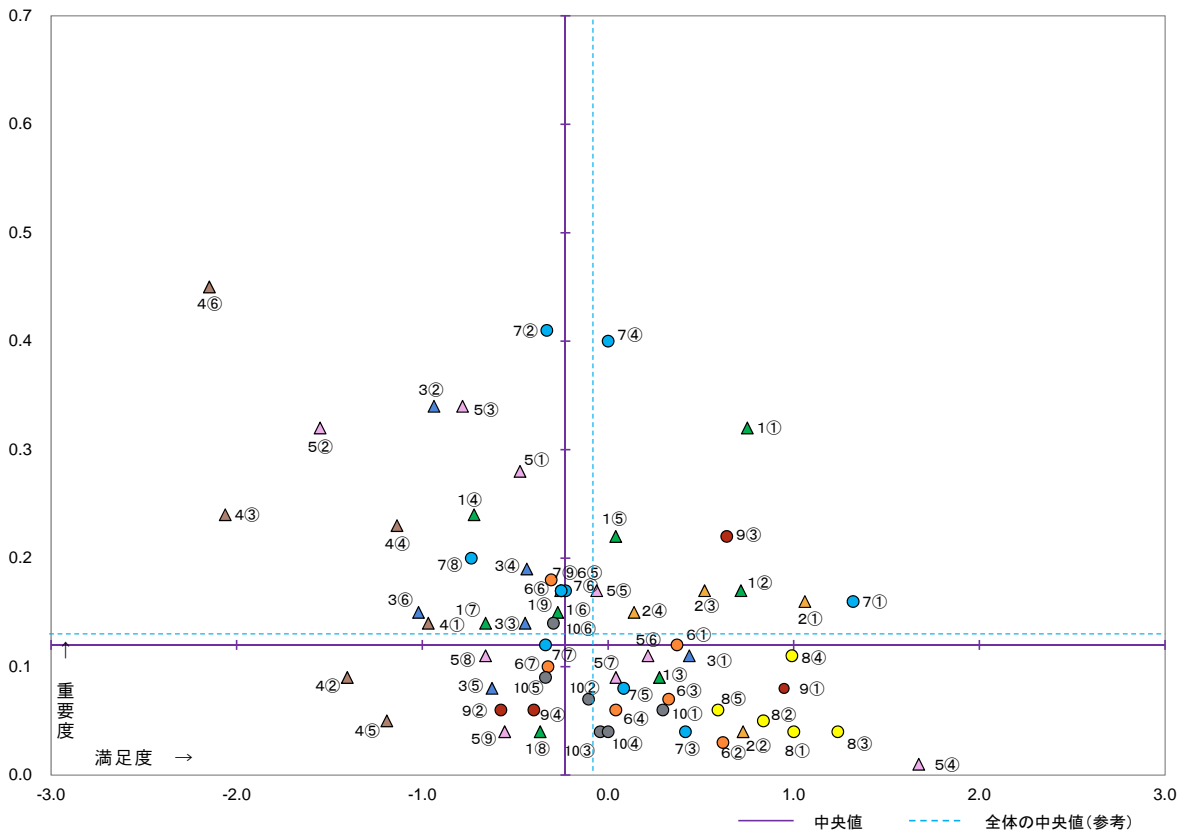


- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|--------------|
| ▲ 1. 教育について | ▲ 2. 文化・スポーツについて | ▲ 3. 農林業について | ▲ 4. 商工業について |
| ▲ 5. 都市基盤の整備について | ● 6. 生活環境の整備について | ● 7. 保健・医療・社会福祉について | |
| ● 8. 安全・防犯・防災対策について | ● 9. 観光・交流について | ● 10. 市民の参画、行政運営について | |

9. 水沢

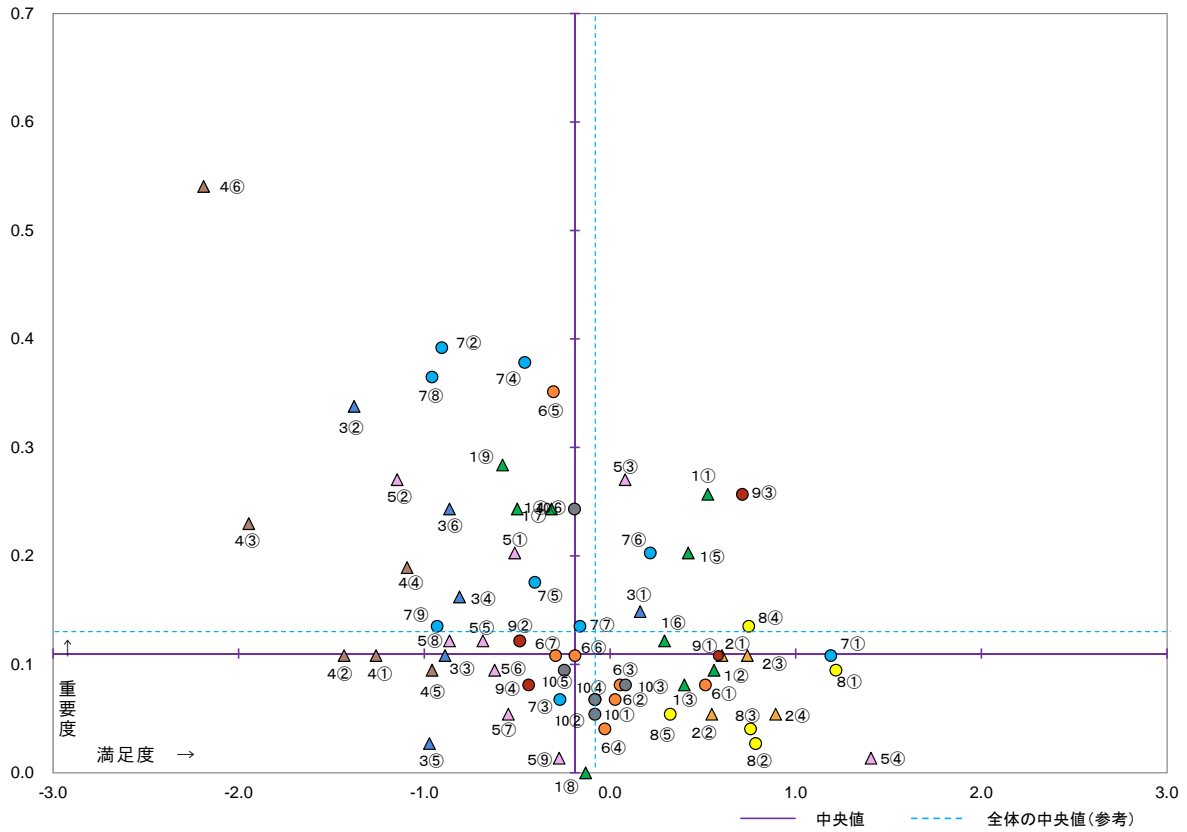


10. 川西

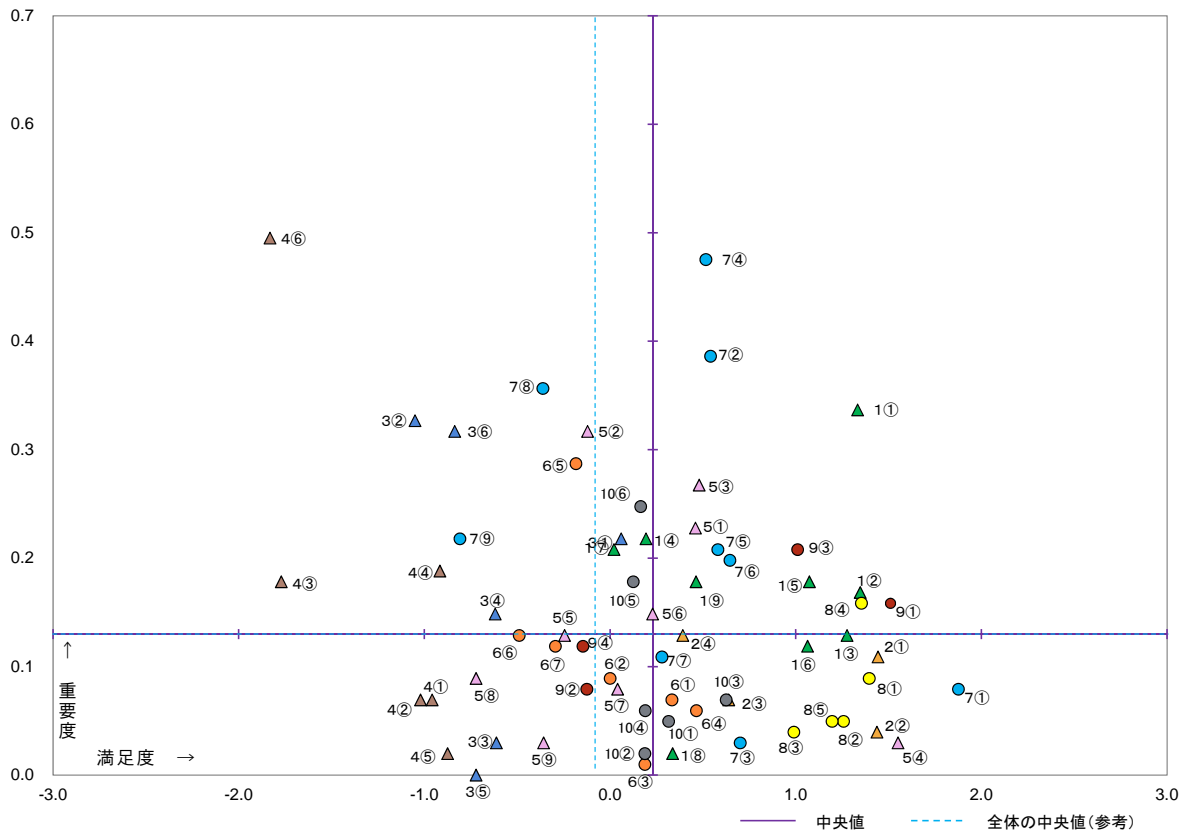


- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|--------------|
| ▲ 1. 教育について | ▲ 2. 文化・スポーツについて | ▲ 3. 農林業について | ▲ 4. 商工業について |
| ▲ 5. 都市基盤の整備について | ● 6. 生活環境の整備について | ● 7. 保健・医療・社会福祉について | |
| ● 8. 安全・防犯・防災対策について | ● 9. 観光・交流について | ● 10. 市民の参画、行政運営について | |

1 1. 中里

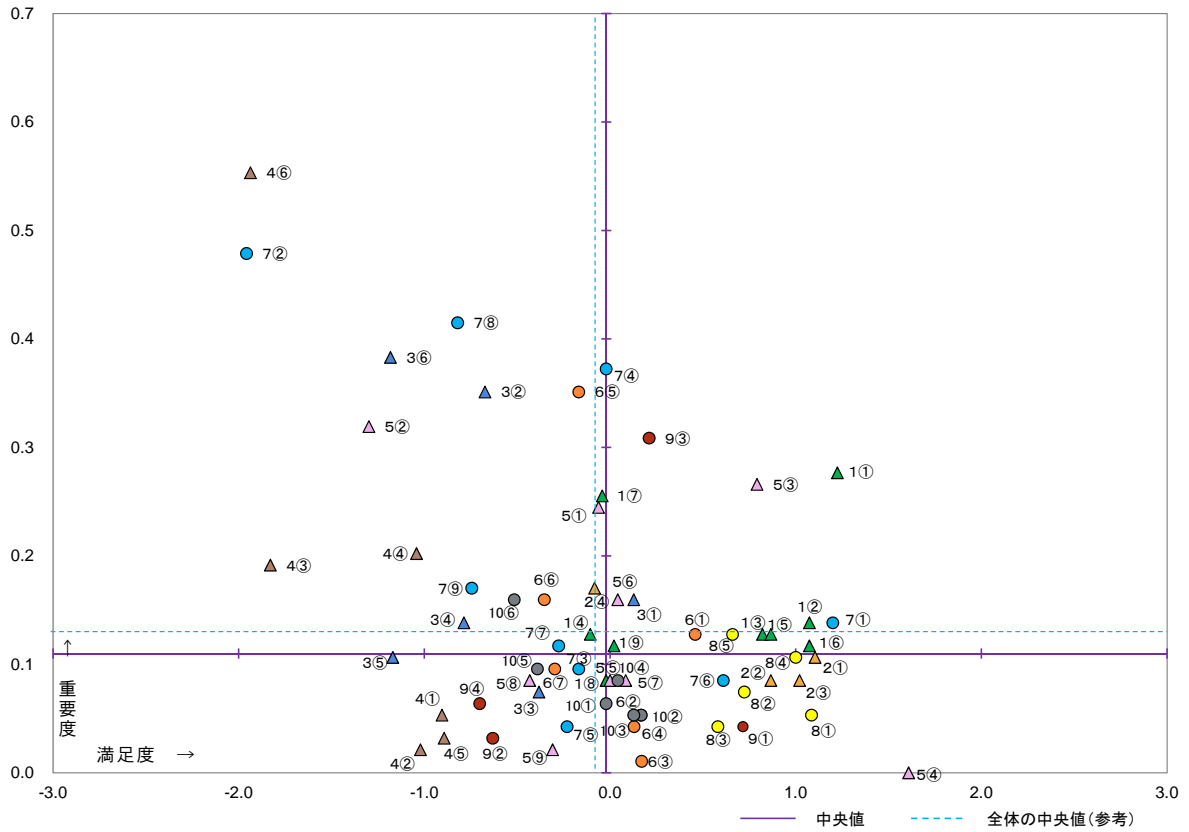


1 2. 松代



- | | | | |
|---------------------|------------------|----------------------|--------------|
| ▲ 1. 教育について | ▲ 2. 文化・スポーツについて | ▲ 3. 農林業について | ▲ 4. 商工業について |
| ▲ 5. 都市基盤の整備について | ● 6. 生活環境の整備について | ● 7. 保健・医療・社会福祉について | |
| ● 8. 安全・防犯・防災対策について | ● 9. 観光・交流について | ● 10. 市民の参画、行政運営について | |

13. 松之山



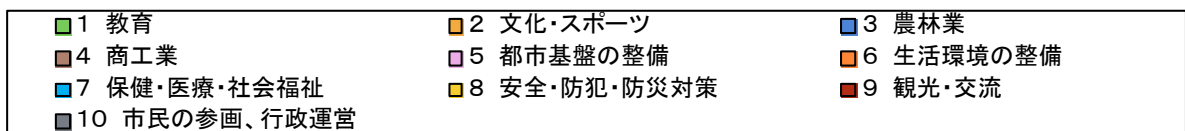
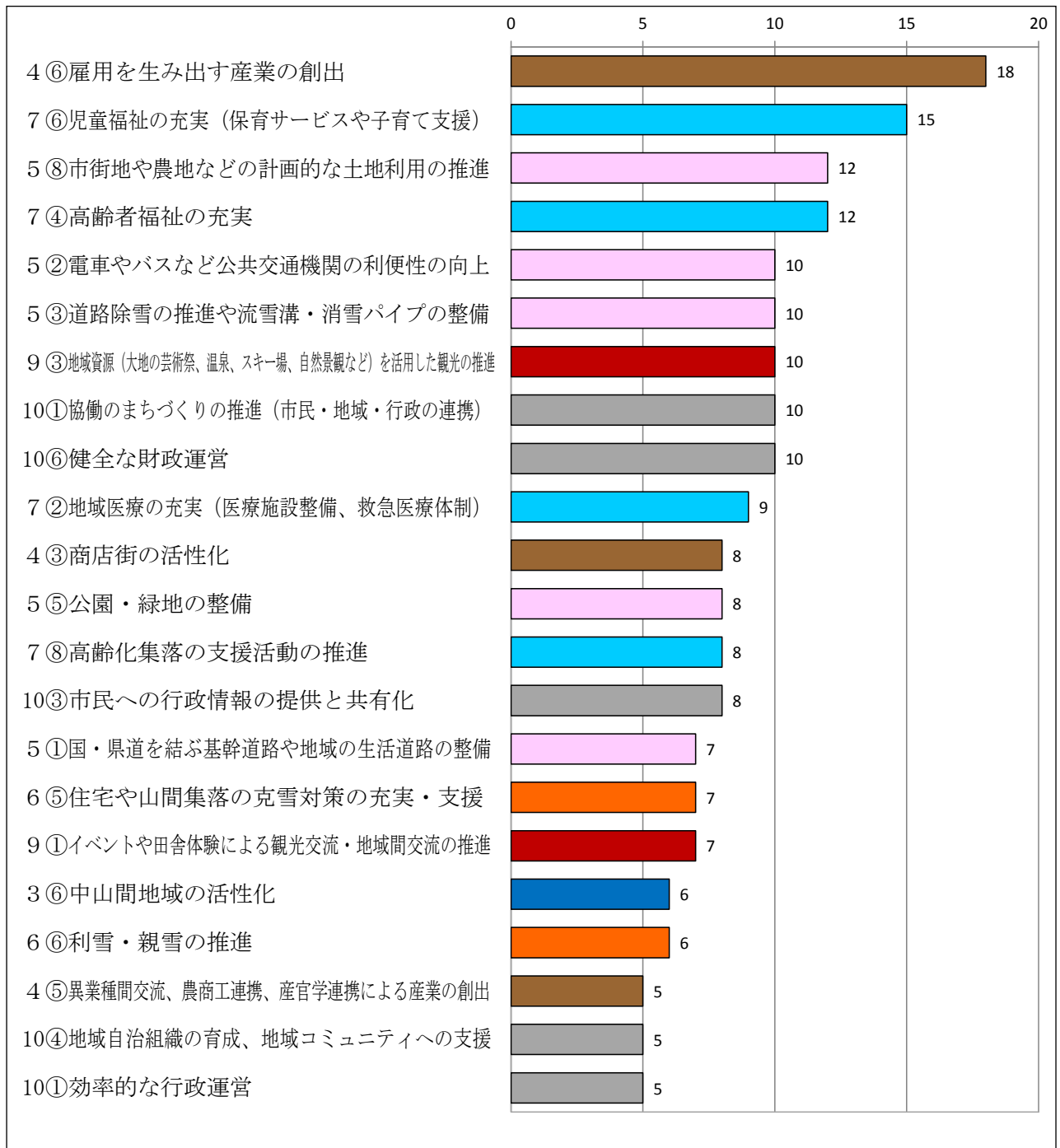
- ▲ 1. 教育について ▲ 2. 文化・スポーツについて ▲ 3. 農林業について ▲ 4. 商工業について
- ▲ 5. 都市基盤の整備について ● 6. 生活環境の整備について ● 7. 保健・医療・社会福祉について
- 8. 安全・防犯・防災対策について ● 9. 観光・交流について ● 10. 市民の参画、行政運営について

V. 自由意見のまとめ

自由意見については、計 187 件が記入された。各意見をアンケート調査の設問ごと（65 項目）に類型してみると、特に「4⑥雇用を生み出す産業の創出」、「7⑥児童福祉の充実」、「5⑧市街地や農地などの計画的な土地利用の推進」、7④「高齢者福祉の充実」に関する意見が多く寄せられた。

（備考）

自由記述の分野及び項目ごとの類型化にあたって、複数の分野・項目に該当する意見は、各々でカウントしている。但し、本文の記載は 1 分野のみとし、重複はしていない。



<少数意見>

【意見数：4】

- 教育
 - 1 ①小中学校教育の充実
 - 1 ⑧学校や学校関連施設の整備
 - 1 ④高等教育の充実（大学などの誘致。奨学金制度）
- 農林業
 - 3 ②農業の担い手の育成・確保
- 商工業
 - 4 ①商工業の経営力の向上、人材の育成・確保
 - 4 ④十日町特有の資源を活用した産業の創出
- 都市基盤の整備
 - 5 ⑦美しい街並み整備・景観形成
- 生活環境の整備
 - 6 ④情報通信ネットワークの整備・活用
- 保健・医療・社会福祉
 - 7 ①健康づくりの推進（生活習慣病予防・各種検診事業など）
 - 7 ⑤障がい者福祉の充実
- 観光・交流
 - 9 ②中心市街地のにぎわいを取り戻すための拠点の整備

【意見数：3】

- 教育
 - 1 ⑦地域課題に取り組む人材の教育
- 都市基盤の整備
 - 5 ⑥公営住宅や優良宅地の整備
- 保健・医療・社会福祉
 - 7 ③地域福祉の推進（福祉ボランティア活動の支援など）

【意見数：2】

- 文化・スポーツ
 - 2 ②文化財の保護と活用
- 農林業
 - 3 ④農林産物の生産力・販売力強化、地産地消の推進
 - 3 ⑤林業の振興
- 生活環境の整備
 - 6 ①河川や森林など自然環境の保全
 - 6 ⑦CO2削減、ごみの減量化と再資源化、太陽光など自然エネルギーの導入
- 保健・医療・社会福祉
 - 7 ⑨男女の出会い・交流の機会の創出

【意見数：1】

■ 教育

1 ⑥青少年の健全な育成の推進

1 ⑨子供からお年寄りまで生涯にわたる学習体制の整備

■ 文化・スポーツ

2 ①芸術・文化活動の奨励

2 ③スポーツ活動の推進

■ 農林業

3 ③複合経営や農畜産物の高付加価値化の推進

■ 都市基盤の整備

5 ④上下水道の整備

■ 安全・防犯・防災対策

8 ⑤地域防災組織の育成支援、災害情報の速やかな伝達

■ 市民の参画、行政運営

10 ②男女共同参画のまちづくりの推進

※ その他類型化できない意見：45

1. 教育について

No	性別	年代	居住地域	自由意見
1	女	30	川治・六箇	箱ものばかり作って魅力ある町になっているとは思えない。海外からも旅行者が来るので英語の教育やSNSなどを使って海外に発信してほしい。車がないと不便。活気がなく寂しい。大きなイベントも少ない。十日町独自のそこにしかないお菓子やお土産物を作してほしい。
2	男	40	大井田	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしの親のため高齢者施設の充実。 雇用環境 小中学校の教育充実 ※この書類が封筒に入らないこと。
3	男	20	十日町	中高年が住みやすい町になるような政治に期待します。小中学生の不登校がなくなったり、学力が上がるような現場の教員が自由な教育ができたりするような町であってほしい。
4	女	40	中里	すみません。ここより前のページは正直言うと知らない事も多く質問されたので考えて書いた(答えた)様な所も多々あります。今後この集約データをどのように活用されるかわかりませんが、正しくない答えも多々ありアンケートとしていいか悪いか…はかり知れません。絶対言えることは教育の充実!!人づくりです。未来へつながります。米百俵の精神でよろしくをお願いします。市に期待しています。
5	女	50	吉田	<ul style="list-style-type: none"> 除雪は、白線の内側と決まっているようですが、通学路では子供は道路を歩くことになってしまいます。もう少し広く除雪をして安全を確保してほしいです。 不登校児童への単位認定ができる様な施設学校などの誘致や開設を検討してはいかがでしょうか。 休耕地が目につきます。空き家と耕作地をセットで貸し、数年間家賃無料などで住人を増やす対策はいかがでしょうか。農地の活用と市民の増加を1セットにした対策を。
6	女	20	大井田	特別支援に関する教育にも力を入れて欲しいと思います。AD、ADHD、LD等学校教育を充実させてください。子供だけでなく親が学べるような場の提供も大事だと思います。
7	女	30	吉田	前ページに書かせていただいたとおり、まちづくり+子どものことを考えることだと思います。学校へ行かせても、授業が終わり誰も見れないとき、学童がないと本当に困ります。夏休み、冬休み、春休み、1年、2年のうちは早く帰ってきたり一人で留守番をさせるのは心配です。何かあってからの対処ではなく、これからの子どものためにも吉田小に学童をお願いします。約束をしたことは守ってもらいたいです。園がなくなっただけでも大きいのに、これからどんどん子どもの数が減ります。子育てしやすいまちづくり、よろしくをお願いします。
8	無	無	無	私は橘地区に住んでおります。橘小学校が上野小学校に近い将来吸収されるような話を聞いておりますが、本当なののでしょうか?上野小の立地条件があまり良くないと思われます。保育園が上野へ吸収されたのだから、小学校はぜひ橘小で上野小の子どもたちも学んでほしいと思います。教室の窓からは八海山も見渡せ、環境的にはとても良いと思われます。そして橘地区の地域の活性化にもつながると思われます。ぜひ、関係各位の方の検討をお願いいたします。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
9	女	60	下条	<p>1、大学などの誘致＝人口の流れを起こす。 (1) 若者の出逢いが増える。 (2) 十日町市を市外、県外にアピールできる。 (3) 産学で研究し新しい産業の創出につながる。</p> <p>2、地域課題に取り組む人材育成。 (1) 地域自治組織の活性化につながる。</p> <p>3、災害対策の強化 市がリーダーシップをとって地区への指導を希望します。(地区により差が大きい。)</p> <p>4、地元商店の方々への接遇教育を希望します。</p> <p>5、包括ケアシステムの進捗状況を年に1回は各地域で説明会をもうけてほしい。</p>
10	女	50	中条・飛渡	<ul style="list-style-type: none"> ・十日町市に大学、専門学校(医療系や専門業)を設立し若い方が集まれば地域も活性してくるのではないかな。 ・国際大学のように外国人の留学生をあつめ語学を学ぶような地域にしてみらえれば世界の人ともつながる地域(芸術や文化など)になるのではないかな。 ・障害者や高齢者にやさしい地域にしてほしい。
11	女	60	松之山	<p>十日町高校松之山分校に「林業・環境学科」(仮)を新設してほしい。植林から伐採、製材から製品地質、微生物、植物、環境のすべてを修得し卒業時には林業鑑定士(仮)とか資格を有している。(権限を持つ)小野嶋議員が質問で紹介している「里山資本主義」の発想だがオーストリアでは7階8階建ての木造ビルがコンクリートより耐震性保湿性通気性でも優れたものとして認められている。市長の答弁は読まれたのか否か。良く解らなかったが。。。村々での交流も期待され、十日町の特産も生まれるかもしれない。植林から伐採までの権限を持つ若者が全国に排出できれば素晴らしい。エネルギーの創出も可能になる。関連して十日町の福祉関係労働者の賃金を上げることも重要と思う。全国一でもよい。福祉専門学校で人材育成をすれば若い女性たちも集まる。後継者の希望も広がるのではないかな。安全な食糧(農薬を極限減らす)の産地で売り出すのも若い人を呼びかつ重要なブランドになる。福島原発事故のとき若い人が子供を連れて(夫のこし)東京から多数移住している。食糧の安全性は若い母親にとって強いインパクトをもつはず。TPPが万が一通った時も対抗できる有効な方法と思うが・・・</p>
12	男	60	吉田	<p>国の、省庁の地方への分散化を促進すべく地方の首長や議長が積極的に政府に働きかけるべきである。市議会議員、県議会議員の質の低下及びクリエイター能力の無い事甚だしい。市民や県民、国民がもっと政治感性を磨かねばこの現状から脱却できないだろう。有名私立大の利雪、克雪のため学部を早急に十日町に誘致すべきである。市職員の質は非常に向上していると思うがそれに反比例して議員の質の劣化が甚だしいと思う。農作物と米作の後継者育成は緊喫の課題である(土地の保全と米作文化の為)</p>

No	性別	年代	居住地域	自由意見
13	男	60	水沢	私どもの集落は高齢化になってきましたので（子どもが少ない）助け合いの精神をはぐくんでもらえればと思います。又、よそ様の子も自分の子も区別なく皆であたたかく見守っていくよう。この頃、誹謗、中傷、名誉棄損が多いので、（パソコン、スマホ、携帯）なども注意しなければならない時代になりました。（子育ても孤独にならないように注意）
14	男	40	川治・六箇	人材育成→地域育成 官、学、地域企業参画事業の育成。
15	男	30	松之山	<p>・私は松之山に住んでいて自然が大好きなので、よく友人や家族でキョロロを利用していただいております。市内にこのようなすばらしい施設があることをとてもうれしく思っています。中のスタッフの方（特に研究員）とお話をさせていただくこともあります。自然に詳しいだけでなく、教育や地域づくりについても非常に勉強されており、松之山のような中山間地の地域づくりにとって欠かせない人材だと思いました。（冗談ではなく、非常に質の高い先見性で地域を見られています。）十日町市の総合計画の中でももっともっと活躍&活用されてほしいです。</p> <p>・市内の教育行政の中で最近、文化・芸術というキーワードをよく聞くようになりましたが、その一方で「自然」という言葉が消えていっていることが残念です。これはむしろ力を入れるべき分野ではないかと感じています。</p>
16	男	40	十日町	十日町の人間はすべてにおいて、マナーが悪すぎる。年配の方が特に。譲り合い・おもてなしのかけらも感じられない。自然は好きだが、人々は嫌い。注意すると逆切れしてくる。車いすマークの駐車場に平気で健常者が当たり前のように止めているからね。全員に道徳・マナーの勉強をさせるべき。正直恥ずかしい。

2. 文化・スポーツ

No	性別	年代	居住地域	自由意見
1	女	60	西部	情報館ホール、市民会館ホール、千の森ホールなど、借用料は高額すぎ。私どものような細々と音楽教室をやっているものは、子供達の発表の場を持つことができません。入場料を頂く訳ではないので、もう少し安価に貸し出してほしいものです。新しく立派な文化会館ができるそうですので、現存しているホール等は安価な貸し出しをお願いします。伸びるであろう生徒さんたちの芽を摘み取りたくないものです。
2	男	60	吉田	国宝火焰土器の展示会館を発掘した箇所の近くに造って欲しい。（観光、地域振興、活性化のために、色んなイベント利用が可能、市民の財産を誇り以って広めましょう。
3	男	70	川治・六箇	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産の認定にチャレンジを!!くくりが難しいでしょうが、「信濃川火焰街道連携協議会」の範囲でくるとか、縄文国宝保有の5市町の構成でくるとか積極的にチャレンジできないものでしょうか。 ・少子高齢化社会で将来、25年先は十日町の人口は35,000人程度になるだろうと推計されているようです。さびしい限りです。市政の姿勢を見ると交流人口にウェートを置いているようですが、企業誘致を図り、働く場所を増やし、定住人口の増を促し、上向きな活力あるまちづくりに努力されたい。南魚沼市は国際大学と連携し、インドから企業を200社も誘致するようなニュースが入っていますが、十日町市も積極的に取り組むのはいかがなものでしょうか。 ・空き家対策に力を入れ、田舎暮らしをやりたい都会人の流入、定住を促進して人口増を図ってもらいたい。今、都会から住み着いている人たちから集まってもらい、十日町市、この地方の魅力を学ぶ機会を持つてはどうか。
4	女	50	松代	H24年頃 松之山にグループホーム設立の話が出た。雇用も増え、少しでも地域の活性化につながればと思った。一度は市も賛成したのに職員（市の）がかわったとたん白紙に戻されてしまった。今では、市の中心地にグループホーム等がいくつもできている。又、スキー大会等も松之山のクロカンスキー大会は以前は大勢参加していたのに、今は十日町市内の他のスキー大会と重なり、人数も減ってしまった。また、松之山診療所も常勤医がいなくなり、室野もなくなってしまった。（これは、完全に市のせいです。）市は、市の中心地ばかりに目を配り、まわりの合併した松之山、松代に不利益をもたらしているように感じてしまう。教育にしても全てにおいて、合併して、悪くなったように感じてしまう。良くなった所を教えてほしい。今は、50才代で車でどこへも行けるが年を取り車を運転できなくなった時、どうなるのか心配である。

3. 農林業

No	性別	年代	居住地域	自由意見
1	女	50	西部	よく日帰り温泉を利用していますが、地元の人達がもっと行きやすい様にしてほしい（優遇）。以前よりお客さんが減った気がします・・・一人でも十人でも同じ営業なら利用してもらった方がいいのではないですか。年間パスポートか1ヶ月定期とか、これで入湯税で上げるとなるとますます少なくなるのでは。健康推進の意味もあると考えます。入湯税では上げない様ですが、消費税が上がれば又値上げもあるでしょう。税金取られるばかりでなく、何か恩恵があってもいいのでは。 地域おこし協力隊も成果は出ているのかもしれませんが、町場の人にはわかりづらい。若い人が住んで、子供を安心して育てられる十日町にしてください。その為には老人も協力していきますから。
2	男	60	中里	私達の土地は農業の他何も無い。農業がこれほど無くなれば生活できない。勤める場も無いのだから市の方もいろいろ考え地元の人達と相談しながら生活できる様にしなければいけない。私も若い者がこの土地を離れても良いと思う。今すぐ大事です。中心地を良くしても良くなならない。
3	男	30	松之山	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕田や耕作放棄地の有効活用（特に棚田）。 ◎石油を作る藻（オーランチオキトリウム）を市の事業として栽培。 ・新しい農業のカタチづくり。 ・研究機関との提携。市は場所と人材を提供。 ・雪を活かした観光都市・十日町。 ・世界最大級の積雪をウリにする。 ・非除雪集落の設定。テーマパーク化。 ・屋根から出入り。 ・雪のトンネルで家を結ぶ。 ・雪上車、スノーモービル。 ・各種雪遊び。
4	男	60	水沢	※カリフォルニアやオーストラリアでは「砂漠」に水をくみ上げた田んぼで稲を作っていると聞きます。これは干ばつなどで豊作、不作になるので大地にとっても良くないです。一方、日本の国土では山があって川があって平野（田）がある。これは大地の理にかなっているものです。すべての国内、国外の消費者に日本の国土をアピールするしかない。
5	男	50	川西	中心市街地活性化が最も重要と思う。歩いていける所に何でもそろっている事がありがたい。元気な人は中山間地で仕事をやり、生活は市街地でする事が良いと思う。山間地にお金を掛けるのは、農業、林業を産業としてとらえ、そこに投資する事は良いが、生活道路等整備にお金を使うのは、いかがなものか。（除雪も含む。）
6	女	50	吉田	今現在吉田山谷に住んでいます。ここ数年間の間に農協の店、農協の金融、駐在所、そして、3月26日には吉田保育園が閉園になります。将来、小学校も小中一貫か統合の可能性が有ります。今の時点でも年々老人世帯が多く、こうした施設がなくなる事によって若い世代の人がもっと地元にもどらなくなると思います。その事を考えて対策を考えてほしいと思います。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
7	女	50	松之山	旧十日町市内・川西地域だけ力を入れた「まちづくり」がされているように思います。松之山・松代・中里地域の活性化。住みよい「まちづくり」をお願いします。
8	女	50	松代	旧十日町が、旧川西、中里、松代、松之山のことを軽視している風潮がまだ根強いように感じます。住民性が違うせいなのかもしれませんが、悲しいことだと思っています。

4. 商工業

No	性別	年代	居住地域	自由意見
1	無	無	無	前項にも記述しているが、商店街の活性化を図るのであれば、ユニクロ、ウオロク等商業施設の発展を考えるべきである。また、トンネルの整備、消雪対策により人口減少を緩和し、まちづくりを進めていくことで、地域の活性化につながると思う。人口が増えることで様々なイベントを開催することも容易になり、まちづくり全体の推進が可能である。また、その取り組みを他の県、市に発信していくことが重要である。
2	男	20	川西	ジャスコ通りに同じような店ばかり並んでいるのはもったいないです。若者向けのレジャーに関する店などの誘致・支援が必要だと感じます。以前までジャスコ内にあったカメレオンクラブはTVゲーム・カードゲームショップでしたが黒字経営で閉店理由は親会社の都合だったと聞いています。十日町でも利益を上げられるなら誘致すれば検討してくれる可能性は十分あると思います。
3	女	50	大井田	本町3丁目のJAの店舗（スーパー）が最近閉店してしまったことに大いに不満だ。売り上げが伸びないのであれば企業努力をもっとしてほしかった。近辺の高齢者はみんな困っている。「まちづくり」にあまり興味がなく申し訳ありませんでした
4	女	20	無	商店街に賑わいなし。若い人にはつまらない。雪まつり、大地の芸術祭はこれからも力を入れていくと良いと思う。パチンコ、ドラッグストアが無駄に多い。
5	女	60	高山	買い物をしたいが、店の活気がない。衣類、くつなど、つい他の市に行ってしまう。車を運転できるうちはいいが・・・。食料品もたくさん買うと持って帰るのが大変だ。どこでもそうなのだろうか？主たる産業、若者が地元に残れる様な街になってほしい。
6	女	60	吉田	・空店が増えて特に農協不便です。その後まだ何もやっていないので早く決まってほしい。 ・十日町病院
7	男	60	水沢	・市街地にもっと駐車場を。 ・公共施設（学校等）での自然エネルギーの活用を。
8	女	50	十日町	山間地域から市街地へ嫁いで来て30年近くになりますが、市街地の商店街がなくなり、たいへんさみしい気分になります。やはり国道から直接入れる駐車場がないのが商店街のなくなってきた一因であるかと思います。せっかくすばらしいアーケードがあり、ゆっくりと歩ける市街地なので、人がたくさん歩いて買い物できる市街に戻していただきたいと思います。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
9	女	50	中条・飛渡	<p>都会で暮らす子ども達に、十日町に帰ってきたらと聞くと、十日町には何もないからいやだと言います。働く場所がない。遊ぶところがない。若い人が住みたくなるような魅力がないということでしょうか。私も休日は市外へ出かけることが多いです。ここで生まれ育った私ですが、昔に比べ高齢化し、人が少なくなったせいか活気がありません。まちなかのシャッターが閉まった通りが悲しいです。これからの若い人が住みやすく、子育てが楽しくなるようなまちにしていってほしいものです。それがどういったものなのかわかりませんが。私はおばさんですが、私のような年代が今一番お金と時間があります。そんなおばさんが好むものは美しい花とおいしいおしゃれな食べ物です。花を見るためにバスに乗って遠くまで行き、おいしいパスタ屋を調べてどこまでも行きます!!残念ながら、十日町はそれがありません。六日町の銭淵公園、堀ノ内の芝桜など、近隣でもがんばっています。十日町もまちなかにそういったものがあればいいですね。公園(小さいもの)はいっぱいあるのに、花と人がいません。残念です。中野のバラのように、まちなかで参加し、盛り上げるには難しいことでしょうか。</p>
10	女	50	水沢	<p>イベントのある日以外でもきもののレンタルをされたら・・・。 来市するお客様(もちろん市民でも可)に¥2,000位でレンタルして、きもので来店したお客様には20%offとか30%offとか。 子どもと老人にやさしい十日町にしてください。</p>
11	男	70	松代	<p>①行政について 枝葉のことについては真剣にやっていると思うが、どこか基本を忘れてい るような気がしてならない。枝葉のことだからとぼけきれるのである。 ②市民の離村について 若者の離村は就職先がなければ離村するしか生きる道はない。市の掛け声 で、例えば、山菜・野菜を大都会に売り出す仕組みを立ち上げてはいか がが。 ③現代医療について 無理やり生かしておくのが現代医療のような気がする。生産労働者が少な く、逆に死にそうな高齢者を無理やり生かしておいたら日本はどうなるの かを考えたことがあるのだろうか。やはり自然死を選ぶべきと思う。</p>
12	女	60	水沢	<p>・とにかくイベント等で他地域よりの集客。 ・学校、企業含めて新しい事業をする事により、若い人、多くの人を十日 町に呼び込む方法。</p>
13	男	50	水沢	<p>「ミリョク」ある都市創り →人口増加—子育て充実 →雇用確保—従事したい仕事、商売 →外部からの訪問—イベント →新しい技術の追求—産学連携 など</p>
14	男	60	高山	<p>高校を卒業すると、若者は県外など進学・就職してしまう。この人口流失 を防ぐ方法を早急に行っていただきたい。市役所に就職する事が「夢」な 様ではこの町は終わってしまう。</p>

No	性別	年代	居住地域	自由意見
15	女	30	中里	雇用を増やし、市民が安定した収入を得られるようにしないと、この先十日町市は人口の流出(減少)に歯止めがきかなくなるのでは?と不安です。当市は高齢者が多いので、この世代のサポートが必要なのは当然だが、若い世代が定住したいと思える定住していけると思えるような市になってほしいです。
16	男	60	松代	人口の流出による過疎化。年々高齢化している現在、大手企業の誘致による若者の定着をお願いしたい。
17	女	50	水沢	子供達が高校や大学を卒業し、地元へ戻りたいと思っても結局就職が無く戻れないという状況です。(我が家の息子もそうです。)それではまちづくりに大切な“人”が減少する一方だと思います。若い人達が戻れる“十日町”に私達大人がしてゆかなければと思います。今回のアンケートの質問内容を見て気がつきましたが、自分の現在の状況に関係していない分野に関してはあまり情報も入ってこない事の方が多いので、ほとんど“どちらでもない”に丸を付ける結果になっていました。
18	女	50	十日町	進学のために十日町を離れ、卒業してからの就職先が今の十日町にはありません。雇用を生むための企業の誘致が必要だと思います。雪国でも関係なく仕事ができるIT関係や大きな工場等、いろいろあると思います。若い人達が故郷に帰って来て、実家の跡継ぎができる様になってほしいです。
19	男	60	下条	子どもがいない(少ない)と将来がない。それにはとにかく、それが可能な環境作りです。働きたい人が働けない「十日町」は最悪です。文化施設・・・などよりそっちが先!市内には立派な学校が今使われていない。(例、松代の清水なんて立派すぎる!!)それを有効活用し、高齢者住宅にすれば、年を取っても入る所があるし、地元の働き手もやとえる!村上市の山北(勝木という所)には、昔の学校を宿泊施設に改修し、温泉を掘り、予約を取りにくい、そんな所もあるんですヨ。市長は街中(まちなか)ばかりかまってるんで、もっともっと頭を使って皆が安心して十日町に住める、誰もが働ける、子どもを沢山産むことができる、そんな町づくりを目指して欲しい。
20	女	40	大井田	着物の町なのに仕事は減り下請に従事していたら解雇の連続50半ばで転職は厳しい。そのうち精神的に追い込まれ生きる力さえなくなる。メーカーはよくても下請があったからこそここまで来た。後継者もない。あと5年もすれば着物を作る人もいなくなる。早くから別の企業を入れ子供が残れる町にしてもらいたかった。子供が町に残れるから活性化が進むのだと思う。もう少し子供に助成金でも貧しい家庭もある。36年着物を作ってきたがこれほど嫌な仕事はない(50代男)
21	女	40	松之山	都会に進学等で出た若者が地元に戻ってこれるような「職」の安定した確保。若者(若夫婦世代)が魅力を感じる街づくりを望みます。
22	女	70	松代	市・町に若い人が住める様な環境。勤められる(働けるところ)(仕事場)がほしい。とにかく若い人が働く場所を作ってやってください。お願いします。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
23	女	40	川西	人口減少をとめるためには、子育てに手厚く、働きやすい環境が必要。(子を遊ばせるにも長岡などに行かないと良いところがない。室内遊具、公園 etc.) 若い世代に残ってもらえるような働ける仕事、親を看るための福祉の充実があれば必ず残ってもらえると思います。
24	男	60	十日町	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが地元企業に就職できるまち ・若者が残れるまち ・地域活性化 ・未来に希望が持てるまちづくり 切望します
25	女	40	十日町	<p>とにかく市民を巻き込む!!企画を考えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十日町に住みたいと思わせてIターン者を増やすとか…。 ・子どもを育てやすいまちにする。若者の働く場所・会社・企業がなければいけない。 ・医療と福祉を充実 ・老人にやさしいまちづくり 60歳はまだ老人ではないので、活躍の場を増やす
26	女	20	西部	仕事がないため、また、給料が低いため十日町で住むことができず残念です。
27	男	20	十日町	働く場所はあるが、一生やりがいの持てる仕事があるのか。新しいことにも挑戦してほしい。

5. 都市基盤の整備

No	性別	年代	居住地域	自由意見
1	男	70	中条・飛渡	小・中学生の通学道路の整備（歩道）。特に冬期間の安全に全力で取り組んでいただきたい。
2	男	50	下条	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の充実、個々に任せない。 ・公共交通手段の充実（バス、電車→不便だから乗れない） ・十日町のイメージ 冬は雪がすごすぎ。雪の心配ばかり（家、道路）→暮らしたくない。 十日町の冬なんか大した事ないという地元の人のイメージを打破しないと他地域から移ろうなんて人はいない。 ・道路整備などやりはじめたら最後までやる。お金がないとか、いつかはとか言って事実上途中でやめないで欲しい。
3	男	30	中条・飛渡	十日町の道路は高速もないし、バイパスも中途半端。どんどん道路が良くなってくれればと思います。
4	女	70	西部	飯山線イナの町踏切が狭く車1台分しかない。人の歩くのもやっと拡張出来ないのでしょうか。
5	女	60	川治・六箇	冬期自宅まで車がつきません。今後年をとって、足腰が弱ってくると不安です。道路を広くして、除雪をして欲しいです。
6	女	40	十日町	街の印象が暗い。建物が灰色・茶が多いためうすさびれたように見える。道が狭く、大雪なのに、除雪車があまり頻繁には来ないため冬は不安。他の市はこうではないから。長岡や上越は50km程の距離なのに、高速の出入口がなかったり、山道だったりして、近さを感じない。不便。パチンコ店が多く、十日町住民のお金で回している気がする。豊かにはならない。道路で、他の大きい市との行き来が便利になれば十日町で、施設を持たなくても楽しめるし、逆もあると思う。雪と着物の町というより芸術と祭りの町だと思う。十日町と六日町、魚沼が違う市だという認知度は低いと思う。
7	女	60	中条・飛渡	最終バス、最終電車等、時間が早いうちに交通がなくなってしまう。自家用車を走らせるしかない。又、飲んだ場合は代行になるかタクシーになる。結局高い費用がかかるのであまり夜の町に出ない。町に出ないと町中の店はお客様がなく、ますます早終いをする。人通りがなくなり、さみしい町になる。建物を造ってもイベントの時くらい？ せめて1本でも遅い時間でも決まった時間に安心して帰れるというバス、電車があればいいな。
8	女	50	中条・飛渡	冬の間だけでも市内のバスの本数を増やしてほしいです。特に最終時刻21時（長岡方面）。残業してもバスがないから不便です。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
9	男	30	高山	<p>若い人が十日町に残れる街作りをしてほしい。意識が高い人ほど十日町を離れていく様な気がする。今後市の人口が減少するのはまちがないと思うのでコンパクトな町（街）作りをしてほしい。芸術祭などで造った芸術が生かされていない。3年に一度だけもりあがるのではなく、通年で芸術祭のまちとして生かしてほしい。</p> <p>駅西口が無駄になっている。もっと活用すべき。駐車場・学生の送迎の車の駐車スペース、バスターミナル、ホテル等の送迎バス停などを整備すればほくほく線、飯山線、高速バス等が利用しやすくなる。観光情報センターを西口側につくったのは間違いだと思う。市街地を活性化させたいと思うなら駅通り側につくるべきだったと思う。</p> <p>“このアンケート自体お役所的考えでつくられている感じがする“アンケートをお願いしているのに判りにくい。書くのがめんどくさいと考える人が多いと思うのもっと考えてほしい。</p>
10	女	50	十日町	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動は非常に活発であると感じます。 ・高齢者が行動できるには家族がいないし、車にての行動になってしまうので、小型の循環バスなどをもっと充実させてはどうでしょう。十日町は小さな路地が多いので、大型バスの停まる所まで行くのも困難だと思います。 ・病院から退院して施設入所をしなければならない方々のために施設を充実してほしい。入所待ちが数百人なんてことのないように。
11	女	40	水沢	<p>毎年明けに届く健康診断を申し込む用紙の書き方が分かりにくい。町内の住民の占める割合が老人が多く、組長や区長などの番が早く回ってきて大変なので区画再編成などが必要では。地区のシステムが成り立たない。地域で晩婚の人や結婚していない人が多く目立つ。結局そこから少子化にもつながっていくので何とかした方がよい。飯山線が雪が降るとすぐ止まるのが困る。長時間労働のわりに低賃金の企業が多い。マイナンバーカードを含め平日の17:00までに市役所に取りに来いとか仕事している人には絶対ムリ。夜間せめて19:00くらいまで対応してくれる窓口があると良い。</p>
12	女	50	下条	<p>商店街さびれるばかりなので駐車場のある大型の建物に協力に取り組んではどうか？車社会なので駐車場が狭かったりなかったりするとお客は足を運ばない。高齢者が増え買い物が不便になると思う。各地域に決まった時間にバスが出れば良いと思う。</p>
13	女	50	川西	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについて。他の市はオムツを捨てる市町村のゴミ袋を配布したり、桜の木をくれたりと様々しているが、そのようなものがあつたら良いと思う。また、10ヶ月・1才6ヶ月検診の1~2ヶ月前にハガキで知らせるなどもう少し手厚くしても良いのではないかな？子育てしやすい街になれば移り住もうということも考える人もいると思う。 ・原発の放射線について不安を感じる。 ・えくぼの除雪を行う際すごいスピードでとても危なく感じる。また、上野保育園のお迎えの時間とかぶっているので時間等考えて欲しい。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
14	女	70	高山	<p>この豪雪地の人口を減らさない為には食用米が余っていますから下島に大きな貯水池を作り、流雪溝の使用後の水を集めて必要な時ポンプアップして市街地に再利用で流せば良いと思います。消雪パイプ井戸はもう掘れないような話を聞きますが、早くに消雪パイプを通した所は天国で今だ無く未来もパイプ無しでは地獄です。同じ市街地に住み、また同じとなり組同士で格差があるととても仲良く出来ません。市街地の中であと何本位井戸が必要かわかりませんが全地域にパイプを通し水を出す時間を短くしてもみんながスコップを使って節水すれば天地の差が無くなり、みんなが仲良く冬を暮らせるとと思います。消雪パイプで地盤沈下はないと思います。がどの位沈下しましたか。織物が染色（友禅）最盛期には地盤沈下もありましたが、今は織物会社も衰退しました。1年間どの位沈下したか公表して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税率の改新を 1、豪雪地と無雪地が同率には納得出来ず 2、30年頃の所得税減税により格差増大改正。 3、富裕税を取り消費税は食料品無税に。 国会議員は東京（日本で一番気候の良い所）、県会議員は新潟が居住地となっているので地元（雪国）選出の議員は除雪時は地元に住居ないので豪雪の苦しみが分かっていない。豪雪地で生活している市会議員や市役所職員から頑張ってもらいたいと思います。
15	女	70	中条・飛渡	<p>除雪について。場所の良い所に住んでいる方は感じないと思いますが、少し場所の悪い位置に住宅があります。近所の方にお世話になって除雪していただいておりますが、もう少し場所の悪い所にある家にも春になったら人並みに生活できるように排雪してもらいたい。たとえば春になってからの排雪を雪が少し多く降るたびにちよくちよく除雪をしてほしい。少し場所が悪いといつになっても排雪してもらえず不便です。もし、急病になった場合のことを考えると不安です。市内ばかり良くせず、過疎地の不便さを考えて下さい。</p>
16	男	70	松代	<p><松代旧市街地></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路沿線の高齢化が進み、街がすたれています。 ・ 流雪溝雪流し方法をなんとか改善していただきたい。毎年、年を重ねるたびに思いを強くします。 ・ 流雪溝に接した宅地は買い手がいないとも言われております。（例えば） ・ 流雪溝の内部側面、底面に特殊塗料を塗ることにより、月一の水量で倍の雪を流せると聞いた事があります。これらを行い小型除雪機（歩道用ロータリー）等請負業者による機械除雪にしていきたい。 ・ 排雪（一時置物）地の増設など。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
17	女	60	川西	毎年冬になると思います。歩道の除雪は誰がするのでしょうか。小さい小学生が歩くためにと今までは消していましたが両脇の家が朝早い為忙しいのに今の所しています。でも、6年になりつかれますし、なぜ私が…と思います。歩道も消してもらいたいし、だれがしなければならぬのは、はっきりと知らせてください。流雪溝の水をもっと多く流してください。信号機の押しボタンが凍ってしまい押せない事もあります。
18	男	60	川治・六箇	県道の流雪溝の整備。
19	女	50	川治・六箇	水道料金が高すぎる。
20	女	20	下条	子どもの遊び場を増やしてほしいです。
21	女	30	松代	・公園を作ってほしい。 ・室野地区にちょっとしたスーパーみたいなものを作ってほしい。(どこに行くにしても車を走らせないといけないので、ガソリン代がムダになってしまいます。)
22	女	30	十日町	のんびりしたり、子供と遊んだりできる公園が欲しい。十日町には公園がなくビックリしている。
23	男	70	川治・六箇	新しい施設の整備も必要ですが、子供達が遊べる公園、自転車も乗れるような。小さい子から高学年くらいまでが楽しめるところが近くに欲しいです。
24	女	30	松代	公務員給与なぜ年功序列で高くなるのか。若い世代は安くだんだんと高くなるシステム自体を見直せないか。予算。使い切る事ばかりを念頭に置きすぎていないか。上手にやりくりして残しても良いのではないかとむしろそれを目標にしてはどうか。横つながりで足りないところに回しても良いだろうし。議員給与。本当にそんなに必要？ボーナスは必要？タイムカード時給制本業を邪魔しない様夜の議会など本当にやりたい人が給与に関係なく熱意のある人が議員になるべき。そうやってまず自分達の身から削ってこそ市民に理解を得られるのではないか。次世代子どもたちへの投資となる物へはケチらず使う。公園など幅広い世代で利用できるものはどんどん使う。市民ホールあってもいいと思うがお金の掛け方を間違えないといいけど。
25	男	60	高山	家族で楽しめる公園の整備。十日町が誇る大きな公園。
26	女	20	松之山	公営住宅をもっと充実させてほしい。勤務先近くの保育園まで通うのが大変。お互いの実家での生活も難しく、公営住宅を利用したい。今の生活環境も経済的にも苦しいです。
27	女	60	吉田	全国で中高年が増える中、ふる里や美しい昔に戻った生活を望む人々も多いと思われます。私達が子供の頃に見た川は魚や水草が沢山ありました。そうした自然を回復させた場所なら行ってみたいと思う人は多いのではないのでしょうか。雪もととても美しいものです。昔の家や風景などを活用すれば人々が集まって来て活性化するのではと思います。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
28	女	60	十日町	旧市街地の活性化の為、景観を整備してはどうか。街並みがバラバラで色も統一されておらず、さびれていくばかり。十日町にはそばや着物、お酒など良い物もあるのに全体として活用されない。本町通りを散策が楽しめるような街にして観光客を呼べるような美しい町にして欲しい。
29	女	60	中里	大勢の人が集まるユーモールをもっと活性化してもらいたい。今あるお店と違う店もあるといいと思う。食べ物屋さんなど外回りをもっと木を植えたりしてベンチなどおきみんなが憩える場所などをつくって欲しい。
30	男	50	松代	無駄遣いをやめる→雪まつり中止。十日町病院建設は駐車場ないけどどうするの？新しく出来た消防署の前に建てればよかったのでは？ヘリポートもあるし、中心部の人しか利用出来ませんよね・・・。
31	女	40	十日町	十日町市で一番不足しているのは、ファミリーで遊べる所、食事をする所がない。（パチンコ、美容院、居酒屋など多すぎ。）現状、ファミリーレストランと呼べる所がないし、子供（小学生、中学生）をつれて親子、家族で楽しく娯楽を楽しむ事がほぼなく、長岡市内、新潟市内まで行かないと何もできない。洋服なども同じです。そう言った意味ではおもしろくないまちだと思う。ファーストフードもマクドナルド、ミスタードーナツしかない。
32	女	60	中里	もう少し若者が楽しめる場所、若者が住みたくなるような町づくりを努力してほしい。
33	男	40	十日町	十日町市に住み40年（約3年県外）。大変つまらない町だと常に感じています。活気なく、ただ毎日をすごしています。あたり前に仕事をし、あたり前に帰宅。仕事後に何をやる訳でもなく（施設がない）、毎日同じ事のくり返し。こんな町だから週末は静かだし（みんな市外に出かける）若者は市外に出て行く。 例えば若者をサポートし、意見を取り入れ地域産業を活性化させるなど若い力を取り入れていかない限り、十日町市は無理。年寄りがいづまでも市政を動かしている様では、永久に活性化はない！考え方が古い！！みんな住みたくて住んでいる訳ではない！！まわりからその様な話を多々耳にする。このスペースでは書ききれない！！まだまだ言いたい事はたくさんある。このままでは十日町市はつぶれる。なあなあ、これでいいんだみたいな十日町市はもううんざりだ！！
34	無	60	十日町	本町通りの駐車場を増やせるようできないか
35	女	20	吉田	若者向けのお店（ファミレス、ユニクロ、GUなど）を作って欲しい。今の十日町には少し時間をつぶしたいなと思ってそういう場所がないので。
36	男	50	川治・六箇	十日町雪まつりなど、市外からの車で来る、客に対する駐車場、カーニバル会場がよく分からないとの話を聞きました。町中に、気軽に止められるPを計画したら良いと思います。
37	男	30	大井田	もう少し娯楽施設を充実させてほしいです（ラウンドワン等）

6. 生活環境の整備

No	性別	年代	居住地域	自由意見
1	女	50	川治・六箇	イベント情報など、大規模なものはチラシなども入って来ますが、市報だけでは、なかなか把握しきれないものもあります。TV放映の情報も、前はニュースの一部扱いでも、お知らせメールが来ていたのに、最近なくなった気がします。先日の雪まつりの放映も知らなくて見逃してしまいました。 市の健康診断についてですが、60才過ぎたら認知症の検査なども入れて頂くとありがたいかも。疑わしい年寄りを病院に連れて行くのは至難の技で市の健診とかだったら毎年受けていれば、早期発見にもつながり、年寄りも納得して良いのではないかと思います。
2	男	50	松代	松代(室野)ドコモauソフトバンクの電波が入らない。入りにくいが入りやすいようにしてほしい。(FMラジオも)
3	女	60	松之山	年おうごとに心配なのは雪の問題、地域の医療、福祉のことが頭にかびます。安心して生活が維持できるよう中山間地への取り組みをお願いします。
4	男	50	高山	1年間に800人程の人口減が続いて現在55,000人を切った。(町村合併時64,000人)やはり町に魅力がない。不公平感があるのだと思う。6番「生活環境の整備」で意見を述べましたが、融雪屋根の維持費・除雪費は冬期間20万円~40万円程消費している現状から誰もがこのような経費のかからない地に引っ越したいと考えるでしょう。これは十日町市だけの問題でなく、日本国の問題だと思う。東京一極集中にならないよう大災害が起きた場合を考えると(例:富士山噴火、大地震等)国は税金等の配分をうまく駆使するべきと思う。
5	女	40	川治・六箇	雪国の費用の国からの支援があるといい。税金を安くするとか。雪が全く降らない所と差がないのは差別だと思う。税金の納付の所得の格差がもう少しシビアでも良いと思う。
6	女	50	大井田	十日町市に住み続けたいという思いに変わりはありません。ただ、将来年金暮らしになった時、支えてくれる子供もいなければ日々の暮らしが精一杯で冬のことを考えると、屋根融雪の灯油代が重くのしかかってくることは確かです。年を重ねていけば家の前の除雪にも体力的に無理になっていくことと思われれます。
7	男	30	川治・六箇	今年は小雪ですが毎年田んぼや畑から雪を道に出す量が多すぎて危険を感じる事が多々あります。子供・子育て世代にも援助が欲しい。
8	女	70	大井田	市内の道路全部市道にしてください。認定外道路除雪費を市道なみにしてほしい。同じ市道でありながら除雪費や道路管理等出費がかさむのは不公平です。
9	男	20	下条	豪雪と共存、男女の出会い、の十日町を目指してほしい。
10	女	60	十日町	雪を嫌っているのは、ずっとこの町に住んでいる人たちです。IターンUターン組はみんな雪のある冬を楽しんでいます。古くからの住人が文句言いながら雪を嫌だ嫌だと言って暮らしているのを見ているのは辛く腹立たしくさえあります。なぜその違いが生まれるのか、どうしたら誰もがこの町を愛せるのか、じっくり話し合ってみる必要があるように感じます。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
11	女	50	大井田	雪に頼っていると小雪の時に困る。雪が多なくても少ななくても暮らしやすいのが理想です
12	女	70	吉田	杉の葉など春先燃やしたいのが多くあります。私は乾かしてドキドキしながら燃やしていますが公に認めてほしいです。

7. 保健・医療・社会福祉

No	性別	年代	居住地域	自由意見
1	女	70	川治・六箇	老人世帯や一人暮らしが多くなっていますが、生活や健康のことで悩んでいると思います。市全体のことで、自分自身がどう暮らしたら良いかで頭がいっぱいなのではないでしょうか。
2	女	40	松之山	これから介護予防が大切になってくると思います。40代～のけんこつなどを開いてほしいです。箱はもういらぬ。
3	女	50	松之山	倉俣、室野診療所の休診に続き、今年度から松之山診療所も常勤医師が不在となり、川西診療所からの半日のみの往診と診療になりました。市でも手をつくされて医師を捜されたそうですが、いつまで往診による診察が続くかわかりません。合併に10年が経ち、徐々に遠隔地にしわ寄せが出てきているのではないかと思います。住民サービス低下が人口流出に拍車をかけるのではないかと懸念されます。中心地に手厚い行政ではなく、へき地に重厚な行政を望みます。
4	男	50	吉田	医療については、いくら体制、設備を整えても、そこに従事する専門職の質が低ければ改善しないと思います。特に県立病院の質は、他と比べても悪いと思います。もっと積極的に外の世界を知り、自らを知る努力をしてほしいです。又、価値観が物質・経済性に偏っているところを見直す必要がないかと思います。
5	女	60	大井田	新しく十日町病院が姿を変えますが救急病院として信頼できる病院にしてほしいと思います。ボランティアについてどんなボランティア活動があるのか？どこに行くと申込みできるのか？など知りたいです。
6	女	70	松代	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが胸を張ってまちの名前を言えるような住み良い地域にしたいと思います。そのひとつ…。 ・地域医療施設を絶対に無くさないで下さい。（診療所）など…。 ・市運営の保育園、センター施設事業などを民営化にしないで下さい。 ・地区がボロボロとくずれて行く音が聞こえてきます。
7	男	30	下条	高齢者が増えていく中で、医療の充実が大事だと思います。また、若い世帯が十日町に在住して街全体が活気づく取り組みをさらに検討してほしいと思います。
8	男	70	高山	<p>先日長岡の友人、教員退職62歳が、長岡市が消滅するってどう思う？長岡でそんな心配しているの？十日町市は本当だけど長岡は大丈夫でしょう。市の人口統計？ホームページを開けてみよう。「大変なことになっている」若い人が少ない。</p> <p>市会議員の質問に介護老人施設のベッド数が問われた。1880床。平成30年は2100床、との事。2100床プラス在宅介護にどれだけの介護ヘルパーさんが必要か、大学や専門学校で医療福祉を専攻し志ある現場の人たちに、十分な賃金が支払われているのか？収入が少なく結婚できないとも聞く。大問題です。勤労者には安定した賃金を払い、老人は健康に生き生きと助け合いましょう。定年退職したばかりのコンピュータの出来るこれからの老人に提案したい。消滅しない十日町市のため「ビッグデータ活用した知的提案、実行する集団」そんな活動しませんか。現代版「ゆずりは」を始めてみませんか。消滅しない十日町市のため論文、募集しましょう。</p>

No	性別	年代	居住地域	自由意見
9	女	70	下条	長い雪国の冬、大人達のスポーツなどがありますが幼児の遊びや体を動かす施設がない様に思います。読み聞かせはボランティアの方々の協力でありますけど、その他の身体を動かす場所がほしいと思います。
10	男	60	中里	<ul style="list-style-type: none"> ・市政地域協議会の声が遠く生活実感が全くない。もっと地域の中へ生活の中へ溶け込んで頂きたい。 ・敬老の日が地域の独自性に移行し格差が発生している。 ・ミオン、ゆくらの利用サービスが悪化し改善を図って欲しい。 ・中里地区の公民館利用の促進と施設の拡充を計って欲しい。
11	女	60	十日町	高齢者の1人暮らしの人への手厚い支援の充実の強化！
12	女	40	松之山	十日町市をみると、さまざまなイベントの企画、活性化に関する活動が見られ、活気がある印象が少しずつ見られています。しかしながら、市の中心から離れた地域では、高齢化は進み続けており、“デジタル化”が進んでいる現状に追いつけません。独居老人、老々介護の世帯も多く、施設入所待機者も増える一方です。福祉の充実を図る事で年老いても安心して住み慣れた地域で最期まで暮らせ、働きざかりの雇用にもつながると思いますが、市が福祉にも力をそそいで下さっている事は判っているつもりですが、中心部は何かしらのサービスを受けられやすい環境にあります。どうか、端の地域にその地域に合った方法で福祉環境の整備を行って頂きたいと思います。
13	女	40	下条	障害者雇用についてこれまで障害者枠で民間・公的機関に就職した経験がありますが、今後も理解と採用枠の強化をよろしくおねがいします。
14	女	70	高山	<p>障がい者福祉について質問です。</p> <p>最近では障がい者のもろもろの施設が作られていますが、重度心身障がい者は高等部を卒業すると家庭に戻されています。市内には公立公営の設備、人材の整ったデイサービス、ショートステイ等、家族が笑顔で送り出し、委ねられる施設がありません。同じ人間に生まれながら、格差のある設備に乏しい民間のデイサービスだけでは市としても片手落ちではありませんか。早期にご検討いただけないものかと思えます。わずかな期間重度心身障がい者（児）に携わった者の願いです。</p> <p>市民の参画、行政運営について</p> <p>現在、何十年と続けられている市政嘱託員について疑問に思うことがあります。市より配布される種々の印刷物は、届けられた嘱託員がその地域の組長に世帯数に分けて配り、組長がまた各世帯に配布、または回覧板として出す等となっておりますが、最近では高齢者のみの世帯、一人暮らしの世帯が大変多くなっています。副職等も正市職員として地域の中に入り、市民と密着した仕事をしてもらい、市民の負担を軽くしてもらえないのでしょうか。人件費を減らすことも大切かもしれませんが、市民にやさしいまちづくりとなりませんか。高齢者となった今、十日町に住み続けるというにはこんなことも不安材料の一つです。</p>
15	男	30	水沢	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの内容が分かりづらい。 ・給料安い、税金高い、すみにくい町。 ・子育て支援などにさらに充実してほしい。子供がほしいが金銭的な理由で子供をつくらない人がとても多い。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
16	男	30	中里	とにかく子供を大切に、人口を増やす。子供にお金をかける。給料など低い子育てにお金がかからなければ、子供を増やせる。未来を見据えた町づくりをする。介護施設を作っても、そのうち老人すら少なくなる。すべては子供のために。
17	女	30	大井田	MEGO3カードなど独自の子育て支援はありがたく思います。(主にスーパーの割引)ですが、将来子供達に学費等3人いますとどこまで出せるかいまから不安です。3人目をほしいなというママ友もいますが、経済的負担から望めないという話をよく聞きます。そういった意味で安心して子育てできる十日町市に期待します。十日町をえらんでよかったと思いたいです。(他市からとついできました)
18	男	70	十日町	はじめにこれまでの行政経験や見栄えの計画だけに頼らず、改めて多くの市民意思のデータ分析し、ニーズを反映づけるよう活性化戦略に生かしてほしい。 1.自治会活動の促進。近年各地区が高齢化となり、これまでの嘱託員の業務を分離し、各町内等で自治会組織を立ち上げ活動している地区が見られてきた。益々超高齢化に伴い市民福祉ニーズが多義になってきておる。特に高齢者が防犯見回りなど地区の包括ケアを進めるには住民同士が支え合う事が重要となり町内会(複数の町内単位や民生委員単位)自治会組織を全市的に促進する用紙の積極的な働きかけを必要とする。モデル地区を紹介するなど計画的な推進するよう希望する。 2.計画の進捗率後期計画を実施するにあたり前期計画の実施計画を進捗率の観点から見直した踏まえて市民ニーズにあった計画に応えるよう一層の努力をお願いしたい。 3.公表アンケートは市民ニーズに応えるだけの要望的集約にとどまらずデータ分析し市民の関心度など市報等を通しての公表を希望します。

9. 観光・交流

No	性別	年代	居住地域	自由意見
1	男	20	水沢	人と人がもっとふれあいを増やせるイベントなどを増加してほしいです。
2	女	40	下条	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと若い人（特に20代、30代）が住みたいと思える町づくりを進めてほしい。 ・若い人の中には、アニメに興味を持っている人が多いように思います。イベントを多数企画すると、沢山の人を呼び込めるように思います。
3	男	40	高山	冬に運動や子供が遊べる施設の方がよっぽど活用されると思います。自転車のロードレース誘致や今年開催されるB級グルメグランプリなどもっと行うといいと思います。
4	女	50	水沢	十日町はゆっくりすごせる場所がない。1日いてもあきのこない所がない。寺とか有名な建築がない。何かひとつあると他県のお客様がくる！？1年中利用できる何かない。ヒマつぶしの出来る物ないかしら・・・。
5	男	70	高山	中心市街地の拠点づくりが進められており、おおいに期待しておりますが、ショッピングを含めて街を散策する雰囲気はどう作り出して行くか、が問題だと思っています。
6	女	50	西部	<ul style="list-style-type: none"> ・折角、信濃川あるのに整備されていない様な気がします。川沿いを整備し、桜（数千本）植え、観光名所にし、他県にPRして観光客を呼び込めないでしょうか？ ・十日町は知見！何か考えるにもこうでなければいけないとか、あれはだめ、これもだめと考えが古い。もっと他県のイベントを参考に街に活気を!!
7	女	30	川治・六箇	大地の芸術祭や雪祭り等、他県、他市町村の観光客が来ることで十日町市が活性化していると感じています。これからも力を入れてほしいです。（イベント内容や宣伝方法など）
8	男	30	下条	山間部の地形を生かしたモータースポーツの誘致をお願いしたい。（バイク・車）

10. 市民の参画、行政運営

No	性別	年代	居住地域	自由意見
1	女	60	中里	毎年、同じ様な会議をしている様ですが、全然変化が見られないのは税金の無駄！ 市民の意見をもう少し取り上げて下さい。
2	男	60	中条・飛渡	四季がはっきりしていて十日町はとても良いところだと思います。残念なところが多いと思います。もっと活性化されたら、沢山の人達に足を運んでいただけたらと思うので、いろいろな世代の人達が意見を言える場があると良いかと思います。（毎月定例会を開く）
3	女	40	水沢	十日町市の住民としてなにか十日町市のお役に立てることがあれば出来ることからやっつけていこうと思っています。とりあえず道のゴミ拾い等気づいたら出来ることをやっています。ささやかすぎますが、無理なく続けられることをやっつけていこうと思っています。
4	男	40	十日町	個人の人権やプライバシーが尊重される市を望みます。多くの情報を提供することにより個人が判断でき又参加することができるように思います。
5	男	60	十日町	十日町市の中での、ここ数年間で感じた件。意見や論議等々の会議は割合と決まった顔ぶれであり、中山間地の若者や、市街地の働いている若者たちが全く参加していないように、私の参加している会議でも見受けられない。 E x . 十日町（仮）文化会館の説明会でも同様であった。今後策定が決まっている物件等々で、新博物館でも特定コースによって基本計画、実施計画そして2020年完成の流れも同じ様になるのでは、少し位は行政の皆様が集落に入り又は市街地の若者の集会に参加して説明や意見を聞いても悪くないのではないのでしょうか。希望を致します。
6	女	40	川西	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査をすることで仕事が終わったと思わないでください。 ・結果が出てそこからどうしてどうなったかが知りたいのです。 ・何もわからないのなら税金を使ってまでこのような事をする必要ないのです。 ・市報などでこんな結果でした。と出すだけですか？甘いです。このアンケートで何年後すぐに改善したとアンケートに答えた人全員に返信する位の事をしてもいいと思います。
7	女	50	西部	<ul style="list-style-type: none"> ・フラットステーション等々、何するところか入口に何も書いていない。 まちなか活性化と言われている。市役所の方に聞いたが「私たちもわからないのです」との答え。とにかく入りにくい。市報に書いてありますとの答えかもしれませんが、皆さんわかっているのでしょうか。
8	無	60	十日町	このアンケートは意味のない物だと思います。むだな出費と人件費のむだづかいに他ならないと思いました。 市役所の臨時職員の人件費が話題になっていますが、十日町の市民の人件費はみな200万円前後の人が多数かと思います。税金でまかなっているのだから臨時の人の人件費はそれ位で十分かと思います。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
9	女	60	川治・六箇	市の人口が年々減少してゆく事を市はしっかりと自覚すべきです。大切な税金を箱物や職員の仕事を作るために考える・・・こんなこともうやめたら。本当の地域は10年後20年後を考えて心豊かに自然の中で日々を送れる生きる為に税金を納めて必死に生きるなんてゴメンだね。 このアンケートでは地域の将来はつかめません。 以前災害時に役立つようにと配られたラジオ。今ではゴミになっています。業者様には申し訳ないのですが。
10	女	40	水沢	私達の税金を有効に使ってほしいです。
11	男	40	川治・六箇	・全てに手を出しているようで将来の負担が心配です。きちんと計画を立て選択と集中でまちづくりをして欲しい。なんだかんだいっても結局箱物が整備されている。建設業の人が多いのか。
12	男	40	川治・六箇	なぜ今になって人口減少対策なの？農林業の後継者を増やすと考えるの？中心市街地活性化なの？住み継がれる街にするの？これらは20年も前から将来大変なことになると予想できたこと！市役所と役場職員のかたなら数字に危機感をもっていたらわかることですよ！だから給料ドロボーなんです。市役所の方はもっと先を読んでほしい。「転ばぬ先に杖」になってほしい。芸術祭そんなに大切なの？そんなに来市してほしいの？来市者を増やしても足元がグラツクいては市の魅力も単なる一時的なものではなく継続性がない。そして住み継がれない上っ面ですよ！少ない税収です！身の丈に合った運用をしてください。税金を投入してどのくらい税収がUPしたのですか？民間なら即中止です。市民総活躍で市民における手作りの祭りで行きましょう。

11. その他の意見

No	性別	年代	居住地域	自由意見
1	男	40	大井田	全く行政主導で市民はそれにひっぱられているような気がします。
2	女	50	十日町	アンケートに解答するにも時間と労力が必要なんですよ。2年も届くとどーかだと思います。「まちづくり」の方は私たちの意見を反映してすすんでいるとも感じません!! こんな事に労力を費やしてばかりしてないでもっと実践して下さい。
3	男	60	無	「隣人、隣町や隣国にやさしい町づくりを・・・」いかがでしょうか？
4	男	50	中里	返信用封筒が小さい。
5	女	30	十日町	十日町市に1年間住みましたが、知らないことが多いです。そのため、どちらともいえないという回答が多くなってしまいました。このアンケートに意味があるか分かりません。
6	女	70	松代	どれに○をつけていいか私の年代にはわかんない事がいっぱい申し訳有りませんでした。
7	女	60	川治・六箇	雪まつりでの、着物の女王コンテストで、選ばれる女性は出来レースとの事。汚いやり方はやめて下さい。ちゃんと調査してから選んで下さい。
8	女	70	川治・六箇	近日中にまちづくりが大きく変わりますネ。楽しみがいっぱいです。その分、税金が安くならなくて不安もあります。すばらしく変わる十日町。夢の町になります様に。〔後期高齢者保険、国民健康保険、市・県税、固定資産税〕大変なんでーす。ゴメンナサイです。
9	男	70	松之山	美人林のトイレを明るく、もっとトイレの数を多くしては。洋式にして、女子トイレは数を増やしたら。
10	男	60	西部	雪が消える今頃の道に犬のフンがあちこちで見られる。指導を強化して下さい。
11	女	50	中里	市内に住んでいる3,000人を無作為に選んでいるとのことですが、このようなアンケートが送られてきたのは今回で3回目です。本当に、その都度、選んでいるの？と不信感を持ってしまいました。
12	女	40	松之山	内容がこまかすぎてわかりにくかったです。
13	女	50	高山	この街が生き残っていくには何が必要なかをもう一度みんなで考えていかなければなりません。他市のやり方は参考にならないことをキモに命じて十日町市らしい生き残り策を見つけなければならない。
14	男	40	十日町	内に足元を固め、もって外にうって出る楚とすべきと考えます。海外にもっともって目を向ける動きもあっていい。(民間には個々にそういった例もあるようですが)
15	男	60	吉田	十日町市が現存、パート職員の人数が正職員の人数とあまりかわりがないと思いますが、このパートの人達の多くをパートから正職員にすることによって収入が増えて市の活性化になると思います。正職員を減らすだけがいいとは思わない。市から雇用を生まなければ、民間会社は採用をしないと思う。 <u>パートが年収200万以下では生活できない。</u>
16	女	50	中条・飛渡	アンケート配布・提出は年度末の忙しい時期ではない方が良いと思います。
17	男	70	松代	今年の冬は雪も少なく満足でしたが、過疎でなければ住みよい十日町です。一人一人が明るく賢く生きられるように市の行政には満足です。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
18	女	50	川西	アンケート内容が多すぎると思います。もっと項目が少なく簡単にもっと多くの方から回答頂けるような文書がよいと思います。めんどくさい・・・でも大切な事と思い協力させて頂きました。（県外から嫁ぎました。）市長、職員の皆に期待しています。
19	女	50	下条	質問項目が多く、分からない分野も多く、答えることに困った。答えられる項目のみでもいいのではないかと思う。質問の言葉も難しいところもあった。
20	男	50	下条	この程度のアンケートを取るくらいなら、新聞に載るような仕事をするものではないと思いますが。もっとまじめに仕事をまずはやるべきでは？
21	女	50	高山	市役所に行くと言職員の態度がまだまだ。たらいまわしで時間がかかる。仕事を休んで行っているの、感じ良くしてもらいたい。このアンケートも携わっていない事だとわからないので、ほとんど回答できず。これでいいんでしょうか？
22	男	40	松代	今までの器を超えた新しいものの見方を取り入れた総合計画に期待します。
23	男	60	松代	計画は実現できなくても夢を持てるものにしてほしい。
24	女	70	吉田	人口減少が止まらない限り何をしても活気が上がらない！市職員採用を工夫せよ。
25	女	30	十日町	このアンケートは回答する側の事を考えて作られたとは思えない。作り方がヘタだと思う。 ・返信用封筒が小さい。 ・回答の項目が満足度の5つにわかれているが興味がなければわからない事が多い。「わからない」と「どちらともいえない」は、イコールではないので「わからない」を入れるべきだと思う。 ・もしくは、分からない人の為に今現在行っている具体例をいれるなどした方がよい。無作為に3000人の前に市役所の方々全員でこのアンケートを試し内容確認等してはどうか？
26	男	30	松代	十日町市の人口減に歯止めとなる施策をこれからも続けてください。
27	男	60	川西	十日町市全体では旧市街地が中心、川西地域では千手地区が中心、すなわち人口の多い所が中心の行政になっているように感じます。 ・効率的な財政運営は結構な事ですがそれが過ぎると職員の意欲や地域経済にも影響を与えかねないのでは？臨時職員の年収の報道がありました。が、いわゆるワーキングプアのレベルだったと記憶しています。行政が格差や貧困を促進していることになるのでは？
28	男	70	下条	十日町市政も立派に活動して頂いています事を感謝しております。
29	女	70	十日町	アンケートに対していろいろ書きましたが、内容があまりわからないことばかりで適当に書きました。商業・農業・工業いろんなことを知らねばならないと思いました。町の人達がくらしやすい町だとなるようにしていただきたいです。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
30	女	40	松之山	市役所の職員が多すぎると思います。一人で何役もこなしている時代です。そんなに忙しそうに見えないので課を掛け持ちして人員を減らしてはいかがでしょうか。ほかの企業(人員不足)に出向する方法もあります。いきいき隊を募集。採用せずに市の職員が各集落の担当を決め対応するなど考えて見てはいかがでしょうか。
31	女	60	川西	アンケート多すぎて
32	女	70	松代	家にばかりいる年寄りなので何に良く知らないので申し訳ありません。私は十日町市の山間地に生まれ育ちました。美しい自然に囲まれ、人情豊かな子の十日町市が大好きです。年寄の私も大切にされ夫は今福祉課介護のお世話になっています。本当にありがたく心から感謝しております。県外に旅立て行く孫達にもいつも家に帰っておいでと言っています。私はやっぱり若者たちが働く職場そして安心して生活できますように。若者たちに応援して頂きたいと思います。そして山間地にもまた若い人達子供達の元気な声が聞こえ、活気ある十日町市になったらなあ-とそんな夢ばかり見えています。十日町市のためにいろいろ頑張って下さる皆様方本当にありがとうございます。
33	男	30	大井田	前日も市のアンケートに答えたが市政に反映されていないのが残念です。アンケートやっても無駄では？
34	女	60	高山	このアンケートは普段なに気に生活していますので質問が難しくて書けませんでした。
35	女	30	松之山	<ul style="list-style-type: none"> ・市の臨時職員の待遇をもっと良くしてもらいたい。有給で産休、育休がとれる介護休。または、ボーナスが少額でもでる。安定した雇用体制はいい町をつくるのにとても重要な事。 ・議会の一般質問のラジオ放送を聞いていると、朝市の「おはようございます」の声がとても小さく残念。子供たちに胸をはれるようなあいさつをしてほしいです。
36	女	50	松代	分からない項目が多くて「どちらともいえない」が多くなってしまいました。ふだんから考えることが大切だと思いました。
37	男	50	大井田	商店街などは、一般の市民がどうのこうの言えることではない。(口を出せるわけないでしょ)。 十日町はとりあえず生活している場所、用があれば娘家族の住む東京や埼玉でことたりてしまいます。地区が色あせることなくきれいな所であってほしいですけど…。体質的によそから十日町にきた人(チヤホヤしてる。TVでよく見ます)みたいなことばかりやっていると、古くから地道に生活している人はしらけます。山地の人が里に出てくる。声を出してもどうにもならないよそから十日町にきた人は、ファイトもありいいこととは思いますが。。。
38	男	20	高山	ご苦労さまですね、本当に。
39	女	60	大井田	若者の活気のある街にしてほしい。都会に出て行かなくても魅力的な住みたくなる地域になってほしい。
40	女	60	水沢	今回のアンケートは私にとってとても難しい内容でした。答えを出すのに困りました。

No	性別	年代	居住地域	自由意見
41	男	40	松之山	一度退職した市職員の再任用はおかしい。もっと若い職員にチャンスを与えるべきである。また、一部の市職員の業務能力の低さ、公務員としてのモラルの低さにあきれることがある。頑張っている職員、十日町市民に失礼だ。
42	女	70	十日町	町内で1年間にいろいろなイベントがありますが、その時いつも思っています。公共施設、公園、駅にトイレがありますが、他から見ると狭い、数が少ないこと、常に感じています。
43	男	60	松之山	私は高校を出て東京へ行き、昨年定年を迎えて田舎にUターンしました。年老いた親が市の福祉の世話になっているため、本当は雪のない地方で田舎暮らしをしたかったのですがそうもいかず、妻子を残し一度は見限った田舎へ再び戻ったんです。当然ですが、東京に比べると田舎は若い人、特に小・中・高生が少ない。いや、いない。行政は劣っていてとても不便で…。驚いたのは、学校を出て東京よりも長岡や新潟へ行くという少年少女、そこに何があるのか？手頃なその後の人生か？東京では暮らせないのか？ただ、私も戻ったばかり、まだ良くはわかりません。でも、このアンケートは難しすぎる。わかる部分だけ答えてほしいとした方がもっと確かな結果が得られると思います。
44	男	30	水沢	若者としては正直、十日町の市政には全く期待しておりません。すでに未来のないまちだと思っておりますので、関心も特に持っていません。
45	無	無	無	1年に何回かアルビレックス観戦チケットをプレゼントしているようだが、バス代は払うのでバスの手配までしてもらわないとなかなか行くことができない。アルビのサポーターも年々減っているようなのでよく考えてほしい。行きたくても行けないとよく耳にするのでお願いしたい。応援席をオレンジでいっぱいになりたいと思ったら一考を。チケットだけいただいても新潟まで行けない人がたくさんいることを知ってほしい。市役所入り口での案内係二人は不要と思います。あまりたずねる人も少なく、二人でヒソヒソと小声で話しているところを見かけます。